

第4回自然環境保全基礎調査

# 動植物分布調査報告書

(昆虫(セミ・甲虫)類)

平成5(1993)年3月

環境庁自然保護局

---

---

---



## 序

本報告書は、第4回自然環境保全基礎調査の一環として行われた動植物分布調査（全種調査）のうち昆虫類（セミ類・甲虫類）についての調査結果をとりまとめたものである。

我が国に産する全ての動植物について、分布の現状とその時系列的变化を把握するためには、一つ一つの確実なデータ（いつ、どこに、何がいたか、それを誰が確認したか）を丹念に収集し、蓄積することが必要である。

しかし、動物は移動するものであり、身を守るために姿を隠す習性があるなど一般に人目に触れる機会が少なく、また形態等が類似しているものがあり、多くの種について確実なデータを得ることはなかなか容易ではない。

従って、全国にわたるこの種の調査を実施するためには、種の分類、同定に関する確かな知識と能力を有する専門研究者の永年にわたる協力が不可欠である。

幸いにも本調査にあたっては、学会等を中心に、前回調査員数を上回るおよそ2,600名の専門家の理解と協力が得られた。

この全種調査は、哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、淡水魚類、昆虫類（トンボ類、セミ類、チョウ類、ガ類の一部、甲虫類の一部）、貝類（淡水産貝類及び陸産貝類）を対象として実施し、それらの結果を9分冊の報告書にまとめたものである。（なお、鳥類の調査内容は一部の種の集団繁殖地および集団ねぐらの分布に限定しているため、他の分類群と異なる。）

今回の調査は、第3回自然環境保全基礎調査全種調査と組み合わせてより詳細な分布情報を得る目的で実施され、結果をとりまとめるにあたっては第3回調査と併せる形で集計を行っている。この結果、約63万件の分布情報が寄せられ、およそ2,300枚の分布図が作成された。しかし、専門家の少なさや地域的偏在、あるいは調査期間の制約などの事情により、分布状況を的確に表現するに至らなかったものも相当数にのぼっている。このため検討会（分科会）において、それぞれの分布図毎に検討し、分布表現の程度を判定し、短いコメントを付すこととした。このコメントは、今後調査を継続する際に、あるいは、本資料を活用する際に充分留意されるべきものである。

なお、本報告書の作成にあたり、分布図及び集計表の作成等、情報の集計業務については、環境庁自然保護局からの請負業務として（財）自然環境研究センターが実施した。

最後に、本調査の企画立案からまとめに至るまで御指導頂いた検討会（分科会）の学識経験者の方々並びに、貴重な時間をさいて分布情報の提供に御協力頂いた専門家の皆様に心から感謝の意を表する次第である。

平成5（1993）年3月  
環境庁自然保護局

第4回自然環境保全基礎調査動植物分布調査（昆虫類）に於いては、これまでの実績を考慮して、比較的知見の集積されたと思われる分類群をとり上げて、その群の全種類について全国的な分布図を作成し、それを基礎として今後の保全目的の達成に資そうとしたものである。

対象昆虫群：とり上げられた昆虫群は、これまでに比較的分布の知見が集積されたもののうち以下のとおりである。

トンボ類 調査対象種（亜種を含む）は203種（飛来偶産種6種を含む）であり、全種の情報が得られた。この中には新記録も含まれる。

チョウ類 調査対象種（亜種を含む）は295種であり、そのうちの259種の情報が得られた。

ガ類 特定の3科とレッドデータブック掲載種の119種（亜種を含む）を調査対象種としており、そのうち101種の情報が得られた。

セミ類 調査対象種（亜種を含む）は32種であり、全種の情報が得られた。

甲虫類 特定の3科のハンミョウ科、クワガタムシ科、ハナカミキリ類を調査対象とした。ハンミョウ科では調査対象種22種（亜種を含む）のうち21種の情報が得られた。クワガタムシ科では調査対象種37種（亜種を含む）のうち、36種の情報が得られた。ハナカミキリ類は、調査対象種（亜種を含む）160種のうち、156種の情報が得られた。

完成度：第3回報告の資料を基礎として完成に努力したわけであるが、現状ではチョウ類及びセミ類については所期の目的に達しているレベルにあるように思われる。トンボ類・ガ類はそれらに次ぐレベルにあると思われるが、更に今後の努力を加えるべきであろう。甲虫類の3群については、更に今後の充実を期待する。甲虫類のうち、ハナカミキリ類は今回新しくとり上げたものである。

今般第4回報告書の完刊に当たり、長期に亘って資料の整備に当られた各部門の専任分掌者並びに資料提供に当って協力を惜しまれなかった全国各地の昆虫類研究者各位に深甚な感謝の意を表すものである。

# 目 次

第 1 部	調査方法	
1	動植物分布調査（全種調査）概要	1
2	取りまとめの方法	10
3	昆虫（セミ）類の調査実施状況	16
4	昆虫（甲虫－ハンミョウ・クワガタ）類の調査実施状況	19
5	昆虫（甲虫－ハナカミキリ）類の調査実施状況	22
第 2 部	調査結果	
( 1 )	昆虫（セミ）類	
I	分布図	25
II	集計表	59
III	考察	62
IV	まとめ	71
( 2 )	昆虫（甲虫）類	
I	分布図	73
II	集計表	287
III	考察	302
	< 総 論 >	302
	< 各 論 >	303
1	ハンミョウ科	303
2	クワガタムシ科	316
3	ハナカミキリ亜科	317
IV	まとめ	320
第 3 部	資 料	
1	第 4 回自然環境保全基礎調査検討会及び分科会名簿	323
2	第 4 回自然環境保全基礎調査動植物分布調査実施要綱	324
3	動植物分布調査票の記入のしかた	326
4	調査対象種一覧	329
5	調査対象種変更点一覧	337
6	調査協力者名簿	343
7	分布図索引（和名 5 0 音順）	346



# 第 1 部 調 査 方 法



## 1. 動植物分布調査（全種調査）概要

### （1）目的

本調査は、第4回自然環境保全基礎調査・動植物分布調査の一環として動物の主要分類群の全種（または一部の種）を対象に専門研究者の参加・協力を得て実施したものである。（図1-1）

自然環境保全基礎調査の目的は、全国的視点から我が国における自然環境の現状を科学的に把握し、自然環境保全施策の推進のための基礎資料を提供することである。野生動物についていえば、人間を含むあらゆる動物は、大気・水・土地やその上に生育する植物（植生）等の環境に依存して生息するとともに、生態系を構成する一員としてそれを支えている側面があるが、中には、環境条件の変化等さまざまなインパクトにより絶滅の危機に頻している種もあり、一方、一部の帰化動物に代表されるように一定条件の下で分布域を著しく拡大するような種もある。

このため、野生動物に関する自然環境保全施策として、当面、絶滅のおそれのある種の保護や、人間生活との関わりの中で適切な保護管理を要する種に対する施策が優先的に講じられているところである。

自然環境保全基礎調査の一環として行う動植物分布調査（全種調査）は、これら施策の対象となるべき種の洗い出しや、今後講ずべき施策の検討のための、基礎的かつ客観的資料を提供する目的で、究極的には我が国に産する動物群の全種に関する全国的分布の現状及び経年変化の状況を把握しようとするものである。

### （2）調査の内容及び方法

全種調査は、究極的には我が国に産する全ての動物種について、分布の現状を把握するとともに調査の積み重ねにより経年変化状況も把握しようとするものである。

このために必要な最小限の情報は「いつ、どこに、何が」いたかということである。また、必要に応じ情報源をたどるためには「誰が」報告したかということも重要である。

本調査では、調査対象種が多く、また、多数の調査員（専門研究者）の協力を得て実施するため、調査項目は上記に示すできるだけ単純かつ客観的な資料を得るためのものに絞りこんだ。

これらの調査項目に関する具体的な調査方法及び調査体制ならびに今回調査における調査対象種については、平成元年度に実施した「第4回自然環境保全基礎調査（動物分布調査）における調査手法の検討調査」に引続き、環境庁が設置した自然環境保全基礎調査検討会の下に動物の各分類群毎に設けた分科会（以下「分科会」という。）における検討作業を経て下記のとおり決定された。

なお鳥類は、一部の種の集団繁殖地および集団ねぐらの状況について、分布、個体数、環境等を調査したため、本報告書に記述されている調査方法、取りまとめ方法とは異なる方法で実施された。

#### ①調査対象種

今回の調査では、生態系の主要な位置を占め、生物学的知見の蓄積がある等の要件を満たし、さらに調査実施体制の構築が可能という観点を加味

して次の分類群に属する全部または一部の種・亜種を対象とした。

- ア. 哺乳類（全種）
- イ. 両生類・爬虫類（ 〃 ）
- ウ. 淡水魚類（ 〃 ）
- エ. 昆虫類（トンボ類・セミ類・チョウ類の全種及びびが類・甲虫類の一部）
- オ. 陸産及び淡水産貝類（全種）
- カ. 鳥類（集団繁殖地及び集団ねぐらを形成する一部の種）

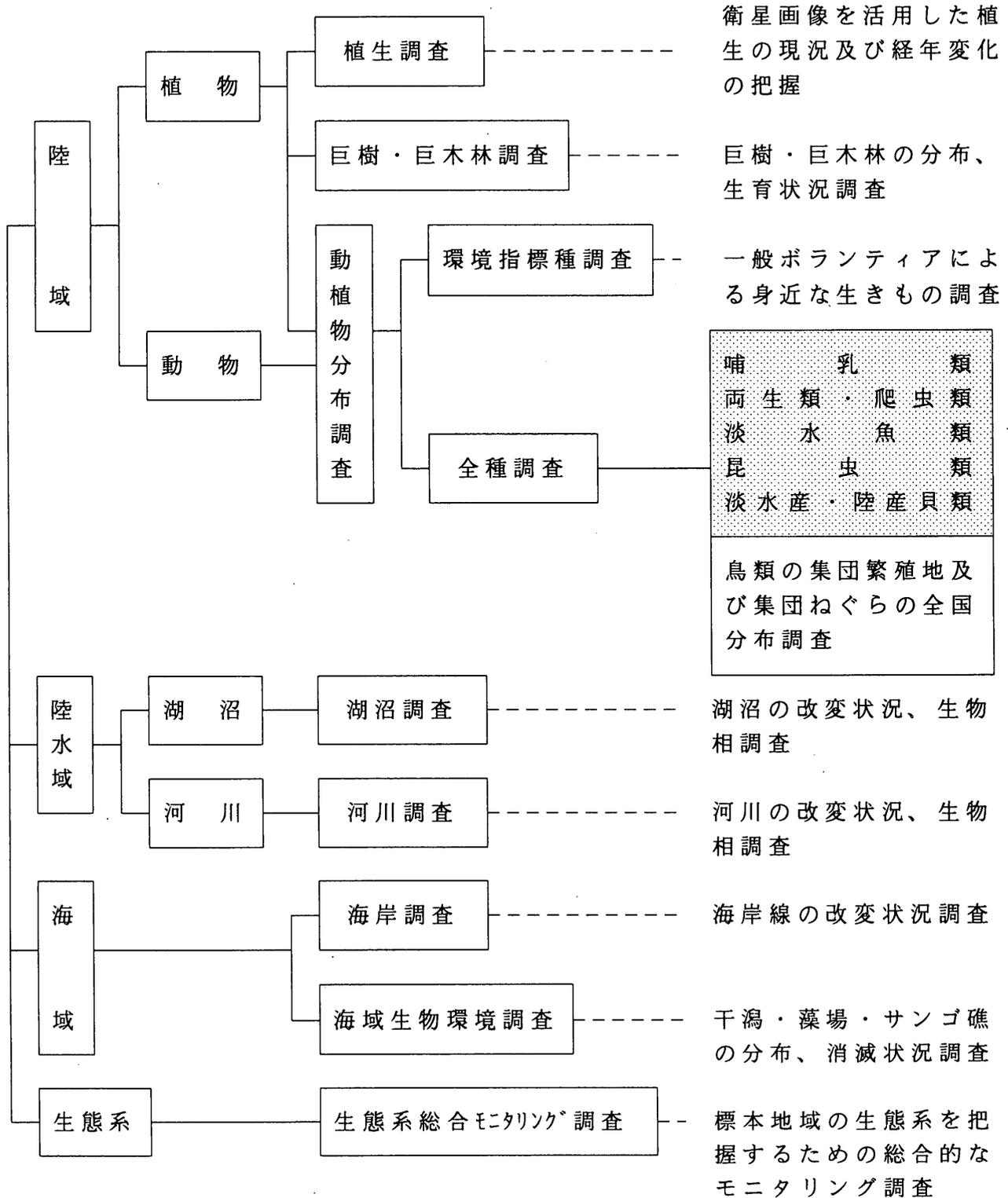


図 1 - 1 第 4 回自然環境保全基礎調査骨子

これらの調査対象種について、本調査における種名の呼称の統一をはかるとともに既存の知見を整理するため、第3回自然環境保全基礎調査の動物分布調査に先立ちとりまとめられた「動物分布調査のためのチェックリスト」（環境庁、1983）を参考にして、各分科会において新たに第4回調査用の調査対象種一覧（巻末資料4）を作成した。この際、第3回調査以降分類学上の変更が生じた種については、別途調査対象種変更点一覧（巻末資料5）としてとりまとめた。

調査対象一覧は、種の学名及び和名を対応させるとともに（淡水魚類を除く）電算処理のためのコード番号が付されている（巻末資料参照）。

#### ② 分布地

調査対象種の分布地を記録する方法としては、地名呼称によるあいまいさを避け、電算処理を容易とするために、「標準地域メッシュ・システム」（昭48.7.12 行政管理庁告示第143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」）による第3次地域区画（「基準地域メッシュ」または「3次メッシュ」ともいう。本報告書では以下「3次メッシュ」という。）を基本とした。この3次メッシュの大きさは、タテ（緯度差）30秒、ヨコ（経度差）45秒であり、概ね1km×1kmである。

なお、補助情報として従来どおりの地名による表記も採用し、メッシュコードのチェックが可能となるようにした。なお、今回調査では、一部過去の記録も収集したため、3次メッシュの特定が不可能な場合には「第2次地域区画」（以下「2次メッシュ」という。約10km×10kmの範囲で、1/25,000地形図1枚分に対応する。）により記録した。

#### ③ 調査時期

今回調査は、全分類群について平成2年度～3年度に実施した。（さらに、とりまとめの段階で平成4年度以降のデータも若干補足されている。）

また、今回調査は、全種調査としては第2回目（第1回目は第3回自然環境保全基礎調査において実施された。）であるが、調査期間中のデータのみでは分布図を作成するには不十分であったため、過去の記録、標本等であっても、現在の分布を反映していると考えられる情報については積極的に収集した。

調査年月日は、実際に記録（観察もしくは標本採集）された時点を調査票に記入し、過去の記録については、さらに調査票記入者名のほかに、観察または採集者名及び標本所蔵場所を明記することとした。

#### ④ 調査体制

第4回基礎調査の動植物分布調査（鳥類を除く）では、第3回調査に引き続き全国各地の調査員（専門研究者）が、自らのフィールドで得た情報を直接環境庁に報告し、環境庁はこれらの報告を集大成して調査員に還元することにより、今後の継続的情報収集に資する調査網づくりと調査精度の向上を目指す調査体制を採用した。

特に動物の分布調査においては、そもそも目指す動物との出合の機会は偶然性に左右され、少数の調査員に限られた期間に十分なデータを収集することは困難であるため、継続的・反復的調査の必要性が高い。

また、本調査（全種調査）では、調査対象分類群が多岐に上ることから、

調査員は、種の種類・同定に関する確かな知識と能力を備えていることが必須である。

このため、原則として分類群毎に、分科会検討員や学会等から推薦されただけ広範な専門研究者に対し、環境庁から直接、調査への協力要請を行い、承諾頂いた方々について調査員として依頼し、調査体制を作った。

調査員数は全分類群を通じ、延べ2,521人である。

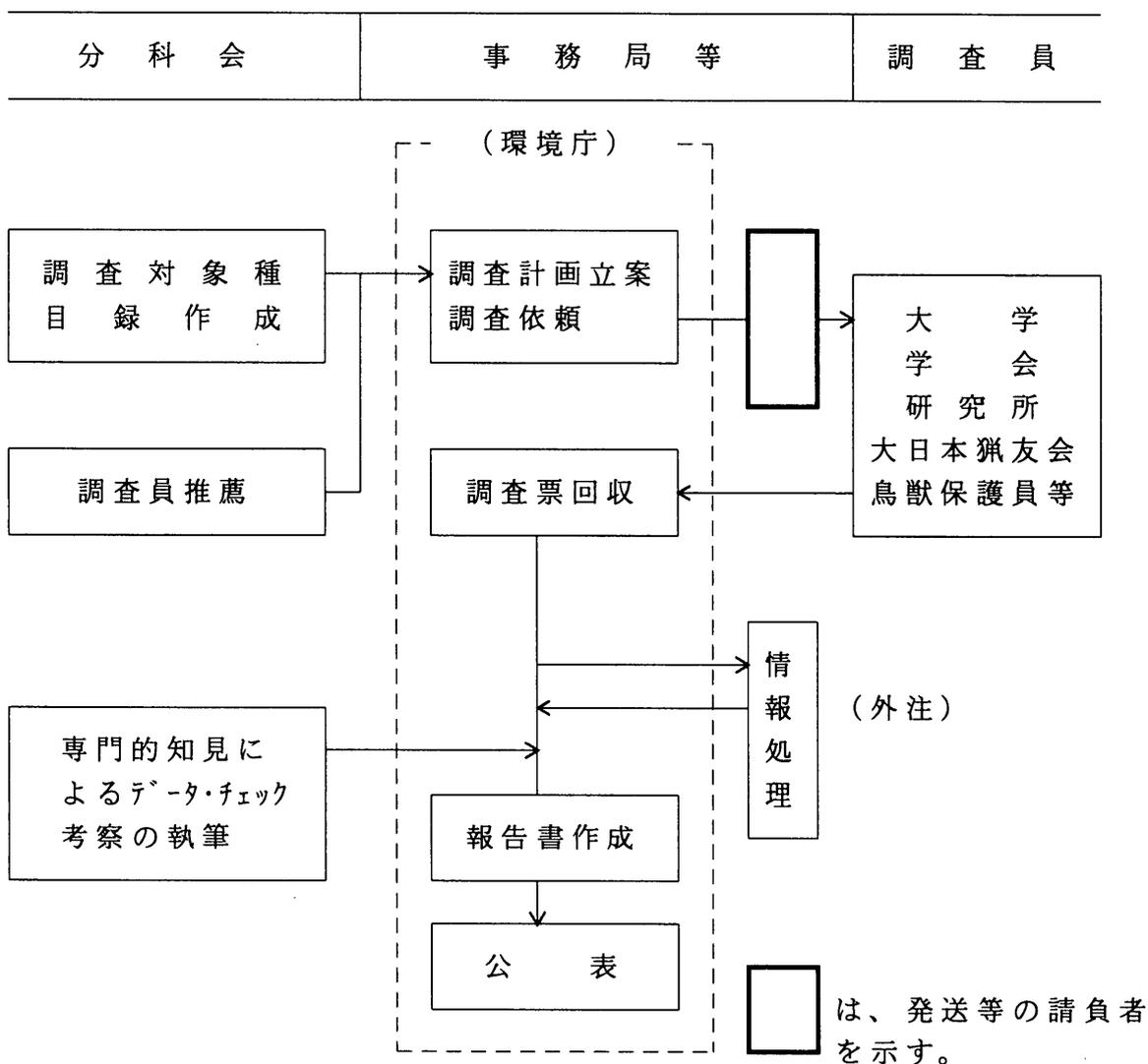


図 1 - 2 調 査 体 制

⑤実施方法

各調査員には、調査実施要綱等（巻末資料参考）のほか、次に示す調査票、メッシュ地形図を送付し、原則として平成4年3月31日までに調査結果を環境庁あて返送するよう依頼した。

ア. 調査票

調査票は、分類群別に、図1-3に示すような2種類の様式のものを使用した。これは、調査員の作業の便を考慮したもので、「調査地」毎の情

報整理には、タテ型の調査票（E票）、「種」毎の情報整理には、ヨコ型の調査票（N票）というように自由に選択して使用できることとした。

イ. メッシュ地形図

調査地（分布地）のメッシュコードを読みとるために、5万分の1地形図上に3次メッシュ区画線等を加刷した「1/5万メッシュ地形図」を作成し、各調査員より申告のあった調査地域分を配布した。（図1-4）

# 自然環境保全基礎調査動植物調査票

E		07	セミ類
調査者名	(姓) _____	(名) _____	調査者コード _____
カタカナ	メッシュコード _____		
調査年月日	年 月 日	日	
	1 9		
調査地	都道府県	市区町村	

- |                  |                  |                 |               |
|------------------|------------------|-----------------|---------------|
| 0001 ニイニイゼミ      | 0009 ヤクシマエゾゼミ    | 0017 エゾハルゼミ     | 0025 クロイツクツク  |
| 0002 ヤエヤマニイニイ    | 0010 アカエゾゼミ      | 0018 ヒメハルゼミ     | 0027 オガサワラゼミ  |
| 0003 ミヤコニイニイ     | 0011 キュウシュウエゾゼミ  | 0019 イワサキヒメハルゼミ | 0026 イワサキゼミ   |
| 0004 イシガキニイニイ    | 0012 クマゼミ        | 0020 ヒグラシ       | 0028 ツマグロゼミ   |
| 0005 クロイワニイニイ    | 0013 ヤエヤマクマゼミ    | 0021 タイワンヒグラシ   | 0029 イワサキクサゼミ |
| 0006 チョウセンナガニイニイ | 0014 アブラゼミ       | 0022 ミンミンゼミ     | 0030 チッチゼミ    |
| 0007 コエゾゼミ       | 0015 リュウキュウアブラゼミ | 0023 ツクツクボウシ    | 0031 エゾチッチゼミ  |
| 0008 エゾゼミ        | 0016 ハルゼミ        | 0024 オオシマゼミ     | 0032 クロイワゼミ   |

その他の確認種


環境庁自然保護局企画調整課自然環境調査室

# 自然環境保全基礎調査動植物調査票

E		09	甲虫類
調査者名	(姓) _____	(名) _____	調査者コード _____
カタカナ	メッシュコード _____		
調査年月日	年 月 日	日	
	1 9		
調査地	都道府県	市区町村	

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ハンミョウ科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1010 ヤエヤマクビナガハンミョウ</li> <li>0230 カワラハンミョウ</li> <li>0020 シロスジメダカハンミョウ</li> <li>0041 ニワハンミョウ</li> <li>0070 コニワハンミョウ</li> <li>0060 ミヤマハンミョウ</li> <li>0030 アイヌハンミョウ</li> <li>0050 ルイスハンミョウ</li> <li>0110 マガタマハンミョウ</li> <li>0100 ハンミョウ</li> <li>0091 アマミハンミョウ</li> <li>0130 エリザハンミョウ</li> <li>0120 オガサワラハンミョウ</li> <li>0170 コハンミョウ</li> <li>0150 トウキョウヒメハンミョウ</li> <li>0160 ヒメヤツボシハンミョウ</li> <li>0140 ホソハンミョウ</li> <li>0180 ヨドシロヘリハンミョウ</li> <li>0190 シロヘリハンミョウ</li> <li>0200 タテスジハンミョウ</li> <li>0210 ハラヒロハンミョウ</li> <li>0220 イカリモンハンミョウ</li> </ul> | <p>クワガタ科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0240 ツバハダクワガタ</li> <li>0260 マダラクワガタ</li> <li>0290 ルイスノヒョウタンクワガタ</li> <li>0280 チビクワガタ</li> <li>0270 オガサワラチビクワガタ</li> <li>0280 マメクワガタ</li> <li>0810 ダイトウマメクワガタ</li> <li>0350 ミヤマクワガタ</li> <li>0330 アマミヤマクワガタ</li> <li>0340 ミクラミヤマクワガタ</li> <li>0380 オニクワガタ</li> <li>0400 ヤクシマオニクワガタ</li> <li>0390 キンオニクワガタ</li> <li>0360 チャイロマルクワガタ</li> <li>0370 オキナワマルクワガタ</li> <li>0310 ルリクワガタ</li> <li>0300 コルリクワガタ</li> <li>0820 ニセコルリクワガタ</li> <li>0320 ホノツヤルリクワガタ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>0410 ノコギリクワガタ</li> <li>0412 ハチジョウノコギリクワガタ</li> <li>0430 リュウキュウノコギリクワガタ</li> <li>0420 ヤエヤマノコギリクワガタ</li> <li>0480 アマミシカクワガタ</li> <li>0520 ヒメオオクワガタ</li> <li>0530 アカアシクワガタ</li> <li>0500 コクワガタ</li> <li>0490 リュウキュウコクワガタ</li> <li>0510 スジクワガタ</li> <li>0540 チョウセンヒラタクワガタ</li> <li>0550 スジトヒラタクワガタ</li> <li>0560 ヒラタクワガタ</li> <li>0570 オオクワガタ</li> <li>0830 ヤマトサビクワガタ</li> <li>0450 ネットクワガタ</li> <li>0460 オキナワネットクワガタ</li> <li>0470 オガサワラネットクワガタ</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

その他の確認種


環境庁自然保護局企画調整課自然環境調査室

図 1 - 3 - 1 第 4 回 動植物 分布 調査票 (セミ類) (ハンミョウ・クワガタ類) E 票

# 自然環境保全基礎調査動植物調査票

E		09		甲虫類	
調査者名		調査者コード			
(姓)	(名)				
カタカナ	メッシュコード				
調査年月日		年	月	日	日
19					
調査地	都道府県	市区町村			

## ハナカミキリ類

0840 ケプトハナカミキリ	1050 ニセハムシハナカミキリ	1150 チャイロヒメハナカミキリ	1390 ニッコウヒメハナカミキリ
0850 イシガキケブトハナカミキリ	1060 キバネニセハムシハナカミキリ	1160 フタオビチビハナカミキリ	1400 マホロバヒメハナカミキリ
0860 テツイロハナカミキリ	1070 ビックニセハムシハナカミキリ	1170 ニセフタオビチビハナカミキリ	1410 キュウシュウヒメハナカミキリ
0870 ハイイロハナカミキリ	1080 アイロニセハムシハナカミキリ	1180 オヤマヒメハナカミキリ	1420 カクムネヒメハナカミキリ
0880 エゾハイイロハナカミキリ	1090 ヒナルリハナカミキリ	1190 フジヒメハナカミキリ	1430 アサマヒメハナカミキリ
0890 ニセハイイロハナカミキリ	1100 キククニセハムシハナカミキリ	1200 チュウジョウヒメハナカミキリ	1440 ブービエヒメハナカミキリ
0900 ムナコブハナカミキリ	1110 コアオサカミキリ	1210 セスジヒメハナカミキリ	2430 ツマグロヒメハナカミキリ
0910 ヒラヤマコブハナカミキリ	1120 アカムサカミキリ	1220 コトヒメハナカミキリ	1450 ムネモンヒメハナカミキリ
	1130 チャイロヒメコブハナカミキリ	1230 トサヒメハナカミキリ	1460 オオミネヒメハナカミキリ
0920 フタコブルリハナカミキリ	1140 キュウシュウヒメコブハナカミキリ	1240 ミワヒメハナカミキリ	
0930 モモグロハナカミキリ		1250 ニセヨコモンヒメハナカミキリ	1470 ミヤマヒメハナカミキリ
0940 アラメハナカミキリ		1260 ムネアコモンヒメハナカミキリ	1480 ウスイロヒメハナカミキリ
0950 カタキカタビロハナカミキリ		1270 イヨヒメハナカミキリ	1490 ヒメハナカミキリ
0960 キベリカタビロハナカミキリ		1280 シラクキヒメハナカミキリ	1500 ナガバヒメハナカミキリ
0970 フタスジカタビロハナカミキリ		1290 ヨコモンヒメハナカミキリ	1510 ホクリクヒメハナカミキリ
0980 カラフトトホシハナカミキリ		1300 クロコモンヒメハナカミキリ	1520 ツシマヒメハナカミキリ
0990 トホシハナカミキリ		1310 ミチノクヒメハナカミキリ	1530 ミスジヒメハナカミキリ
1000 クモマハナカミキリ		1320 ヤマトヒメハナカミキリ	1540 オオヒメハナカミキリ
1010 カラカネハナカミキリ		1330 シラネヒメハナカミキリ	1550 イシズチヒメハナカミキリ
1020 オトメクビアハナカミキリ		1340 トウホクヒメハナカミキリ	1560 ヒミコヒメハナカミキリ
1030 クビアドクガネハナカミキリ		1350 ホソガタヒメハナカミキリ	1570 キベリクロヒメハナカミキリ
1040 クビアカハナカミキリ		1360 マツシタヒメハナカミキリ	1580 シナノヒメハナカミキリ
		1370 ハクバヒメハナカミキリ	1590 フイリヒメハナカミキリ
		1380 シコクヒメハナカミキリ	1600 タカネヒメハナカミキリ

1610 チビハナカミキリ	1780 ルリハナカミキリ	2010 エトロフハナカミキリ	2220 タケウチホソハナカミキリ
1620 ホクテチビハナカミキリ	1800 ヒメアカハナカミキリ	2020 カタキハナカミキリ	2230 オオシマホソハナカミキリ
1630 ヘリグロホソハナカミキリ	1810 ヨコグロハナカミキリ	2030 キソコマベニハナカミキリ	2240 ジャコウホソハナカミキリ
1640 ヘリウスハナカミキリ	1820 ツヤケシハナカミキリ	2040 オオヨツスジハナカミキリ	2250 クロソソホソハナカミキリ
1650 ヒゲトハナカミキリ	1830 ニイタカハナカミキリ	2050 オオクロハナカミキリ	2260 ヒゲナガホソハナカミキリ
1660 クビソソハナカミキリ	1840 アカハナカミキリ	2060 モモトハナカミキリ	2270 ベニバハナカミキリ
1670 スミイロハナカミキリ	1850 ブチヒゲハナカミキリ	2070 カエダノヘリグロハナカミキリ	2280 ヤヤマヒオドシハナカミキリ
1680 ムナミゾハナカミキリ	1860 イガブチヒゲハナカミキリ	2080 クロサフヘリグロハナカミキリ	2290 ヒイロハナカミキリ
1690 シララカハナカミキリ	1870 オオハナカミキリ	2090 ヒゲジロハナカミキリ	2300 アマミアカハネハナカミキリ
1700 ヤマトキモンハナカミキリ	1880 ドイハナカミキリ	2100 アオバホソハナカミキリ	2310 キヌツヤハナカミキリ
1710 マルガタハナカミキリ	1890 クロハナカミキリ	2110 ニョウホウホソハナカミキリ	
1720 スバタマハナカミキリ	1900 ムネアカクロハナカミキリ	2120 ヤヤマクロスジホソハナカミキリ	2320 オニホソコバネカミキリ
1730 チャボハナカミキリ	1910 キモンハナカミキリ	2130 ホソハナカミキリ	2330 アイヌホソコバネカミキリ
1740 クロチャボハナカミキリ	1920 ヤツボシハナカミキリ	2140 タテジマホソハナカミキリ	2340 ヤクシマホソコバネカミキリ
1750 オキナフチャボハナカミキリ	1930 ツマグロハナカミキリ	2150 ニンフホソハナカミキリ	2350 アマミホソコバネカミキリ
1760 ミヤママルリハナカミキリ	1940 カラフトヨツスジハナカミキリ	2160 ミヤマホソハナカミキリ	2360 カラフトホソコバネカミキリ
1770 ミヤマクロハナカミキリ	1950 ヨツスジハナカミキリ	2170 ニセハコネホソハナカミキリ	2370 ホソコバネカミキリ
1780 クロルリハナカミキリ	1960 コヨツスジハナカミキリ	2180 ハコネホソハナカミキリ	2380 ウスリーホソコバネカミキリ
	1970 ヤクシマヨツスジハナカミキリ	2190 マルオカホソハナカミキリ	2390 オオホソコバネカミキリ
	1980 ヒメヨツスジハナカミキリ	2200 ヨスジホソハナカミキリ	2400 クロホソコバネカミキリ
	1990 ハネビロハナカミキリ	2210 コウヤホソハナカミキリ	2410 ヒゲジロホソコバネカミキリ
	2000 フタスジハナカミキリ		2420 トグリバネホソコバネカミキリ

## その他の確認種


環境庁自然保護局企画調整課自然環境調査室

図 1 - 3 - 2 第 4 回動植物分布調査票 (ハナカミキリ類) E 票 (表・裏)

## 自然環境保全基礎調査動植物分布調査票

N							
調査者名	調査者コード	種名コード					
(姓) カタカナ	(名)	採集者名	種名				
メッシュコード	調査地	年	月	日	生息環境		
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				

		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				
		1	9				

標本所蔵場所

環境庁自然保護局自然環境調査室

図 1 - 3 - 3 第 4 回動植物分布調査票 N 票 (表・裏)



## 2. 取りまとめの方法

### (1) 情報処理の内容と方法

情報処理は図1-5の手順で進められた。

#### ① 入力

調査員より返送された調査票は、記入の不備等を点検した上で、分類群別、調査票種別（タテ型、ヨコ型）毎に整理番号を付し、分類群別マスターファイル（MT）を作成した。

なお、調査地（分布地）のメッシュコードは、前述のとおり行政管理庁告示の「標準地域メッシュシステム」に則り、日本工業規格（JIS C 6304）として指定されている区分方法（経緯度法）を用いている。（図1-6参照）

#### ② データの点検

データの記入ミスあるいは調査対象種の誤認等を訂正するため、次に示す3通りの方法でデータの点検を行い、必要に応じ調査者に照会するなどにより、所要の訂正を行った。

なお、本作業を行うにあたっては、マスターファイルを編集し、作業用ファイルを作成するとともに、分布図出力及び調査票検索システムを作成した。

点検の結果、訂正等を要するデータについては、マスターファイルに遡って訂正した。

#### ア. 論理チェック

データの中にあってはならない空白もしくは許されたもの以外の数字、符号、文字がないかどうかを点検するとともに、各項目のコード番号として用いられている範囲（レンジ）外のコード番号がないかどうかを点検した。

#### イ. メッシュコードの点検

第3回自然環境保全基礎調査の植生調査数値情報との照合を行い、明らかに陸地（内水面を含む）を含まないメッシュコードの記入された調査票を検索し、調査票記入の調査地（地名）もしくは調査者への照会に基づき訂正を行った。

#### ウ. 専門家による点検

各分類群毎の分科会検討委員等によって抽出された、分布図上で、明らかに誤りと考えられるデータ、これまでの知見に照らして疑問のあるデータについて、調査票に遡って点検を行い、必要に応じ調査員に照会を行った上で所要の訂正又は削除を行った。

#### ③ 分布図及び集計表の出力

上記の作業を経た訂正後のマスターファイルを再編集し、その後第3回自然環境保全基礎調査動植物分布調査結果のマスターファイルと合併した上で本報告書掲載の分布図及び集計表の出力を行った。

### (2) 調査結果の検討及び考察

調査結果については、分類群毎に分科会で下記のとおり検討を行った。

#### ① 分布図の表示単位

本調査の原データは、前述の通り3次メッシュ（約1km×1km）単位で収集されたが、今回のとりまとめにおいて作成する分布図は次の観点から2次メッシュ（約10km×10km）単位で表示することとした。

- ア. 全国的分布図として見る場合、見やすいものであること。
- イ. 生息地の公表による乱獲を防止するため、生息地が特定されないようにできるだけ広い単位であること。
- ウ. 各種開発に当たり、配慮すべき地域（貴重種の生息地等）に関する基礎的情報をあらかじめ提供することは、自然環境保全上重要であるので、上記イ. の観点も踏まえ公表可能な表示単位であること。

#### ② 公表を控えるべきデータの取り扱い

第2回自然環境保全基礎調査・動物分布調査では、上記①ーイ. の観点から、分布地を全て非公表とした調査対象種もあった。

今回調査でも、調査員からの申し出により、3次メッシュでの公表を差し控えるべきデータが若干数報告されたが、上記①ーウ. の趣旨に則り、調査員の了解が得られたデータについては、2次メッシュ情報のみ入力し、分布図に表示することとした。

#### ③ 分布図についてのコメント

今回調査では、調査の期間が限られており、また分類群あるいは地域によっては、十分な調査員数が確保できなかったこと等から、調査対象種全てについて従来から知られている分布パターンを十分表した分布図が作成されたわけではない。

そこで、分布図の誤った解釈や不適切な引用を避けるために、各分科会検討員によりそれぞれの調査対象種がどの程度従来から知られている分布パターンを表現できているかについて類型区分の判定を行い、分布図上に短いコメントとして明記することとした。

#### ④ 考 察

調査結果に関する考察は、各分科会において選出された担当者により執筆された。

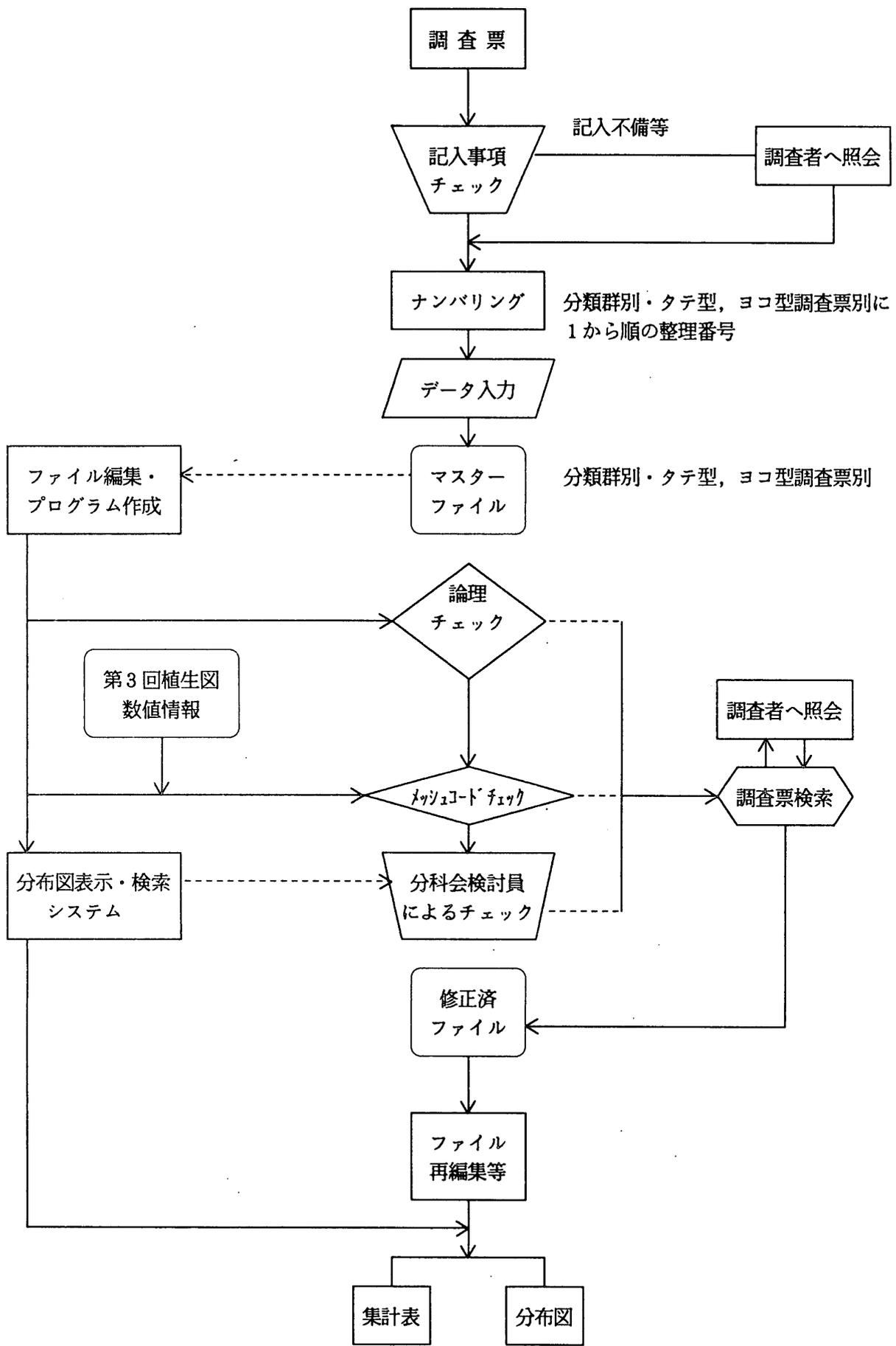


図1-5 情報処理の手順

■メッシュコードの付け方

「標準地域メッシュ・システム」(昭48. 行政管理庁告示第143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」)は、一定の経線、緯線で地域を網の目状に区画する方法を用いている(下図のとおり)。

第1次地域区画は、経度差1度、緯度差40分で区画された範囲を指す。第2次地域区画は、第1次地域区画を縦横8等分したもので、第3次地域区画は第2次地域区画を縦横10等分したものである。一般に、この第3次地域区画のことを「基準地域メッシュ」あるいは「第3次メッシュ」と呼ぶ。

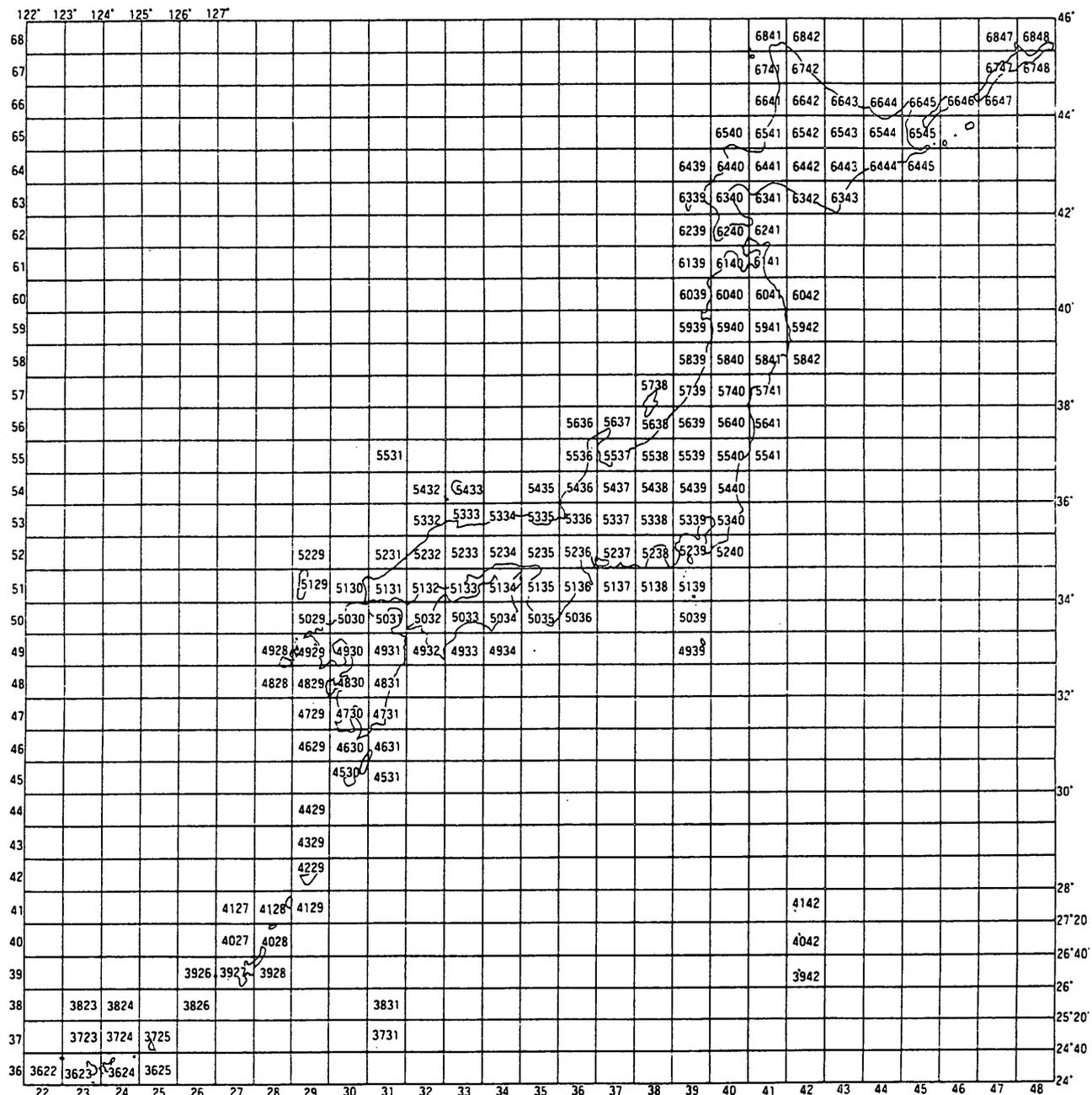


図1-6 第1次地域メッシュコード一覧

表1-1 メッシュコードの付け方

	メッシュコードの桁数	メッシュコードの付け方	例
第1次地域区画	4桁	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上2桁：南端緯度×1.5 (但し、分の単位も含む)</li> <li>●下2桁：西端経度の下2桁</li> <li>●南端緯度36° 00' 西端経度138° の場合 &lt;上2桁=36×1.5=54&gt; &lt;下2桁=38&gt; → メッシュコードは [5438]</li> </ul>	
第2次地域区画	6桁	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上4桁：第1次地域区画のメッシュコード</li> <li>●5桁目：第1次地域区画の縦の等分区画に南から0～7の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする</li> <li>●6桁目：第1次地域区画の横の等分区画に西から0～7の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする</li> <li>●右図の○印のメッシュコードは [543823]</li> </ul>	
基準地域メッシュ・第3次地域区画	8桁	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上6桁：第2次地域区画のメッシュコード</li> <li>●7桁目：第2次地域区画の縦の等分区画に南から0～9の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする</li> <li>●8桁目：第2次地域区画の横の等分区画に西から0～9の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする</li> <li>●右図の○印のメッシュコードは [54382343]</li> </ul>	

(3) 分類群別の調査状況

分類群別の調査状況を表1-2に示す。

表1-2 分類群別調査状況

分類群	① 調査 対象 種数	② 報告の あった 種数	③ 延べ報告件数 分布情報総数	④ 延べ報告 3次メッシュ数	⑤ 報告2次 メッシュ数 全国:4,730	⑥ 調査 員数
哺乳類	135	126	229,710	225,542	4,154	1,370
両生類・爬虫類	147	130	11,886	10,407	1,600	76
淡水魚類	278	266	60,361	44,202	2,331	192
昆虫類						
トンボ類	203	203	22,836	18,413	1,778	61
チョウ類	295	259	167,439	128,424	2,715	421
セミ類	32	32	6,146	5,563	1,311	32
ガ類	119	101	8,925	6,063	538	65
甲虫類						
ハシロウ・クワガタ	59	57	4,094	3,440	976	46
ハナカミキリ類	160	156	12,663	10,600	949	37
陸産及び淡水産貝類	1,028	923	92,306	71,174	2,774	221
計	2,456	2,253	616,366	523,828	19,126	2,521

注)

- ①調査対象種数：各報告書の巻末資料に示された調査対象種（亜種）（コード番号が付されたもの）の数である。  
淡水魚類については、種の同定が困難な場合に「〇〇類」として情報を収集しており、種数には「類」の数も含まれる。  
陸産及び淡水産貝類については、対象種数1028種の中に、91種の種と基亜種が含まれている。  
ハナカミキリ類については、別種だと思われていた2種が調査開始後に同種と判明したため、報告書とりまとめの段階では、調査対象種は159種、情報のあった種は155種となった。
- ②報告のあった種数：本調査の結果、分布に関する報告がされた（分布図が作成された）種（亜種）の数である。
- ③延べ報告件数：各調査票に記載された報告を、「種-調査者-メッシュコード-調査年月」という単位で整理して得られた分布情報の総数である。  
(分布情報総数)
- ④延べ報告メッシュ数：上記(3)の分布情報から、同一種、同一メッシュにおける報告を統合し、「種-メッシュコード」という単位で整理して得られた数である。（各報告書の表2-1に示された「種別・都道府県別3次メッシュ集計表」の総合計の数）  
(3次メッシュ)
- ⑤報告メッシュ数：当該分類群において、いずれかの種の報告が得られた2次メッシュの数である。（各報告書の表1-4、図1-7に表示されたメッシュ数）  
(2次メッシュ)
- ⑥調査員数：各分類群毎に、報告を寄せられた調査員の数。

### 3. 昆虫（セミ）類の調査実施状況

#### (1) 調査対象種

日本産のセミ科の全種32種（亜種を含む）を調査対象とした。

#### (2) 調査員

分科会検討員より推薦された専門研究者の中から32名が参加・協力した。

調査員の居住地（都道府県）別人数は、表1-3のとおりである。

表1-3 調査員居住地（都道府県）別人数

北海道	1	東京	4	滋賀	0	香川	0
青森	1	神奈川	3	京都	0	愛媛	1
岩手	1	新潟	0	大阪	1	高知	0
宮城	0	富山	0	兵庫	2	福岡	1
秋田	0	石川	0	奈良	0	佐賀	0
山形	0	福井	4	和歌山	0	長崎	0
福島	0	山梨	0	鳥取	0	熊本	1
茨城	0	長野	0	島根	1	大分	1
栃木	1	岐阜	0	岡山	1	宮崎	0
群馬	0	静岡	1	広島	0	鹿児島	0
埼玉	1	愛知	1	山口	0	沖縄	2
千葉	1	三重	2	徳島	0	計	32

#### (3) 調査状況

##### ① 全国の調査状況

セミ類に係る調査状況は表1-4のとおりである。

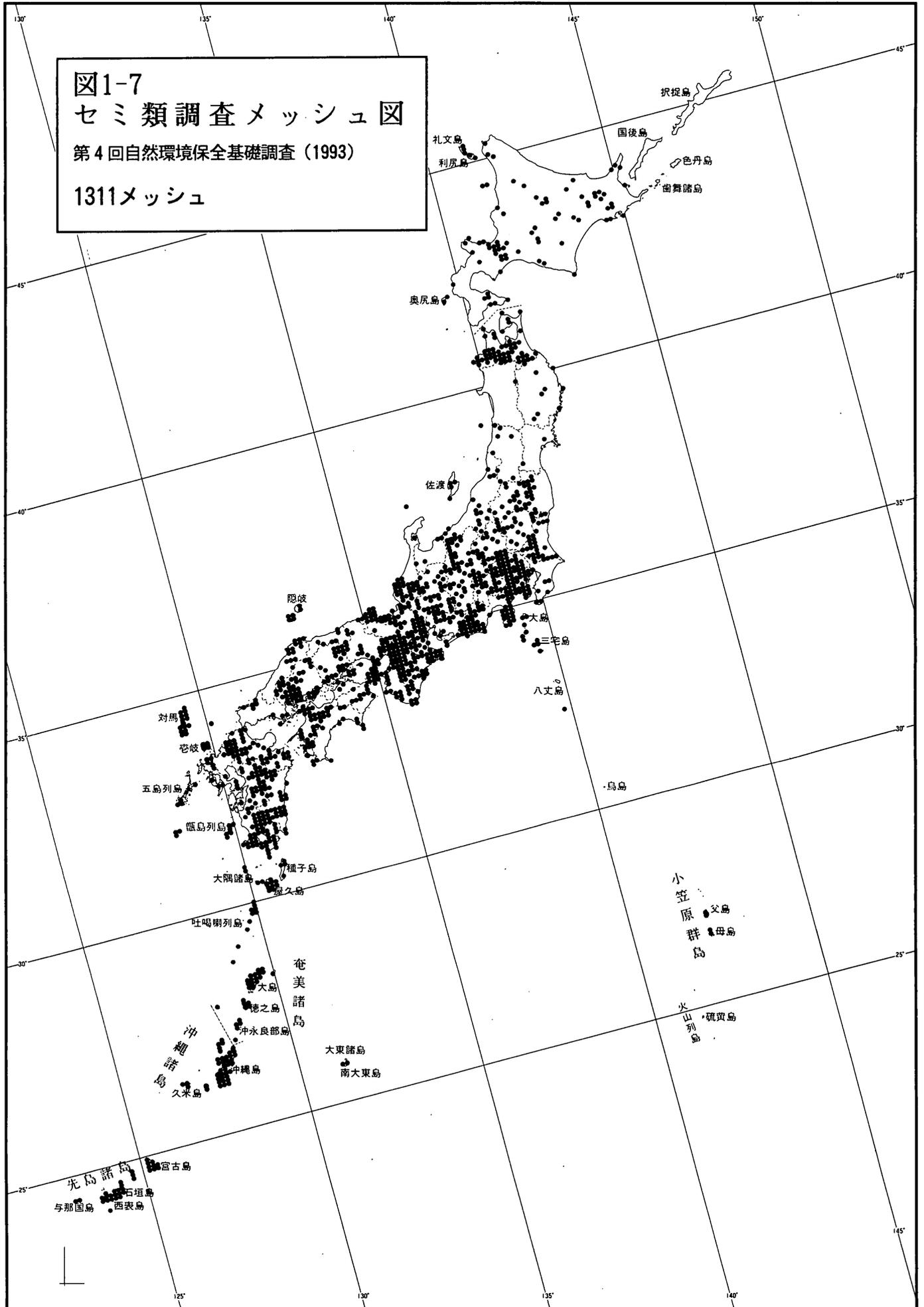
また、当該分類群のいずれかの種について報告のあった2次メッシュを全て表示したものを図1-7に示す。

表1-4 セミ類調査状況総括表

調査対象種	32
報告のあった種数	32
調査員数	32
延べ報告件数*1	6, 146
延べ報告メッシュ数(3次メッシュ)*2	5, 563
“ (2次メッシュ)*3	3, 384
セミ類報告メッシュ数(3次メッシュ)*4	3, 148
“ (2次メッシュ)*5	1, 311



図1-7  
 セミ類調査メッシュ図  
 第4回自然環境保全基礎調査(1993)  
 1311メッシュ



#### 4. 昆虫（甲虫－ハンミョウ・クワガタ）類の調査実施状況

##### （1）調査対象種

日本産の鞘翅目（甲虫類）は、およそ 8,000種にのぼるが、その中から環境指標性に着目してハンミョウ科、クワガタムシ科、ハナカミキリ亜科を対象とし、ハンミョウ・クワガタ類はハンミョウ類の全種22種（亜種を含む）及びクワガタ類の全種37種（亜種を含む）を調査対象とした。

##### （2）調査員

分科会検討員より推薦された専門研究者の中から46名が参加・協力した。調査員の居住地（都道府県）別人数は、表1-6のとおりである。

表1-6 調査員居住地（都道府県）別人数

北海道	1	東京	7	滋賀	0	香川	0
青森	2	神奈川	2	京都	1	愛媛	0
岩手	1	新潟	0	大阪	3	高知	1
宮城	2	富山	2	兵庫	2	福岡	1
秋田	0	石川	1	奈良	0	佐賀	0
山形	0	福井	1	和歌山	1	長崎	1
福島	0	山梨	1	鳥取	0	熊本	0
茨城	2	長野	1	島根	1	大分	0
栃木	2	岐阜	1	岡山	0	宮崎	0
群馬	1	静岡	0	広島	1	鹿児島	2
埼玉	0	愛知	1	山口	1	沖縄	0
千葉	1	三重	2	徳島	0	計	46

##### （3）調査状況

###### ①全国の調査状況

ハンミョウ・クワガタ類に係る調査状況は表1-7のとおりである。

また、当該分類群のいずれかの種について報告のあった2次メッシュを全て表示したものを図1-8に示す。

表1-7 ハンミョウ・クワガタ類調査状況総括表

調査対象種	59
報告のあった種数	57
調査員数	46
延べ報告件数*1	4,094
延べ報告メッシュ数（3次メッシュ）*2	3,440
“（2次メッシュ）*3	2,624
ハンミョウ・クワガタ類報告メッシュ数（3次メッシュ）*4	1,932
“（2次メッシュ）*5	976

- \* 1 「ある調査員」から「ある調査対象種」について「あるメッシュ」において「ある調査年月日」に記録された報告を1件としてカウントされた数の総合計
- \* 2 \* 1のうち、同一種、同一メッシュ（3次メッシュ）における情報を統合して得られた延べ数
- \* 3 \* 1のうち、同一種、同一メッシュ（2次メッシュ）における情報を統合して得られた延べ数（種別分布図に記されたプロット数の総合計）
- \* 4 当該分類群のいずれかの種について報告のあった3次メッシュ数（全国：380,172メッシュ）
- \* 5 “ 2次メッシュ数（全国：4,730メッシュ）

②分布図データの年代別状況

全分布図に表示されたデータの調査年代別の内訳は、表1-8のとおりである。但し、全報告データのうち、同一種、同一2次メッシュの報告については、最新のデータをもって代表させている。

表1-8 分布図データの年代別状況

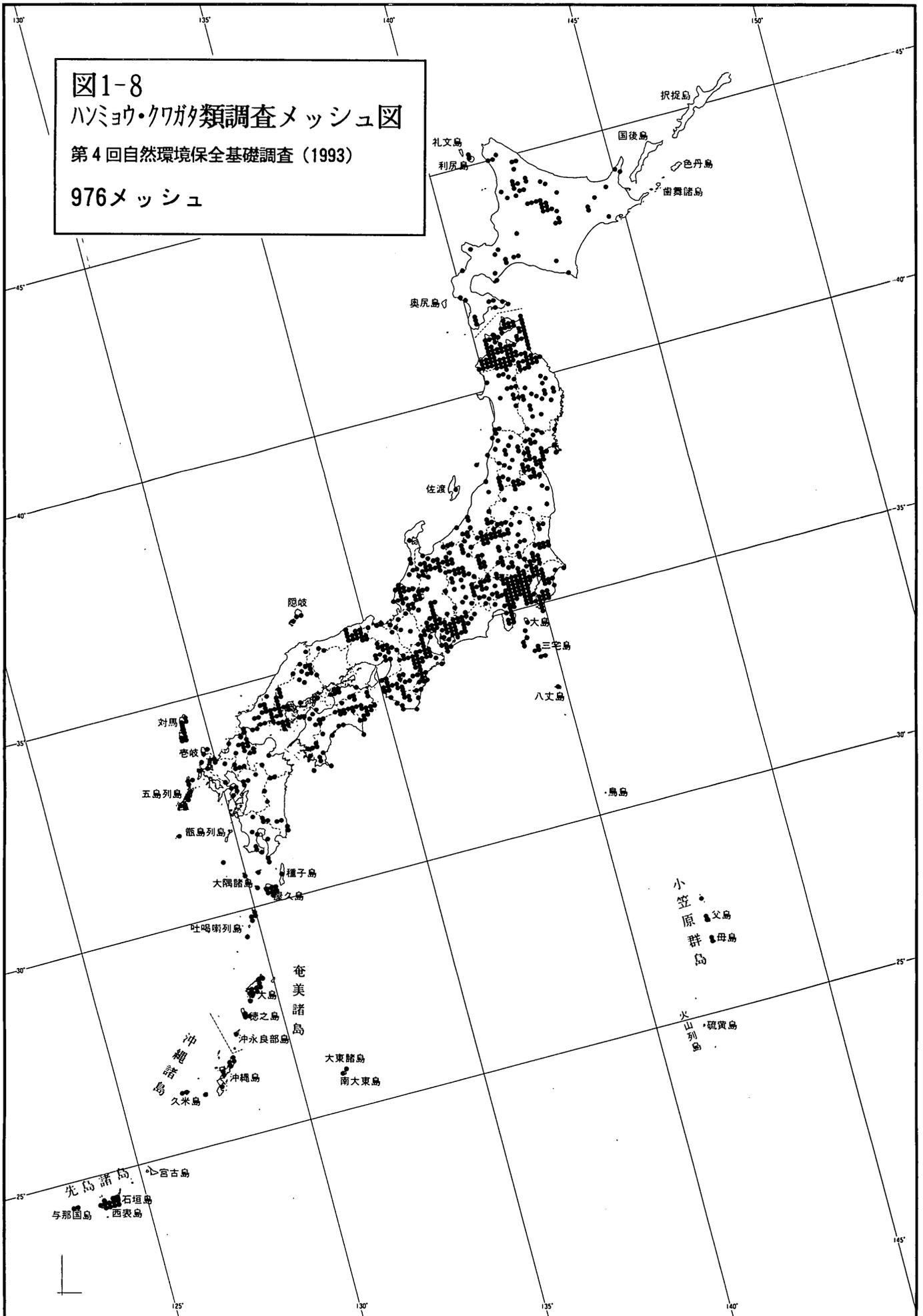
ハシヨウ・クガタ類データ収集時期	メッシュ数	構成比(%)
昭和19年以前	12	0.46
昭和20年代	52	1.98
昭和30年代	273	10.40
昭和40-44年	99	3.77
昭和45-49年	223	8.50
昭和50-54年	259	9.87
昭和55-59年	844	32.16
昭和60-64年	636	24.24
平成2年以降	219	8.35
調査年代無記入	7	0.27
合 計	2,624	100.00

図1-8

ハミヨウ・クワガタ類調査メッシュ図

第4回自然環境保全基礎調査(1993)

976メッシュ



## 5. 昆虫（甲虫－ハナカミキリ）類の調査実施状況

### （1）調査対象種

日本産の鞘翅目（甲虫類）は、およそ 8,000種にのぼるが、その中から環境指標性に着目してハンミョウ科、クワガタムシ科、ハナカミキリ亜科を対象とし、ハナカミキリ類は、その全種160種（亜種を含む）を調査対象とした。

### （2）調査員

分科会検討員より推薦された専門研究者の中から37名が参加・協力した。

調査員の居住地（都道府県）別人数は、表1-9のとおりである。

表1-9 調査員居住地（都道府県）別人数

北海道	0	東京	18	滋賀	0	香川	0
青森	1	神奈川	2	京都	0	愛媛	0
岩手	0	新潟	0	大阪	2	高知	0
宮城	0	富山	0	兵庫	1	福岡	0
秋田	0	石川	0	奈良	0	佐賀	0
山形	0	福井	0	和歌山	1	長崎	0
福島	1	山梨	1	鳥取	0	熊本	0
茨城	0	長野	0	島根	0	大分	1
栃木	1	岐阜	1	岡山	1	宮崎	0
群馬	0	静岡	1	広島	0	鹿児島	1
埼玉	0	愛知	1	山口	0	沖縄	0
千葉	1	三重	2	徳島	0	計	37

### （3）調査状況

#### ①全国の調査状況

ハナカミキリ類に係る調査状況は表1-10のとおりである。

また、当該分類群のいずれかの種について報告のあった2次メッシュを全て表示したものを図1-9に示す。

表1-10 ハナカミキリ類調査状況総括表

調査対象種	160
報告のあった種数	156
調査員数	37
延べ報告件数*1	12,663
延べ報告メッシュ数（3次メッシュ）*2	10,600
“（2次メッシュ）*3	7,702
ハナカミキリ類報告メッシュ数（3次メッシュ）*4	2,217
“（2次メッシュ）*5	949

- \* 1 「ある調査員」から「ある調査対象種」について「あるメッシュ」において「ある調査年月日」に記録された報告を1件としてカウントされた数の総合計
- \* 2 \* 1のうち、同一種、同一メッシュ（3次メッシュ）における情報を統合して得られた延べ数
- \* 3 \* 1のうち、同一種、同一メッシュ（2次メッシュ）における情報を統合して得られた延べ数（種別分布図に記されたプロット数の総合計）
- \* 4 当該分類群のいずれかの種について報告のあった3次メッシュ数（全国：380,172メッシュ）
- \* 5 " " 2次メッシュ数（全国：4,730メッシュ）

②分布図データの年代別状況

全分布図に表示されたデータの調査年代別の内訳は、表1-11のとおりである。但し、全報告データのうち、同一種、同一2次メッシュの報告については、最新のデータをもって代表させている。

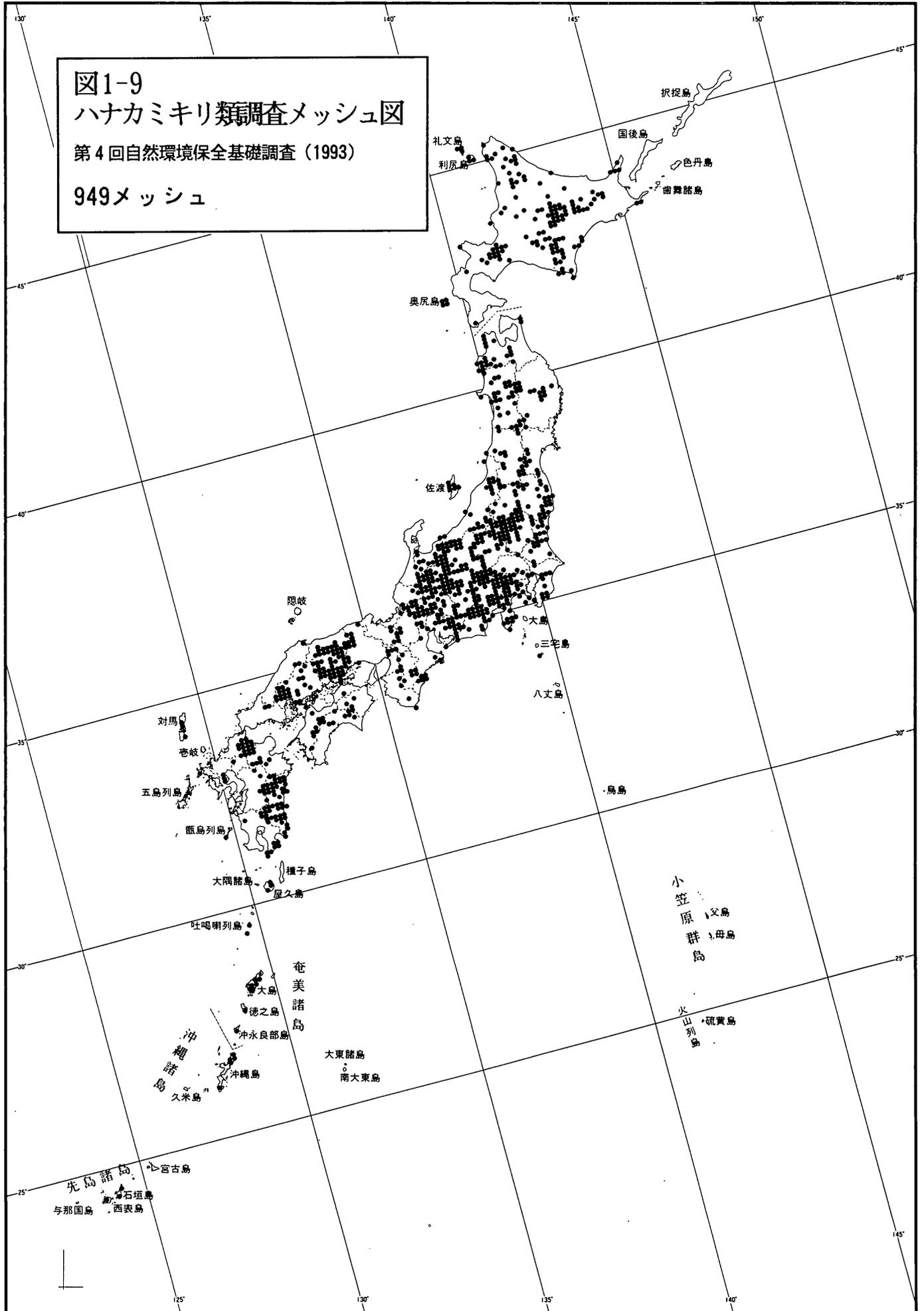
表 1 - 11 分布図データの年代別状況

ハナカミキリ類データ収集時期	メッシュ数	構成比 (%)
昭和19年以前	0	0.00
昭和20年代	40	0.52
昭和30年代	170	2.21
昭和40-44年	231	3.00
昭和45-49年	713	9.26
昭和50-54年	1,116	14.49
昭和55-59年	1,624	21.09
昭和60-64年	2,311	30.01
平成2年以降	1,497	19.44
調査年代無記入	0	0.00
合 計	7,702	100.00

図1-9  
ハナカミキリ類調査メッシュ図

第4回自然環境保全基礎調査(1993)

949メッシュ



## 第2部 調査結果

### (1) 昆虫(セミ)類



## I . 分 布 図

調査対象種のうち、原則として、1件でも報告があった種（亜種）について分布図（32枚）を作成した。分布図の配列は、分類順（巻末資料「調査対象種一覧」に示された調査対象種・亜種の順）である。

分布図の表示単位は2次メッシュ（1/25,000地形図1枚の区画に相当する。およそ10km×10km）とした。報告の年代が1985年以前又は不明である場合は⊙印を、1985年より新しい場合は●印を表示した。⊙あるいは●印は、当該種（亜種）が生息すると報告のあった2次メッシュの中心の位置を示すものであり、必ずしも分布地の中心を示すものではないことに留意されたい。

各種（亜種）の分布図には種（亜種）ごとに、えられた情報量の評価と外来種などその種に関する特記事項を付した。えられた情報量の評価は「分布パターンを表している」、「やや情報不足」、「情報不足」の3段階とした。基準は下の通りである。

### 「分布パターンを表している」

従来から知られている当該種の分布パターンをほぼ表す情報が収集されたもの。なお、広域分布種については、必ずしも稠密な報告が寄せられたか否かを判定基準とはせず、全体の輪郭が把握されたものは、この類型に含める。

### 「やや情報不足」

従来から知られている当該種の分布パターンをかなり表してはいるが、一部の地域からの情報が欠けているなど、完全に表したとはいえず、今後なお情報空白地域の解消に努める必要がある。

### 「情報不足」

広域分布種であるにも拘らず、限られた地域からの情報しか得られなかったもの。あるいは、模式産地等重要な分布地またはその周辺地域からの情報がないなど、当該種の分布を語る上で極めて不十分な情報しか得られなかったもの。



# 昆虫（セミ）類分布図

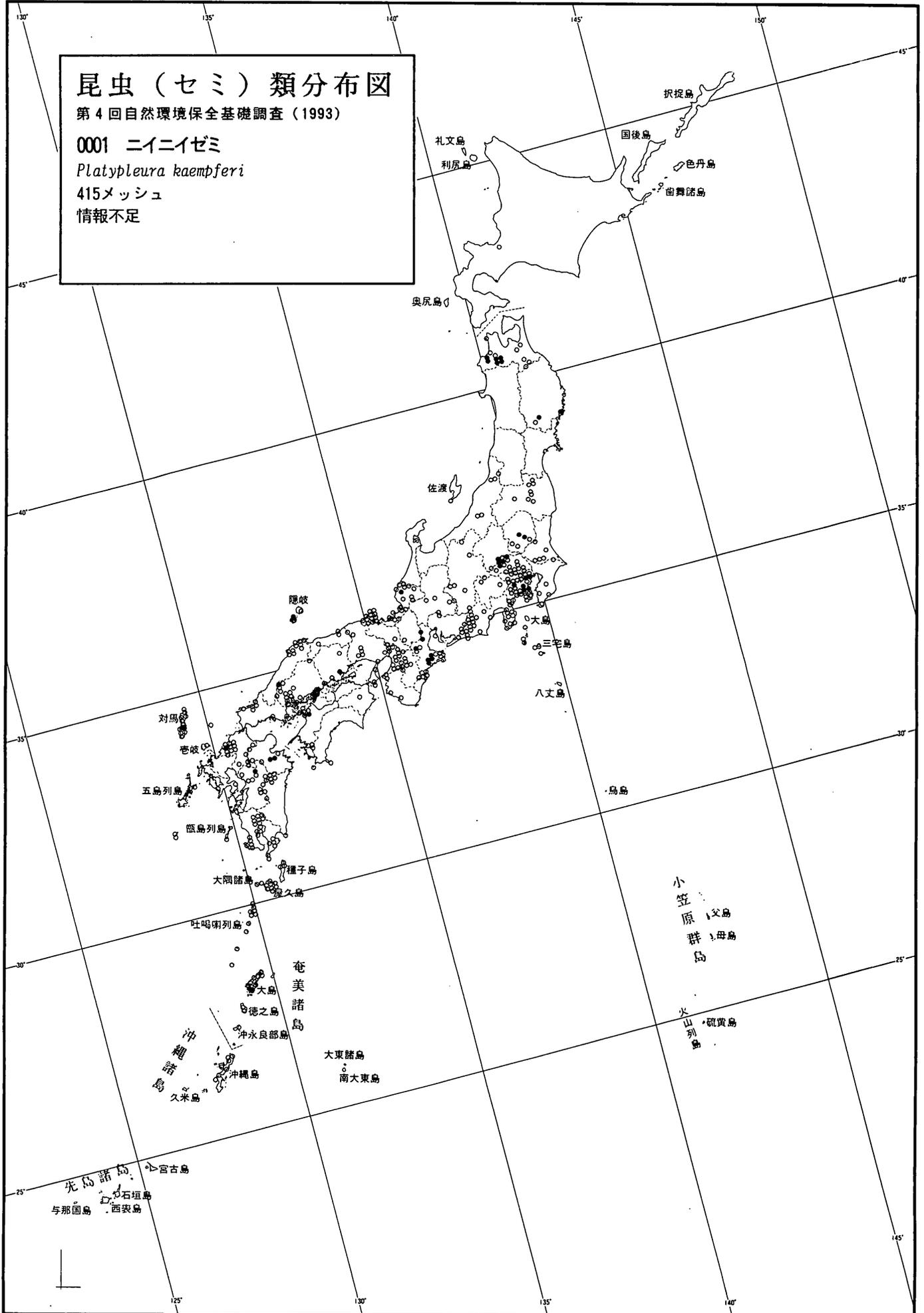
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0001 ニイニイゼミ

*Platypleura kaempferi*

415メッシュ

情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

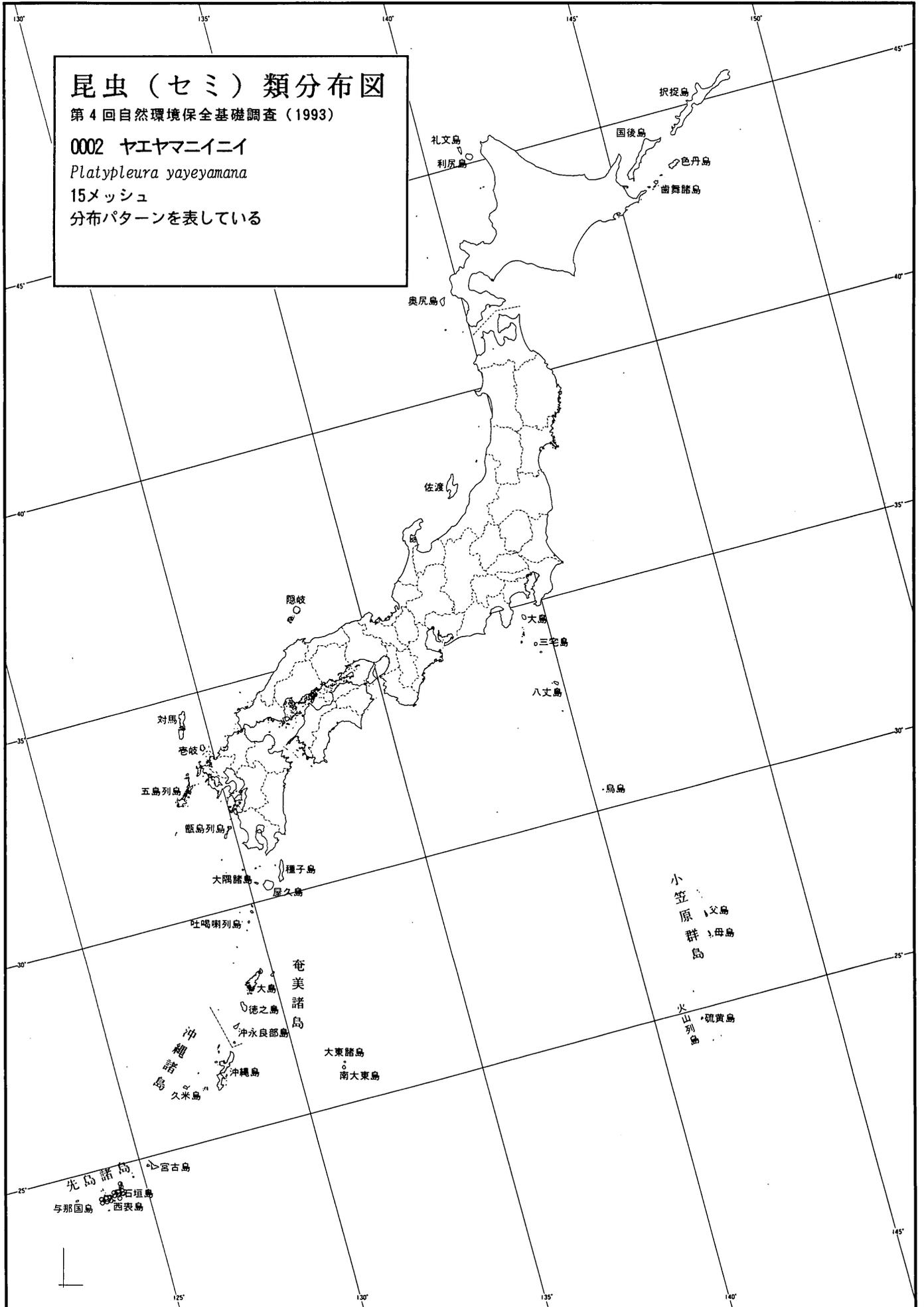
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0002 ヤエヤマニイニイ

*Platypleura yayeyamana*

15メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

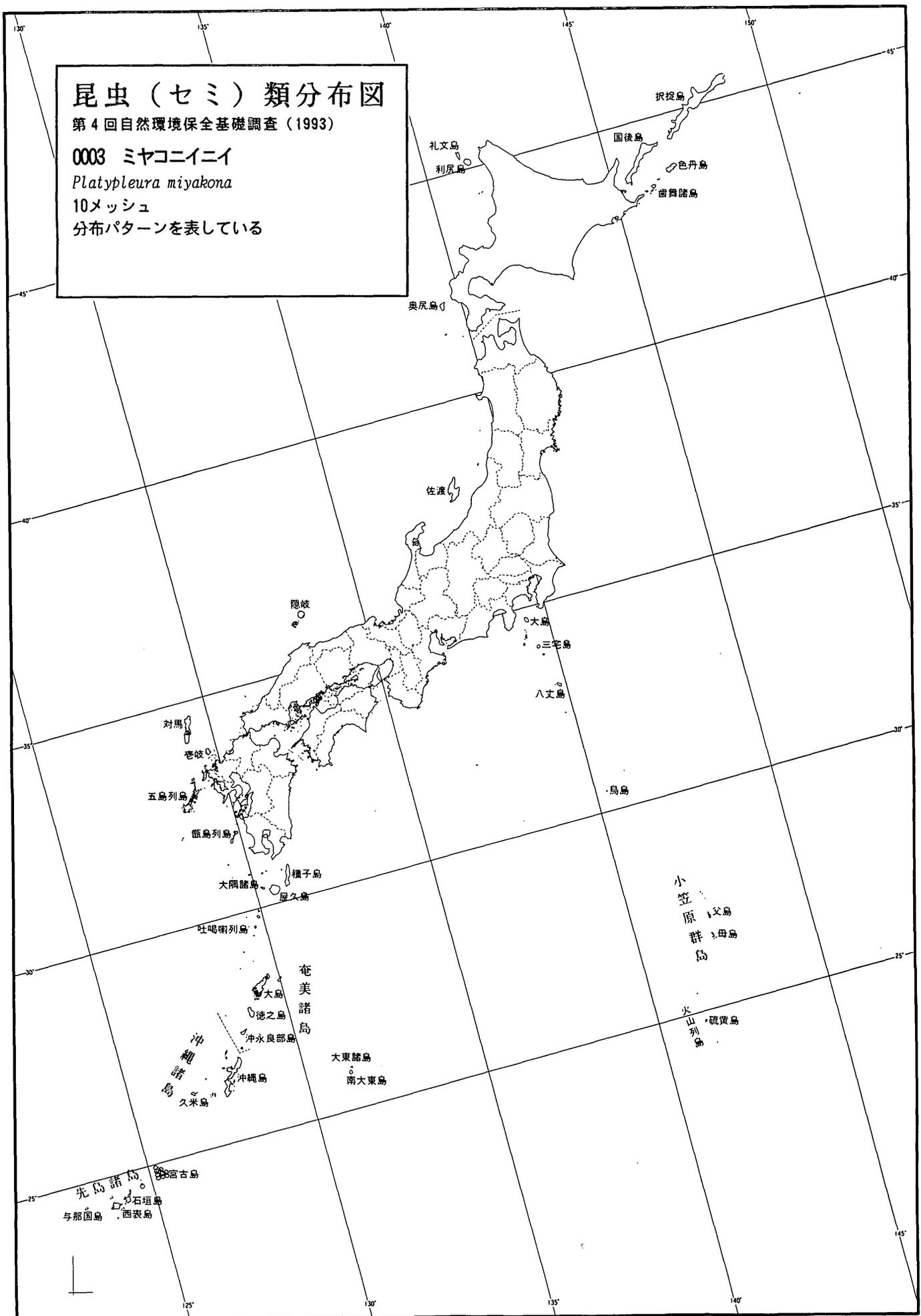
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0003 ミヤコニイニ

*Platypleura miyakona*

10メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

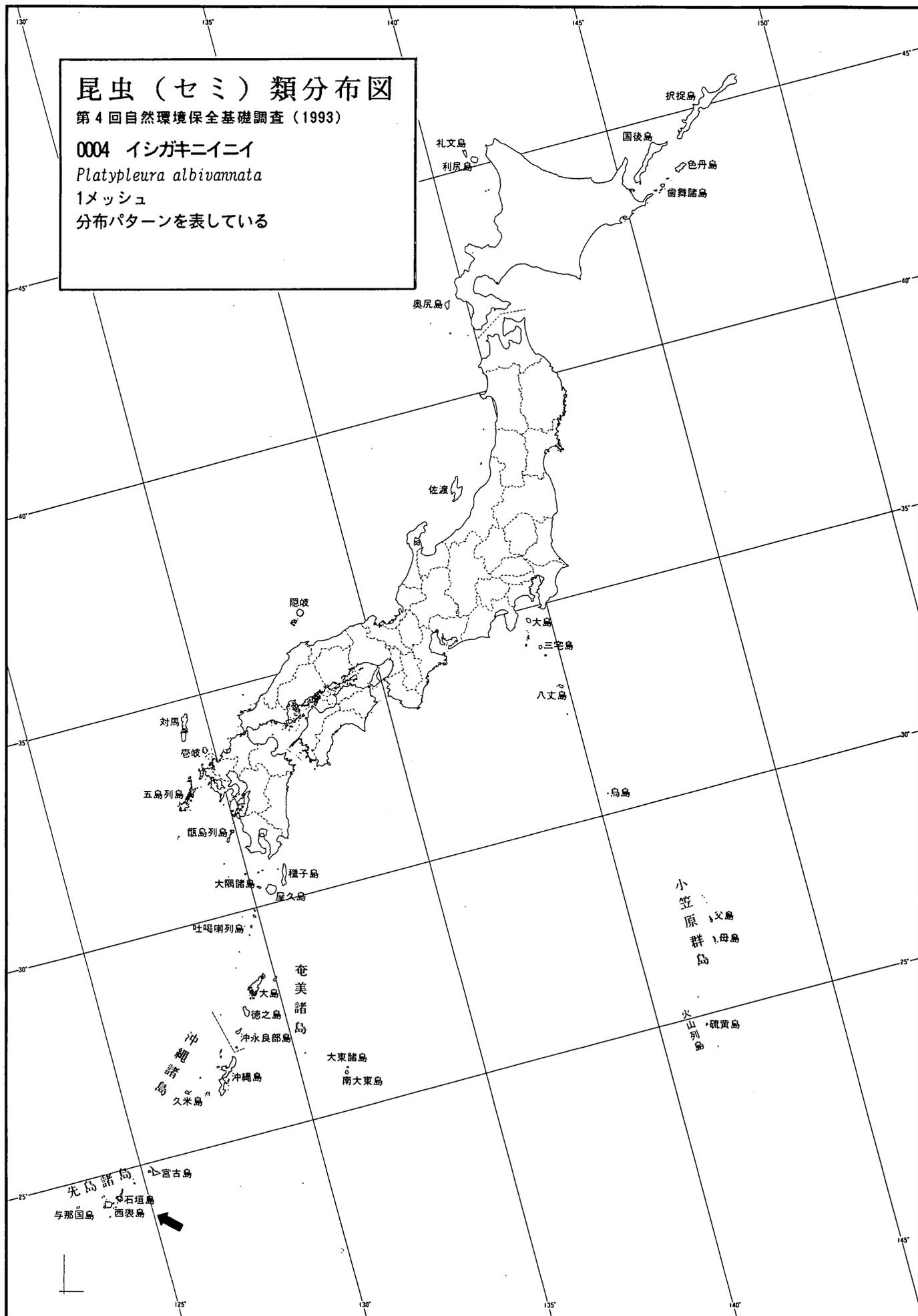
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0004 イシガキニイニイ

*Platypleura albivannata*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

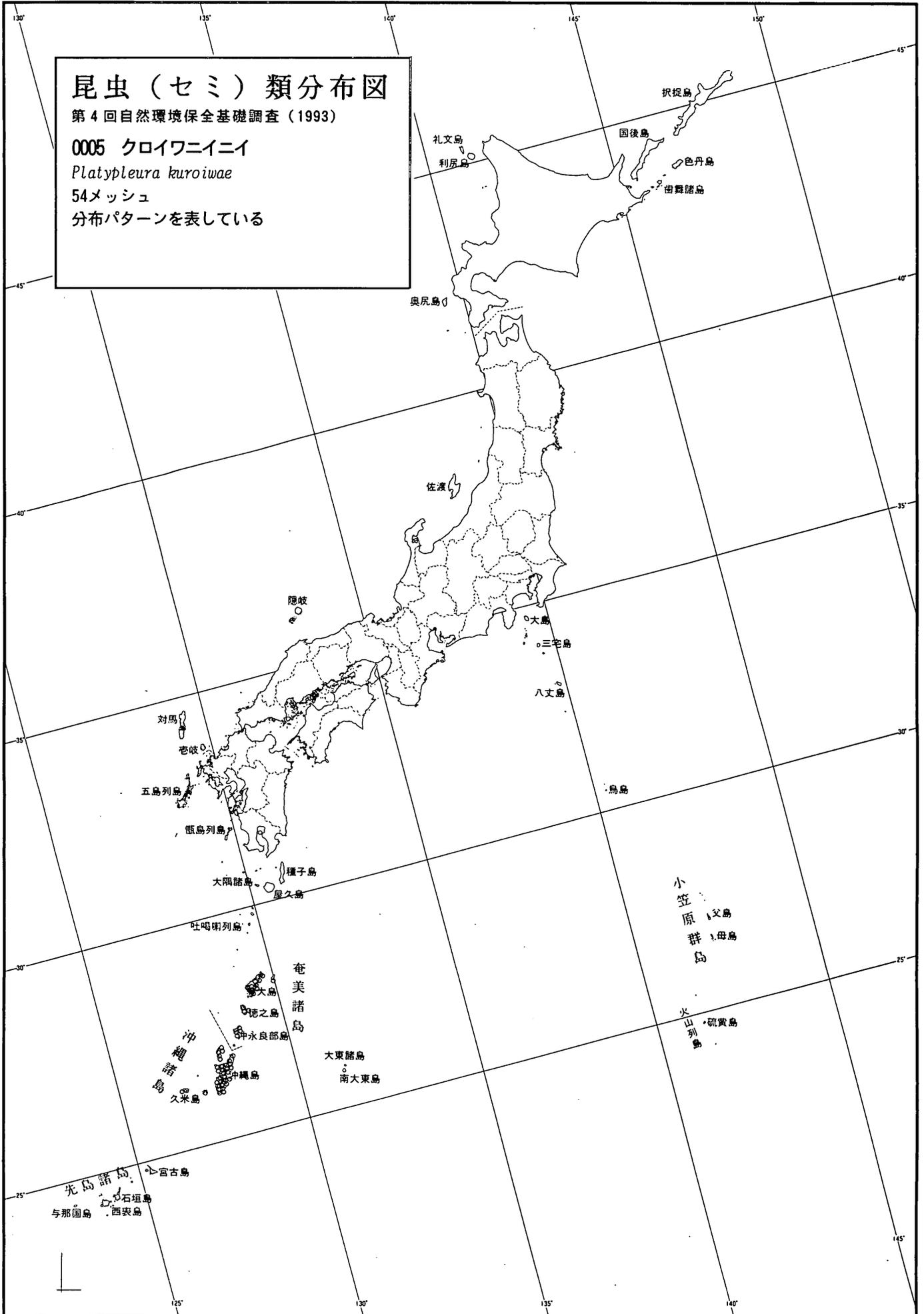
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0005 クロイワニイニ

*Platypleura kuroiwae*

54メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

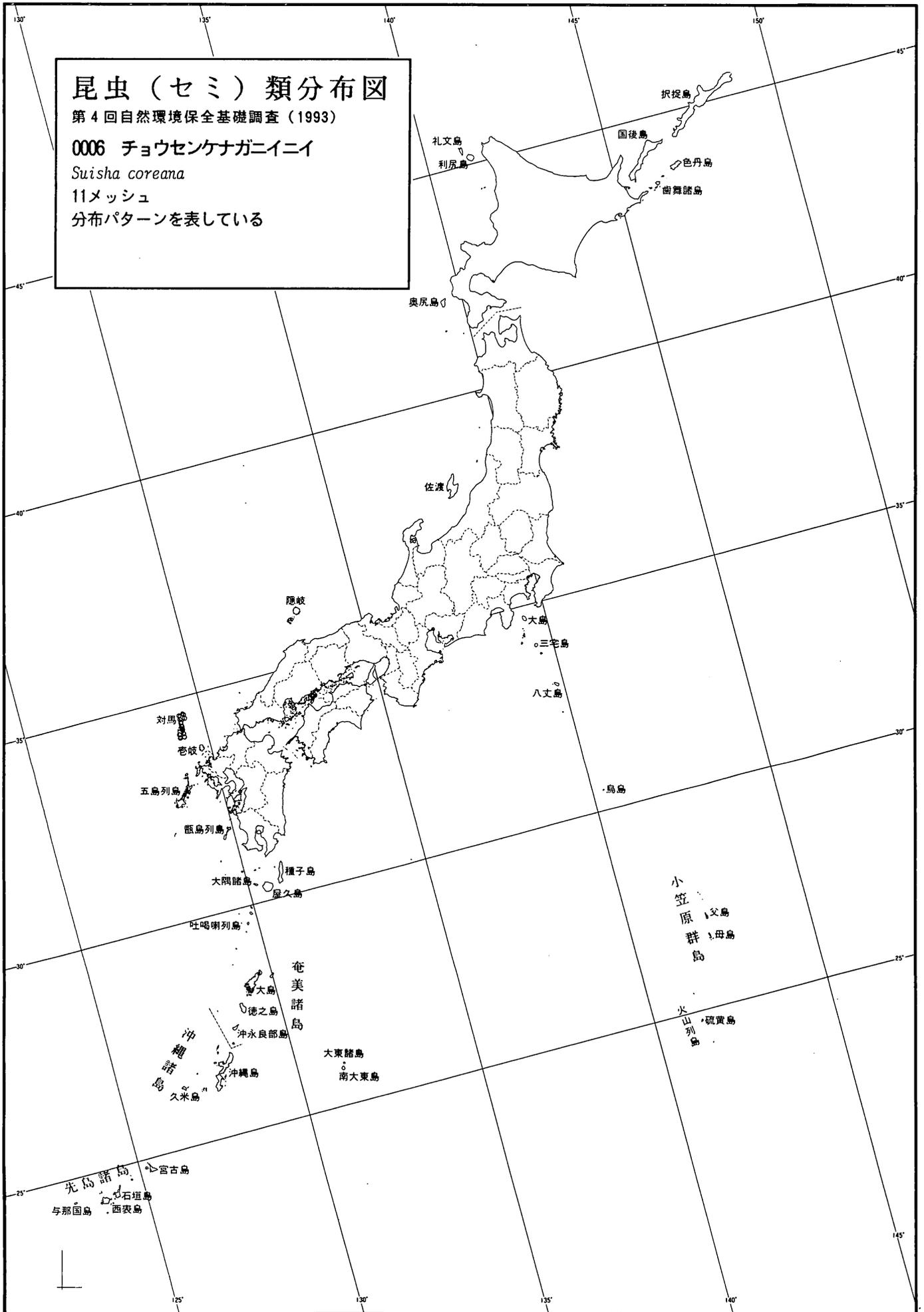
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0006 チョウセンケナガニイニイ

*Suisha coreana*

11メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

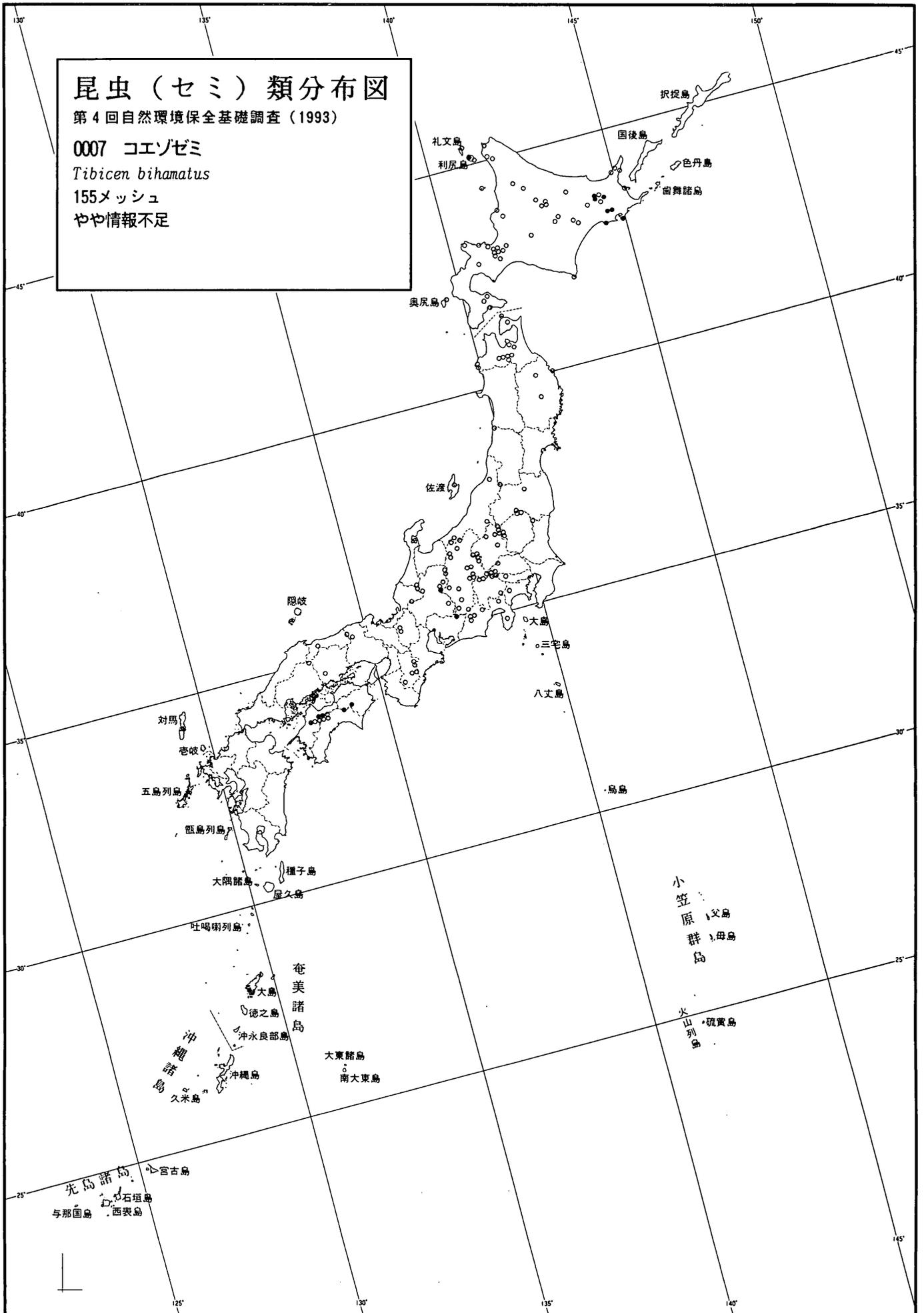
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0007 コエゾゼミ

*Tibicen bihamatus*

155メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

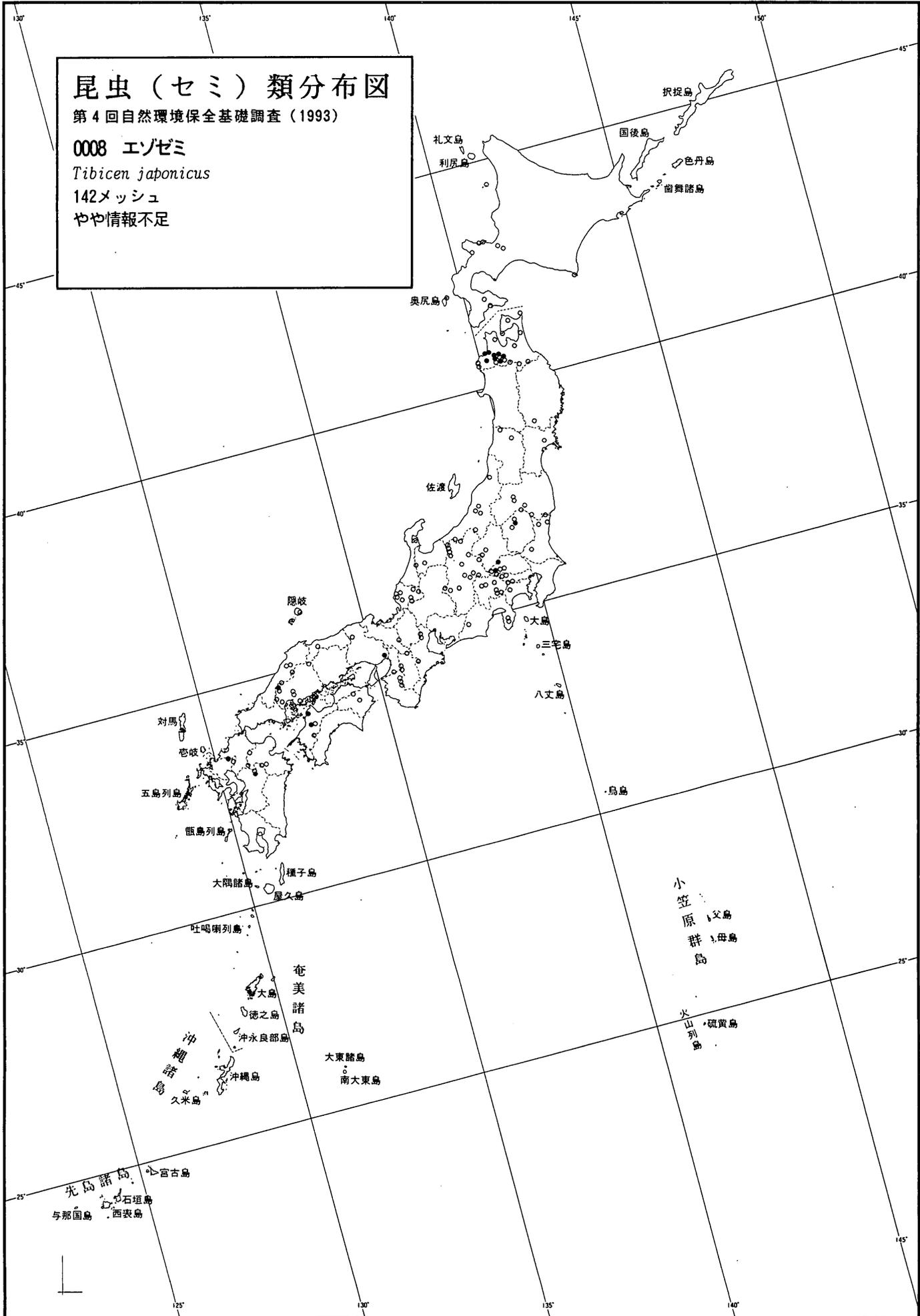
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0008 エゾゼミ

*Tibicen japonicus*

142メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

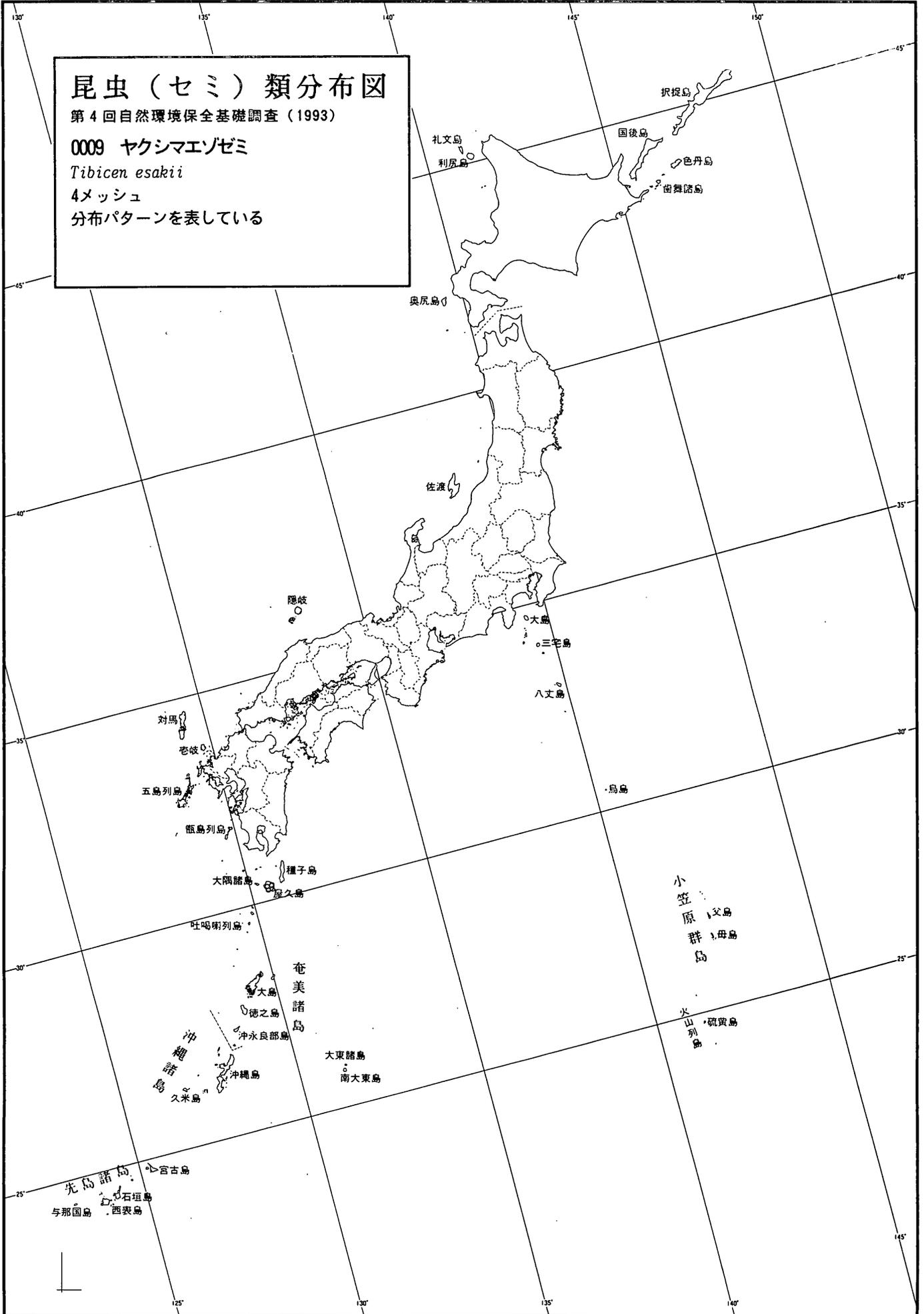
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0009 ヤクシマエゾセミ

*Tibicen esakii*

4メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

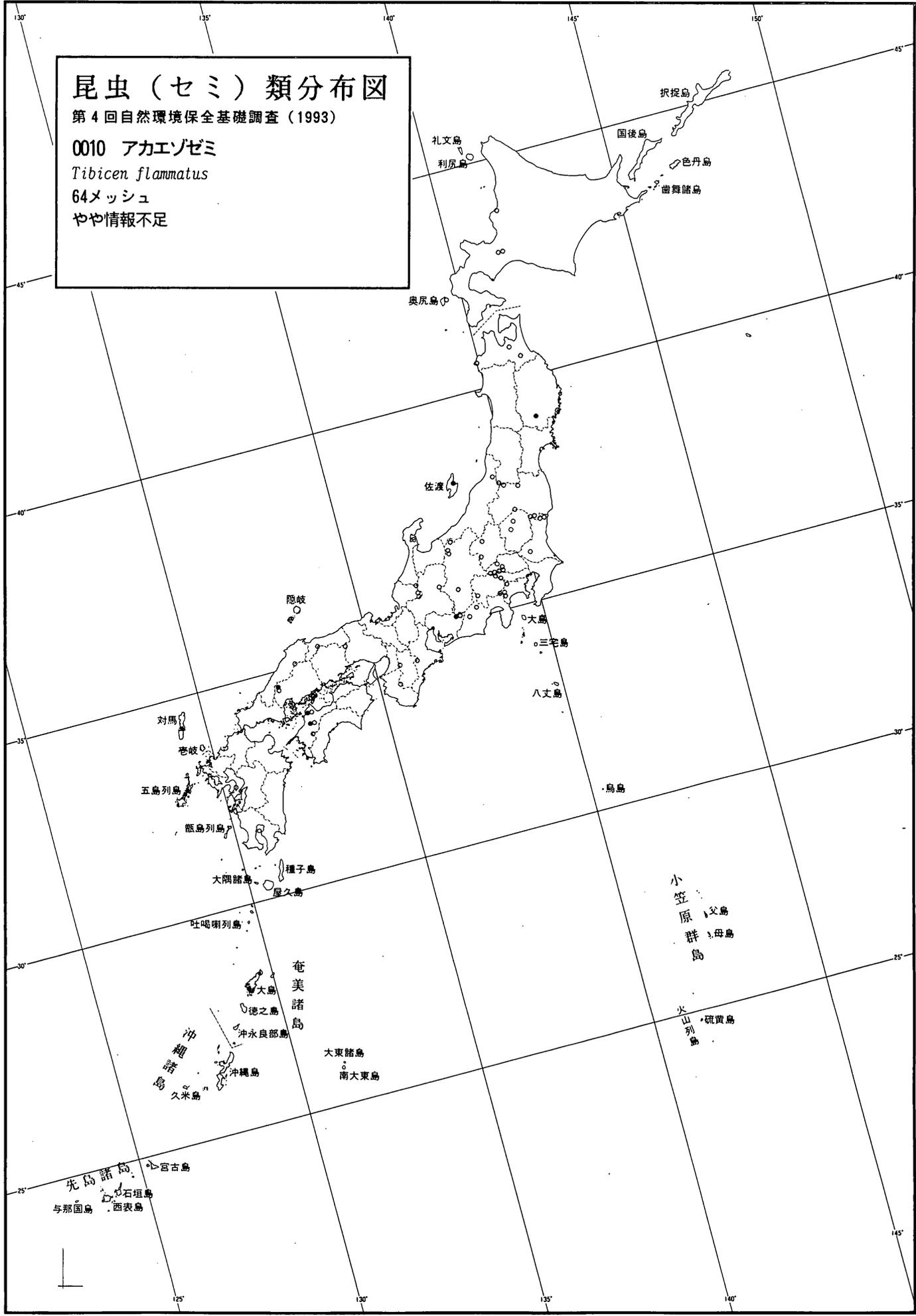
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0010 アカエゾセミ

*Tibicen flammatus*

64メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

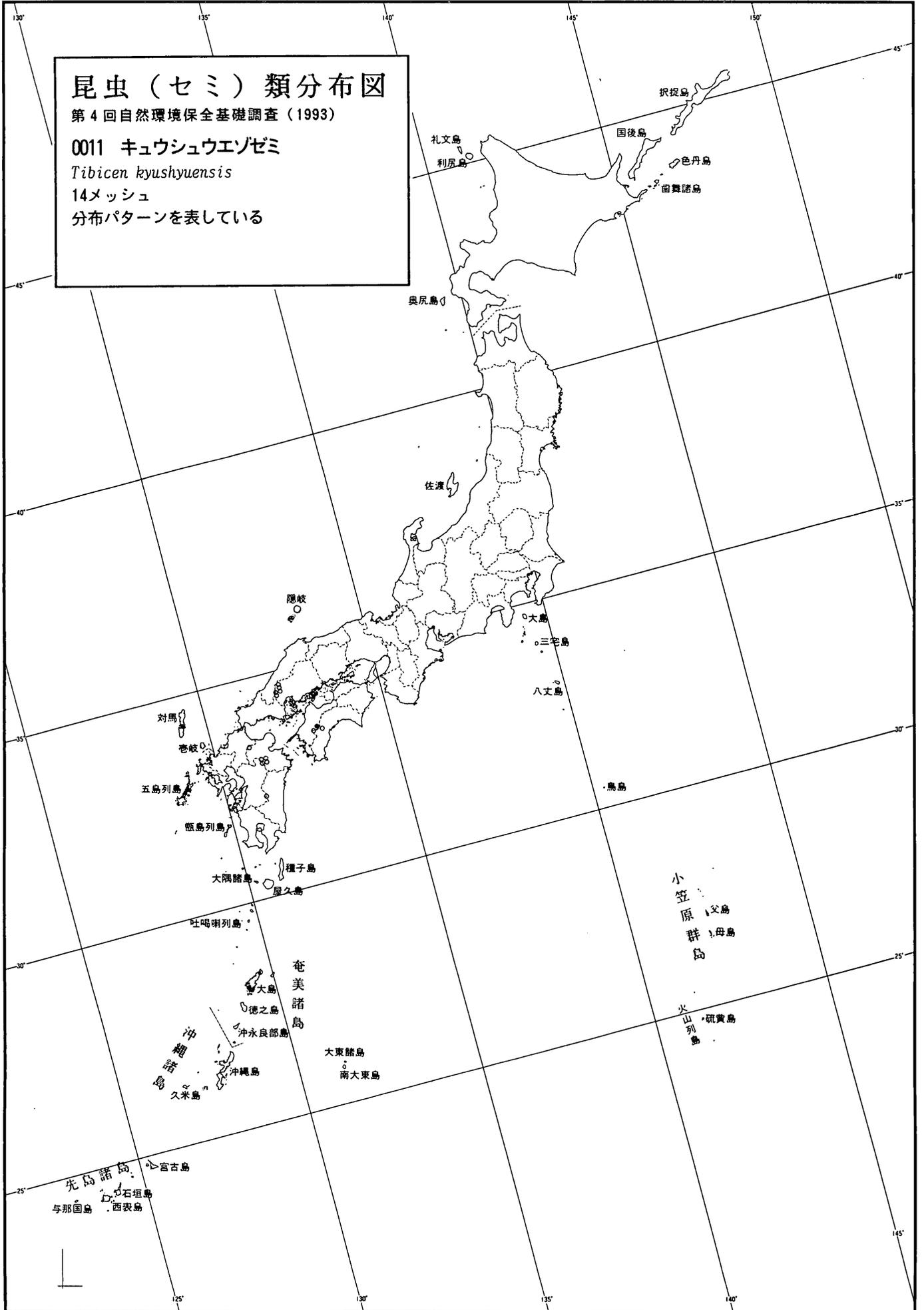
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0011 キュウシュウエゾゼミ

*Tibicen kyushyuensis*

14メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫(セミ)類分布図

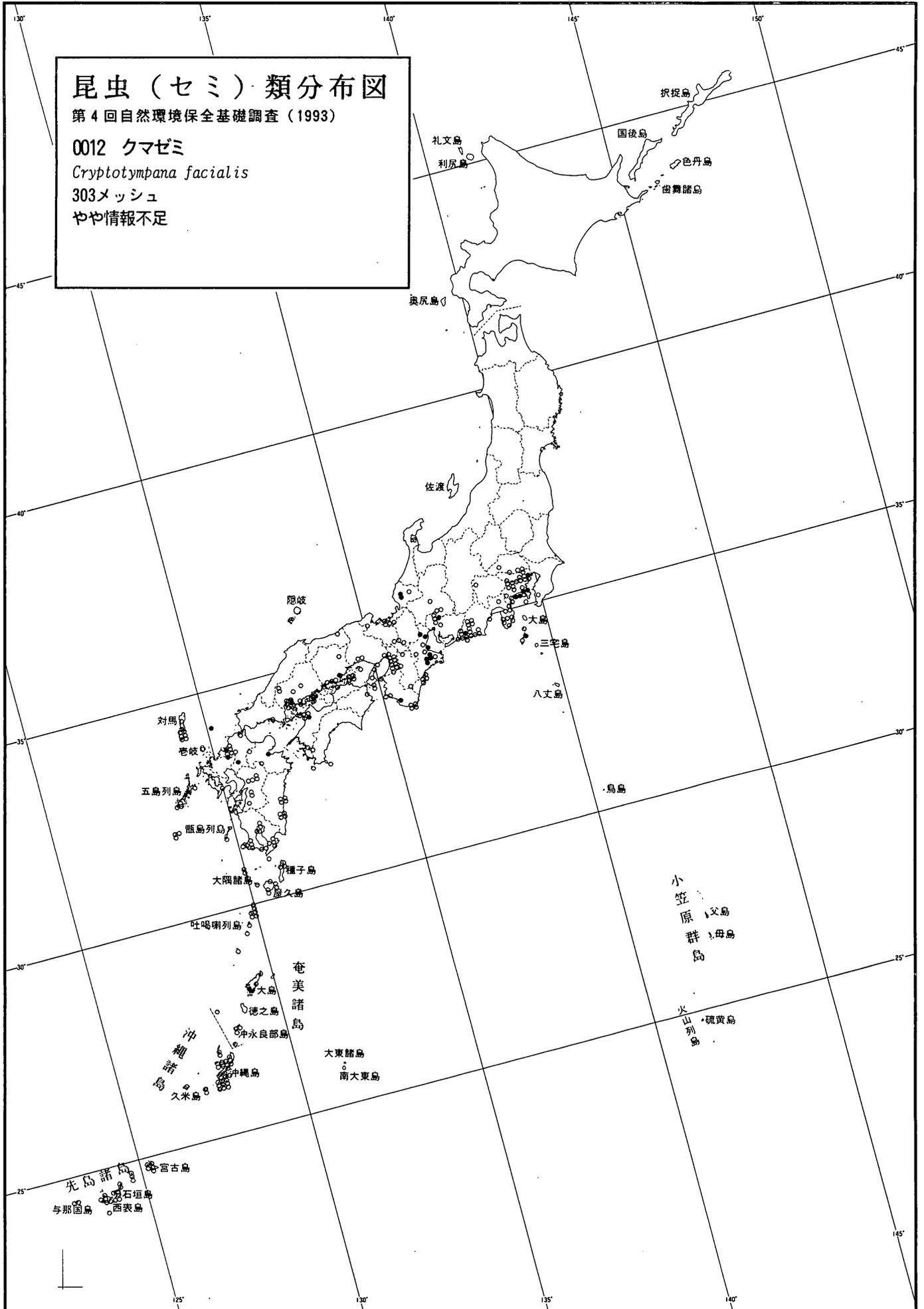
第4回自然環境保全基礎調査(1993)

0012 クマゼミ

*Cryptotympana facialis*

303メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

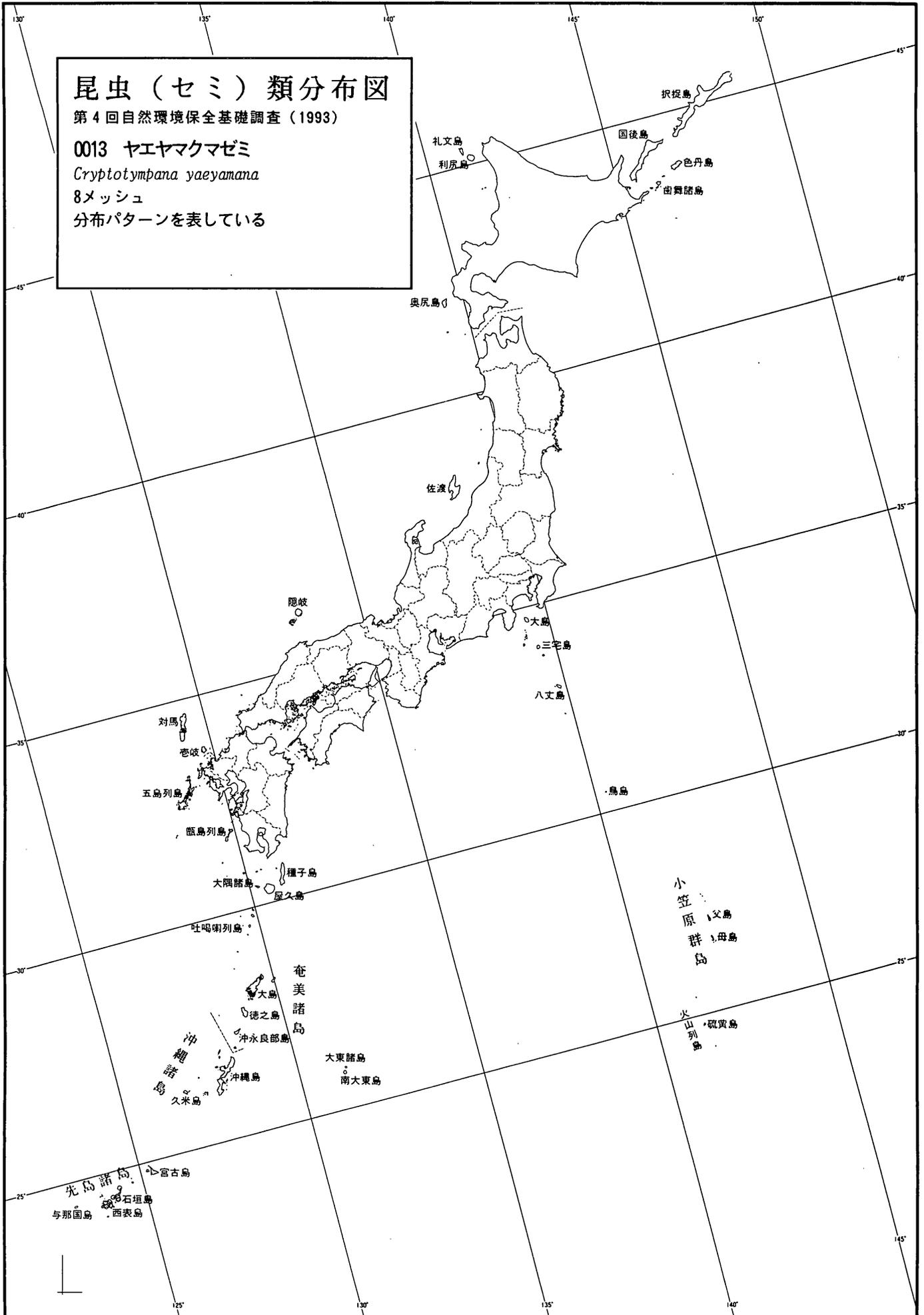
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0013 ヤエヤマクマゼミ

*Cryptotympana yaeyamana*

8メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

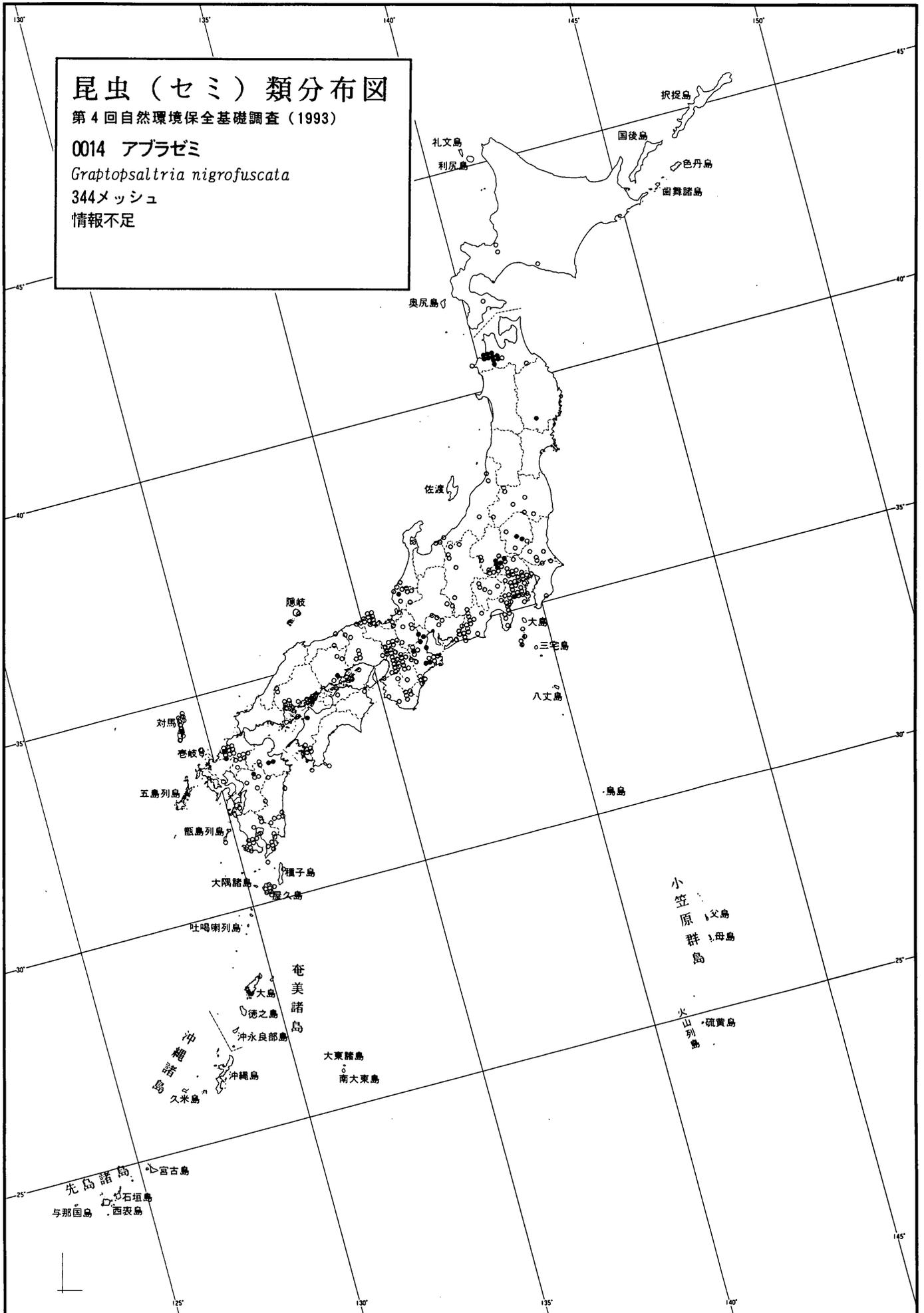
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0014 アブラゼミ

*Graptopsaltria nigrofuscata*

344メッシュ

情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

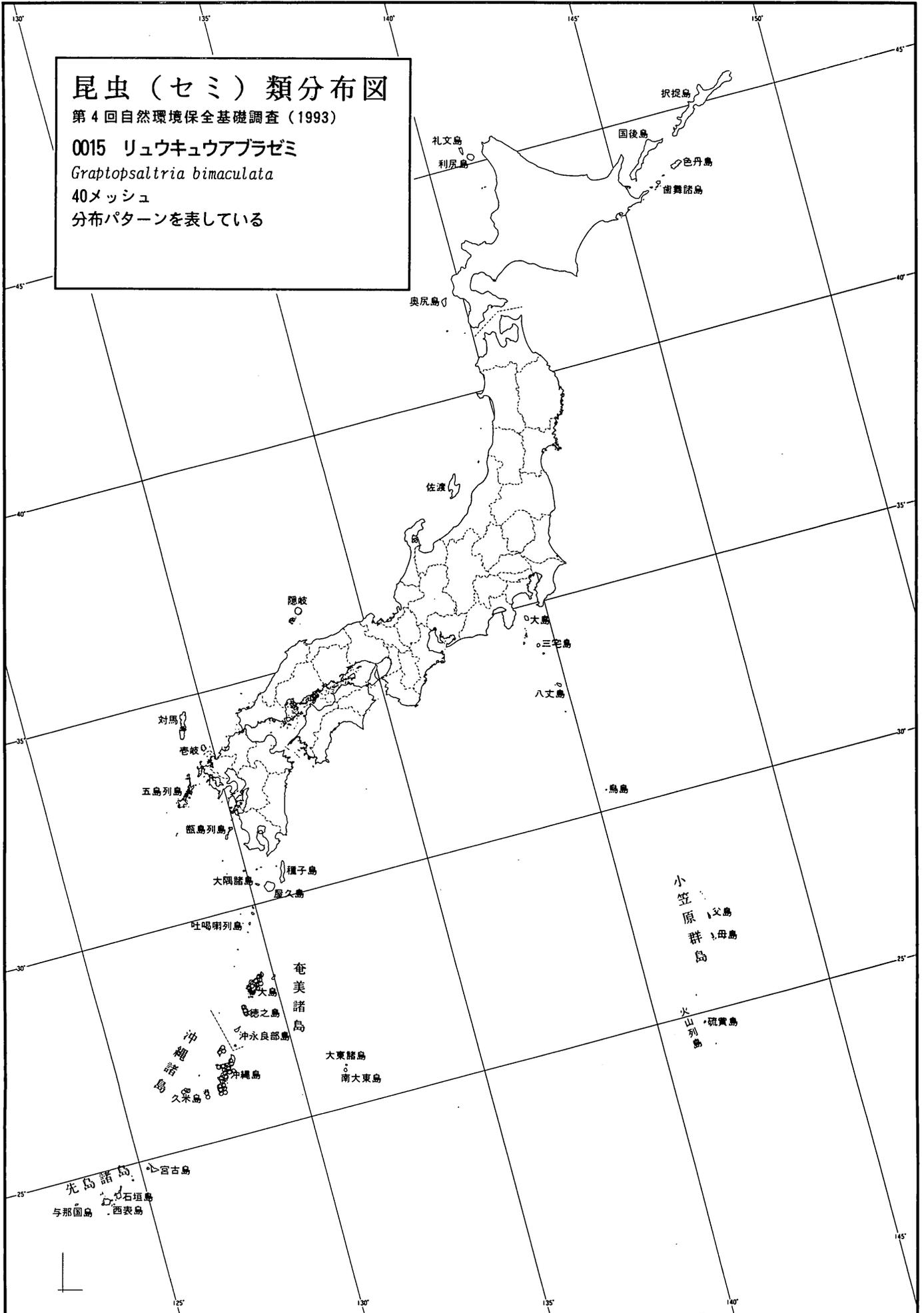
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0015 リュウキュウアブラゼミ

*Graptopsaltria bimaculata*

40メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

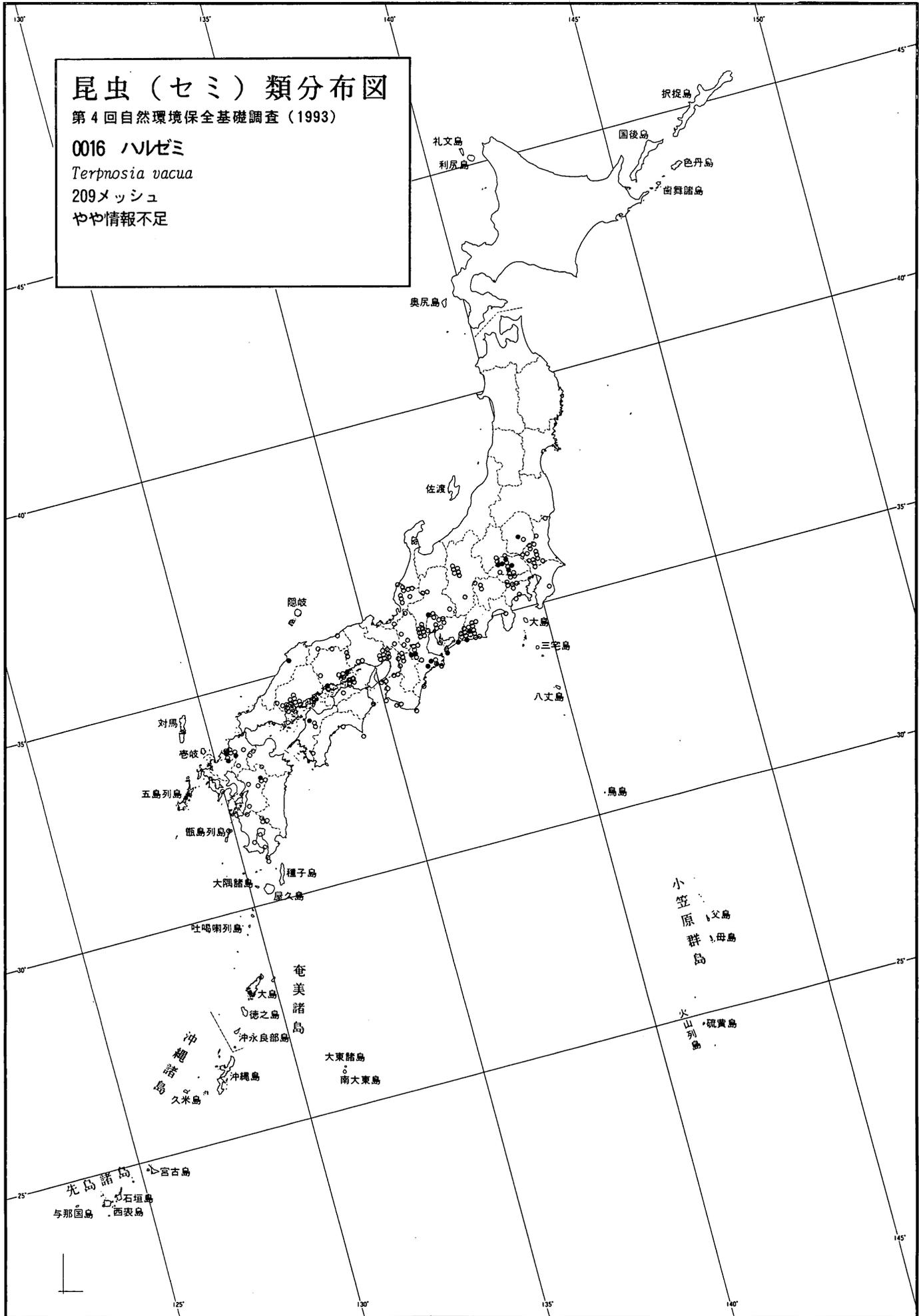
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0016 ハルゼミ

*Terpnosia vacua*

209メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

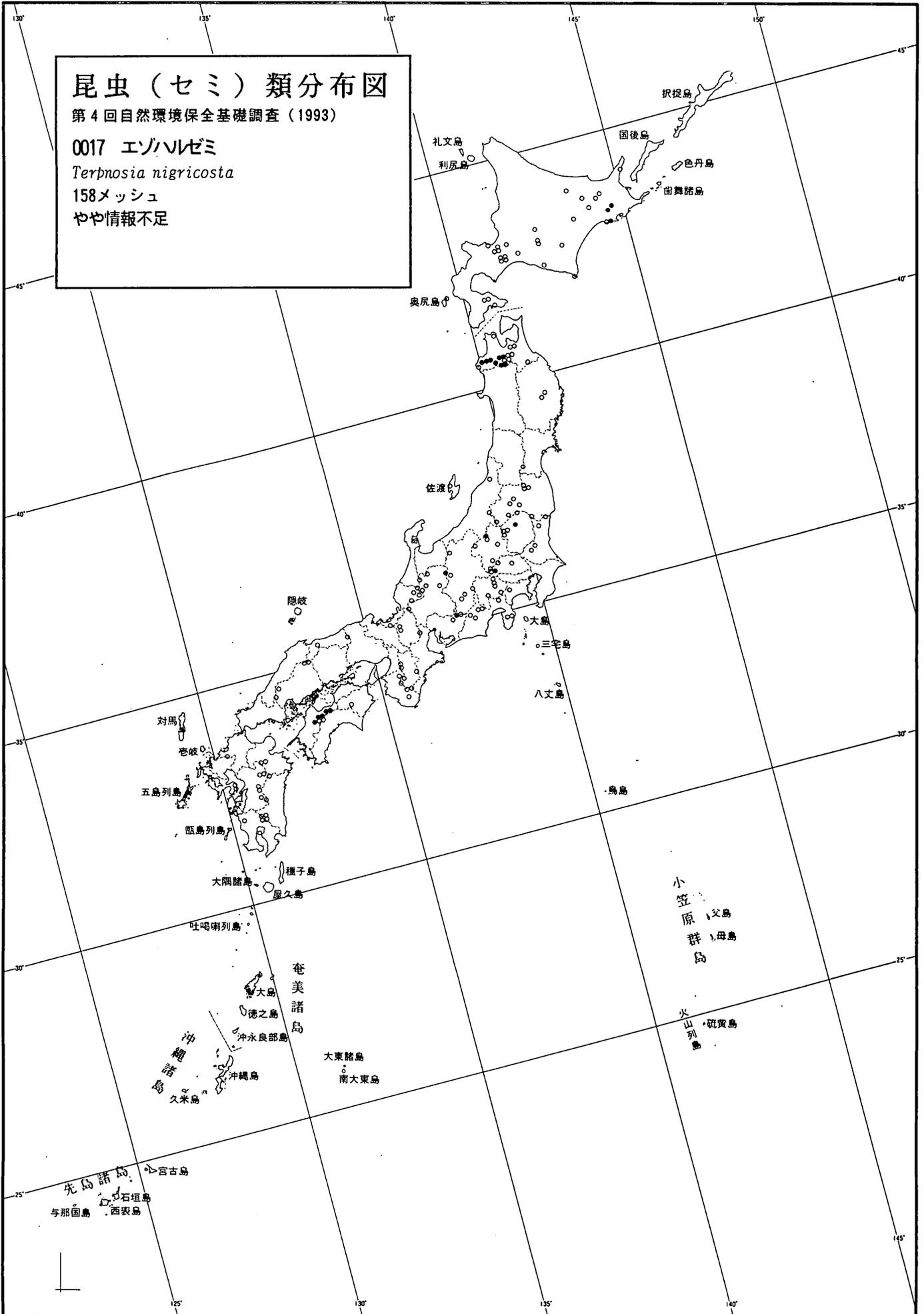
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0017 エゾノレゼミ

*Terpnosia nigricosta*

158メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

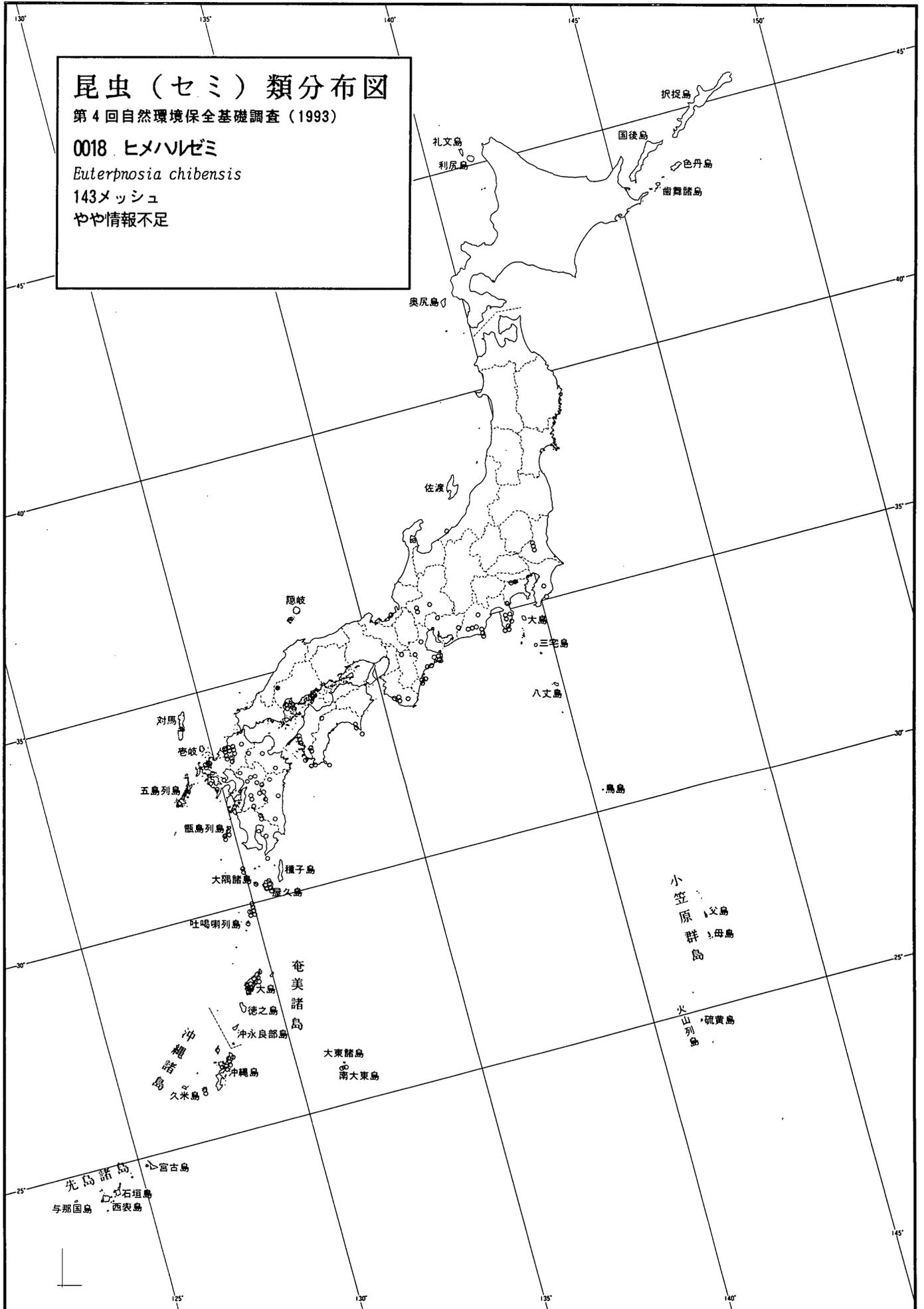
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0018 ヒメハルゼミ

*Euterpnosia chibensis*

143メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

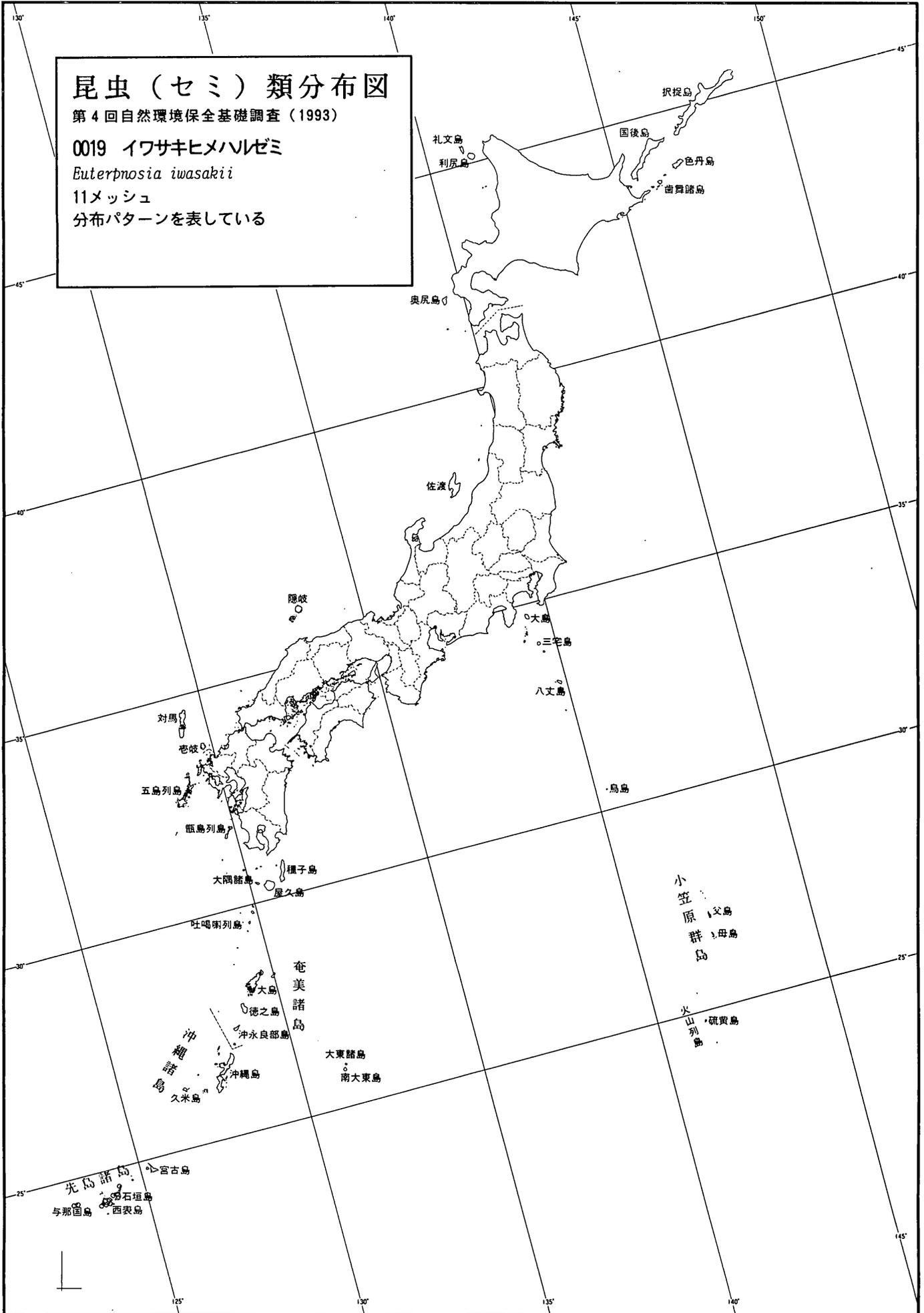
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0019 イワサキヒメハルゼミ

*Euterpnosia iwasakii*

11メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

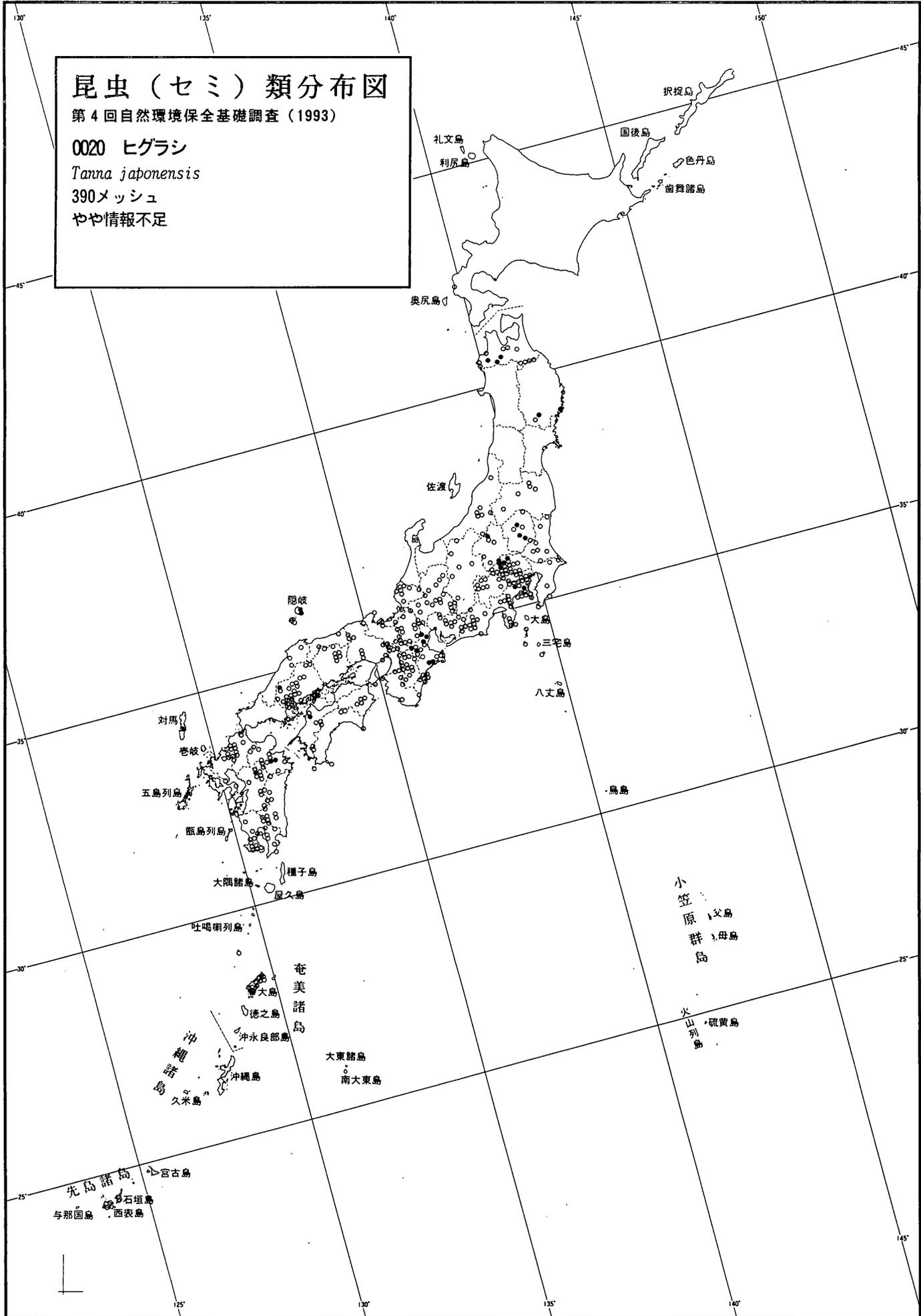
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0020 ヒグラシ

*Tanna japonensis*

390メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

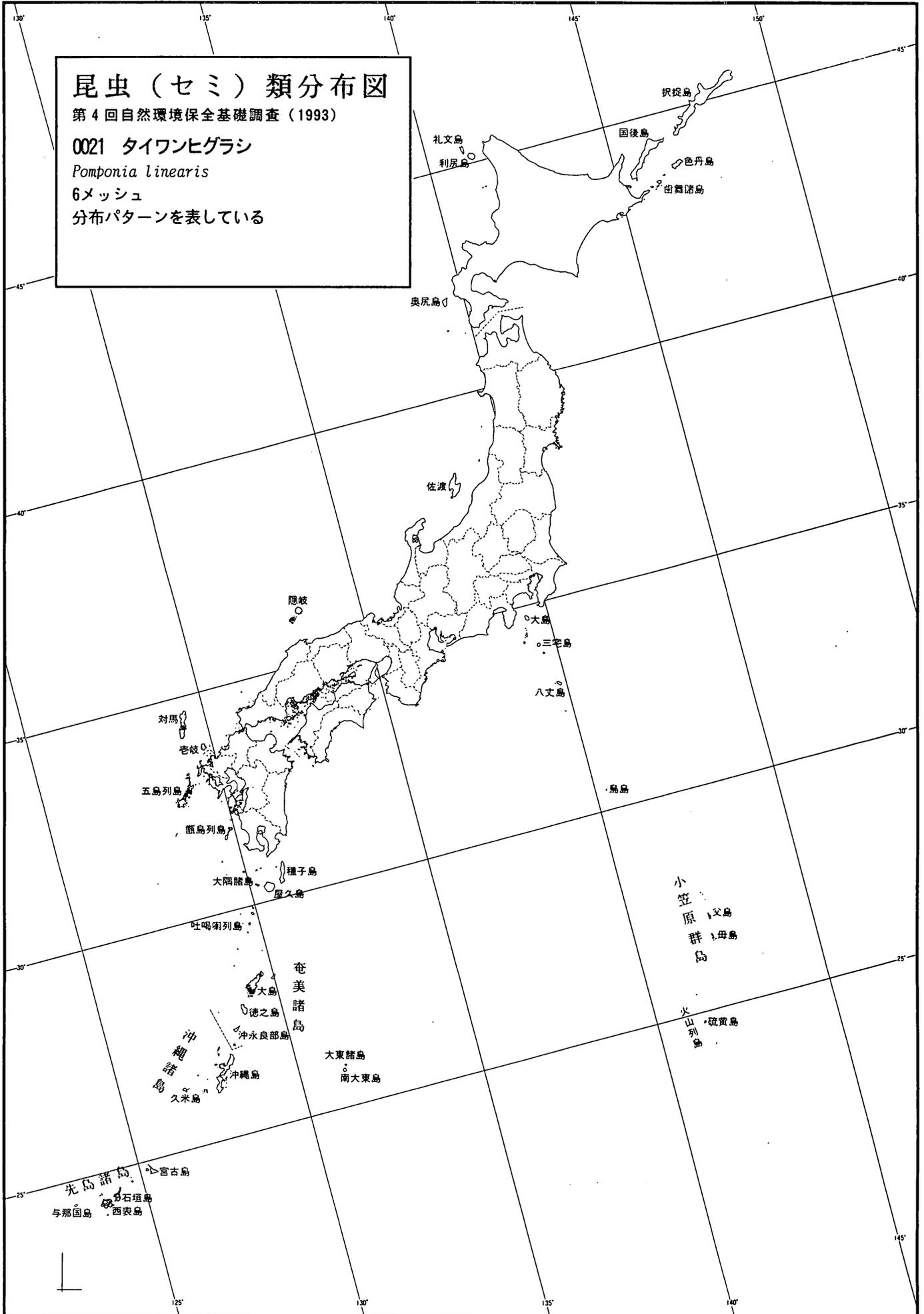
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0021 タイワンヒグラシ

*Pomponia linearis*

6メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

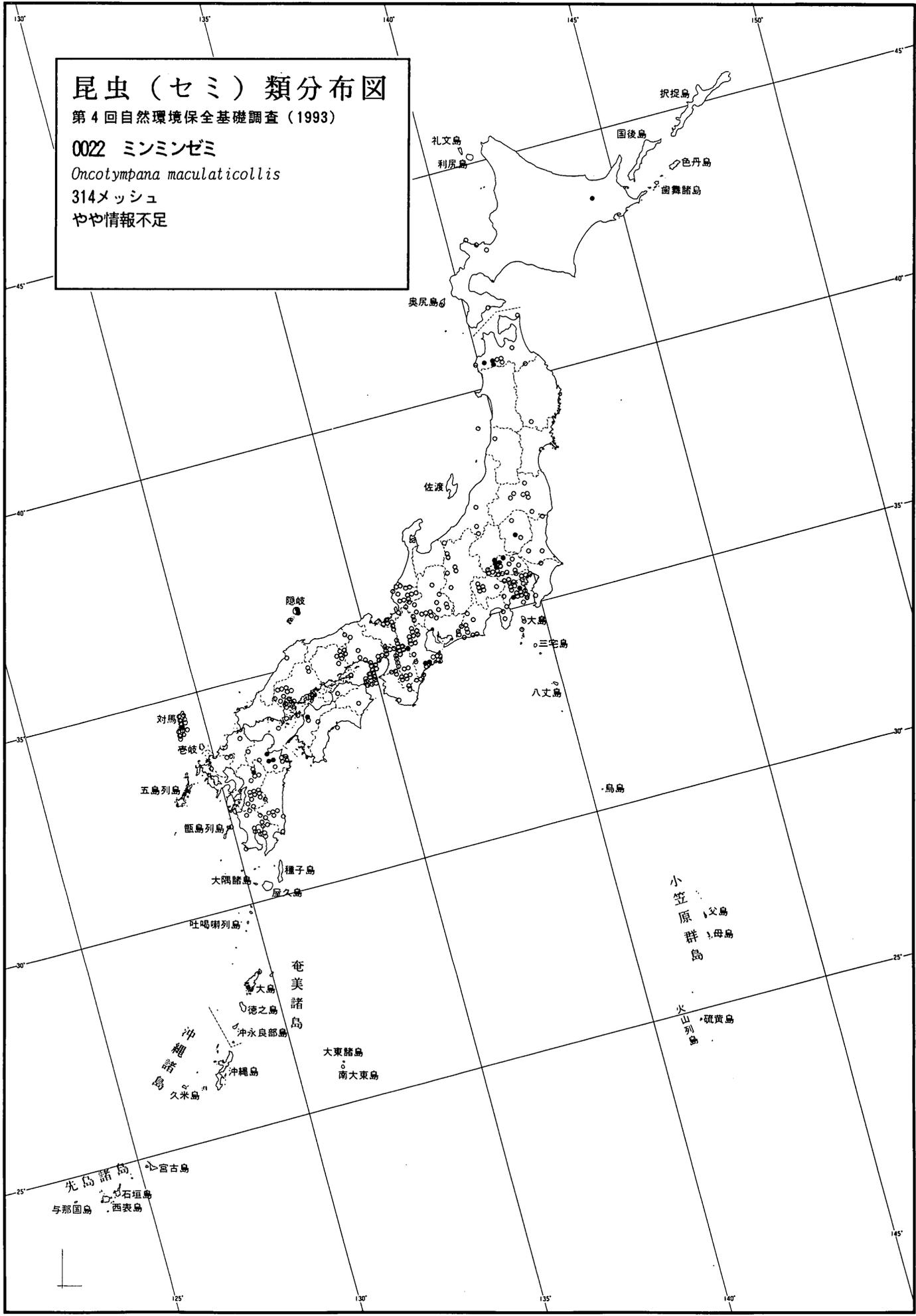
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0022 ミンミンゼミ

*Oncotympana maculaticollis*

314メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

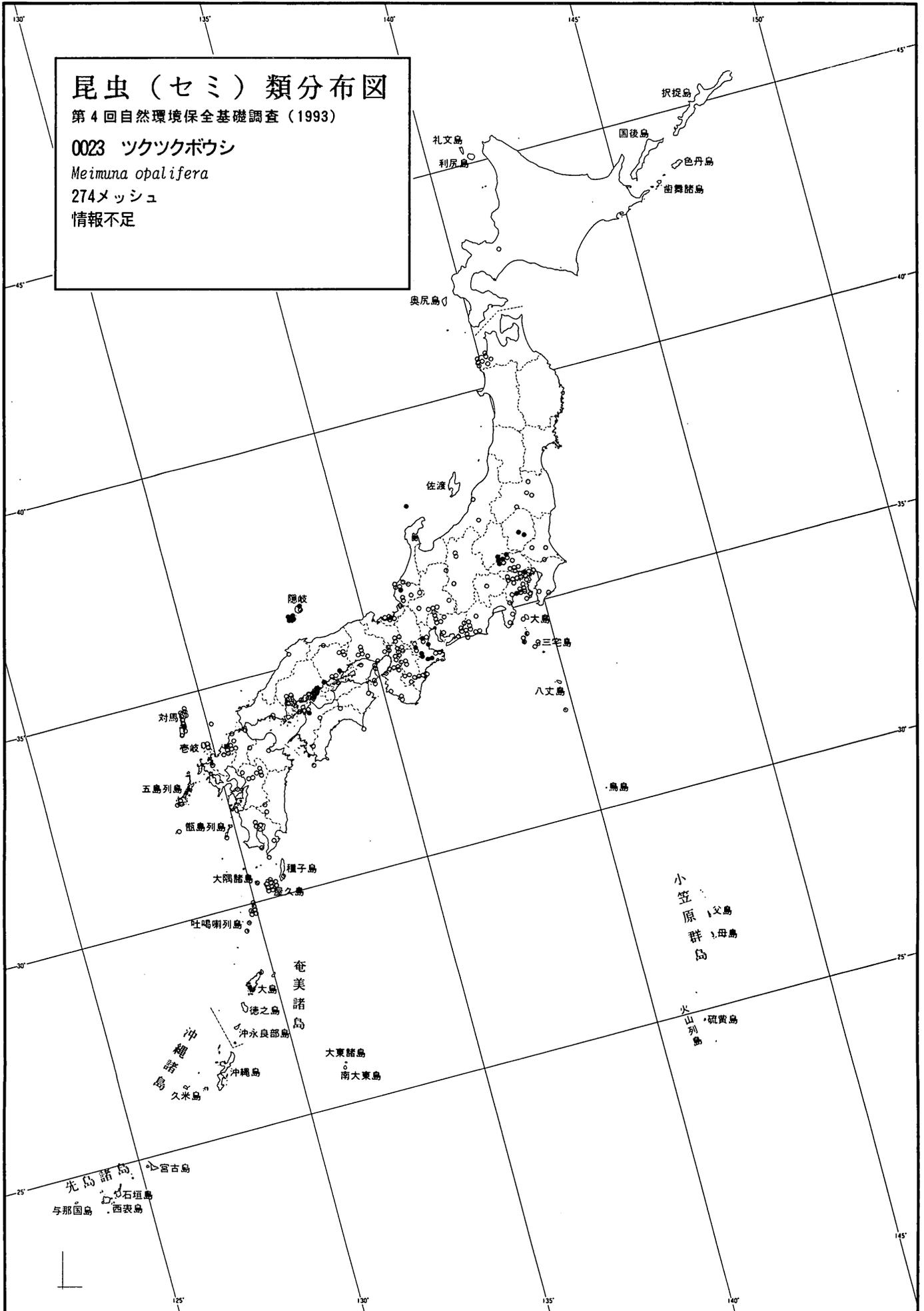
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0023 ツクツクボウシ

*Meimuna opalifera*

274メッシュ

情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

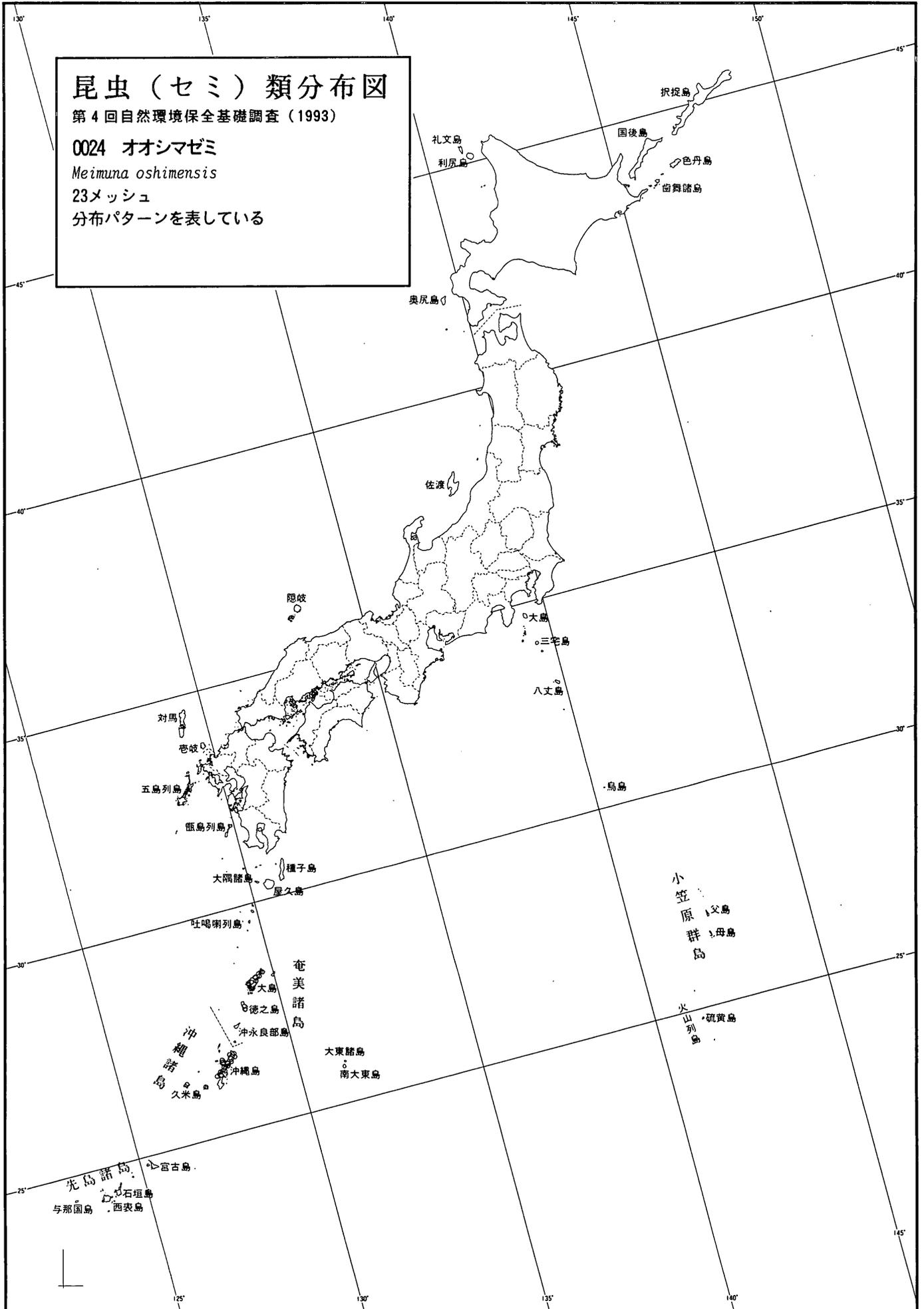
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0024 オオシマゼミ

*Meimuna oshimensis*

23メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

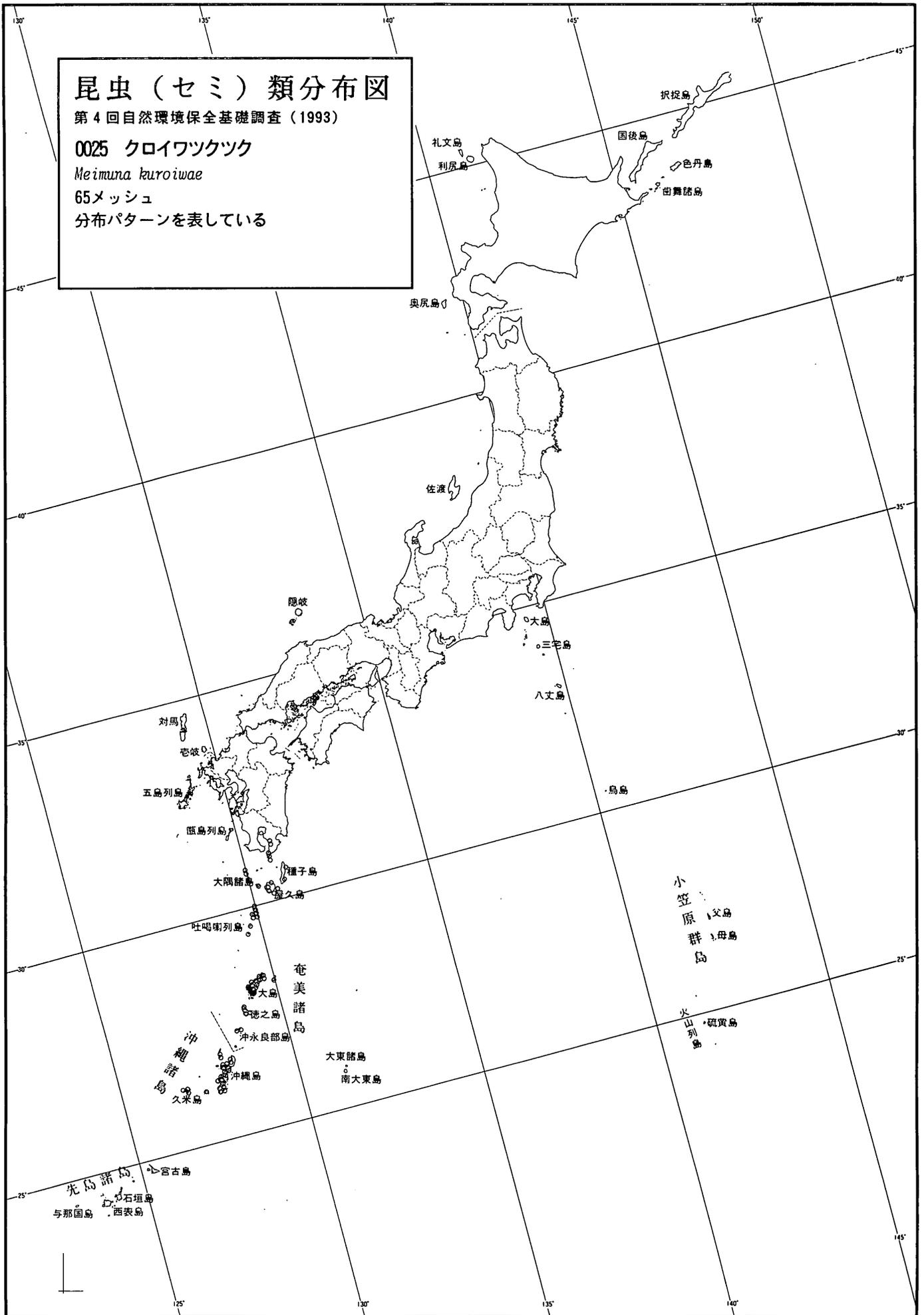
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0025 クロイワツクツク

*Meimuna kuroi*

65メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

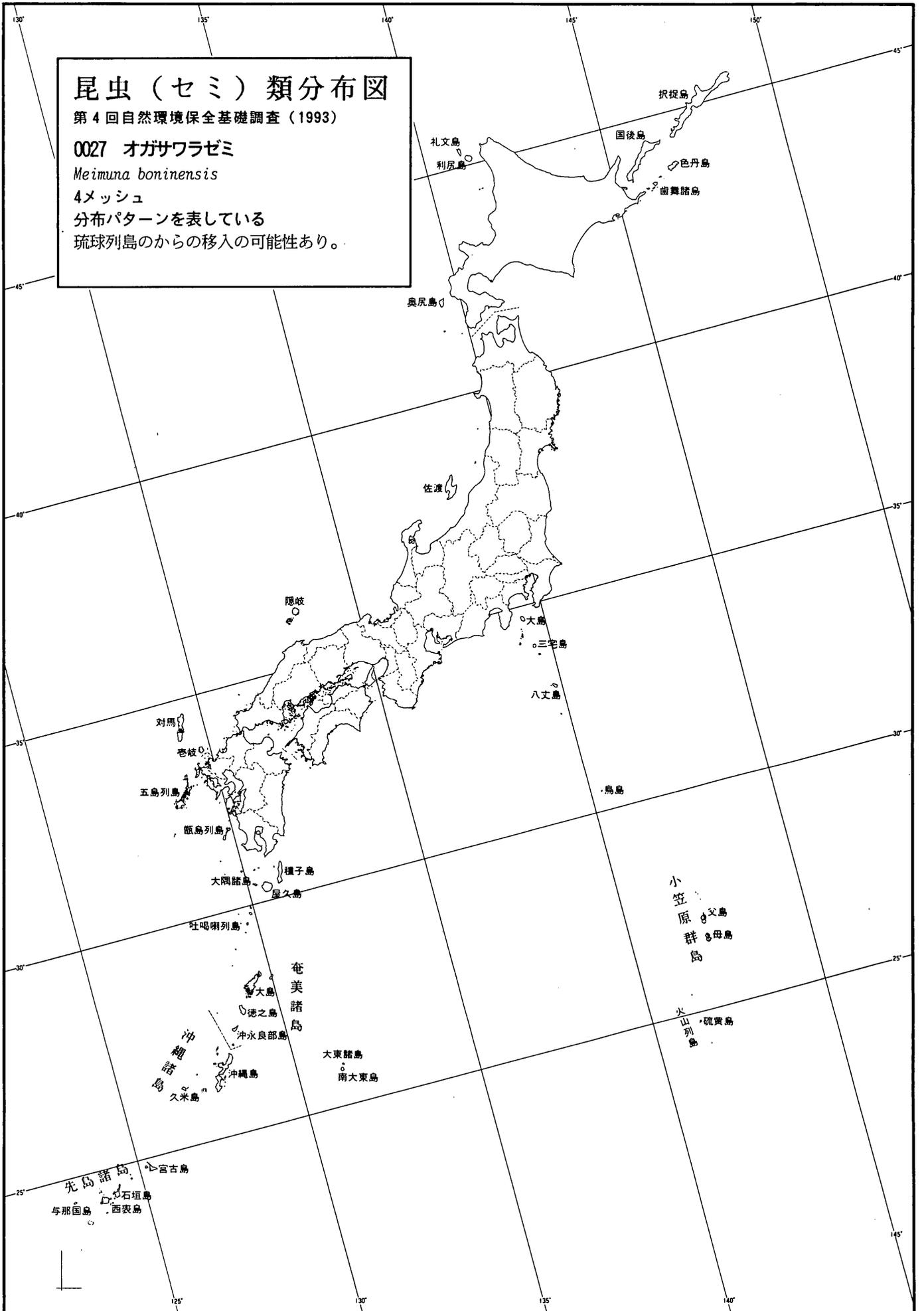
## 0027 オガサワラゼミ

*Meimuna boninensis*

4メッシュ

分布パターンを表している

琉球列島のからの移入の可能性あり。



# 昆虫（セミ）類分布図

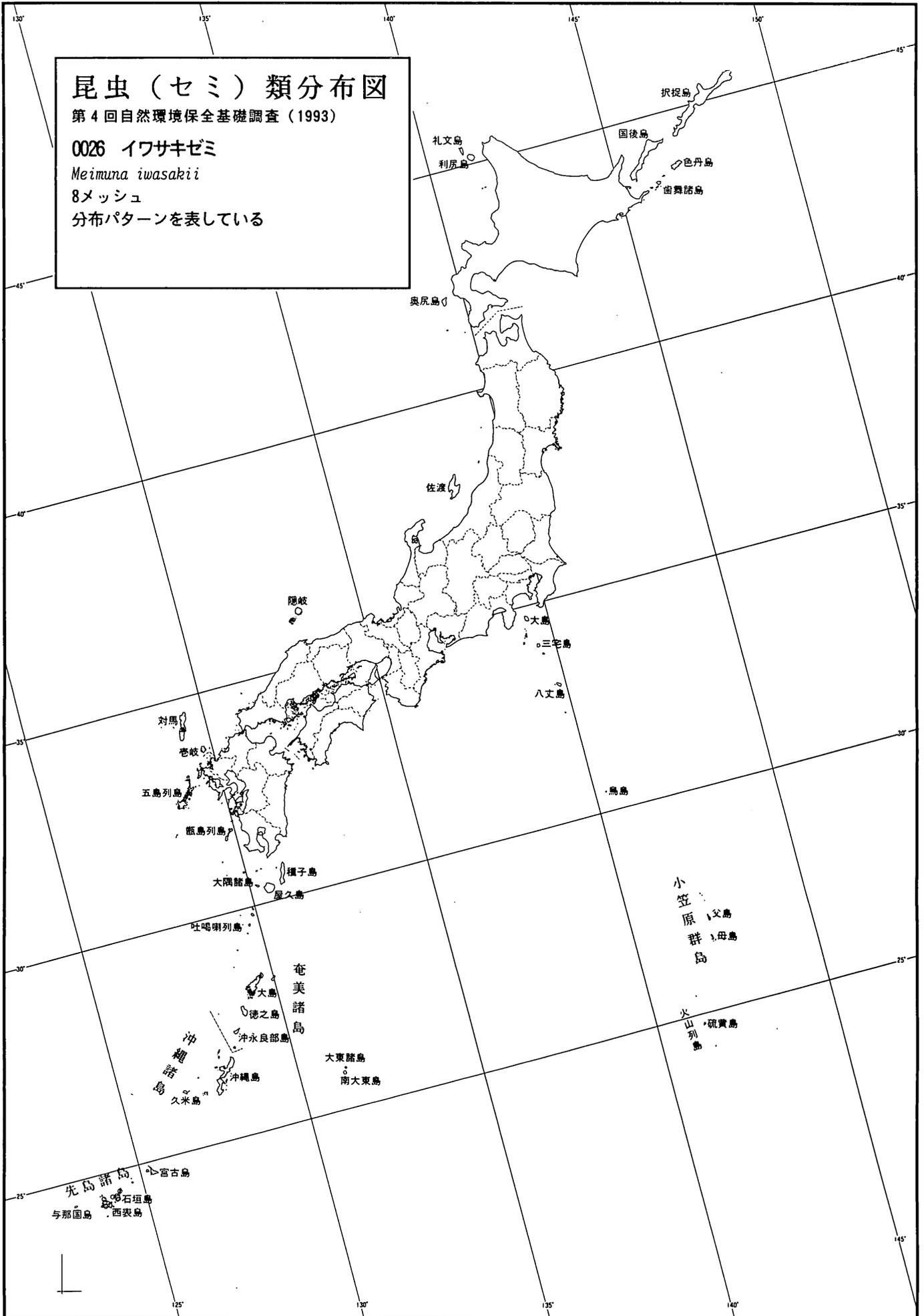
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0026 イワサキゼミ

*Meimuna iwasakii*

8メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

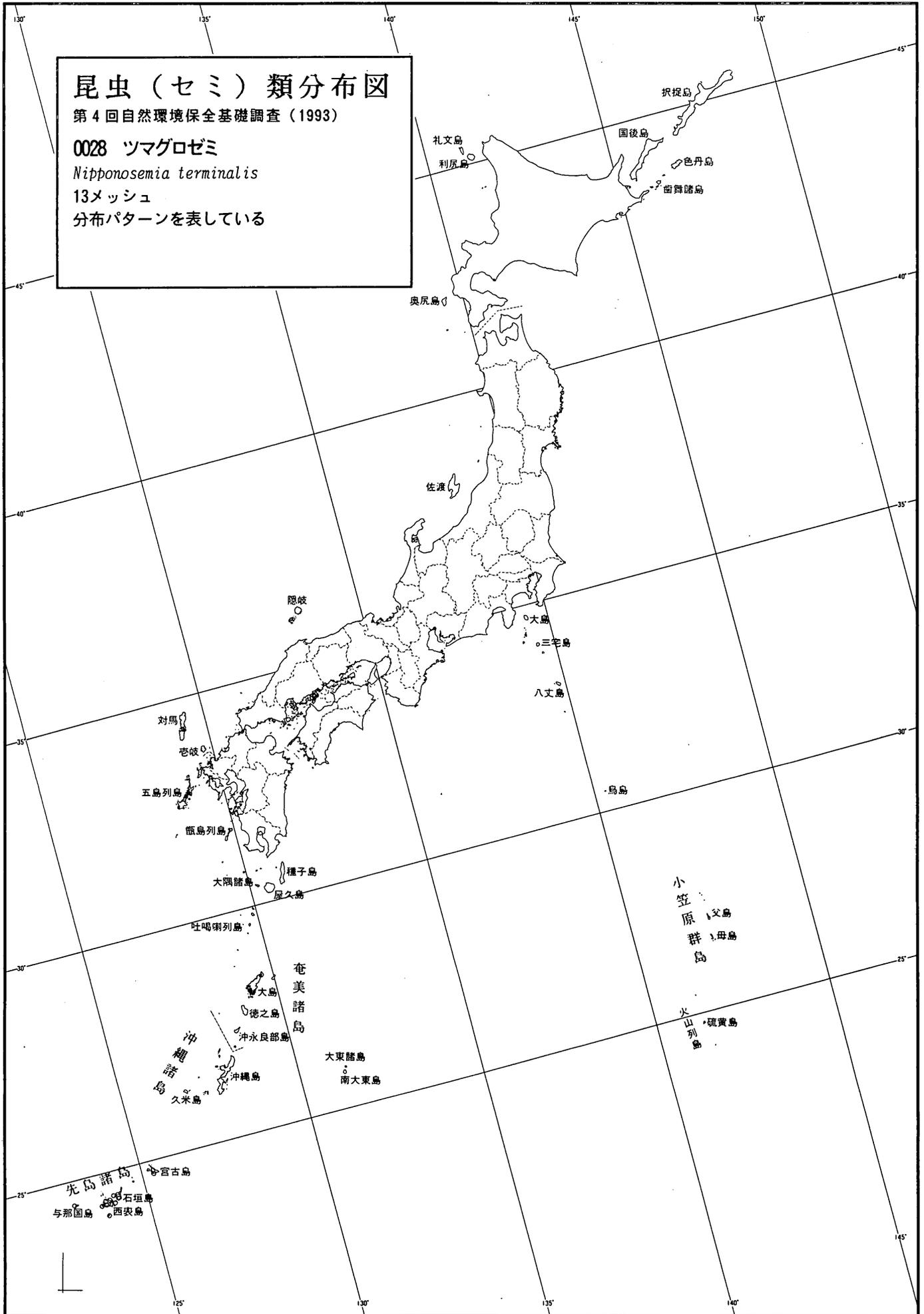
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0028 ツマグロゼミ

*Nipponosemia terminalis*

13メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

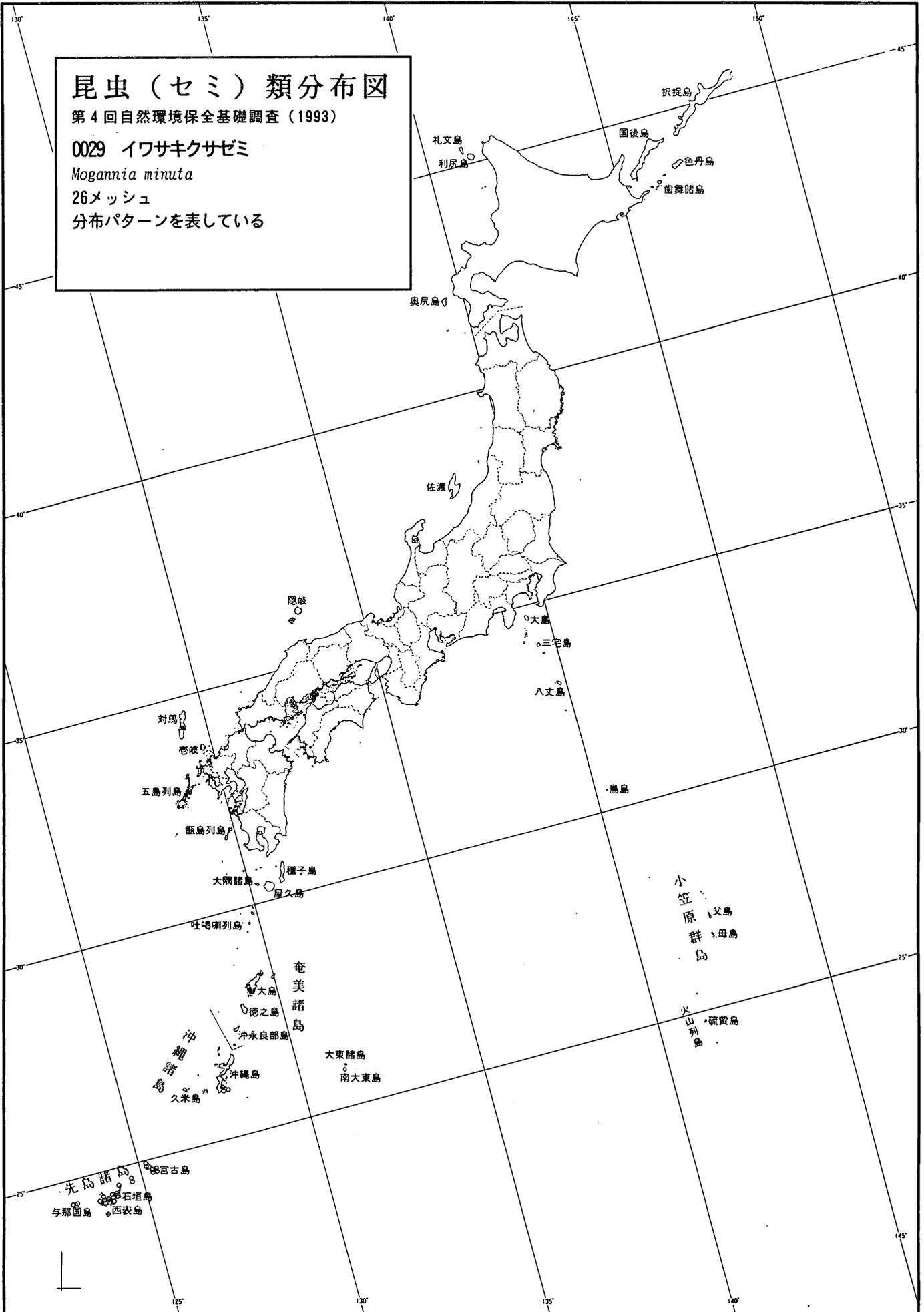
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0029 イワサキクサゼミ

*Mogannia minuta*

26メッシュ

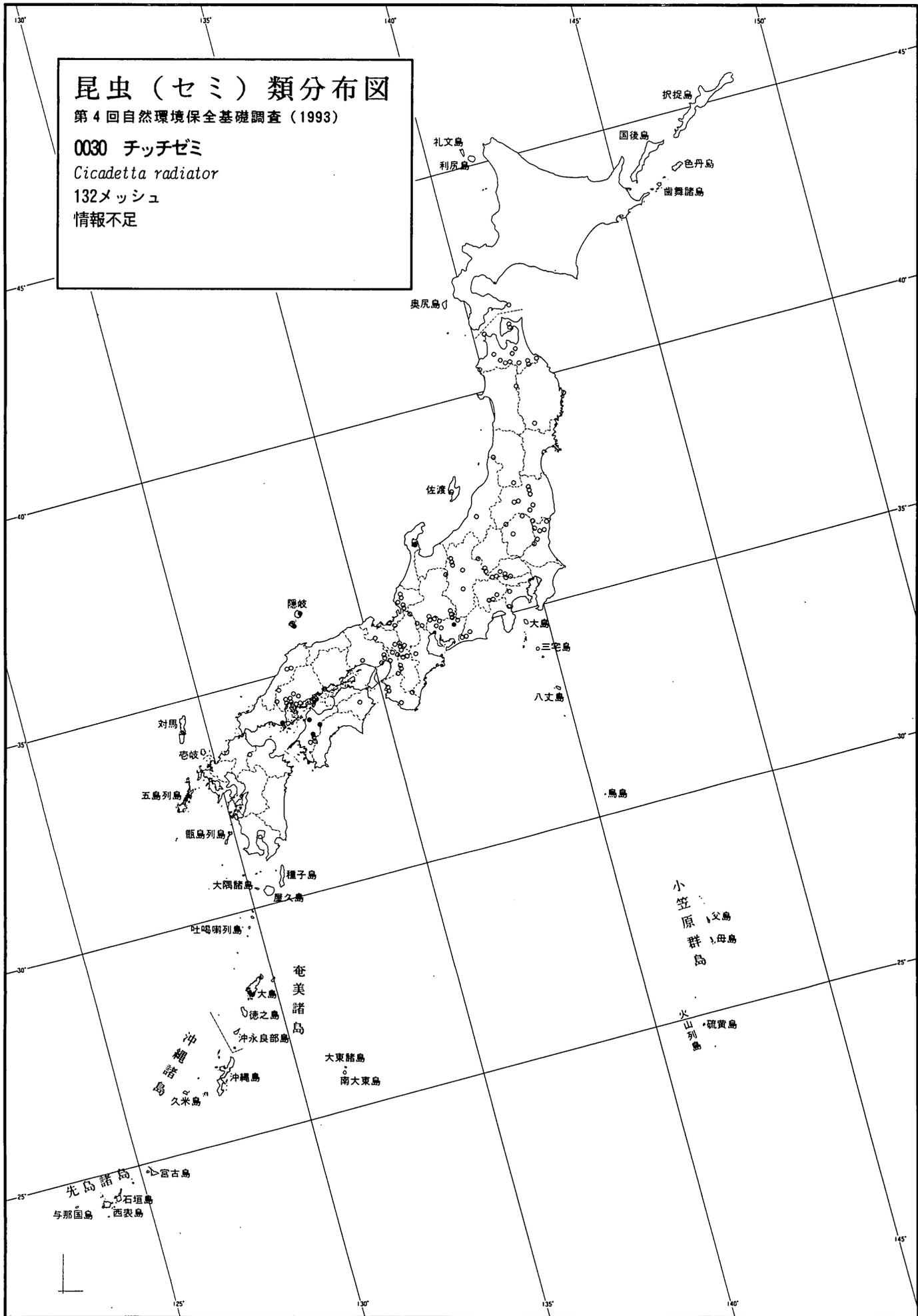
分布パターンを表している



# 昆虫（セミ）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0030 チッチゼミ  
*Cicadetta radiator*  
132メッシュ  
情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

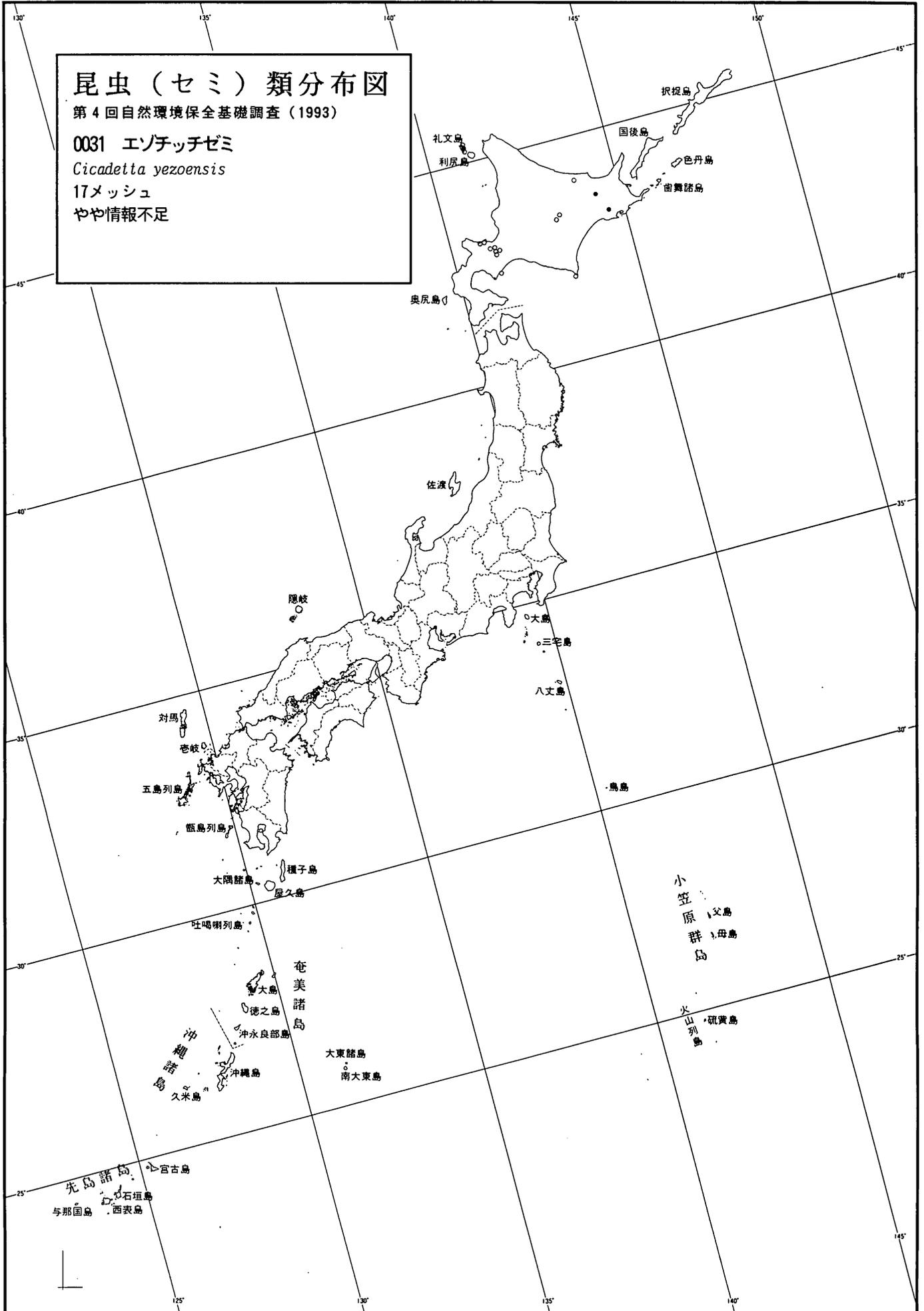
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0031 エゾチツゼミ

*Cicadetta yezoensis*

17メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（セミ）類分布図

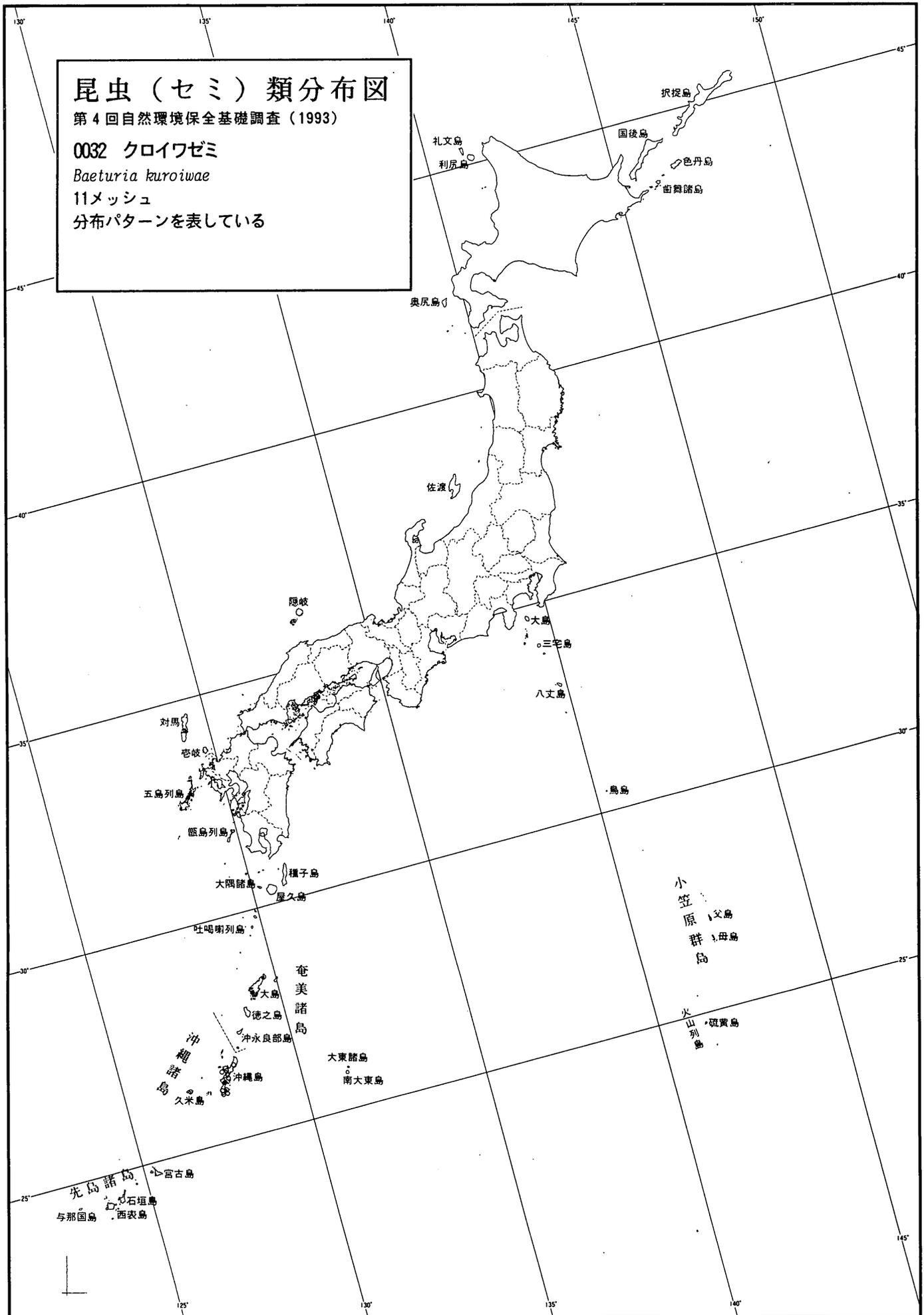
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0032 クロイワゼミ

*Baeturia kuroiwa*

11メッシュ

分布パターンを表している



## II. 集 計 表

調査対象種について、都道府県別の情報収集状況を把握するため、調査票に記載された3次メッシュ（およそ1 km×1 km）を単位として集計を行った。

配列は、分布図と同様、分類順（巻末資料「調査対象種一覧」に示された調査対象種・亜種の順）である。

本集計表は、報告のあった3次メッシュを種別・都道府県別に集計したものである。従って、分布図上に示された地点（2次メッシュ）数とは必ずしも一致しない。

同一種、同一3次メッシュにおいて、複数の調査員からの、あるいは異なる調査年月日の報告があった場合には重複を排除し、1件として集計した。

3次メッシュと都道府県との対応関係は、第3回自然環境保全基礎調査植生調査で作成された磁気データファイルによった。このデータファイルでは、3次メッシュが複数の県にまたがる場合、3次メッシュの中央に1／5万地形図上で直径5 mmの測定円（約5 ha）を設定し、その円内で最大面積を占める県をそのメッシュの代表県としている。このため、A県とB県にまたがる3次メッシュから情報が寄せられた場合、調査票にB県名が記入されている場合でも、A県の情報として集計されている可能性がある。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	
	道													川											
0001	ニニイセ <sup>ミ</sup>	1	44	4	0	0	1	10	3	3	0	33	4	45	40	6	0	0	21	2	4	2	48	4	39
0002	ヤヤマニイニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0003	ミヤコニイニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0004	イシガ <sup>キ</sup> ニイニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0005	クロイワニイニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0006	チョウセンナガ <sup>キ</sup> ニイニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0007	エゾ <sup>セ</sup> ミ	40	11	2	0	0	2	3	1	5	7	7	0	2	2	4	0	1	1	3	13	7	7	1	0
0008	エゾ <sup>セ</sup> ミ	7	30	2	0	0	1	4	5	4	1	8	0	3	2	6	1	1	9	1	12	0	8	0	2
0009	ヤクシマエゾ <sup>セ</sup> ミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0010	アカエゾ <sup>セ</sup> ミ	3	3	1	0	0	2	7	3	2	3	7	0	1	2	2	0	1	2	2	4	1	2	2	1
0011	キュウシュウエゾ <sup>セ</sup> ミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0012	クマセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	21	30	0	0	0	9	0	0	3	42	7	24	
0013	ヤエキマクマセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0014	アブ <sup>ラ</sup> セ <sup>ミ</sup>	5	86	2	0	0	0	5	4	4	4	33	4	43	50	4	1	1	21	4	3	0	46	4	37
0015	リュウキュウアブ <sup>ラ</sup> セ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0016	ハルセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	22	2	1	28	1	9	3	0	0	0	18	1	6	8	37	6	22	
0017	エゾ <sup>ハ</sup> ルセ <sup>ミ</sup>	21	48	2	1	0	2	7	4	5	5	8	0	0	2	2	0	1	9	7	5	6	7	3	0
0018	ヒメハルセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	3	1	0	0	0	1	0	0	4	9	1	18	
0019	イワサキヒメハルセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0020	ヒク <sup>ラ</sup> シ	0	29	5	0	0	0	5	5	7	7	36	5	25	25	10	0	0	18	8	4	8	32	6	42
0021	タイワンヒク <sup>ラ</sup> シ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0022	ミンミンセ <sup>ミ</sup>	7	15	1	0	0	1	6	2	3	0	26	2	37	41	3	0	0	29	3	3	4	26	3	15
0023	ツクツクホ <sup>ウ</sup> シ	1	8	0	0	0	0	3	1	2	0	17	4	34	25	3	0	0	21	0	0	6	22	11	32
0024	オオシマセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0025	クロイワツクツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0027	オカ <sup>サ</sup> ワラセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0026	イワサキセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0028	ツマク <sup>ロ</sup> セ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0029	イワサキクサセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0030	チツチセ <sup>ミ</sup>	1	12	2	0	0	2	11	8	3	4	7	0	0	2	2	0	0	10	0	5	11	4	6	1
0031	エゾ <sup>チ</sup> ツチセ <sup>ミ</sup>	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0032	クロイワセ <sup>ミ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	計
	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄	
0001 ニニイセミ	2	2	16	18	15	4	1	7	3	17	2	0	0	5	2	16	0	22	10	2	2	38	11	509
0002 ヤエヤマニイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	26
0003 ミヤコニイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15
0004 イシガキニイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
0005 クロイワニイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	74	96
0006 チョウセンケナガニイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10
0007 コソセミ	2	0	0	2	5	0	4	0	0	1	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139
0008 エゾセミ	1	1	1	4	3	2	0	1	0	11	0	1	1	3	0	4	1	0	2	4	0	0	0	147
0009 ヤクソマエゾセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
0010 アカエゾセミ	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
0011 キュウシュウエゾセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	1	0	0	6	1	0	0	0	15
0012 クマセミ	3	4	7	15	5	5	0	0	4	13	0	1	0	3	2	7	0	8	9	2	0	21	99	349
0013 ヤエヤマクマセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	26
0014 アブラセミ	5	4	19	13	22	4	1	2	4	5	0	1	1	1	2	12	1	14	7	3	2	14	0	498
0015 リュウキュウアブラセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	51	66
0016 ハルセミ	5	2	3	8	7	7	1	0	1	11	0	1	1	3	2	8	0	1	9	1	1	5	0	241
0017 エゾハルセミ	2	0	1	0	2	3	3	0	0	5	0	1	0	5	0	0	1	2	6	5	4	2	0	187
0018 ヒメハルセミ	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	8	1	4	15	2	4	27	17	134
0019 イワサキヒメハルセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
0020 ヒゲラジ	10	6	27	13	28	6	3	7	1	22	1	2	0	5	5	13	4	0	17	7	13	30	8	505
0021 タイワンヒゲラジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
0022 ミンミンセミ	4	2	12	14	24	6	0	5	5	10	0	1	5	2	1	4	1	16	28	2	17	16	0	402
0023 ツクツクホウシ	1	8	12	23	11	5	0	4	4	6	1	1	0	5	2	5	1	19	6	1	1	22	0	328
0024 オオンマセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	45	53
0025 クロイワツクツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	64	134
0027 オカサワラセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
0026 イワサキセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	26
0028 ツマグロセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18
0029 イワサキクサセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	77
0030 チャチセミ	4	8	5	8	3	2	0	2	0	11	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	137
0031 エゾチャチセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
0032 クロイワセミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14

### III. 考 察

#### 1. 考 察

セミ類は、昆虫綱(Insecta)、カメムシ目(Hemiptera)、ヨコバイ亜目(Homoptera)、頸吻群(Auchenorrhyncha)、セミ科(Cicadidae)に所属する一群で、多くは中形種であるが、一部に大形、また小形の種がある。

世界に知られたセミ科は、約2,000種に達し、日本産は32種となっているが、ヒメハルゼミ、ヒグラシの亜種については、今後種に昇格すべきものがある。セミ科の各種は、一般に長い成長期を要するためか、分化程度の弱いものがあり、近似種間で種の特徴がはっきりしないものが少なくない。

日本に産するセミの多く(コード番号0001~0029)はセミ亜科(Cicadinae)に属すもので、コード番号0030~0032の3種がチッチゼミ亜科(Tibicininae)に入る。セミ亜科では雄の発音器に背弁を備えているが、チッチゼミ亜科ではこれを欠き、発音膜を露出している。日本産は各種の雄はすべて発音器を有し、それぞれが種として特徴のある鳴き声を発する。

日本に産する、上述の32種のコード番号、和名および学名は次のとおりである。

- 0001 ニイニイゼミ Platypleura kaempferi (Fabricius)
- 0002 ヤエヤマニイニイ P. yayeyamana Matsumura
- 0003 ミヤコニイニイ P. miyakona (Matsumura)
- 0004 イシガキニイニイ P. albivannata M. Hayashi
- 0005 クロイワニイニイ P. kuroiwae Matsumura
- 0006 チョウセンケナガニイニイ Suisha coreana (Matsumura)
- 0007 コエゾゼミ Tibicen bihamatus (Motschulsky)
- 0008 エゾゼミ T. japonicus (Kato)
- 0009 ヤクシマエゾゼミ T. esakii Kato
- 0010 アカエゾゼミ T. flammatus (Distant)
- 0011 キュウシュウエゾゼミ T. kyuskyuensis (Kato)
- 0012 クマゼミ Cryptotympana facialis (Walker)
- 0013 ヤエヤマクマゼミ C. yaeyamana Kato
- 0014 アブラゼミ Graptopsaltria nigrofuscata (Motschulsky)
- 0015 リュウキュウアブラゼミ G. bimaculata Kato
- 0016 ハルゼミ Terpnosia vacua (Olivier)
- 0017 エゾハルゼミ T. nigricosta (Motschulsky)
- 0018 a ヒメハルゼミ Euterpnosia chibensis chibensis Matsumura
- 0018 b ダイトウヒメハルゼミ E. chibensis daitoensis Matsumura
- 0018 c オキナワヒメハルゼミ E. chibensis okinawana Ishihara
- 0019 イワサキヒメハルゼミ E. iwasakii (Matsumura)
- 0020 a ヒグラシ Tanna japonensis japonensis Distant
- 0020 b イシガキヒグラシ T. japonensis ishigakiana Kato
- 0021 タイワンヒグラシ Pomponia linearis (Walker)
- 0022 ミンミンゼミ Oncotympana maculaticollis (Motschulsky)
- 0023 ツクツクボウシ Meimuna opalifera (Walker)
- 0024 オオシマゼミ M. oshimensis (Matsumura)
- 0025 クロイワツクツク M. kuroiwae Matsumura

- 0 0 2 6 イワサキゼミ M. iwasakii Matsumura
- 0 0 2 7 オガサワラゼミ M. boninensis (Distant)
- 0 0 2 8 ツマグロゼミ Nipponosemia terminalis (Matsumura)
- 0 0 2 9 イワサキクサゼミ Mogannia minuta Matsumura
- 0 0 3 0 チッチゼミ Cicadetta radiator (Uhler)
- 0 0 3 1 エゾチッチゼミ C. yezoensis (Matsumura)
- 0 0 3 2 クロイワゼミ Baeturia kuroiwae (Matsumura)

日本のセミの豊富さは外国の人びとにとっては想像を絶するものがあるらしい。琉球を除く日本各地に極めて普通に産すアブラゼミにしても、初めてこのセミをみた外国人は、異口同音に "beautiful" とか、 "excellent" と感嘆する。エメラルドを散りばめ、まるでアール・ヌーヴォーのガラス工芸品を思いおこさせるようなミンミンゼミ、山あいでは涼しげな声で鳴くヒグラシ、独特なリズムカルな声で夏の終わりを告げるツクツクボウシなど、豊富で多彩なセミが挙げられる。セミの声は、日本人の生活の中に深く溶け込んでおり、季節の風物誌となるなど、日本人の感性にフィットしている。

各種の調査メッシュ図について

- A 分布パターンを表している。
- B やや情報不足 (A と C の中間)
- C 情報不足 (分布の特色が出ていない。)

- 0 0 0 1 ニイニイゼミ ----- C
- 0 0 0 2 ヤエヤマニイニイ ----- A
- 0 0 0 3 ミヤコニイニイ ----- A
- 0 0 0 4 イシガキニイニイ ----- A
- 0 0 0 5 クロイワニイニイ ----- A
- 0 0 0 6 チョウセンケナガニイニイ --- A
- 0 0 0 7 コエゾゼミ ----- B
- 0 0 0 8 エゾゼミ ----- B
- 0 0 0 9 ヤクシマエゾゼミ ----- A
- 0 0 1 0 アカエゾゼミ ----- B
- 0 0 1 1 キュウシュウエゾゼミ ----- A
- 0 0 1 2 クマゼミ ----- B
- 0 0 1 3 ヤエヤマクマゼミ ----- A
- 0 0 1 4 アブラゼミ ----- C
- 0 0 1 5 リュウキュウアブラゼミ ----- A
- 0 0 1 6 ハルゼミ ----- B
- 0 0 1 7 エゾハルゼミ ----- B
- 0 0 1 8 ヒメハルゼミ ----- B
- 0 0 1 9 イワサキヒメハルゼミ ----- A
- 0 0 2 0 ヒグラシ ----- B
- 0 0 2 1 タイワンヒグラシ ----- A
- 0 0 2 2 ミンミンゼミ ----- B
- 0 0 2 3 ツクツクボウシ ----- C
- 0 0 2 4 オオシマゼミ ----- A
- 0 0 2 5 クロイワツクツク ----- A

0 0 2 6	イワサキゼミ	-----	A
0 0 2 7	オガサワラゼミ	-----	A
0 0 2 8	ツマグロゼミ	-----	A
0 0 2 9	イワサキクサゼミ	-----	A
0 0 3 0	チッチゼミ	-----	C
0 0 3 1	エゾチッチゼミ	-----	B
0 0 3 2	クロイワゼミ	-----	A

琉球のセミ類は、ようやく大体の整理ができたのが現状で、まだ分類学的な再検討を要する事柄も二三残されているが、産地の局限される種が多いため、分布パターンの把握も容易で、Aの評価が多いことになった。それに対して、全国的に普通にみられるセミの分布状況は十分に把握されてはいない。「どこにでもいる」という安心感(?)からか、きちんと記録しようとしなからであろう。しかし、自然環境が大きく変わりつつある現状であり、その変化をみる上でも、現在の分布状況を把んでおく必要がある。前述の区分で、CをBやAにもっていきけるよう努力すべきであろう。

## 2. 日本産各種の概要

### 1) 0001 ニイニイゼミ Platypleura kaempferi (Fabricius)

日本全土(沖縄本島以北)、台湾、朝鮮、中国に分布。模式産地は“Japan”。

6月中旬ごろから9月にかけて至る所に最も普通に現われる日本のセミ。チィー・・と”岩にしみ入る”ような鳴き声で、その初鳴きは梅雨明け、またはその近いことを告げる。広食性で、多くの樹木に生息するが、ミカン、ナシ、ビワなどの果樹園では多少有害と思われる。

### 2) 0002 ヤエヤマニイニイ P. yayeyamana Matsumura

琉球の八重山諸島(石垣島、西表島)に固有。模式産地は“石垣島”。

前種に近縁で、鳴き声もよく似ている。5月下旬から11月までみられ、リュウキュウマツにとくに多い。前胸背側縁が大きく張り出しその角度は約90°である。

### 3) 0003 ミヤコニイニイ P. miyakona (Matsumura)

琉球の宮古諸島特産。模式産地は“Miyakojima”。

宮古島では全島的に見られ、出現期は5月中旬から6月末。前翅の前縁部は基部に近く、強く張り出している。伊良部島、多良間島などにも分布する。

### 4) 0004 イシガキニイニイ P. albivannata M. Hayashi

琉球の石垣島特産。模式産地は“Ishigaki Is.”

石垣島北部(裏石垣)の米原付近に、6月から7月上旬に現われる。鳴き声は同属の他種と互いによく似る。後翅に白色部をもつ顕著な種。

### 5) 0005 クロイワニイニイ P. kuroiwae Matsumura

琉球の奄美諸島と沖縄諸島に分布。模式産地は沖縄の那覇。

5月から8月上旬にかけて出現。種々の樹木に生息するのみならず、ススキ、サトウキビなどイネ科草本にも見られ、産卵も確認されている。形態や鳴き声はニイニイゼミに似ているが、体は一般的にやや小さく、後翅の外縁部の幅が広く、翅長の約1/3に及ぶため容易に区別される。

### 6) 0006 チョウセンケナガニイニイ Suishia coreana (Matsumura)

日本では対馬だけに産するが、大陸性の種で、朝鮮半島から中国大陸に広く分

布している。模式産地は韓国の“Tairyō”。

対馬では島内全域に分布するが、産地は局所的である。出現期は秋で、10月から11月にかけて現われ、10月後半が最盛期である。コナラ、スダジイなどの梢に多く、チーッ・チーッ・チーッ……チーと断続的な声で鳴く。

本種は日本産の他のニイニイゼミとは別の仲間に属し、頭部が大きく、和名が示すように体表に黒色の長毛が密生し、後翅はオレンジ色である。

7) 0007 コエゾゼミ Tibicen bihamatus (Matschulsky)

北海道、本州、四国、サハリン、南千島に分布し、九州や朝鮮からの記録のないことは注目される。模式産地は“Japon”。

北海道では平地や低山帯にいるが、西日本では標高1,000m前後より高いブナ帯に生息し、7月中旬より8月末まで、ジー……という連続音で鳴く。本州での西限は広島県比婆郡道後山(1,268m)。四国ではかなりの産地が知られ、愛媛県石鎚山(1,982m)、同上浮穴郡皿が嶺(1,271m)、徳島県剣山(1,955m)、高知県長岡郡梶ガ森(1,400m)などである。種の特徴は♂の腹弁にはっきりしており、細長く八字状で、左右が重なることはない。

8) 0008 エゾゼミ T. japonicus (Kato)

北海道、本州、四国、九州、朝鮮、中国に分布し、模式産地は“北海道、本州”。

北海道や東北地方では平地に産するが、西日本では標高500~1,000mの低山帯に普通。7月中旬から9月上旬にかけて出現し、各種の樹木に生息するが、アカマツなどの針葉樹に多く、スギ、ヒノキなどの人工林にも珍しくない。ギー……という連続音で鳴く。一見、前種に似ているが、体が一回り大きく、斑紋が比較的細いので区別できる。

9) 0009 ヤクシマエゾゼミ T. esakii Kato

屋久島固有種。模式産地は屋久島の“Hananoego(花之江河)”。

屋久島の標高800~1,800mの山地に生息し、スギの樹上に多く、エゾゼミの声を低くしたような声で鳴く。個体数は少ない。

10) 0010 アカエゾゼミ T. flammatus (Distant)

北海道、本州、四国、九州、朝鮮、中国に分布する。模式産地は“Japan:Yesso and Tokoe”。

エゾゼミとほぼ同じ標高の所に生息し、混生することもある。7月中旬から9月上旬にかけて出現し、梢付近や枝先の葉上にとまって、コエゾゼミの声を低くしたような、ジー……という声で鳴き、鳴き終ると直ちに飛び去る。広葉樹林にのみ生息し、マツ林やスギ・ヒノキ植林ではみられない。体の大きさ、斑紋などもエゾゼミに似ているが、和名のように橙色が強く、前胸背ではその内片と外片との色彩の差が小さく、♂の腹弁は短く、円味がある。

11) 0011 キュウシュウエゾゼミ T. kyushyuensis (Kato)

本州(広島県)、四国(愛媛県、高知県)および九州に分布する。模式産地は九州の大分県九重山。西日本特産種である。

本州では、広島県山県郡臥竜山(刈尾山1,223m)の他、恐羅漢山、十方山などの西中国山地の頂点部のみに産す。四国の愛媛県では、上浮穴郡大野ガ原(1,000~1,200m)一帯に生息することが以前から知られ、石鎚山ではコエゾゼミと混生するらしい。高知県では中~西部の山地から局所的に記録され、四国では標高1,000~1,500mの山地に広く分布しているものと思われる。九州では英彦山、九重山、市房山一帯に点々と産地が知られている。本種の分布状況とくにコエゾゼミとの関連については今後の調査に大いに期待される。本種は、形態、生態共に

コエゾゼミに似ているが、中胸背の斑紋が大きいこと、腹弁の形状によって区別できる。

12) 0012 クマゼミ Cryptotympana facialis (Walker)

本州（関東地方以西）、四国、九州、琉球、台湾？、中国大陸？、タイ？。模式産地は“Siam”。タイの記録はおそらく何らかの間違いによると見なされる。台湾から本種として記録されたものは、これまでのところ近似の別種タカサゴクマゼミ C. takasagona Kato である可能性が高い。腹部背面には白粉による帯状紋が現れることがあり、宮古諸島の多良間島と八重山諸島の個体群は腹部背面の白粉紋が発達し、そのため別亜種として扱われていたが、地理的変異と見なすべきものと考えられる。なお、同じような現象が、インドネシアのジャワとバリに分布する1種、C. acuta (Signoret) にもみられる。

7月中旬から9月上旬にかけて現われ、カキ、センダン、ビワ、ホルトノキなどの幹に群れるものが多い。早朝から午前中にシャア・シャア……と大きな声で鳴く。

13) 0013 ヤエヤマクマゼミ C. yaeyamana Kato

琉球の八重山諸島（石垣島、西表島）特産種。模式産地は“琉球（八重山）”。普通7月中旬から9月下旬に現われ、カラスザンショウを好み、細い枝に止まってミンミンゼミのようにミン、ミンと鳴く。日本最大のゼミで、クマゼミよりやや大きく、体は黒色で光沢を装い、黄金色の鱗毛で覆われている。

14) 0014 アブラゼミ Graptopsaltria nigrofuscata (Motschulsky)

北海道、本州、四国、九州（屋久島以北）、朝鮮、中国に分布し、模式産地は“Japon”。

日本各地に7月中旬から9月中旬にかけて、極めて普通の、いわば日本のゼミの代表。多食性で、種々の樹木にみられるが、リンゴ、ナシなどの果樹害虫になることがある。

15) 0015 リュウキュウアブラゼミ G. bimaculata Kato

琉球の奄美諸島と沖縄諸島に分布し、模式産地は“琉球（那覇）”。6月中旬から10月にかけて普通。前種によく似ているが、頭部と胸背に茶色や緑褐色の斑紋を有し、鳴き声も連続的な前種に対し断続的である。比較的暗い林中にみられ、鳴き移りもよく行なう。

16) 0016 ハルゼミ Terpnosia vacua (Olivier)

本州、四国、九州、中国に分布し、模式産地は“Japon”。

4月末から6月上旬にかけて、平地から山地にかけてのマツ林に多く、横枝にとまって、晴れ間に合唱する。最近の松枯れによるマツ林の消滅と開発などの人為的破壊によって、残念にもハルゼミの全く見られなくなった所が多い。ハルゼミはアカマツ、クロマツに限って生息し、他の樹木にすめないことによる悲劇としかいいようがない。石原（1982）を参照のこと。

17) 0017 エゾハルゼミ T. nigricosta (Motschulsky)

北海道、本州、四国、九州、サハリン、南千島、中国と広範な分布が明らかになったが、模式産地は“Japon”である。

北海道や東北地方では平地や低山帯に、西日本では標高700~1,500mのブナ帯に生息し、5月下旬から7月末まで、広葉樹上にあつて、ミョーキン！ミョーキン！ケケケ……と奇妙なカエルのような声で鳴く。大きさは前種とほぼ同じであるが、♂の腹部が大きく袋状で、胸背には緑色や褐色の斑紋があるので容易に区別される。

18) 0018 ヒメハルゼミ Evterpnosia chibensis Matsumura

本州、四国、九州、琉球に分布。模式産地は千葉県の“Mt. Yawata”。日本固有種。

次の3亜種に分けられている。

0018a ヒメハルゼミ基本亜種 E. chibensis chibensis Matsumura

分布は本州（関東以西）、四国、九州、琉球（徳之島以北）。

シイ、カシ類、ツバキ、タブノキなどの暖帯林にみられ、7月に入ると多数が出現し、濁った低いウーンといった声で鳴き、8月になれば姿を消し、鳴き声も絶える。本種は顕著な合唱性を持つので、最盛期にはたいへんにぎやかである。北限の茨城県笠間市（八幡社、楞厳寺）、千葉県茂原市（八幡山）、新潟県西頸城郡能生町（白山神社）の発生地は、国指定の天然記念物として保護されているが、四国の西南部の海岸や島嶼部では、普通のセミである。

0018b ダイトウヒメハルゼミ E. chibensis daitoensis Matsumura

分布は北大東島と南大東島。模式産地は“Daitojima”。

基本亜種では、体の背面には光沢を欠き、斑紋は明瞭、腹部背面の節間膜が黒褐色であるのに対し、本亜種では体の背面に光沢があり、斑紋は不明瞭。3月中旬～4月上旬の早い時期に出現し、海岸近くの岩礁上の植生にすむ。島内での分布も限られ、個体数も少なく、保護しないと絶滅が危まれる。

0018c オキナワヒメハルゼミ E. chibensis okinawana Ishihara

沖縄本島とその北西に位置する伊平屋島に産する。模式産地は“Yona, Okinawa I.”。沖縄本島では北部と本部半島の山地だけに生息し、イタジイ林にすむ。6月にもっとも多く、細い枝にとまって大合唱をする。

基本亜種や前亜種では、頭部が前胸背最大幅より狭く、口吻は後基節を超えないが、本亜種では、頭部は幅広く、前胸背大幅とほぼ同じで、口吻は後基部を超えて後方に伸びるなどの相違があり、一段と小さい体や翅、特異な腹部の形状などの特徴から、ヒメハルゼミの亜種とすべきかどうか、今後検討する必要がある。

19) 0019 イワサキヒメハルゼミ E. iwasakii (Matsumura)

琉球の八重山諸島（石垣島、西表島、与那国島）特産種。模式産地は“沖縄（八重山）”。

山間の林中に、4月中旬から8月上旬に出現し、種々の広葉樹の枝にとまって、ヒメハルゼミに似た低くゆっくりとしたテンポの声で鳴く。本種はヒメハルゼミ基本亜種に似ているが、一回り小形で、胸背の黒条は細く、容易に区別できる。

20) 0020 ヒグラシ Tanna japonensis Distant

北海道（南部）、本州、四国、九州、琉球、朝鮮、中国（東北部）に分布。模式産地は“Japan:Tokoe”。文学上にもよく出てくる日本のセミである。

現在の知見では、次の2亜種に分けられる。

0020a ヒグラシ基本亜種 T. japonensis japonensis Distant

分布は北海道、本州、四国、九州、トカラ列島、宝島、奄美大島、朝鮮半島、中国（東北部）。

関東以北では平地にもいるが、西日本では低山帯から山地にかけて多く、出現期は7月上旬から9月上旬。鳴き声はケケケ……と、涼しげである。なお、奄美大島の個体では、鳴き声がやや異なる。

0020b イシガキヒグラシ T. japonensis ishigakiana Kato

琉球の八重山諸島（石垣島、西表島）に産する。模式産地は示されていないが、和名などから石垣島と思われる。

ヒグラシとの相違点として、イシガキヒグラシの中胸背には黒色部がなく、斑紋がぼやけていることくらいしか、指摘しえないが、生物地理的にみても、ヒグラシの亜種とするのは問題がある。奄美大島産のを含め、今後分類学的な再検討が必要である。

21) 0021 タイワンヒグラシ Pomponia linearis (Walker)

琉球（八重山諸島：石垣島、西表島）、台湾、中国、ベトナム、タイ、バングラデシュ、インド、スマトラ、ジャワ、ボルネオなど、東洋熱帯に広く分布する。出現期は長く、5月下旬から11月におよぶ。午後6時頃から濁った大声で鳴く。鳴き移りもよくおこなう。

22) 0022 ミンミンゼミ Oncotympana maculaticollis (Motschulsky)

北海道、本州、四国、九州、朝鮮半島、中国、アムールに分布し、模式産地は“Japon”。

東日本では平地に多いが、西日本では主に低山帯から山地に生息する。ミン・ミンミン・ミーと鳴き、和名は明らかにこの鳴き声に由来する。出現期は7月下旬から10月上旬までで、夏の後半に特に多い。

23) 0023 ツクツクボウシ Meimuna opalifera (Walker)

分布は北海道、本州、四国、九州、琉球（トカラ列島悪石島以北）、台湾、朝鮮、中国。模式産地は“Corea”。

模式産地は日本ではないが、日本各地の広葉樹林に7月下旬から9月にかけて普通にみられるセミで、8月中旬に個体数を急増するため、秋の近いことを告げるセミとされる。その鳴き声は、リズムカルで音楽的である。

24) 0024 オオシマゼミ M. oshimensis (Matsumura)

分布は琉球の奄美大島、徳之島、沖縄本島、慶良間列島、久米島。模式産地は“Oshima und Kikaigashima”であるが、喜界島産の個体（♀）は0025クロイワツクツクの誤りである。

山間部の種々の樹木の主として幹にとまって、カンカン……というかん高い声で鳴く。出現期は7月から11月末に及ぶ。本邦の Meimuna 属の最大種で、色彩や斑紋は前種に似ているが、緑色味が強い。♂の腹弁は大きく、長三角形状である。

25) 0025 クロイワツクツク M. kuroiwae Matsumura

九州（大隅半島鹿屋市以南）から琉球（沖縄本島以北）の各島に普通に産し、模式産地は“Riukiu(Naha)”。

平地から山間部にかけて、7月末から10月下旬に現われ、9月に最盛期となる。リュウキュウマツ他の種々の樹木の幹や枝に止まって、のんびりした独特の声で鳴く。本種はツクツクボウシに比べてやや大きく、♂の腹弁が長円形であるため区別できる。

本種にみられる個体変異や地理的変異によって、多くの別名（異名）がある。すなわちオオシマツクツク（屋久島、奄美大島）、キカイゼミ（喜界島）、サカグチゼミ（沖縄本島）、ツチダゼミ（大隅佐多岬）、ヘントナゼミ（沖縄本島辺土名）などである。

26) 0026 イワサキゼミ M. iwasakii Matsumura

琉球（八重山諸島：石垣島、西表島）、台湾に分布。模式産地は“沖縄（八重山）”。

山間部の種々の樹木に生息し、テンポの早いせわしない声で鳴く。出現期は普通8月中旬から11月下旬。クロイワツクツクに比べ、頭部と胸部とが比較的大きく、♂の腹弁は長く、先端は尖っているため区別できる。

27) 0027 オガサワラゼミ M. boninensis (Distant)

小笠原諸島（父島列島、母島列島特産）。模式産地は“Bonin Islands”。

出現期は長く、5月から12月にかけて現われ、種々の樹木に生息する。本種は小笠原諸島の固有種と考えられて、天然記念物にも指定されているが、形態的にも生態的にもクロイワツクツクと決定的な相違点がなく、おそらく、植物と共に琉球より入って広がったものであろうという意見がある。

28) 0028 ツマグロゼミ Nipponosemia terminalis (Matsumura)

分布は琉球（宮古島以西）、台湾、中国、模式産地は“沖縄（八重山、宮古島）、中国（四川州）”。

4月下旬から7月下旬にかけて、イスノキ、カラスザンショウなどの繁みに出現し、シー、シー、と鳴く美しく小さいセミである。宮古島の産地はきわめて局限され、そこでは天然記念物として保護されている。

29) 0029 イワサキクサゼミ（ヒメクサゼミ）Mogannia minuta Matsumura

琉球（沖縄本島南部以西）、台湾に分布。模式産地は台湾の恒春。

日本産の中で最小のセミ。3月から7月にかけて出現し、ススキ、サトウキビなどイネ科草本の葉上にあって、ジーと鳴く。

イワサキクサゼミ M. iwasakii Matsumura, 1913 は台湾産のヒメクサゼミ M. minuta Matsumura, 1907 のシノニムであり、学名は当然 minuta にしなければならないが、和名は、現在のまま（イワサキクサゼミ）をすすめたい。琉球ではサトウキビの害虫とされ、その名も浸透しているのに対して、台湾では南部に局所的にみられる稀種と思われるからである。なお、台湾でサトウキビ害虫とされるのは別種、クサゼミ M. hebes (Walker)である。

30) 0030 チッチゼミ Cicadetta radiator (Uhler)

北海道、本州、四国、九州に分布。模式産地は“Japan”。日本固有種。

北海道と九州では産地が局限される。7月中旬から10月上旬にかけて、低山帯から山地に多く、好んでアカマツ、スギなど針葉樹の小枝や葉にとまって、チッチッ……と弱い連続した声で鳴く。

31) 0031 エゾチッチゼミ C. yezoensis (Matsumura)

分布は北海道、南千島、サハリン、ウスリー、朝鮮、中国（東北部）。模式産地は“Japan (Hokkaido)”。

北海道での分布西限は、小樽市と登別温泉を結ぶ線と考えられている。本州の日本アルプスで採られたという未確認記録もある。前種と比較すると大形で、体が短く、ずんぐりしているため容易に区別できる。海岸近くから標高1,000mくらいの山地まで生息し、7月下旬から9月中旬にかけて、種々の樹木の枝葉に止まって、シシシ……と鳴く。鳴いたまま、飛ぶという変わった習性がある。

32) 0032 クロイワゼミ Baeturia kuroiwa (Matsumura)

琉球の沖縄本島と久米島特産種。模式産地“沖縄”。

体全体が鮮黄緑色で、眼がグレーの小型で美しいセミ。種々の広葉樹の枝葉部に生息し、夕方の7時すぎの約30分間、チュチュチュ……と可愛らしい声で鳴く。出現期は5月末から7月中旬だが、6月後半に多い。

（林 正美）

## 引用文献

- 林正美、1984. 日本産セミ科概説. 日本セミの会々報, 5(2-4):25-76.
- 林正美、1989. 日本産セミの分布調査報告(1). アブラゼミ属、エゾゼミ属.  
日本セミの会々報、8(1):1-27.
- 林正美、1990. 日本産セミの分布調査報告(2). ハルゼミ属、ヒメハルゼミ属、  
ヒグラシ属、タイワンヒグラシ属、ミンミンゼミ属. 日本セミの会々  
報, 9(1-3):1-46.
- 林正美、1991. 日本産セミの分布調査報告(3). ニイニイゼミ属、ケナガニイニ  
イ属、クマゼミ属. 日本セミの会々報, 10(1-2):1-32.
- 林正美、1992. 日本産セミの分布調査報告(4). ツクツクボウシ属、ツマグ  
ロゼミ属、クサゼミ属、チッチゼミ属、クロイワゼミ属. 日本セミの  
会々報, 11(1-2):1-32.
- 石原保、1982. 指標昆虫としてのハルゼミ. 遺伝, 36(7):23-28.

## IV. ま と め

第4回自然環境保全基礎調査における動植物分布調査の全種調査は、哺乳類、両生類・爬虫類、淡水魚類、昆虫類（トンボ類、セミ類、チョウ類、ガ類の一部、甲虫類の一部）、貝類（陸産貝類、淡水産貝類）を調査対象に実施した。本調査においては、種の同定能力のある専門研究家に協力を要請し、分布情報の提供をいただいたもので、結果として約2,600名の協力が得られ、延べ報告件数はおよそ53万件にのぼった。これらの分布に関する原情報は、1kmメッシュの情報であるが、分布図に整理する際には10kmメッシュに変換して表示した。分布図は、報告のあった全ての種について作成し、分類群ごとの分冊（哺乳類、両生類・爬虫類、淡水魚類、トンボ類、チョウ類、ガ類、セミ類・甲虫類、貝類の8分冊）として取りまとめた。

### 1. 全種調査全般について

全種調査は、生物地理学、生態学等の自然科学の基礎資料になるとともに、動植物の保護管理のための施策立案に客観的な情報を提供することを目的に、人為的、自然的要因により変化し続ける我が国の生物相を網羅的に記録する事を目指しているものである。

なお、この調査を通じて、特定の目的に利用が限られていた各種の調査結果や、公開の機会が限られていた個人の観察記録などが有効な分布情報として蘇生されるよう期待した。

今回の調査では、ごく限られた期間の内に、約2,300種についての分布情報が得られ、全てが分布図化された。分布情報に空白域があって全ての分布図が全国的な分布状況を表しているわけではないが、半数以上の分布図が「分布パターンを表している」と判定されたこと、分布に関するいくつかの新しい知見が得られたことなどが今回の全種調査の成果である。なお、今回の調査では、第3回調査に引続き、全国の専門家の協力によりデータを収集する、という調査体制が採られたが、前回にも増して多くの専門研究者の理解が得られた。これは、今後の全種調査継続に明るい展望を与えるものである。

しかし、今回の調査を顧みれば、いくつかの問題点も指摘される。まず、調査者になりうる人の絶対数が限られ、かつ調査フィールドの地域的な片寄りもあって、収集された分布情報にも地域的な片寄りが見られ、調査の全国的な均一性はまだ確保できていない。このことから、今回の報告書は前回調査結果より分布情報数及び精度に向上が見られるもののまだ情報の補完の余地が残されているといえる。

また、調査者の負担についての問題として、地域メッシュコードの検索・書き写しに多くの時間を要したこと、調査票の控えが手元に残せなかったことなどが挙げられる。

今後の調査継続の際には、分布情報の空白の解消とともに、調査員の省力化についての改善策の検討が必要である。

## 2. 昆虫（セミ）類の調査について

琉球のセミ類は分類学的な再検討を要する事柄も二、三残されているものの、産地の局限される種が多いため、「分布パターンを表している」と評価できるものが多かった。それに対して、全国的に普通にみられるセミの分布状況は十分に把握するには至っておらず、今後の努力が期待される。

セミ類についての調査の概況は次のとおりである。

### (1) 調査対象種

我が国に生息するセミ類の全種32種（亜種を含む）を調査対象とした。

### (2) 調査員と分布情報

調査は、無脊椎動物分科会検討員より推薦されたセミ類の専門研究者の内、32名の参加協力により実施され32種について6,146件の分布情報が得られた。

### (3) 分布図

分布図は、32枚が作成された。分布図には、それぞれの種の分布がどの程度表現されているか、その程度を判定し短いコメントを付したが、「分布パターンを表している」と判定されたものは18枚、「やや情報不足」と判定されたものは10枚、「情報不足」と判定されたものは4枚である。なお、特に注意を要するものについては個別に短いコメントを付した。

## 第2部 調査結果

### (2) 昆虫(甲虫)類



## I. 分布図

調査対象種のうち、原則として、1件でも報告があった種（亜種）について分布図（212枚）を作成した。分布図の配列は、分類順（巻末資料「調査対象種一覧」に示された調査対象種・亜種の順）である。報告がえられず、分布図を作成しなかったのは以下の6種である。

なお、本調査開始後に1030 *Gaurotes atripennis* ｸﾞﾞｱﾄﾞﾞｶﾞﾊﾞｶｷﾘ と 1040 *Gaurotes aureoprurpuea* ｸﾞﾞｱｶﾊﾞｶｷﾘ は同種であるとして、*Gaurotes atripennis* ｸﾞﾞｱｶﾊﾞｶｷﾘ に種名が変更されたため、1030 ｸﾞﾞｱﾄﾞﾞｶﾞﾊﾞｶｷﾘ 及び 1040 ｸﾞﾞｱｶﾊﾞｶｷﾘ の情報は 1040 ｸﾞﾞｱｶﾊﾞｶｷﾘ に集約し、1030 ｸﾞﾞｱﾄﾞﾞｶﾞﾊﾞｶｷﾘ の分布図は作成しなかった。

0120	オガサワラハンミョウ	1880	ドイハナカミキリ
0540	チョウセンヒラタクワガタ	2030	キソゴマベニハナカミキリ
1110	コアオハナカミキリ	2380	ウスリーホソコバネカミキリ

分布図の表示単位は2次メッシュ（1/25,000地形図1枚の区画に相当する。およそ10km×10km）とした。報告の年代が1985年以前又は不明である場合は○印を、1985年より新しい場合は●印を表示した。⊙あるいは●印は、当該種（亜種）が生息すると報告のあった2次メッシュの中心の位置を示すものであり、必ずしも分布地の中心を示すものではないことに留意されたい。

各種（亜種）の分布図には種（亜種）ごとに、えられた情報量の評価と外来種などその種に関する特記事項を付した。えられた情報量の評価は「分布パターンを表している」、「やや情報不足」、「情報不足」の3段階とした。基準は下の通りである。

### 「分布パターンを表している」

従来から知られている当該種の分布パターンをほぼ表す情報が収集されたもの。なお、広域分布種については、必ずしも稠密な報告が寄せられたか否かを判定基準とはせず、全体の輪郭が把握されたものは、この類型に含める。

### 「やや情報不足」

従来から知られている当該種の分布パターンをかなり表してはいるが、一部の地域からの情報が欠けているなど、完全に表したとはいえず、今後なお情報空白地域の解消に努める必要がある。

### 「情報不足」

広域分布種であるにも拘らず、限られた地域からの情報しか得られなかったもの。あるいは、模式産地等重要な分布地またはその周辺地域からの情報が無いなど、当該種の分布を語る上で極めて不十分な情報しか得られなかったもの。



# 昆虫（甲虫）類分布図

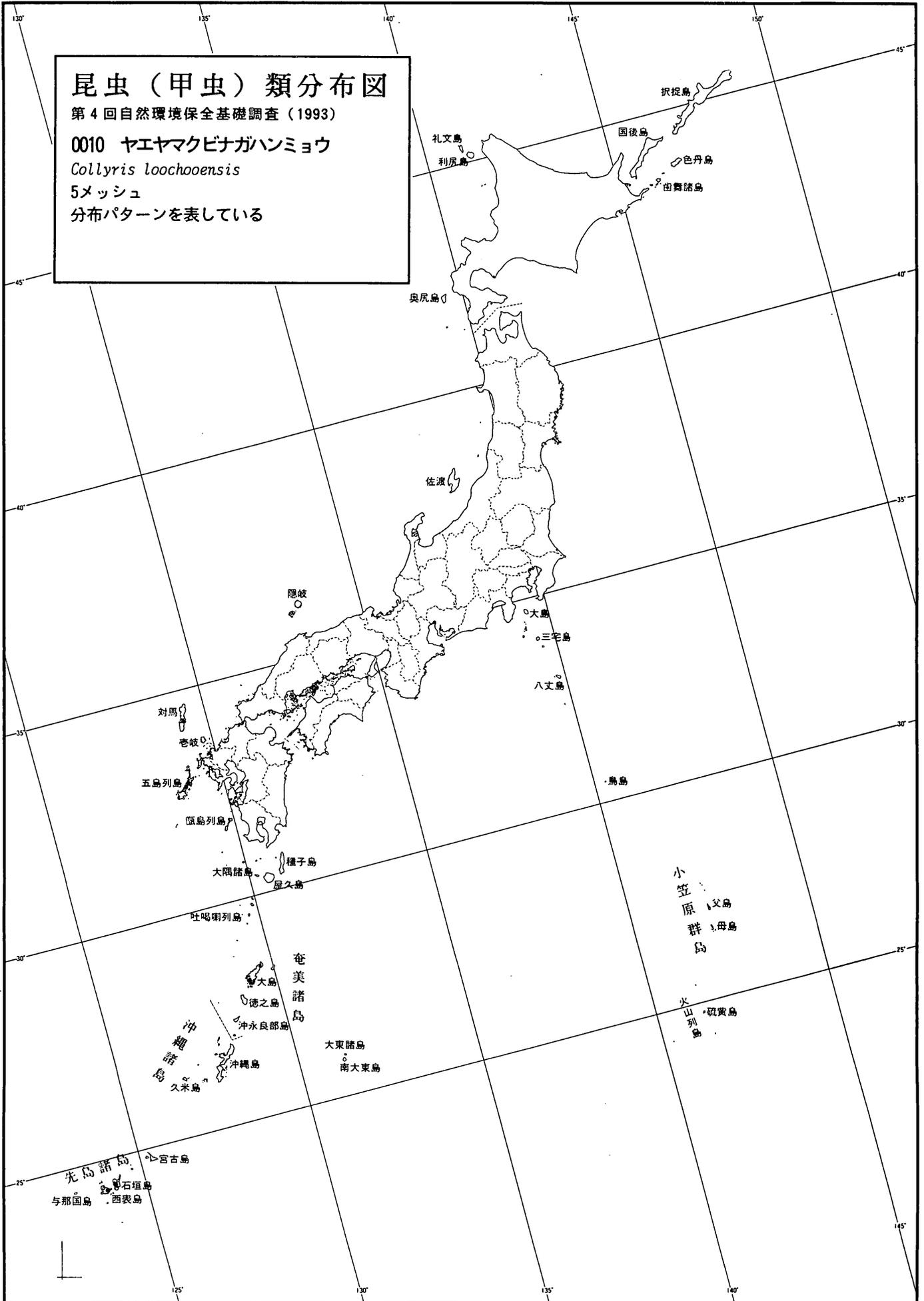
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0010 ヤエヤマクビナガハンミョウ

*Collyris loochooensis*

5メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

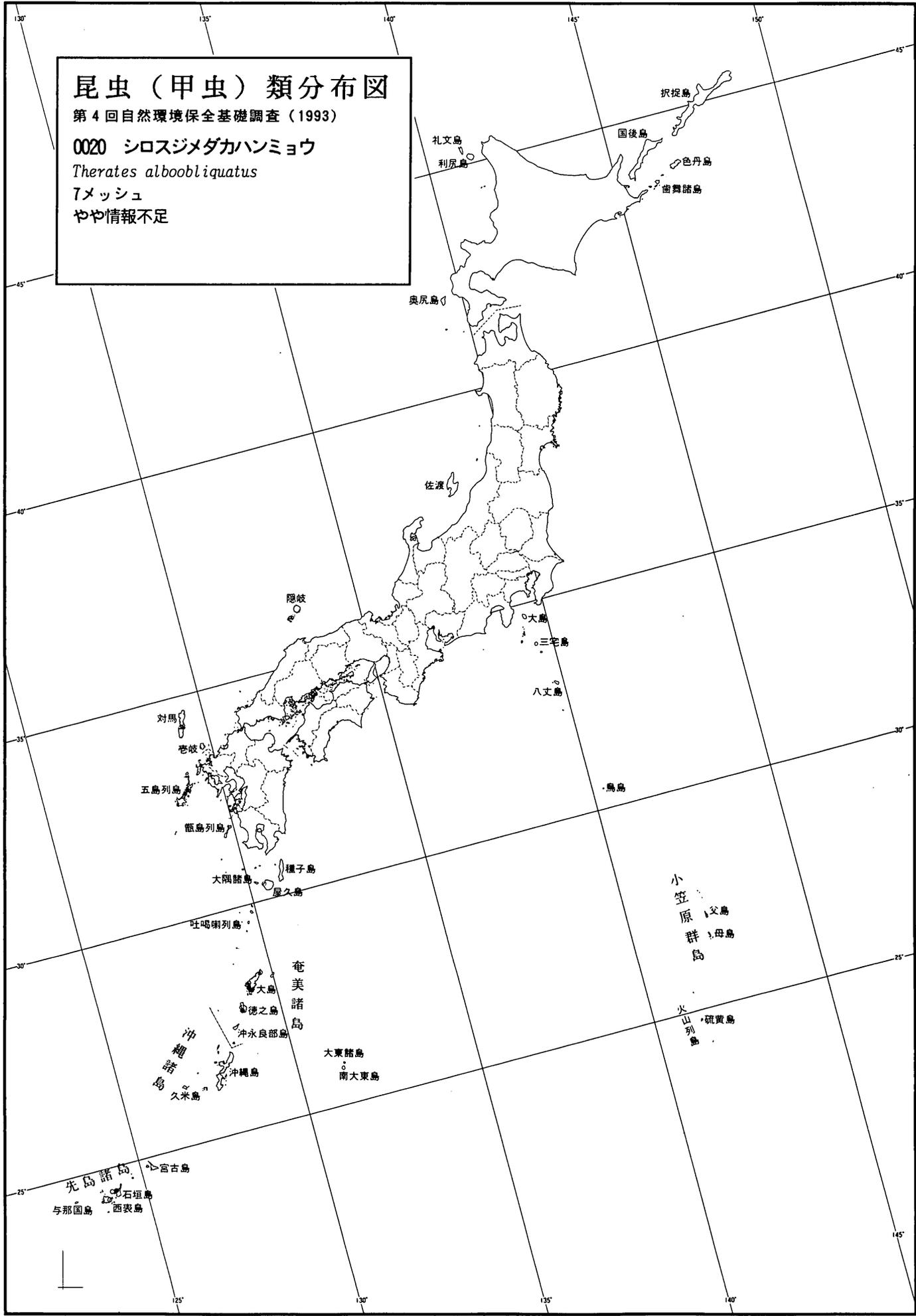
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0020 シロスジメダカハンミョウ

*Therates alboobliquatus*

7メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

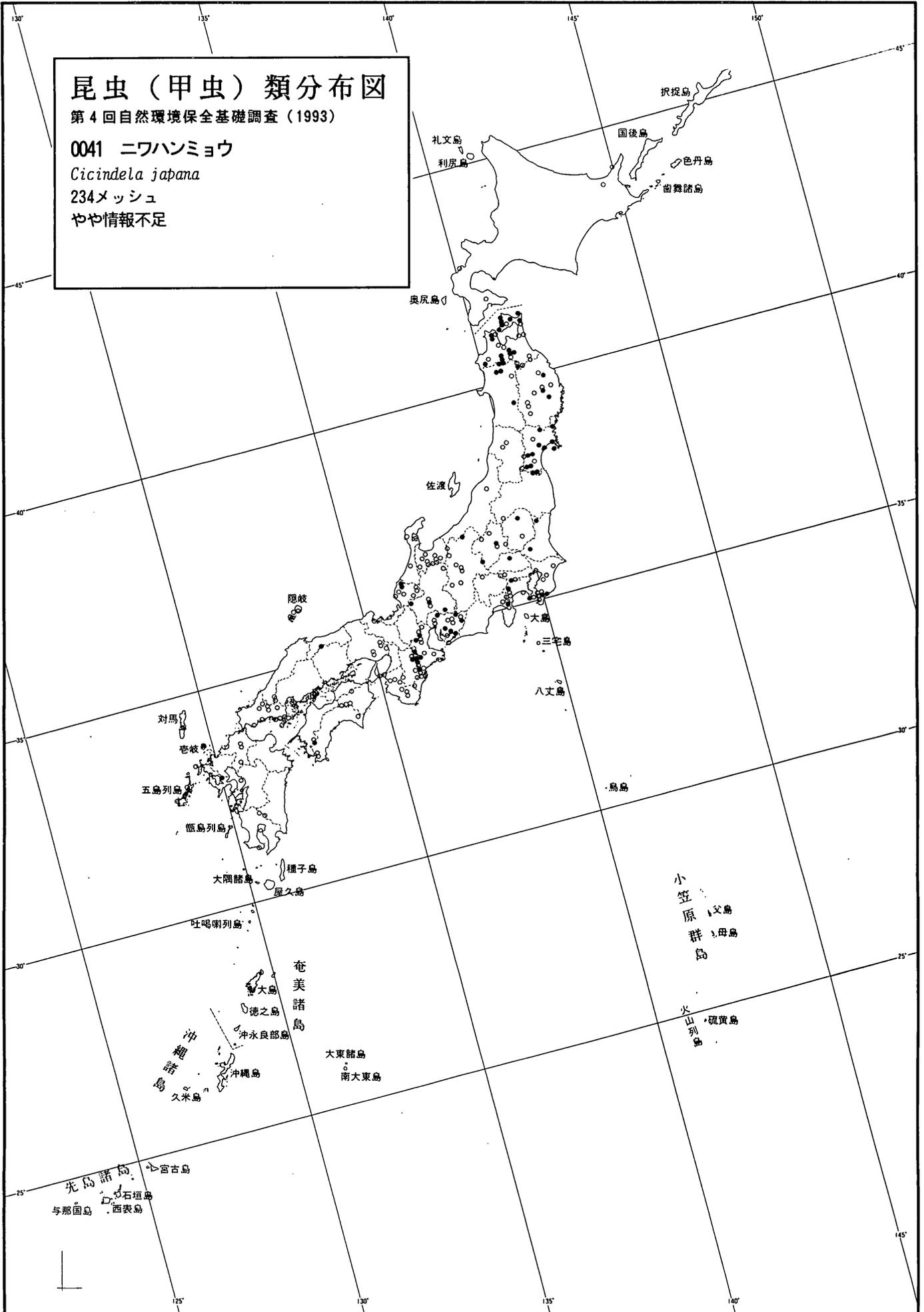
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0041 ニワハンミョウ

*Cicindela japona*

234メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

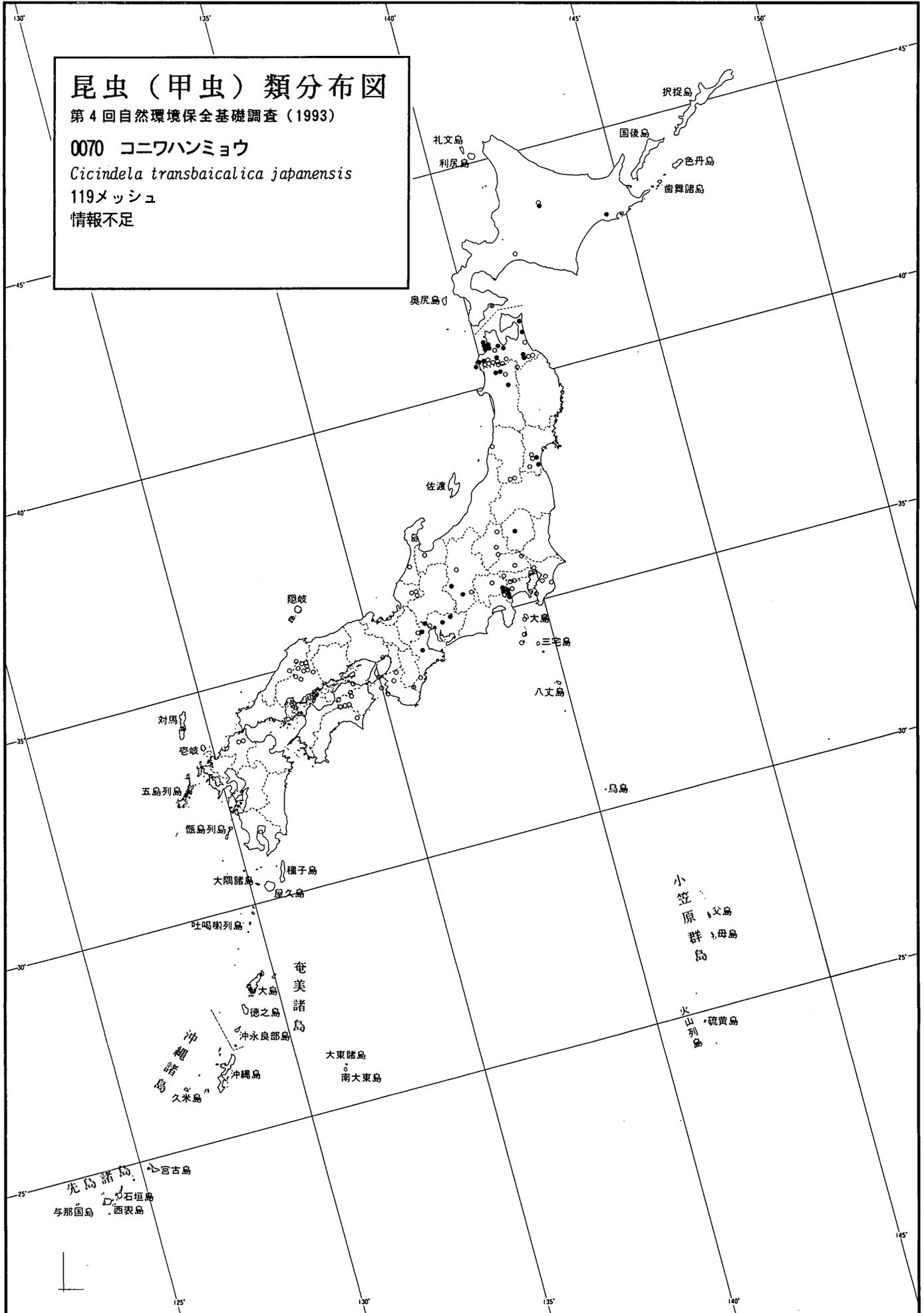
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0070 コニワハンミョウ

*Cicindela transbaicalica japonensis*

119メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

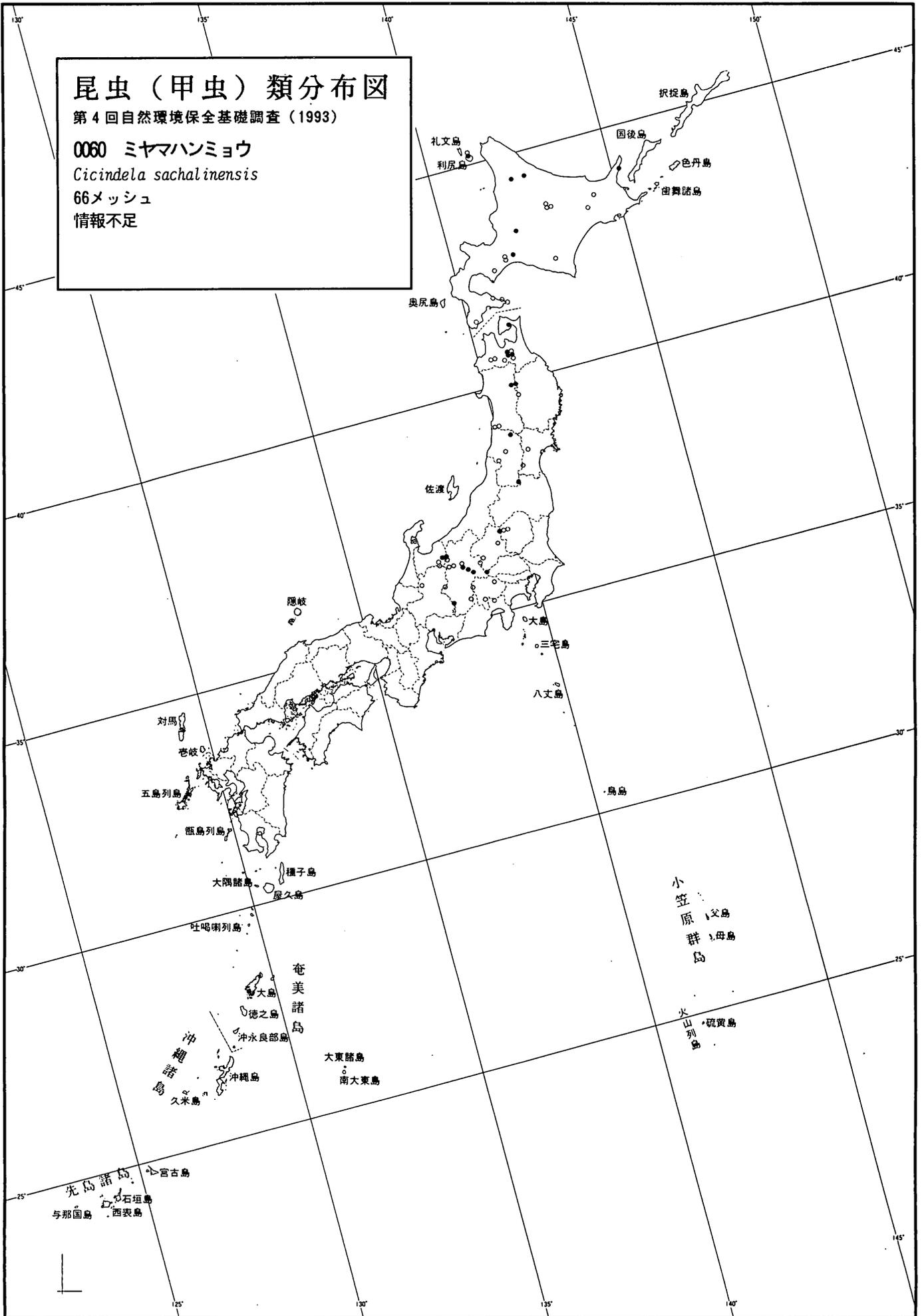
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0060 ミヤマハンミョウ

*Cicindela sachalinensis*

66メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

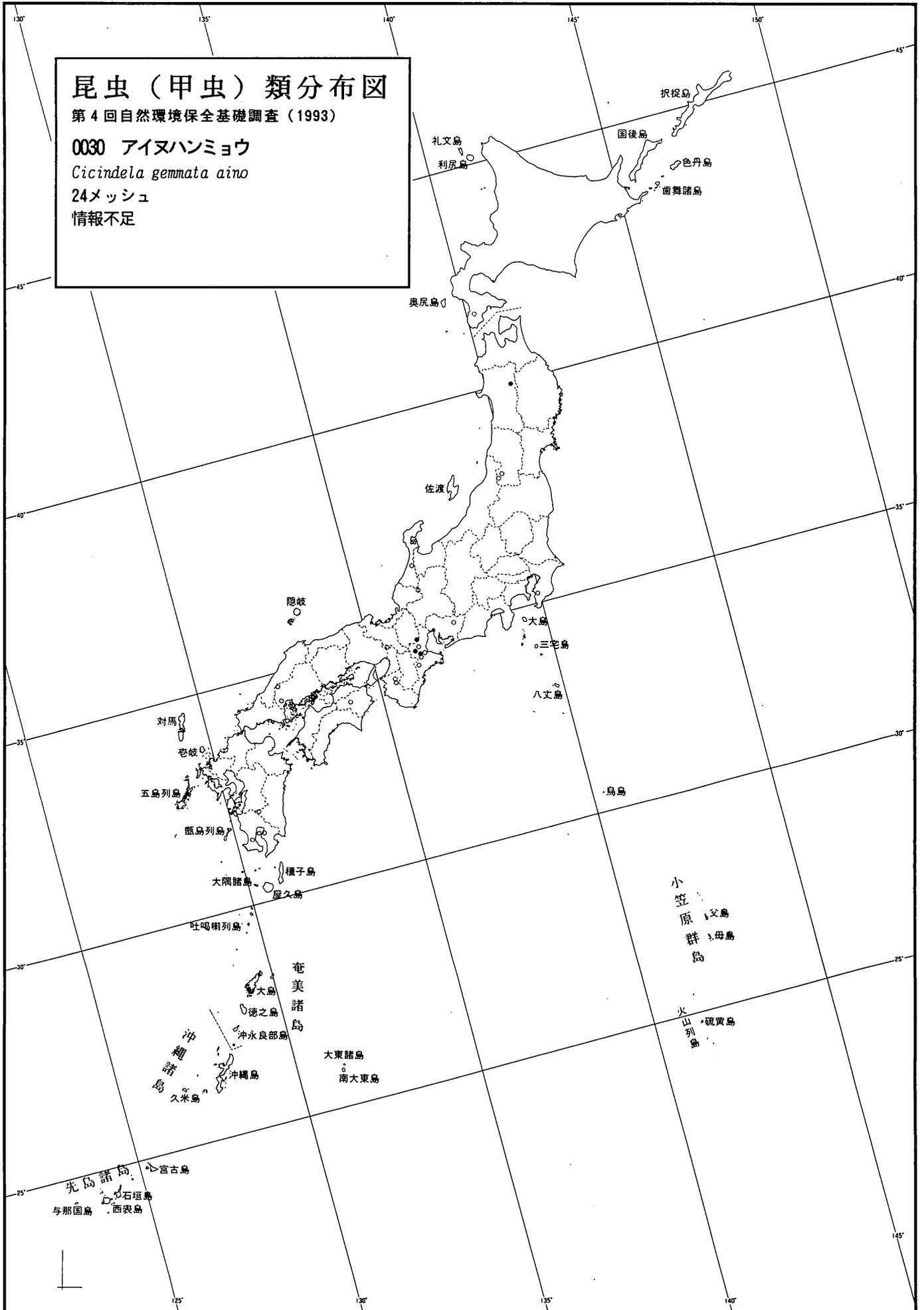
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0030 アイヌハンミョウ

*Cicindela gemmata aino*

24メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

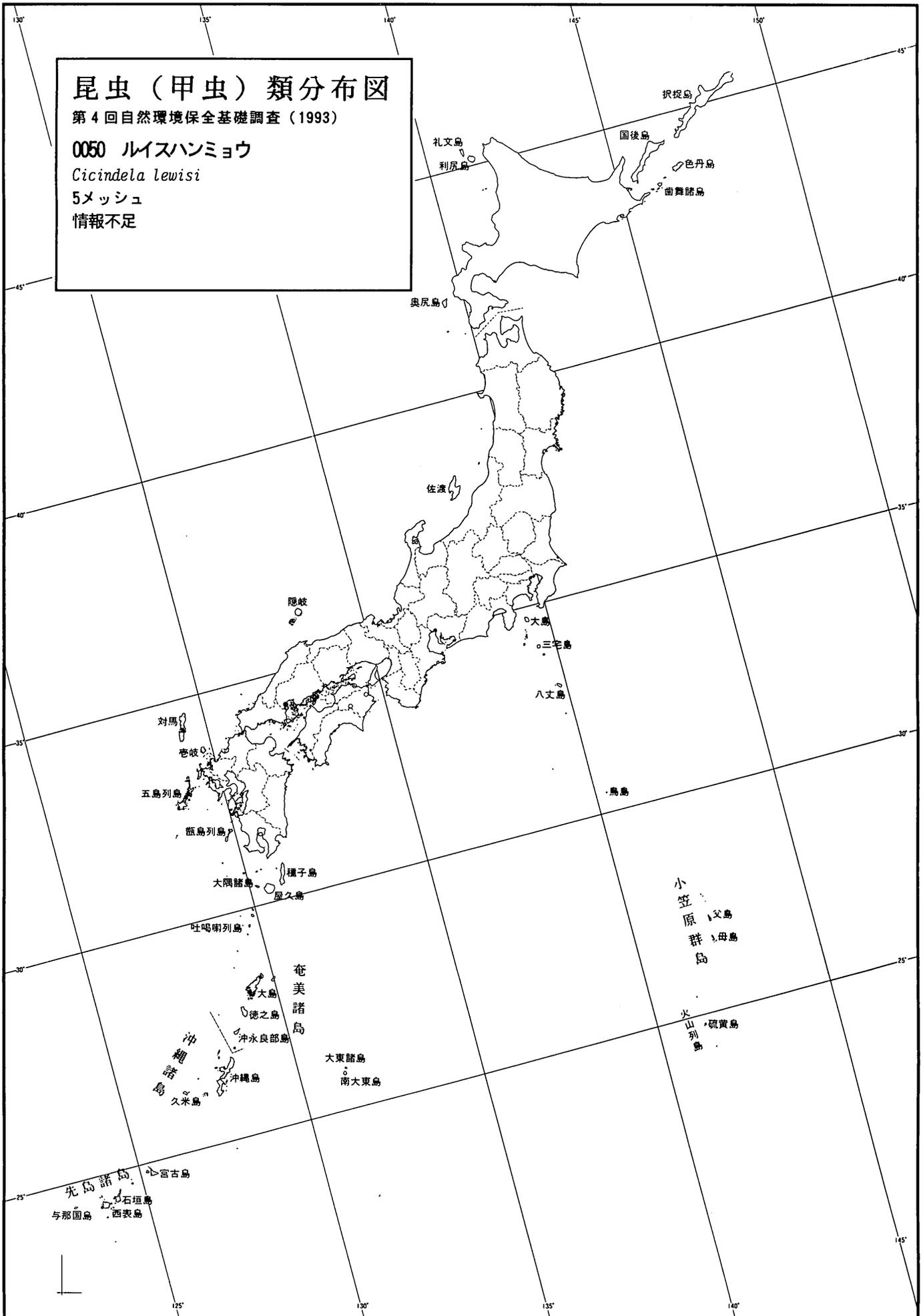
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0050 ルイスハンミョウ

*Cicindela lewisi*

5メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

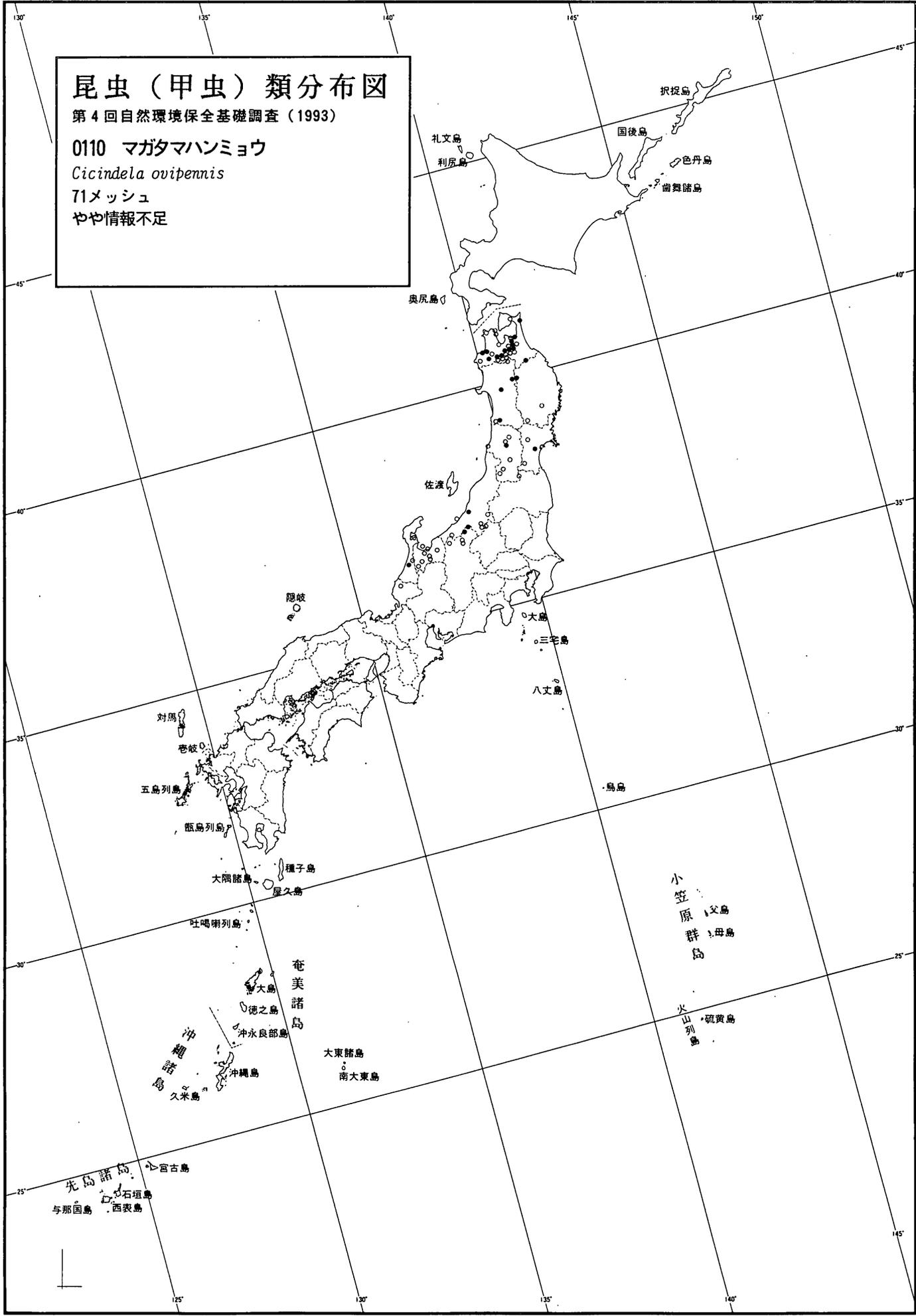
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0110 マガタマハンミョウ

*Cicindela ovipennis*

71メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

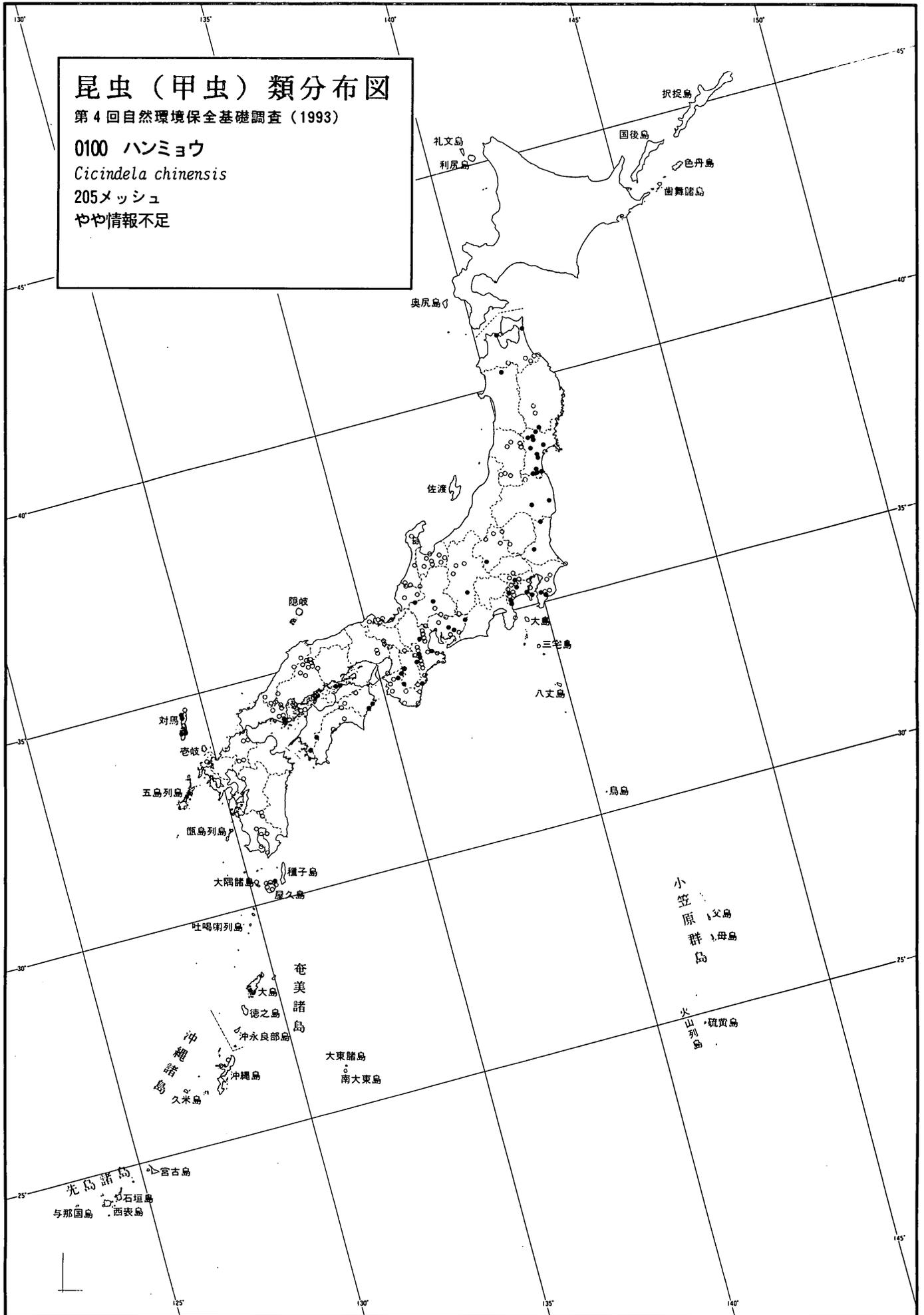
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0100 ハンミョウ

*Cicindela chinensis*

205メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

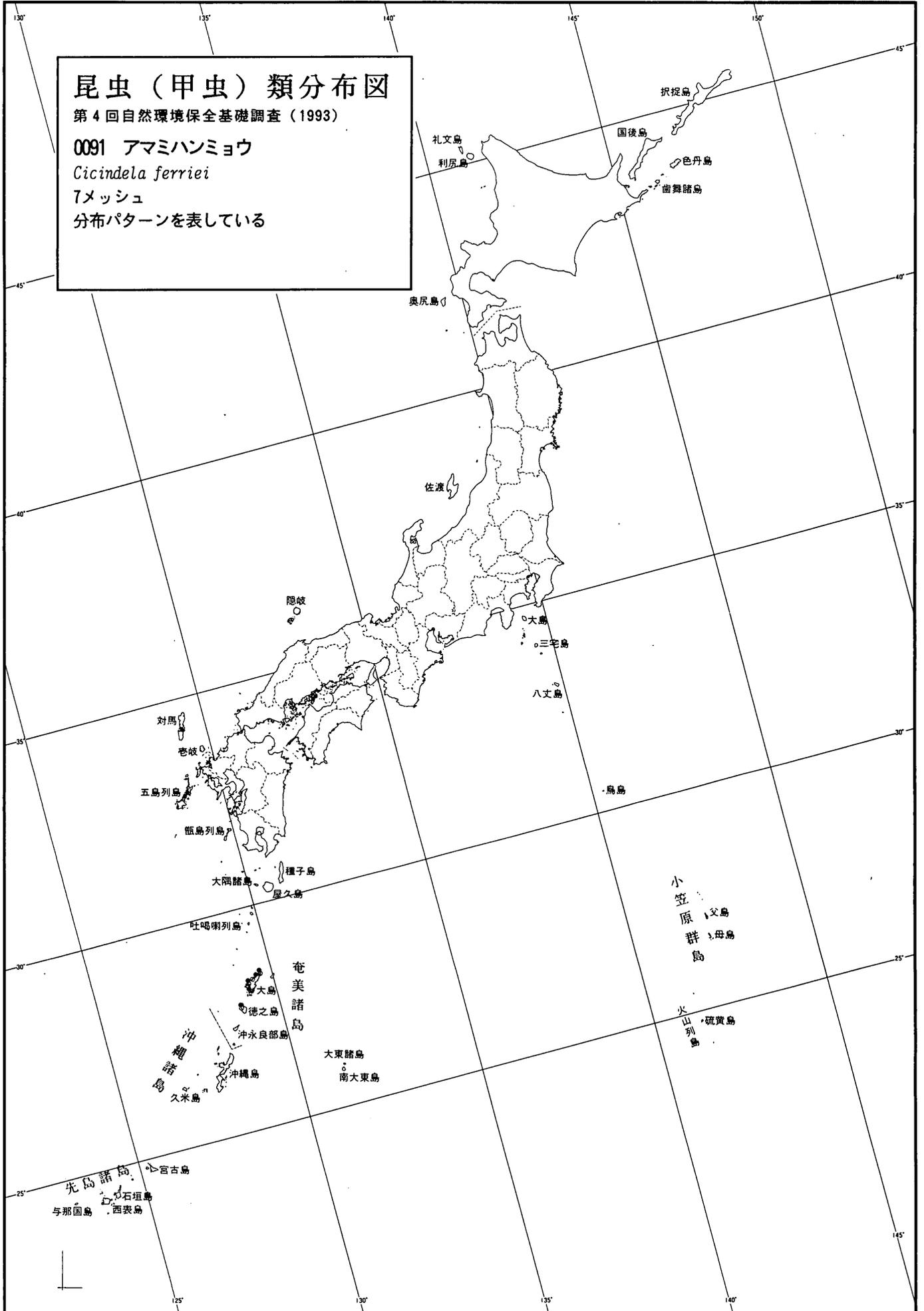
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0091 アマミハンミョウ

*Cicindela ferriei*

7メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

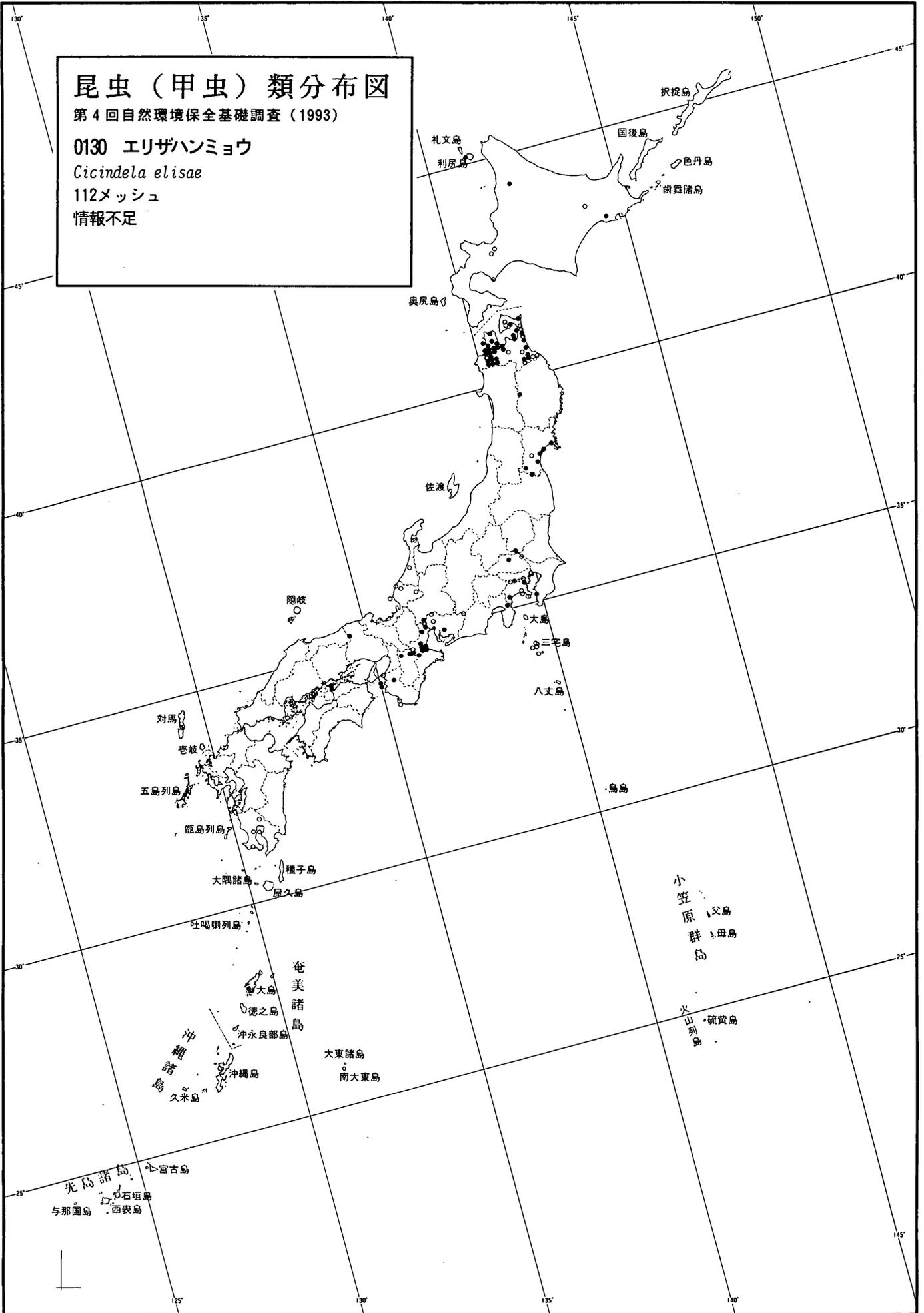
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0130 エリザハンミョウ

*Cicindela elisae*

112メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

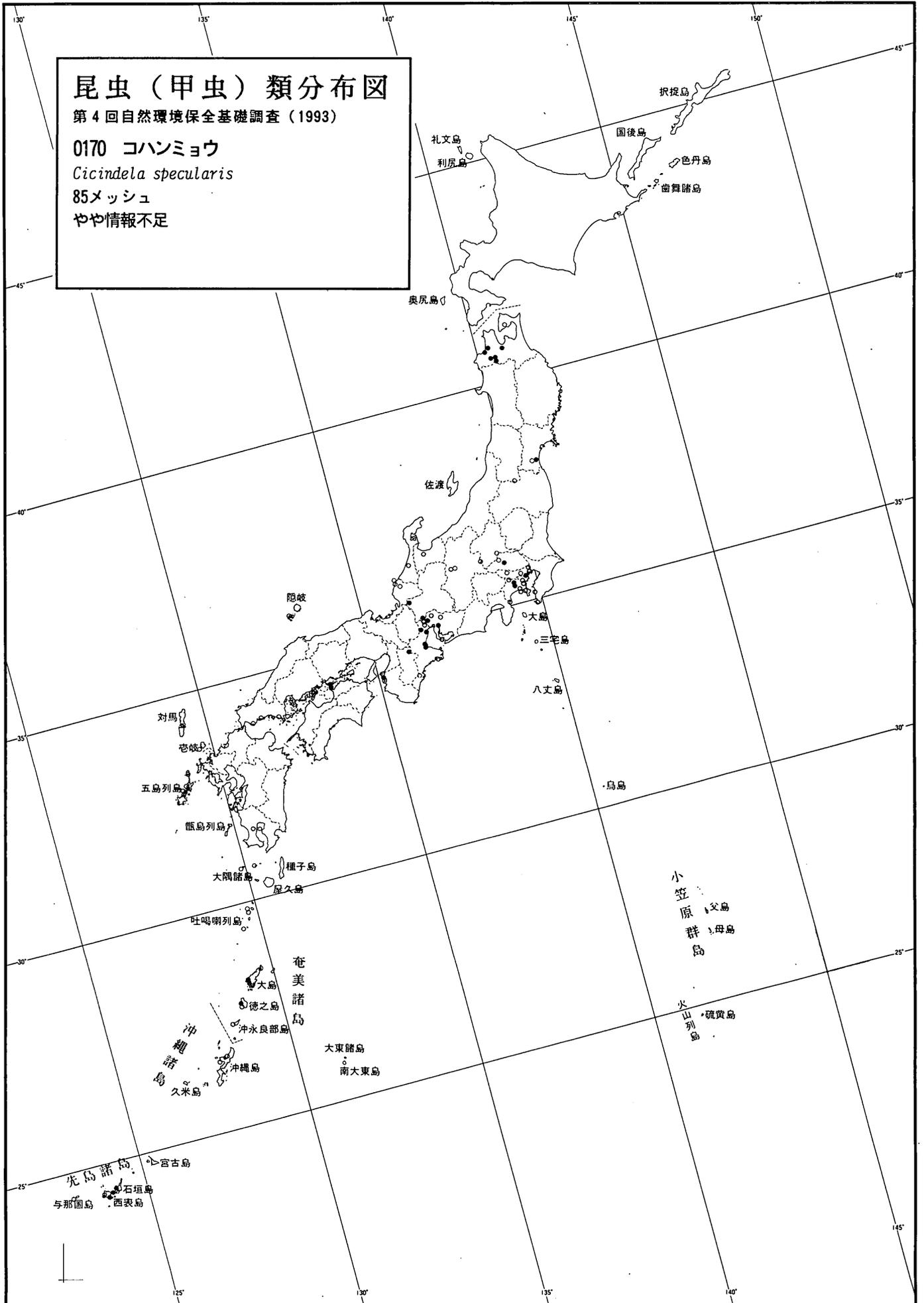
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0170 コハンミョウ

*Cicindela specularis*

85メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

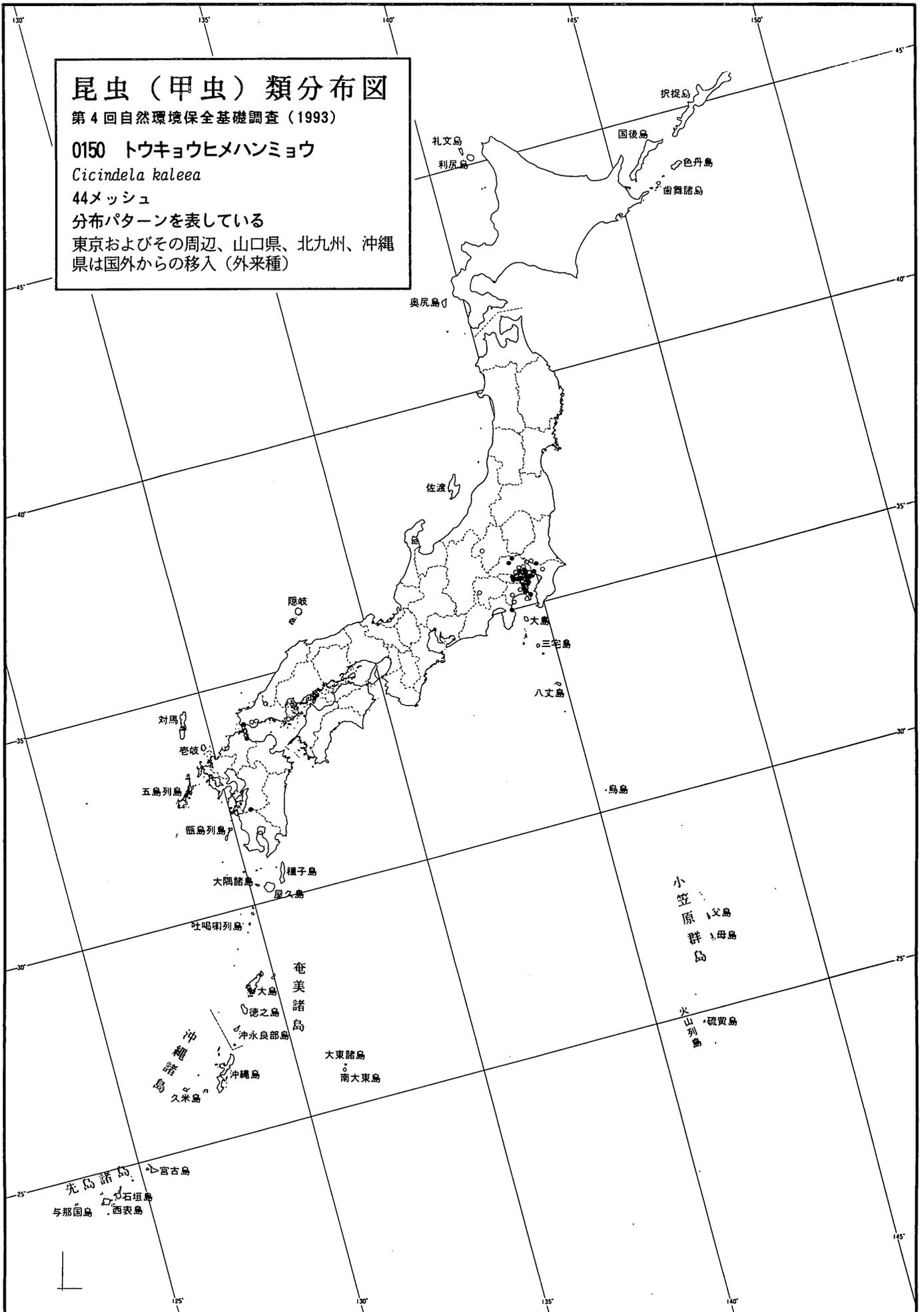
0150 トウキョウヒメハンミョウ

*Cicindela kaleea*

44メッシュ

分布パターンを表している

東京およびその周辺、山口県、北九州、沖縄  
県は国外からの移入（外来種）



# 昆虫（甲虫）類分布図

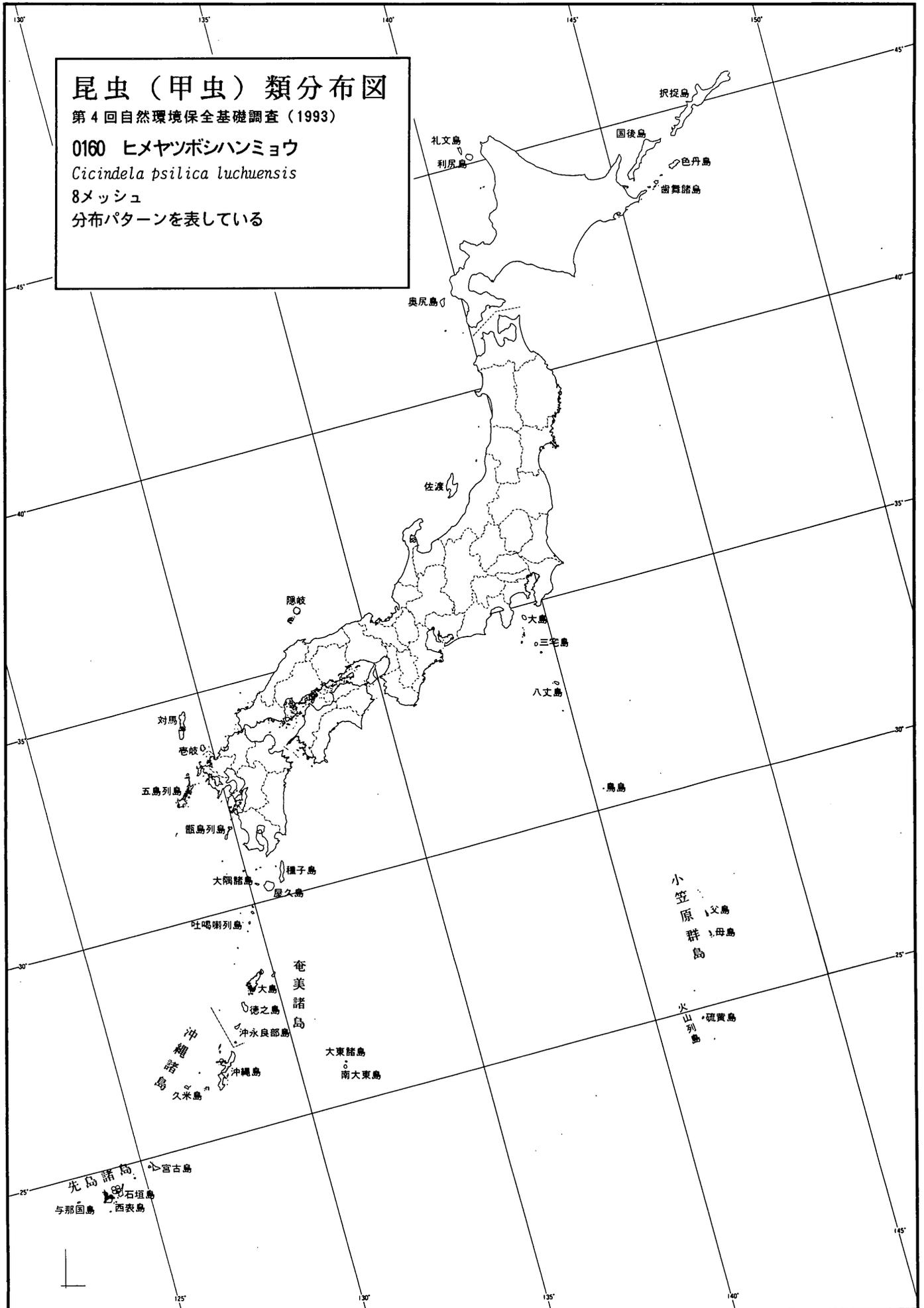
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0160 ヒメヤツボシハンミョウ

*Cicindela psilica luchuensis*

8メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

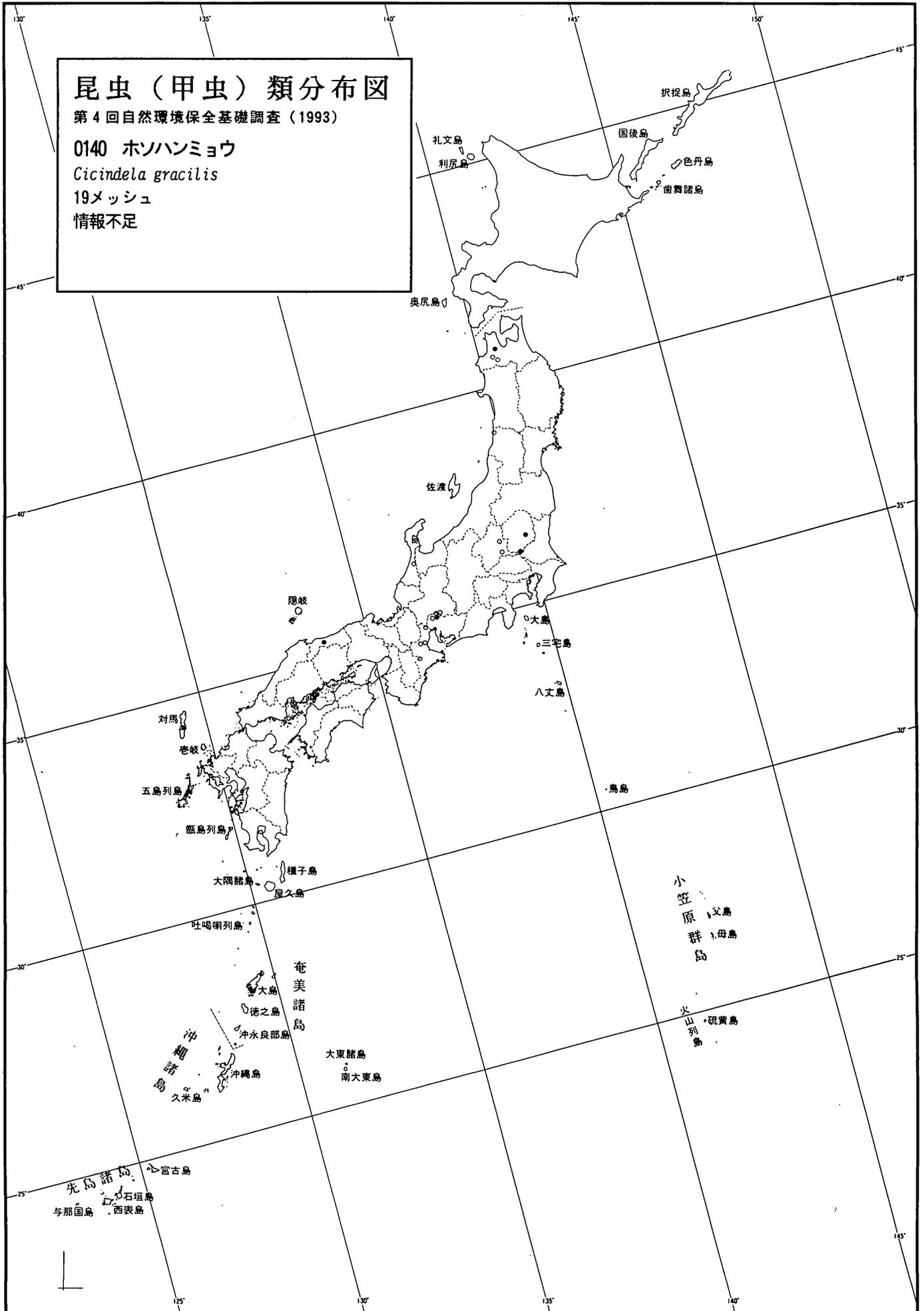
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0140 ホソハンミョウ

*Cicindela gracilis*

19メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

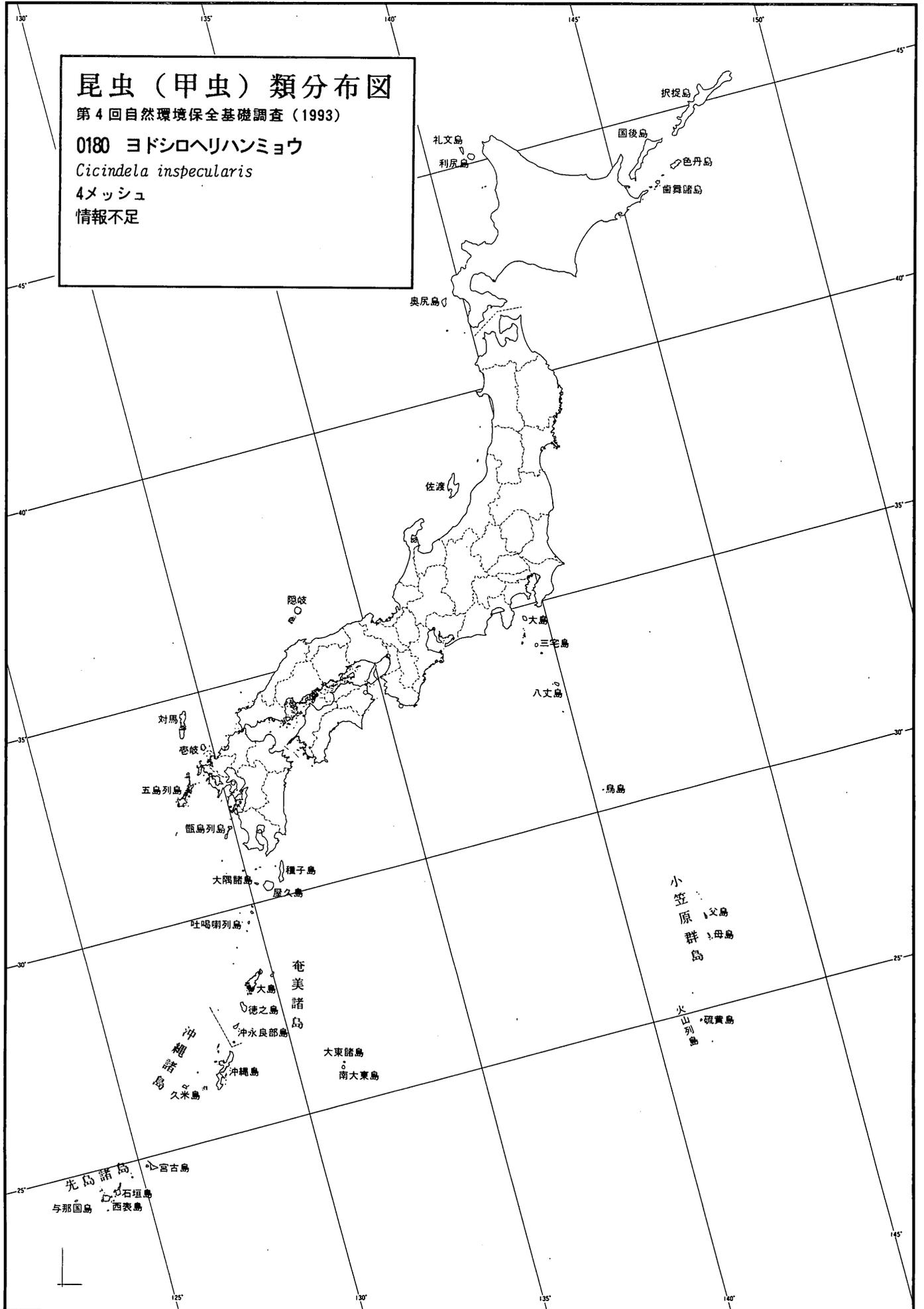
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0180 ヨドシロヘリハンミョウ

*Cicindela inspecularis*

4メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

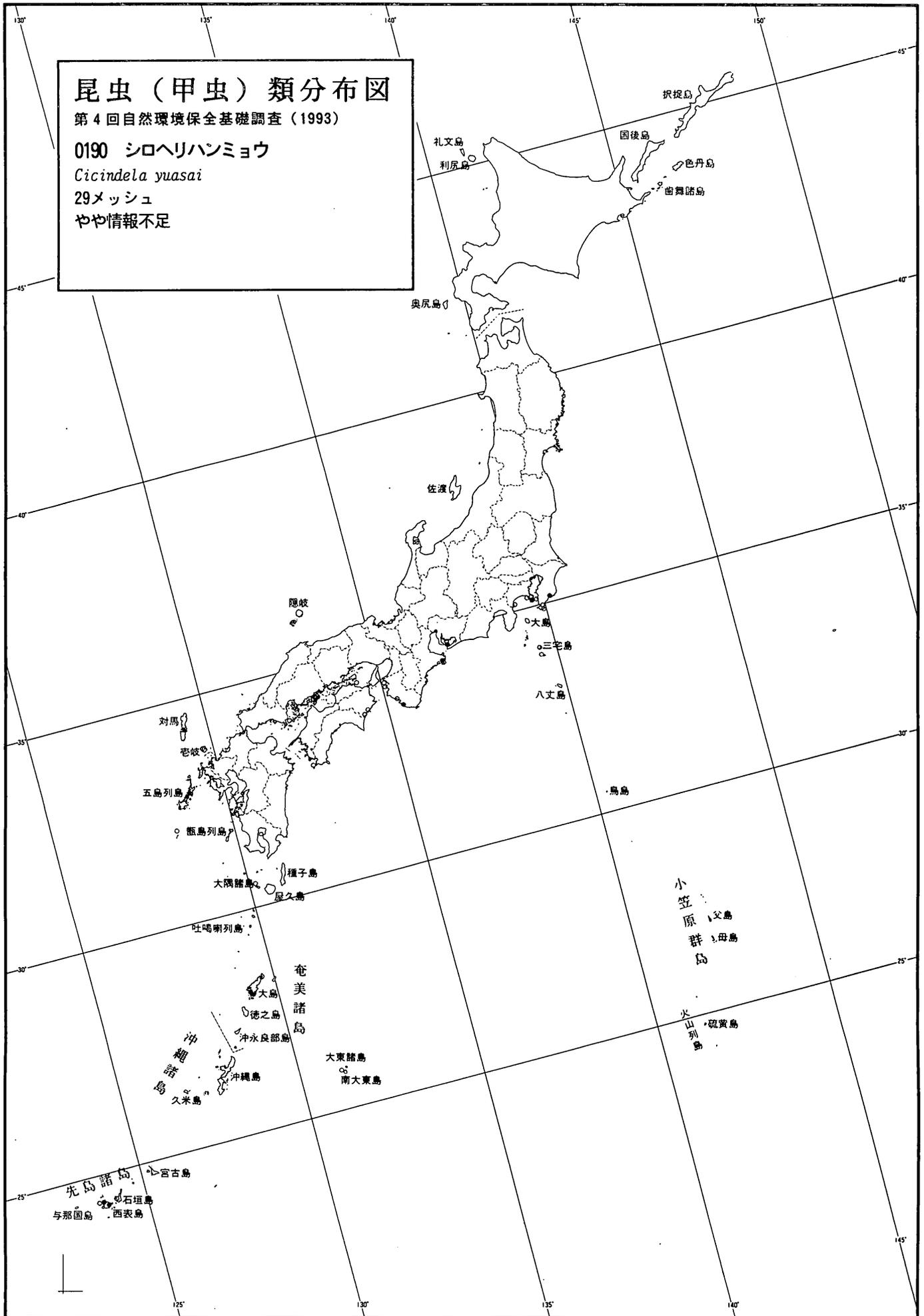
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0190 シロヘリハンミョウ

*Cicindela yuasai*

29メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

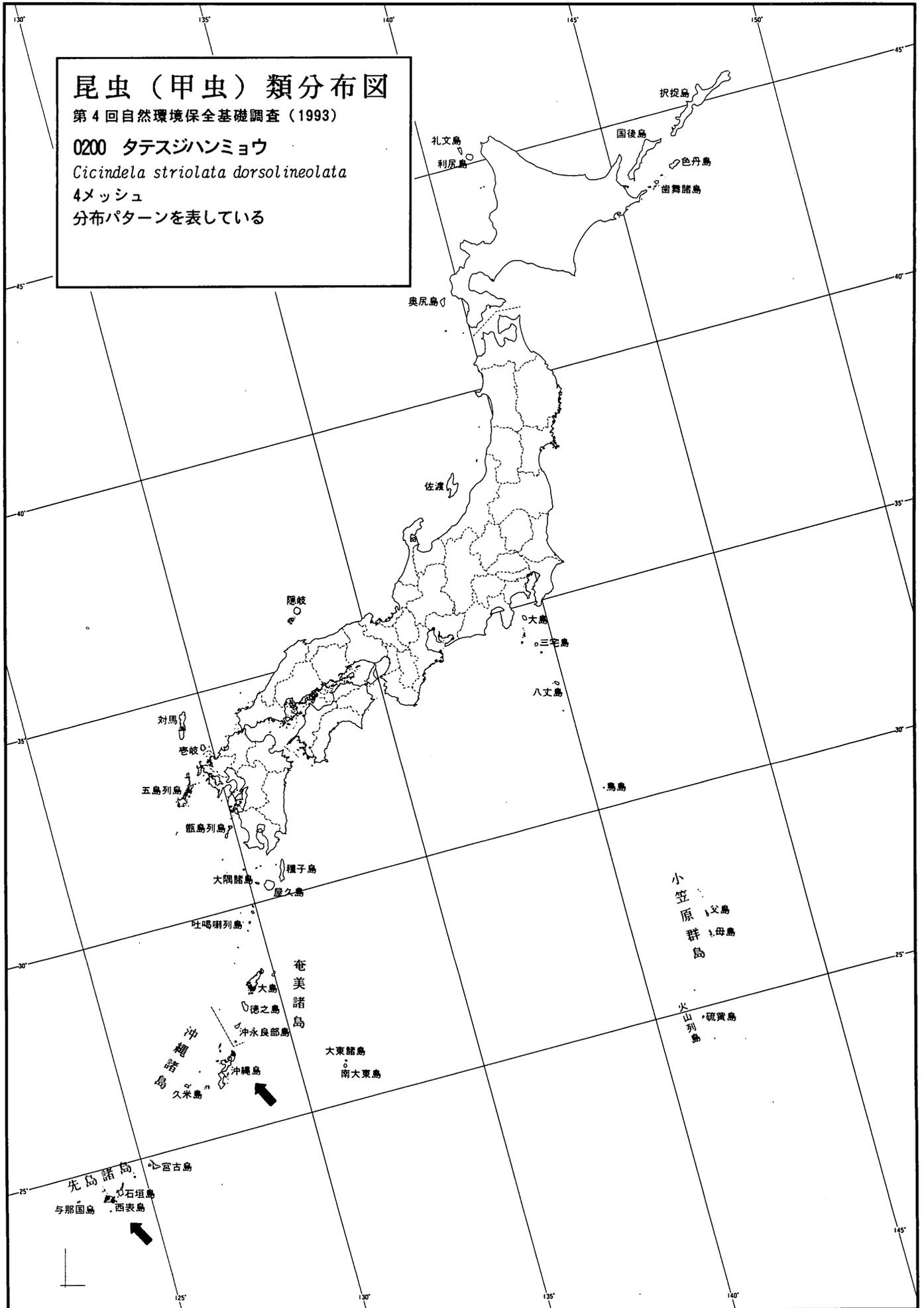
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0200 タテスジハンミョウ

*Cicindela striolata dorsolineolata*

4メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

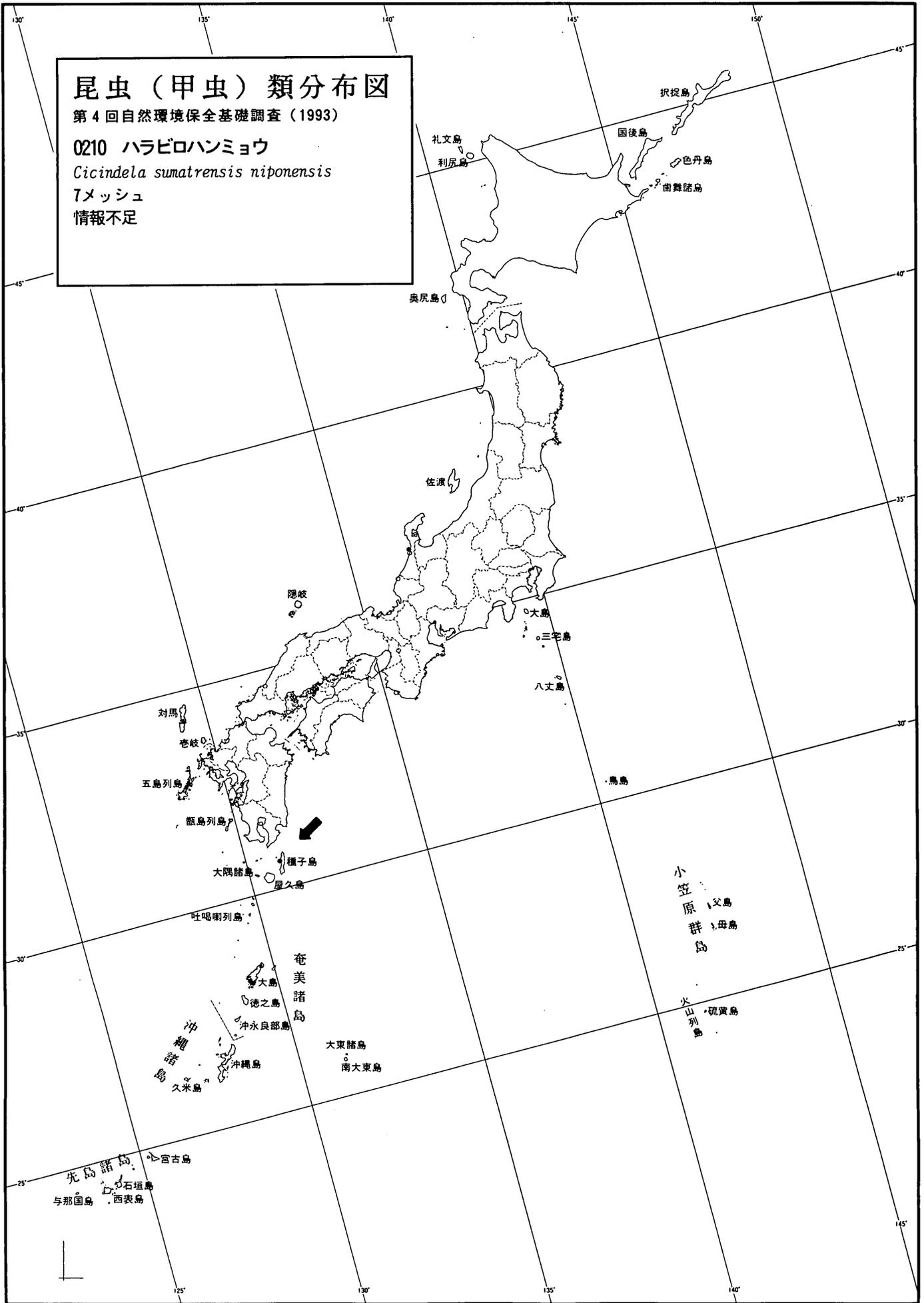
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0210 ハラビロハンミョウ

*Cicindela sumatrensis niponensis*

7メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

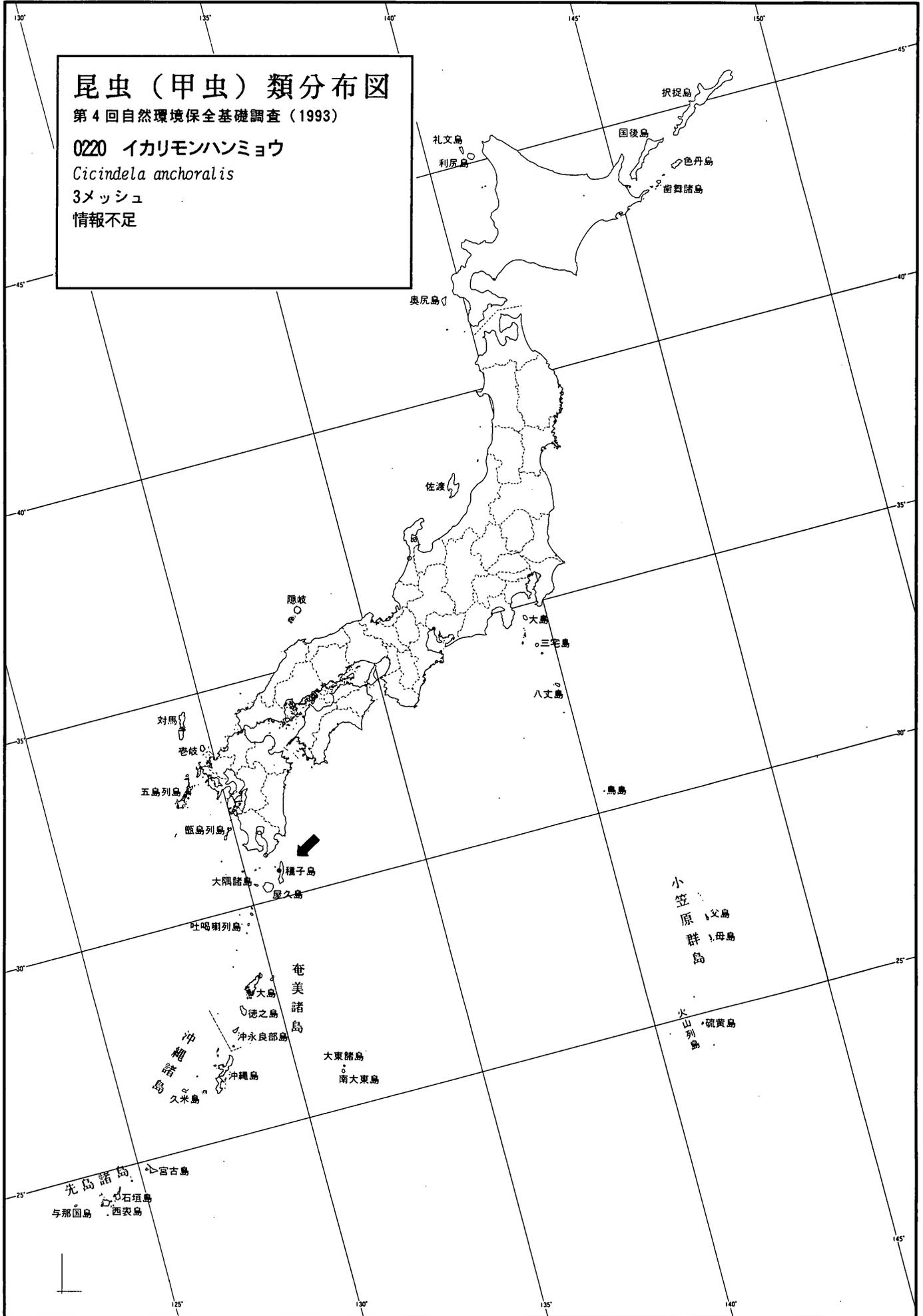
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0220 イカリモンハンミョウ

*Cicindela anchoralis*

3メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

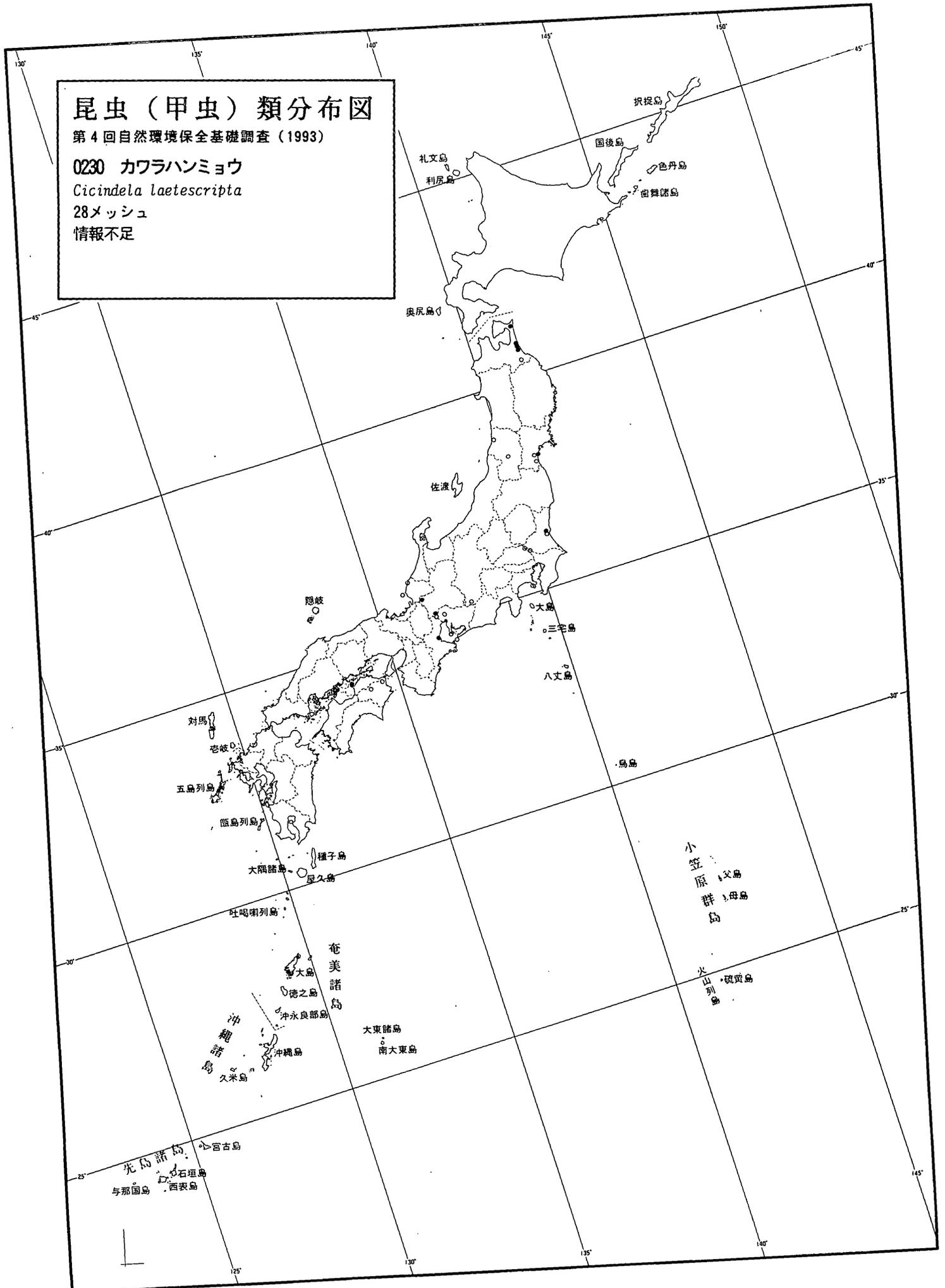
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0230 カワラハンミョウ

*Cicindela laetescripta*

28メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

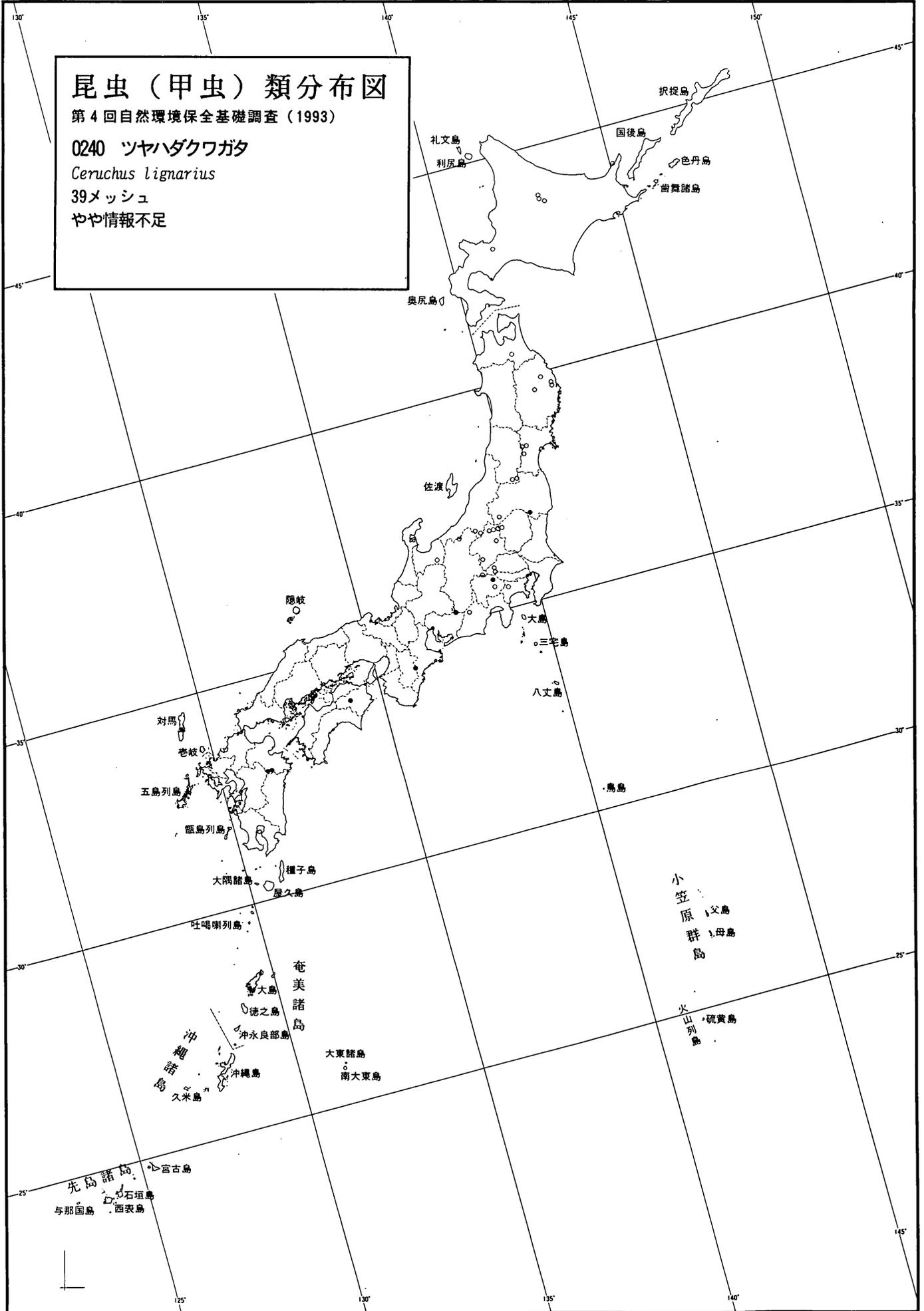
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0240 ツヤハダクワガタ

*Ceruchus lignarius*

39メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

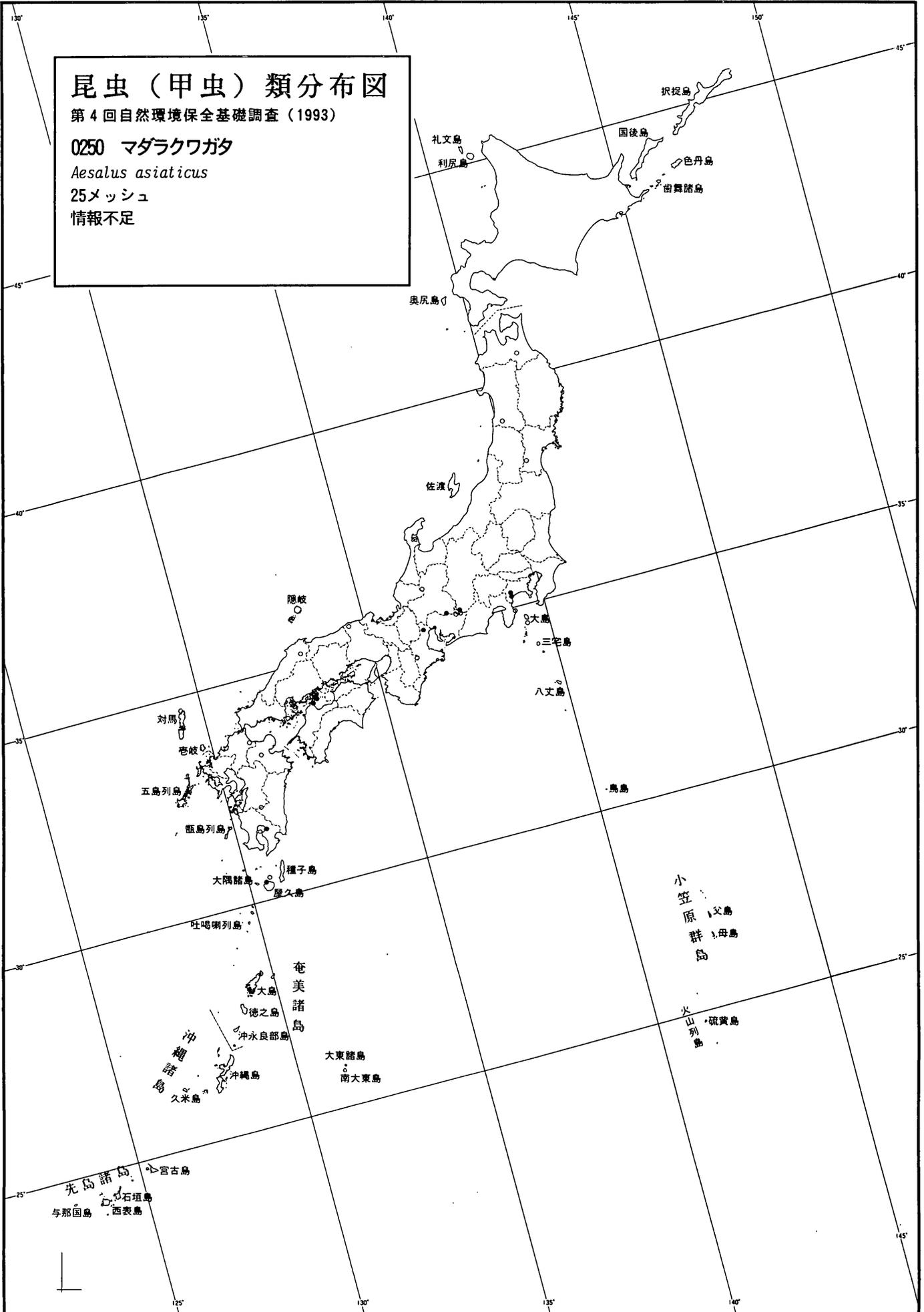
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0250 マダラクワガタ

*Aesalus asiaticus*

25メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

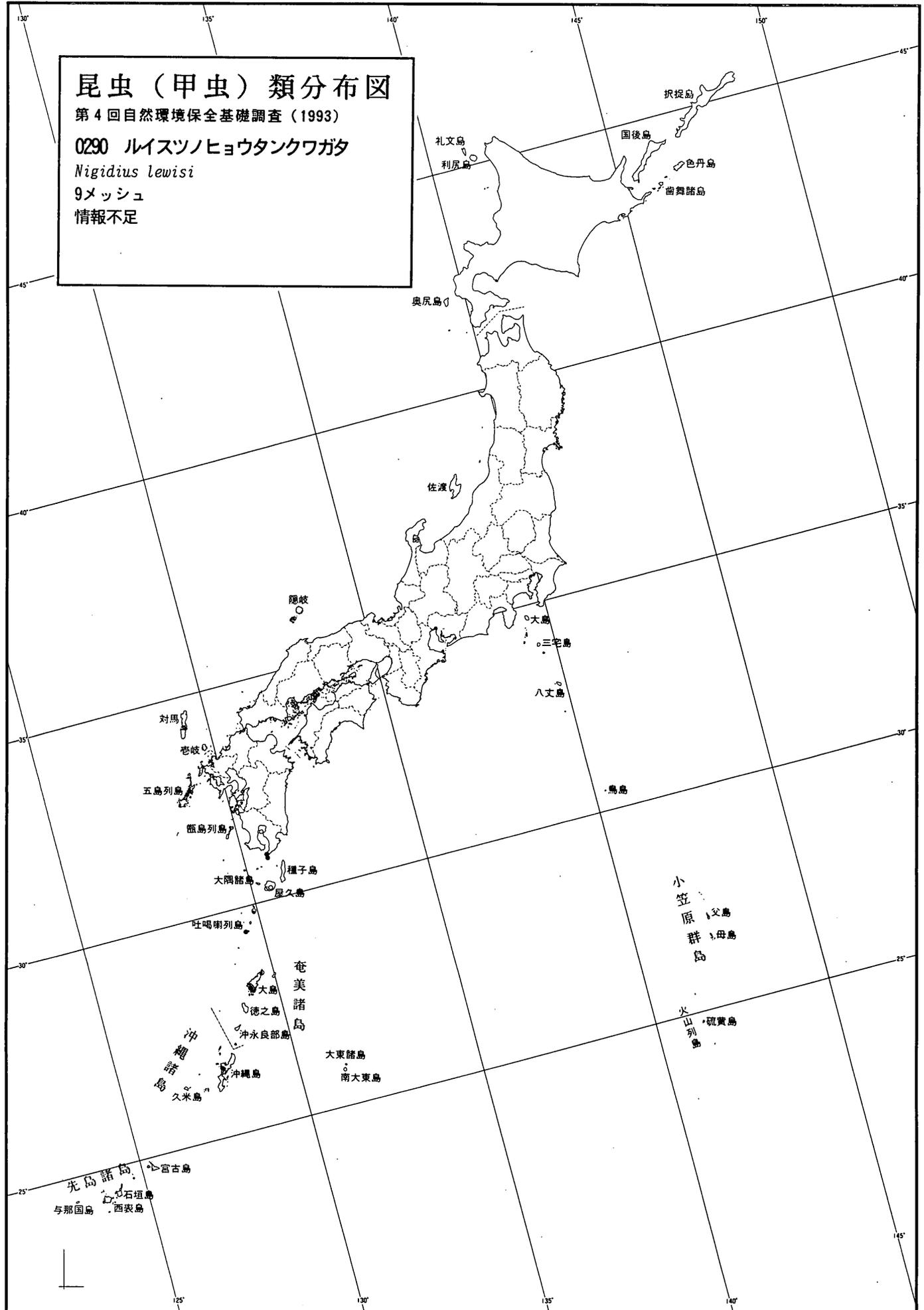
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0290 ルイスツノヒョウタンクワガタ

*Nigidius lewisi*

9メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

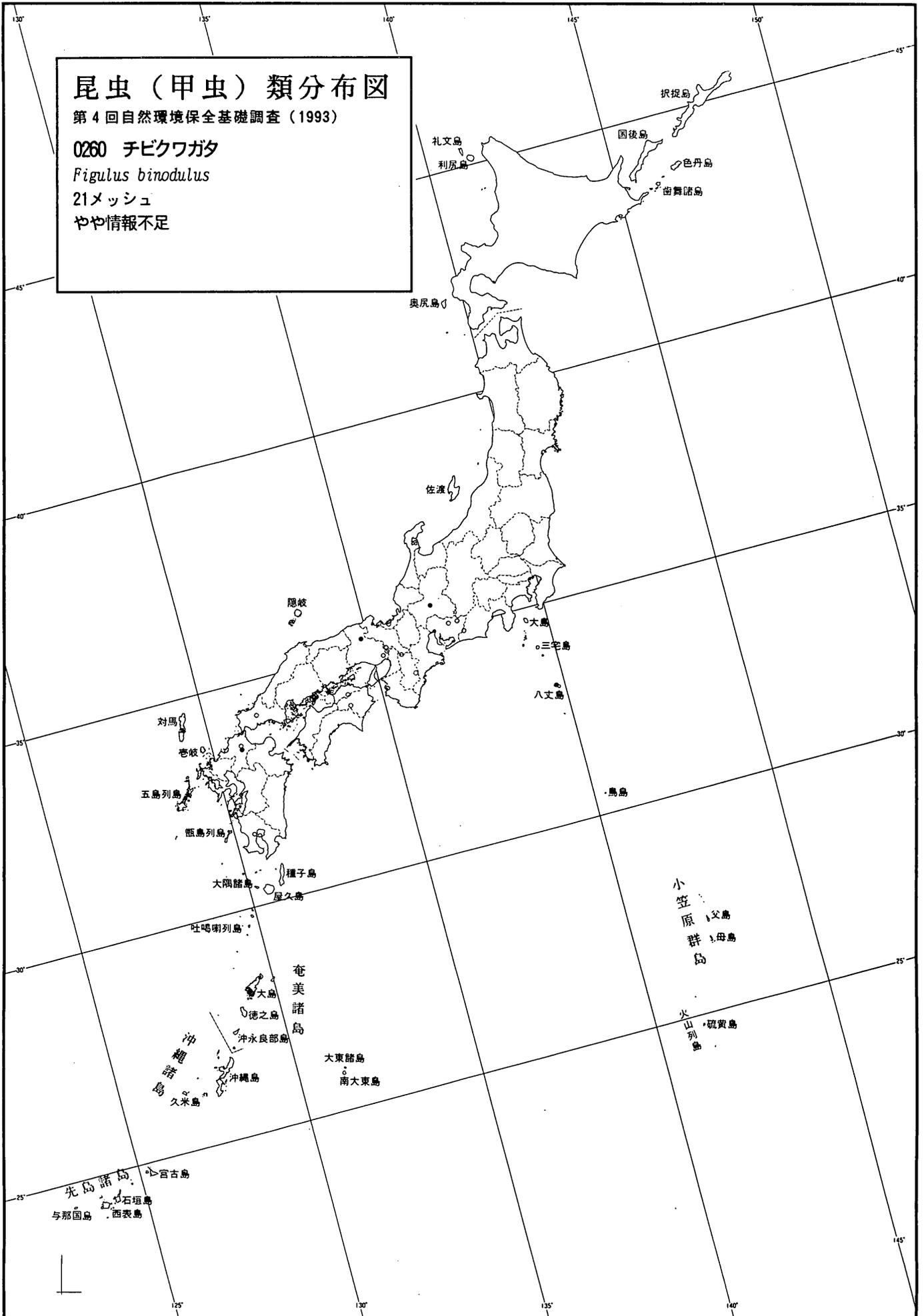
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0260 チビクワガタ

*Figulus binodulus*

21メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

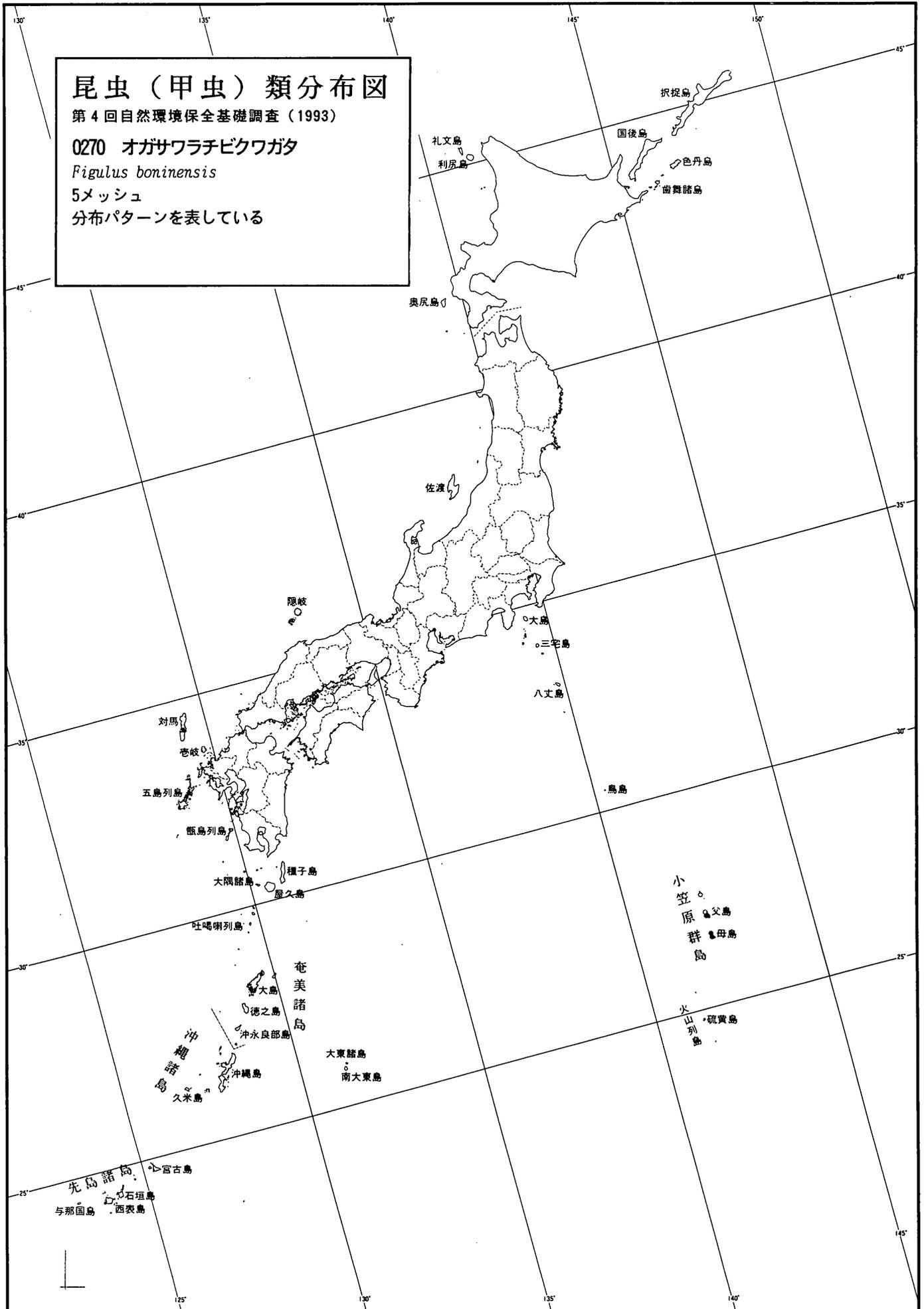
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0270 オガサワラチビクワガタ

*Figulus boninensis*

5メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

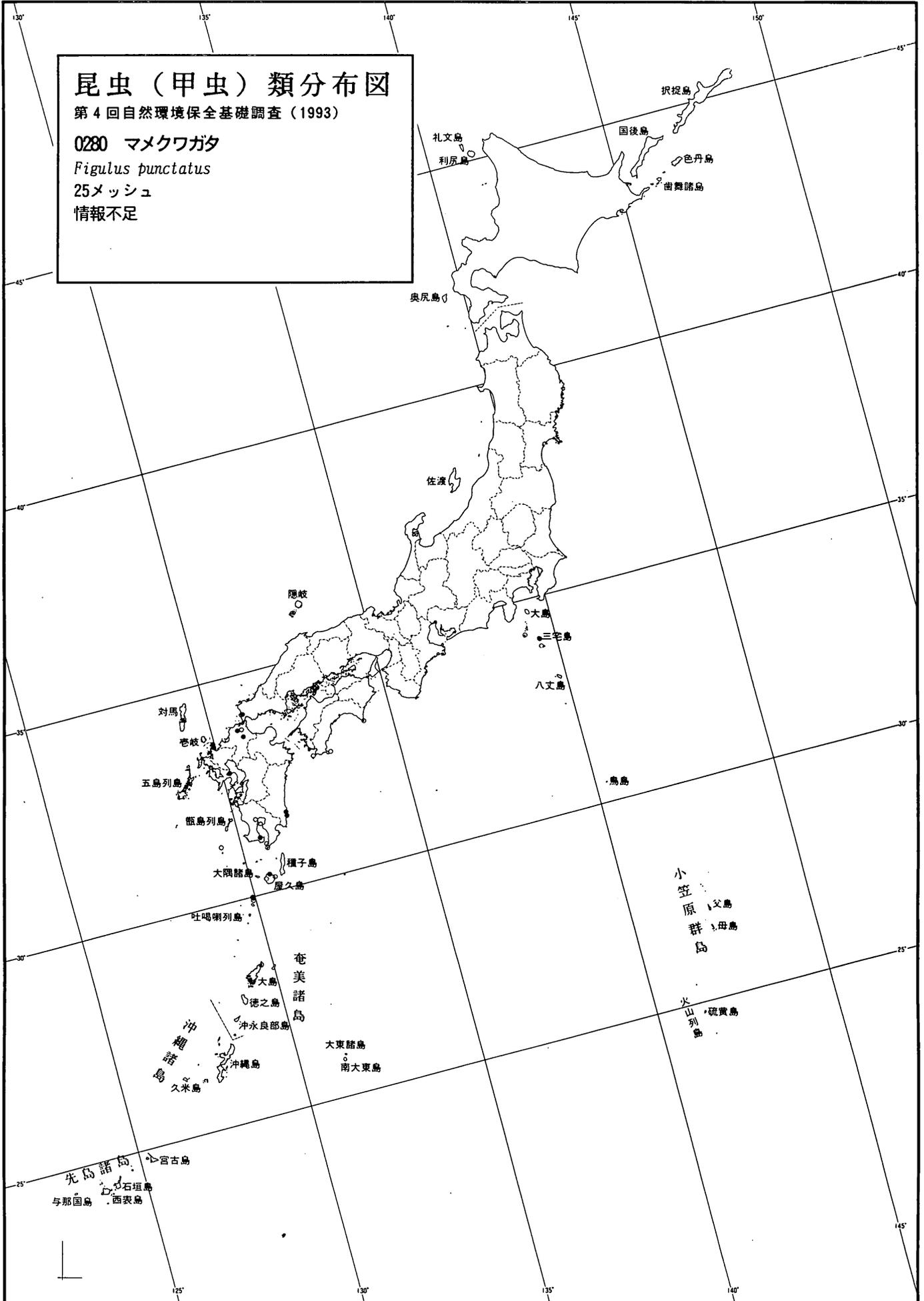
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0280 マメクワガタ

*Figulus punctatus*

25メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

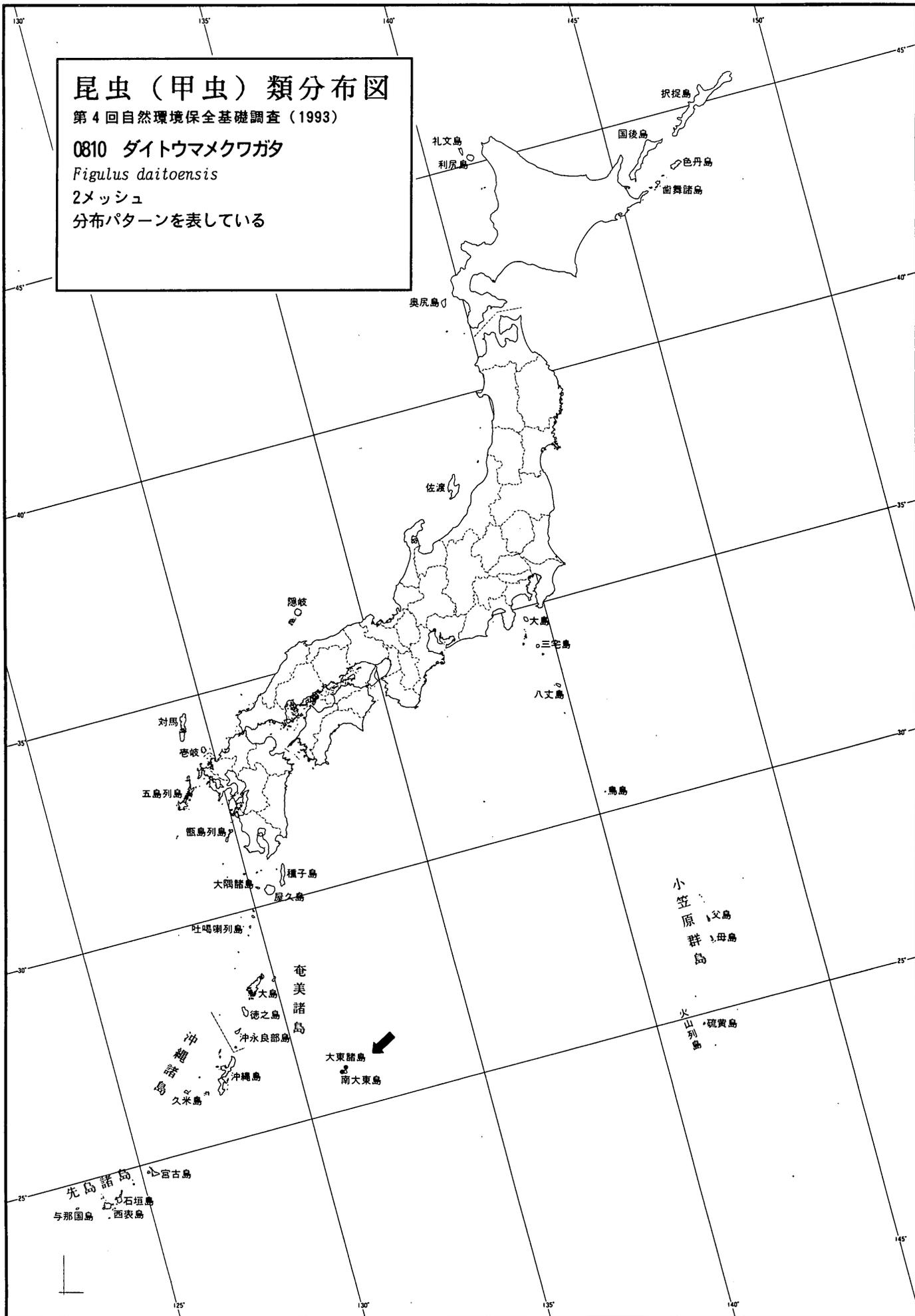
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0810 ダイトウマメクワガタ

*Figulus daitoensis*

2メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

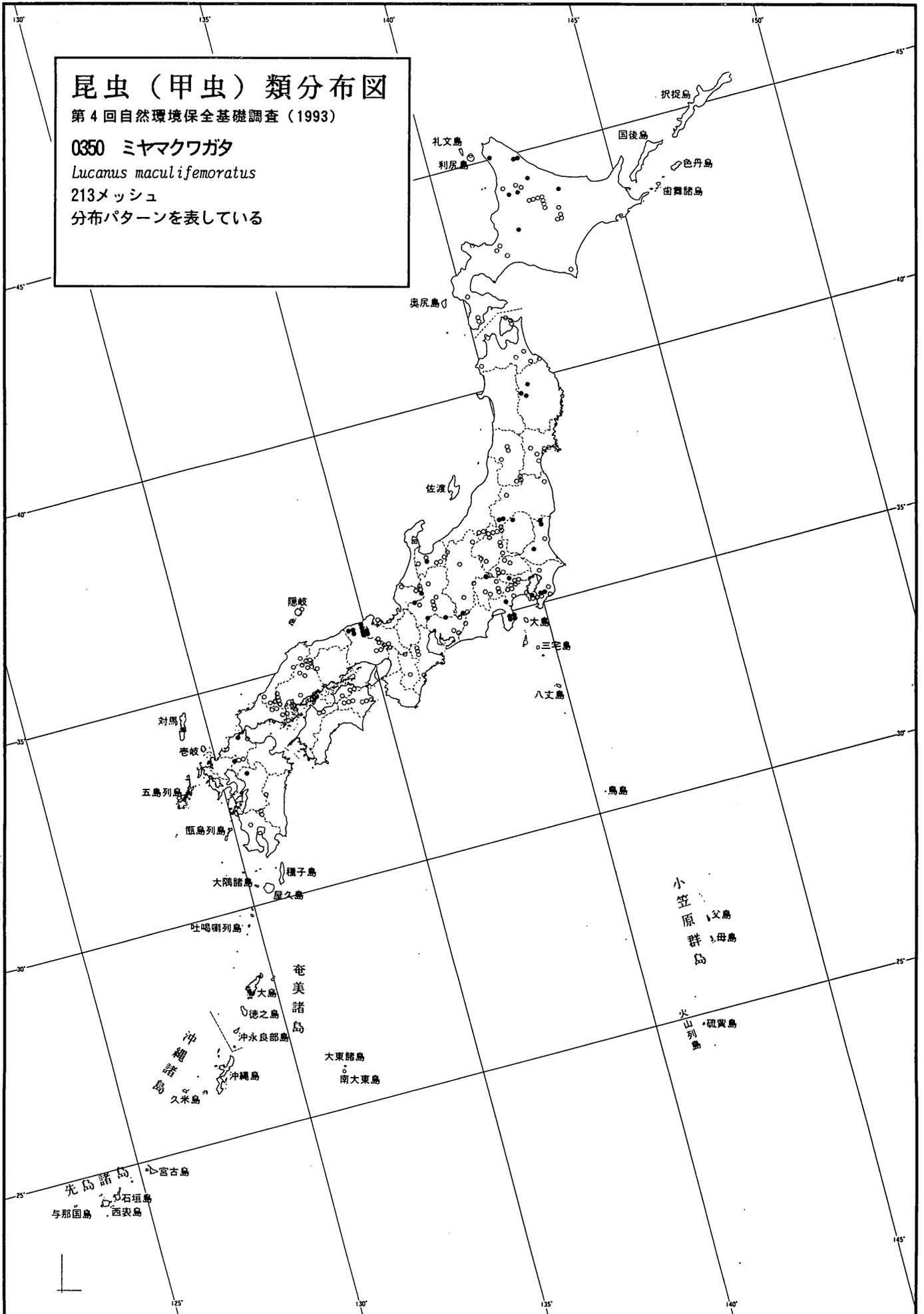
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0350 ミヤマクワガタ

*Lucanus maculifemoratus*

213メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

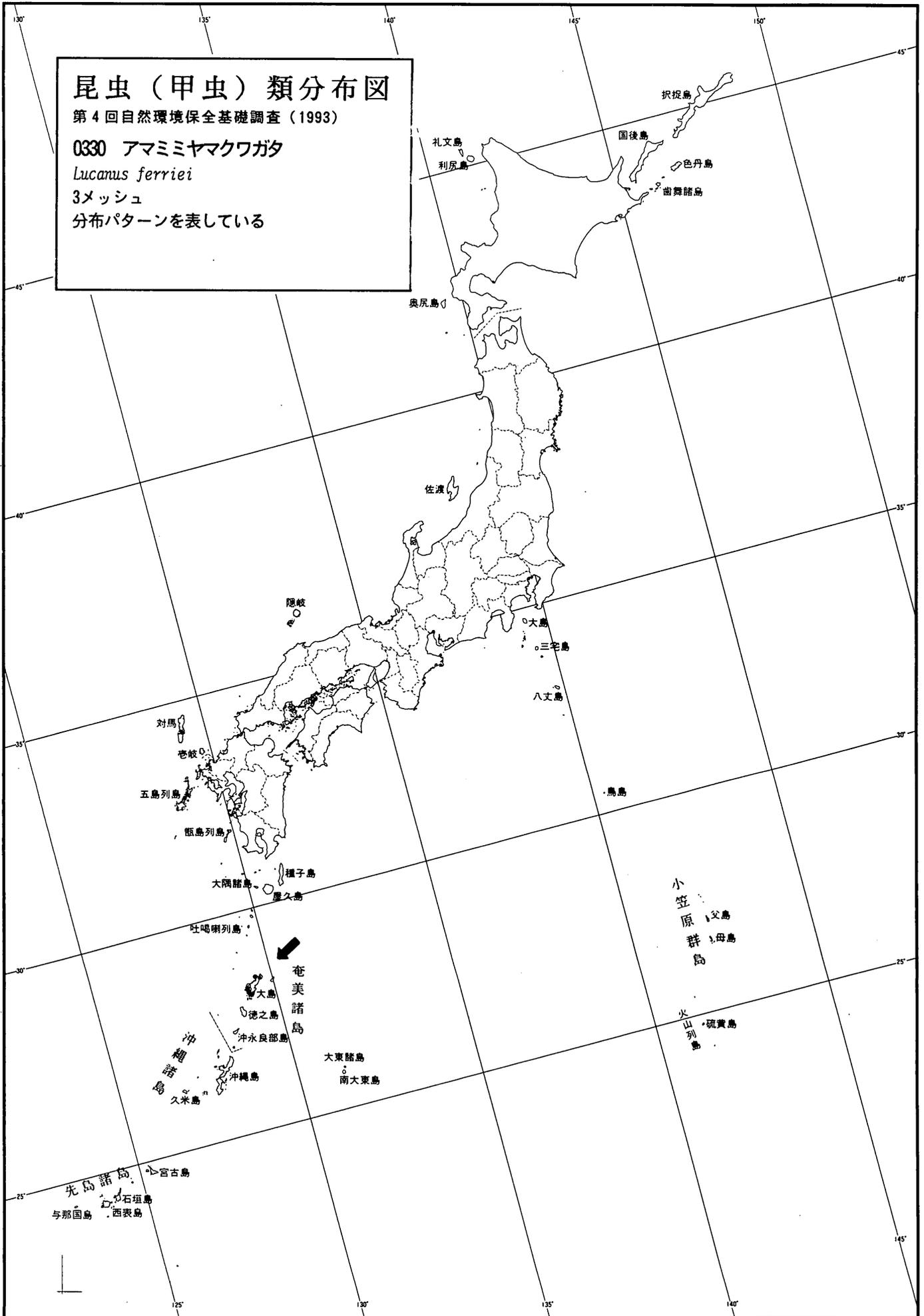
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0330 アマミヤマクワガタ

*Lucanus ferriei*

3メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

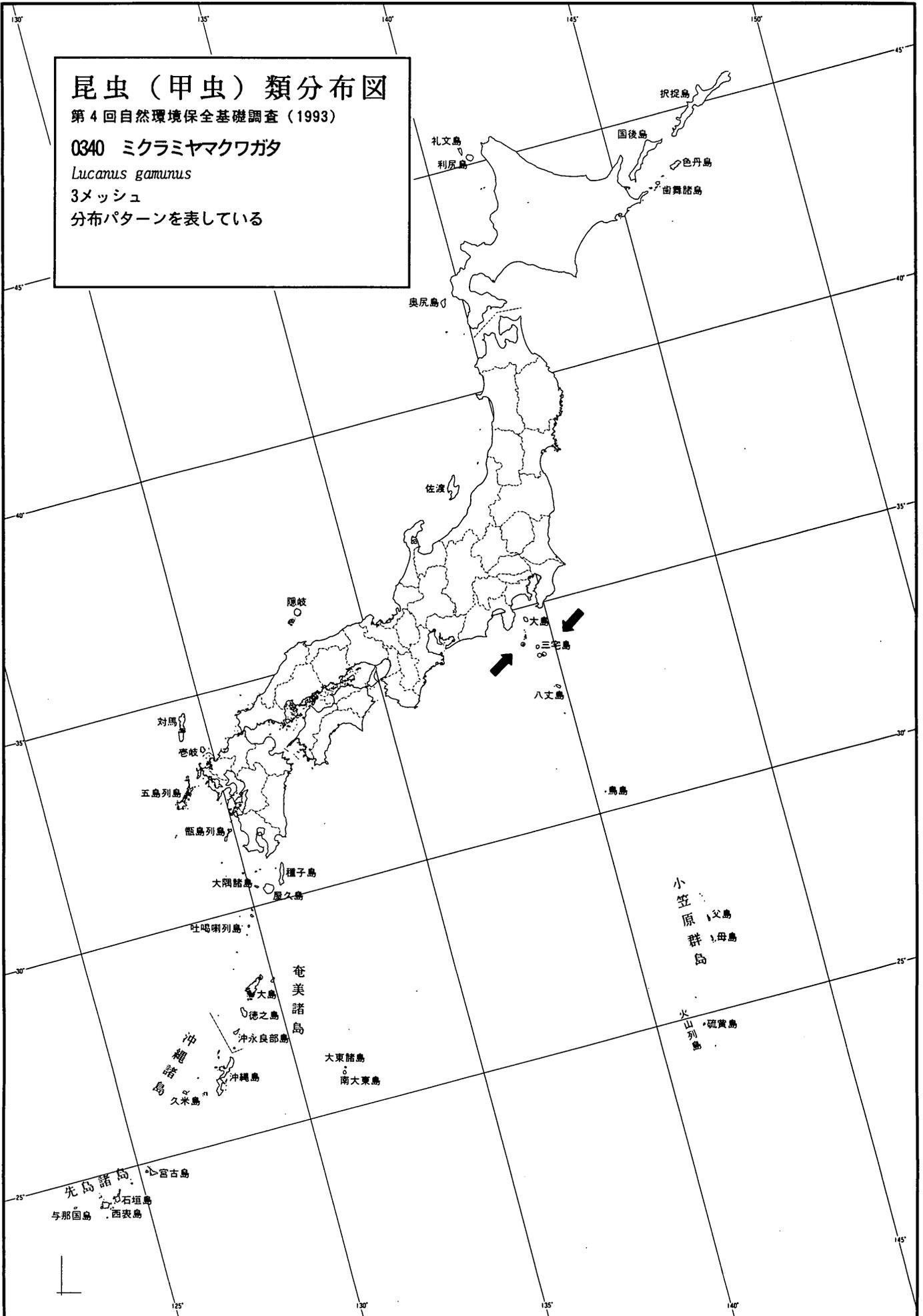
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0340 ミクラミヤマクワガタ

*Lucanus gamurus*

3メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

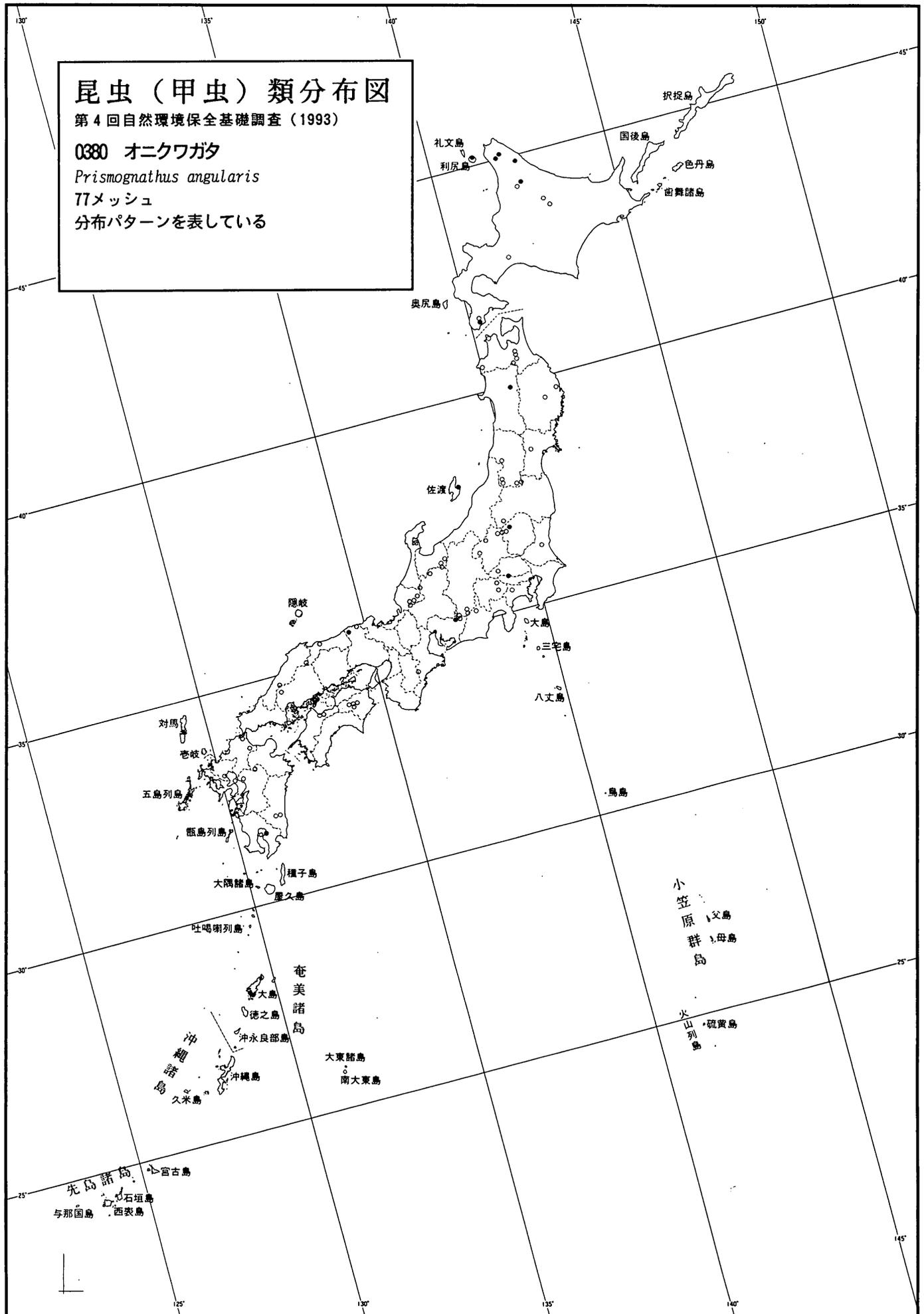
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0380 オニクワガタ

*Prismognathus angularis*

77メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

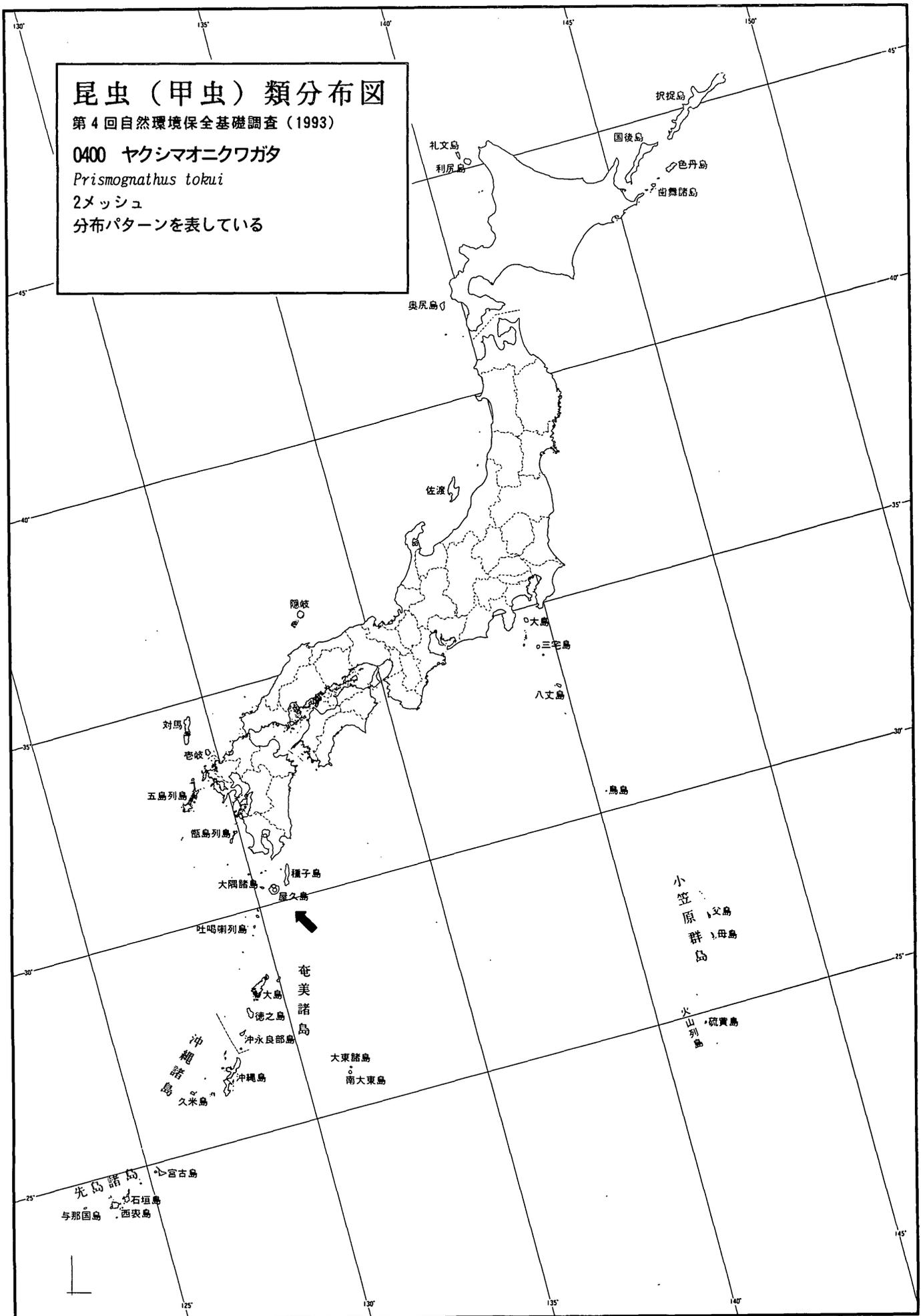
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0400 ヤクシマオニクワガタ

*Prismognathus tokui*

2メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

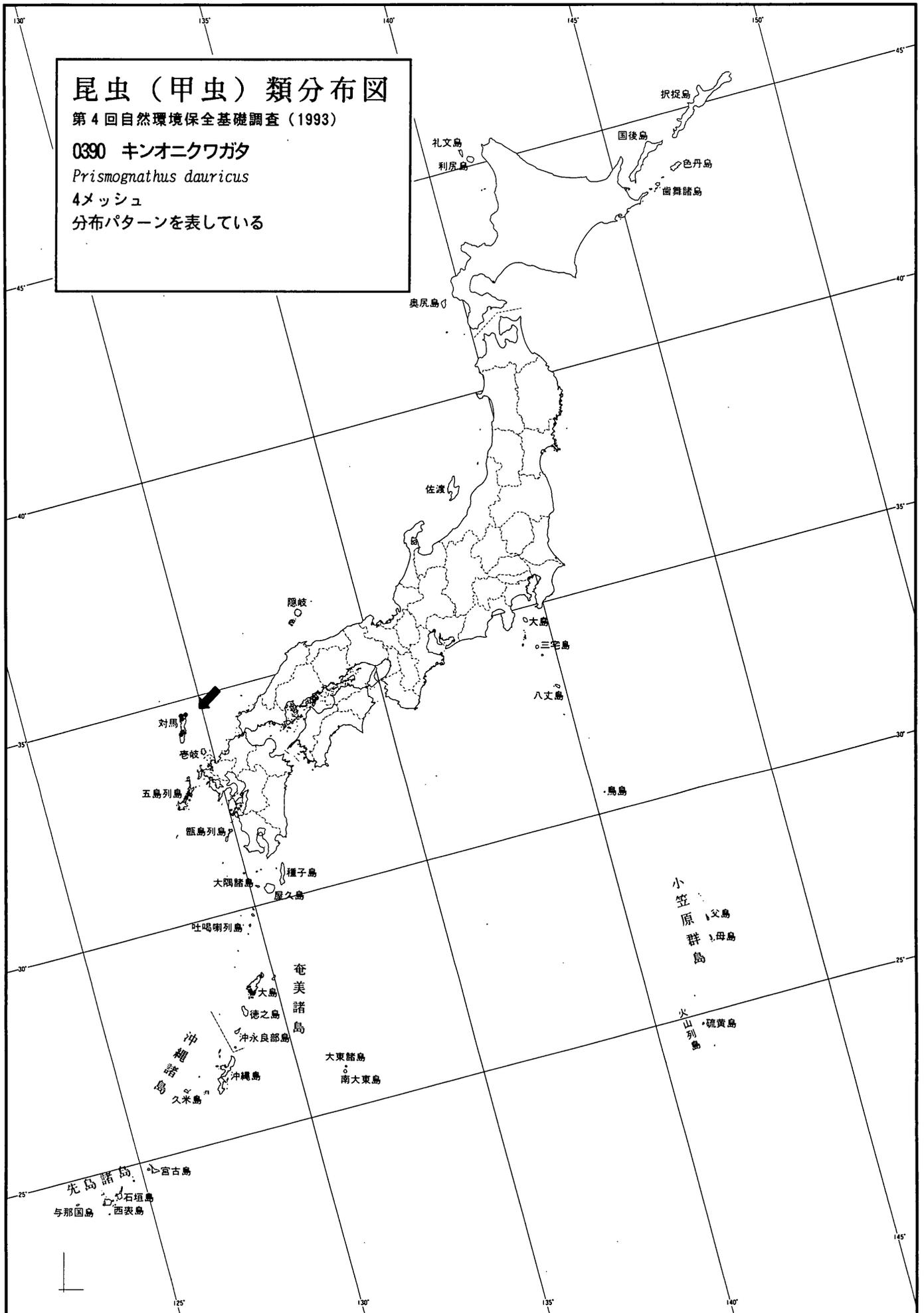
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0390 キンオニクワガタ

*Prismognathus dauricus*

4メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

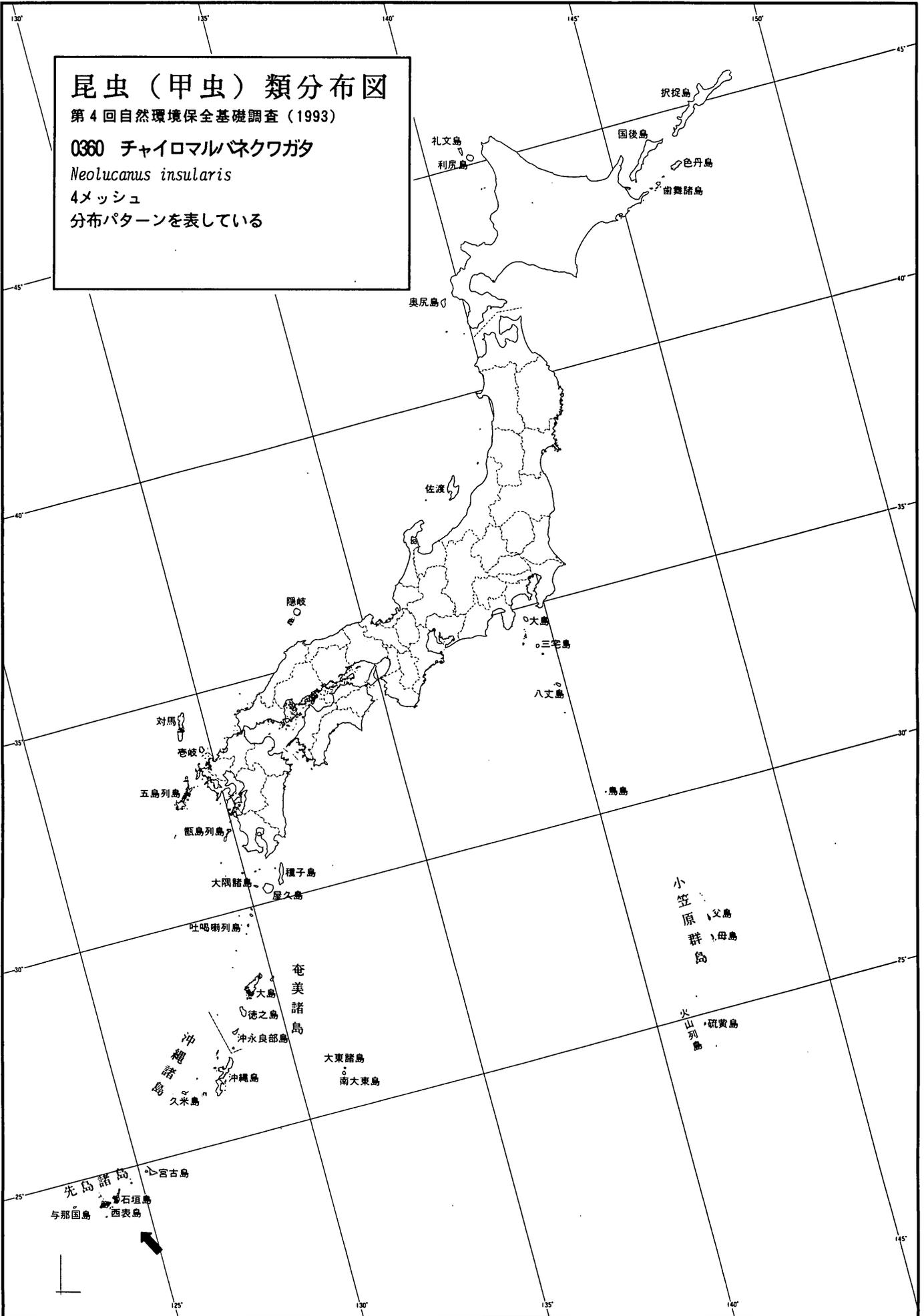
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0360 チャイロマルハクワガタ

*Neolucanus insularis*

4メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

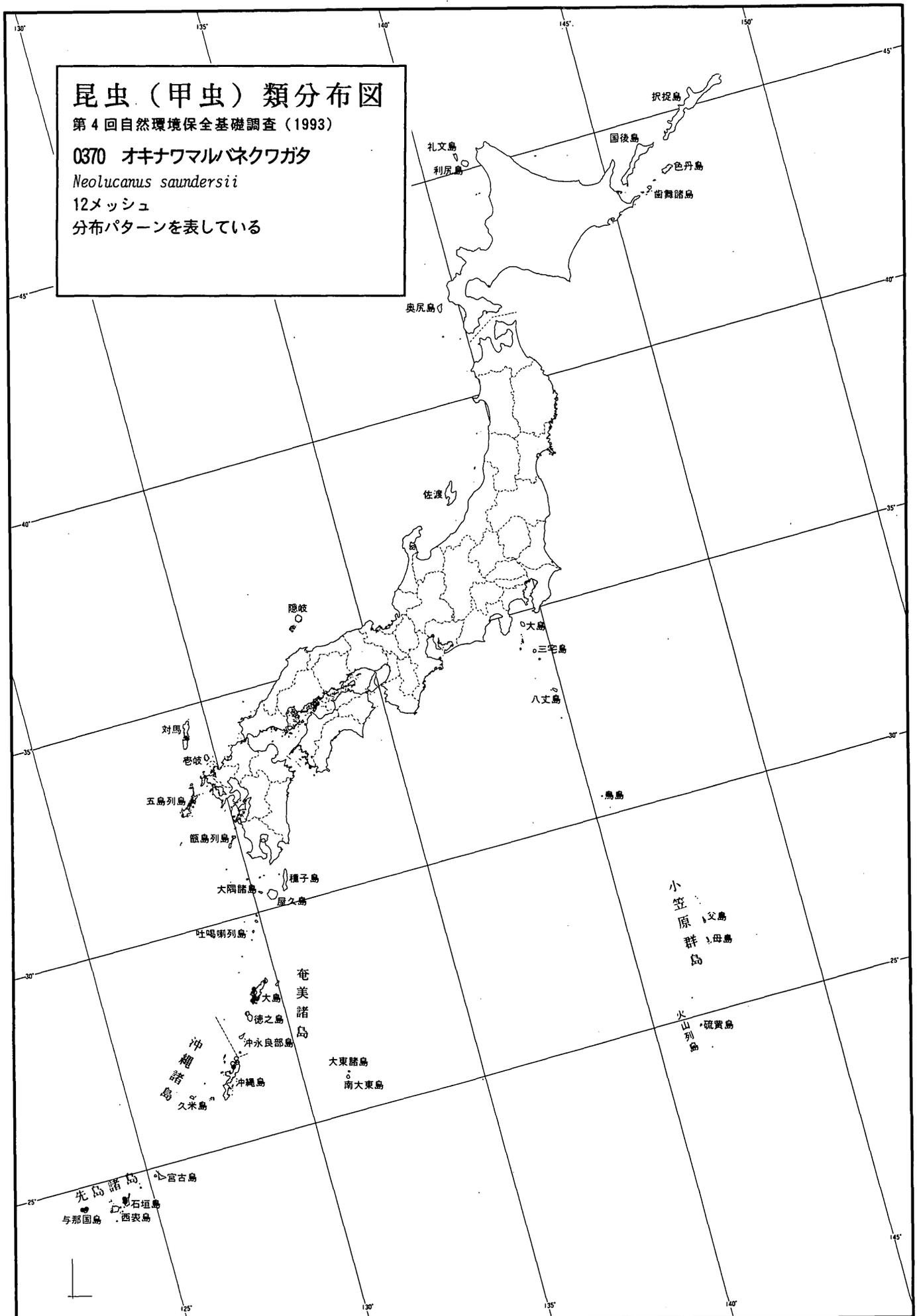
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0370 オキナワマルバネクワガタ

*Neolucanus saundersii*

12メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

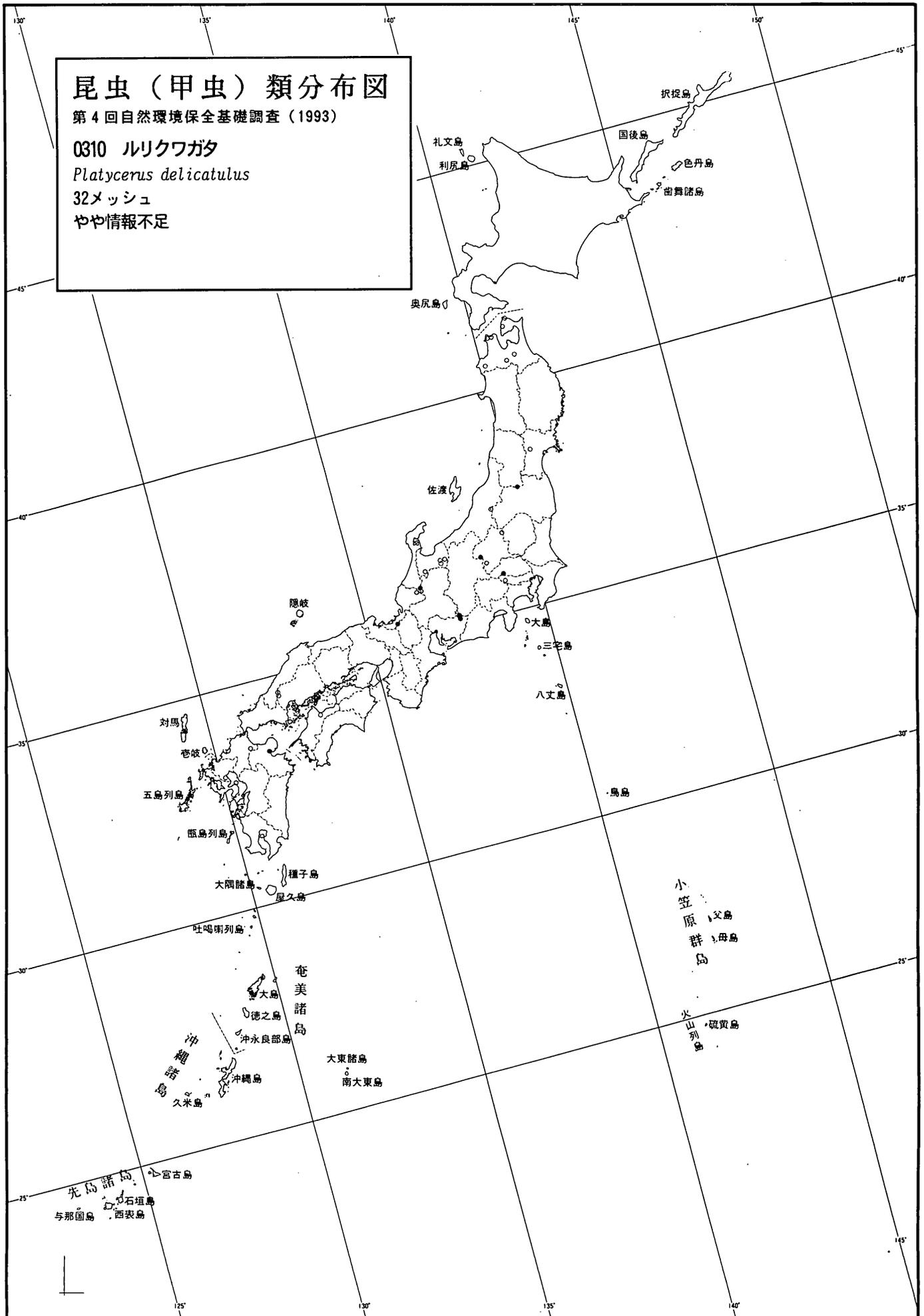
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0310 ルリクワガタ

*Platycerus delicatulus*

32メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

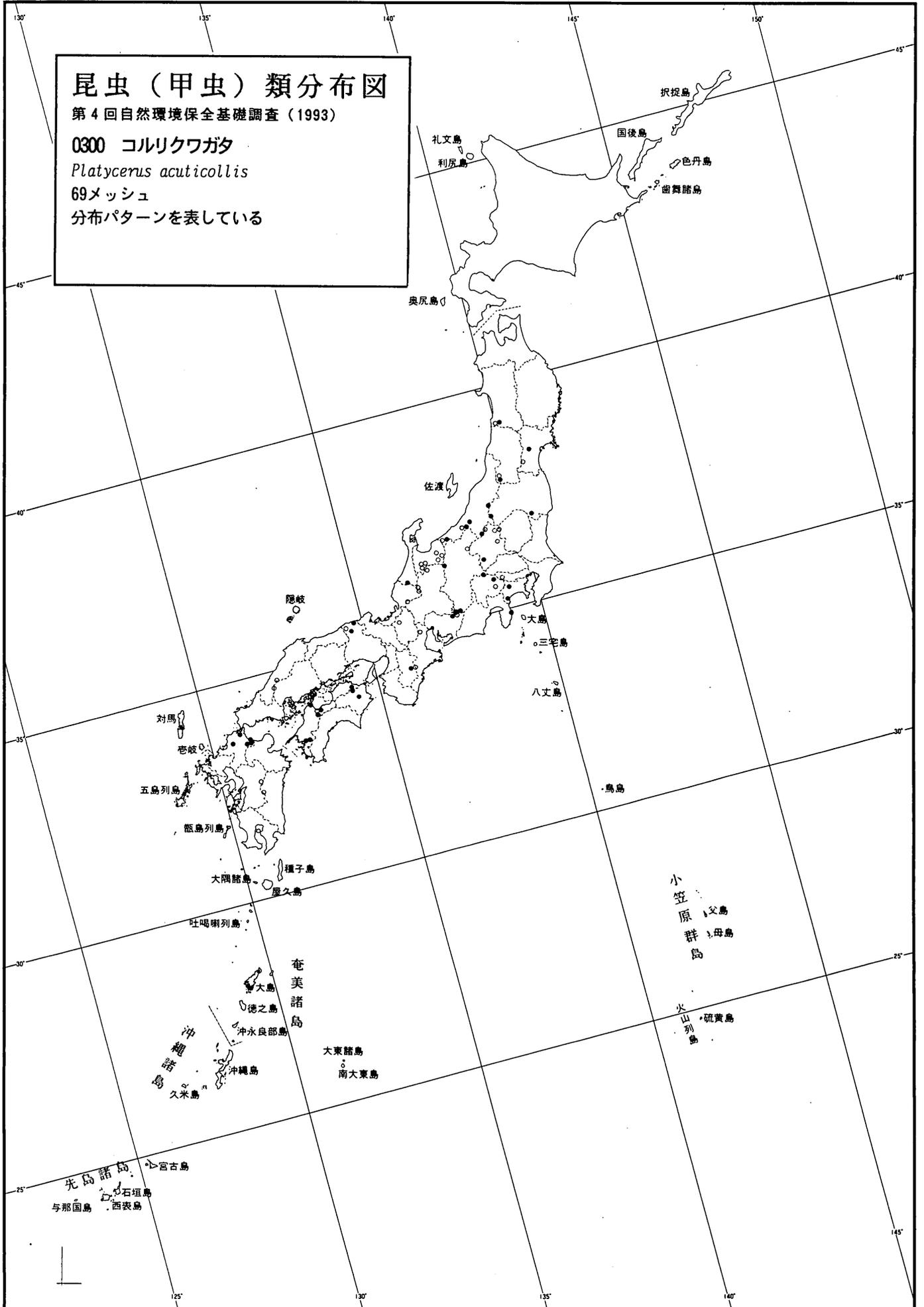
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0300 コルリクワガタ

*Platycerus acuticollis*

69メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

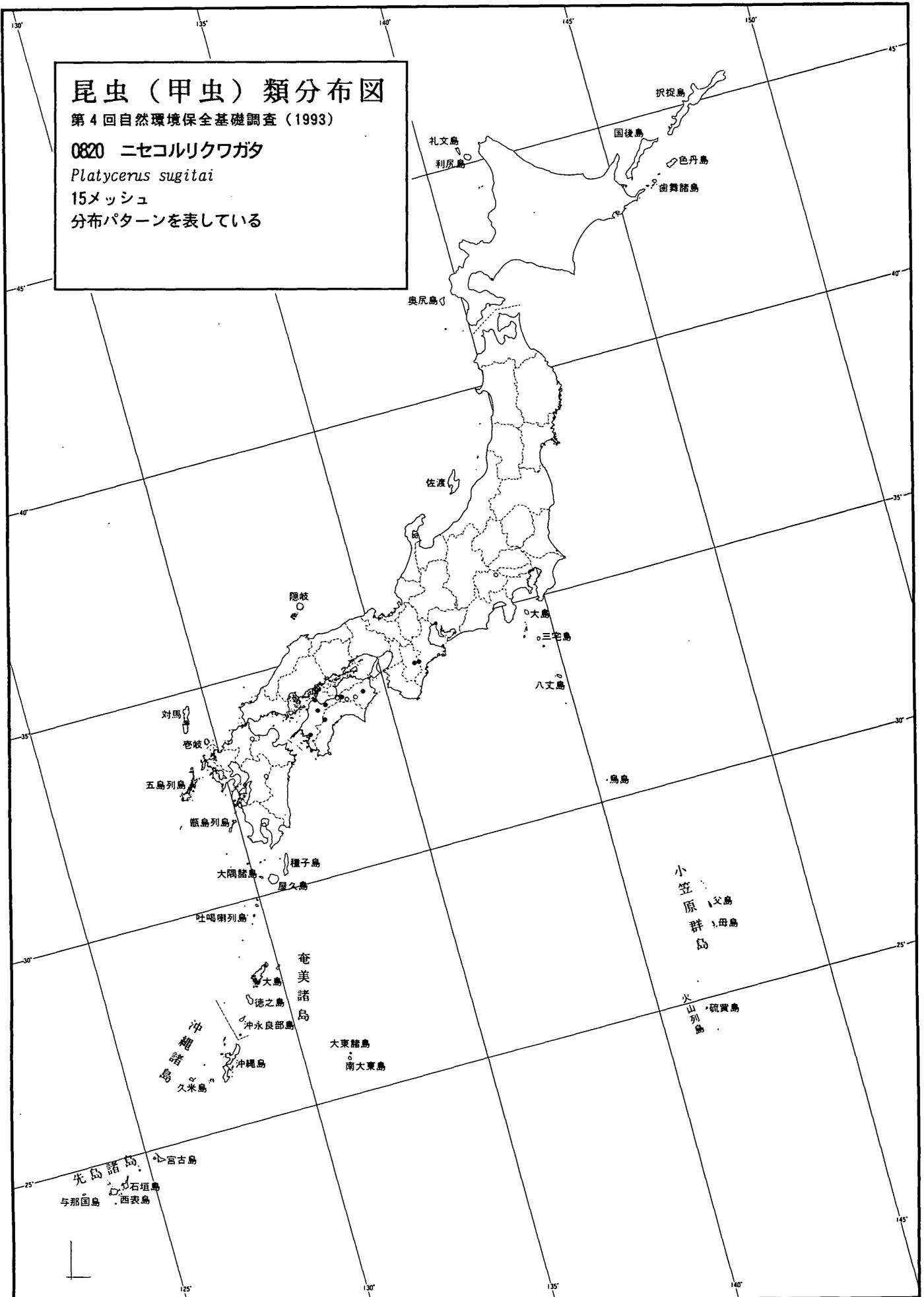
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0820 ニセコリクワガタ

*Platycerus sugitai*

15メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

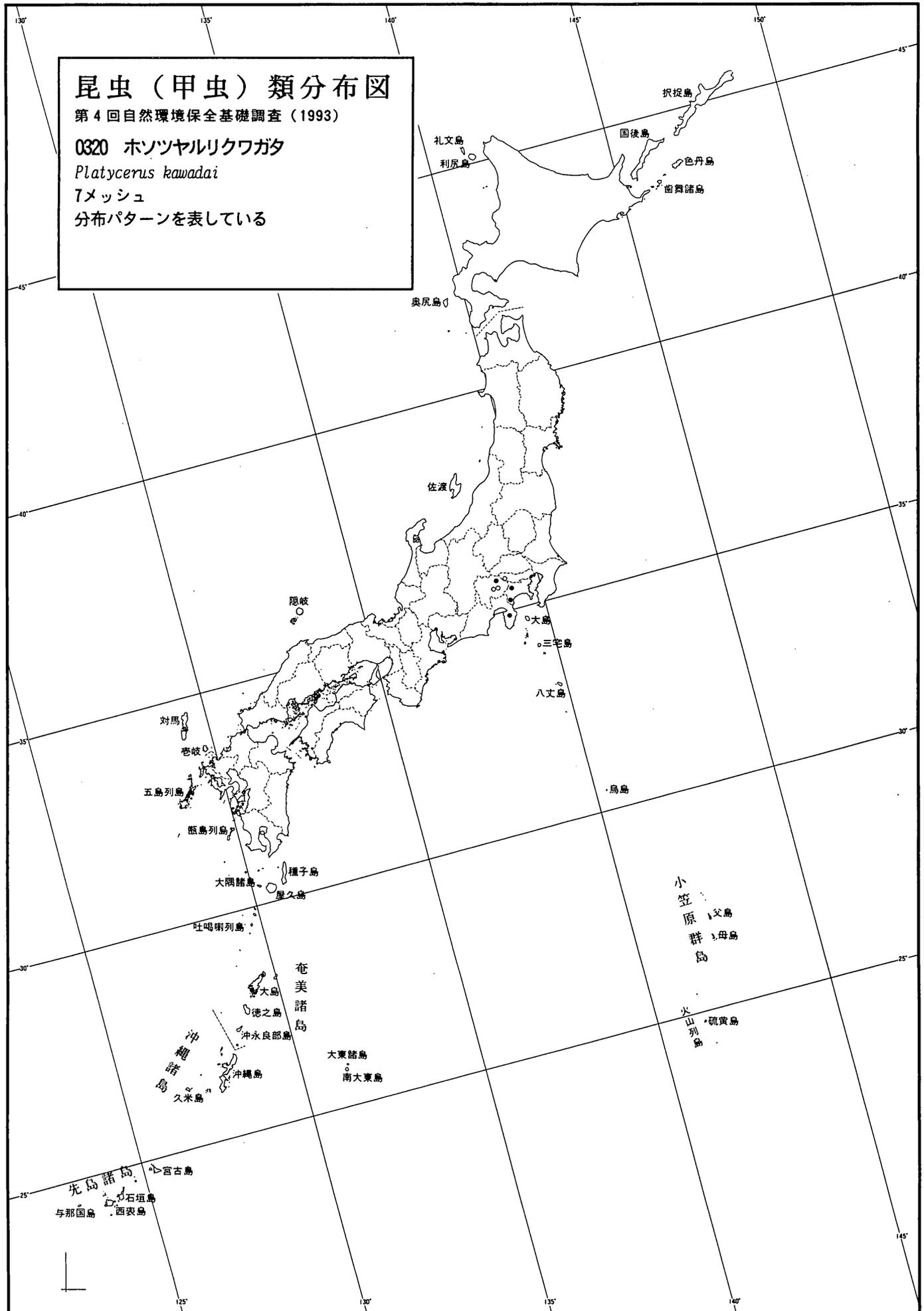
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0320 ホソツヤルリクワガタ

*Platycerus kawadai*

7メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

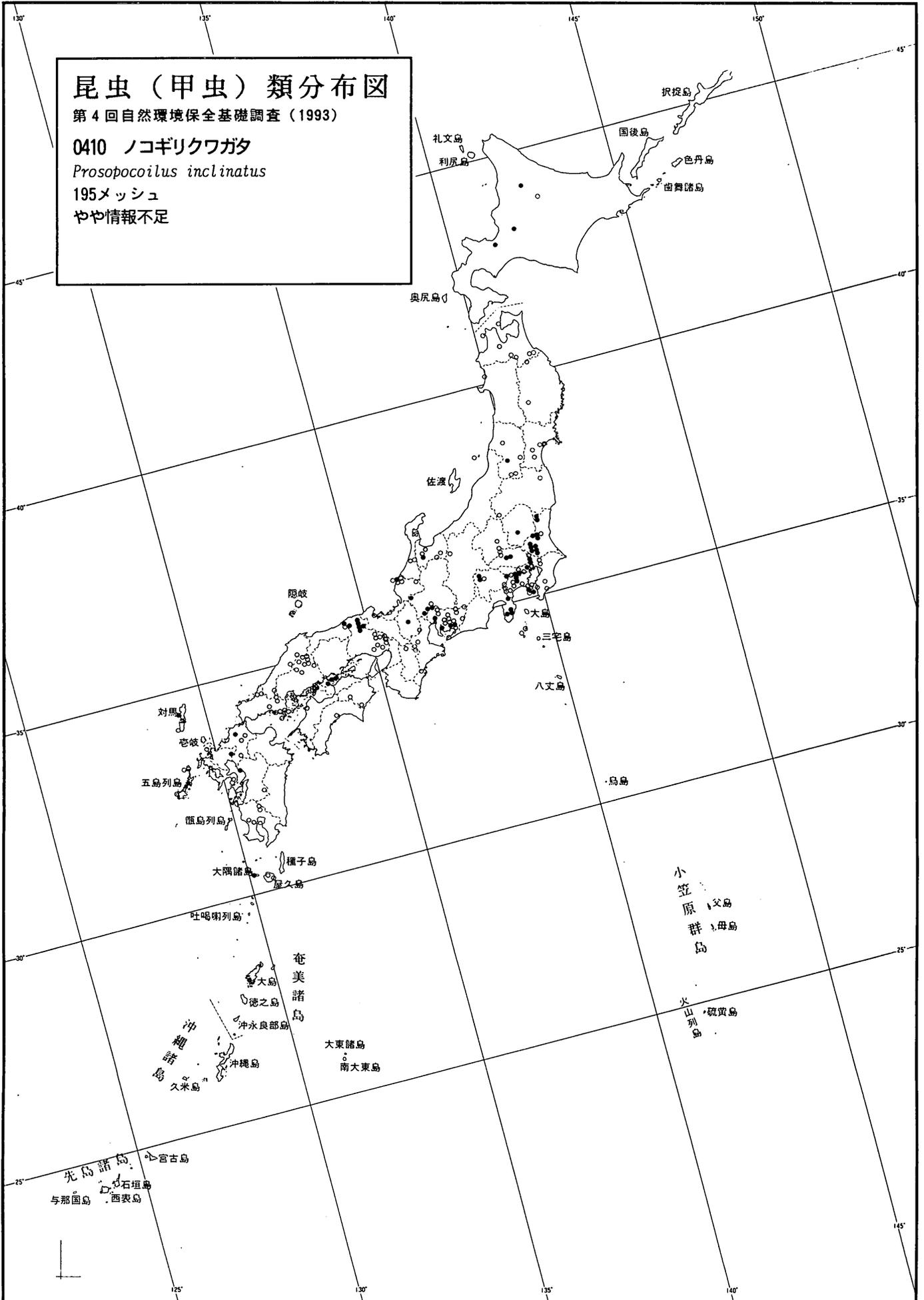
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0410 ノコギリクワガタ

*Prosopocoilus inclinatus*

195メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

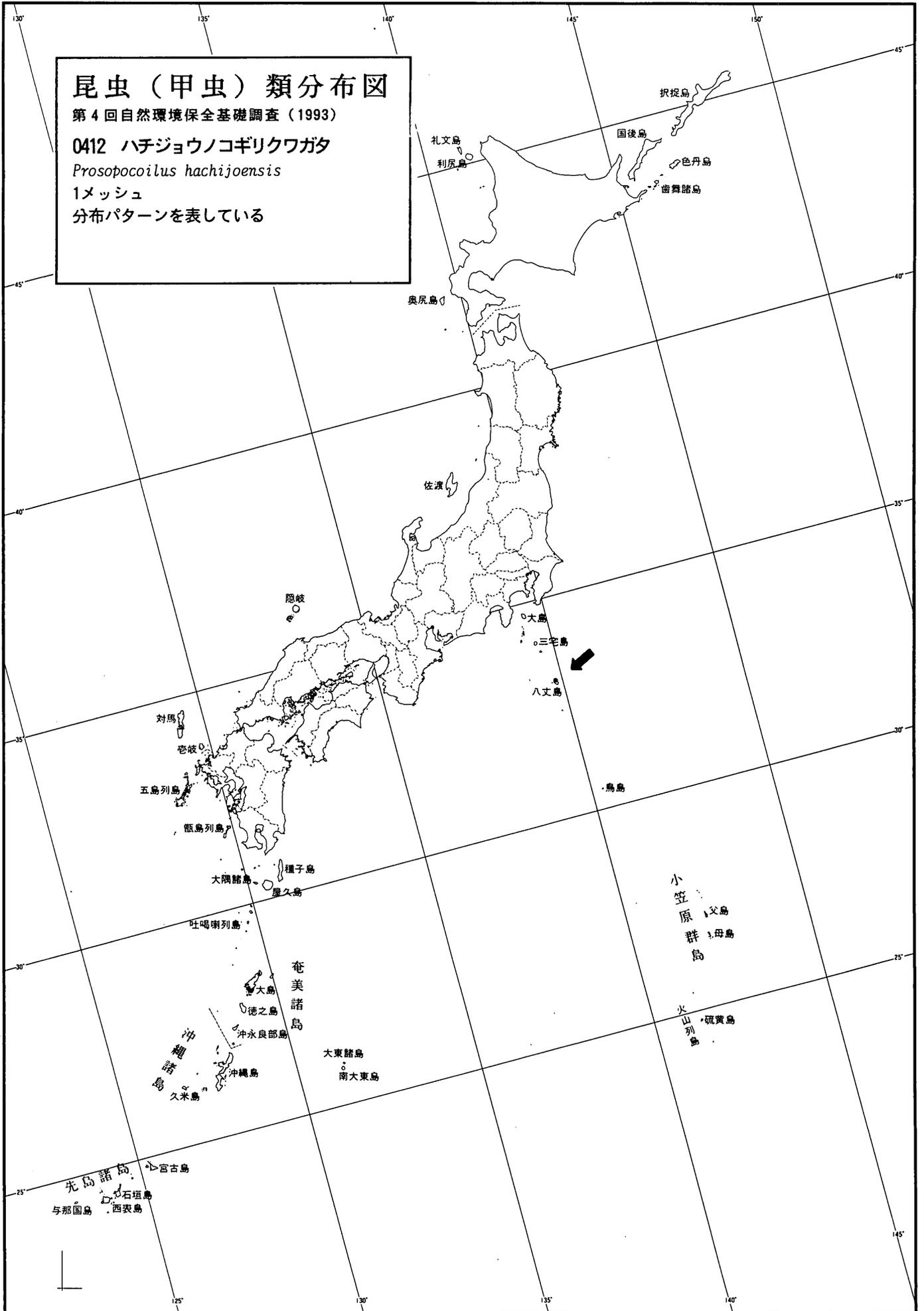
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0412 ハチジョウノコギリクワガタ

*Prosopocoilus hachijoensis*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

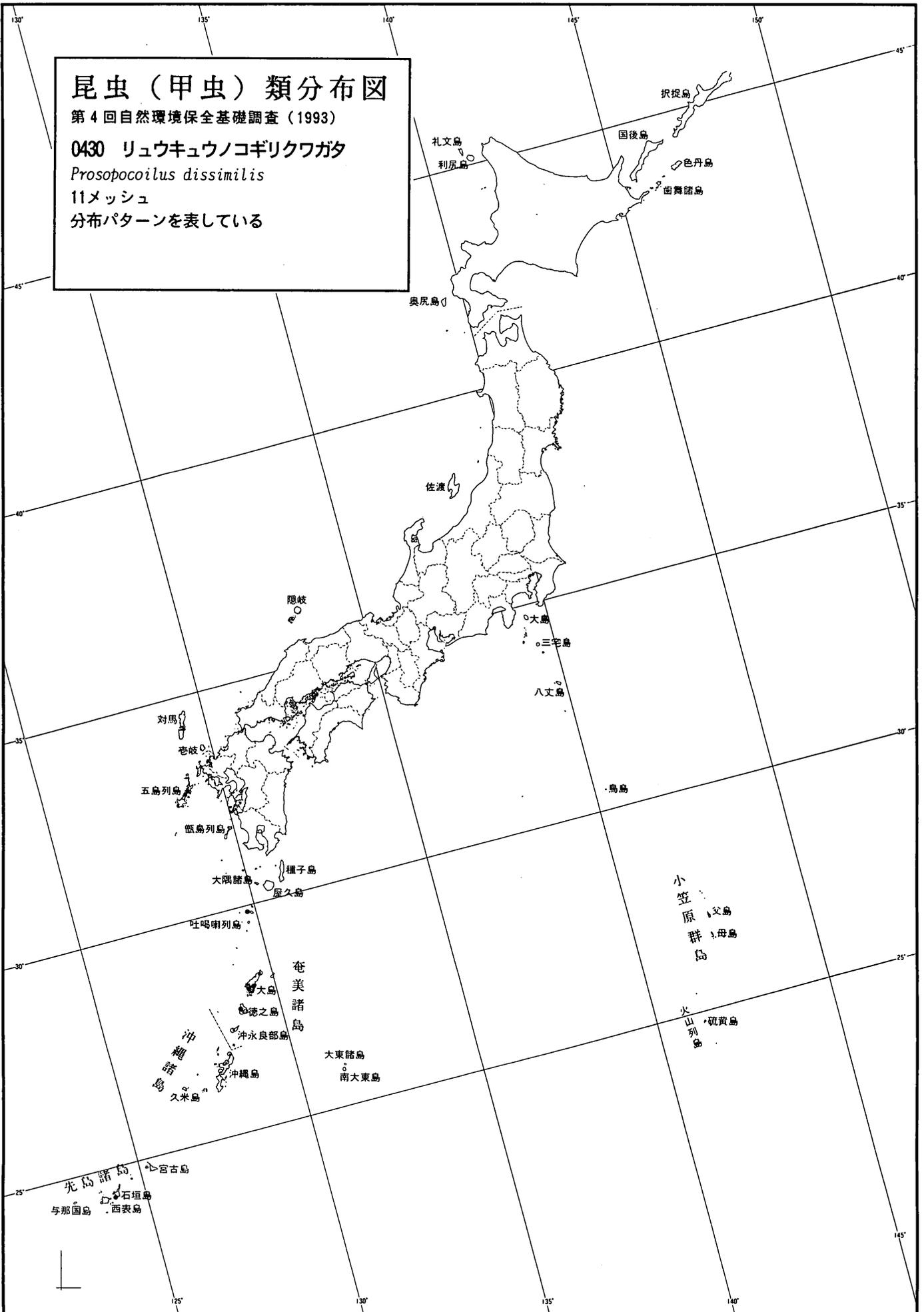
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0430 リュウキュウノコギリクワガタ

*Prosopocoilus dissimilis*

11メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

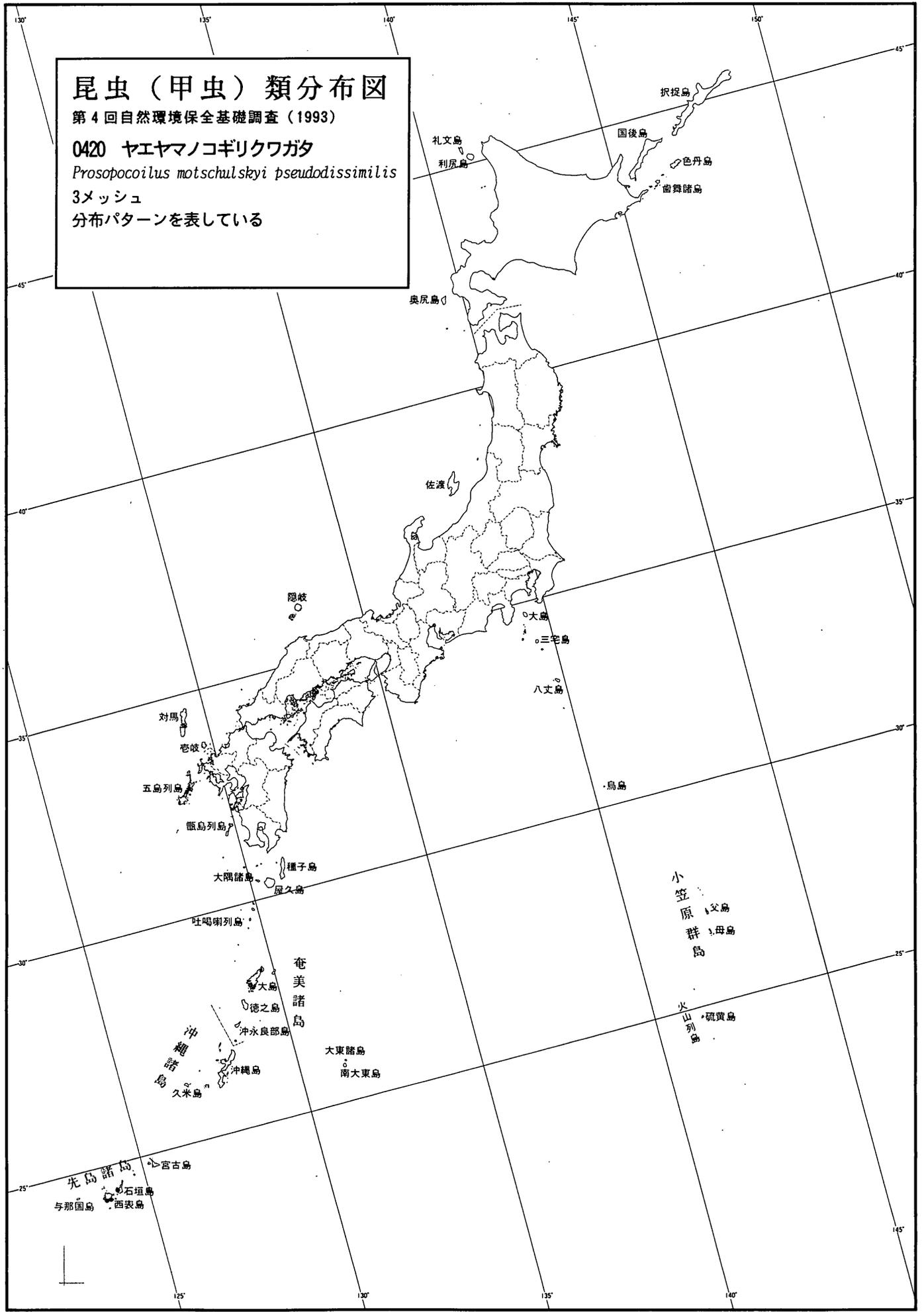
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0420 ヤエヤマノコギリクワガタ

*Prosopocoilus motschulskyi pseudodissimilis*

3メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

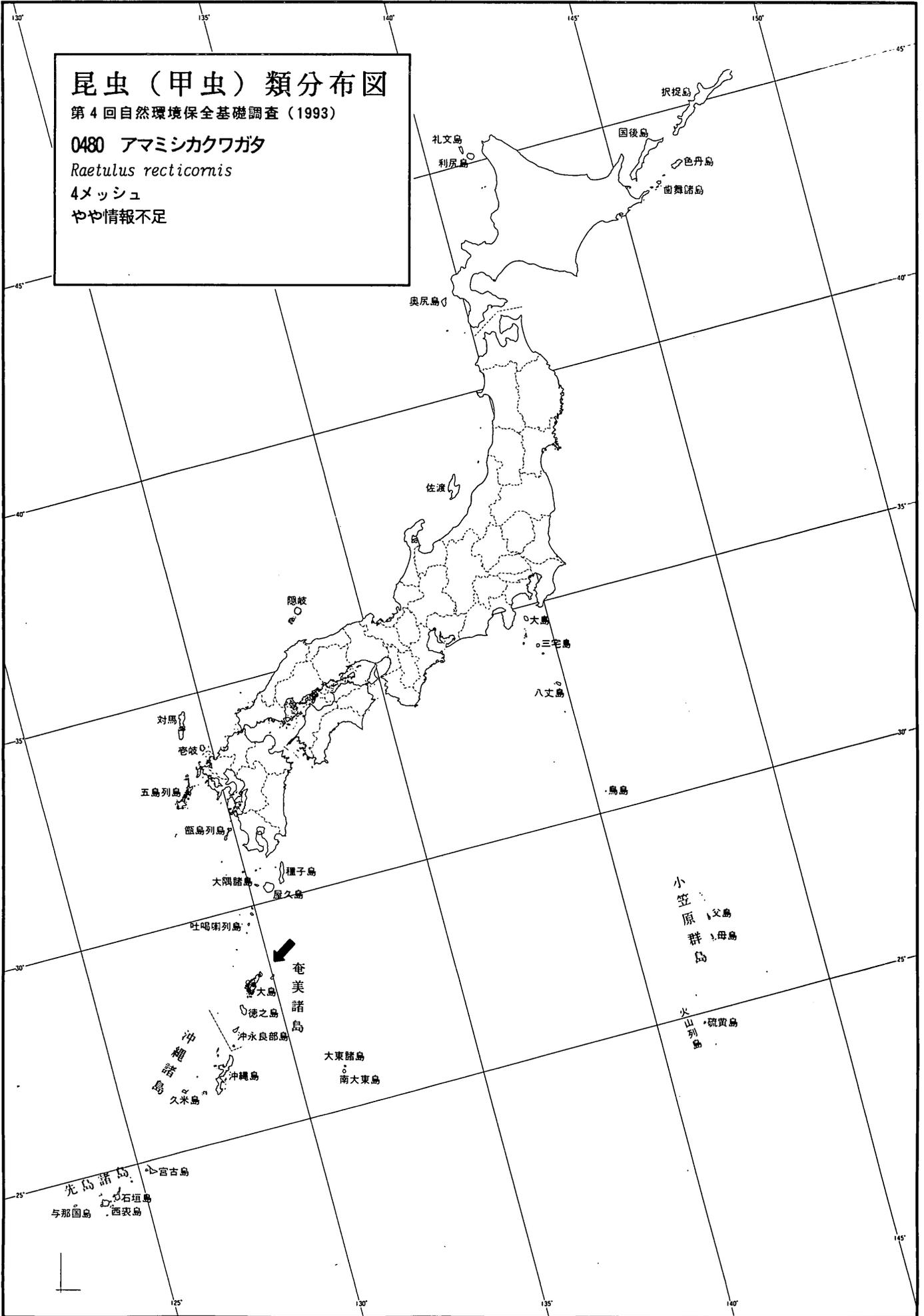
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0480 アマシカクワガタ

*Raetulus recticomis*

4メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

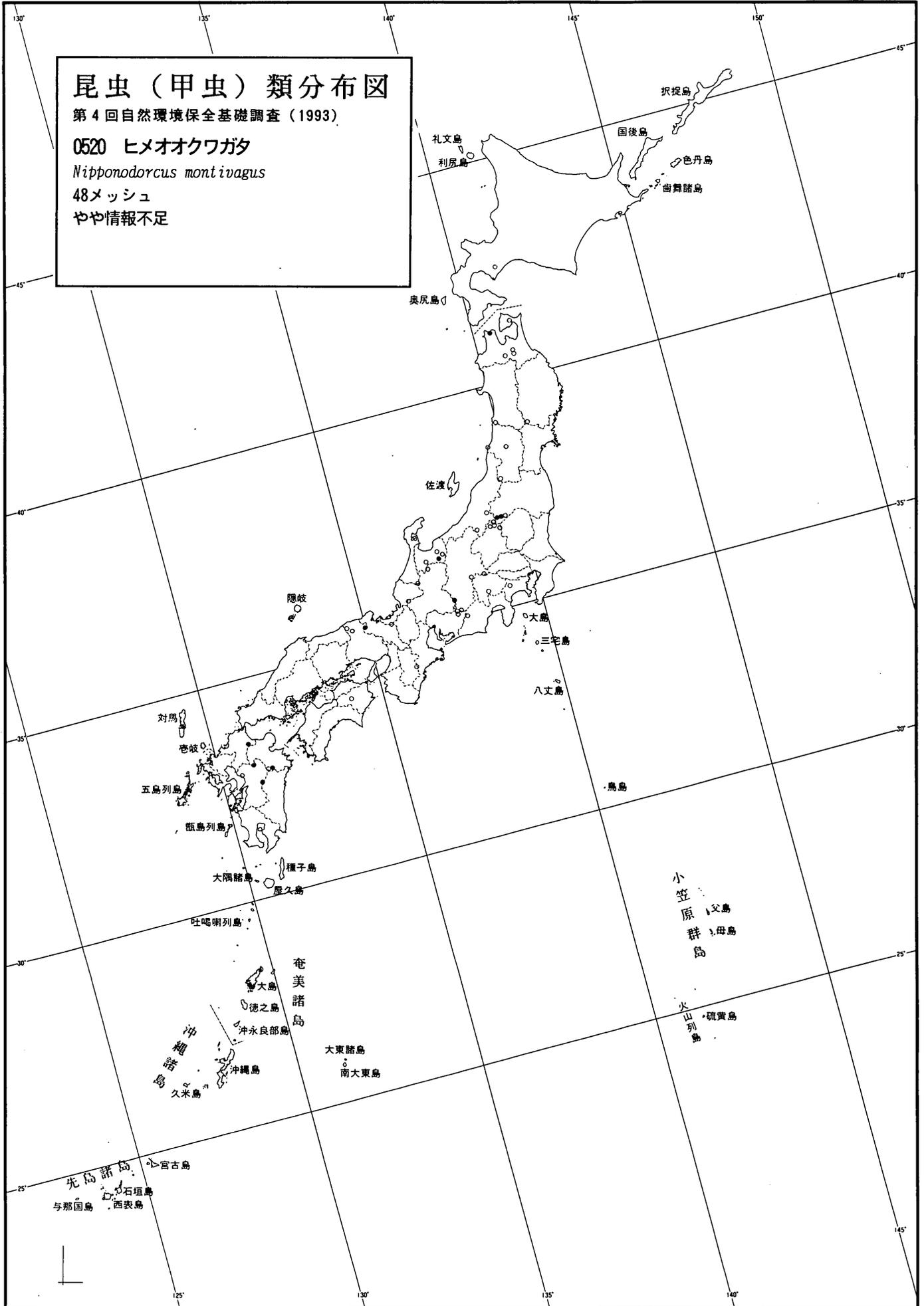
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0520 ヒメオオクワガタ

*Nipponodorcus montivagus*

48メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

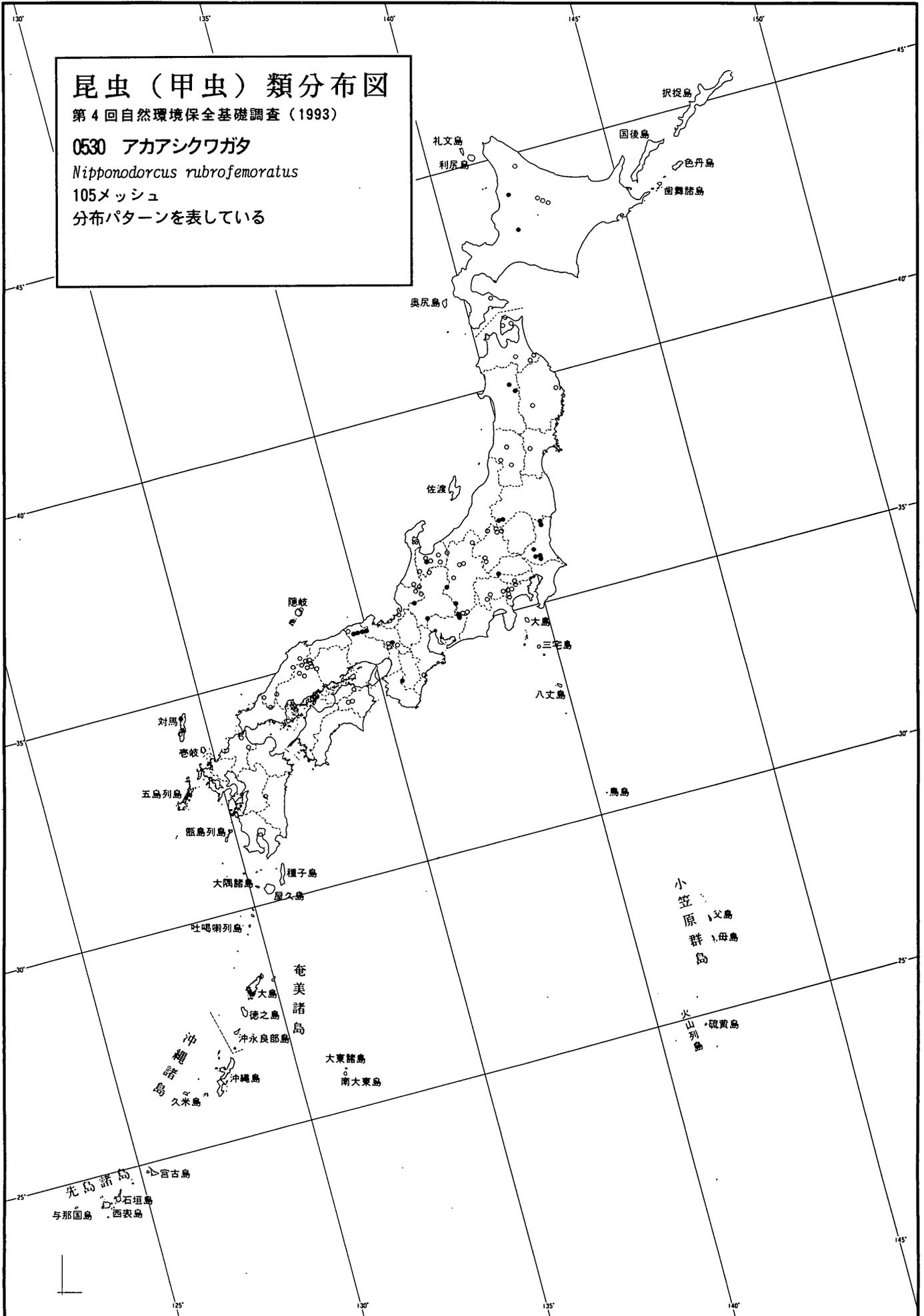
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0530 アカアシクワガタ

*Nipponodorcus rubrofemoratus*

105メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

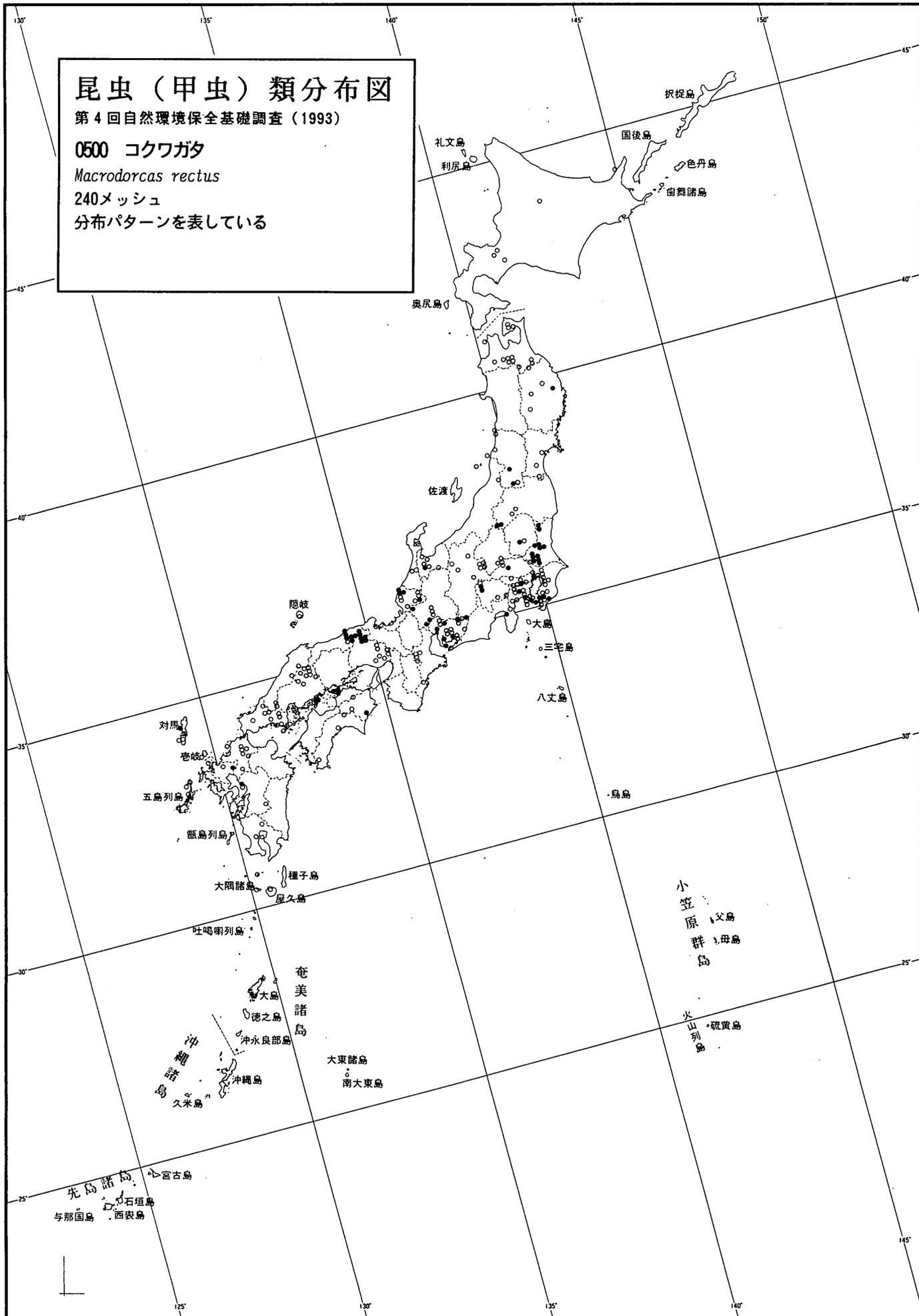
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0500 コクワガタ

*Macrodorcas rectus*

240メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

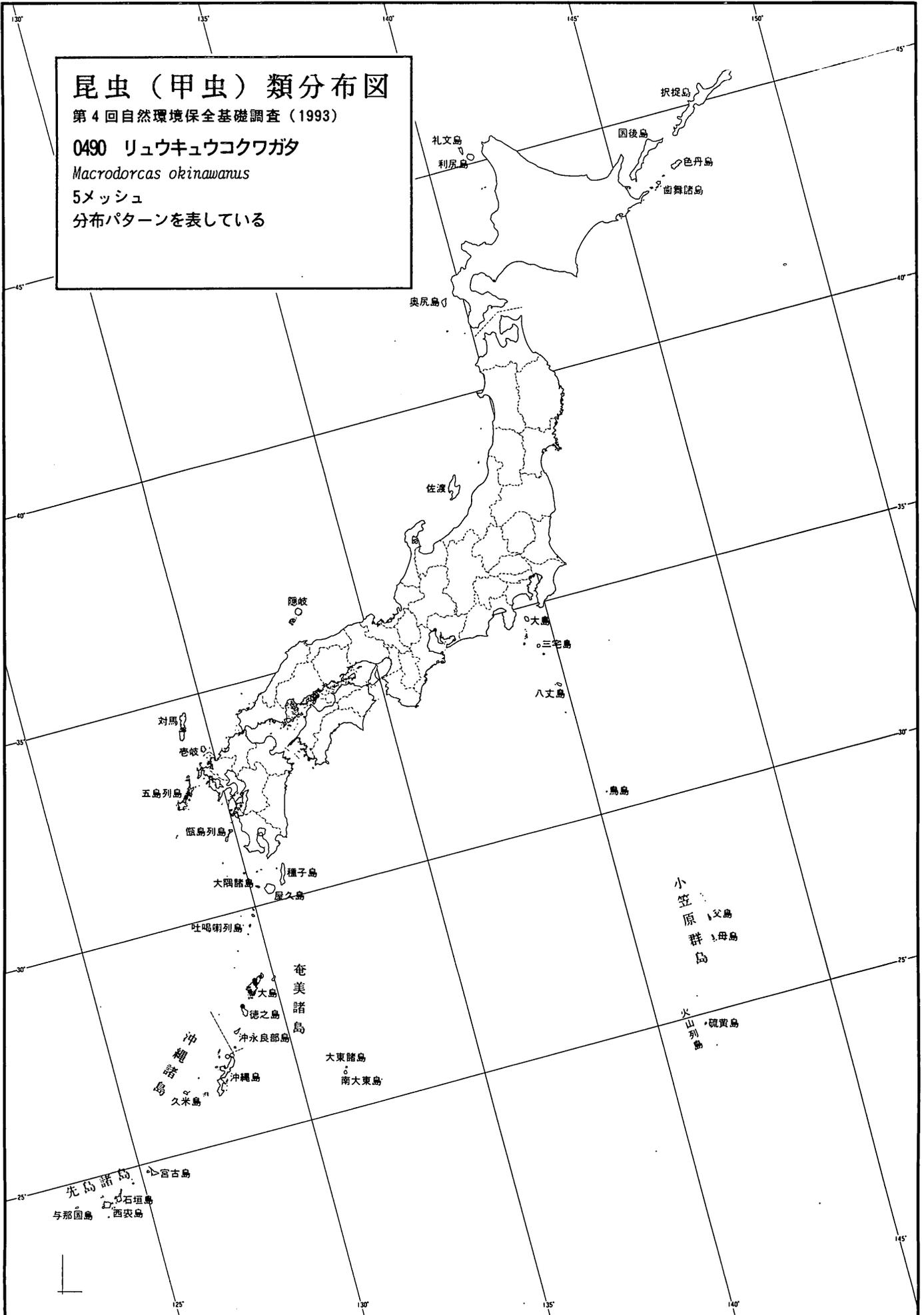
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0490 リュウキュウコクワガタ

*Macrodorcas okinawanus*

5メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

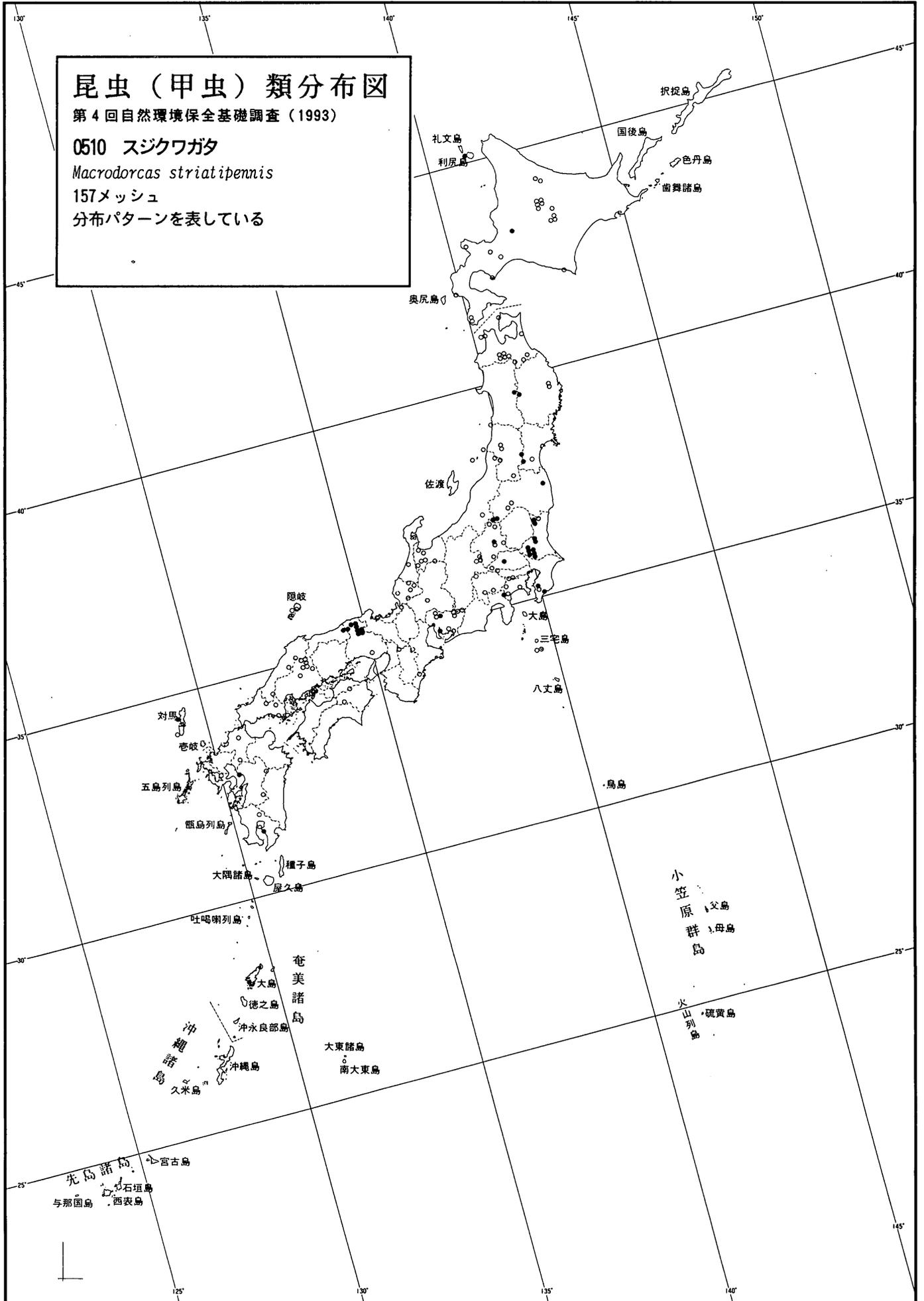
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0510 スジクワガタ

*Macrodorcas striatipennis*

157メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

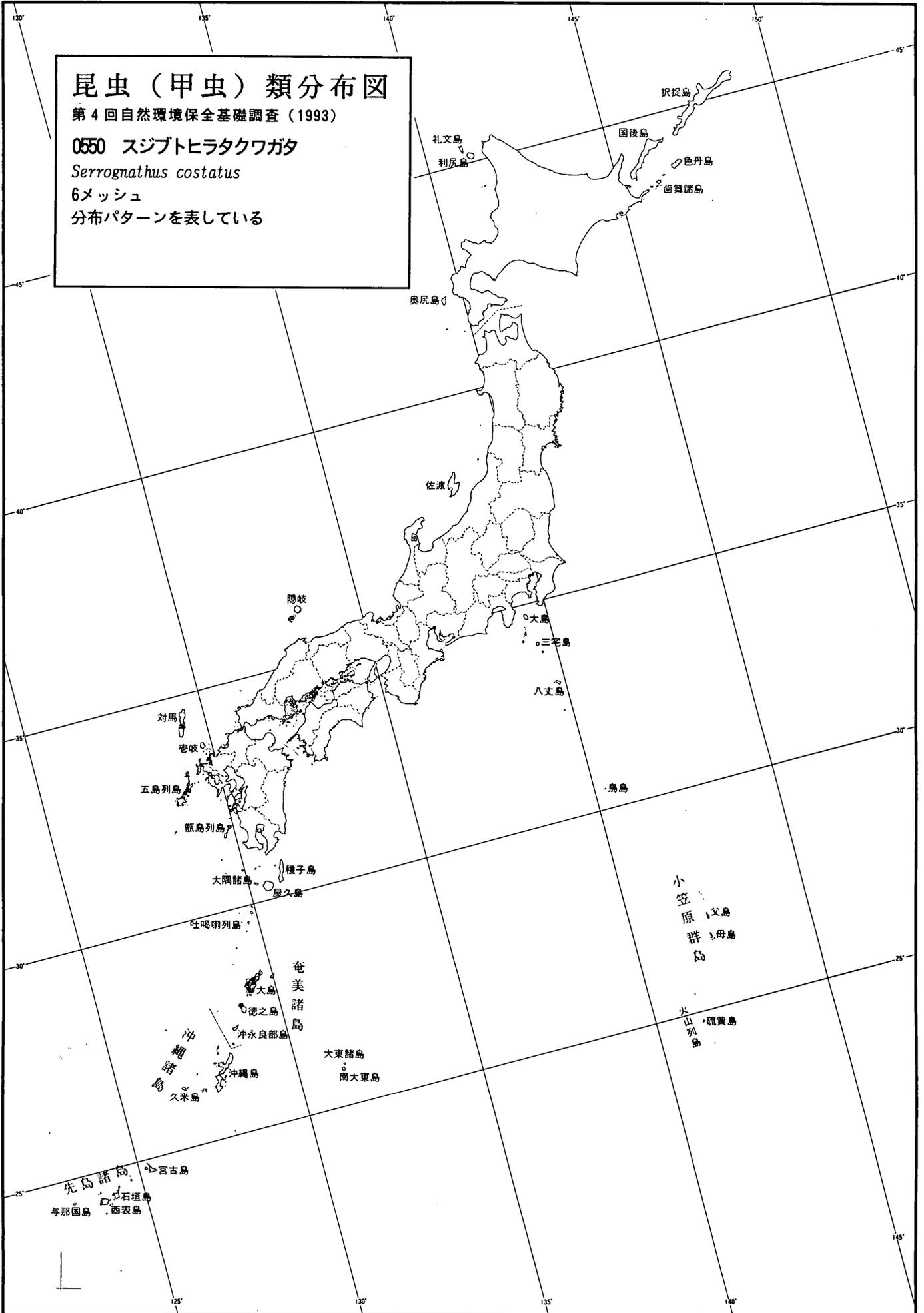
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0550 スジブトヒラタクワガタ

*Serrognathus costatus*

6メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

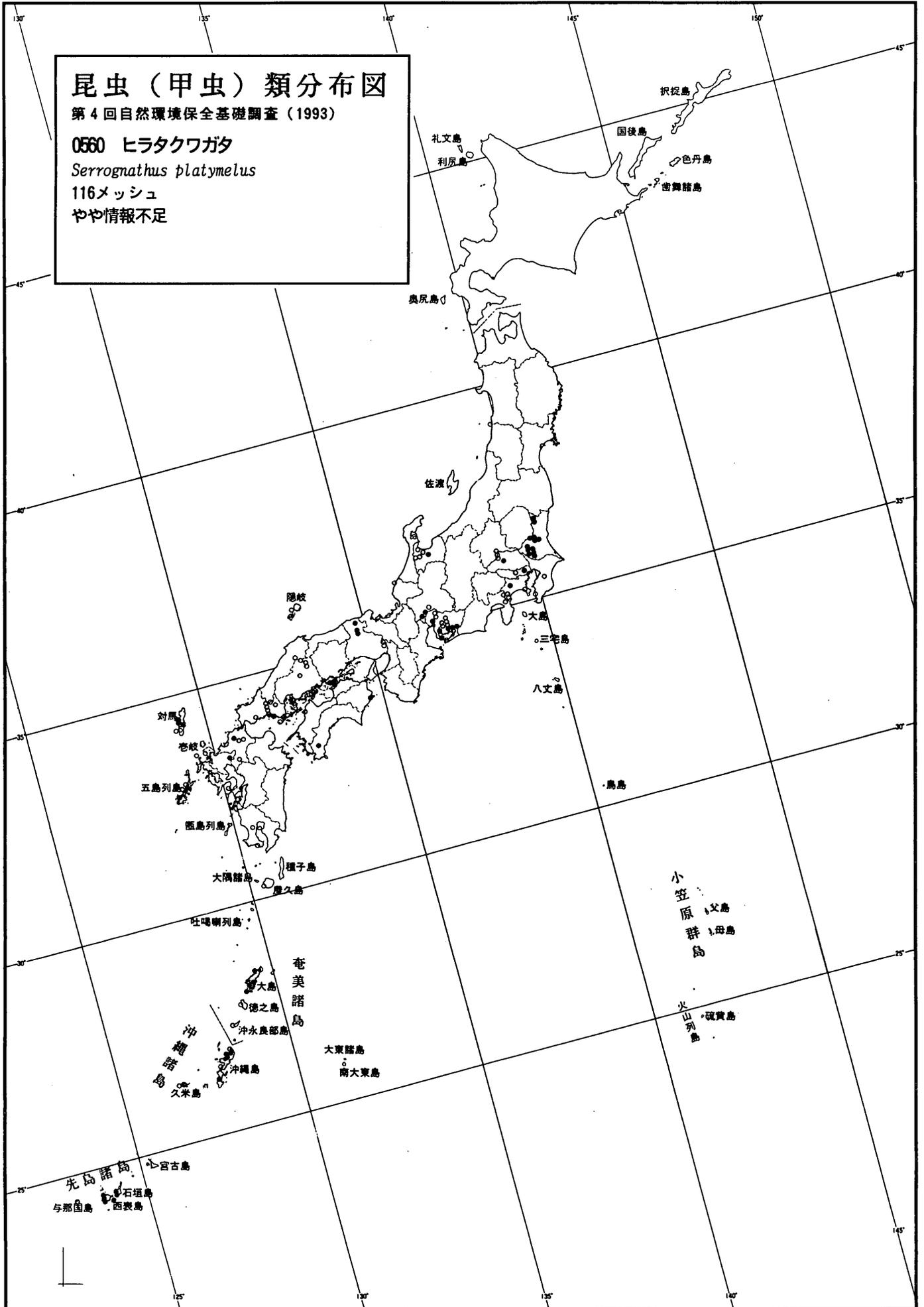
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0560 ヒラタクワガタ

*Serrognathus platymelus*

116メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

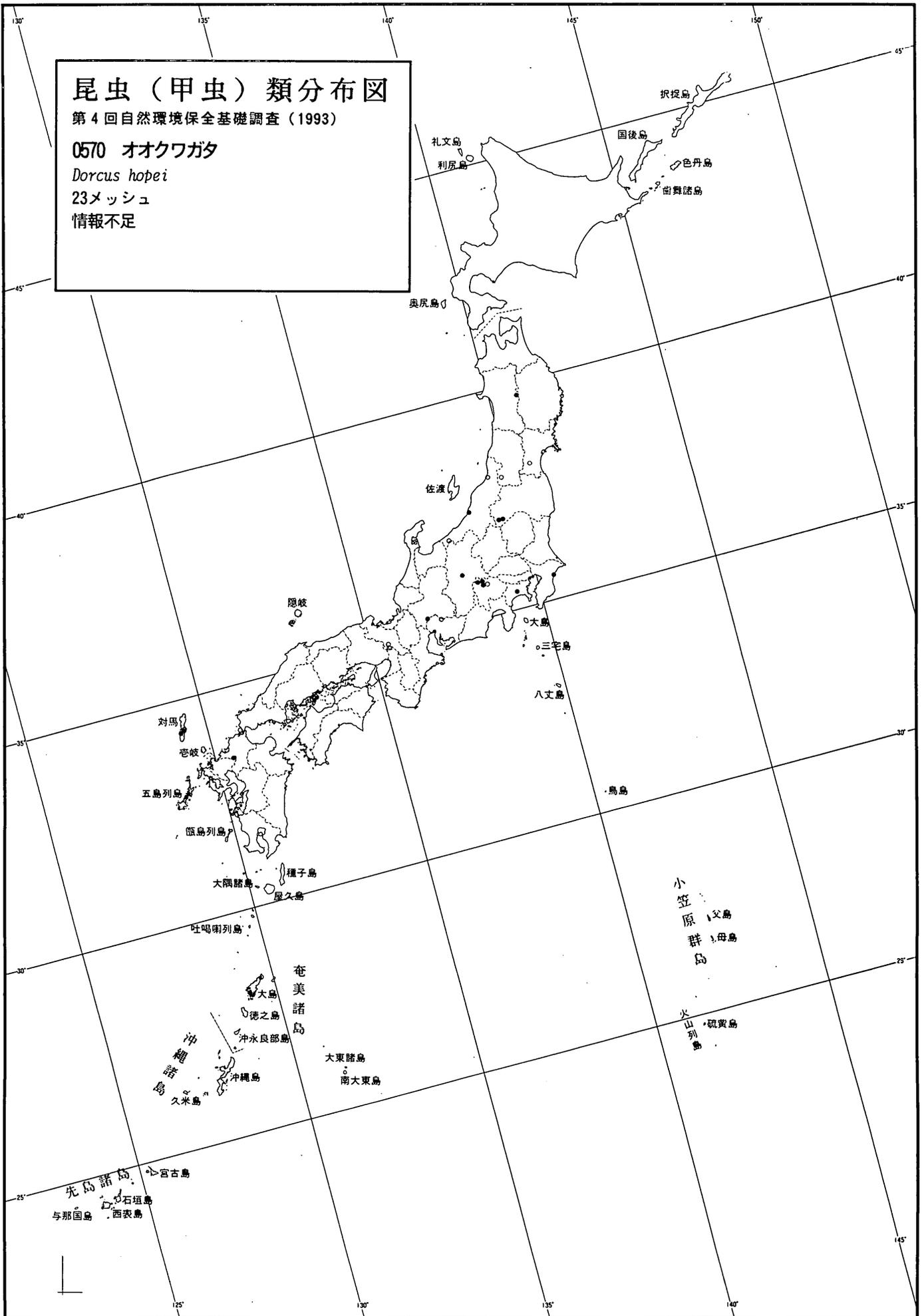
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0570 オオクワガタ

*Dorcus hopei*

23メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

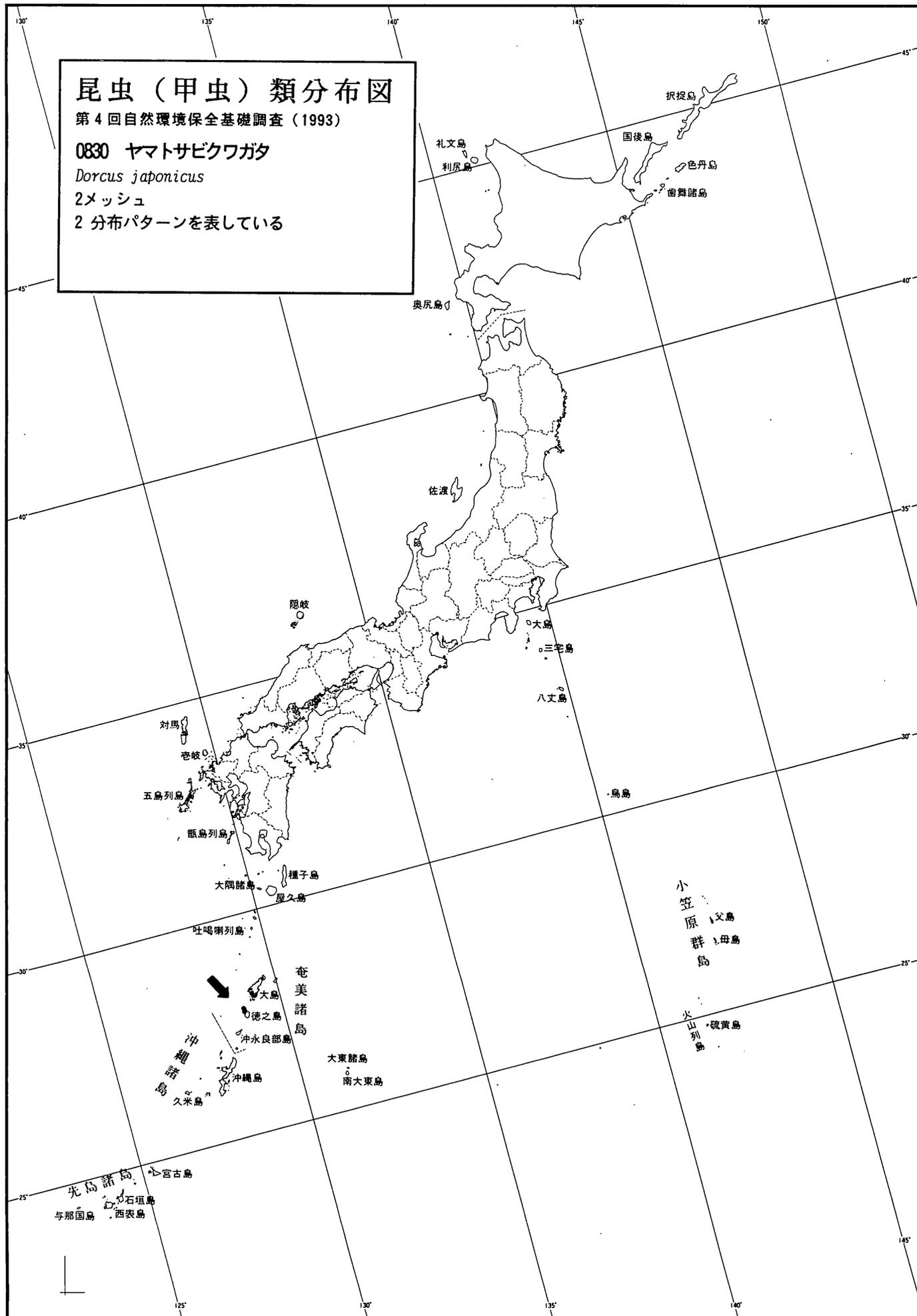
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0830 ヤマトサビクワガタ

*Dorcus japonicus*

2メッシュ

2 分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

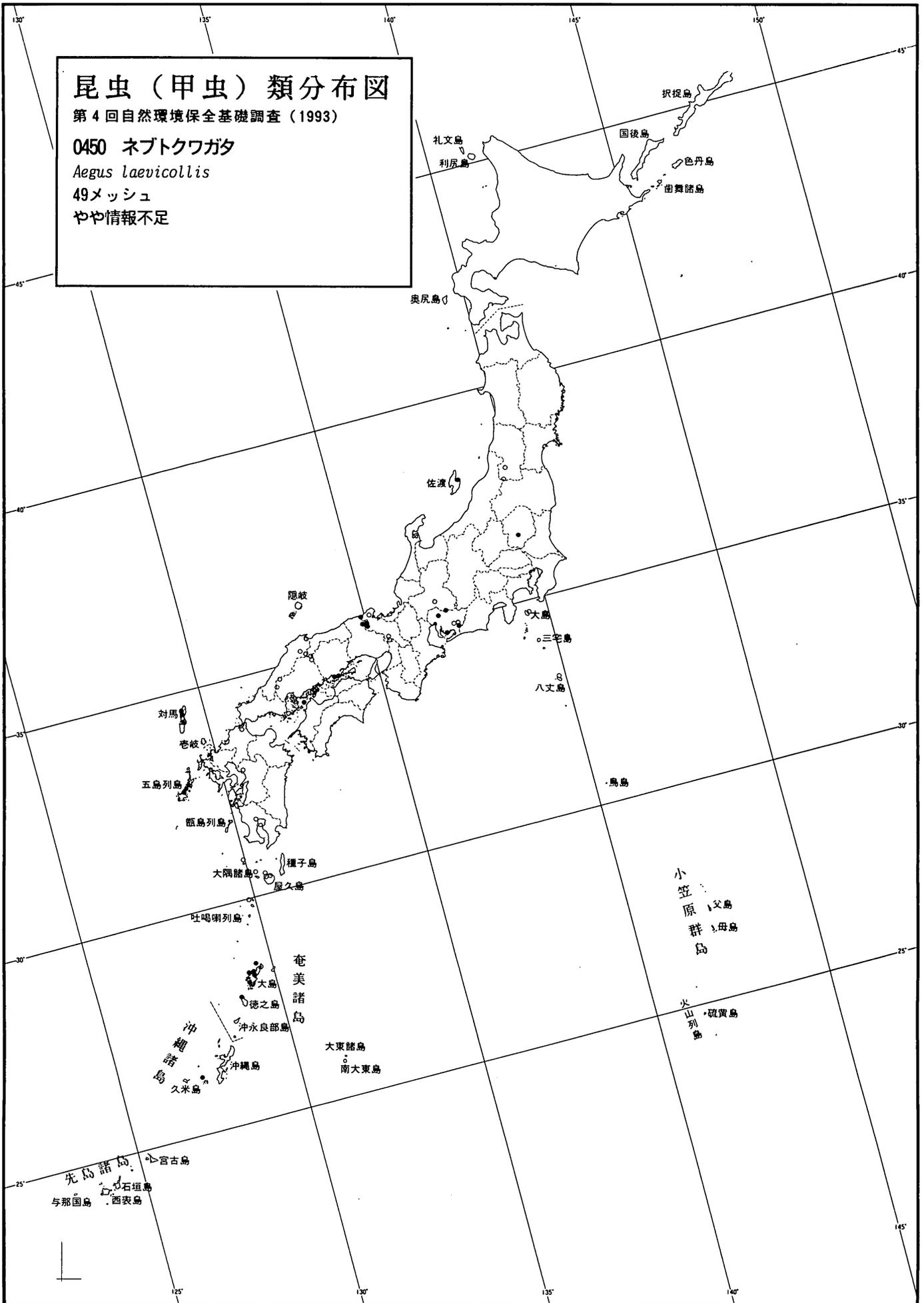
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0450 ネプトクワガタ

*Aegus laevicollis*

49メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

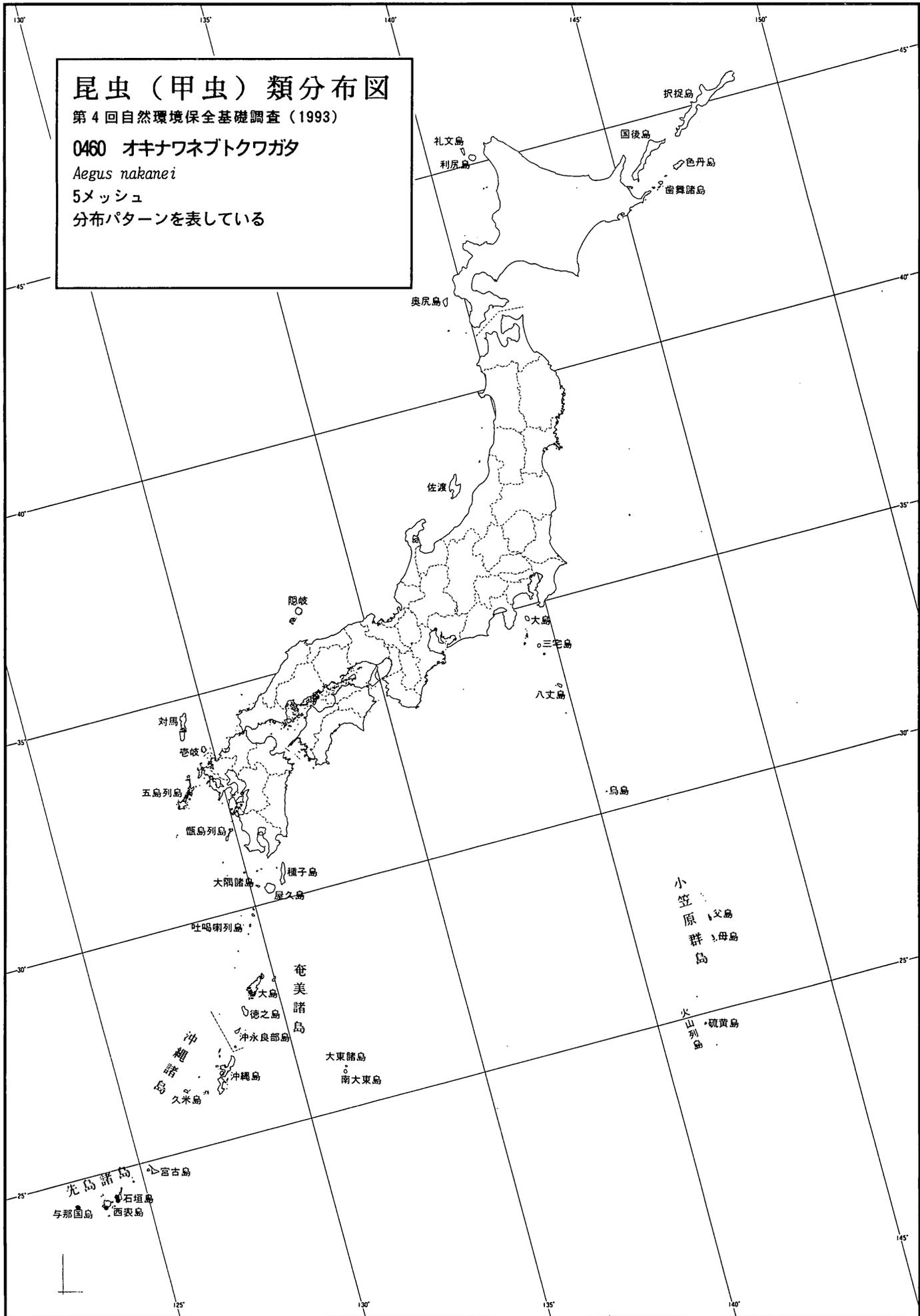
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0460 オキナワネブトクワガタ

*Aegus nakanei*

5メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

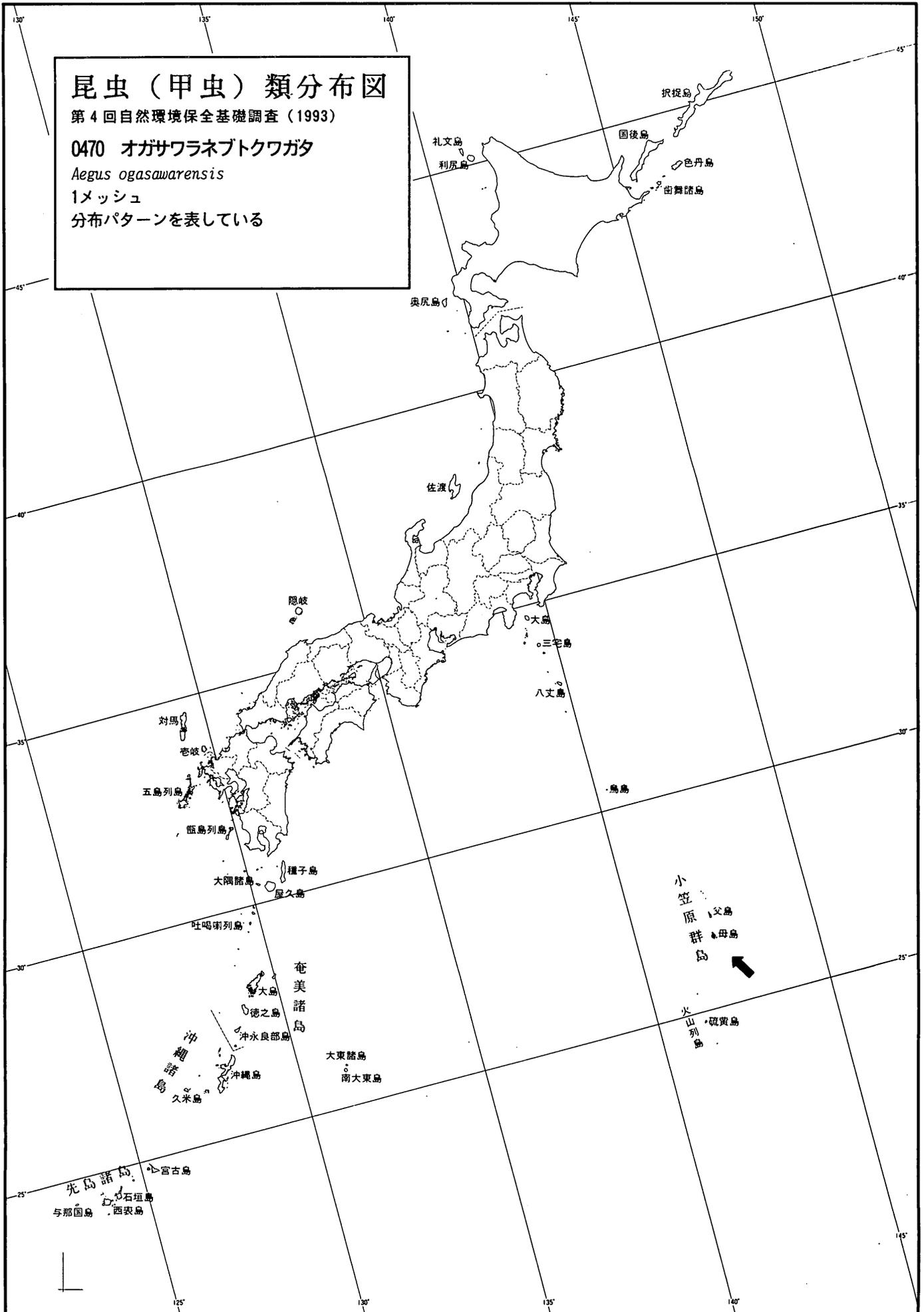
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 0470 オガサワラネブトクワガタ

*Aegus ogasawarensis*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

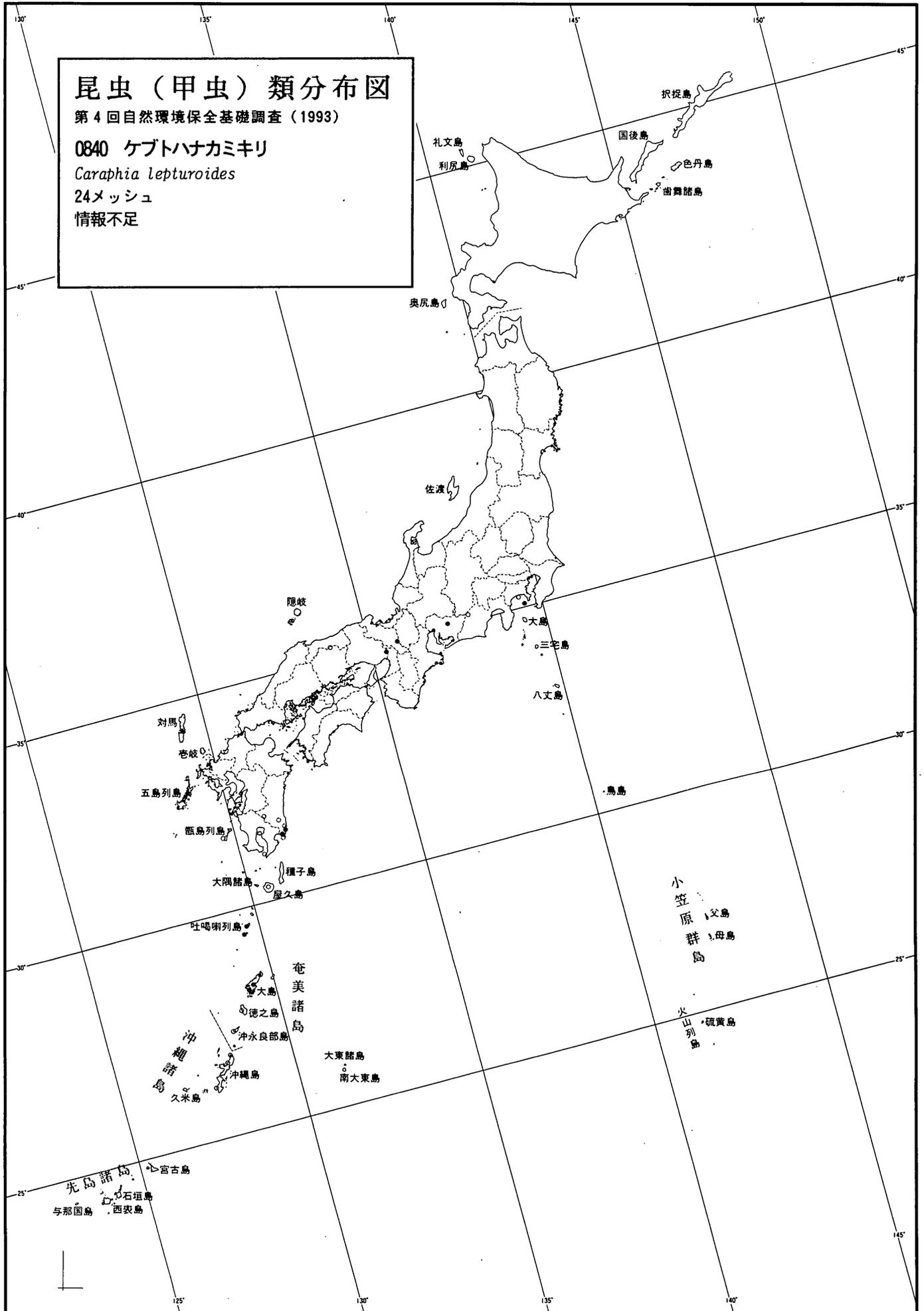
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0840 ケプトハナカミキリ

*Caraphia lepturoides*

24メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

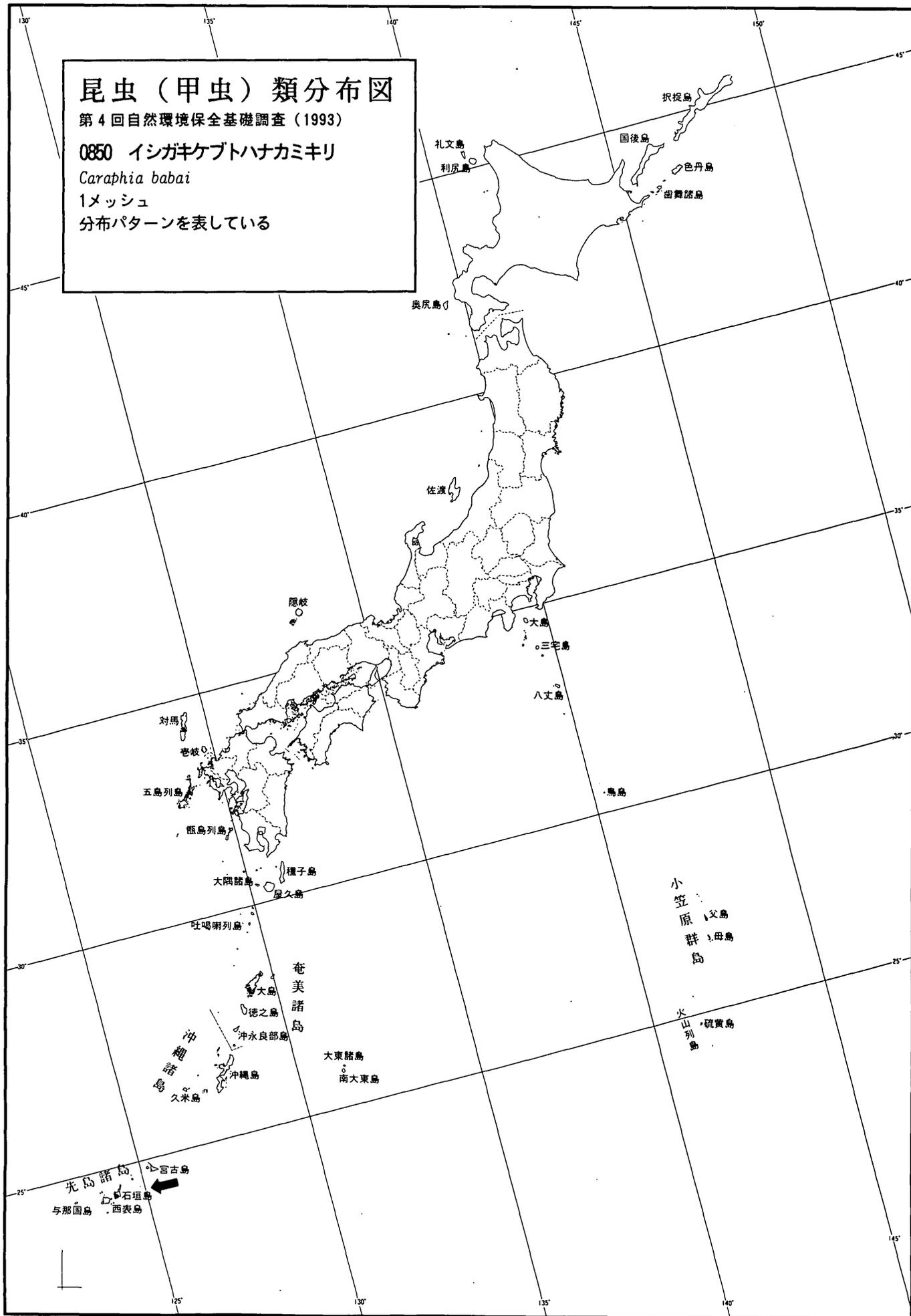
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0850 イシガキケブトハナカミキリ

*Caraphia babai*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

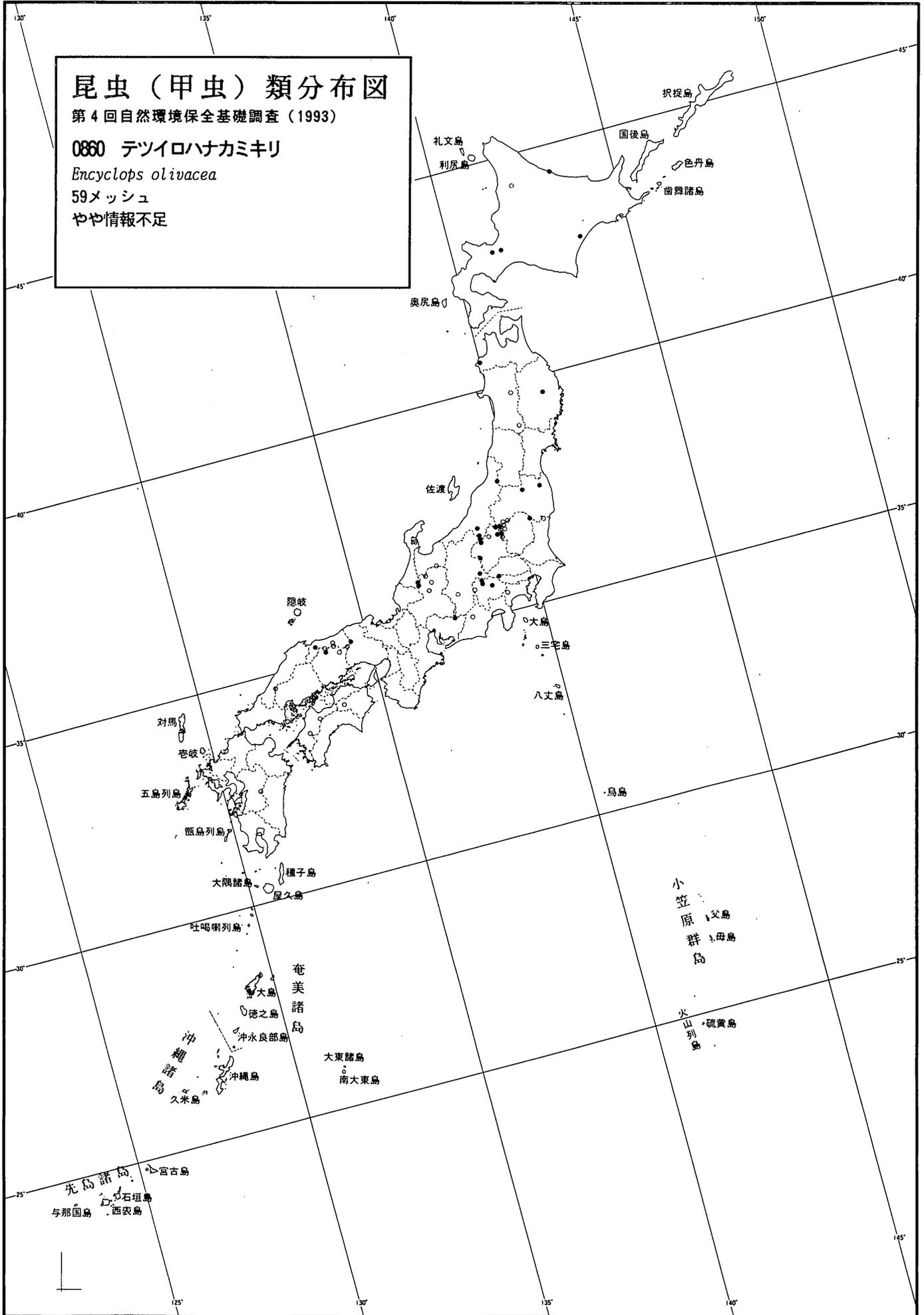
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0860 テツイロハナカミキリ

*Encyclops olivacea*

59メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

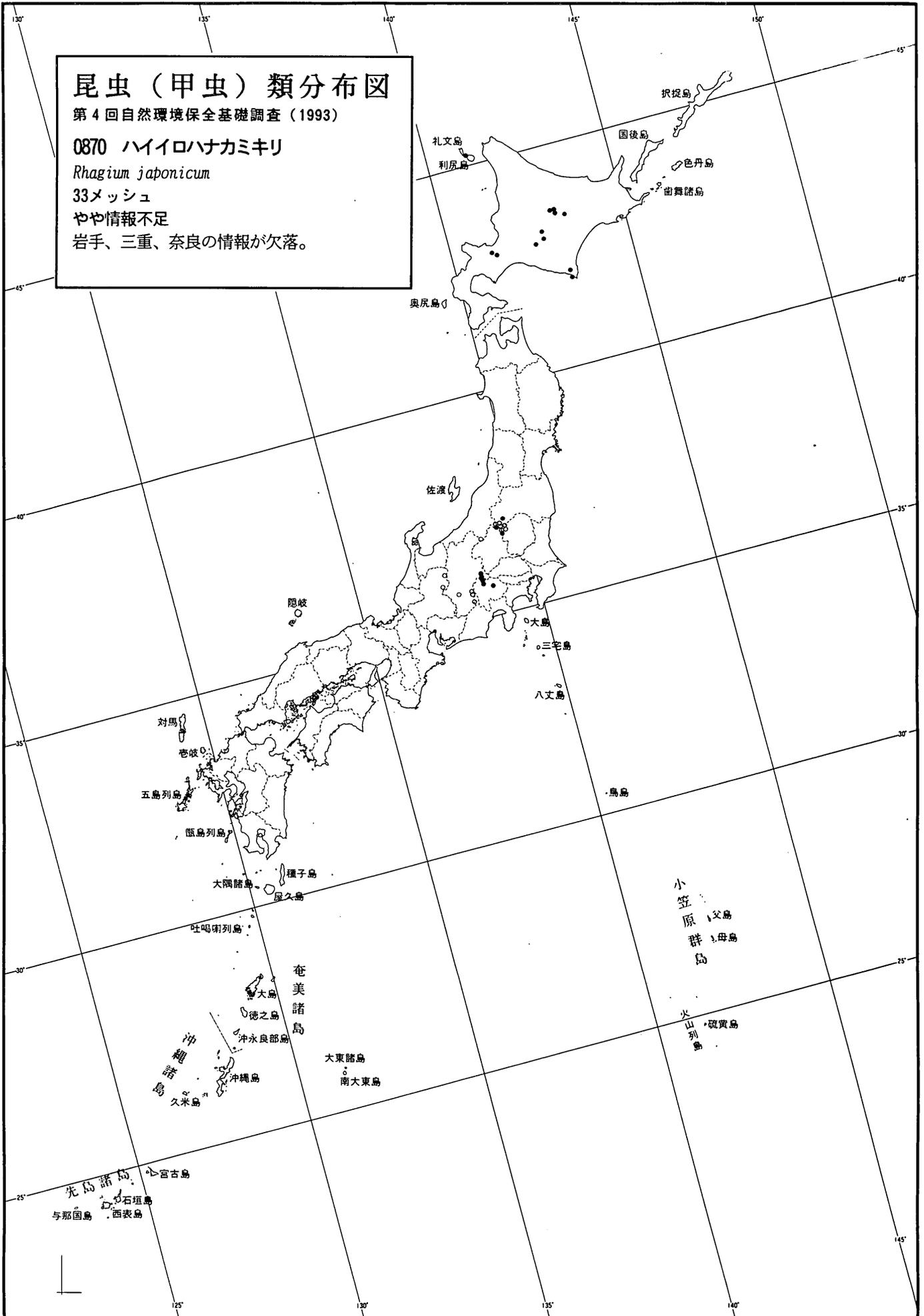
0870 ハイイロハナカミキリ

*Rhagium japonicum*

33メッシュ

やや情報不足

岩手、三重、奈良の情報が欠落。





# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

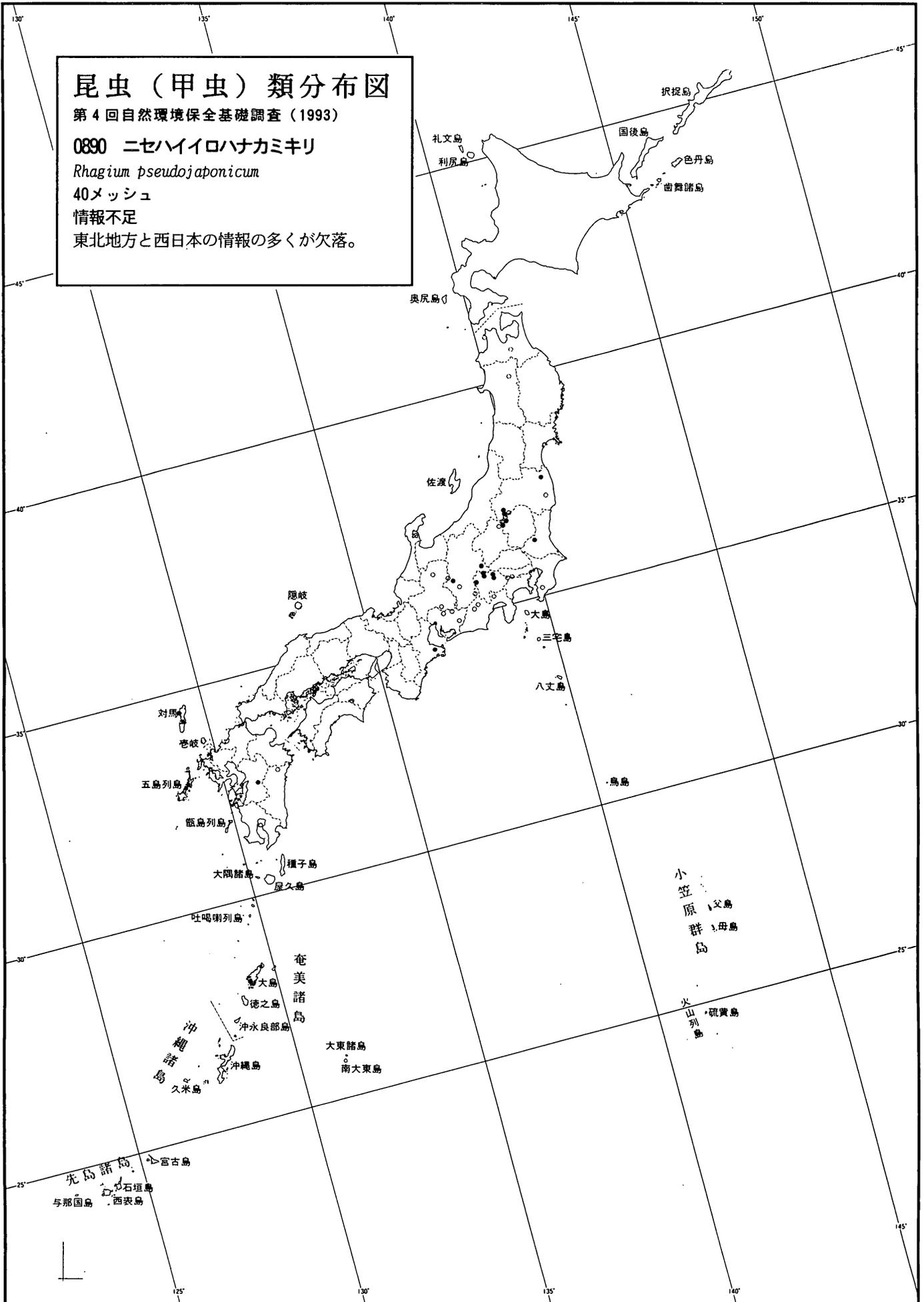
0890 ニセハイロハナカミキリ

*Rhagium pseudojaponicum*

40メッシュ

情報不足

東北地方と西日本の情報の多くが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

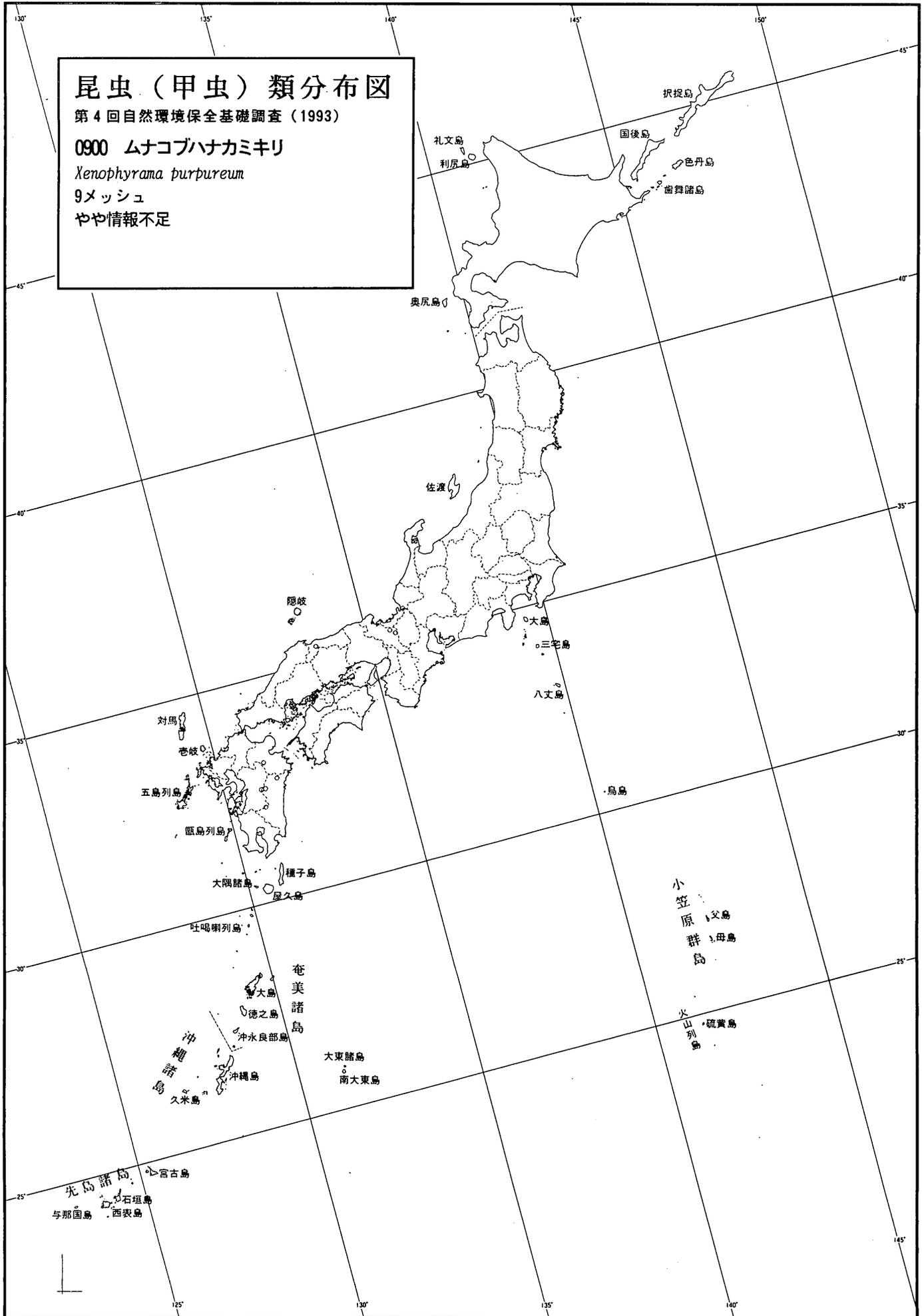
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0900 ムナコブハナカミキリ

*Xenophyrama purpureum*

9メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

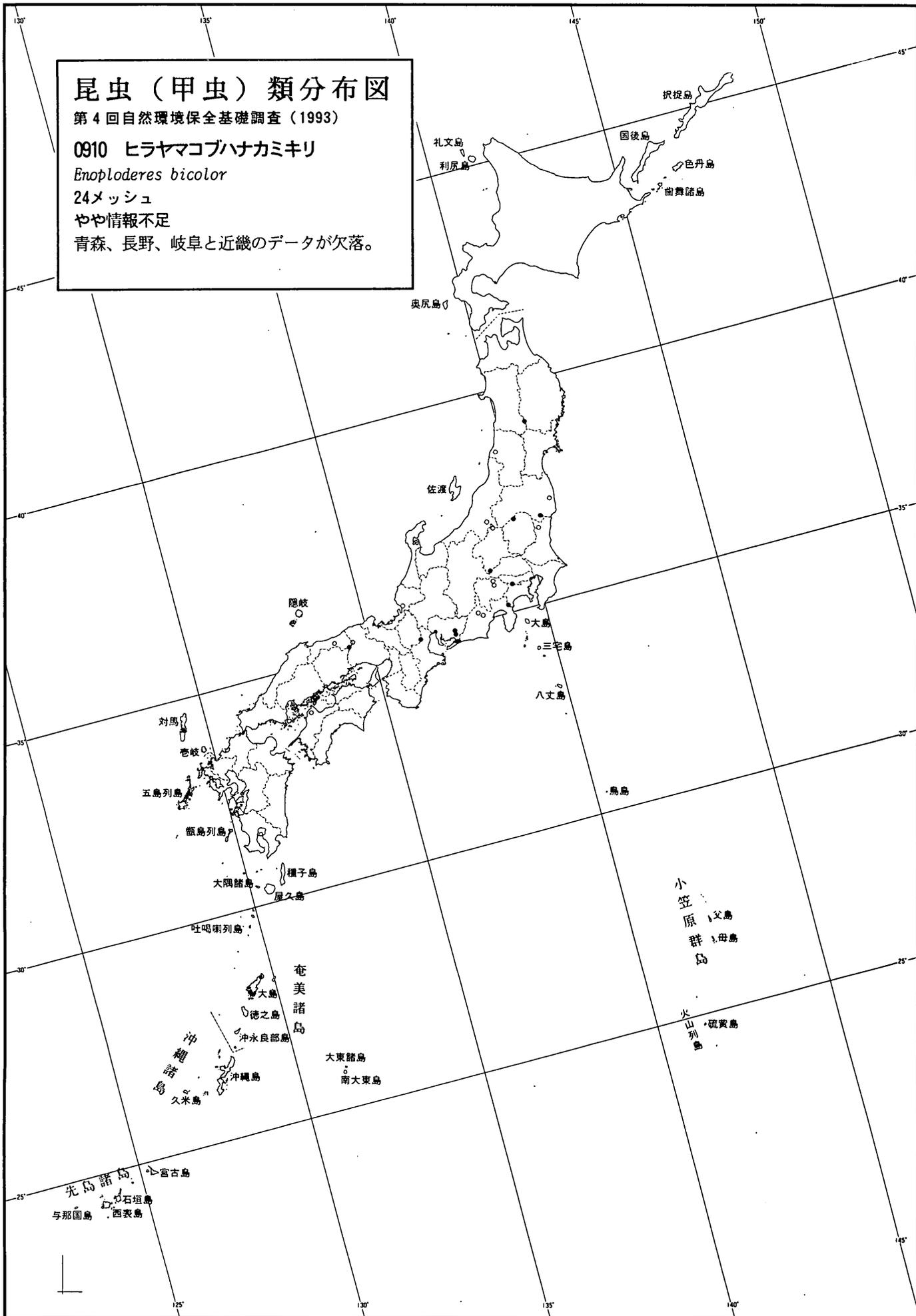
## 0910 ヒラヤマコブハナカミキリ

*Enoploderes bicolor*

24メッシュ

やや情報不足

青森、長野、岐阜と近畿のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

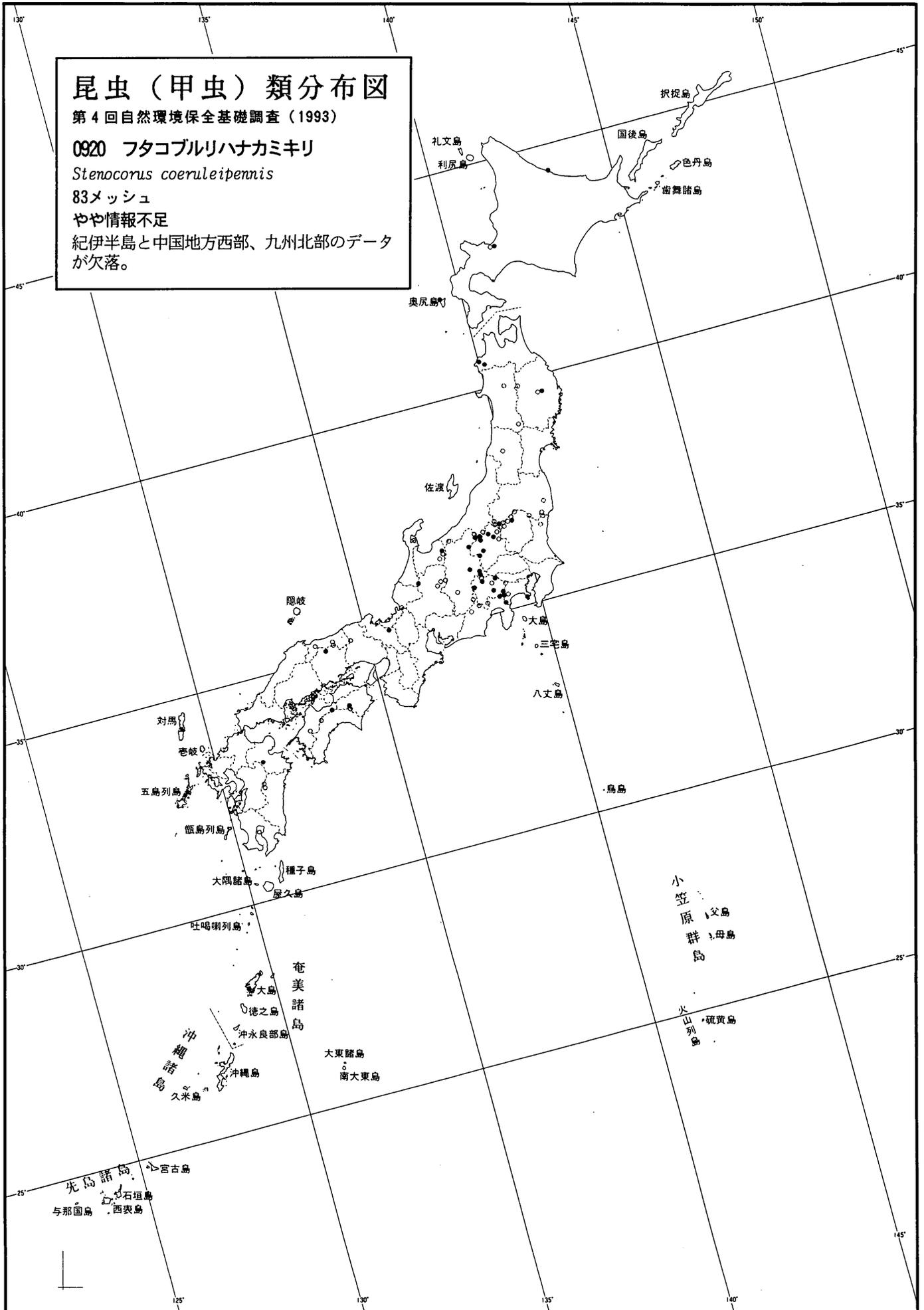
0920 フタコブルリハナカミキリ

*Stenocorus coeruleipennis*

83メッシュ

やや情報不足

紀伊半島と中国地方西部、九州北部のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

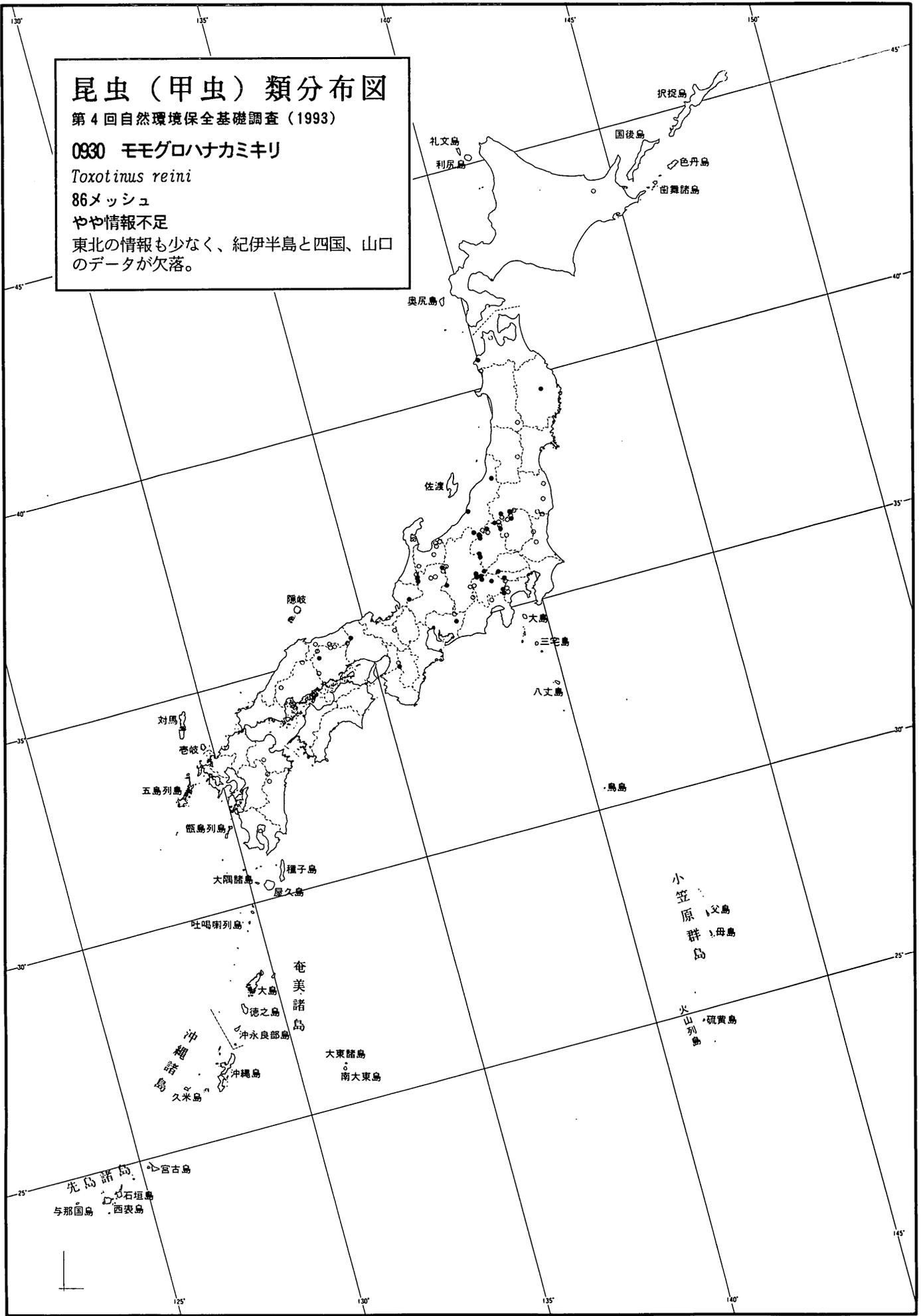
## 0930 モモグロハナカミキリ

*Toxotinus reini*

86メッシュ

やや情報不足

東北の情報も少なく、紀伊半島と四国、山口のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

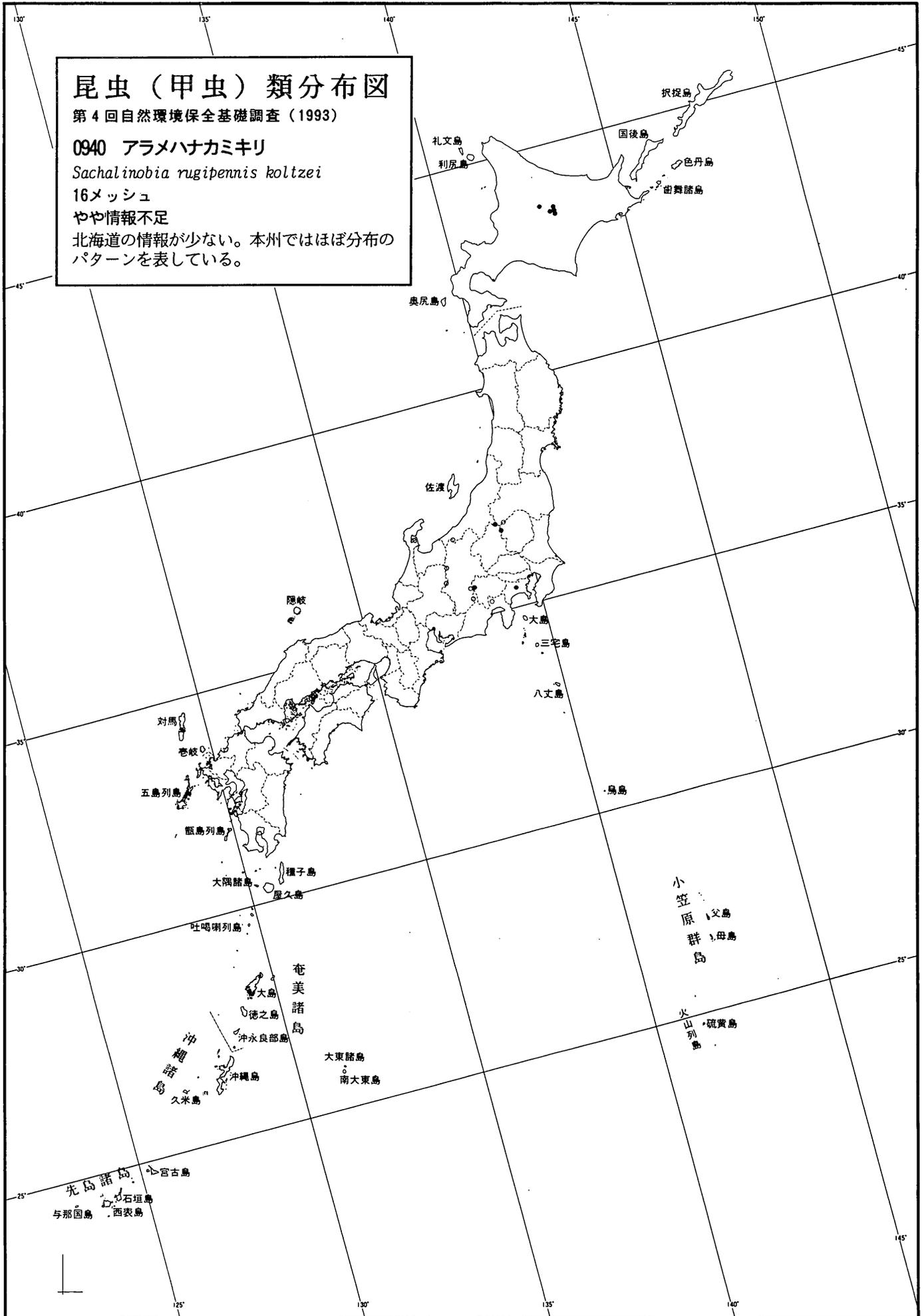
## 0940 アラメハナカミキリ

*Sachalinobia rugipennis koltzei*

16メッシュ

やや情報不足

北海道の情報が少ない。本州ではほぼ分布の  
パターンを表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

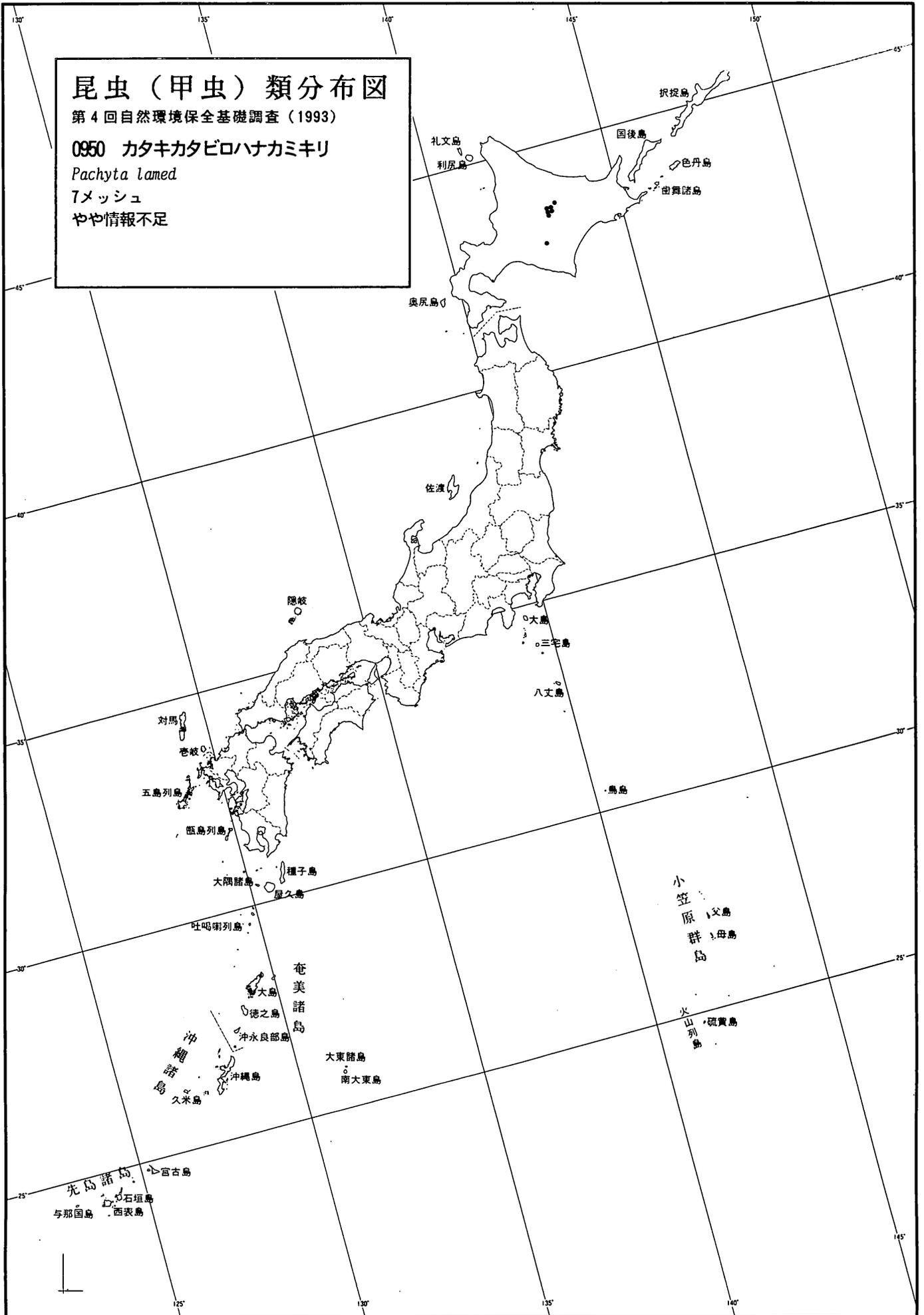
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0950 カタキカタビロハナカミキリ

*Pachyta lamed*

7メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

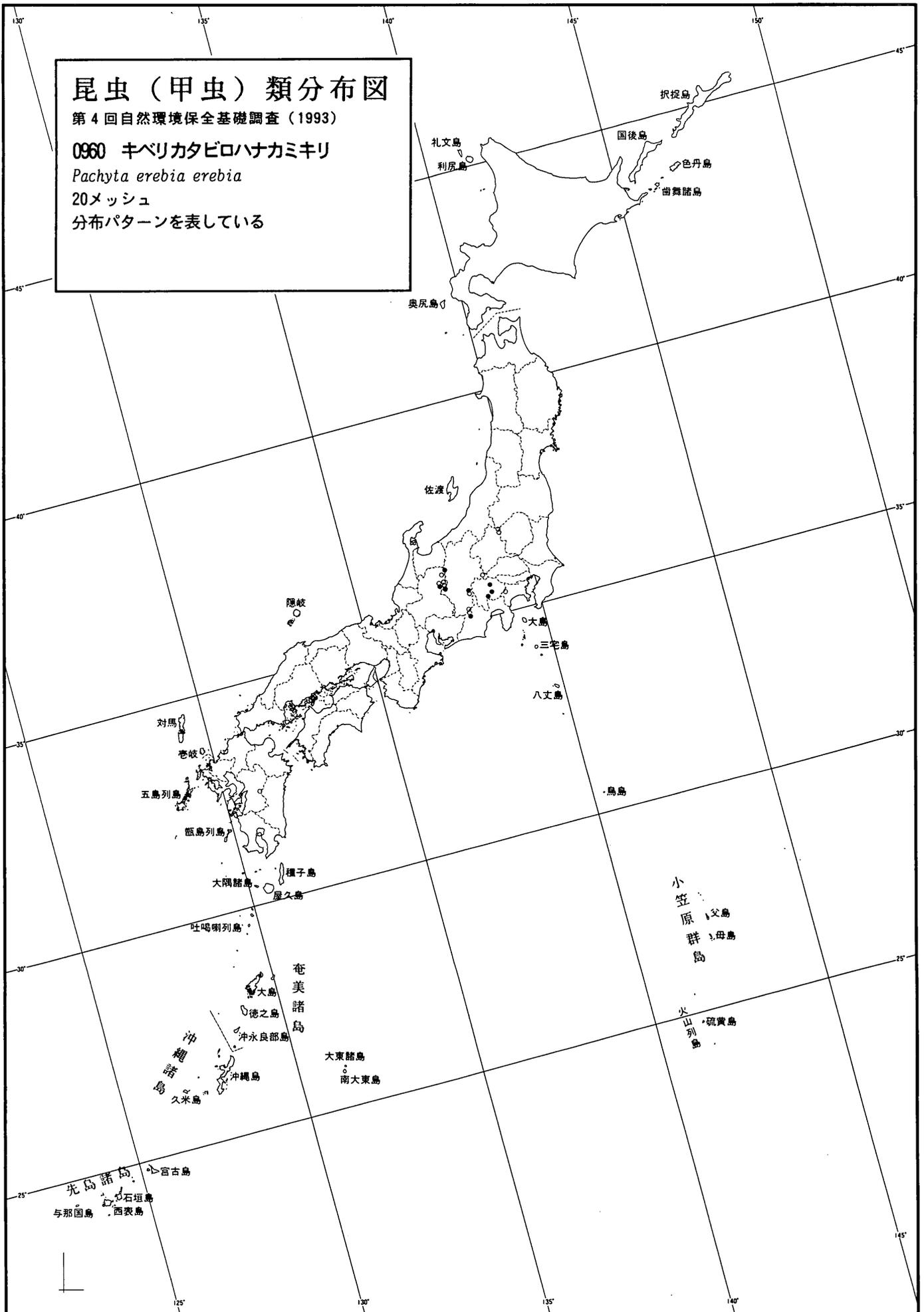
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0960 キベリカタビロハナカミキリ

*Pachyta erebia erebia*

20メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

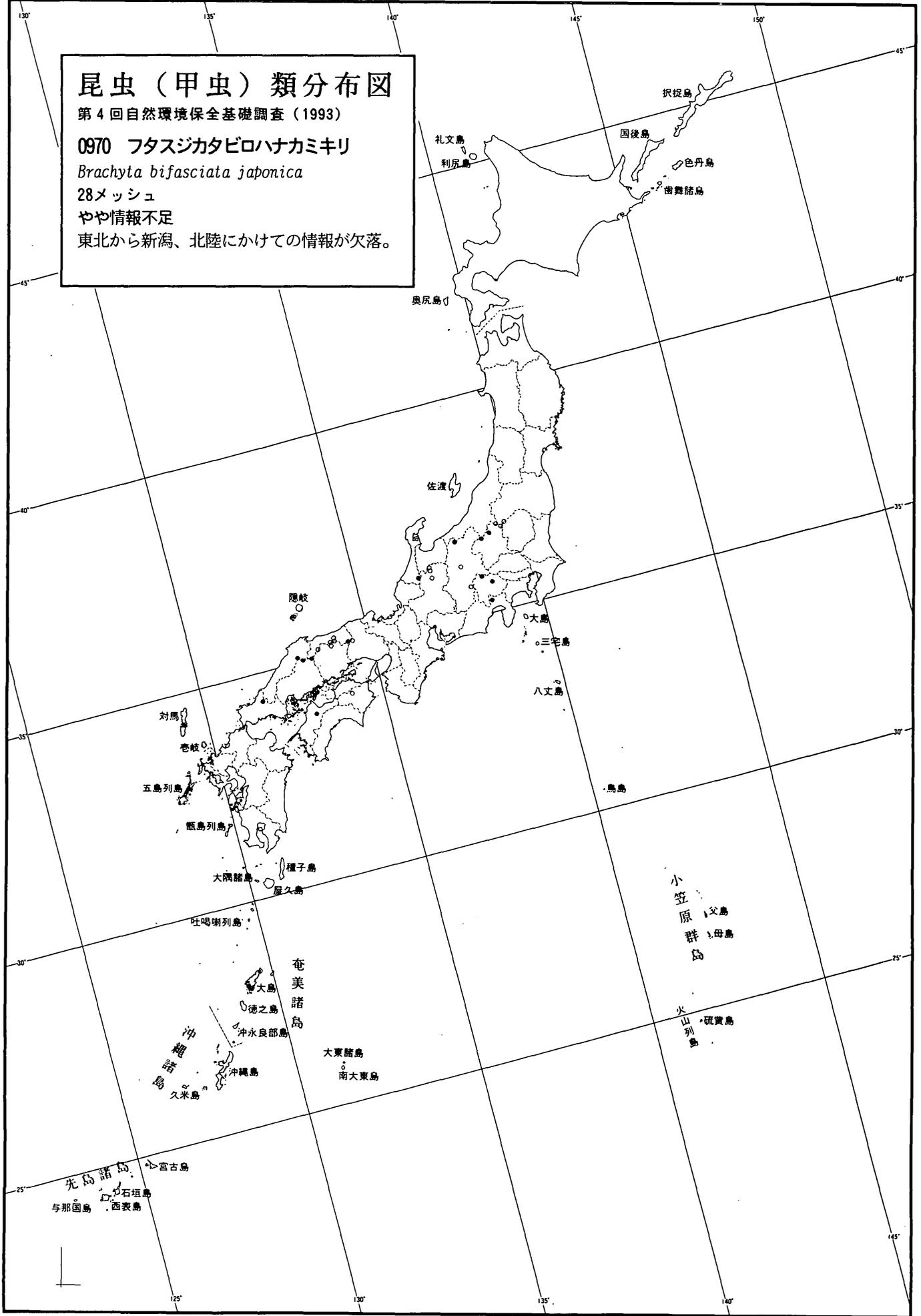
0970 フタスジカタビロハナカミキリ

*Brachyta bifasciata japonica*

28メッシュ

やや情報不足

東北から新潟、北陸にかけての情報が欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

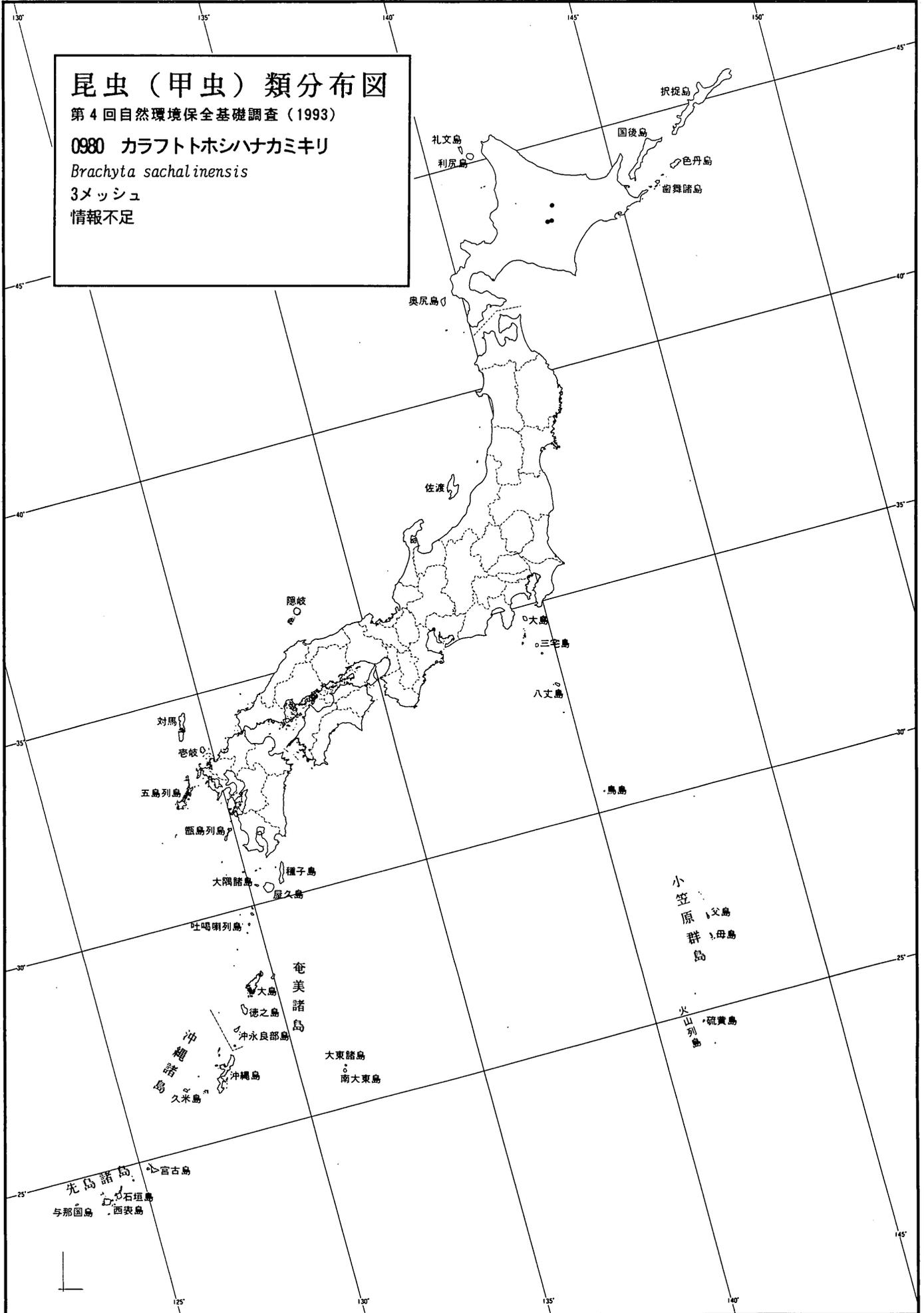
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

0980 カラフトトホシハナカミキリ

*Brachyta sachalinensis*

3メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

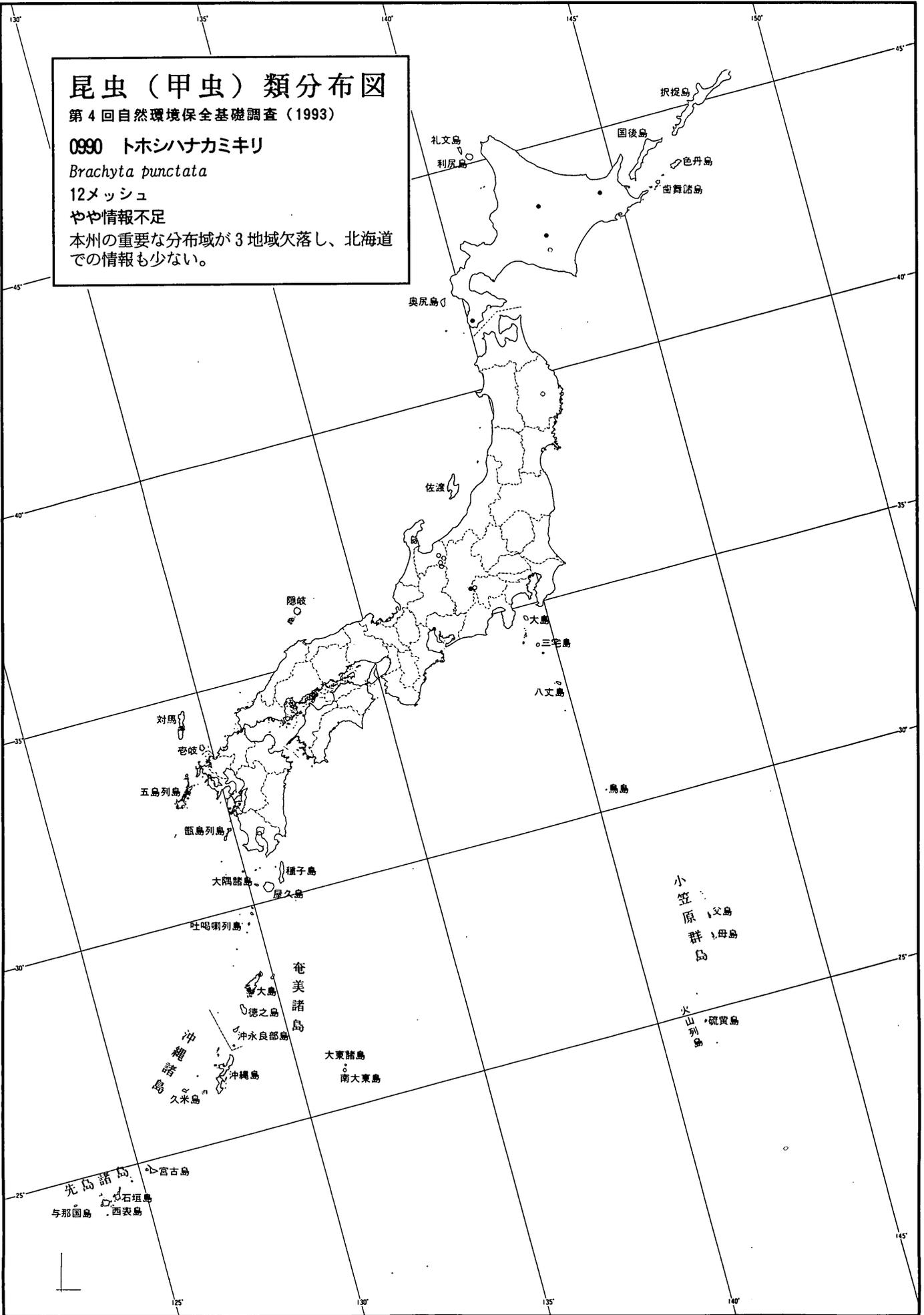
## 0990 トホシハナカミキリ

*Brachyta punctata*

12メッシュ

やや情報不足

本州の重要な分布域が3地域欠落し、北海道での情報も少ない。



# 昆虫（甲虫）類分布図

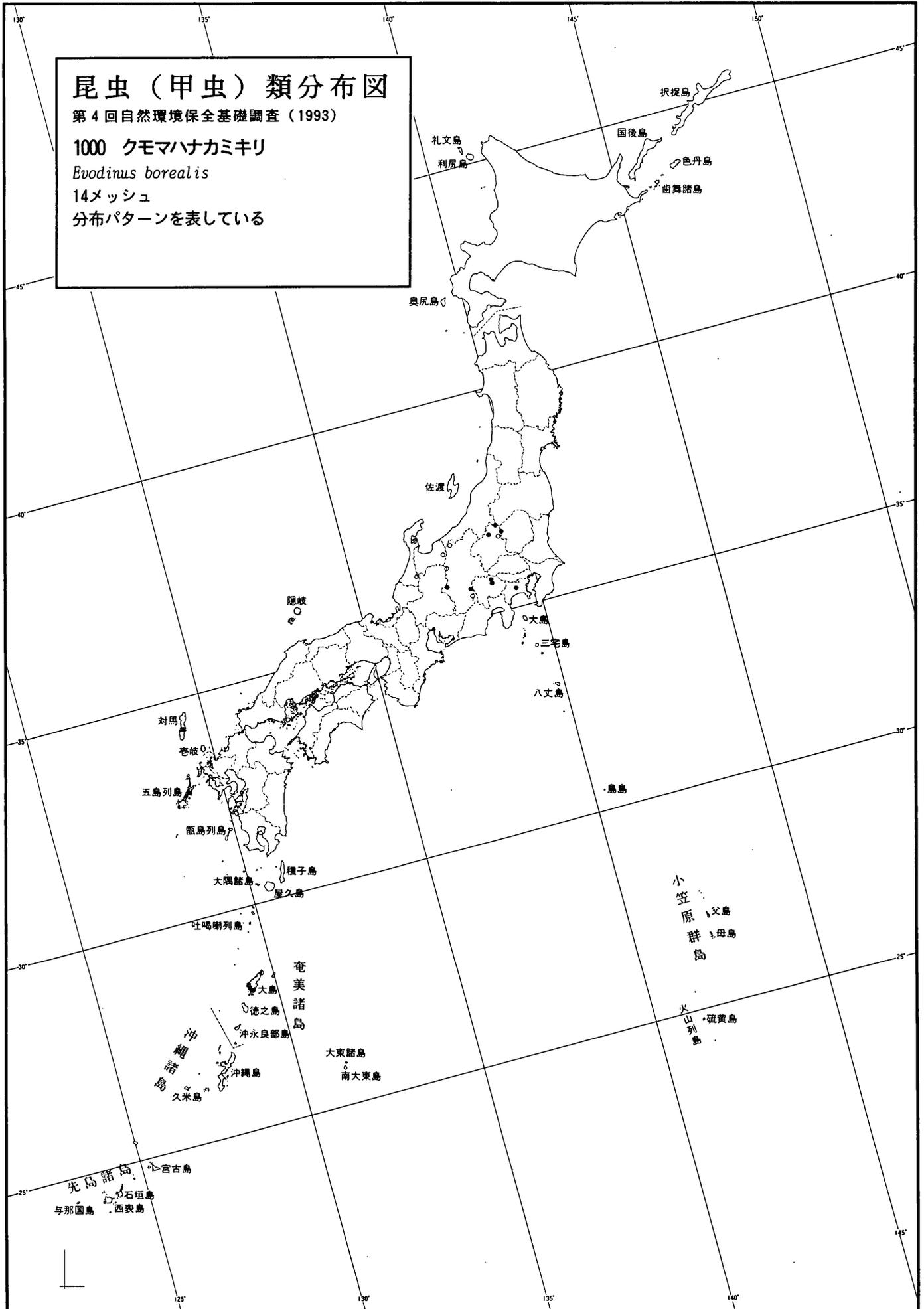
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1000 クモマハナカミキリ

*Evodinus borealis*

14メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

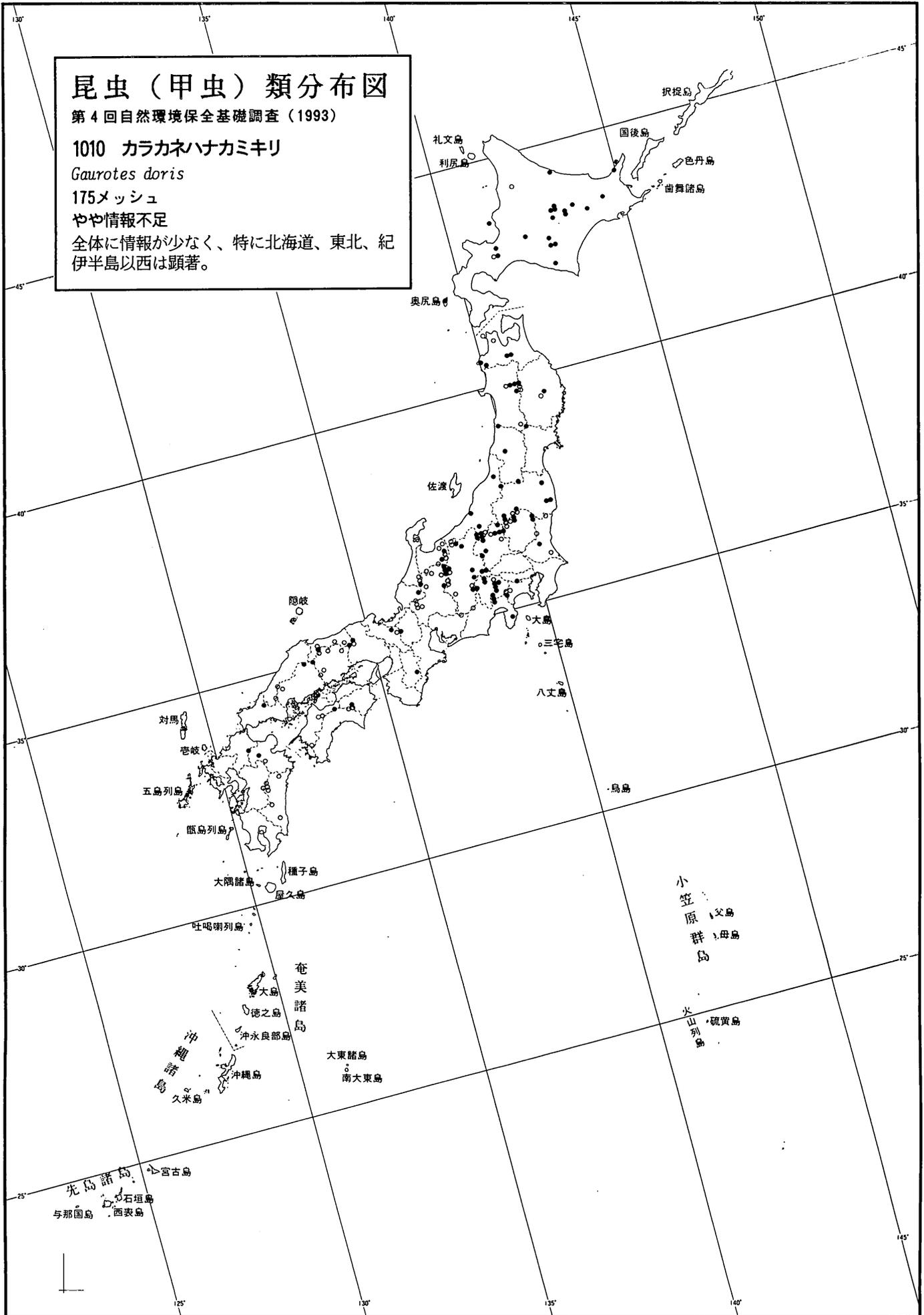
## 1010 カラカネハナカミキリ

*Gaurotes doris*

175メッシュ

やや情報不足

全体に情報が少なく、特に北海道、東北、紀伊半島以西は顕著。



# 昆虫（甲虫）類分布図

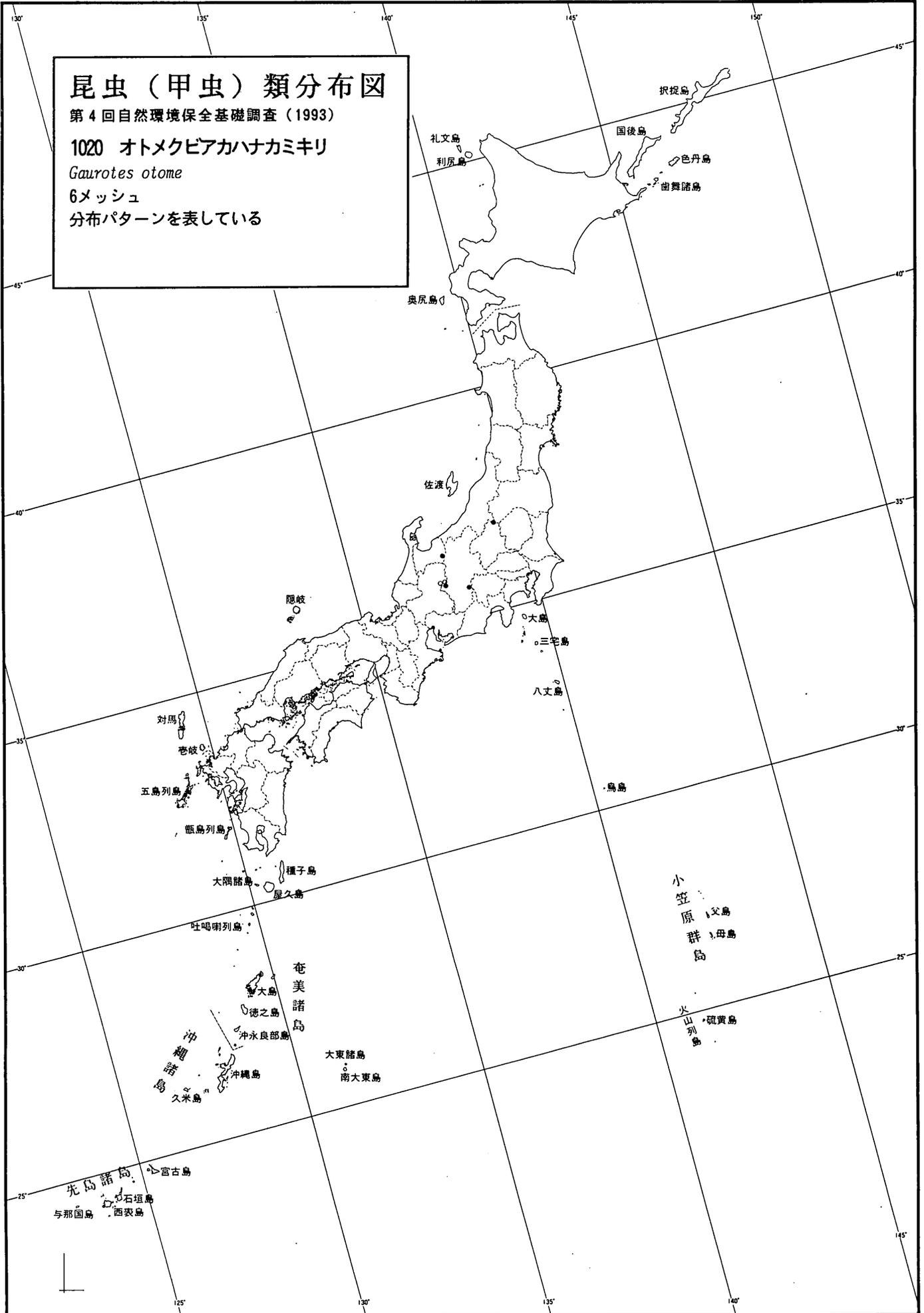
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1020 オトメクビアカナカミキリ

*Gaurotes otome*

6メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

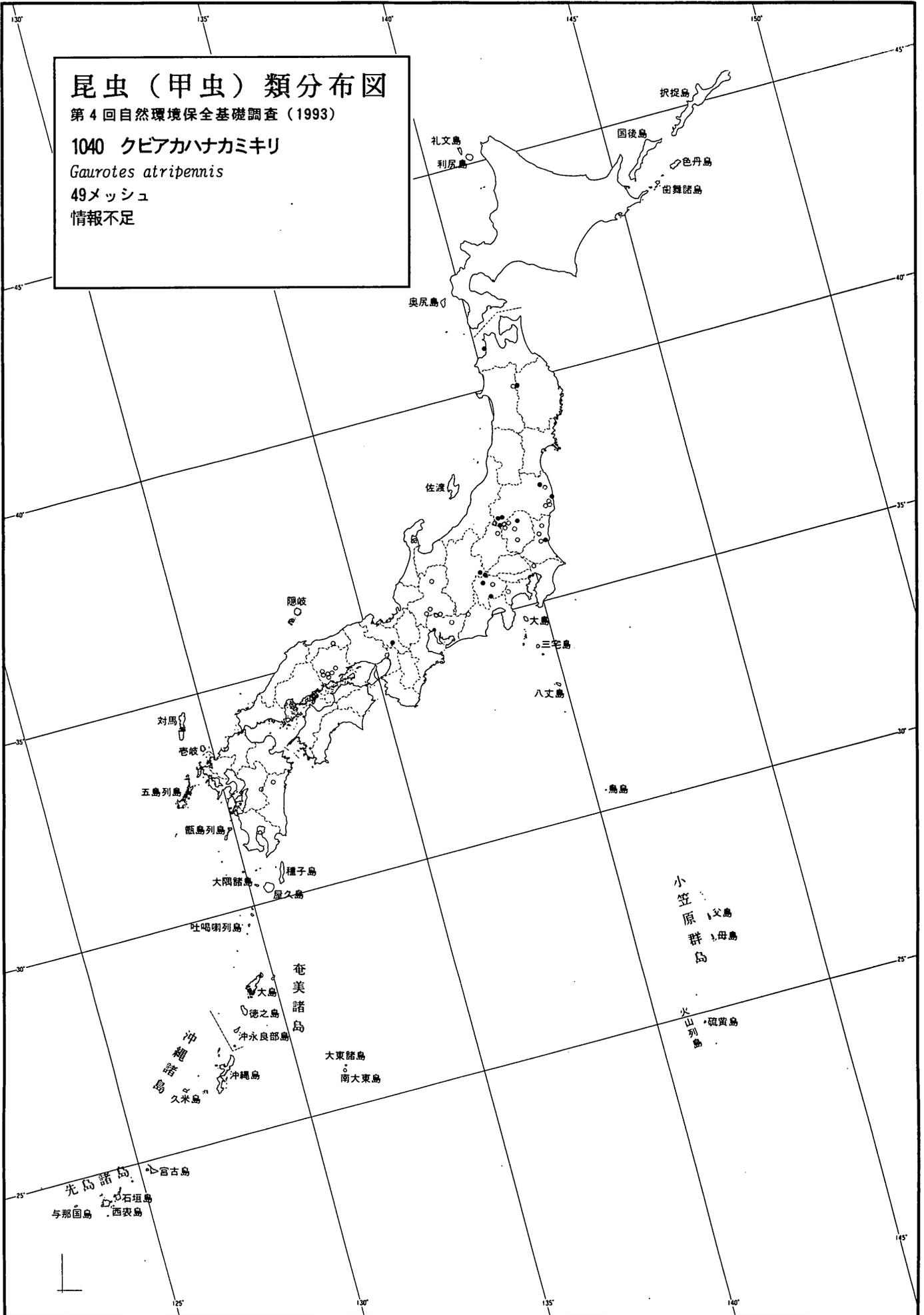
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1040 クビアカハナカミキリ

*Gaurotes atripennis*

49メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

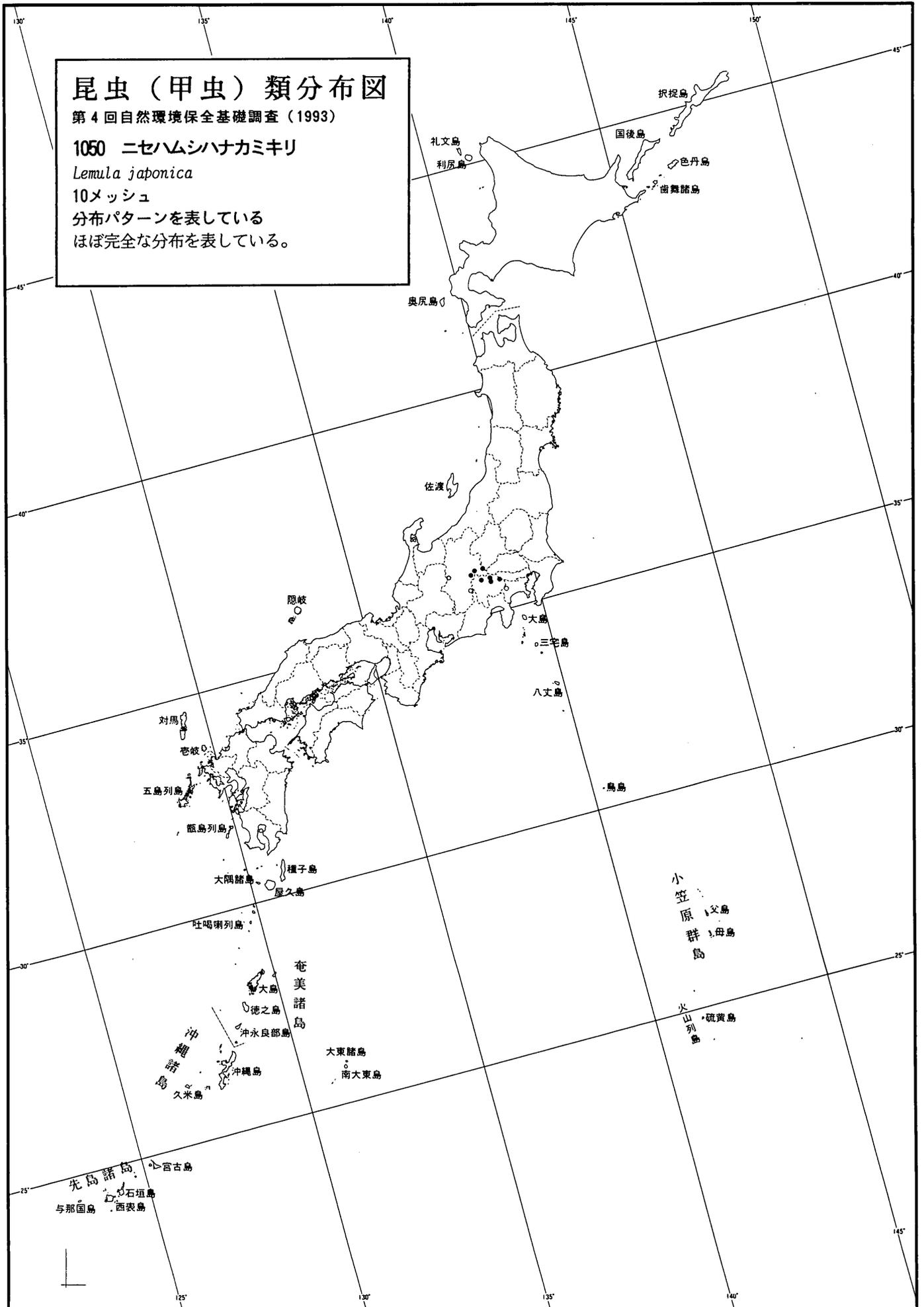
1050 ニセハムシハナカミキリ

*Lemula japonica*

10メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

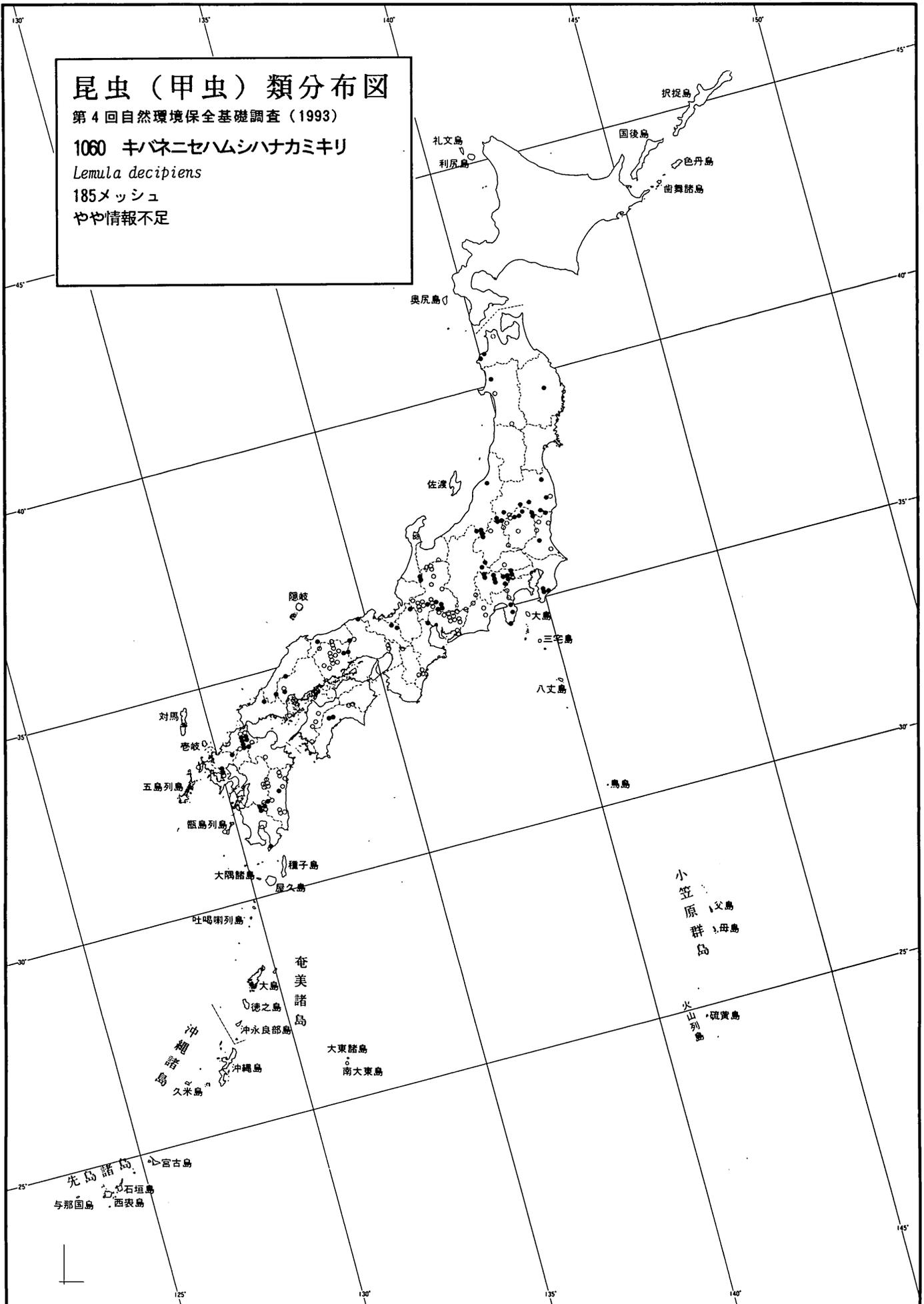
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1060 キバネニセハムシハナカミキリ

*Lemula decipiens*

185メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

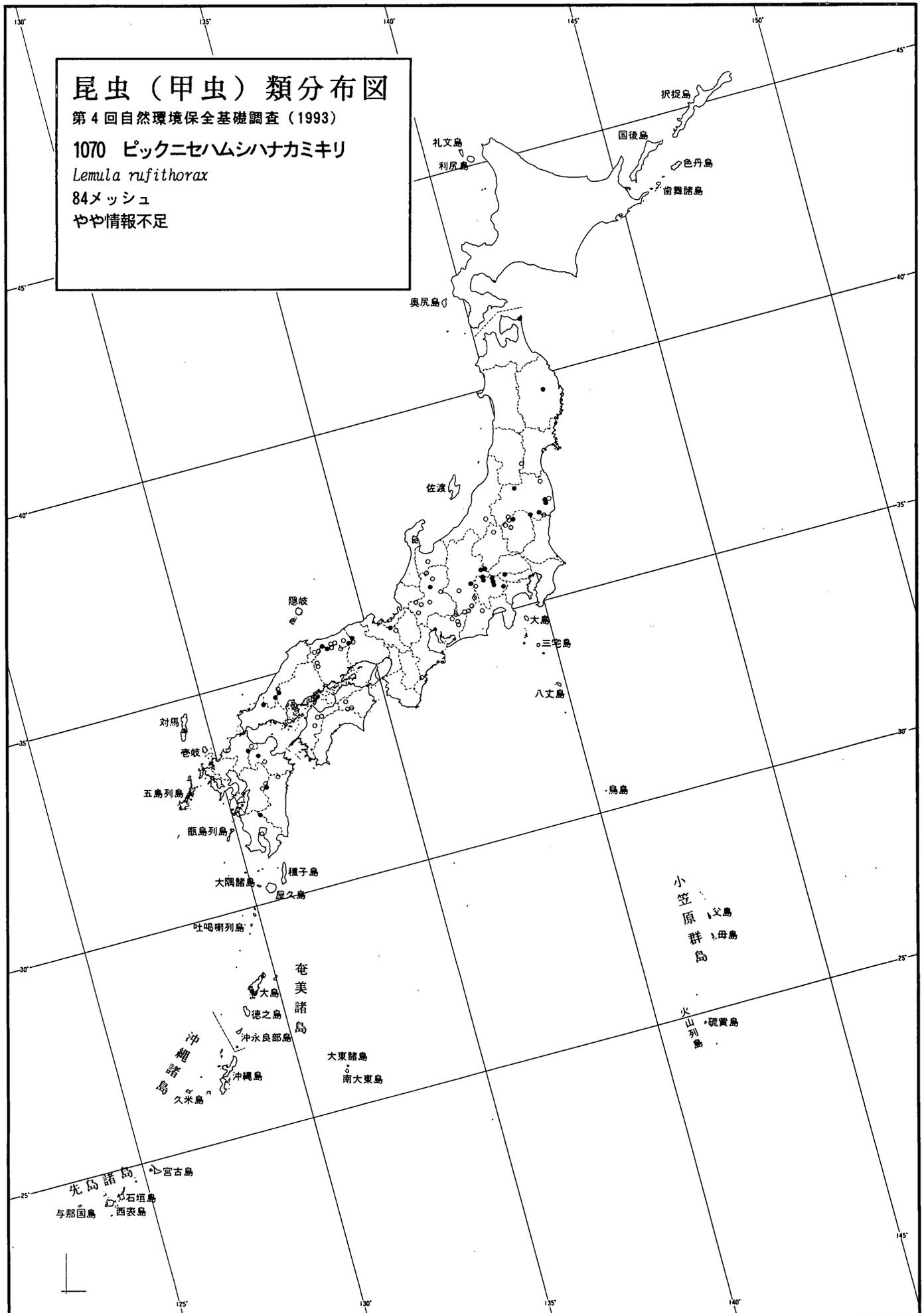
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1070 ピックニセムシハナカミキリ

*Lemula rufithorax*

84メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

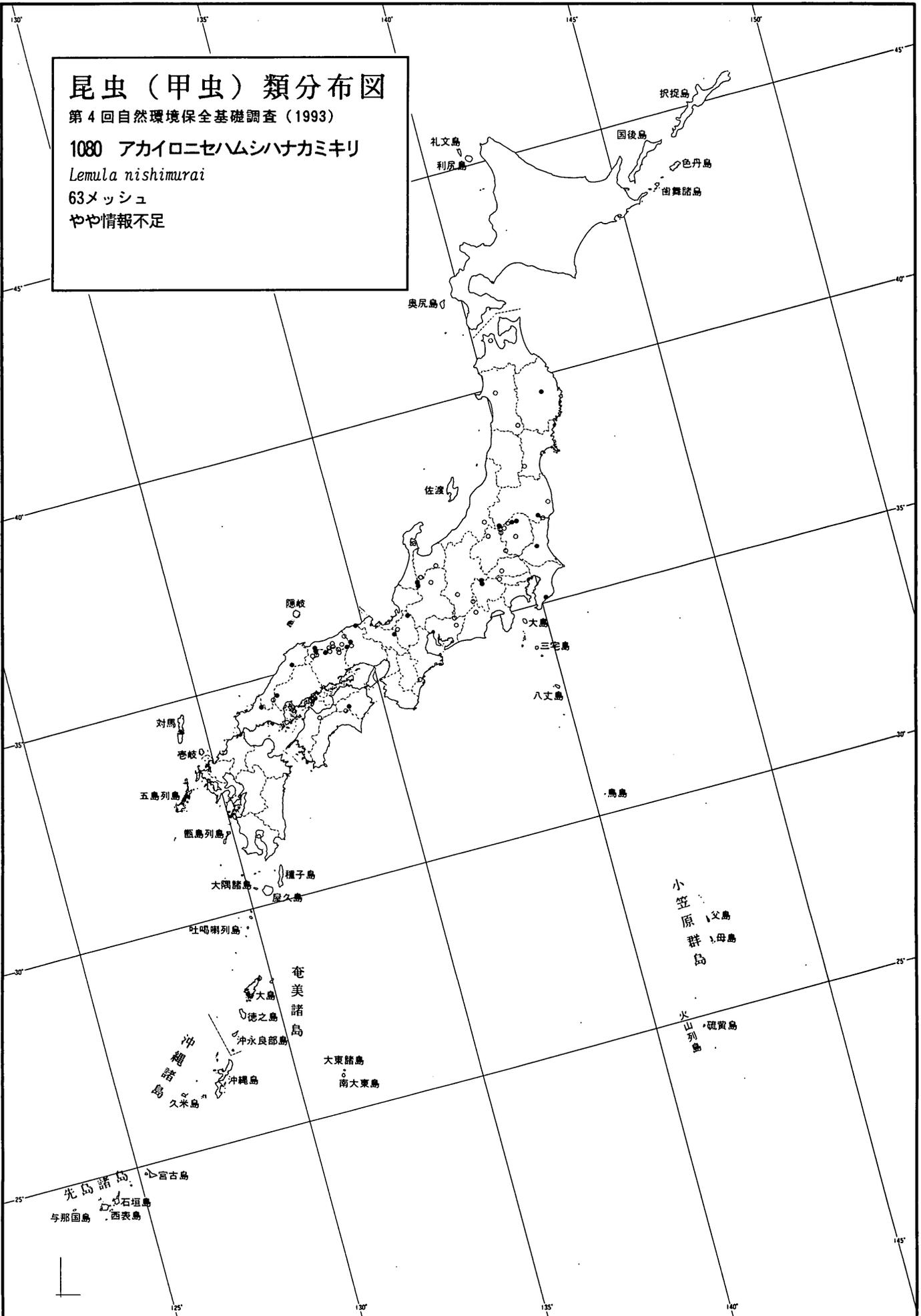
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1080 アカイロニセハムシハナカミキリ

*Lemula nishimurai*

63メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

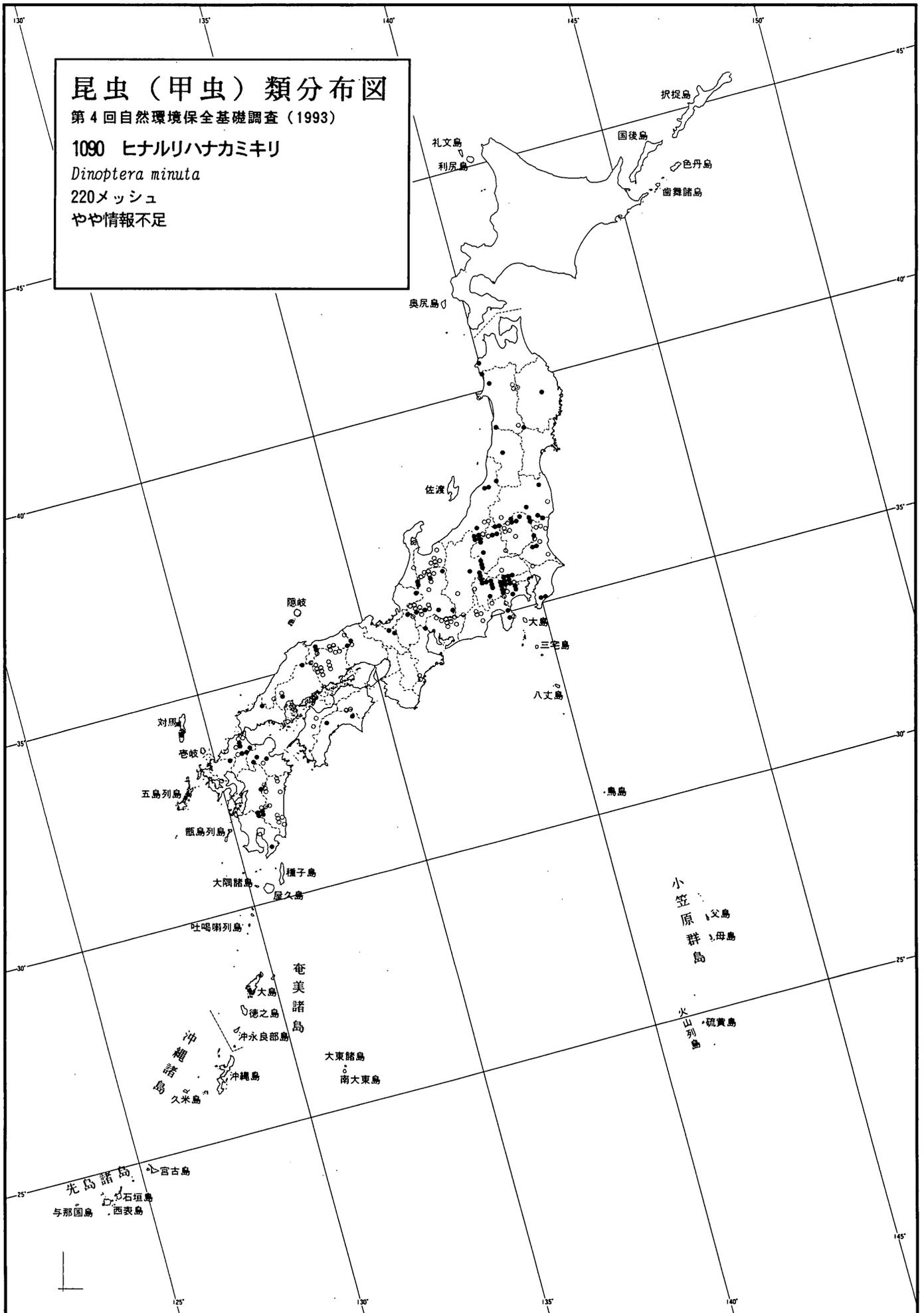
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1090 ヒナルリハナカミキリ

*Dinoptera minuta*

220メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

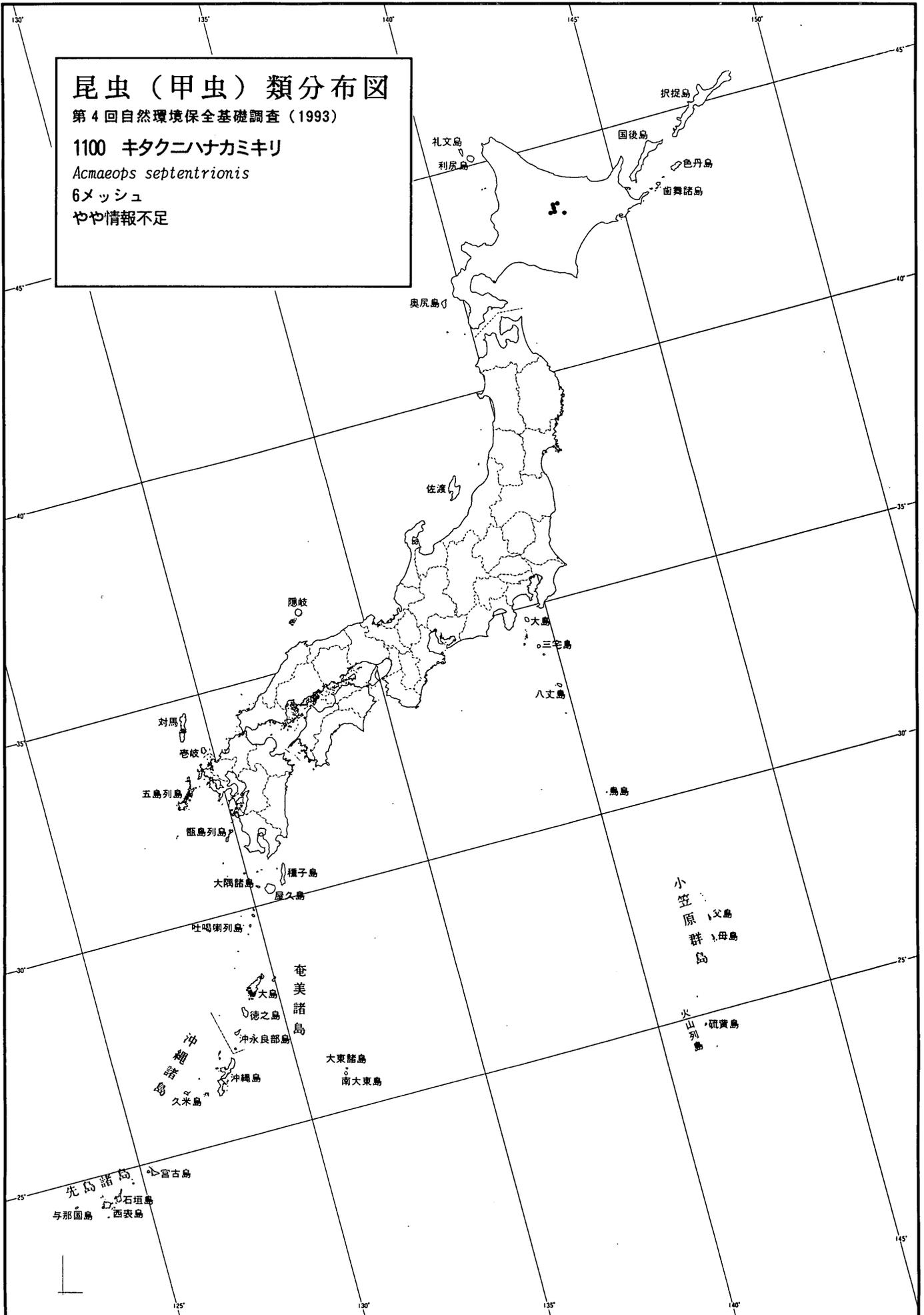
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1100 キタクニハナカミキリ

*Acmaeops septentrionis*

6メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

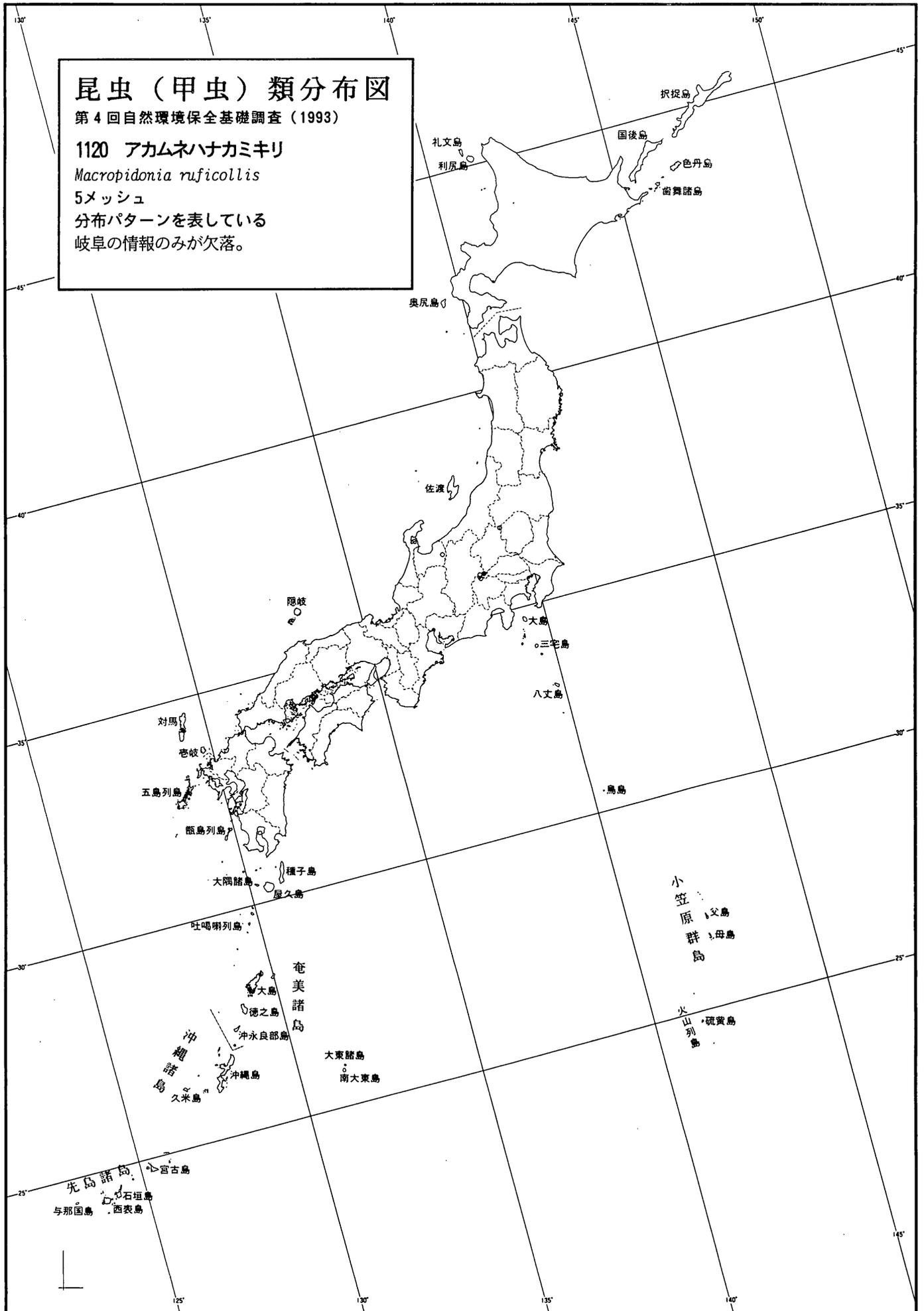
1120 アカムネハナカミキリ

*Macropidonia ruficollis*

5メッシュ

分布パターンを表している

岐阜の情報が欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

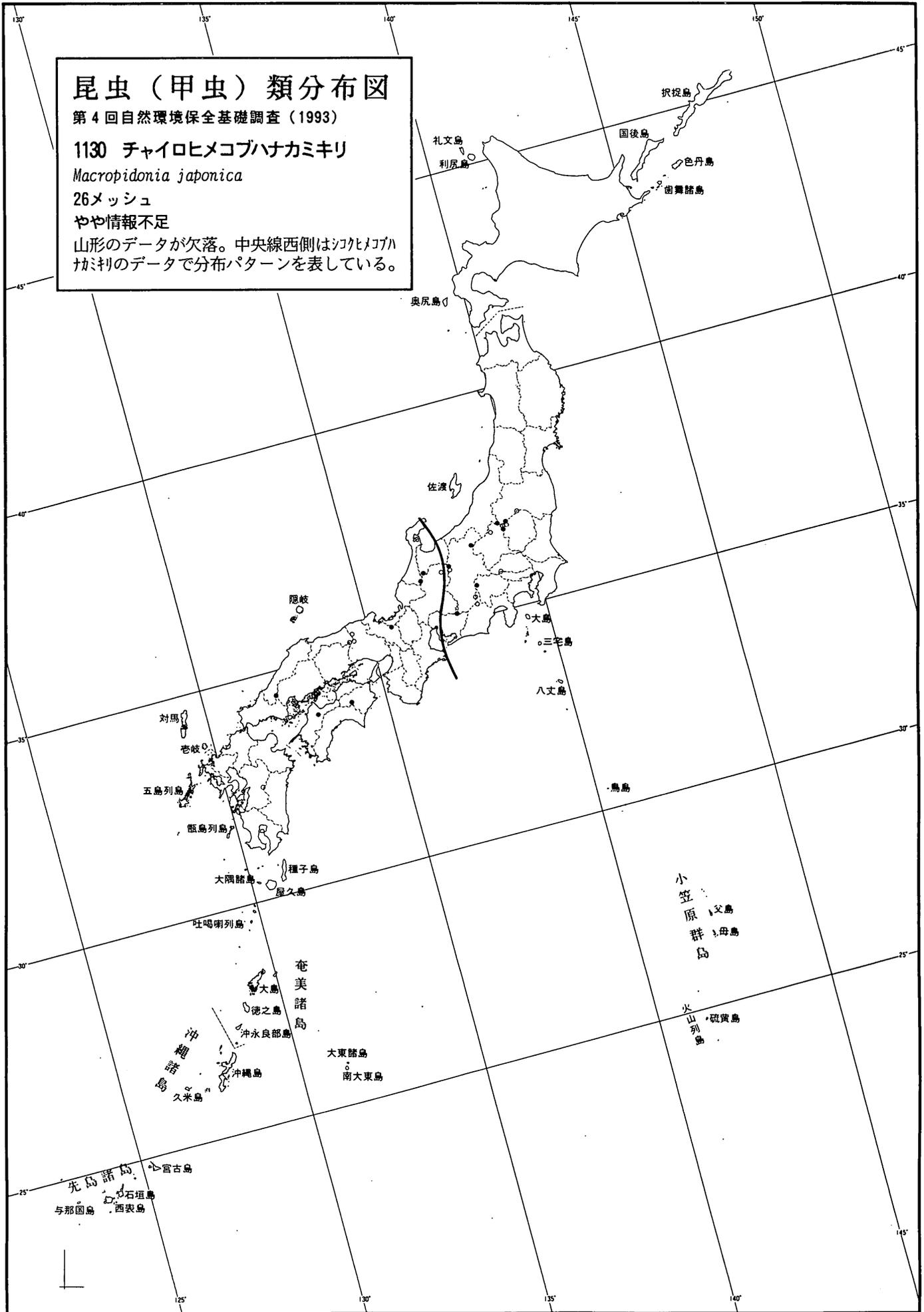
## 1130 チャイロヒメコブハナカミキリ

*Macropidonia japonica*

26メッシュ

やや情報不足

山形のデータが欠落。中央線西側はシロヒメコブハナカミキリのデータで分布パターンを表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

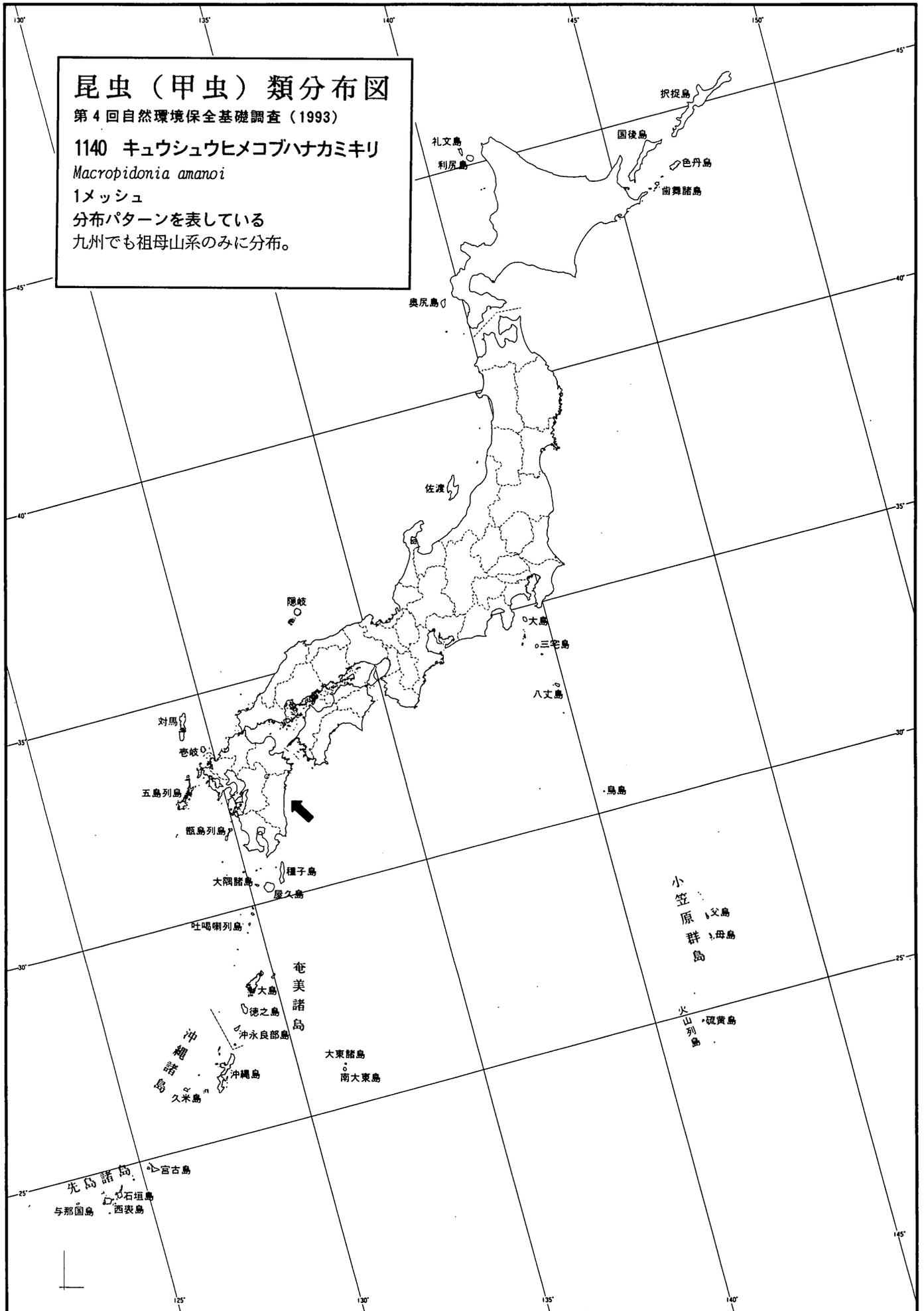
## 1140 キュウシュウヒメコブハナカミキリ

*Macropidonia amanoi*

1メッシュ

分布パターンを表している

九州でも祖母山系のみ分布。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

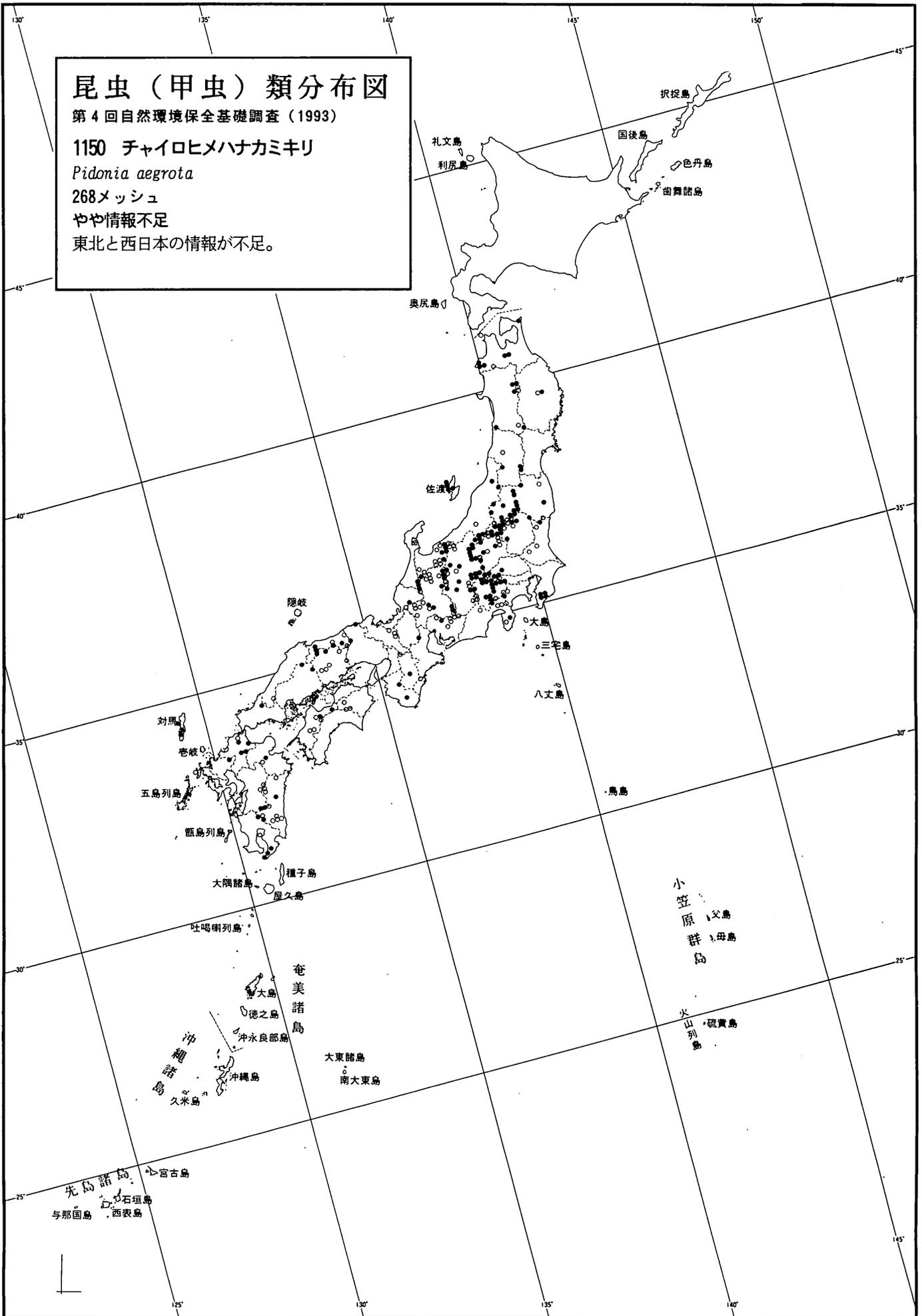
1150 チャイロヒメハナカミキリ

*Pidonia aegrota*

268メッシュ

やや情報不足

東北と西日本の情報が不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

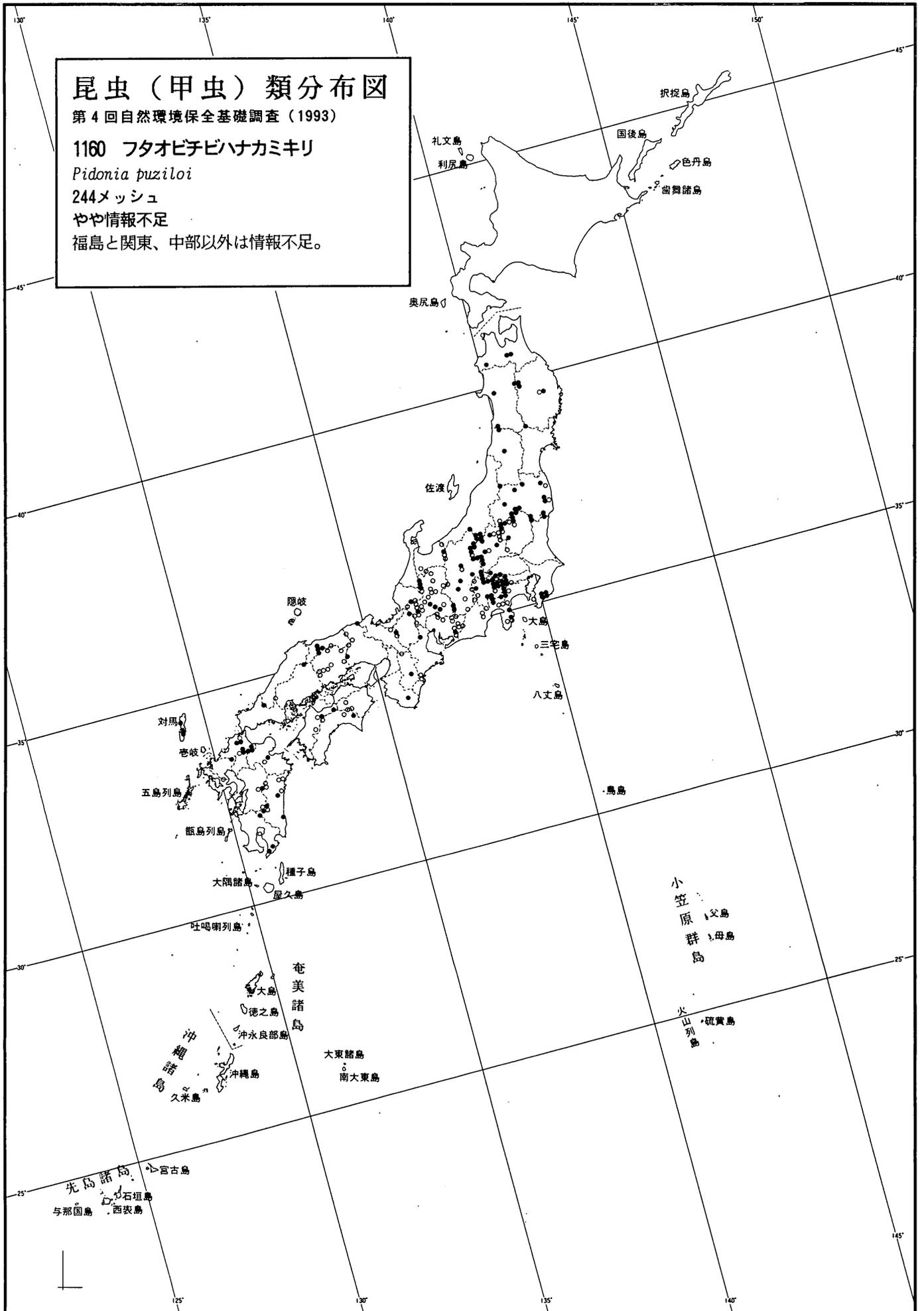
1160 フタオビチビハナカミキリ

*Pidonia puziloi*

244メッシュ

やや情報不足

福島と関東、中部以外は情報不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

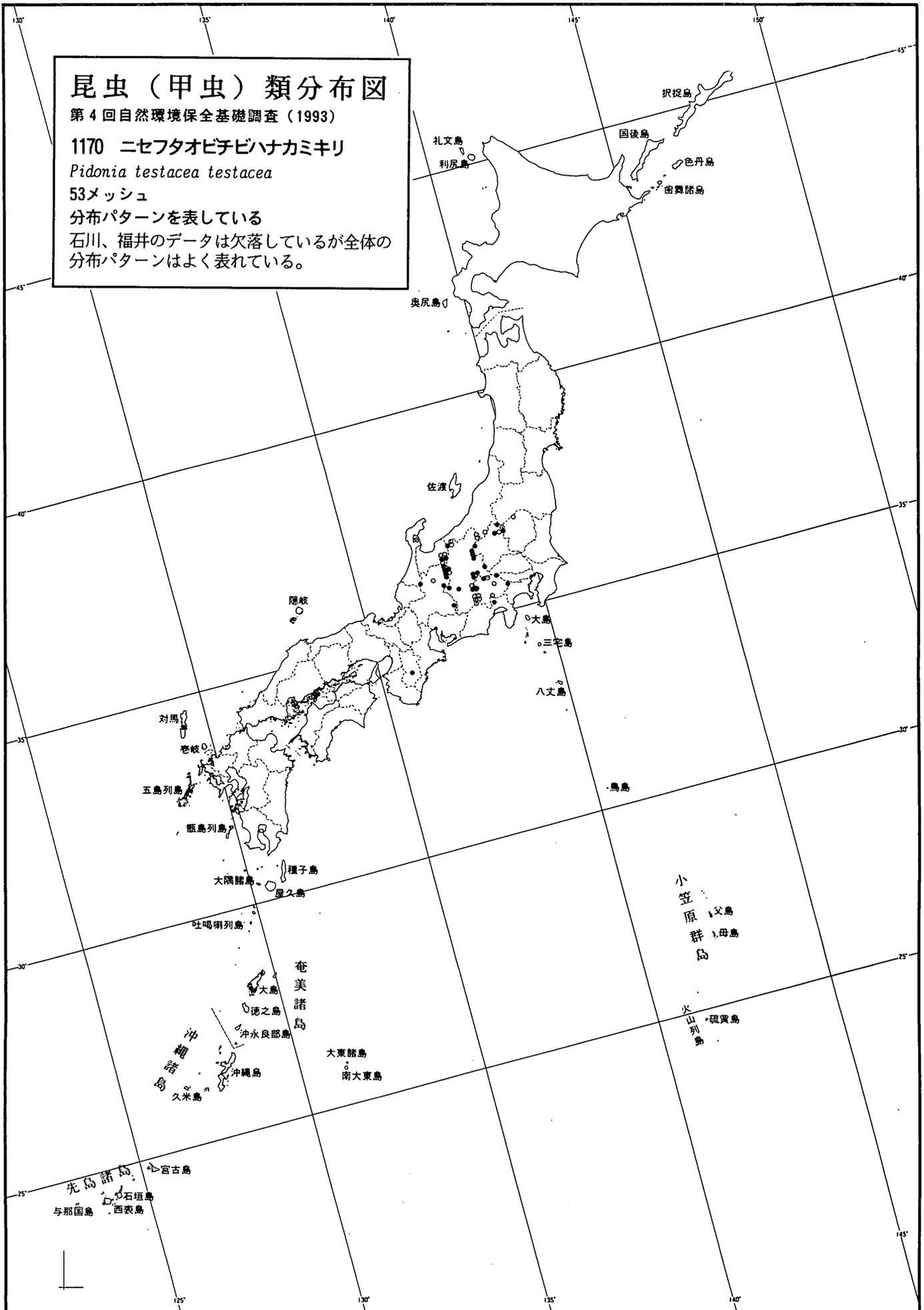
1170 ニセフタオビチビハナカミキリ

*Pidonia testacea testacea*

53メッシュ

分布パターンを表している

石川、福井のデータは欠落しているが全体の分布パターンはよく表れている。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

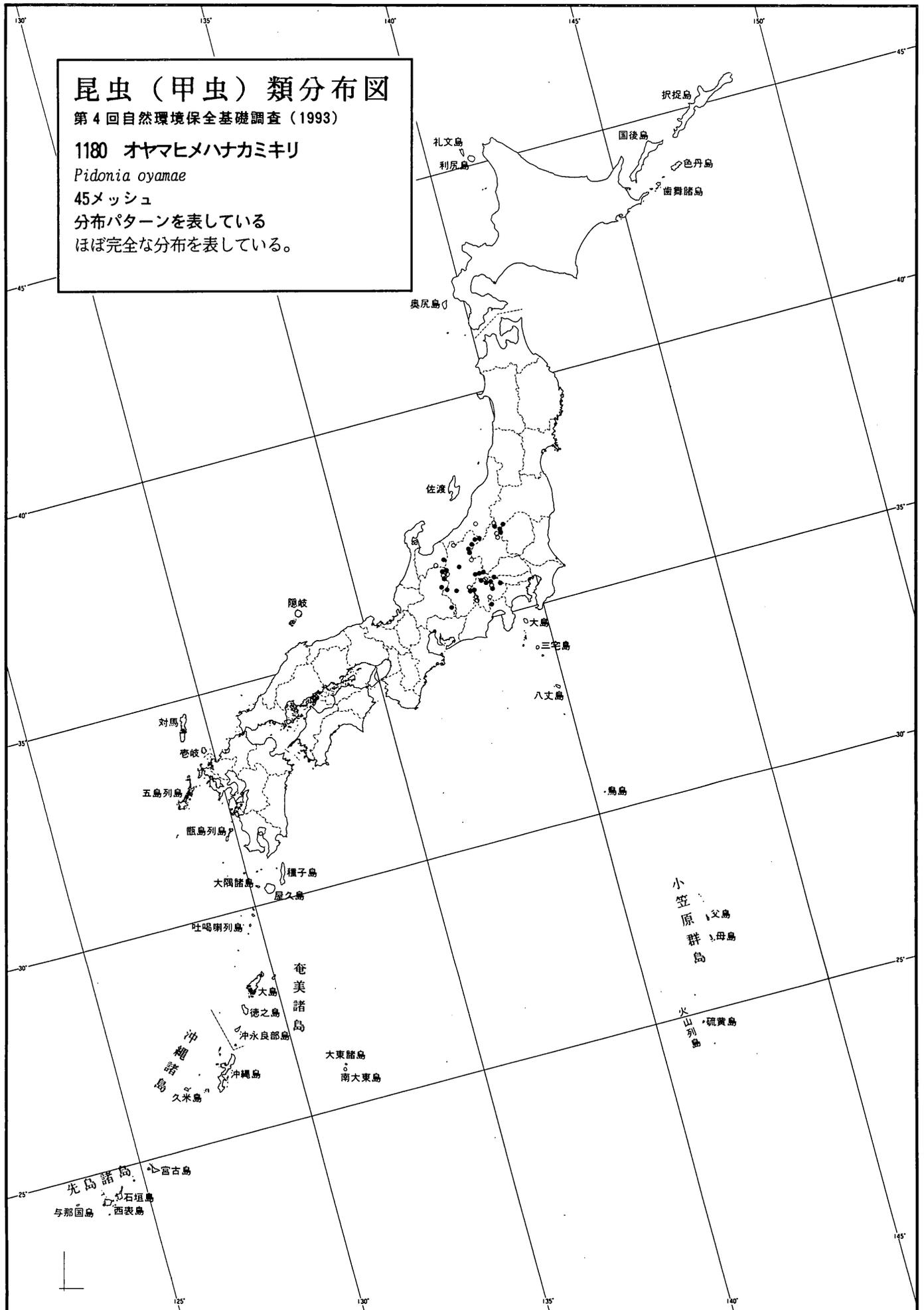
## 1180 オヤマヒメハナカミキリ

*Pidonia oyamae*

45メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

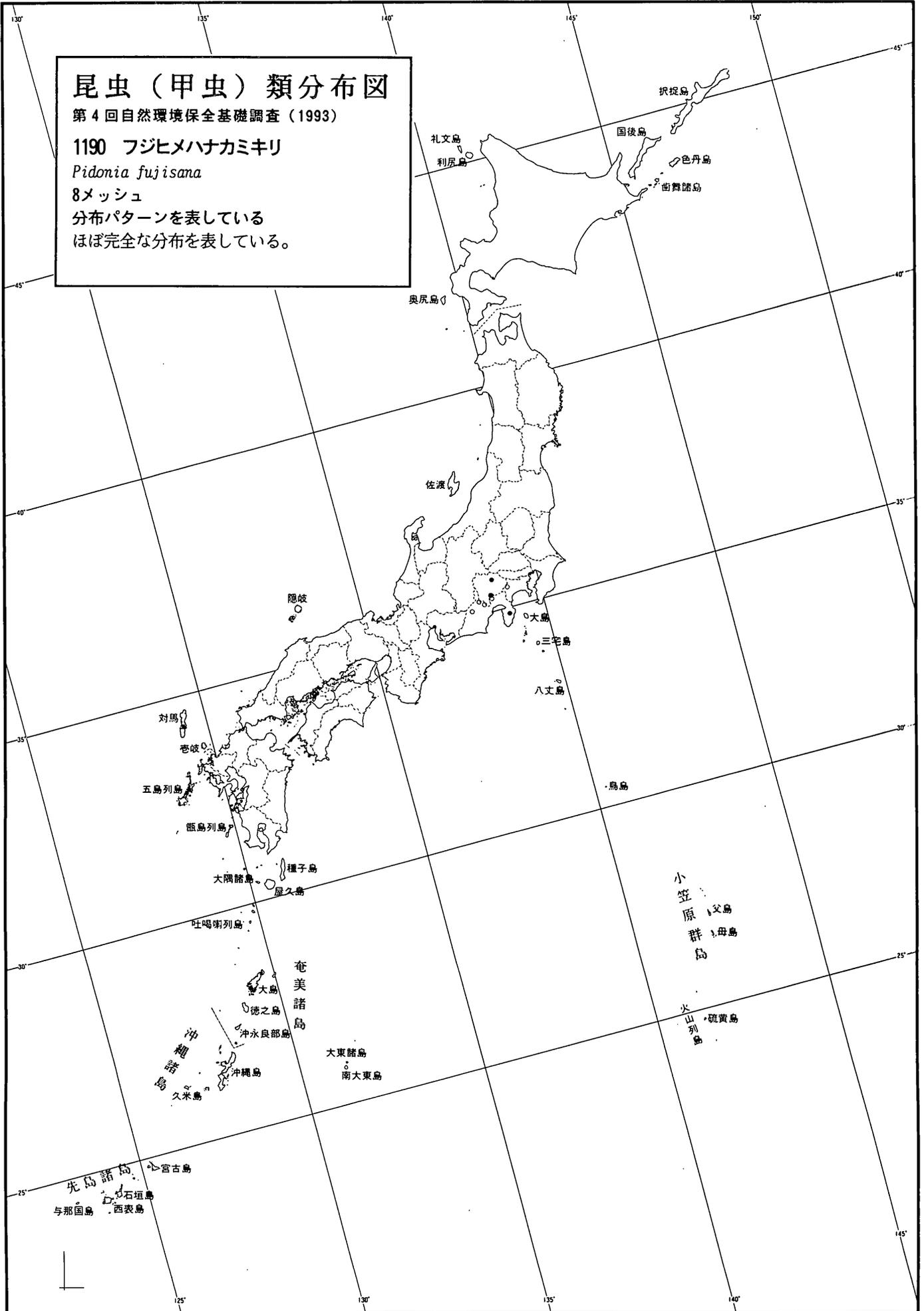
1190 フジヒメハナカミキリ

*Pidonia fujisana*

8メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

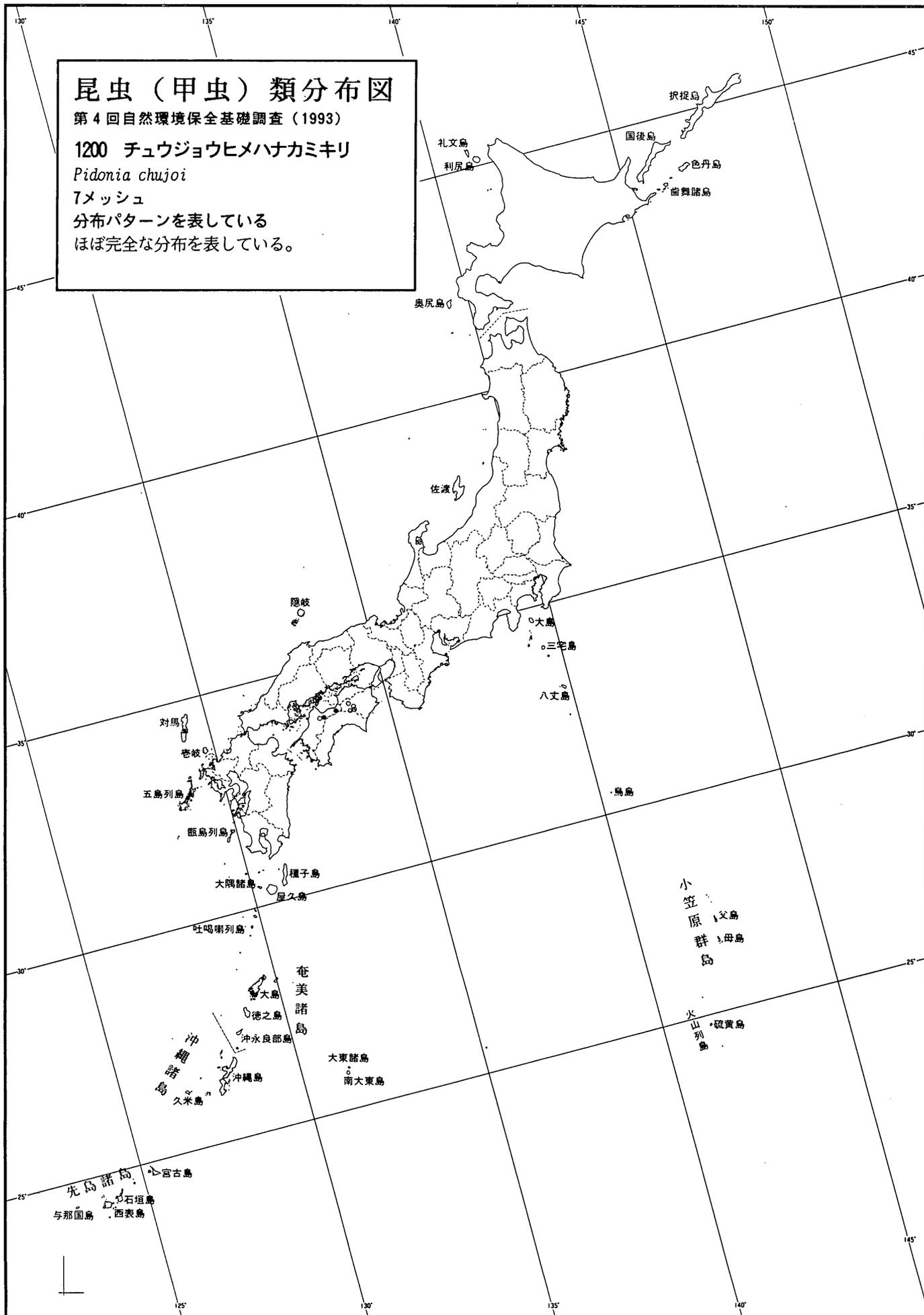
1200 チュウジョウヒメハナカミキリ

*Pidonia chujoi*

7メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

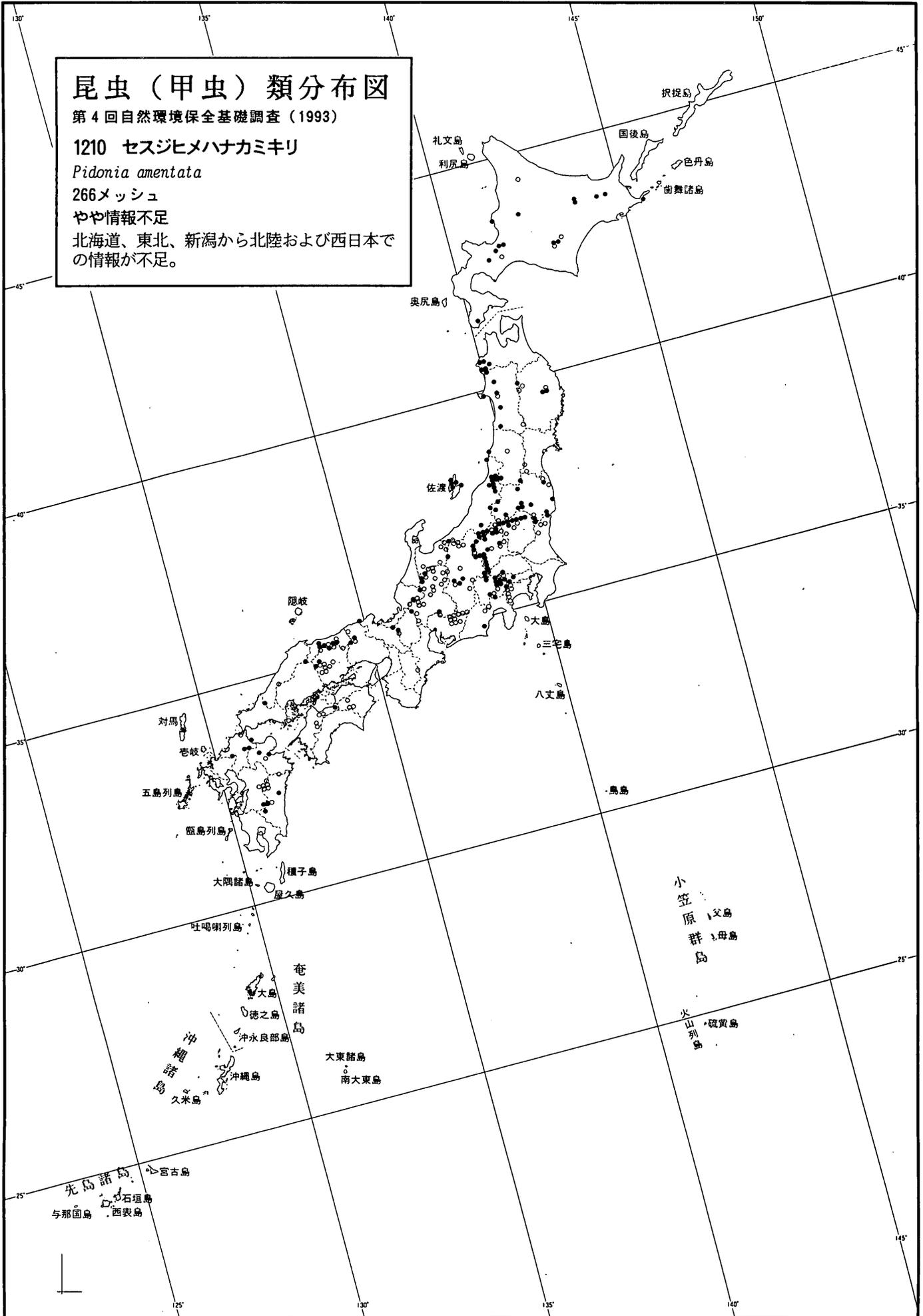
1210 セスジヒメハナカミキリ

*Pidonia amentata*

266メッシュ

やや情報不足

北海道、東北、新潟から北陸および西日本で  
の情報が不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

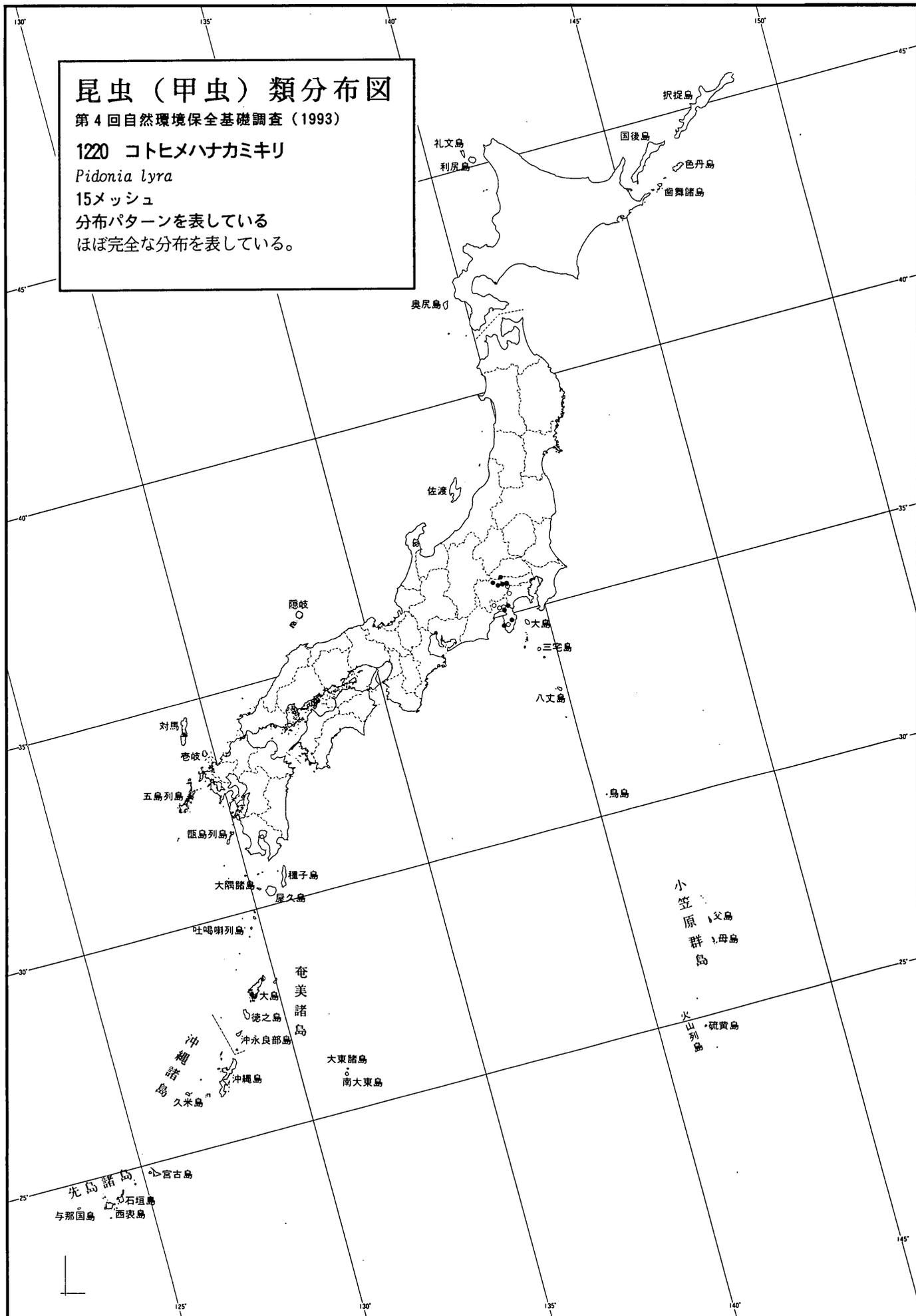
1220 コトヒメハナカミキリ

*Pidonia lyra*

15メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

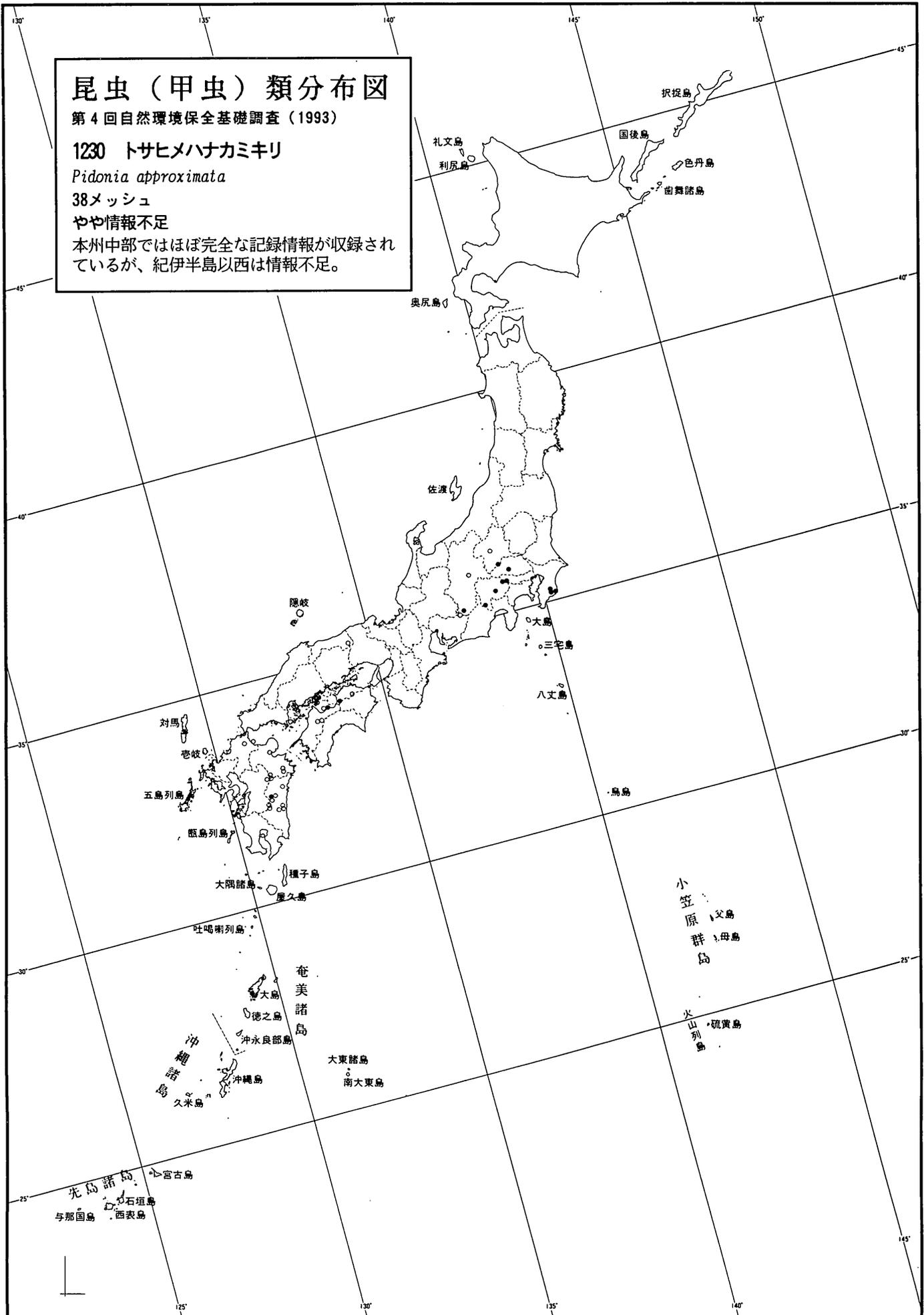
1230 トサヒメハナカミキリ

*Pidonia approximata*

38メッシュ

やや情報不足

本州中部ではほぼ完全な記録情報が収録されているが、紀伊半島以西は情報不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

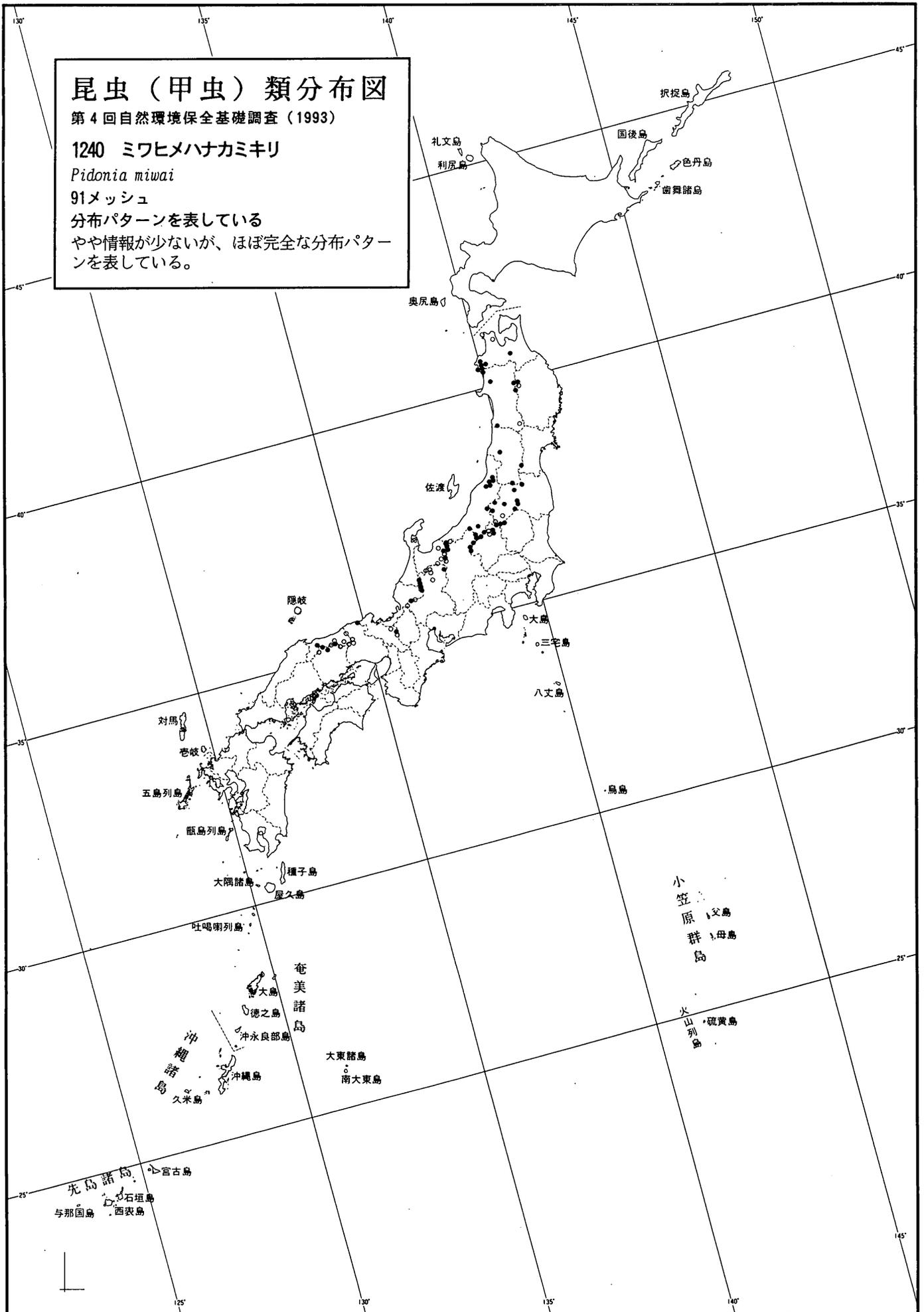
1240 ミワヒメハナカミキリ

*Pidonia miwai*

91メッシュ

分布パターンを表している

やや情報が少ないが、ほぼ完全な分布パターンを表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

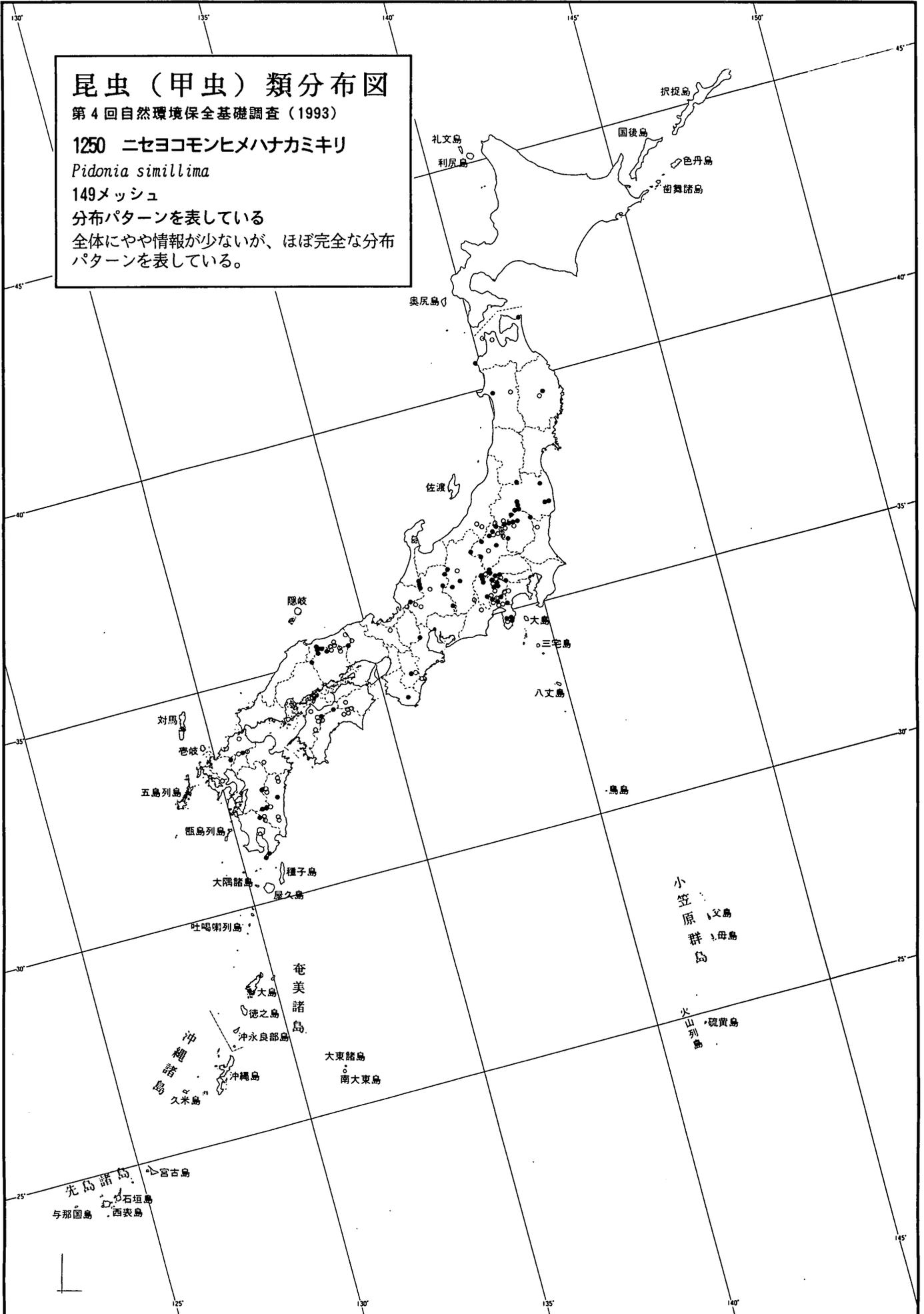
1250 ニセヨコモンヒメハナカミキリ

*Pidonia simillima*

149メッシュ

分布パターンを表している

全体にやや情報が少ないが、ほぼ完全な分布パターンを表している。





# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

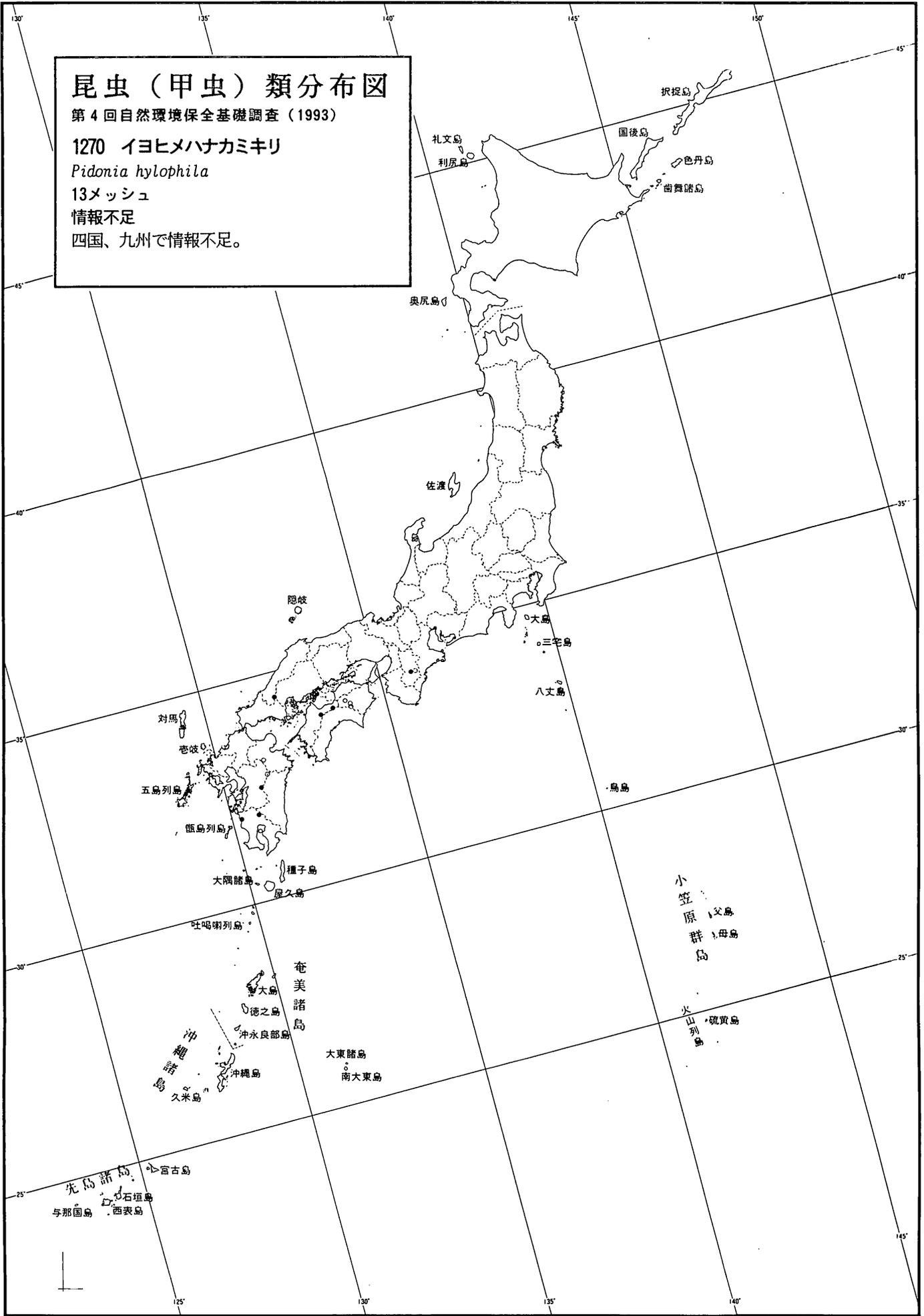
1270 イヨヒメハナカミキリ

*Pidonia hylophila*

13メッシュ

情報不足

四国、九州で情報不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

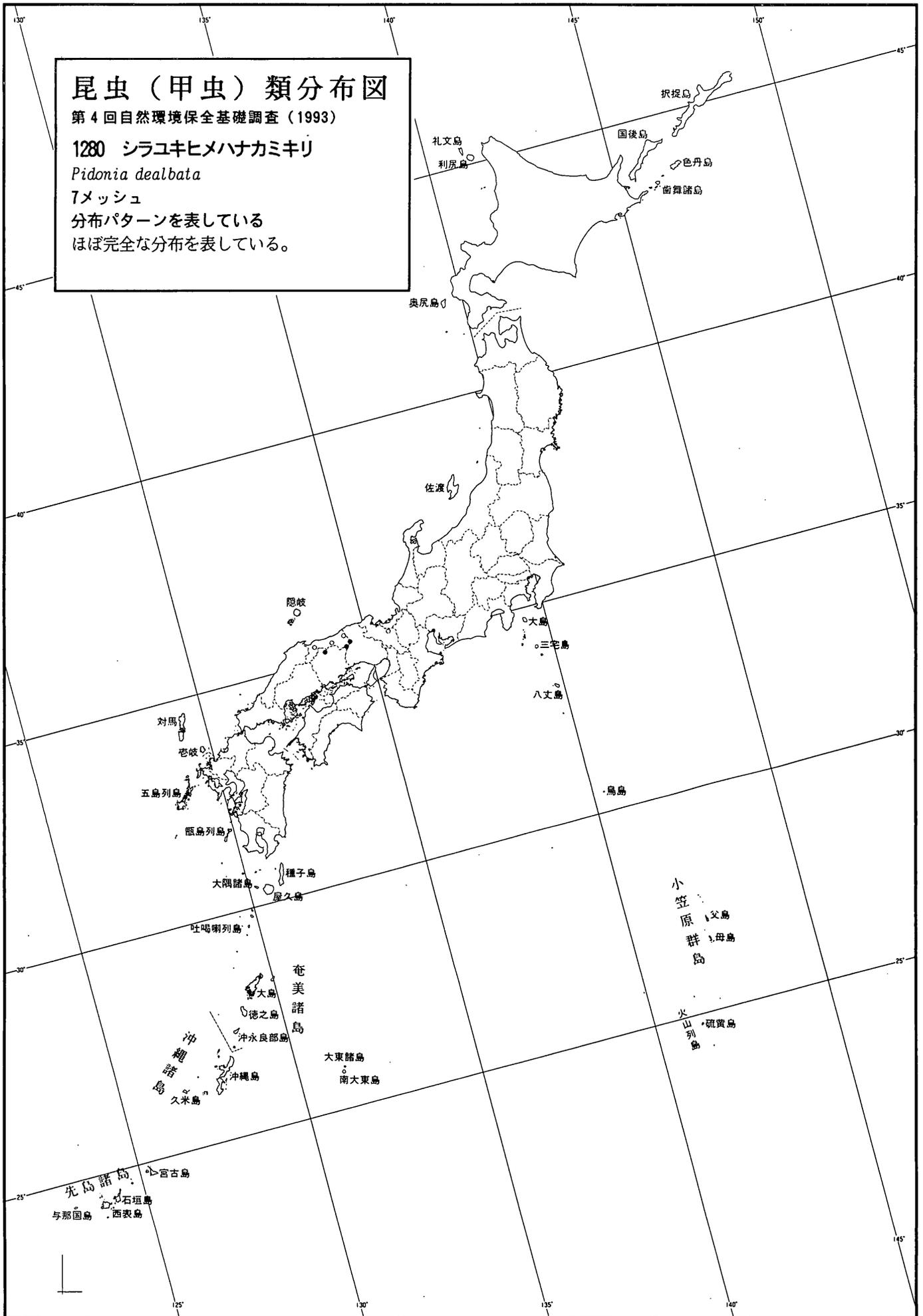
1280 シラクキヒメハナカミキリ

*Pidonia dealbata*

7メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

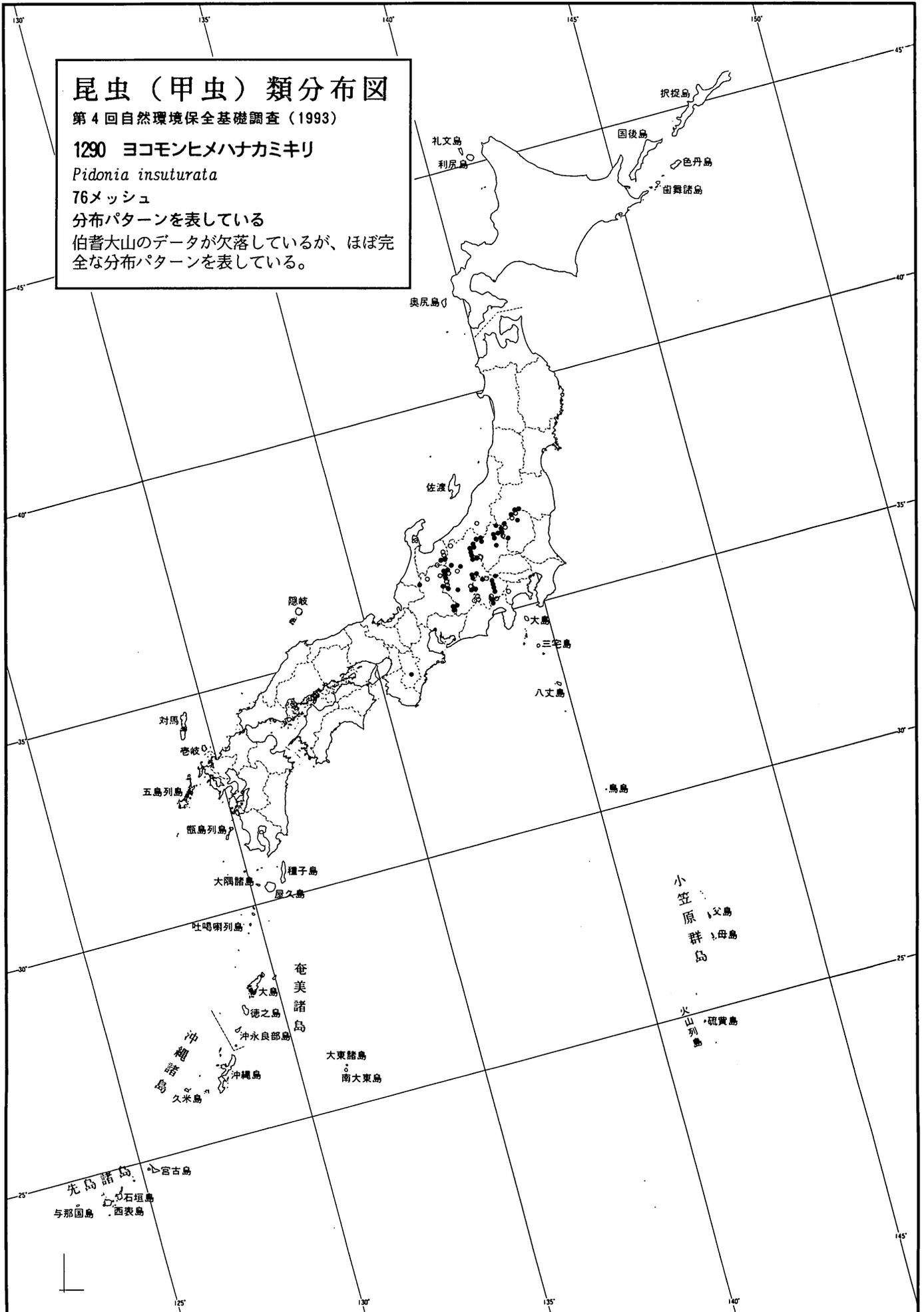
1290 ヨコモンヒメハナカミキリ

*Pidonia insuturata*

76メッシュ

分布パターンを表している

伯耆大山のデータが欠落しているが、ほぼ完全な分布パターンを表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

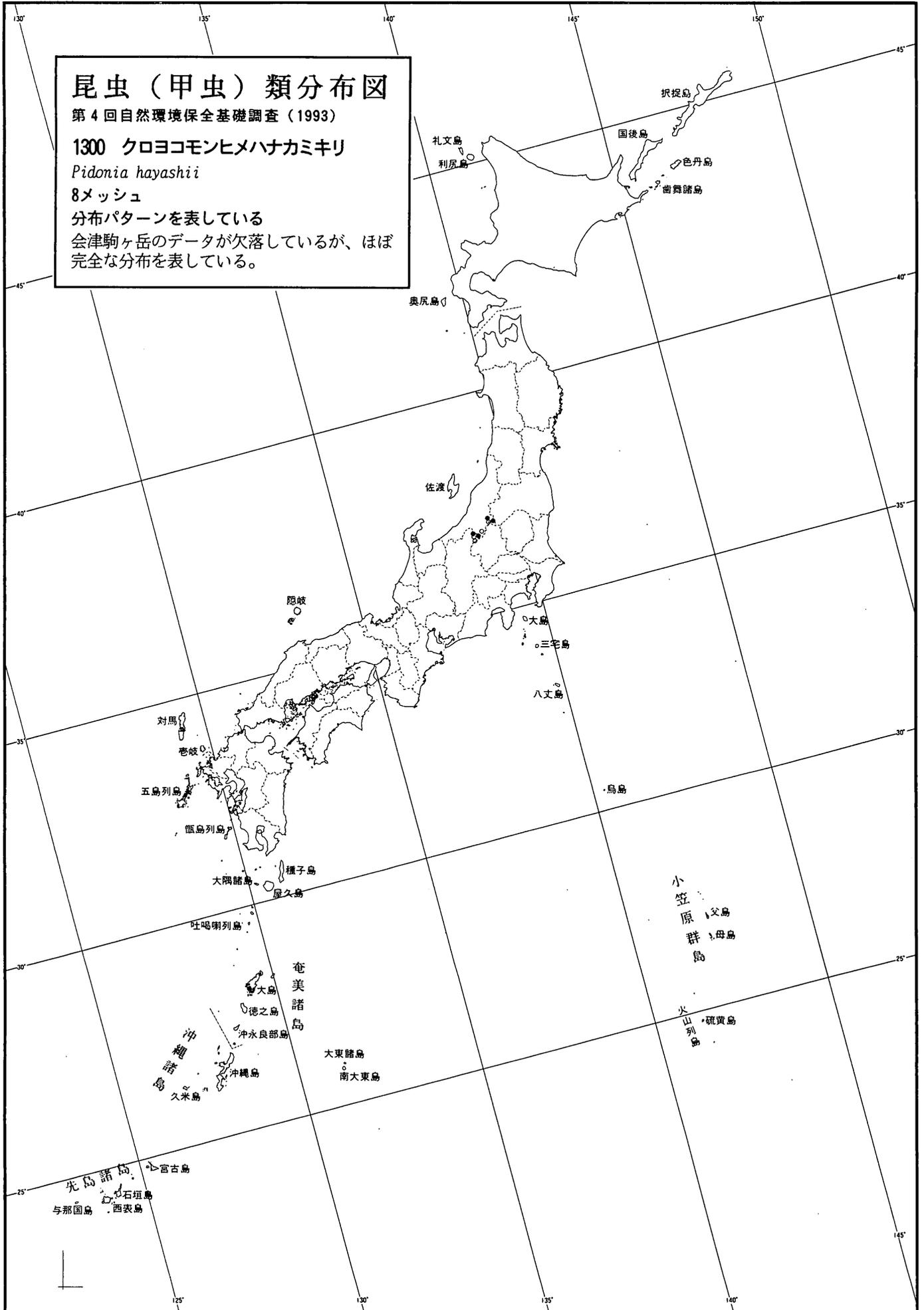
1300 クロヨコモヒメハナカミキリ

*Pidonia hayashii*

8メッシュ

分布パターンを表している

会津駒ヶ岳のデータが欠落しているが、ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

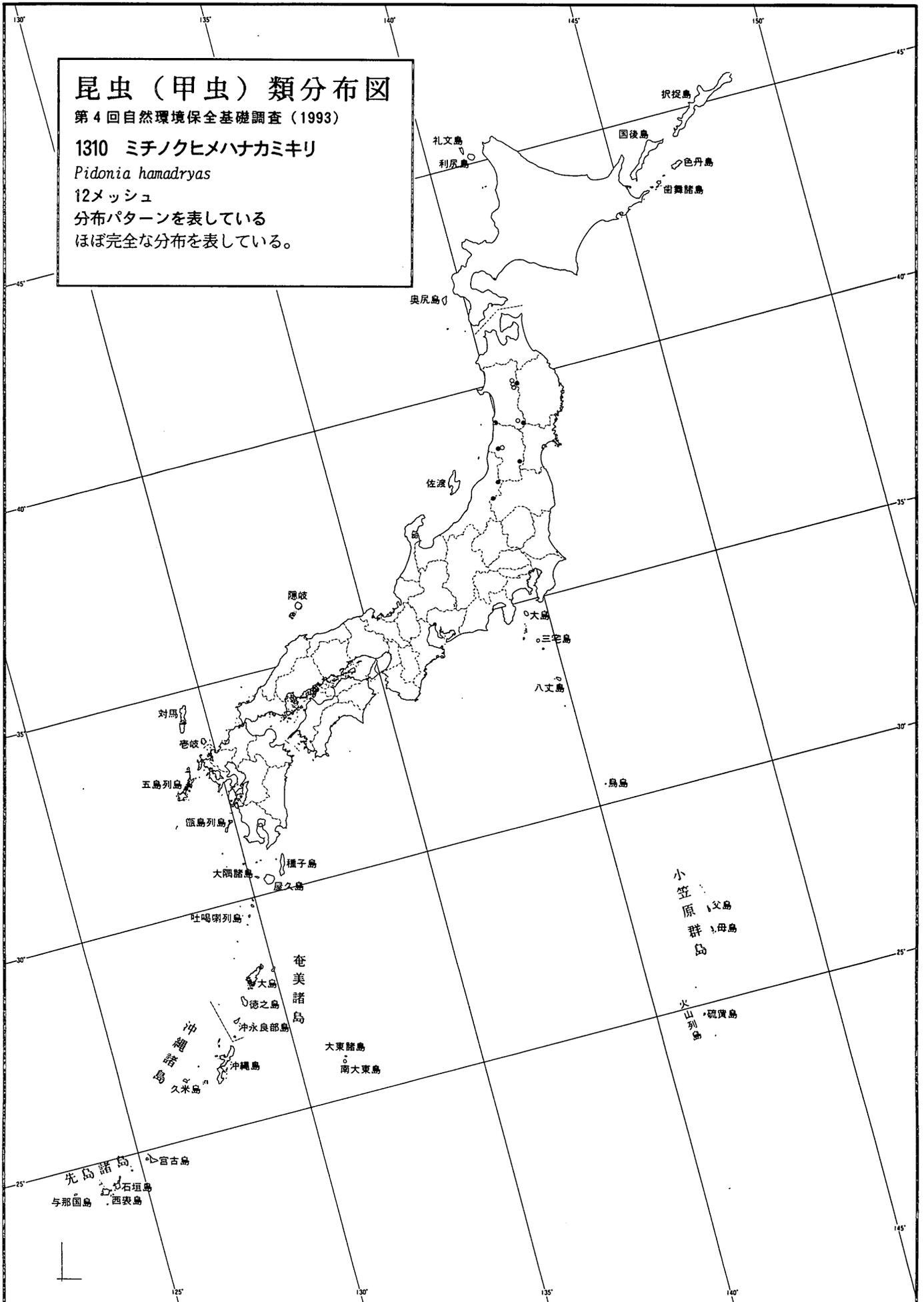
## 1310 ミチノクヒメハナカミキリ

*Pidonia hamadryas*

12メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

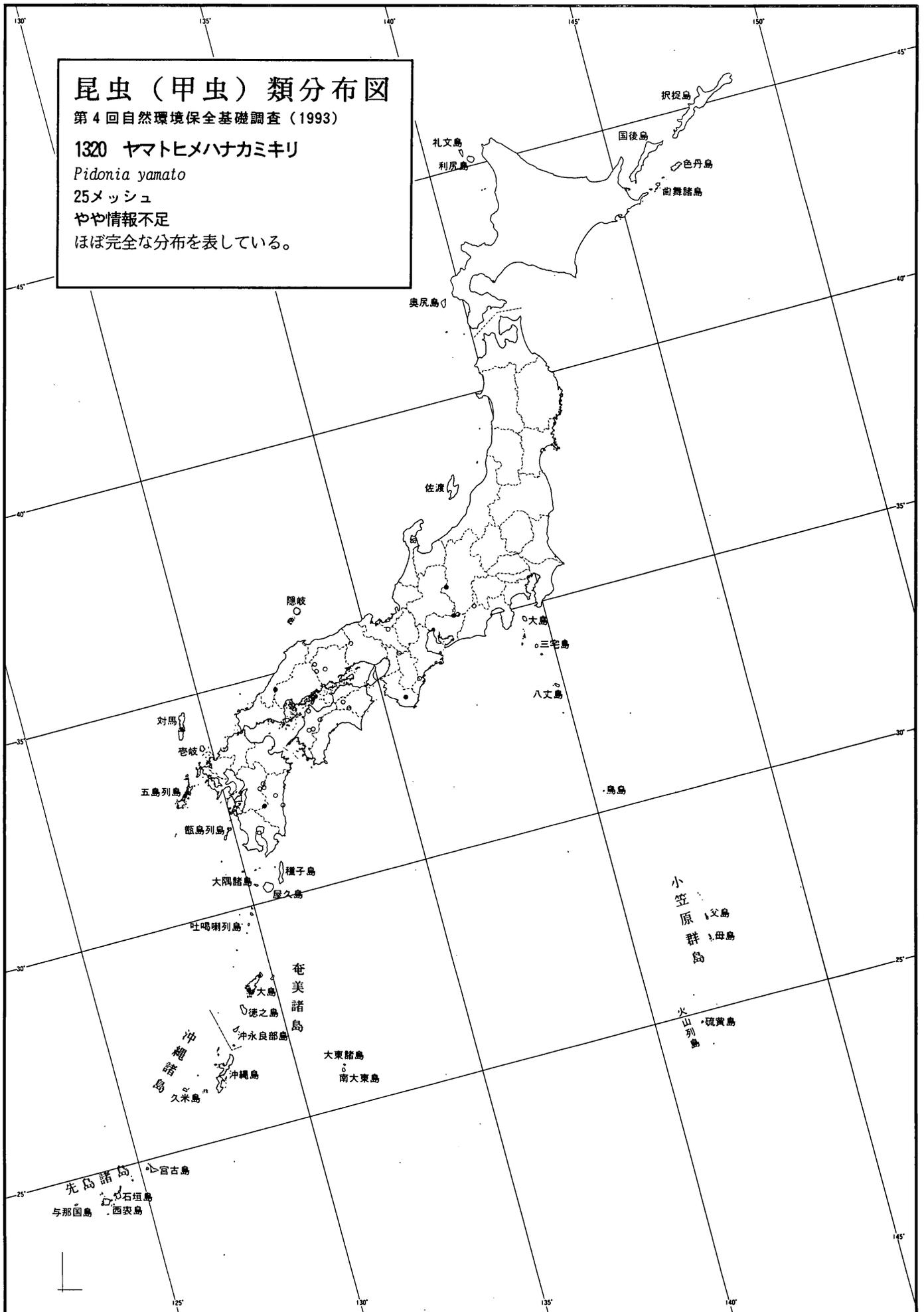
## 1320 ヤマトヒメハナカミキリ

*Pidonia yamato*

25メッシュ

やや情報不足

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

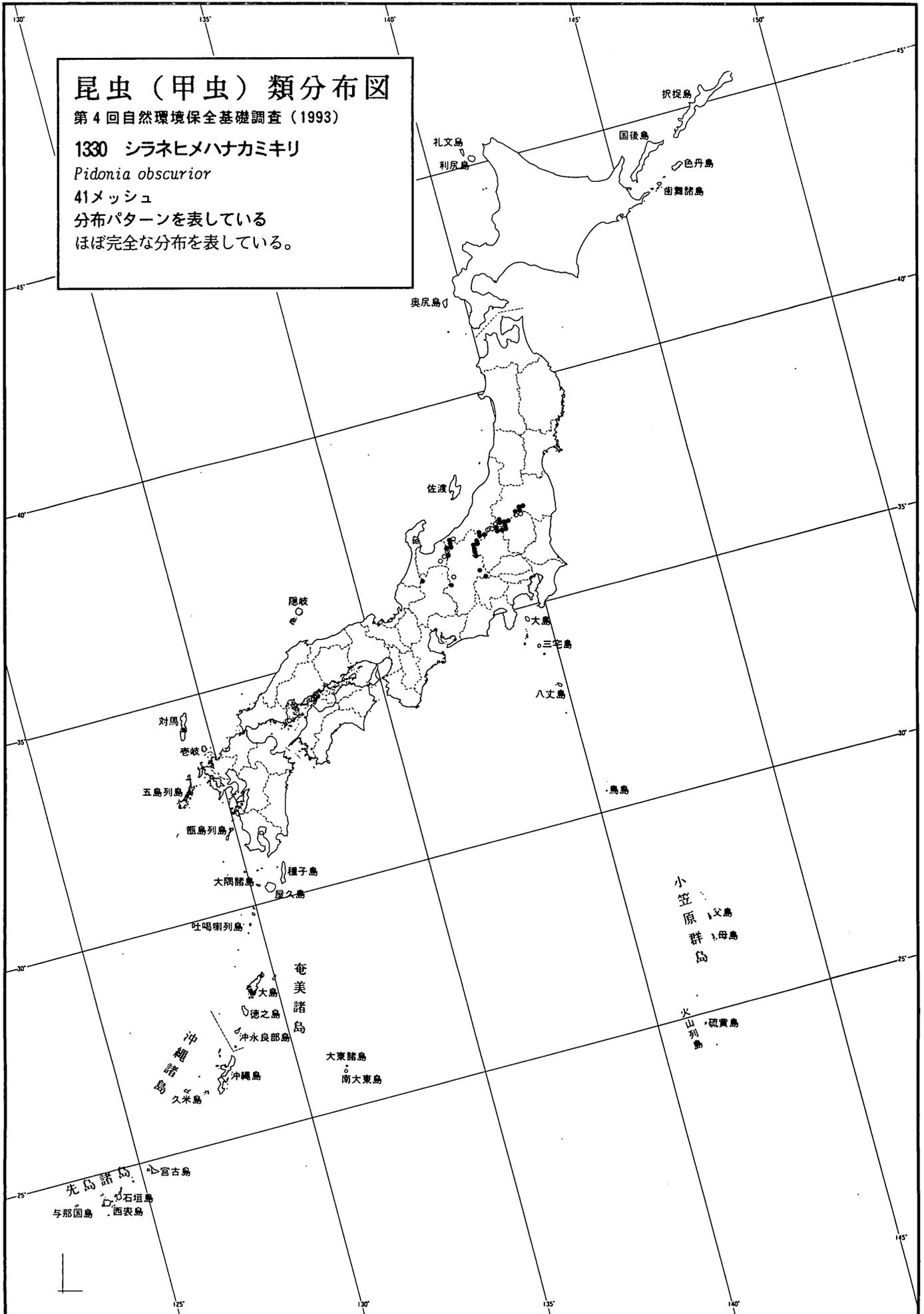
1330 シラネヒメハナカミキリ

*Pidonia obscurior*

41メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

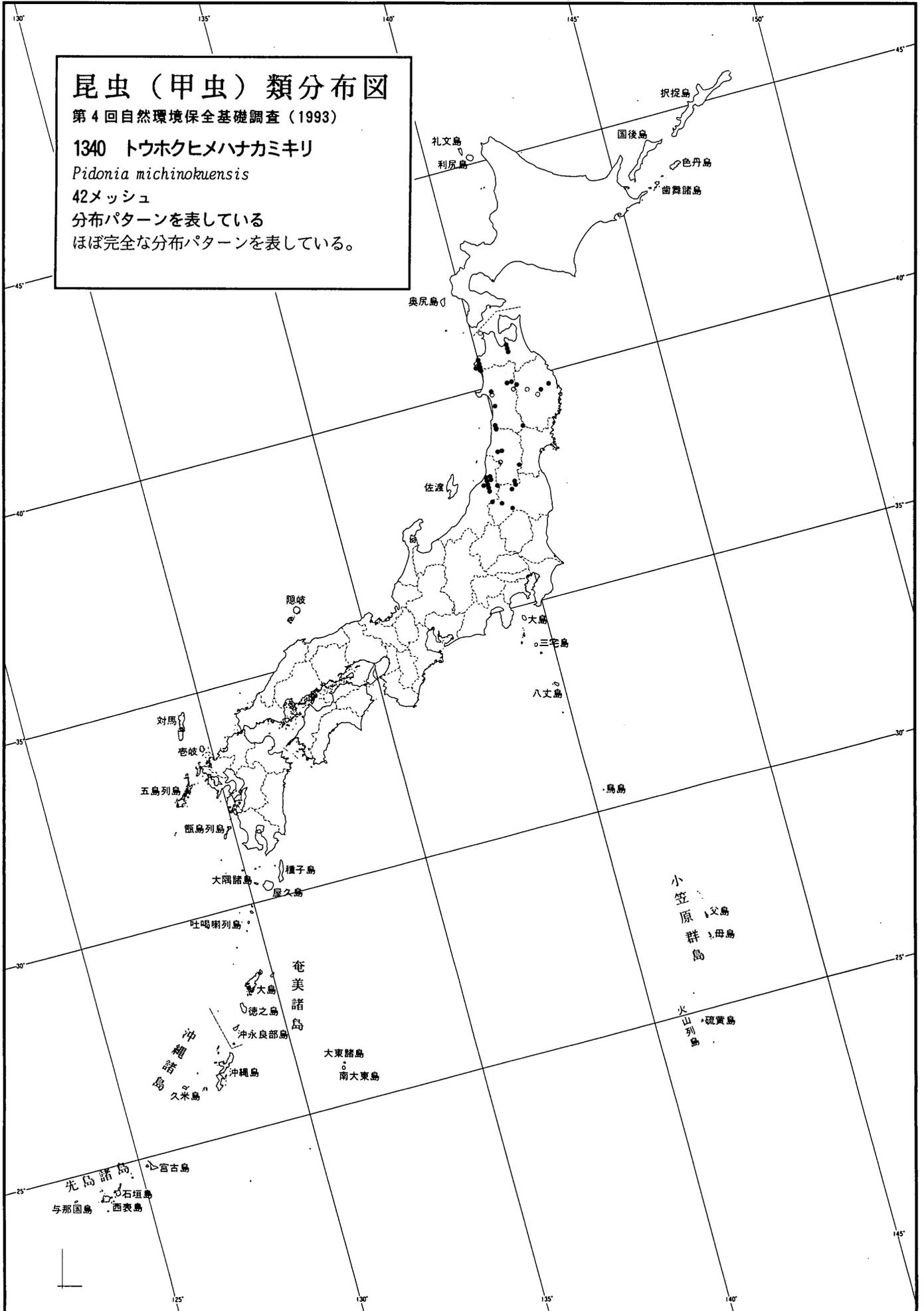
1340 トウホクヒメハナカミキリ

*Pidonia michinokuensis*

42メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布パターンを表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

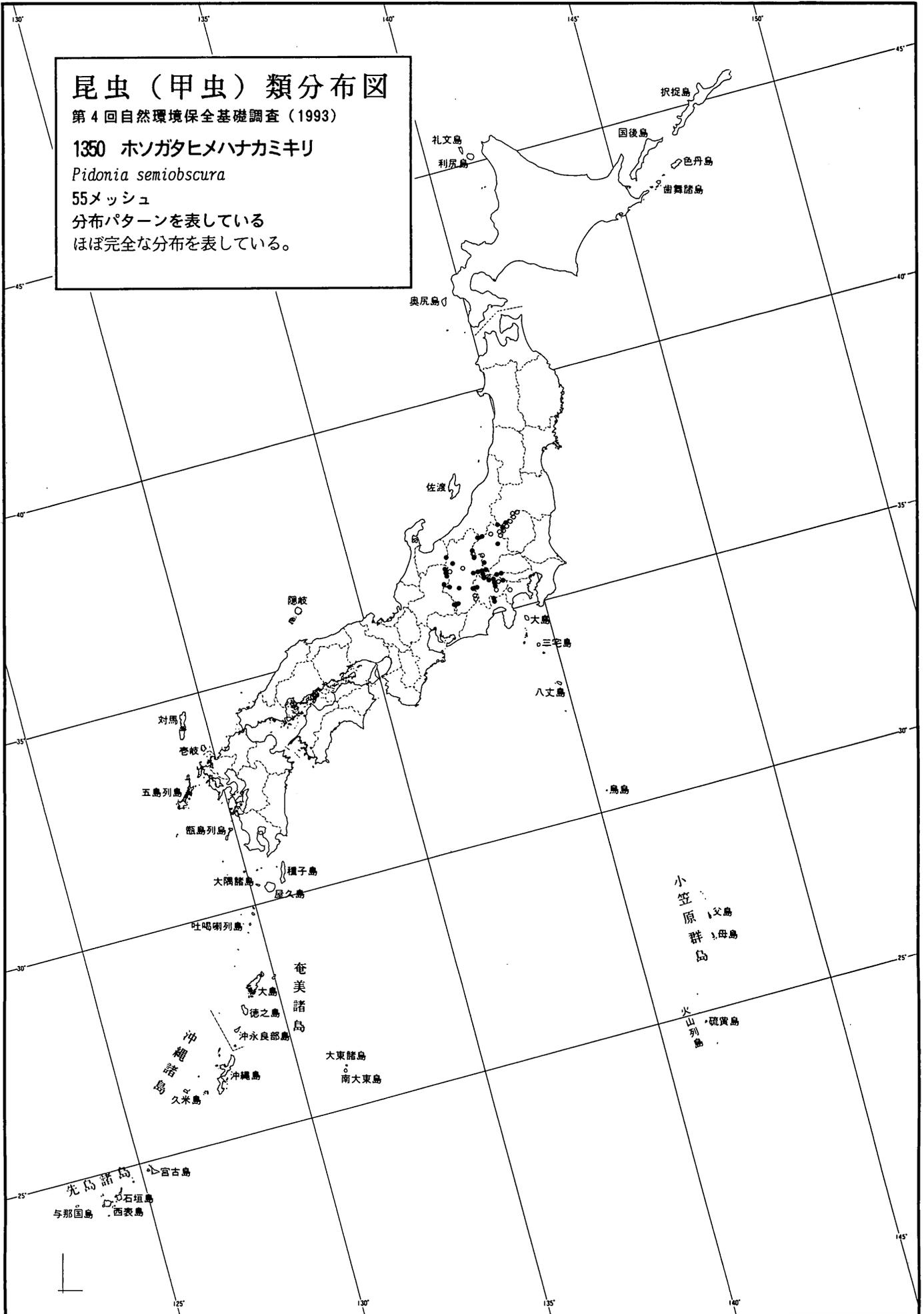
1350 ホソガタヒメハナカミキリ

*Pidonia semiobscura*

55メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

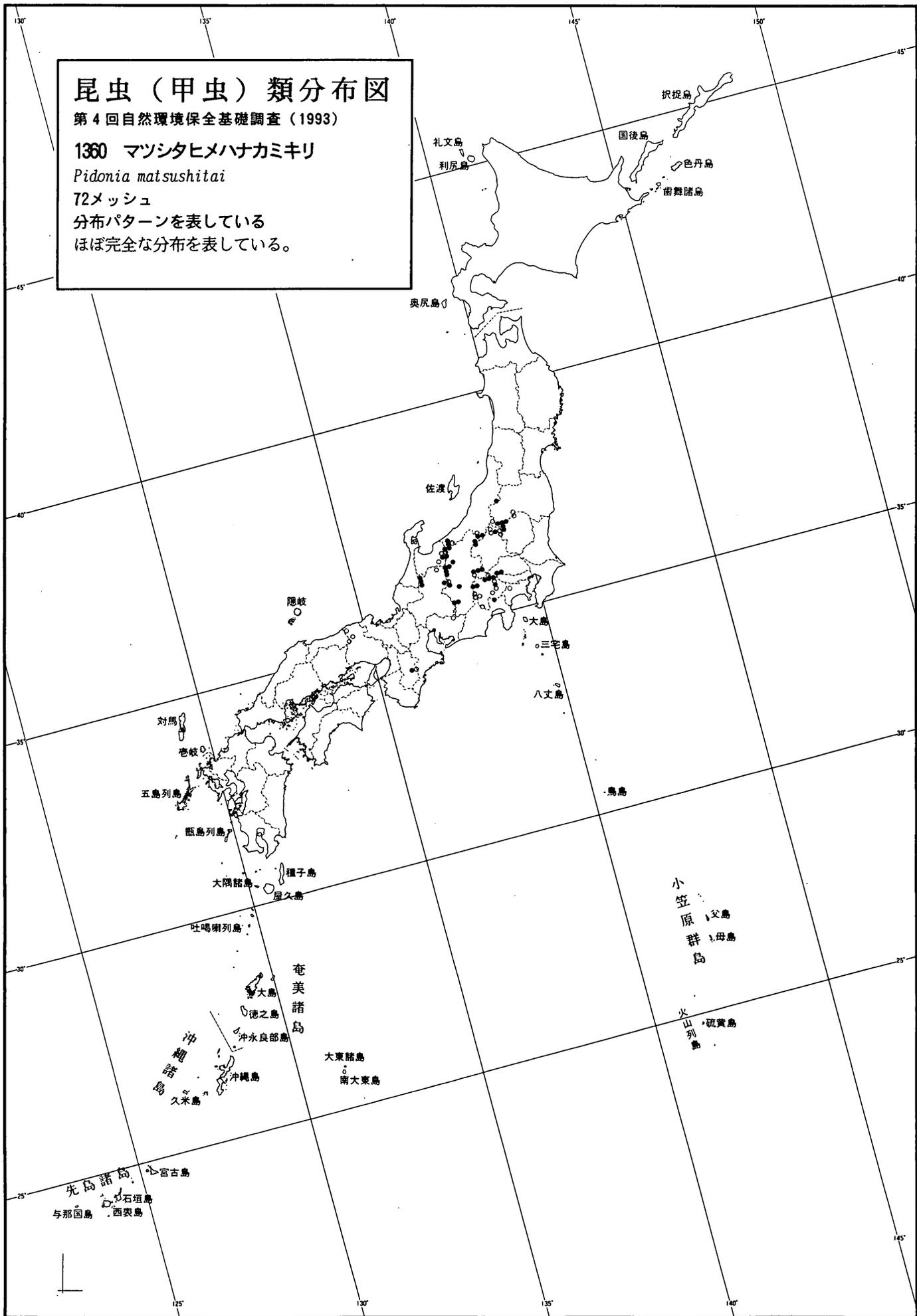
1360 マツシタヒメハナカミキリ

*Pidonia matsushitai*

72メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

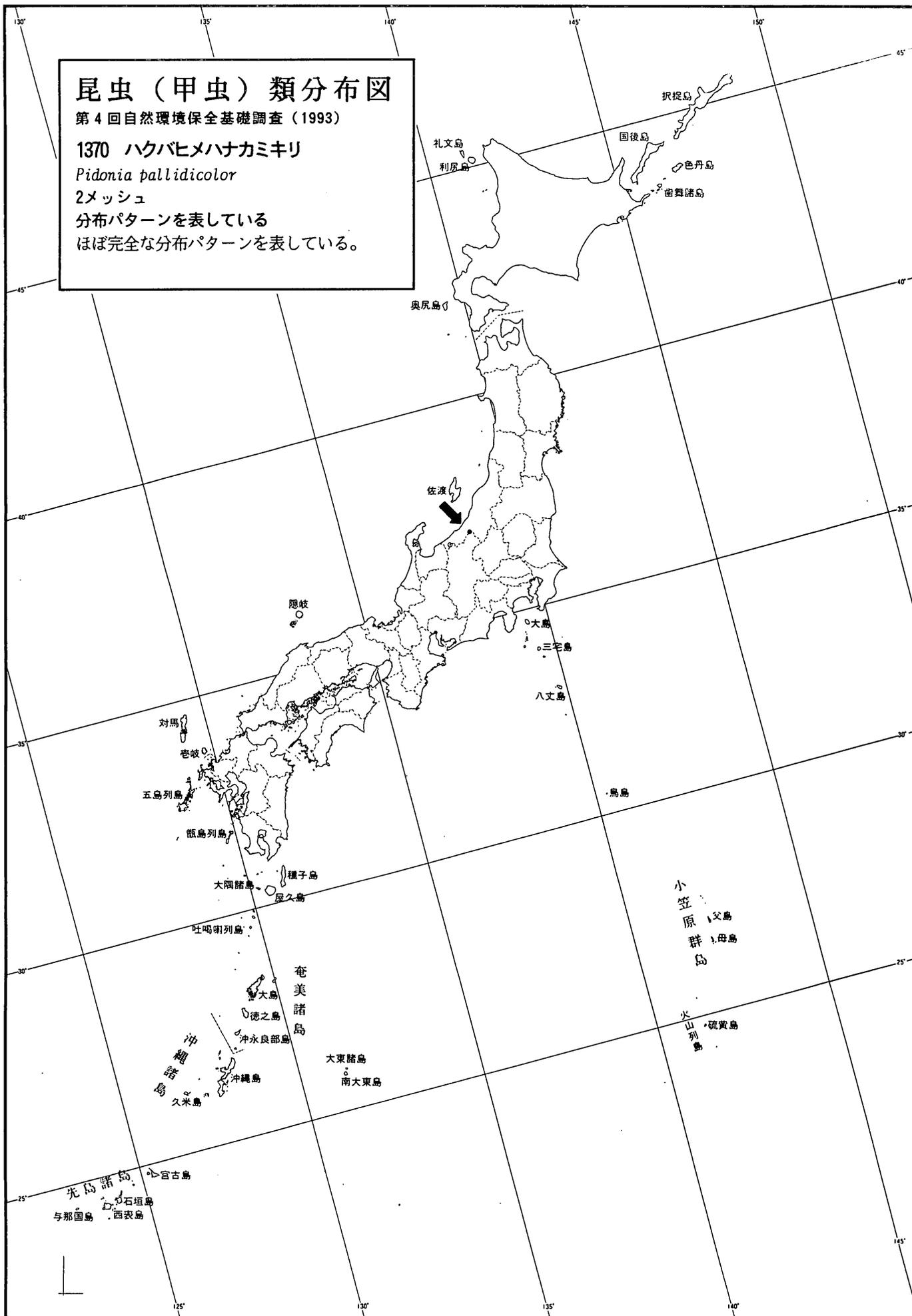
1370 ハクバヒメハナカミキリ

*Pidonia pallidicolor*

2メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布パターンを表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

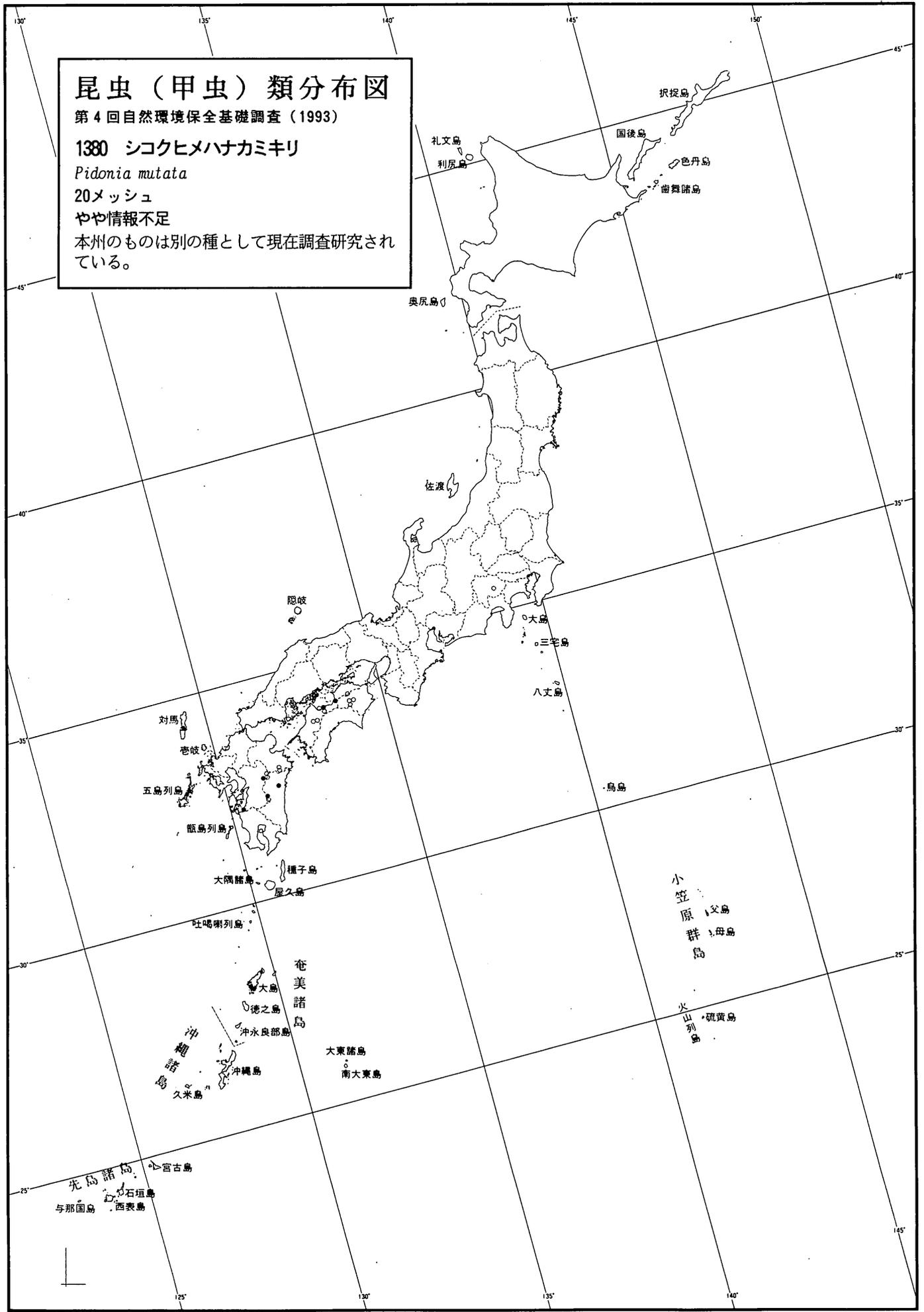
1380 シコクヒメハナカミキリ

*Pidonia mutata*

20メッシュ

やや情報不足

本州のものは別の種として現在調査研究されている。



# 昆虫（甲虫）類分布図

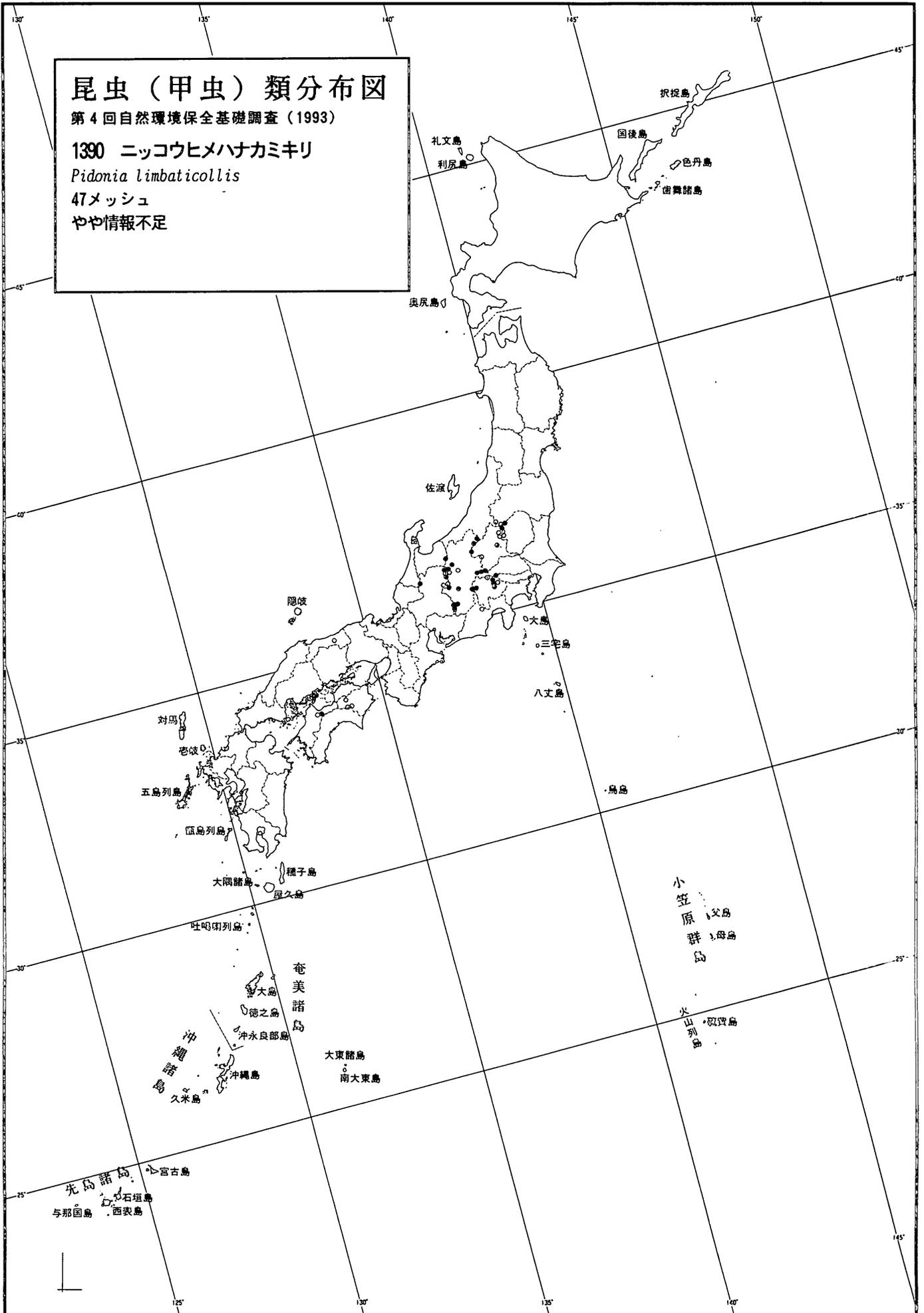
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1390 ニッコウヒメハナカミキリ

*Pidonia limbaticollis*

47メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

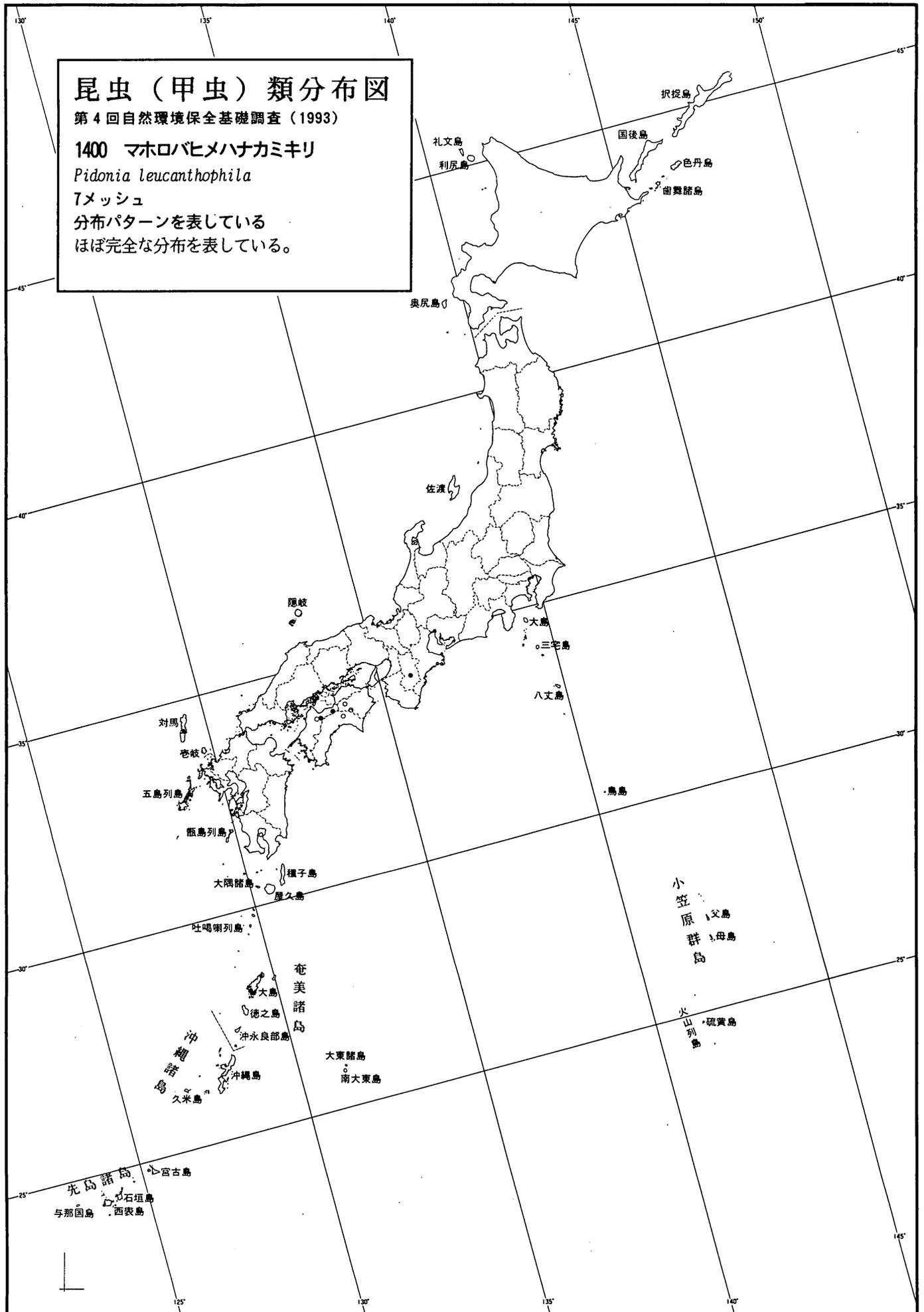
## 1400 マホロバヒメハナカミキリ

*Pidonia leucanthophila*

7メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

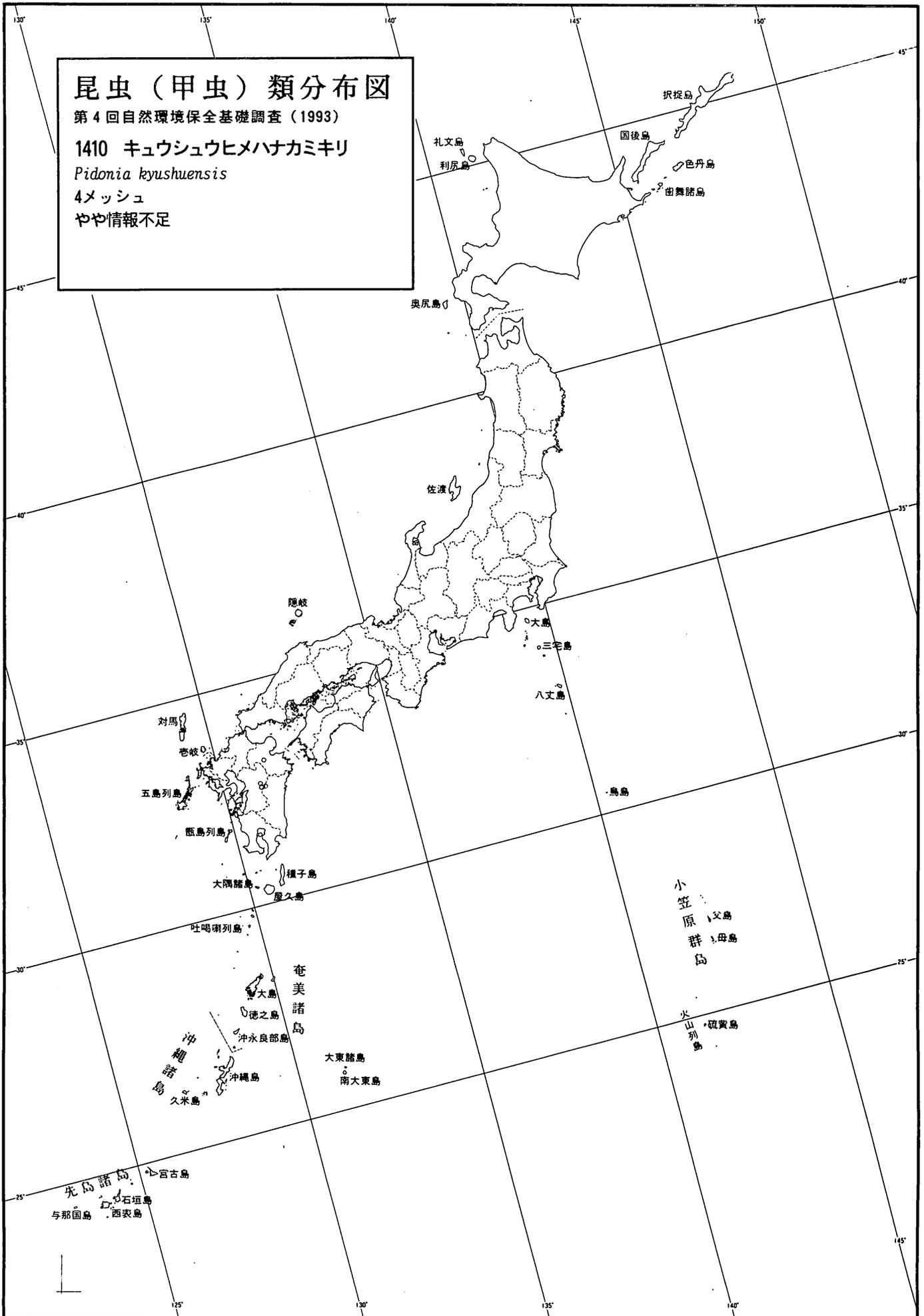
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1410 キュウシュウヒメハナカミキリ

*Pidonia kyushuensis*

4メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

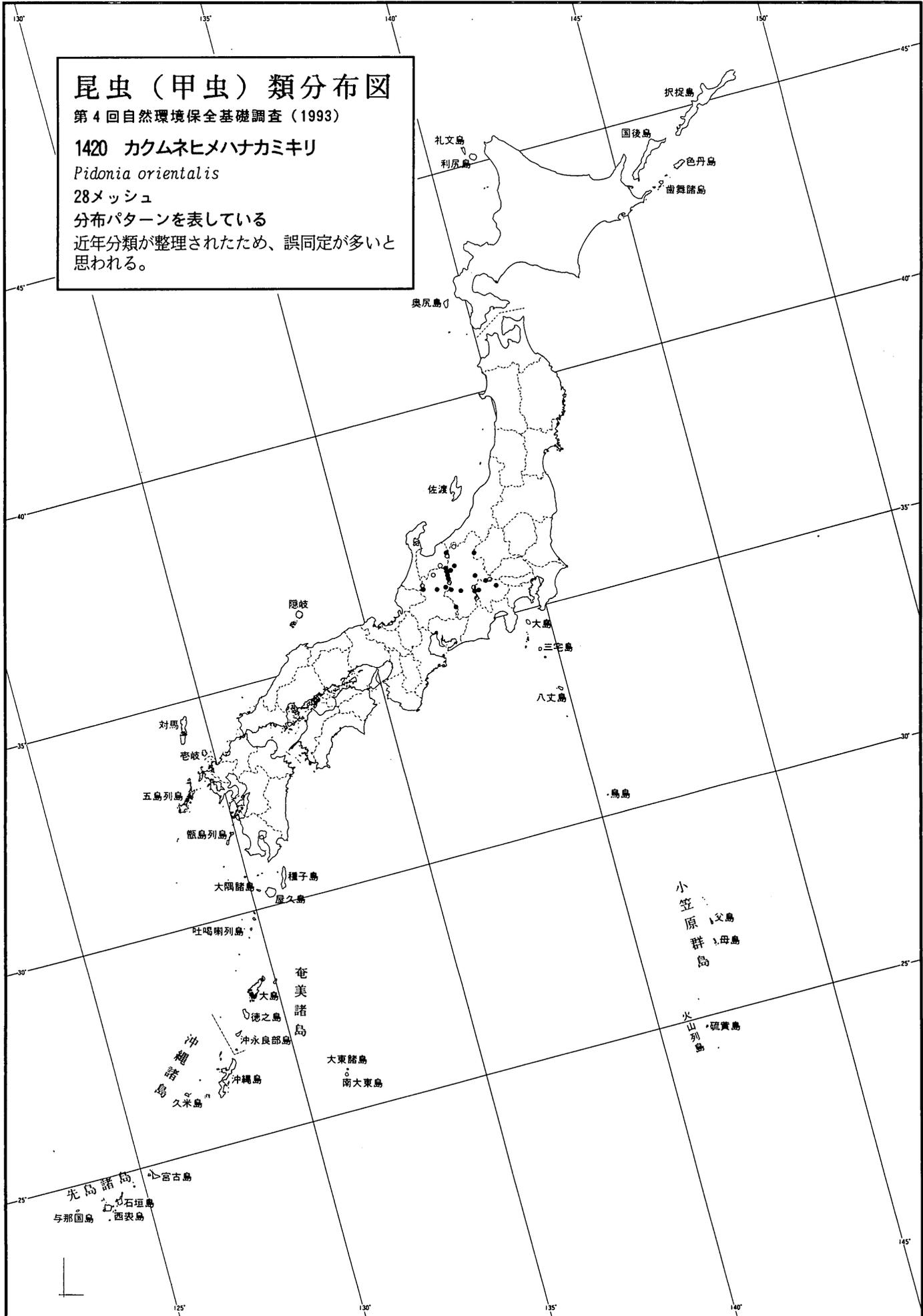
1420 カクムネヒメハナカミキリ

*Pidonia orientalis*

28メッシュ

分布パターンを表している

近年分類が整理されたため、誤同定が多いと思われる。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

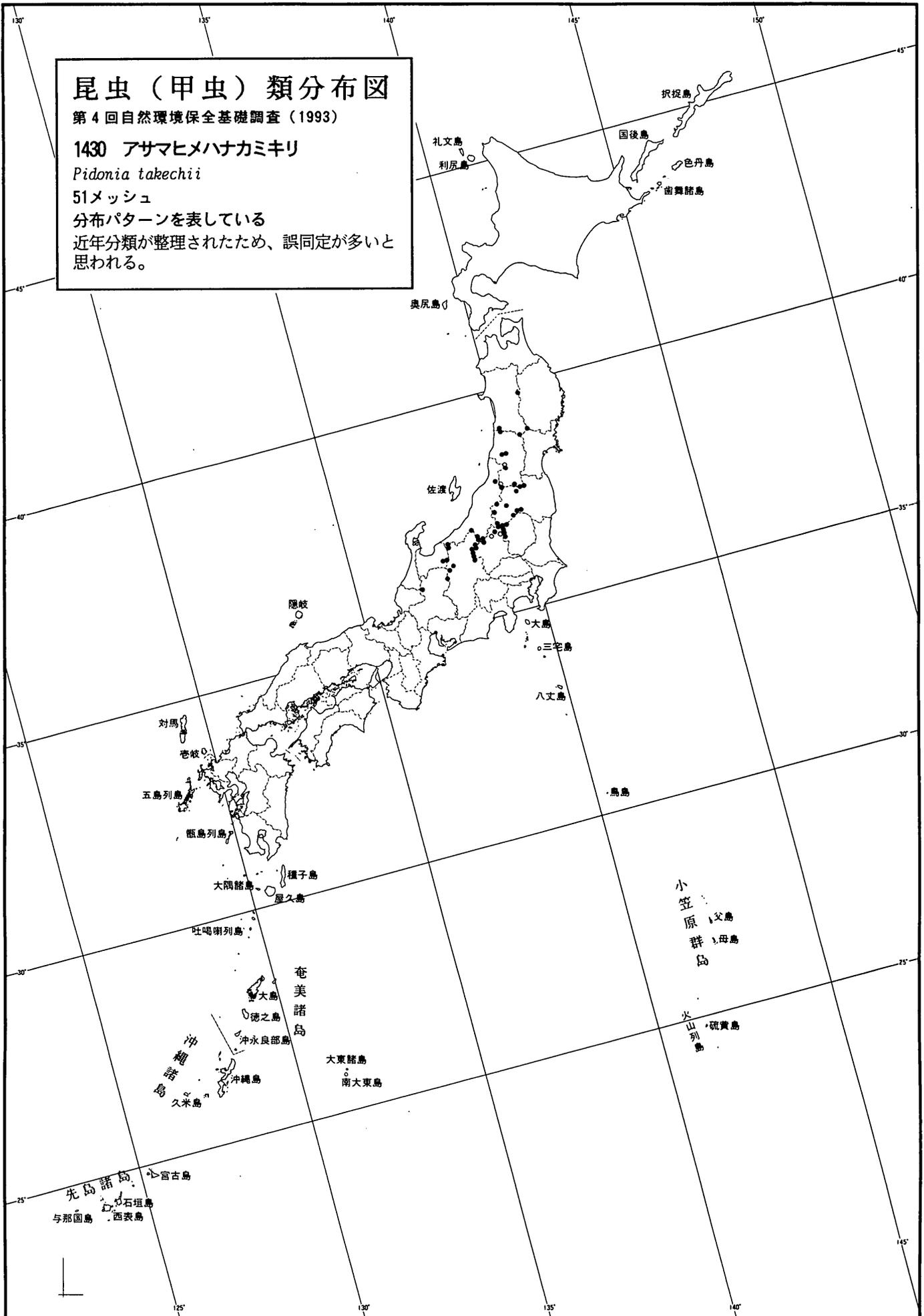
## 1430 アサマヒメハナカミキリ

*Pidonia takechii*

51メッシュ

分布パターンを表している

近年分類が整理されたため、誤同定が多いと思われる。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

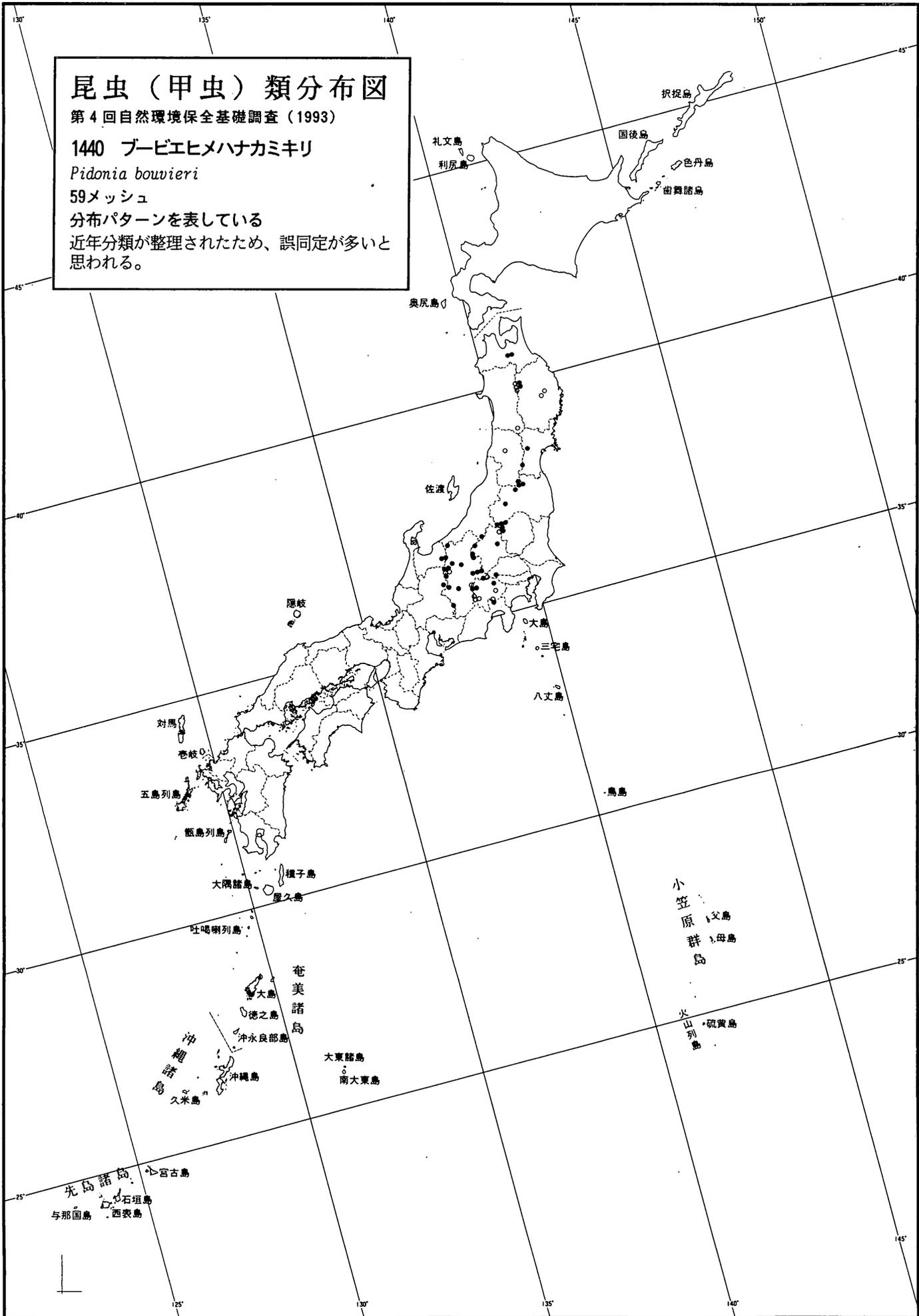
## 1440 ブービエヒメハナカミキリ

*Pidonia bouvieri*

59メッシュ

分布パターンを表している

近年分類が整理されたため、誤同定が多いと思われる。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

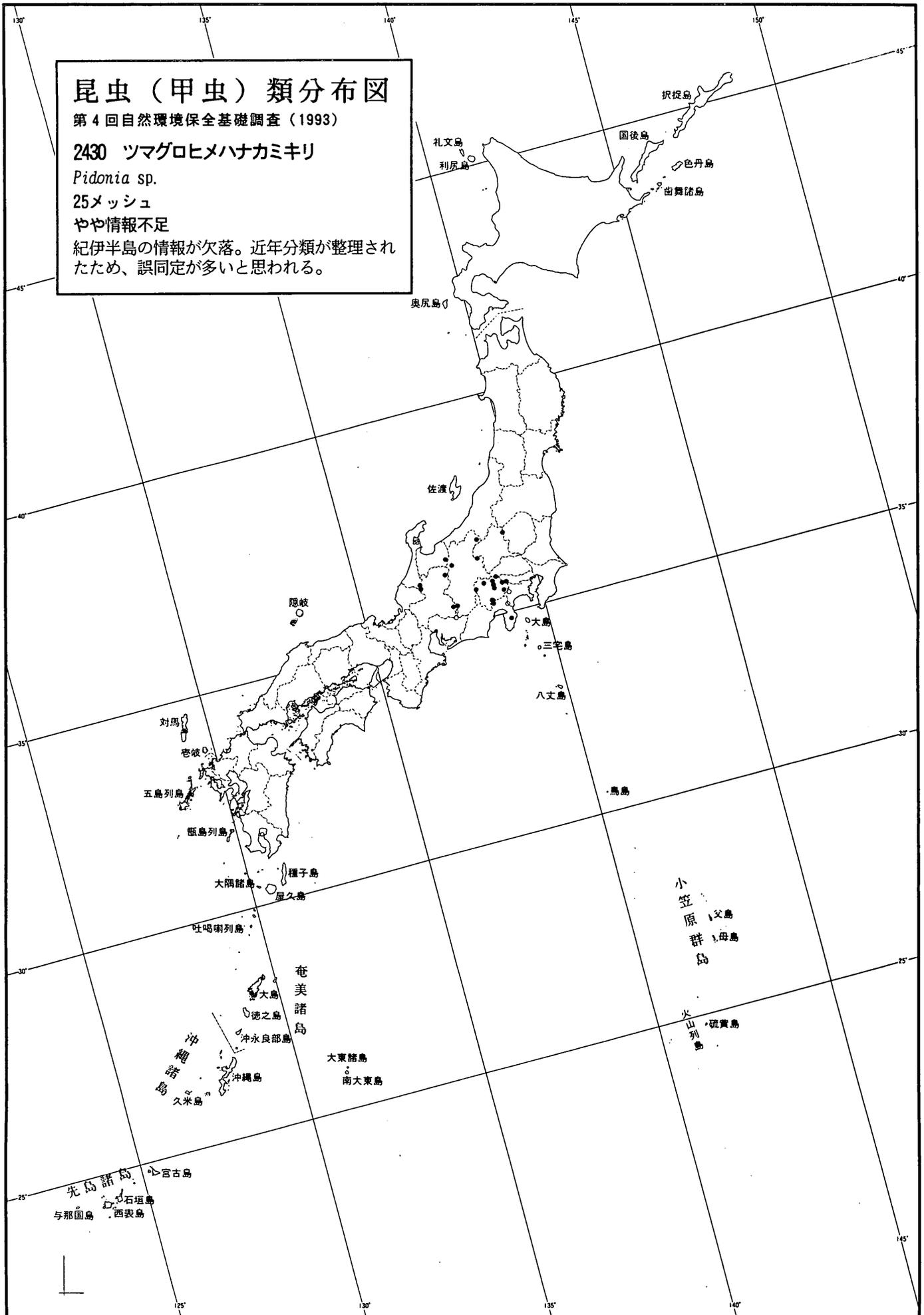
## 2430 ツマグロヒメハナカミキリ

*Pidonia* sp.

25メッシュ

やや情報不足

紀伊半島の情報が欠落。近年分類が整理されたため、誤同定が多いと思われる。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

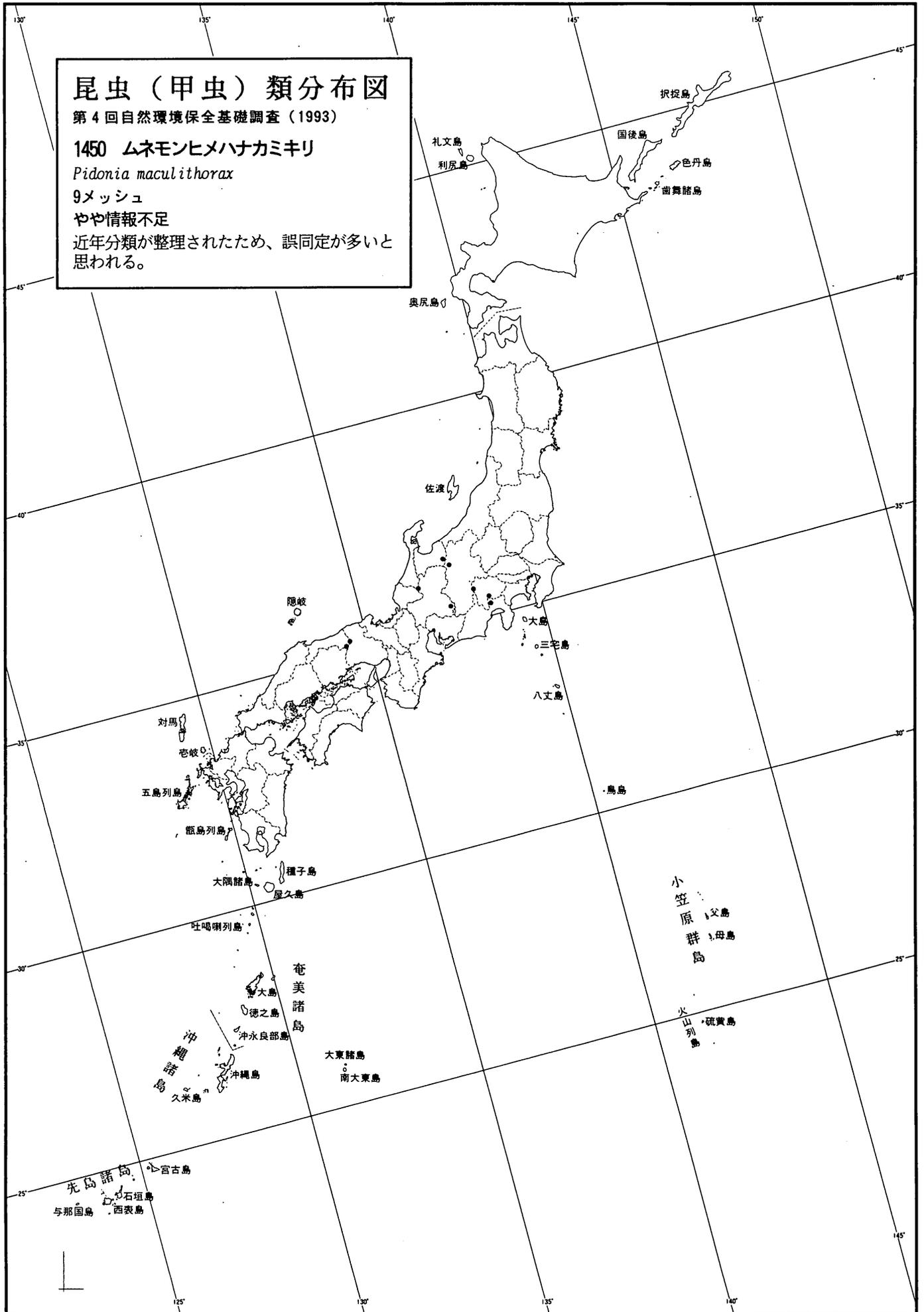
## 1450 ムネモンヒメハナカミキリ

*Pidonia maculithorax*

9メッシュ

やや情報不足

近年分類が整理されたため、誤同定が多いと思われる。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

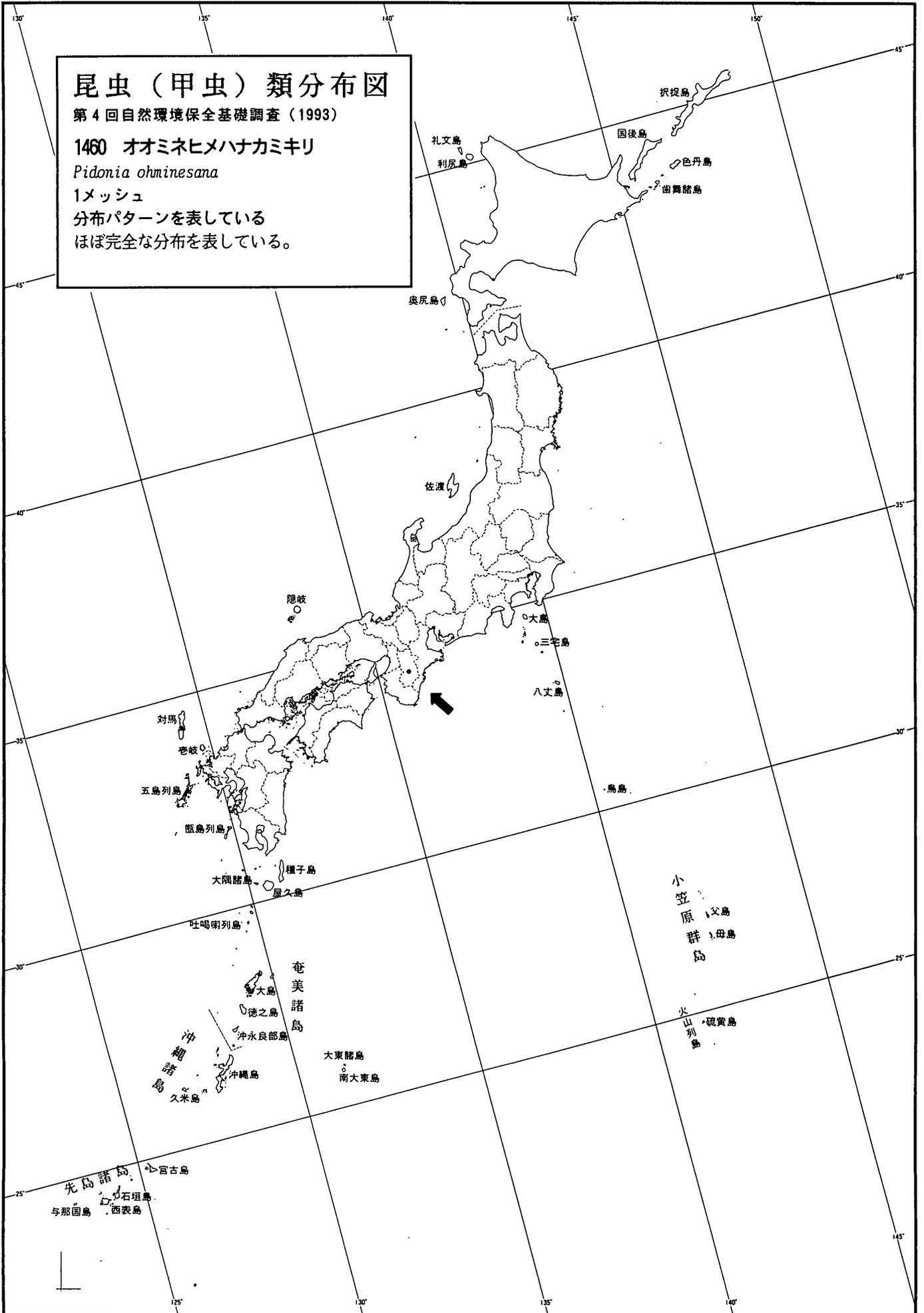
1460 オオミネヒメハナカミキリ

*Pidonia ohminesana*

1メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

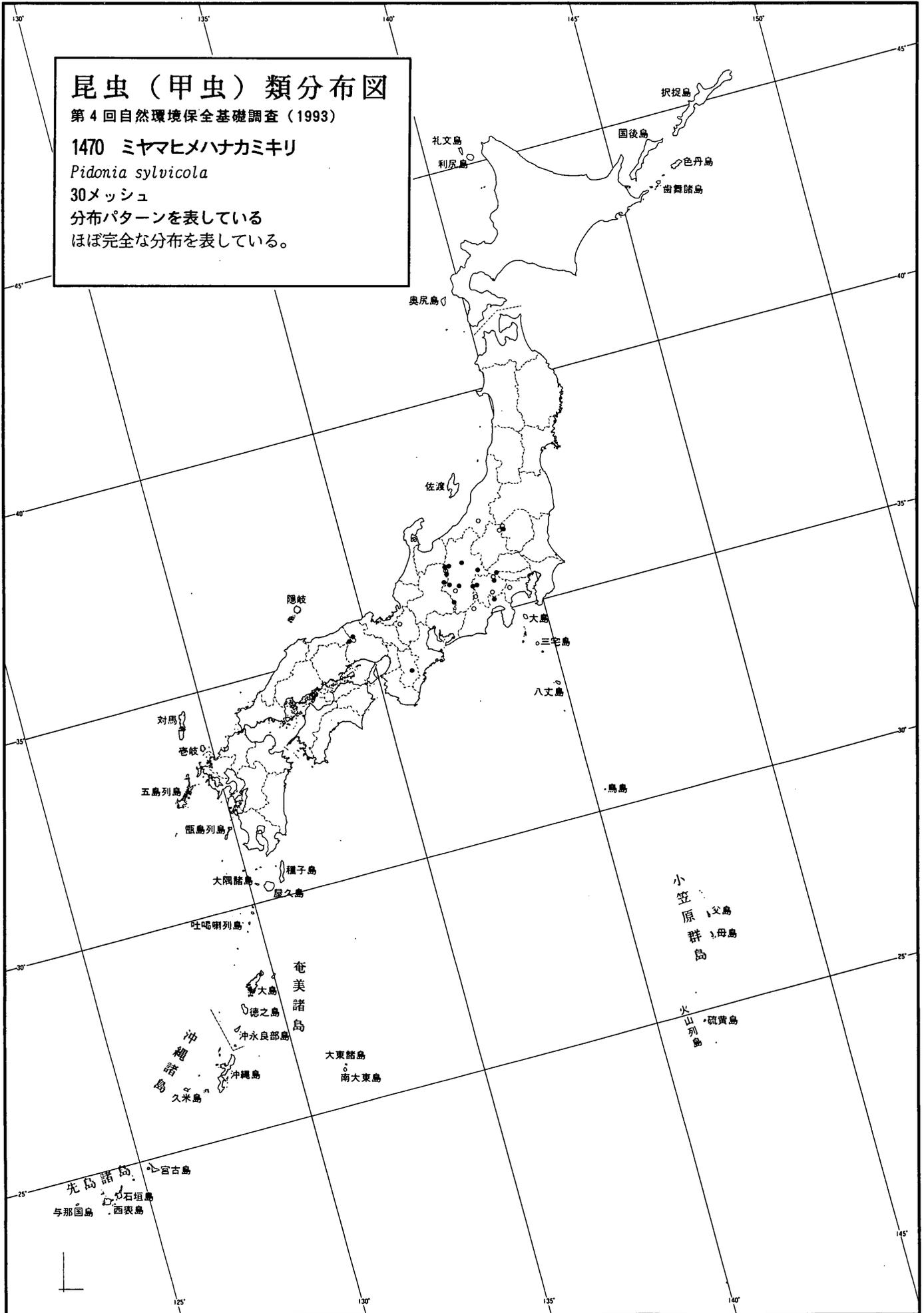
## 1470 ミヤマヒメハナカミキリ

*Pidonia sylvicola*

30メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

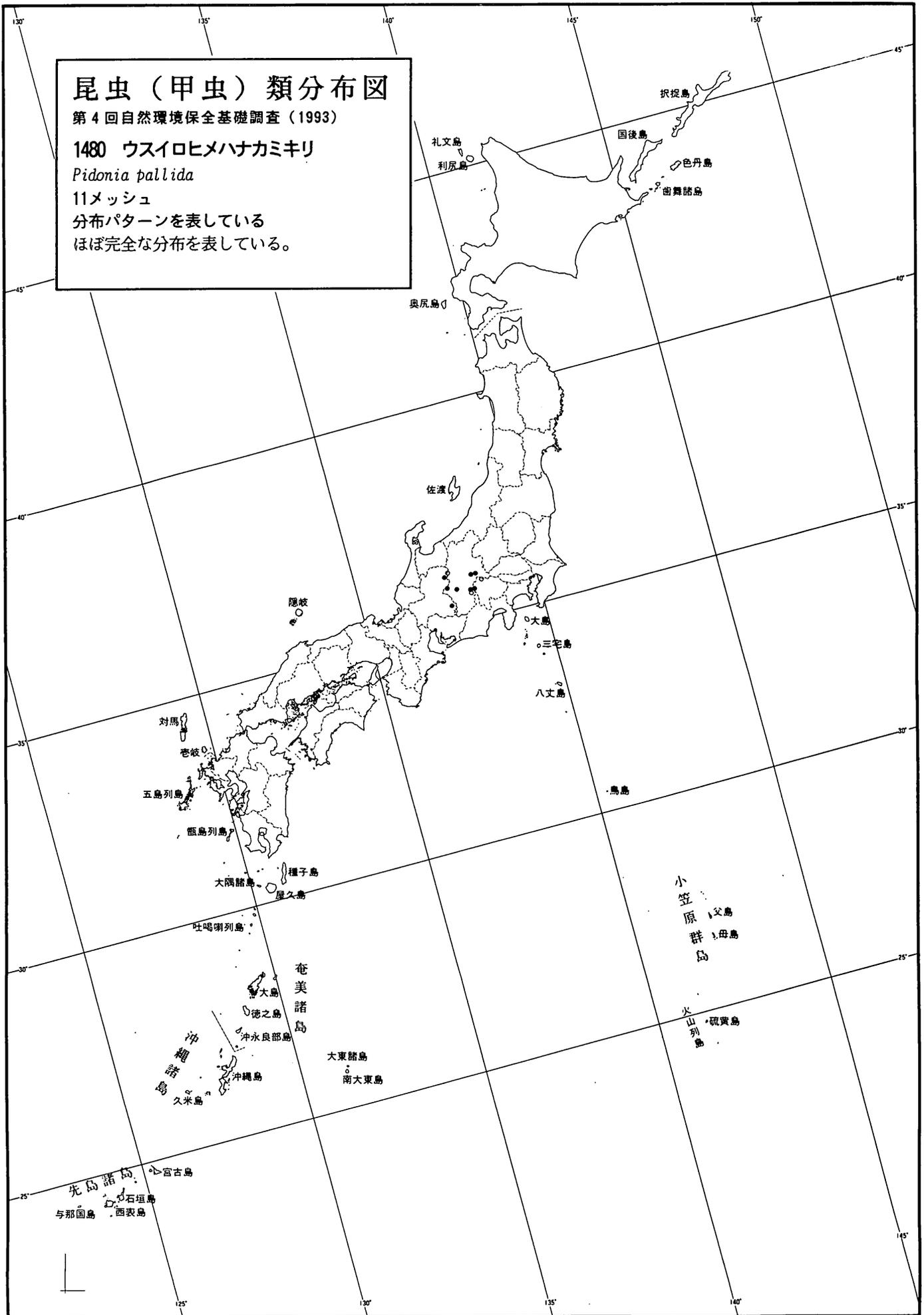
1480 ウスイロヒメハナカミキリ

*Pidonia pallida*

11メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

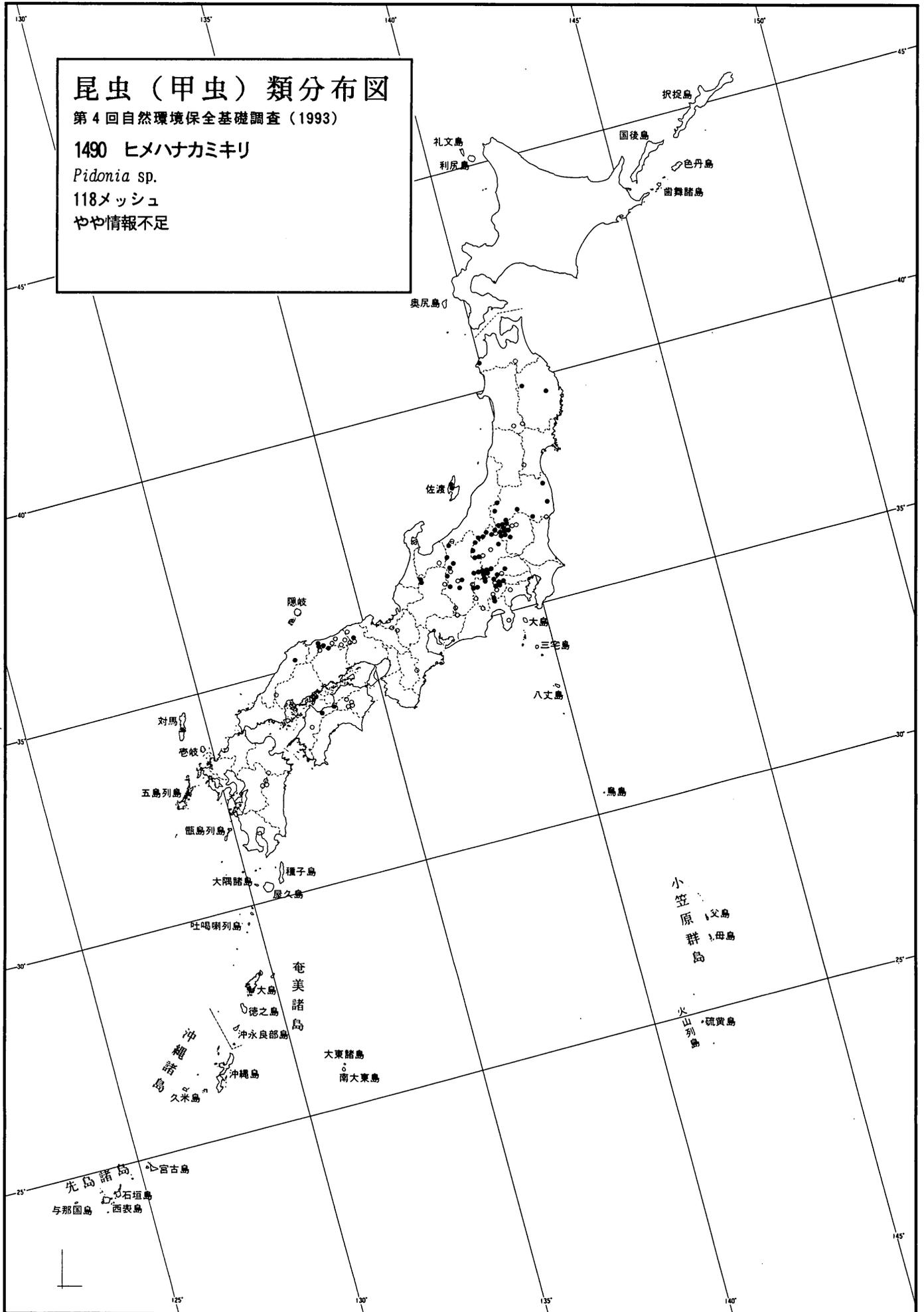
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 1490 ヒメハナカミキリ

*Pidonia* sp.

118メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

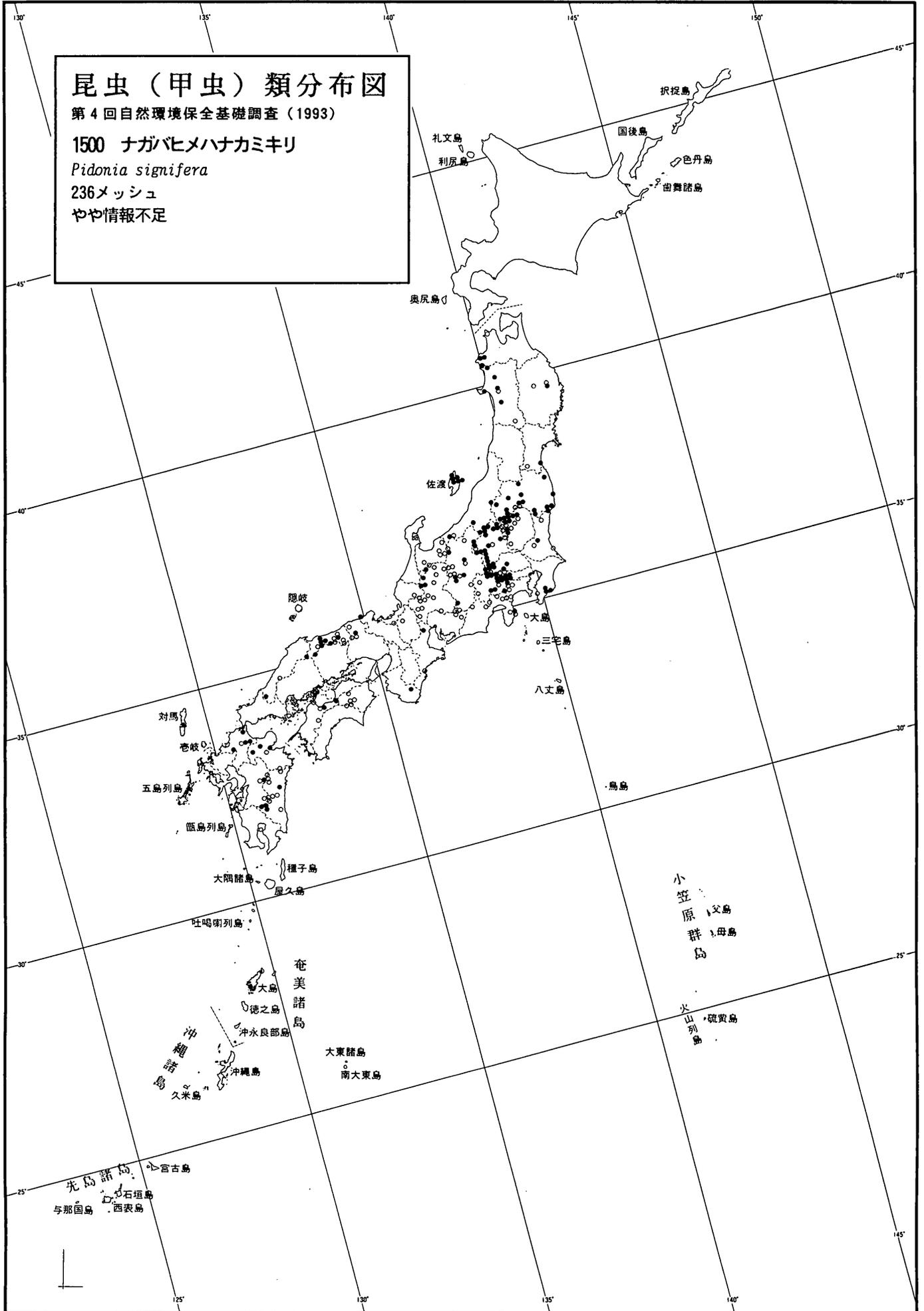
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1500 ナガバヒメハナカミキリ

*Pidonia signifera*

236メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

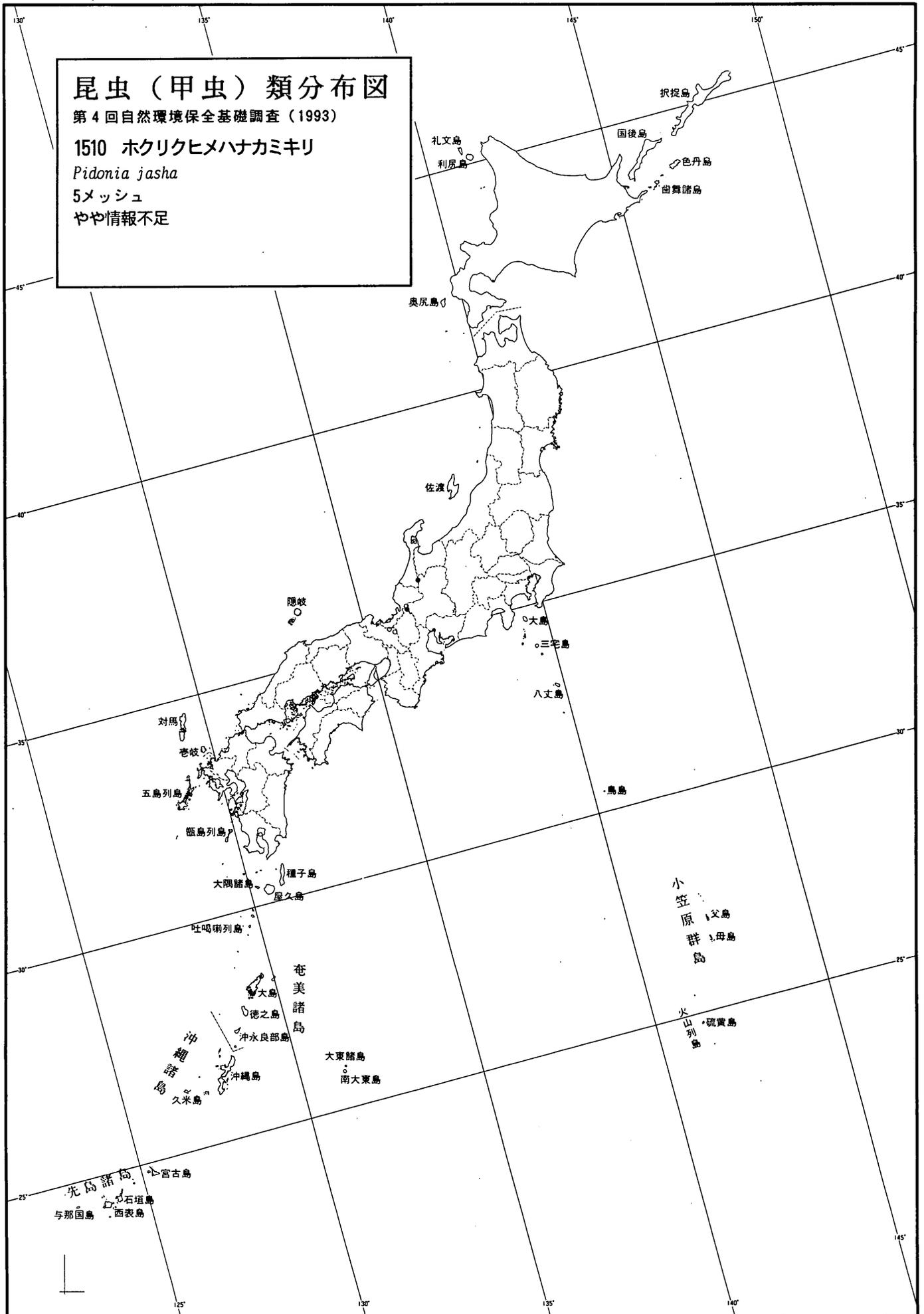
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 1510 ホクリクヒメハナカミキリ

*Pidonia jasha*

5メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

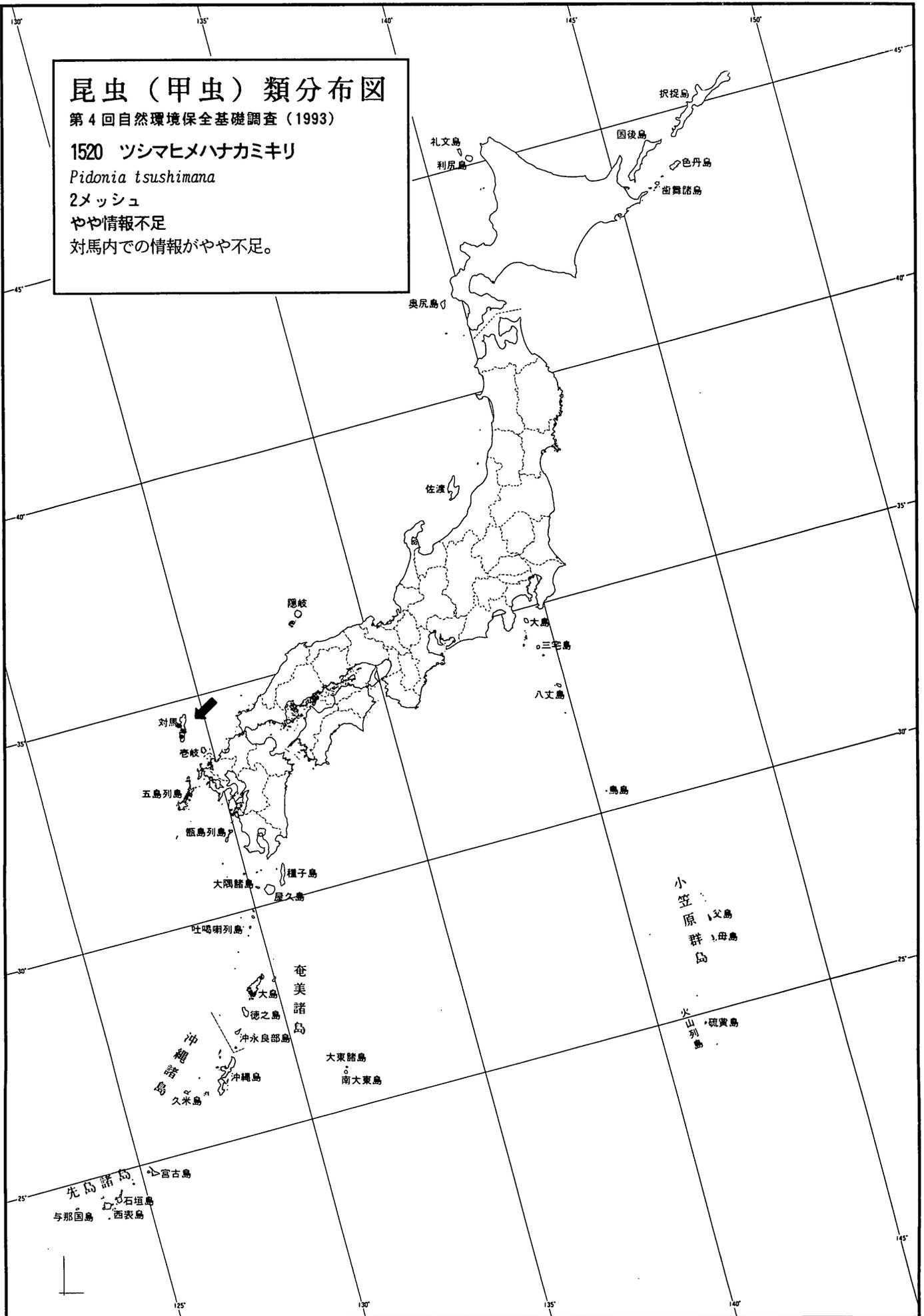
1520 ツシマヒメハナカミキリ

*Pidonia tsushimana*

2メッシュ

やや情報不足

対馬内での情報がやや不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

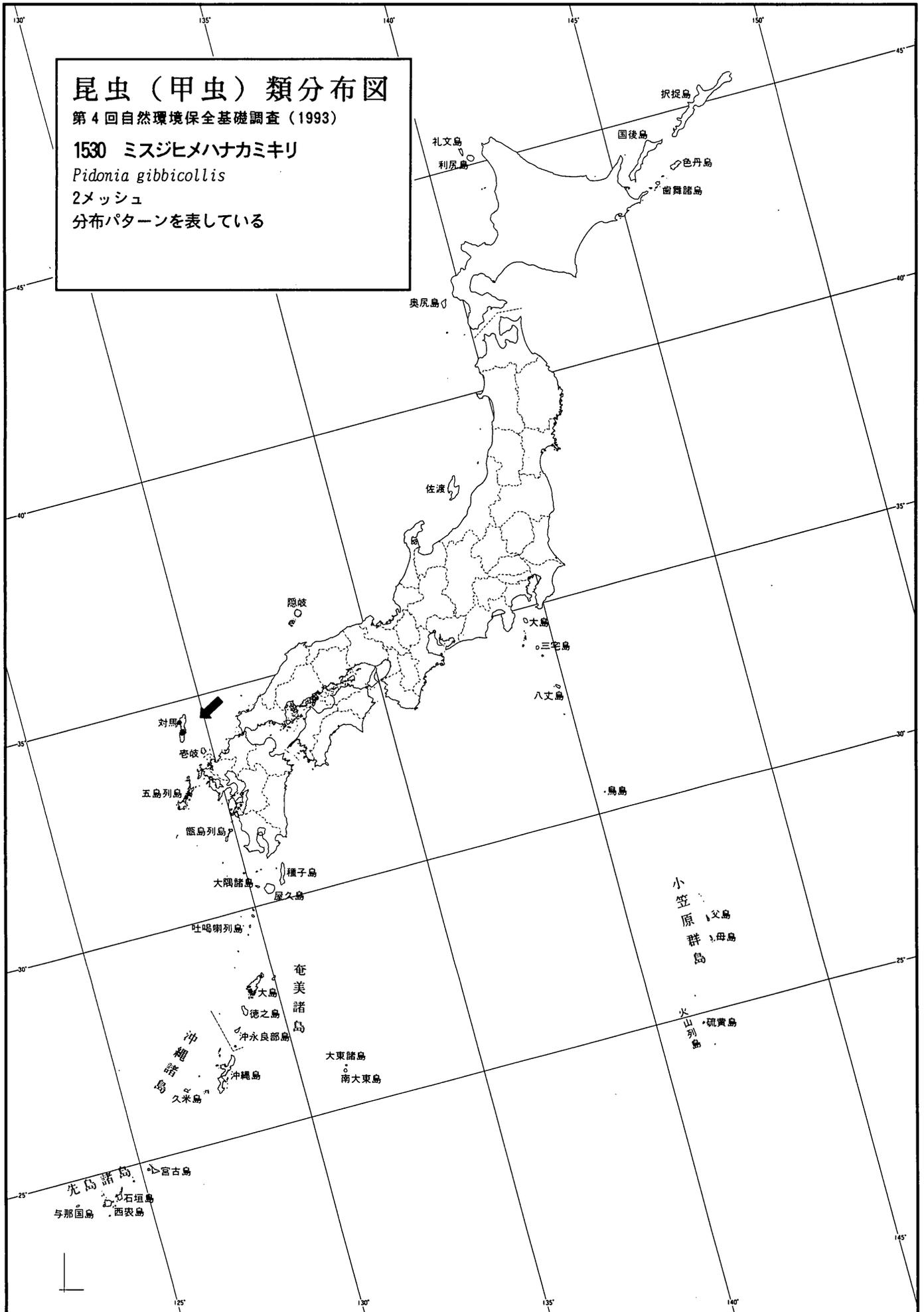
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1530 ミスジヒメハナカミキリ

*Pidonia gibbicollis*

2メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

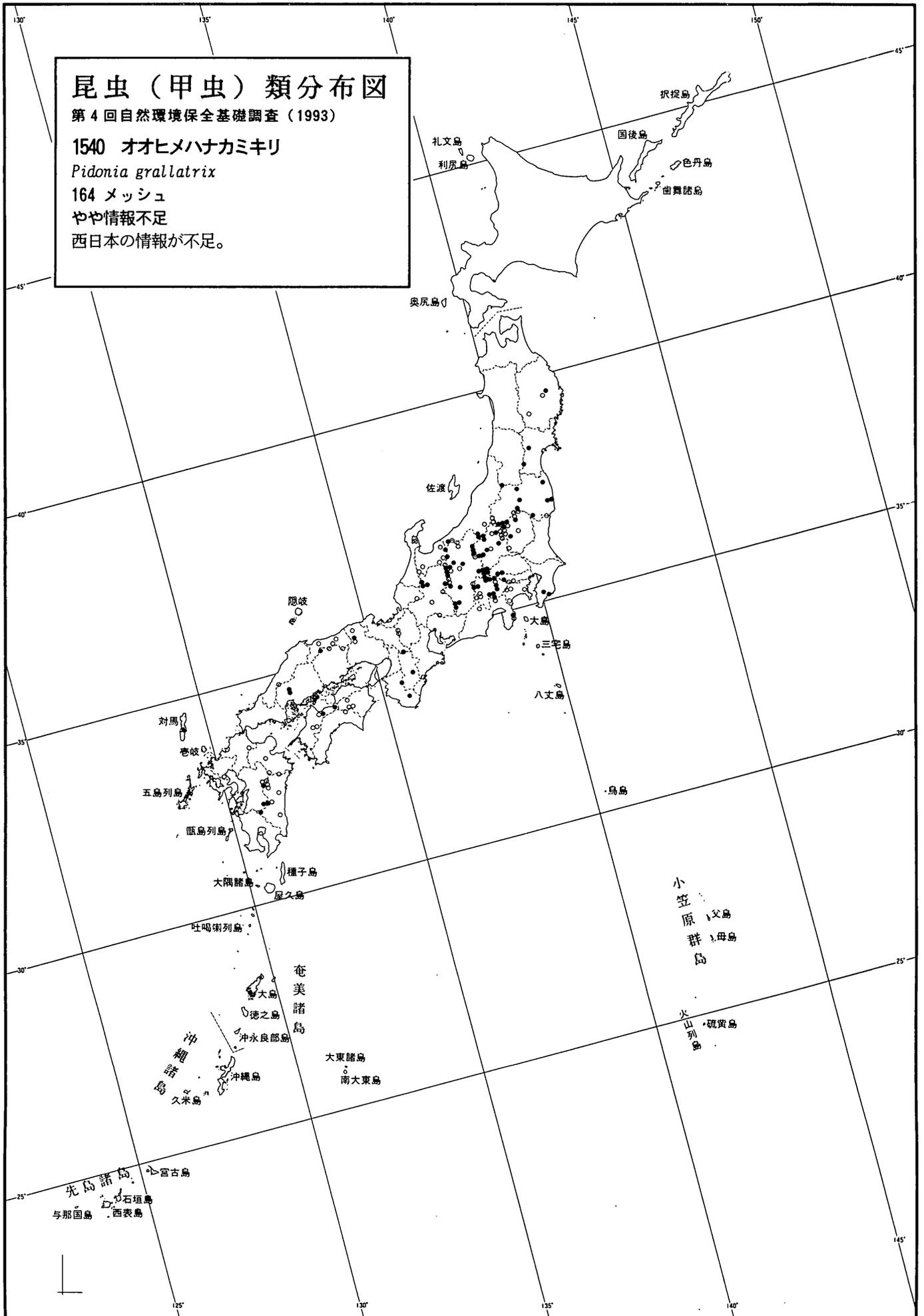
1540 オオヒメハナカミキリ

*Pidonia grallatrix*

164 メッシュ

やや情報不足

西日本の情報が不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

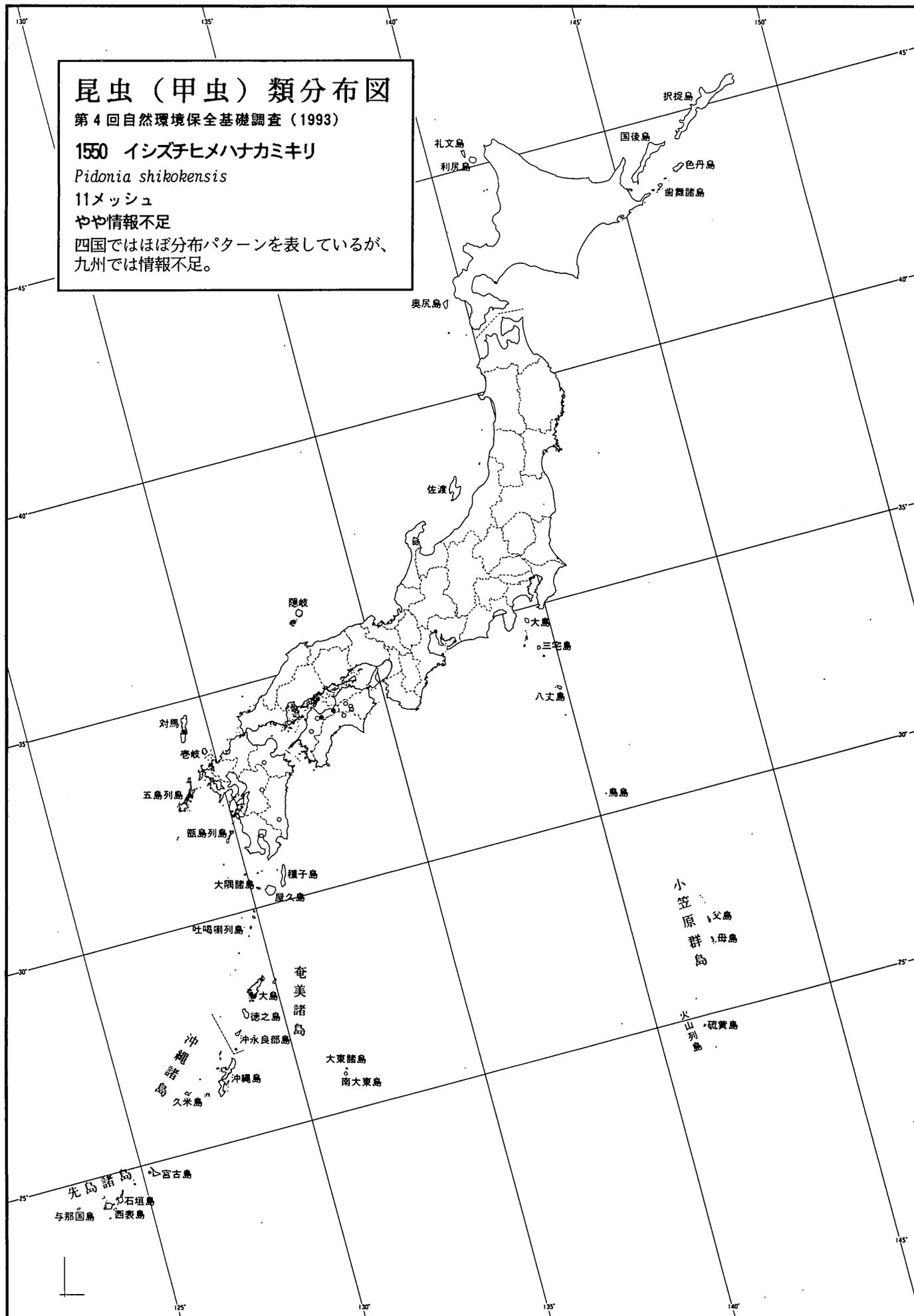
1550 イシズチヒメハナカミキリ

*Pidonia shikokensis*

11メッシュ

やや情報不足

四国ではほぼ分布パターンを表しているが、九州では情報不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

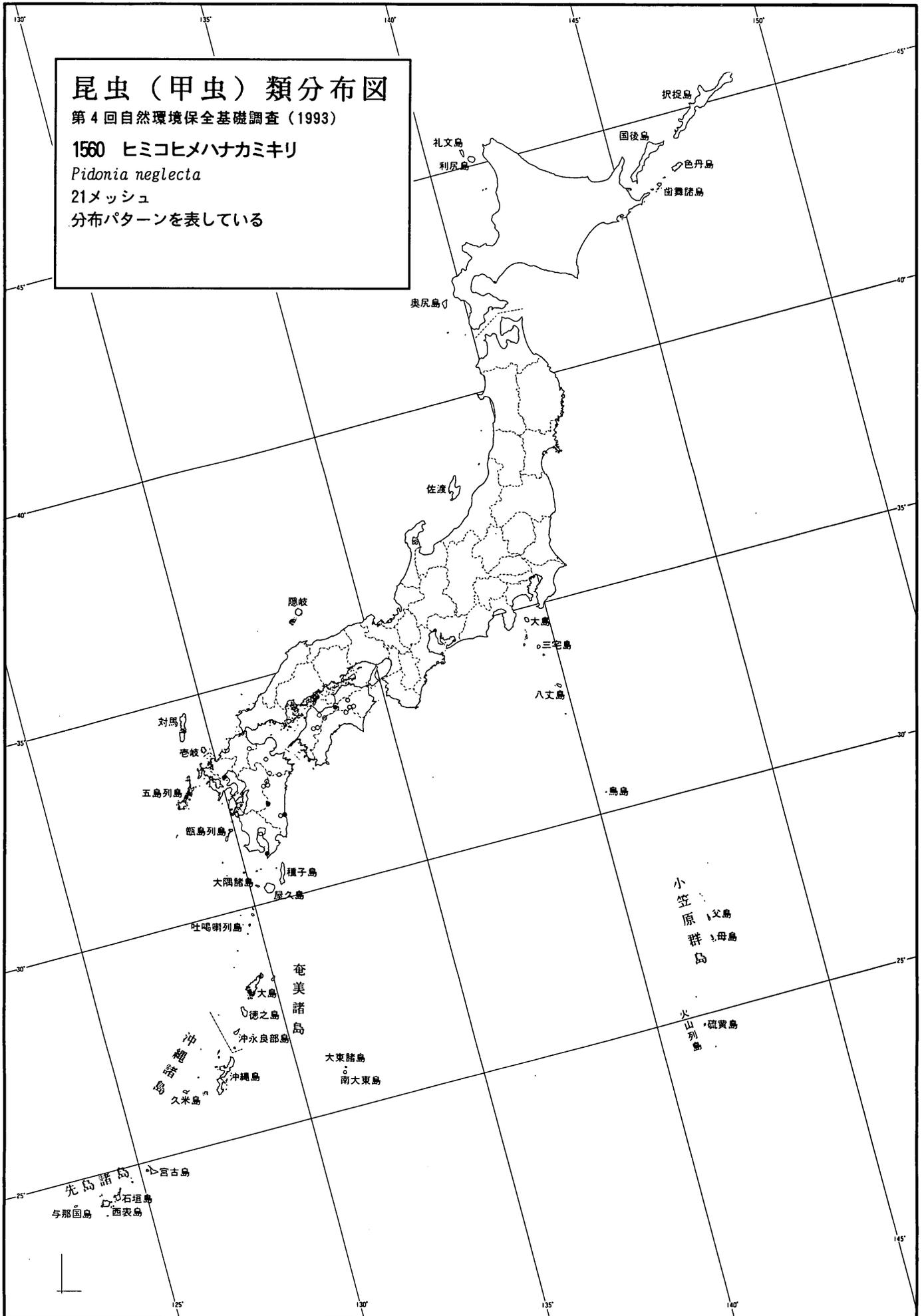
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1560 ヒミコヒメハナカミキリ

*Pidonia neglecta*

21メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

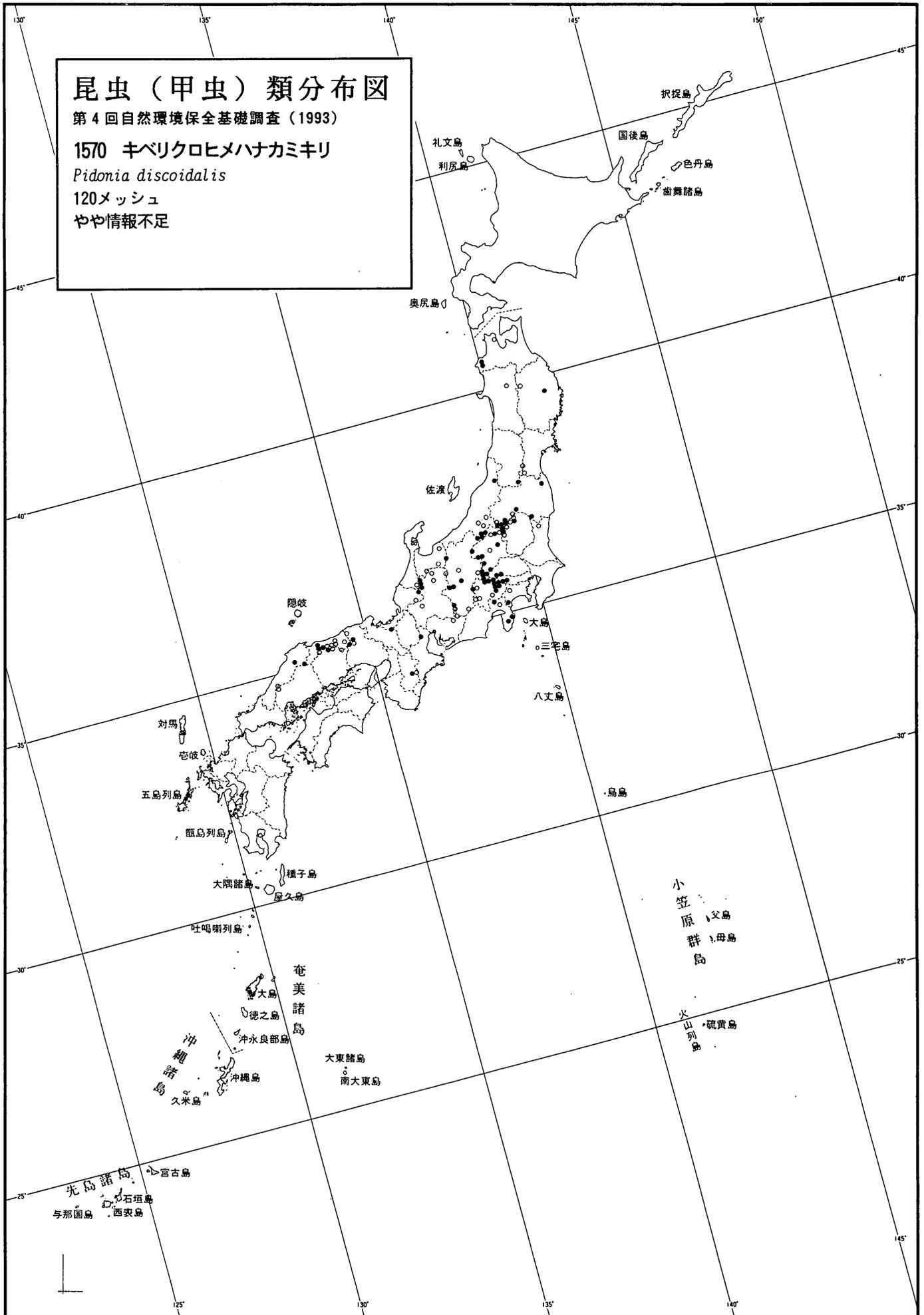
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1570 キベリクロヒメハナカミキリ

*Pidonia discoidalis*

120メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

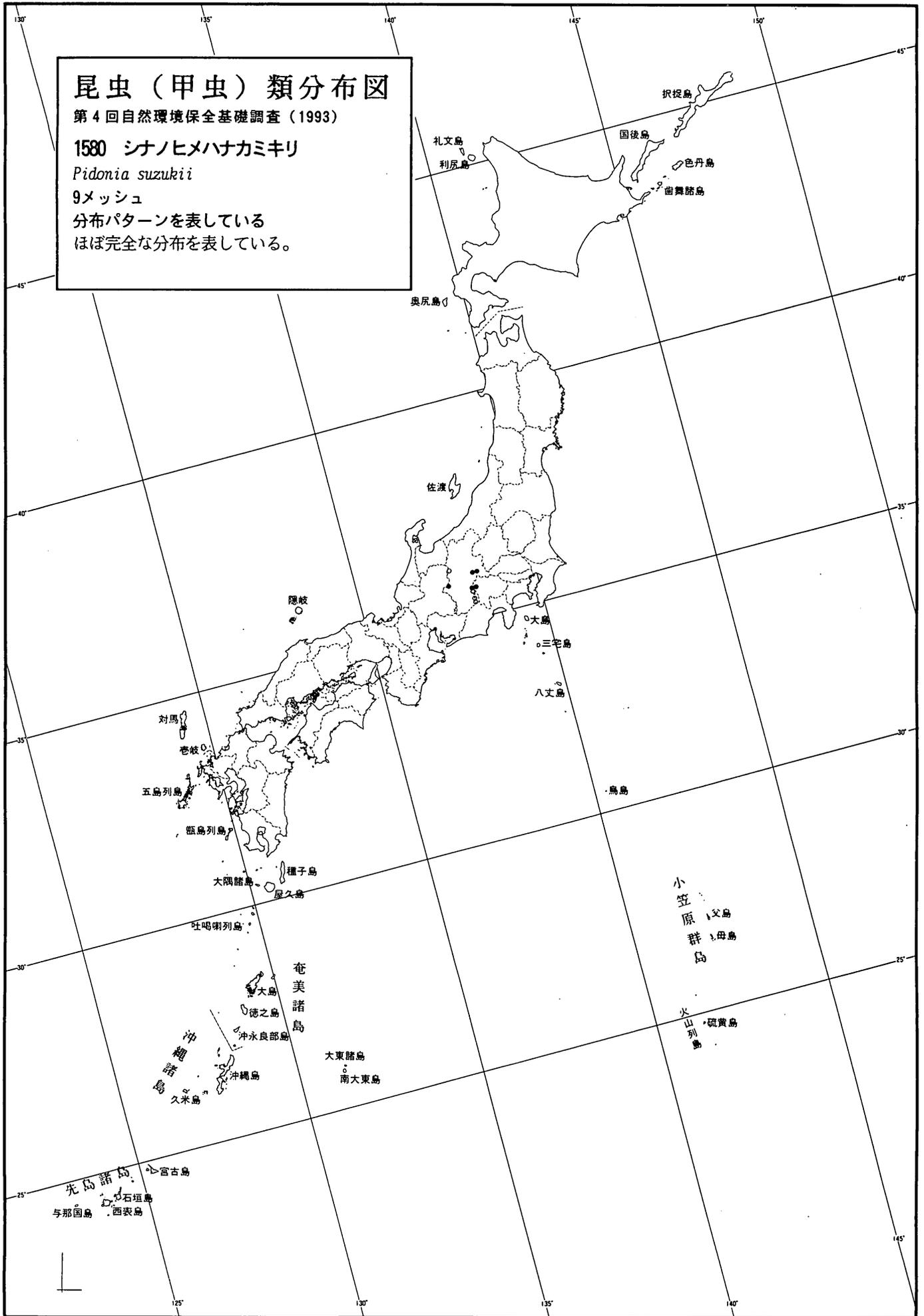
1580 シナノヒメハナカミキリ

*Pidonia suzukii*

9メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

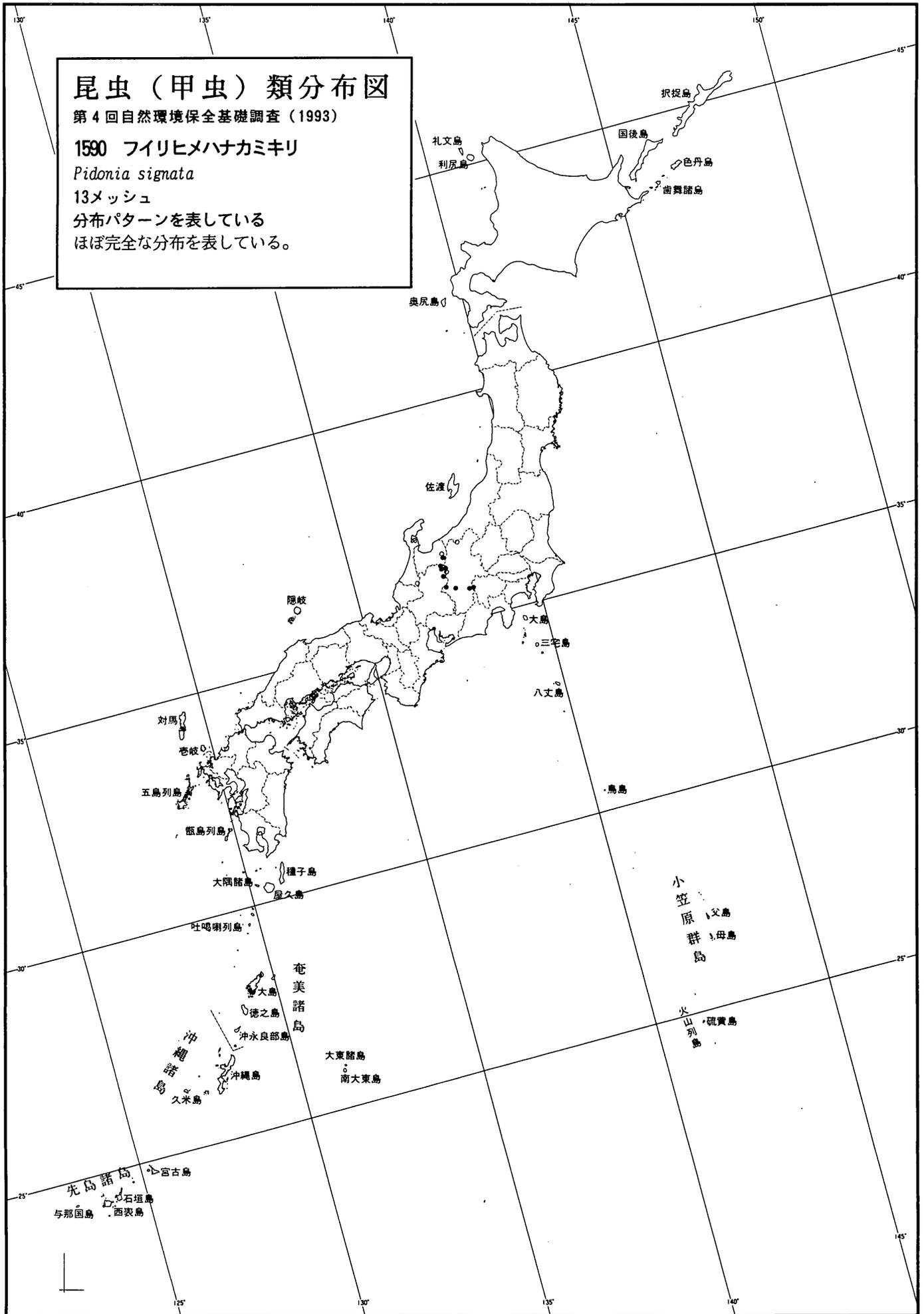
1590 フイリヒメハナカミキリ

*Pidonia signata*

13メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

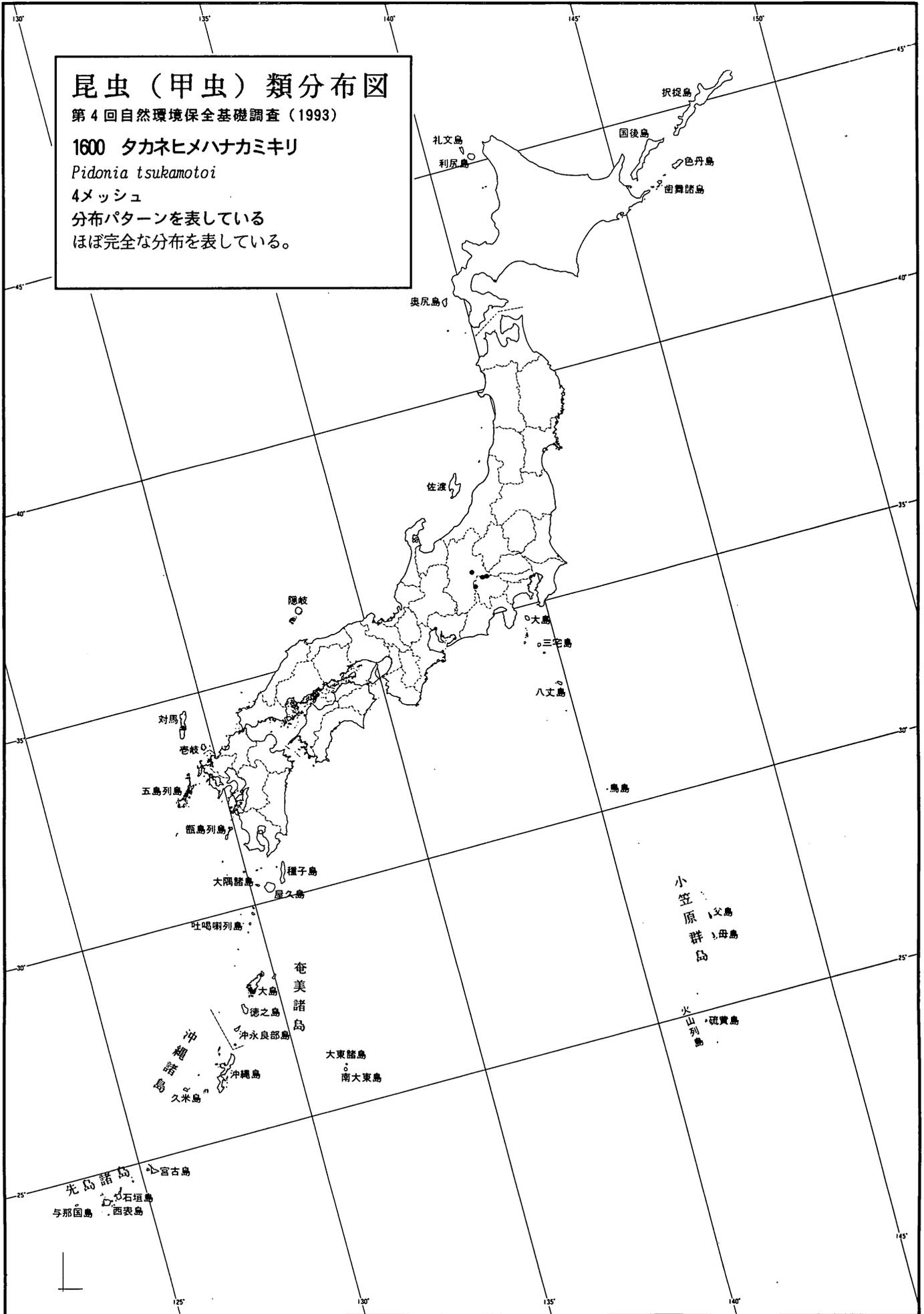
1600 タカネヒメハナカミキリ

*Pidonia tsukamotoi*

4メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ完全な分布を表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

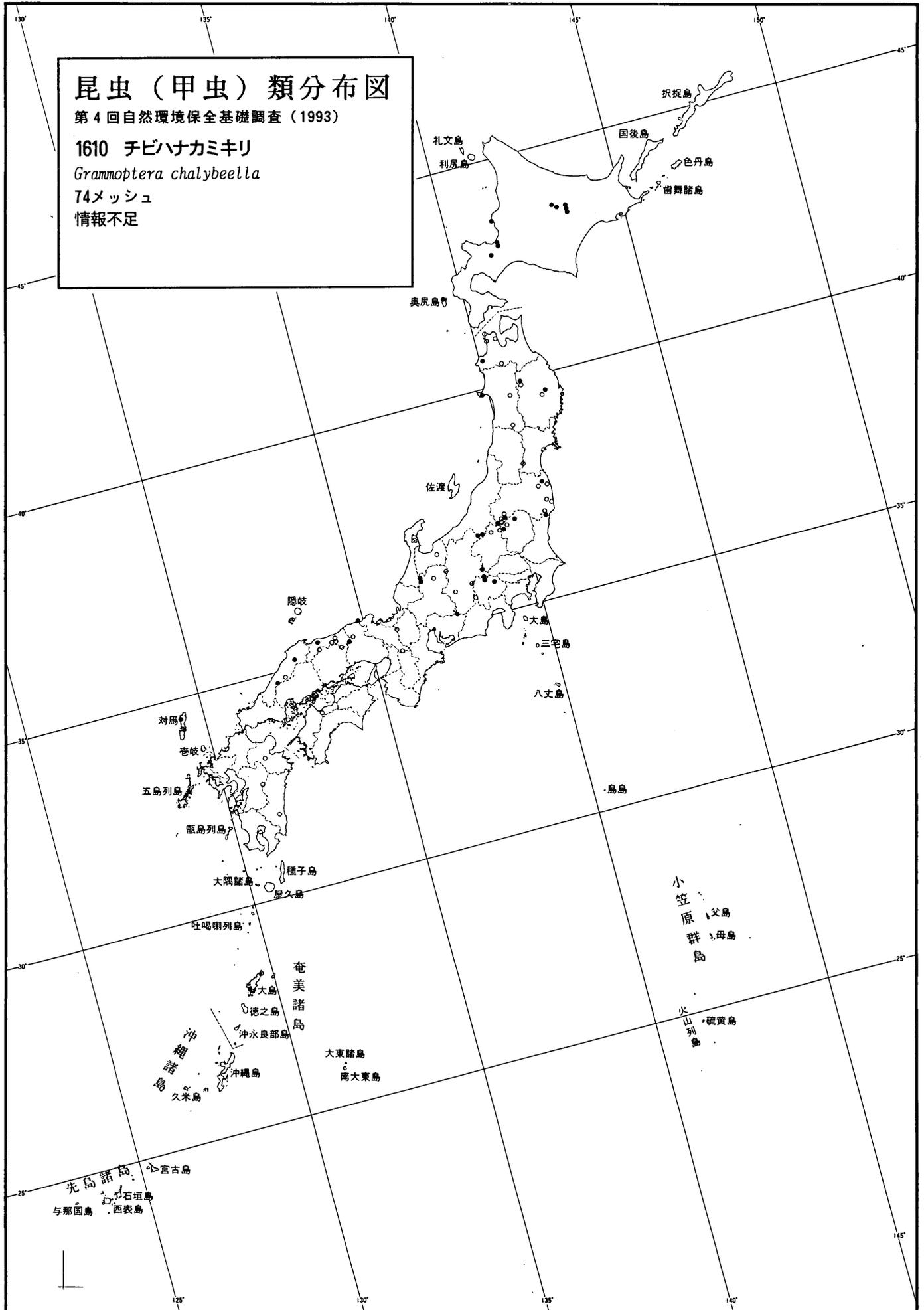
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1610 チビハナカミキリ

*Grammoptera chalybeella*

74メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

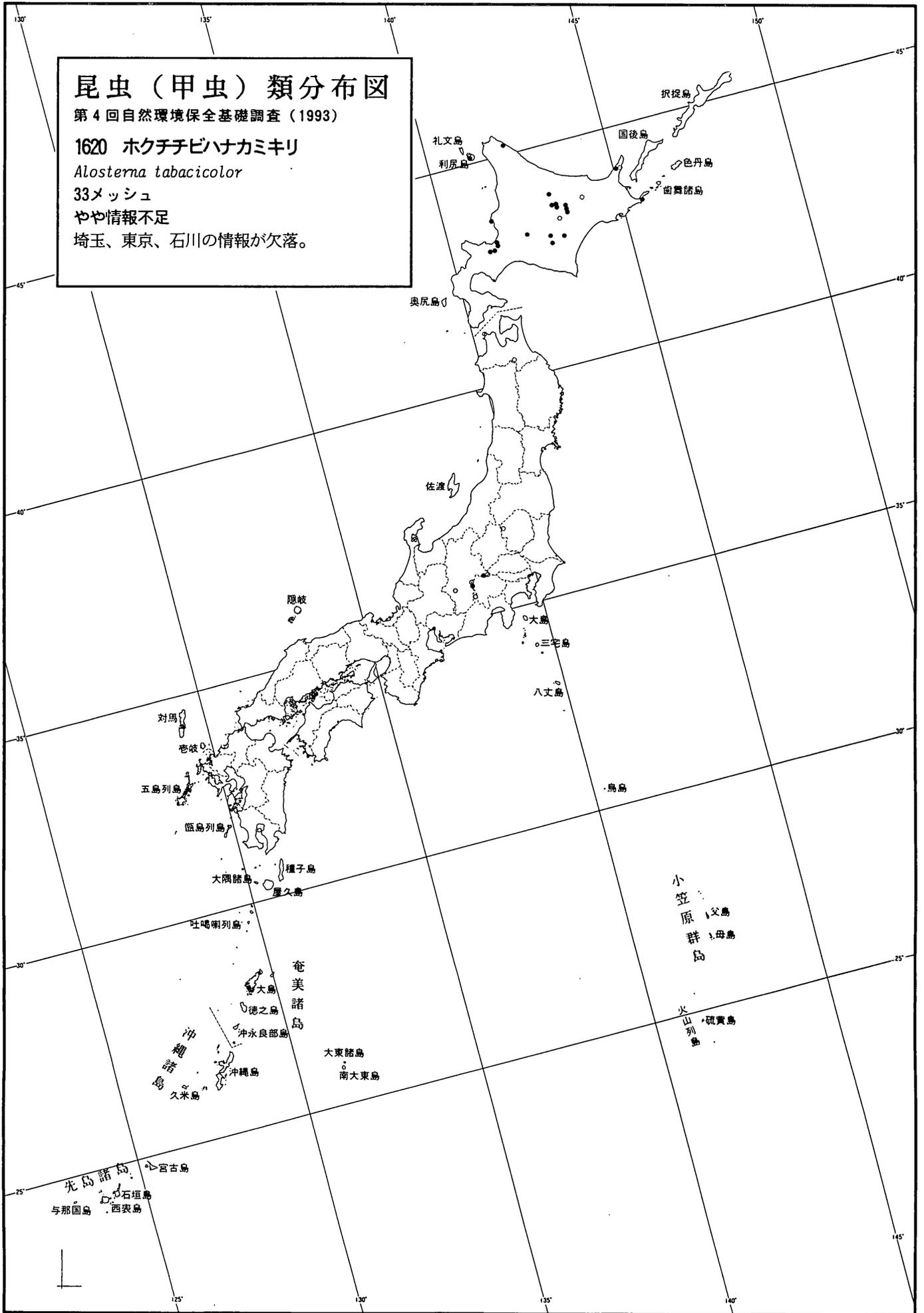
## 1620 ホクチチビハナカミキリ

*Alosterna tabacicolor*

33メッシュ

やや情報不足

埼玉、東京、石川の情報が欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

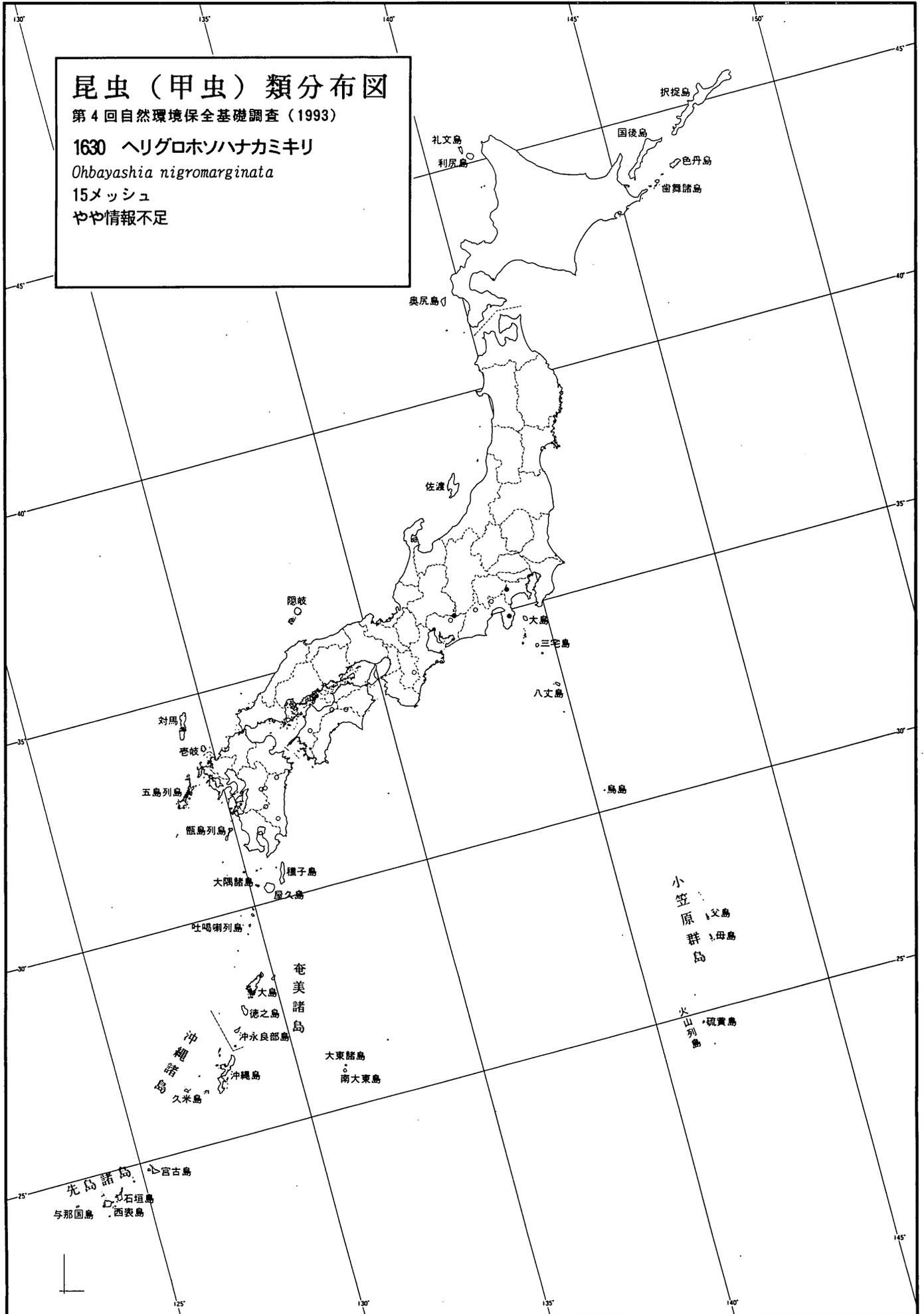
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1630 ヘリグロホソハナカミキリ

*Ohbayashia nigromarginata*

15メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

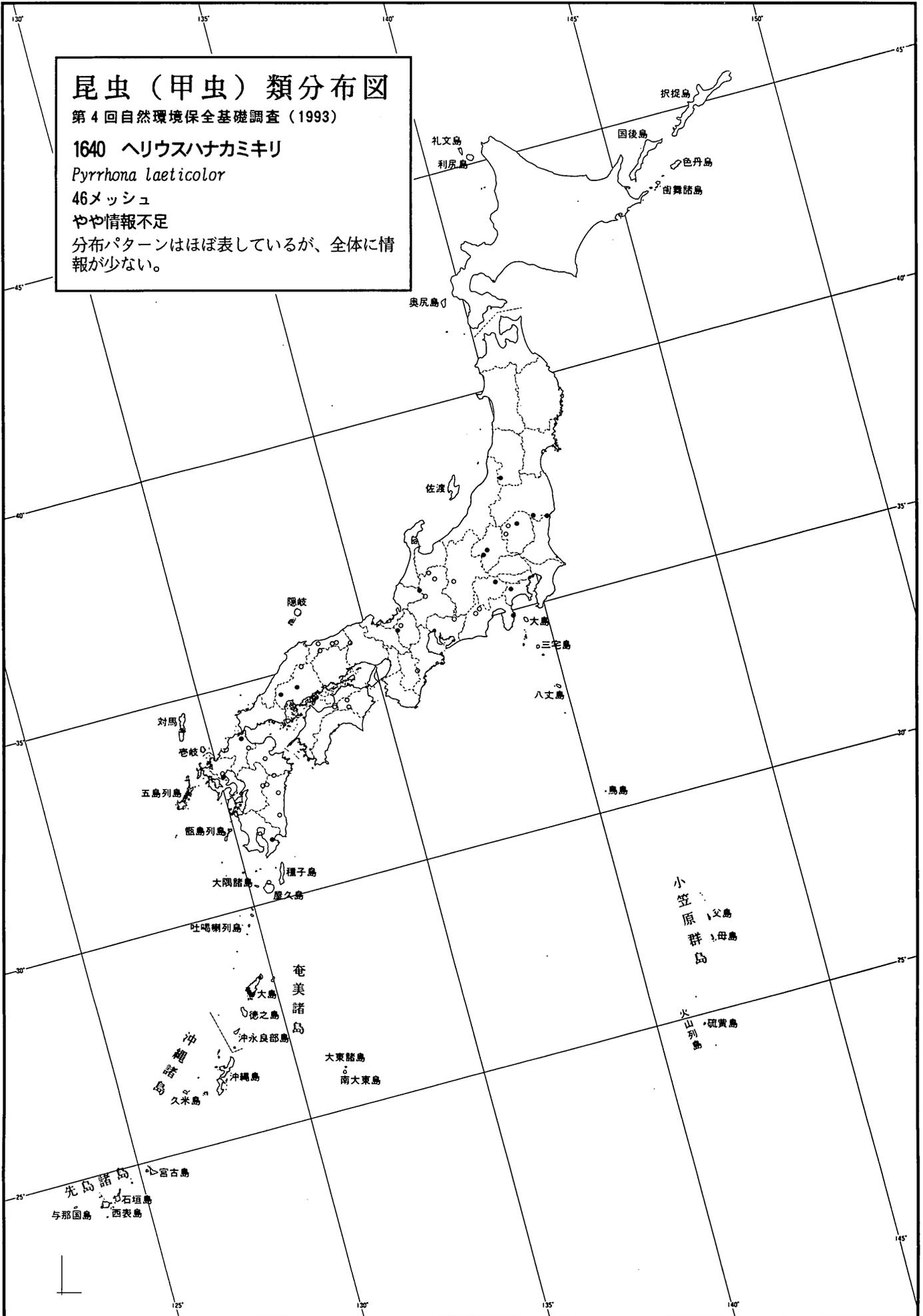
## 1640 ヘリウスハナカミキリ

*Pyrrhona laeticolor*

46メッシュ

やや情報不足

分布パターンはほぼ表しているが、全体に情報が少ない。



# 昆虫（甲虫）類分布図

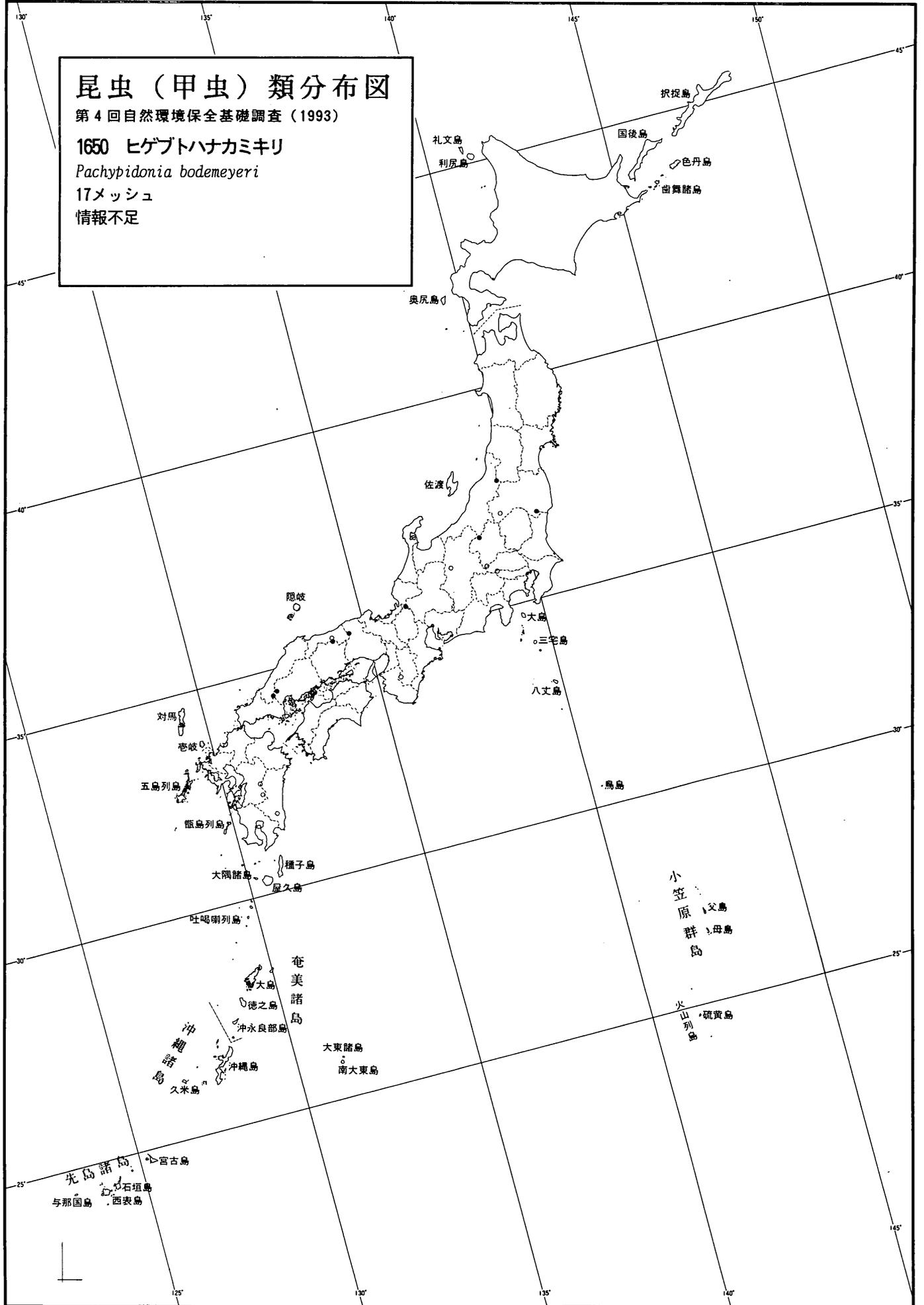
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1650 ヒゲブトハナカミキリ

*Pachypidonia bodemeyeri*

17メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

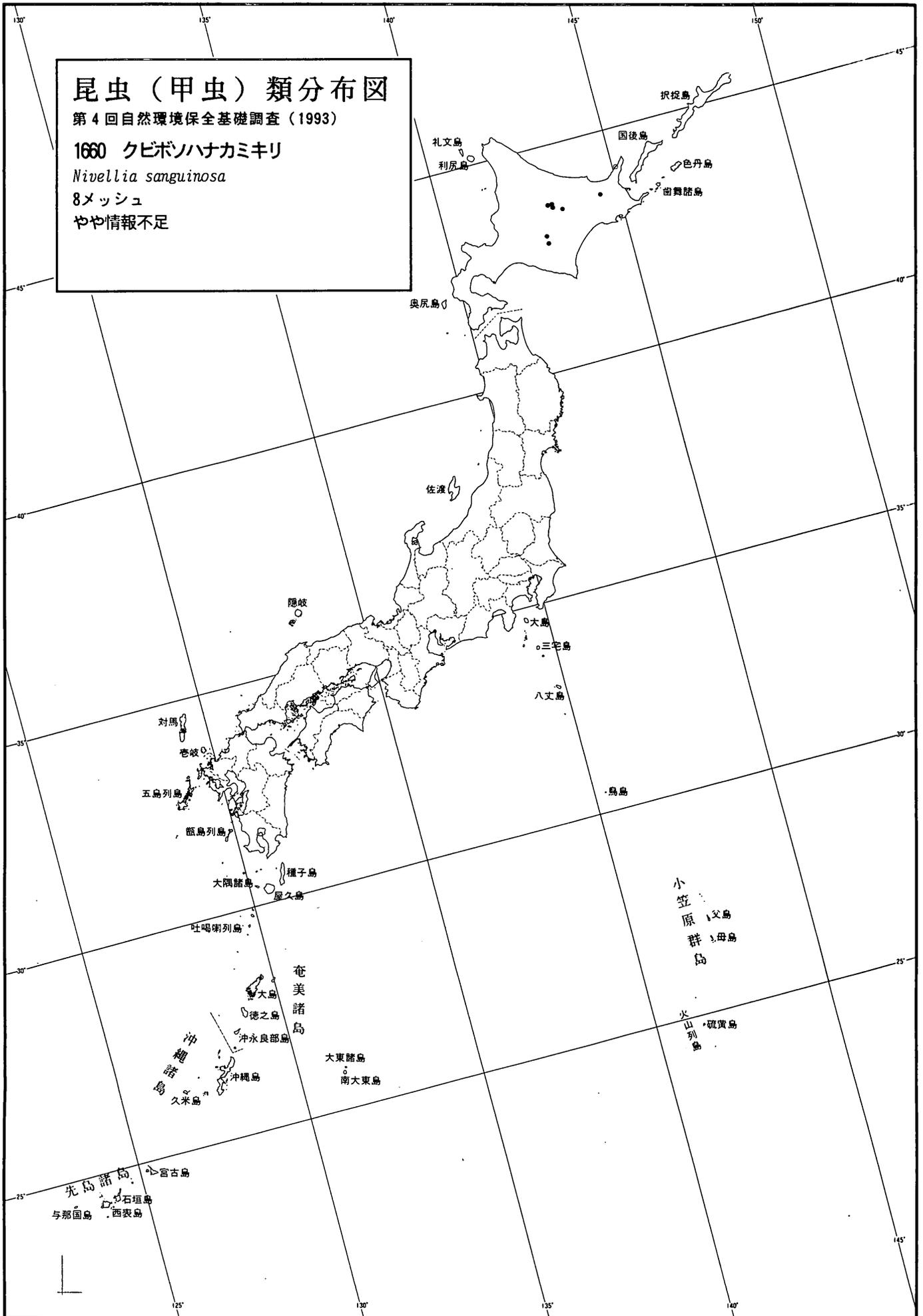
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1660 クビボソハナカミキリ

*Nivellia sanguinosa*

8メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

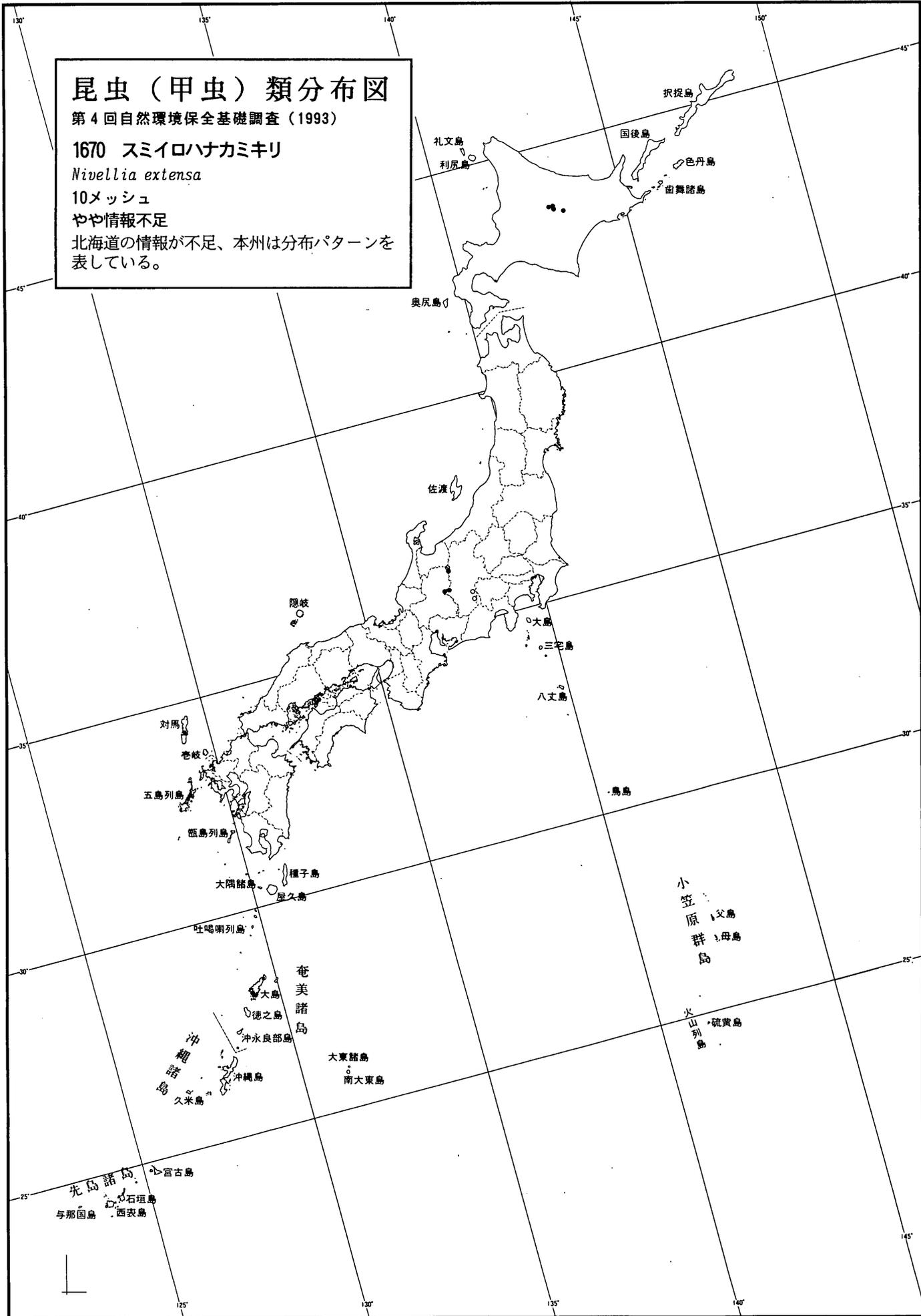
1670 スミロハナカミキリ

*Nivellia extensa*

10メッシュ

やや情報不足

北海道の情報が不足、本州は分布パターンを表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

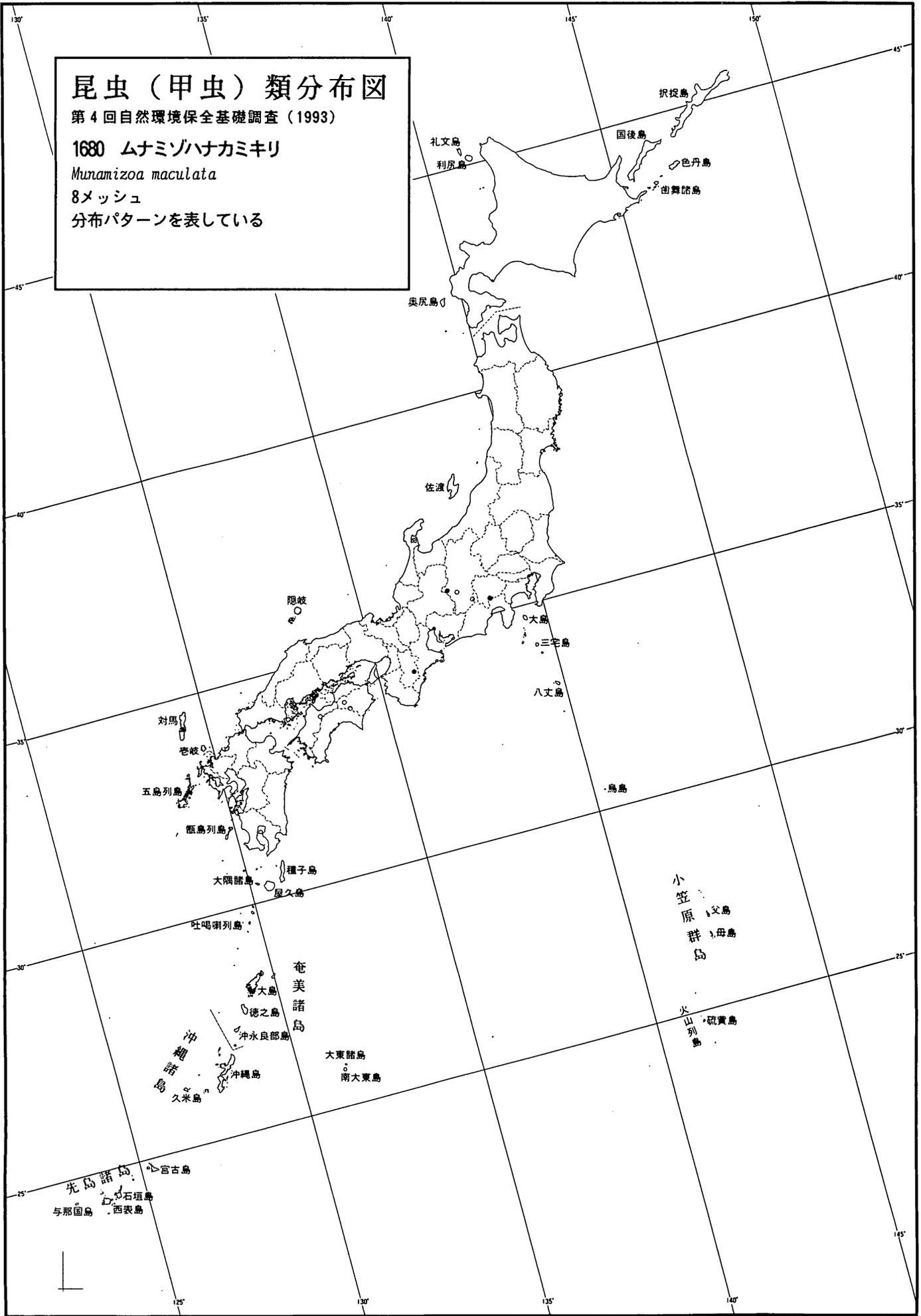
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1680 ムナミゾハナカミキリ

*Munamizoa maculata*

8メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

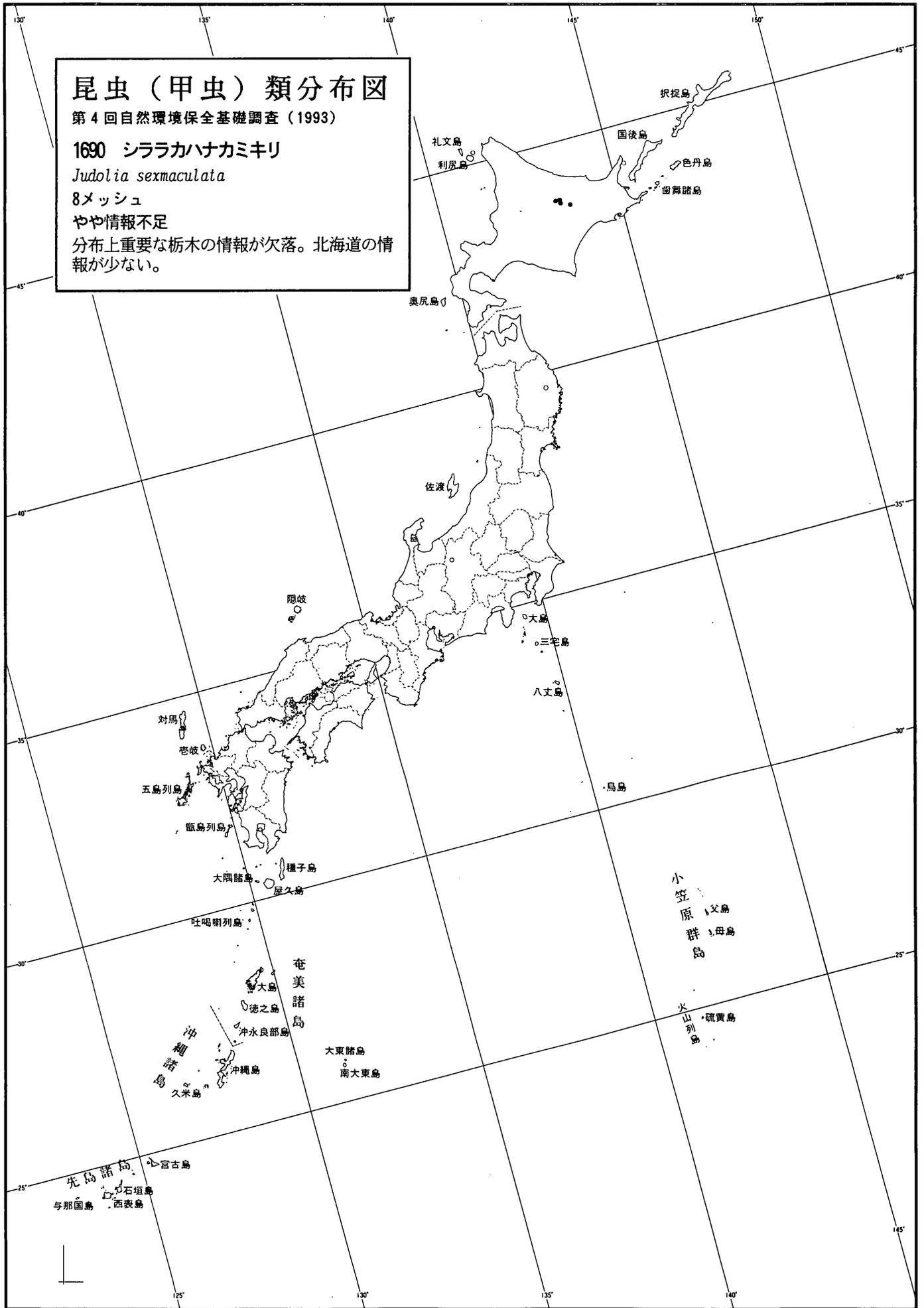
## 1690 シラカハナカミキリ

*Judolia sexmaculata*

8メッシュ

やや情報不足

分布上重要な朽木の情報が欠落。北海道の情報が少ない。



# 昆虫（甲虫）類分布図

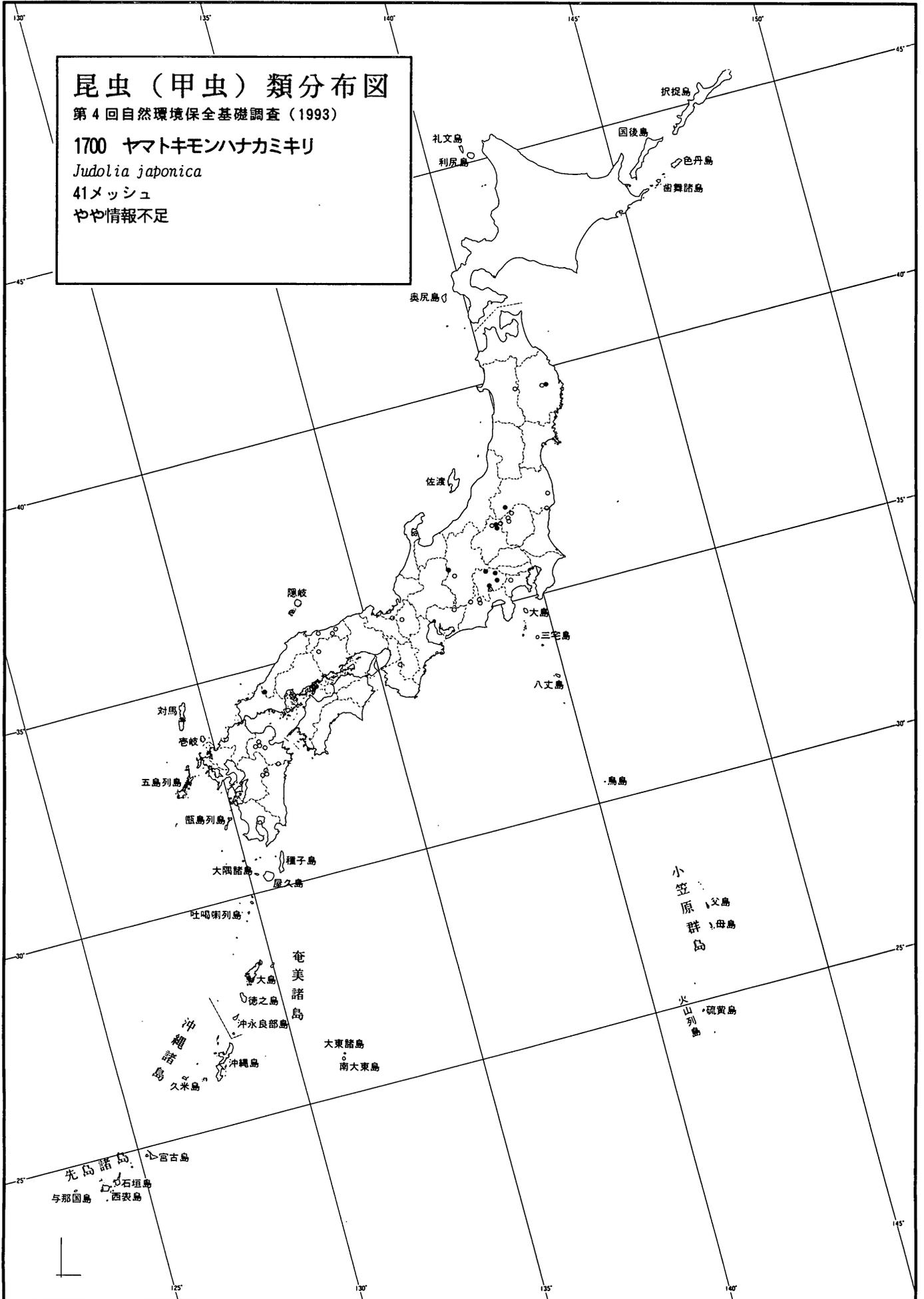
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1700 ヤマトキモンハナカミキリ

*Judolia japonica*

41メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

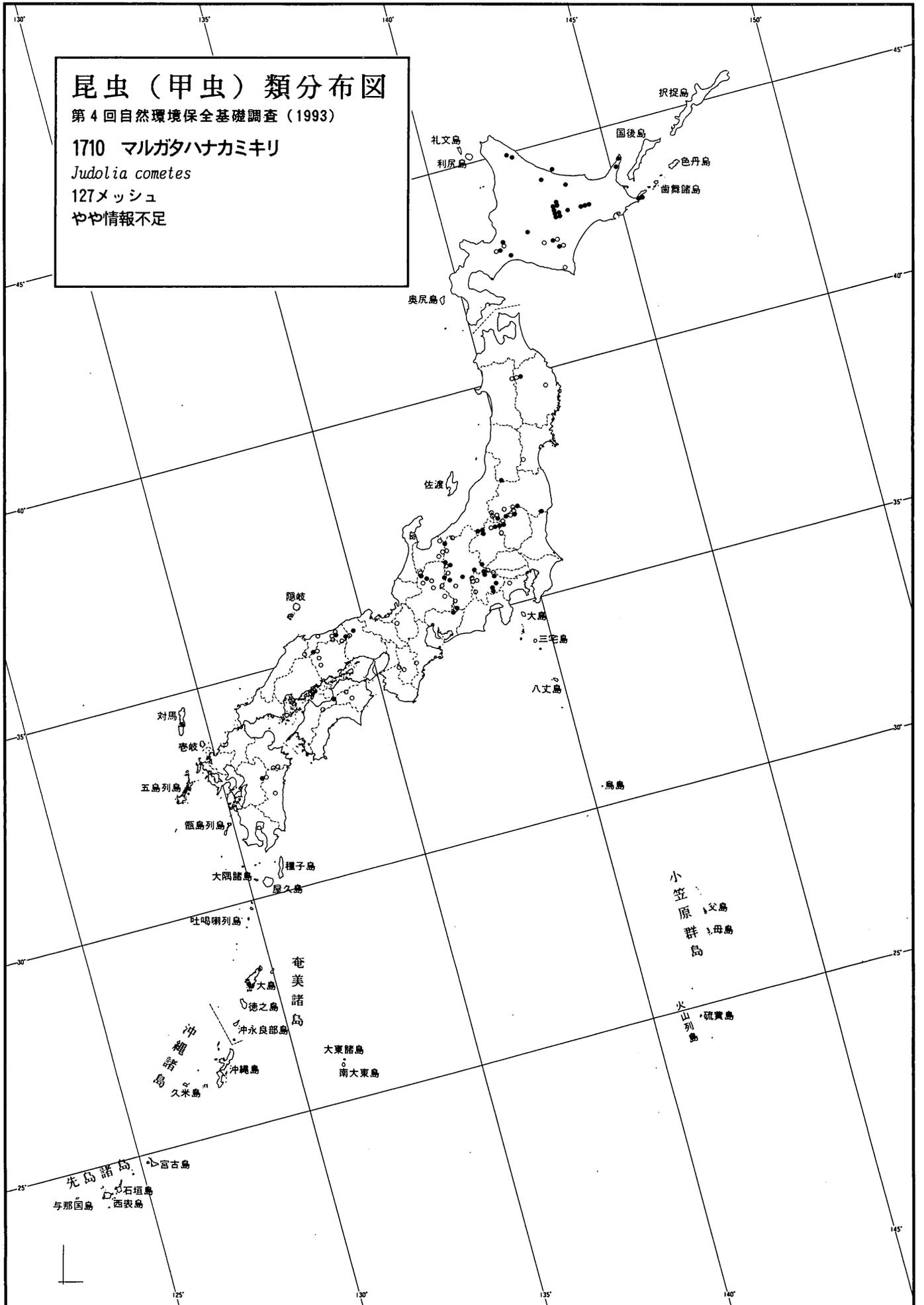
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1710 マルガタハナカミキリ

*Judolia cometes*

127メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

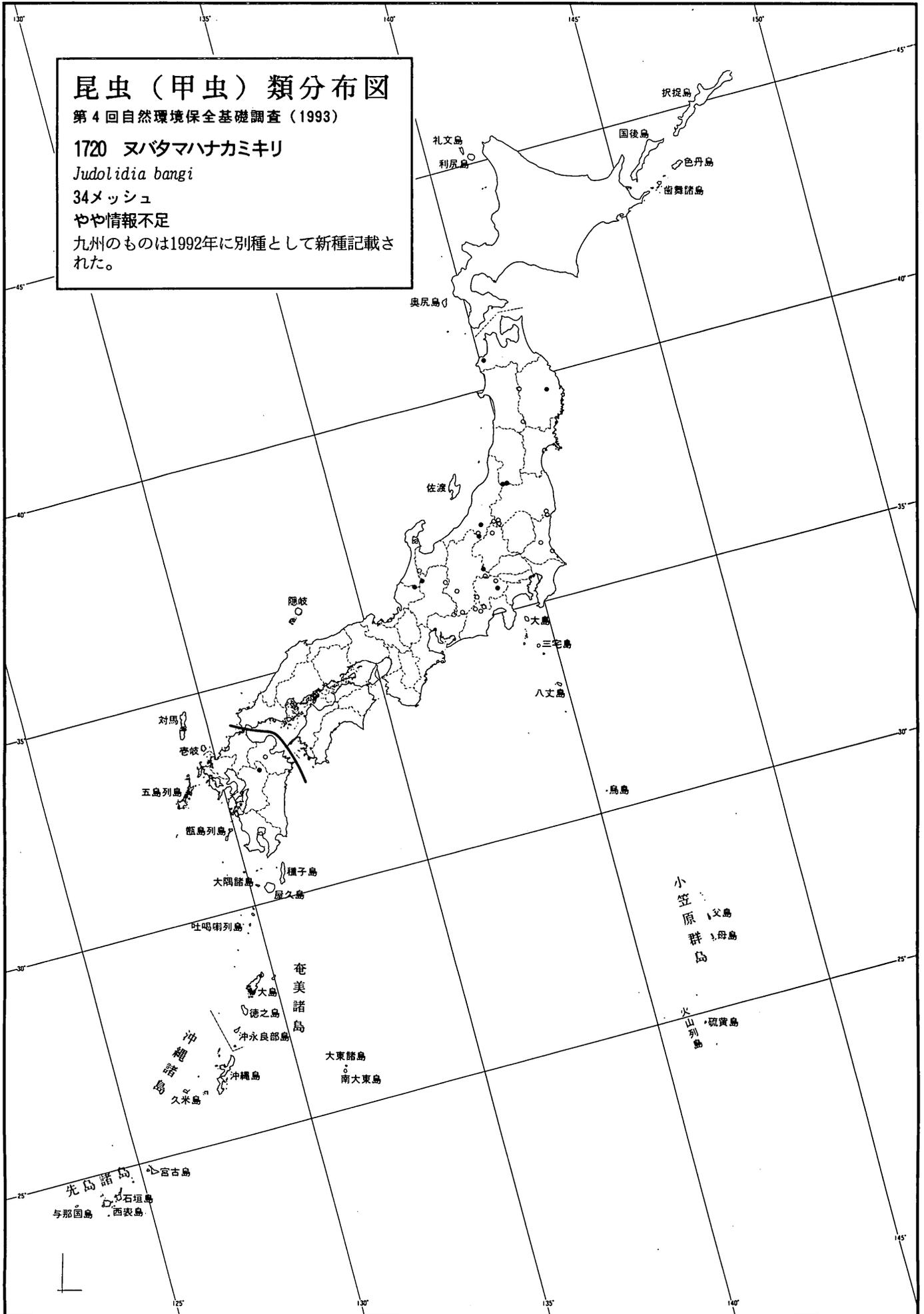
1720 ヌバタマハナカミキリ

*Judolia bangi*

34メッシュ

やや情報不足

九州のものは1992年に別種として新種記載された。



# 昆虫（甲虫）類分布図

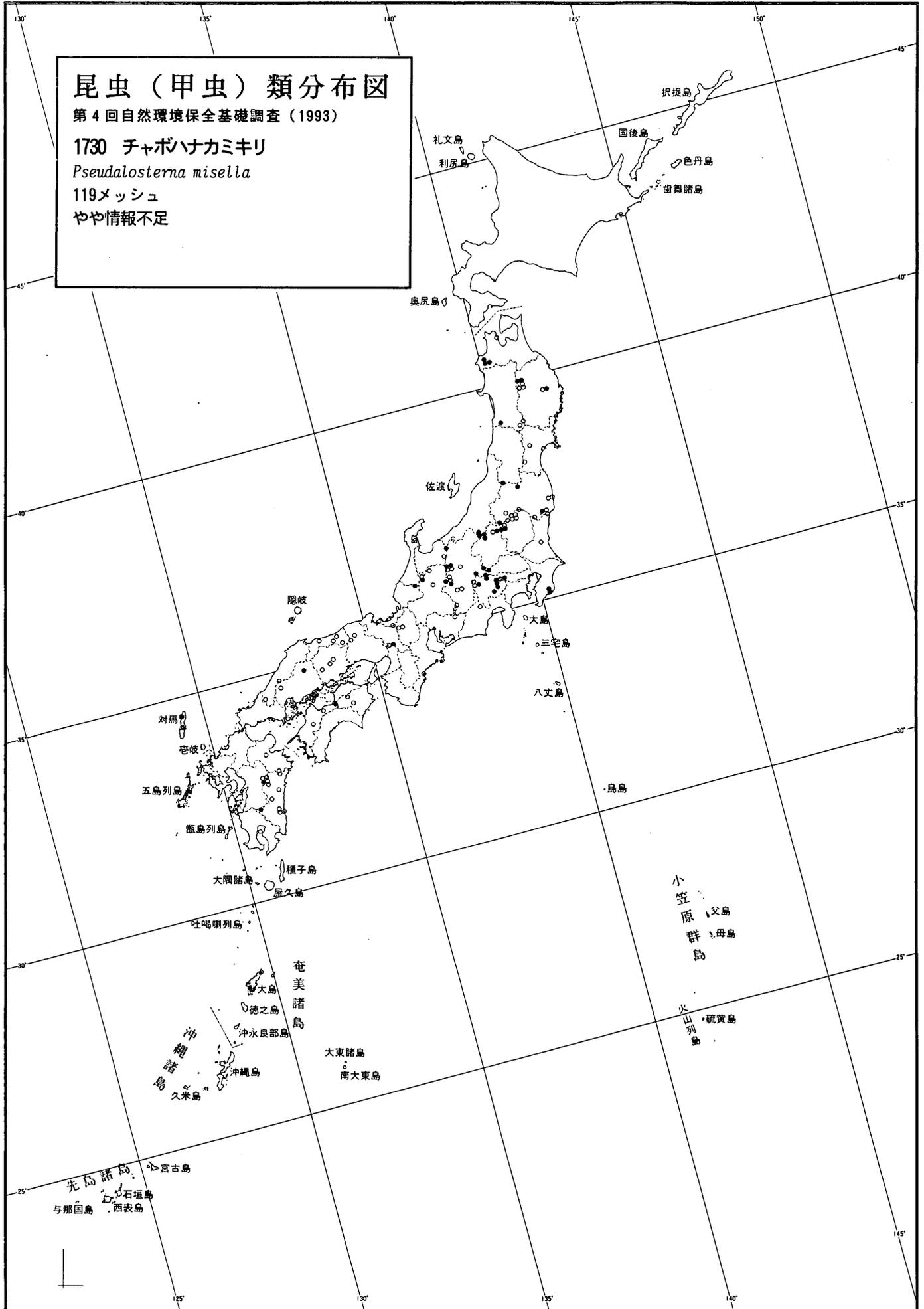
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1730 チャボイナカミキリ

*Pseudalosterna misella*

119メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

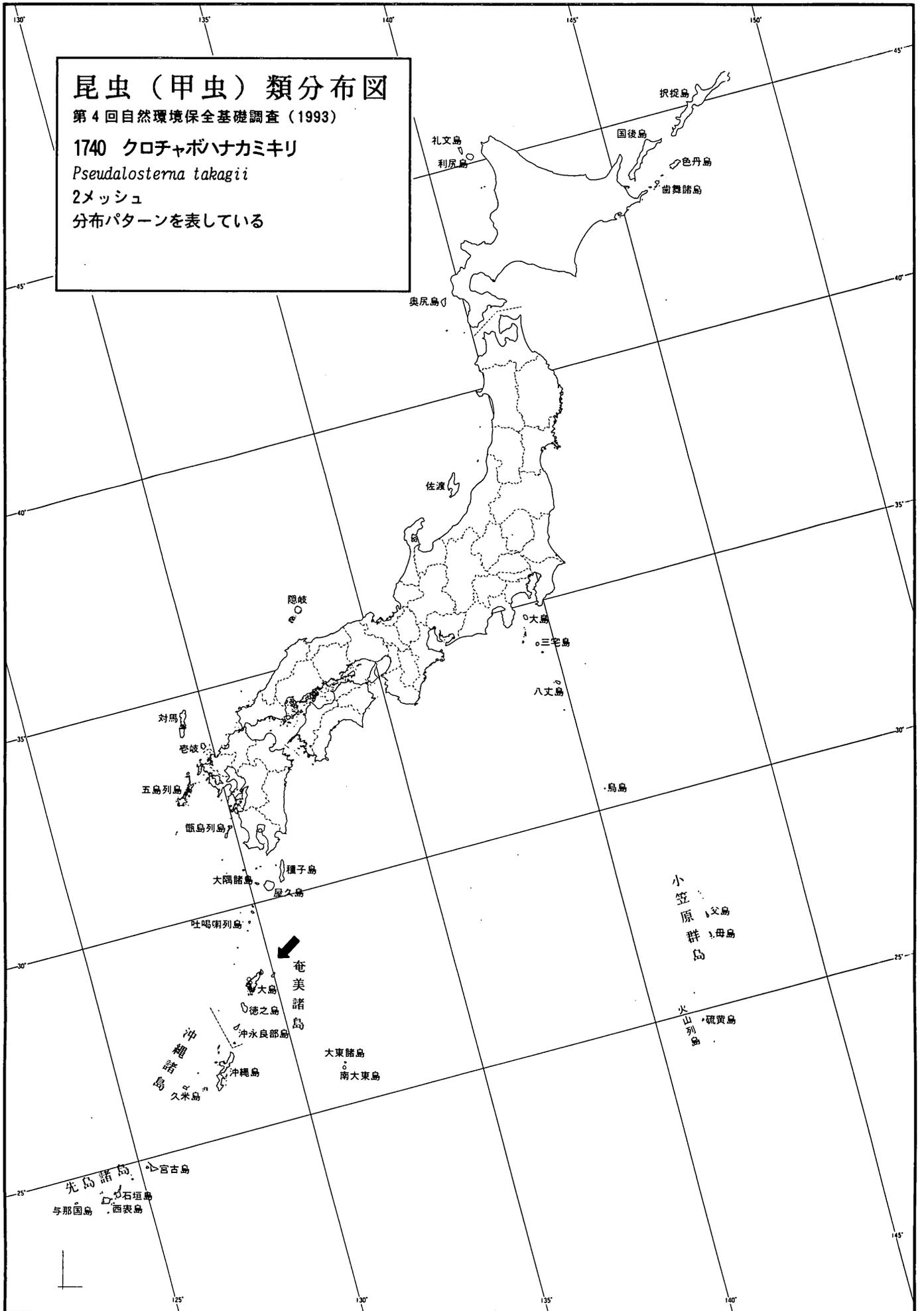
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1740 クロチャボハナカミキリ

*Pseudalosterna takagii*

2メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

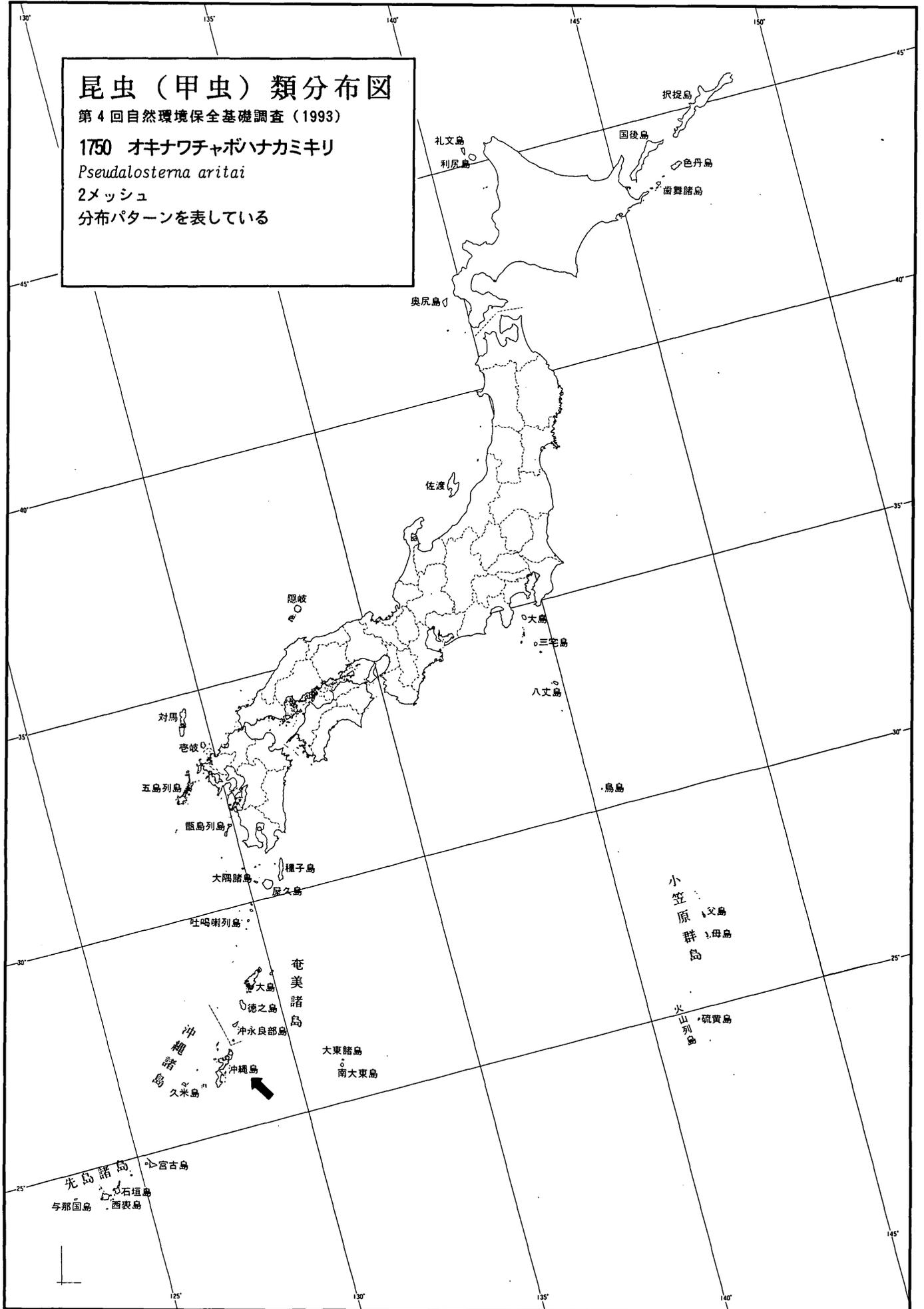
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1750 オキナワチャボハナカミキリ

*Pseudalosterna aritai*

2メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

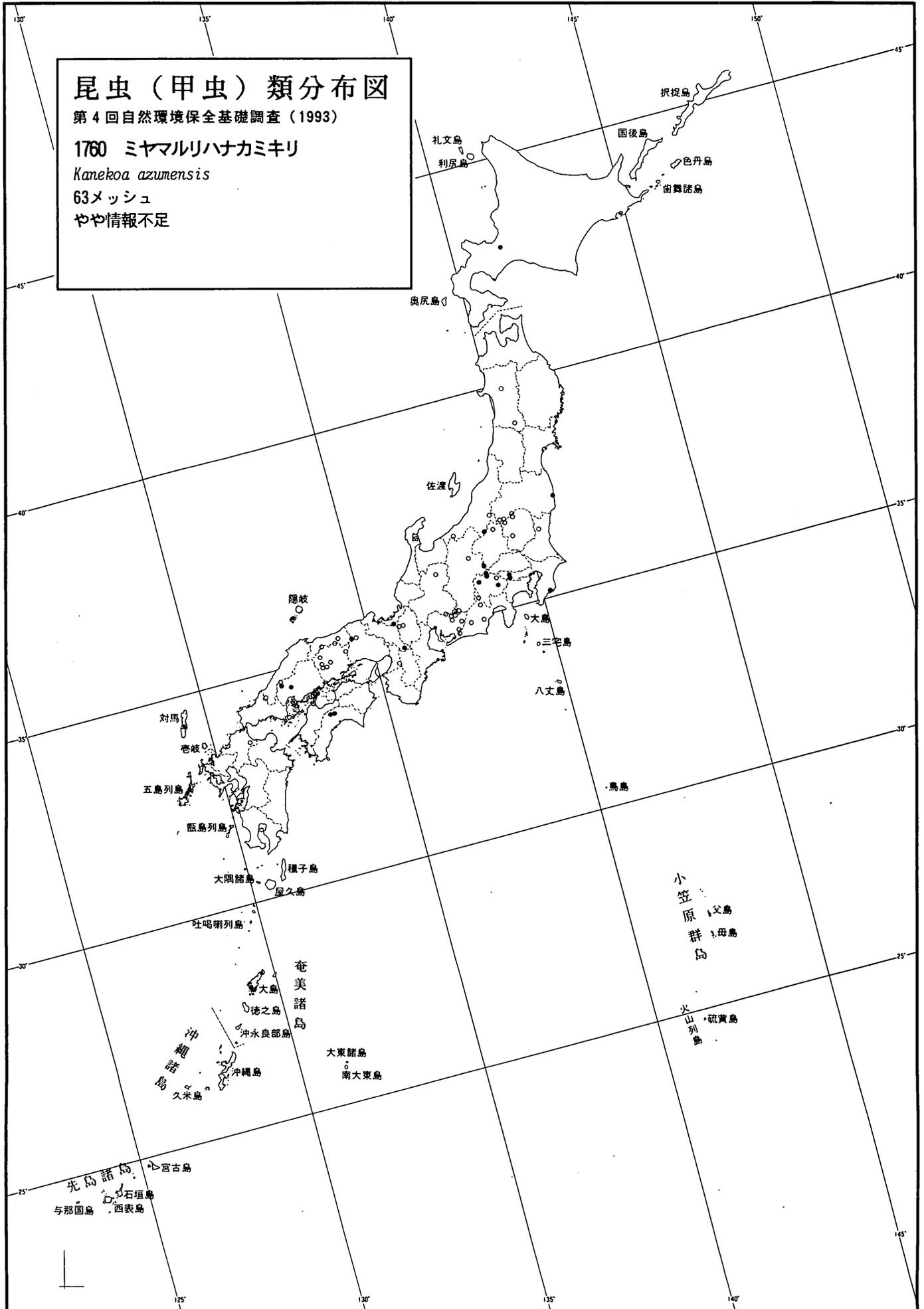
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1760 ミヤママルリハナカミキリ

*Kanekoia azumensis*

63メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

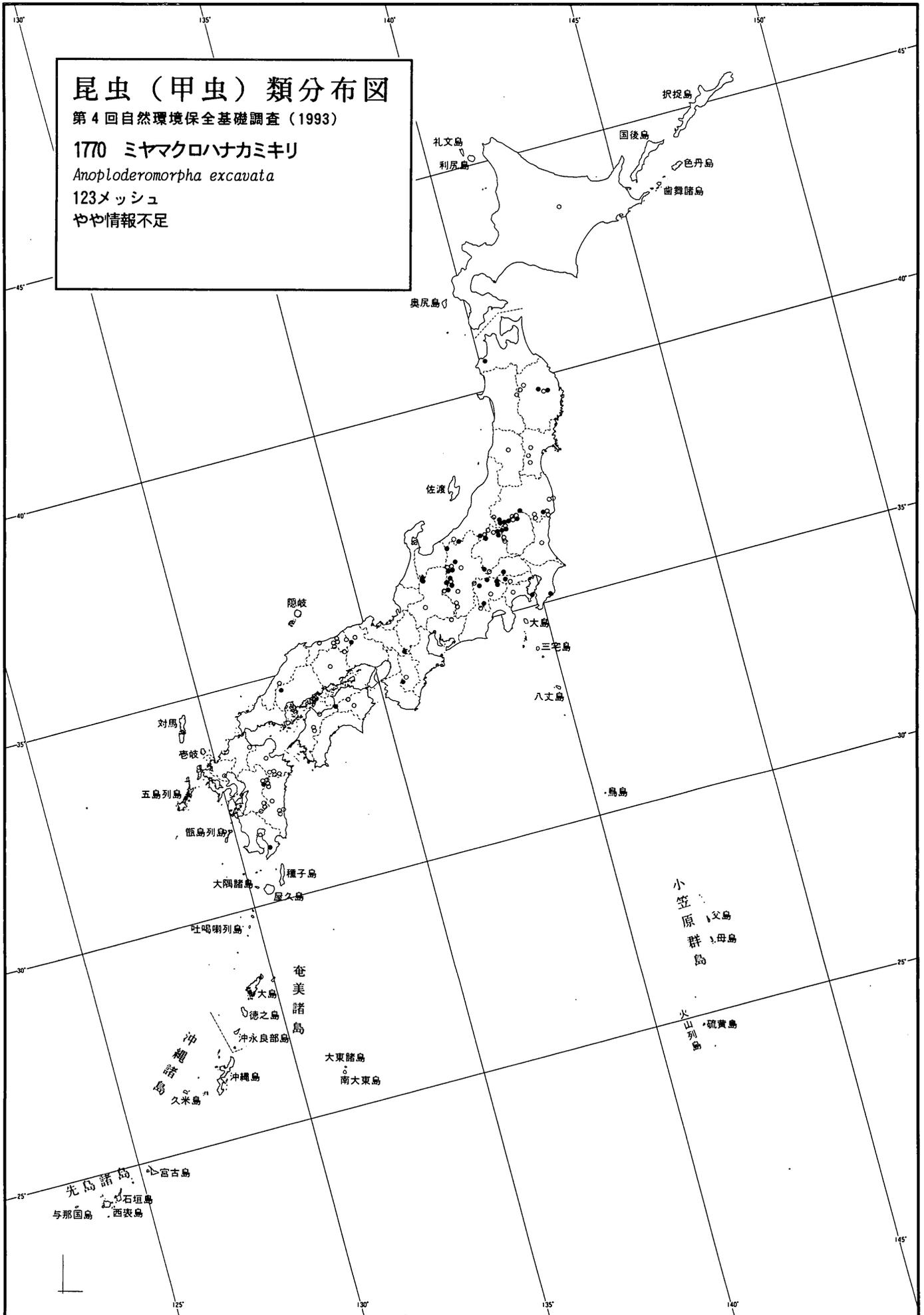
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1770 ミヤマクロハナカミキリ

*Anoploderomorpha excavata*

123メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

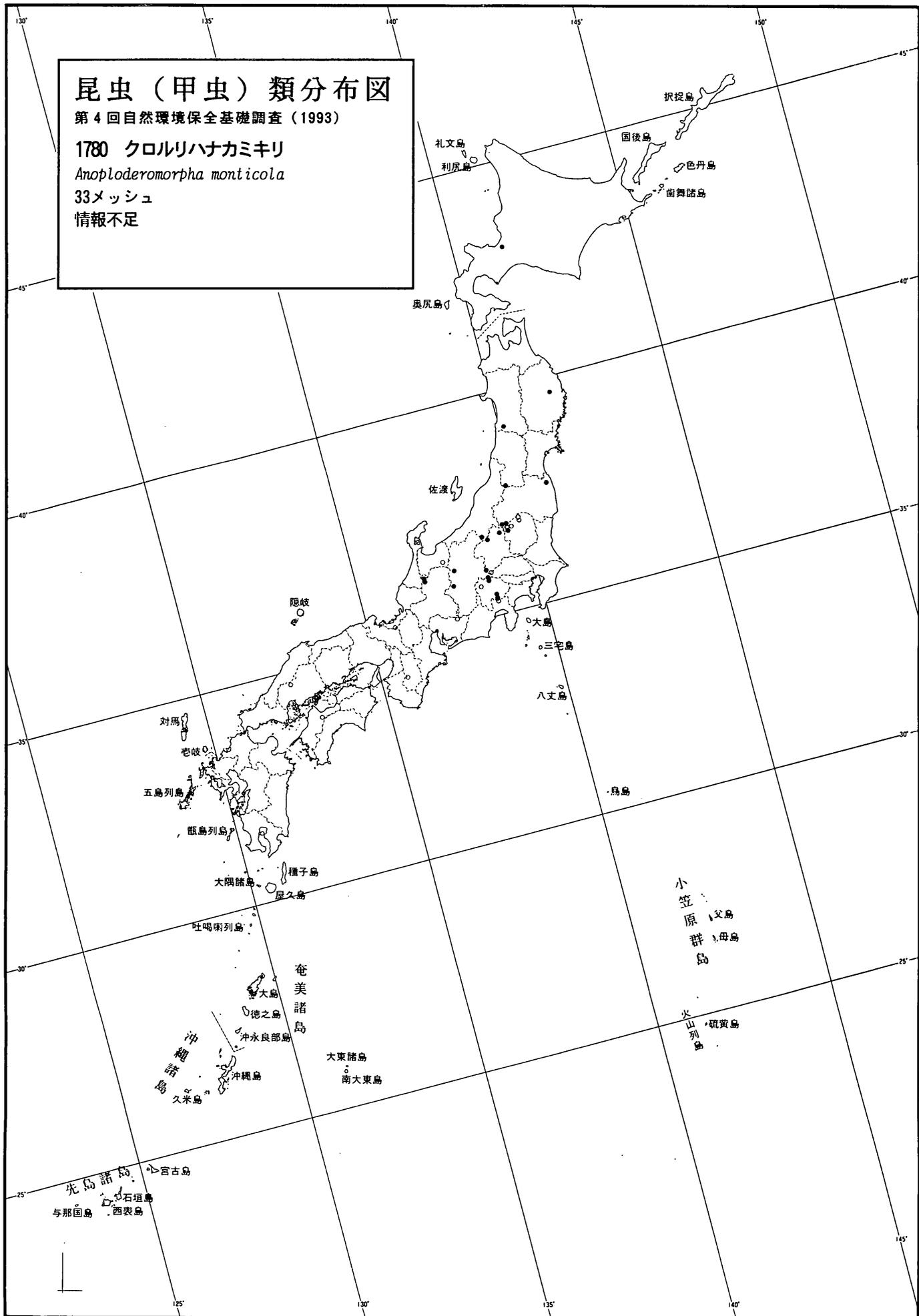
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1780 クロルリハナカミキリ

*Anoploderomorpha monticola*

33メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

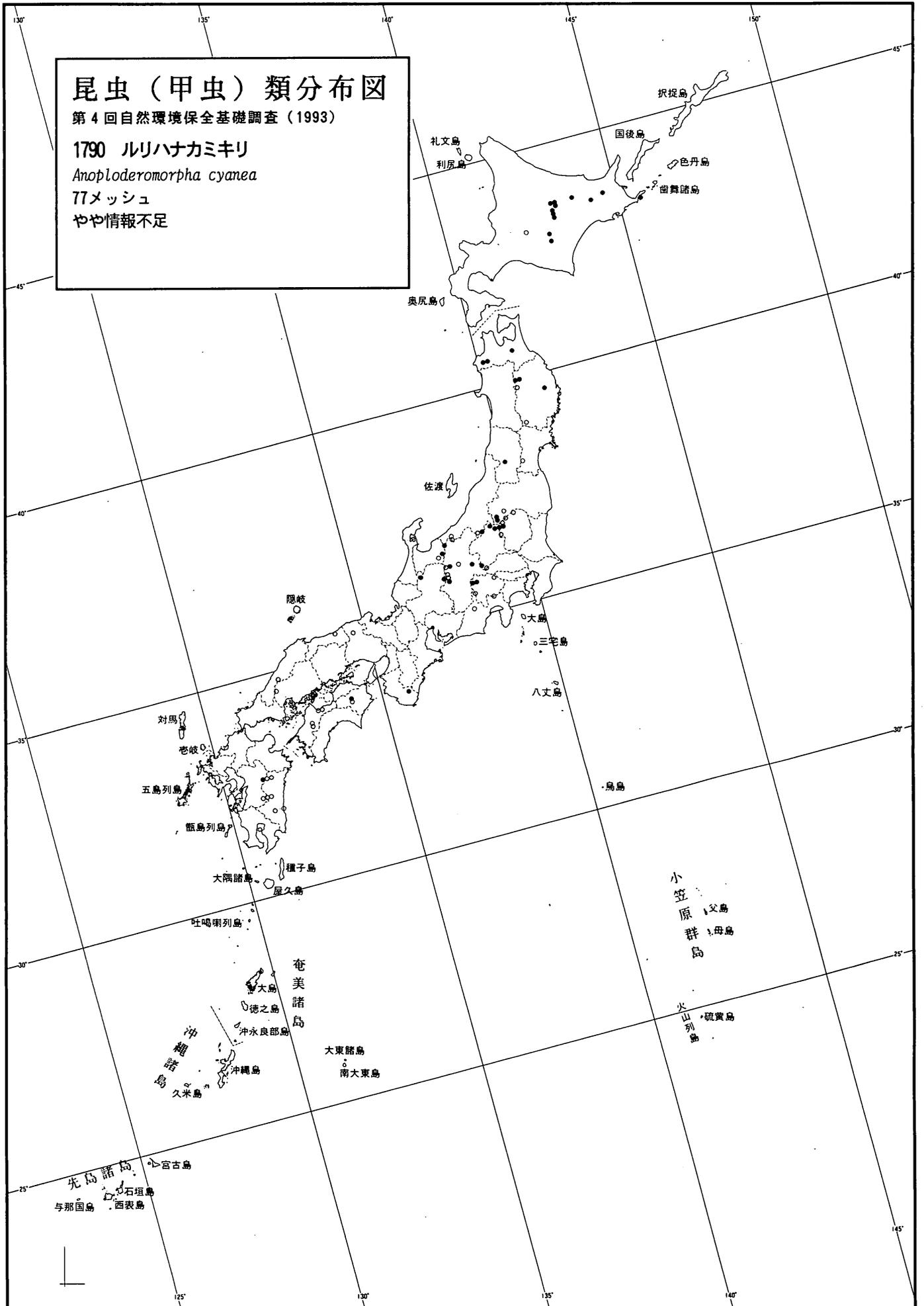
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1790 ルリハナカミキリ

*Anoploderomorpha cyanea*

77メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

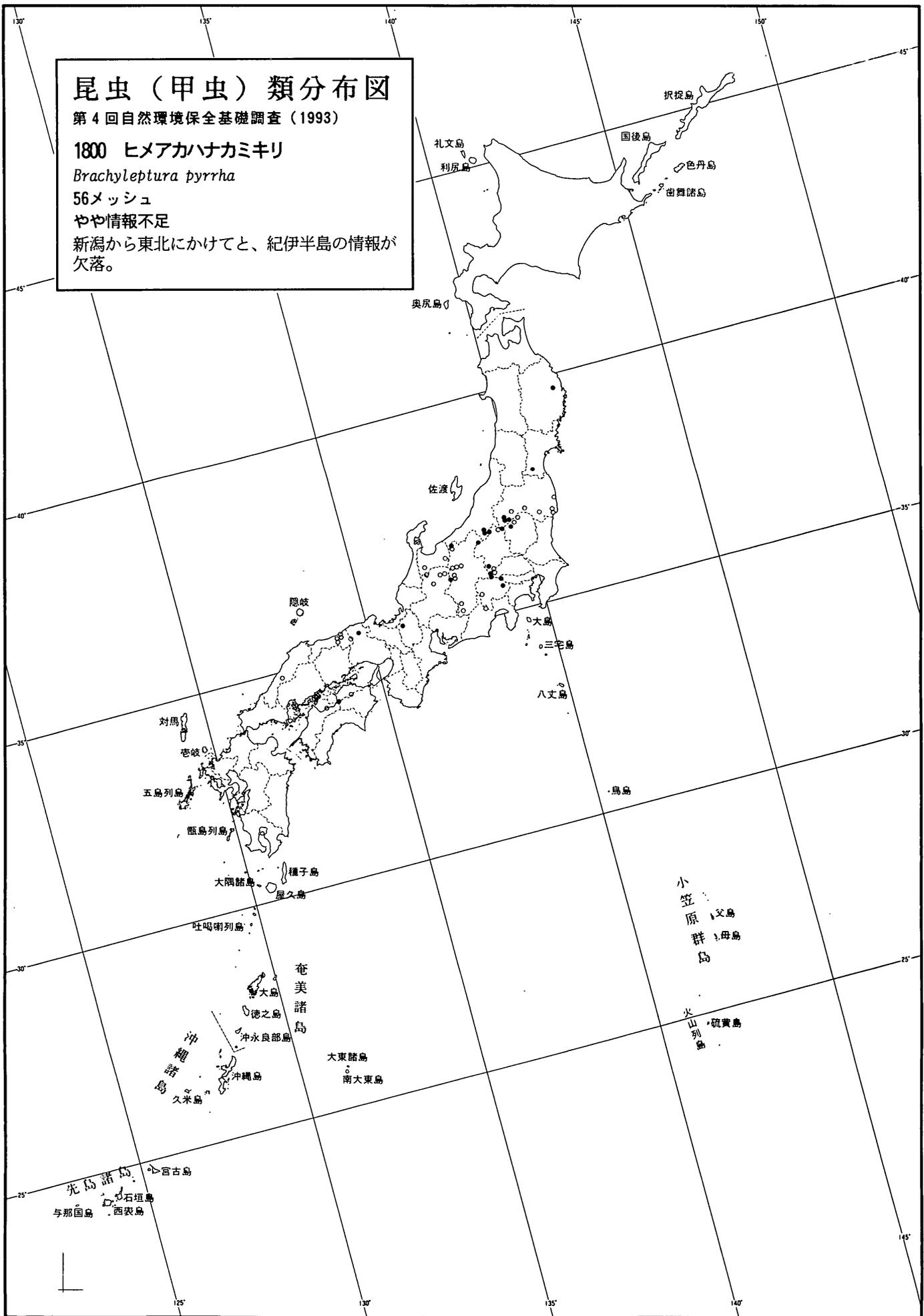
## 1800 ヒメアカハナカミキリ

*Brachyleptura pyrrha*

56メッシュ

やや情報不足

新潟から東北にかけてと、紀伊半島の情報が欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

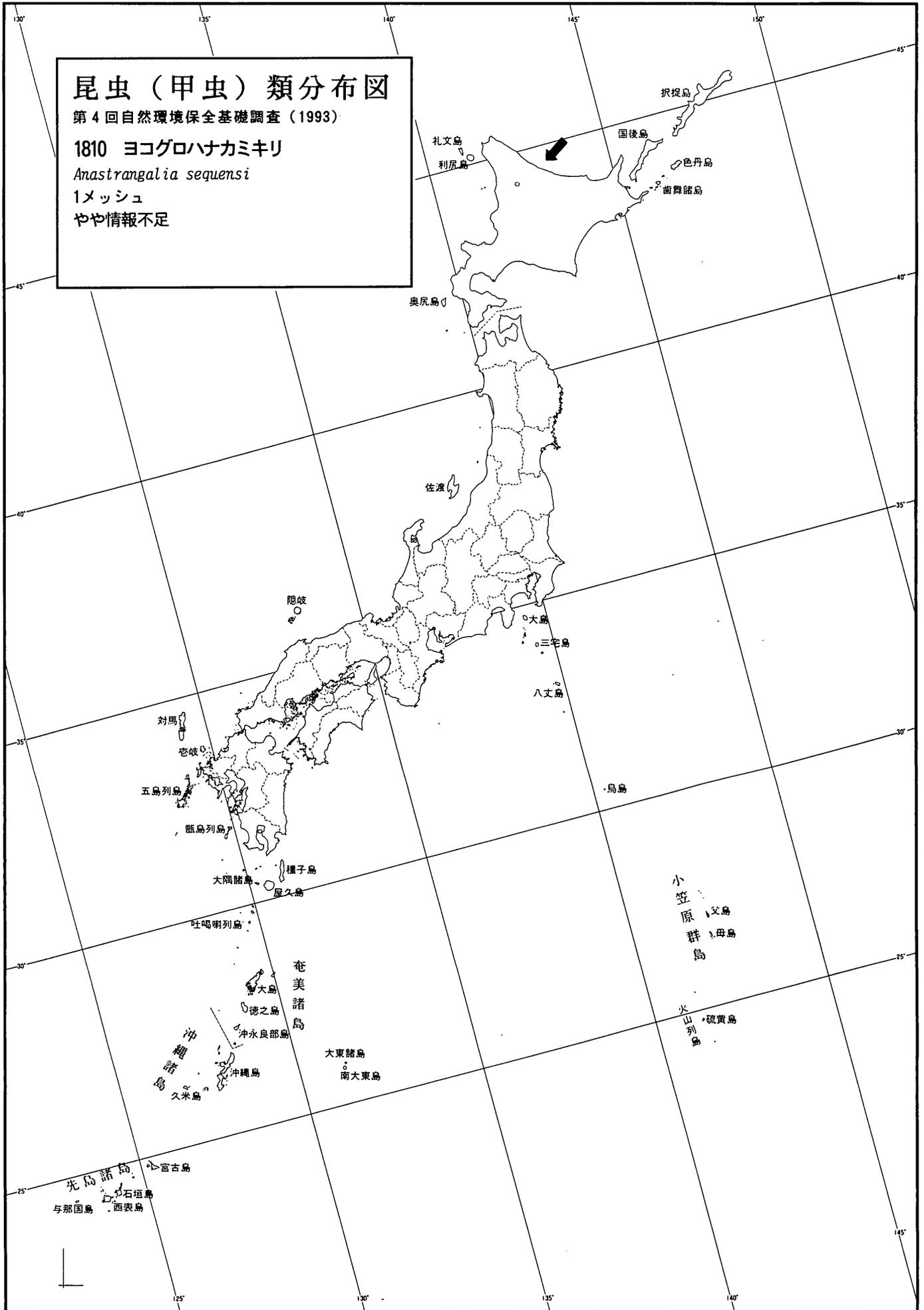
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1810 ヨコグロハナカミキリ

*Anastrangalia sequensi*

1メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

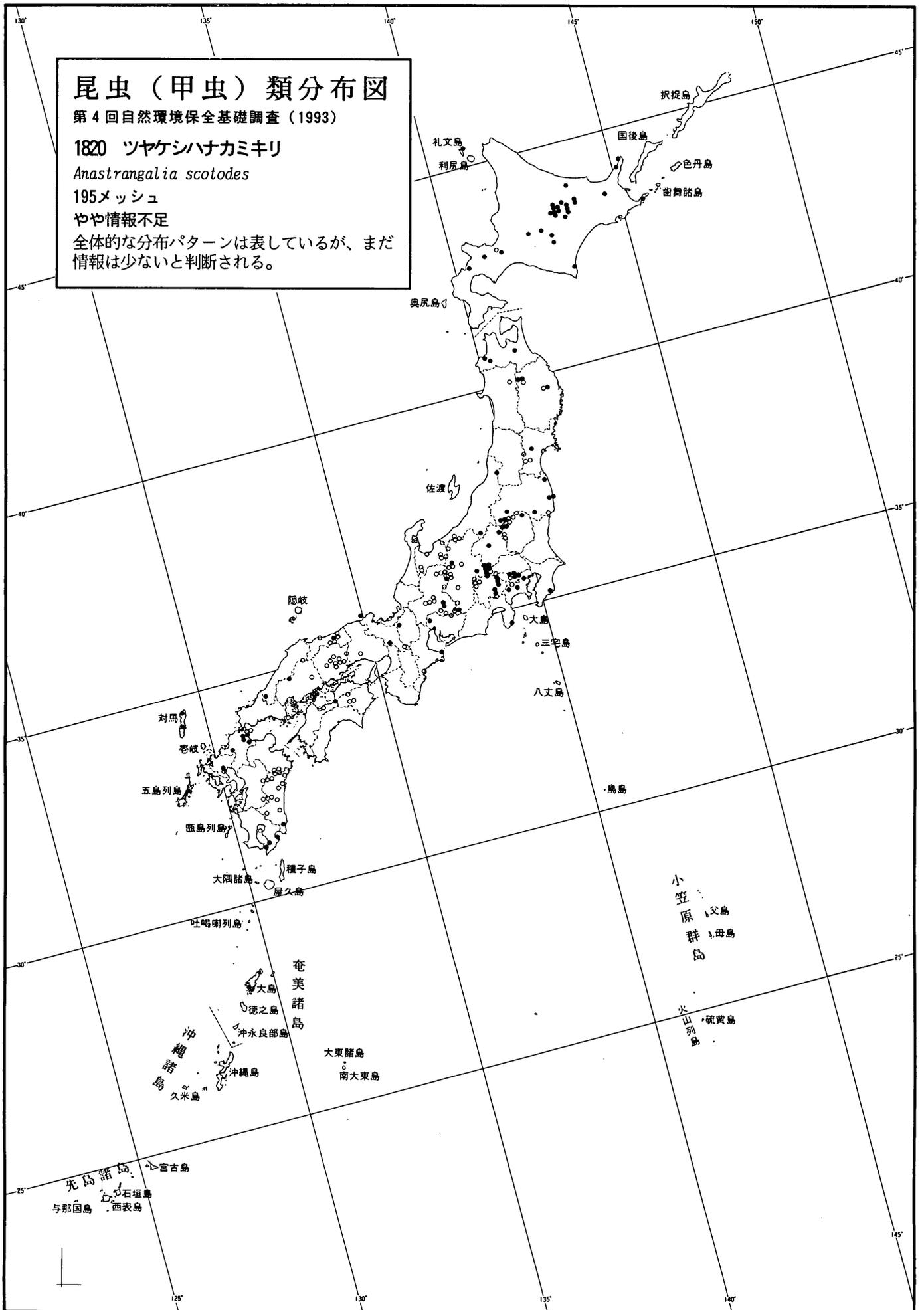
1820 ツヤケシハナカミキリ

*Anastrangalia scotodes*

195メッシュ

やや情報不足

全体的な分布パターンは表しているが、まだ情報は少ないと判断される。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

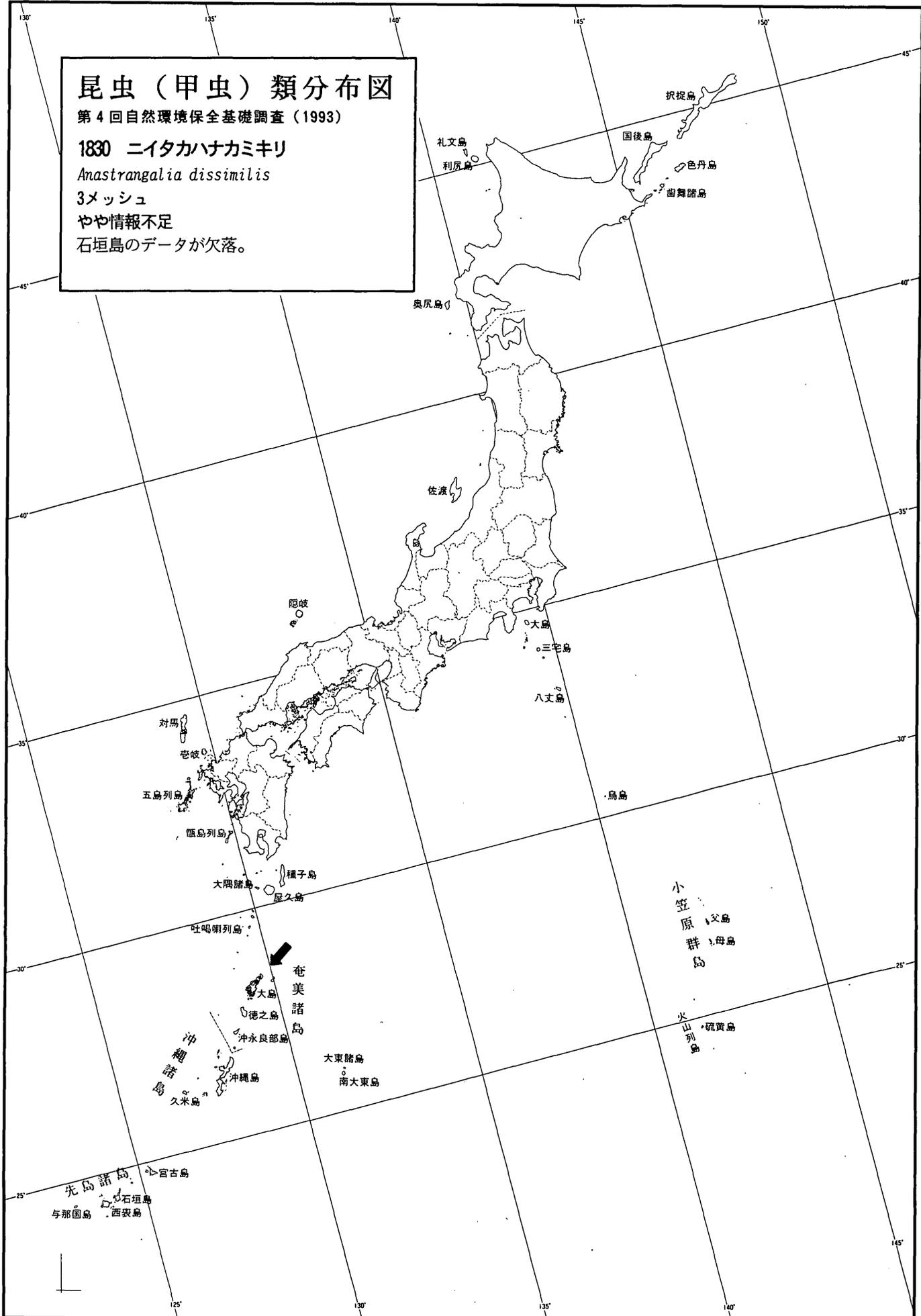
1830 ニイタカハナカミキリ

*Anastrangalia dissimilis*

3メッシュ

やや情報不足

石垣島のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

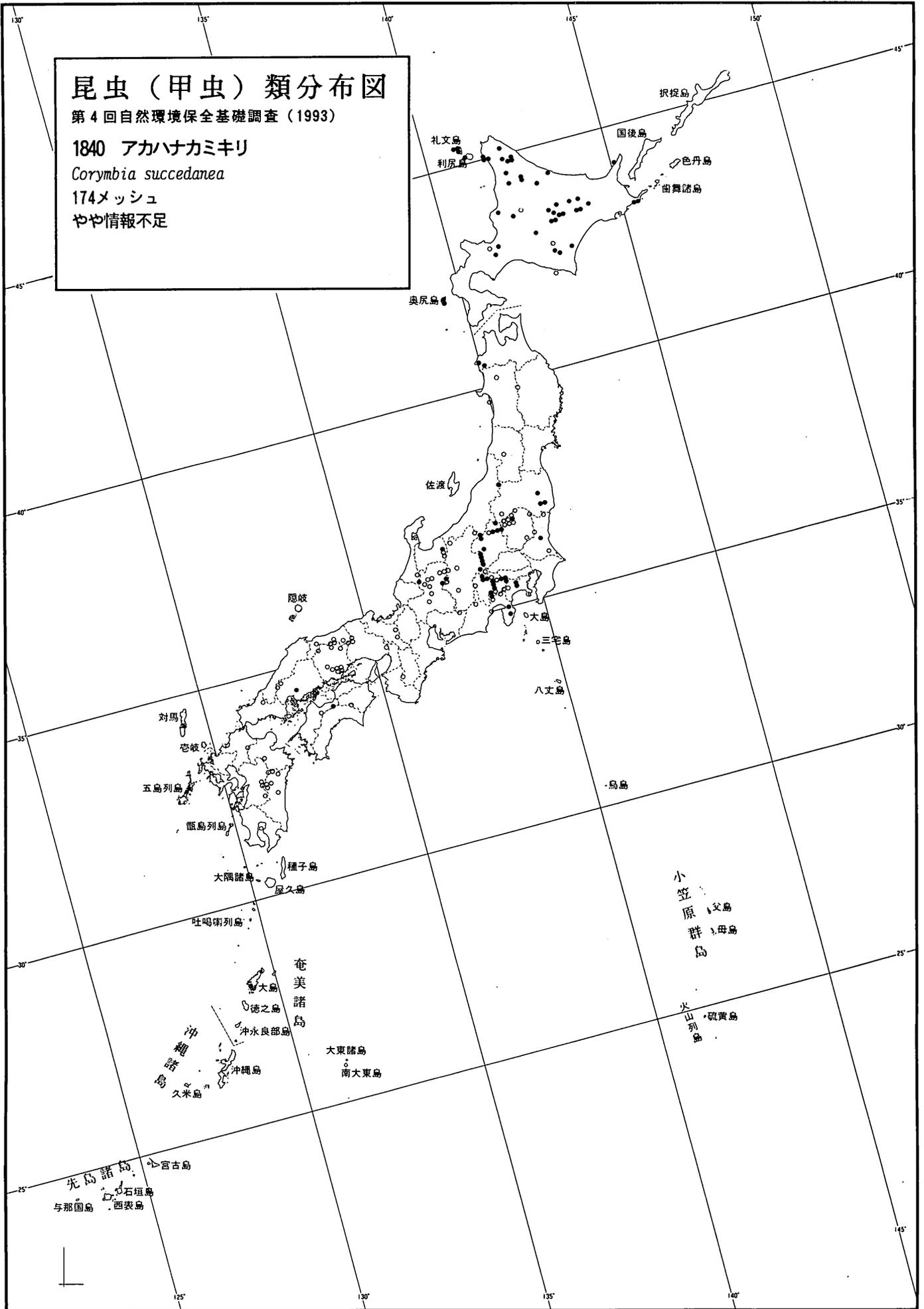
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1840 アカハナカミキリ

*Corymbia succedanea*

174メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

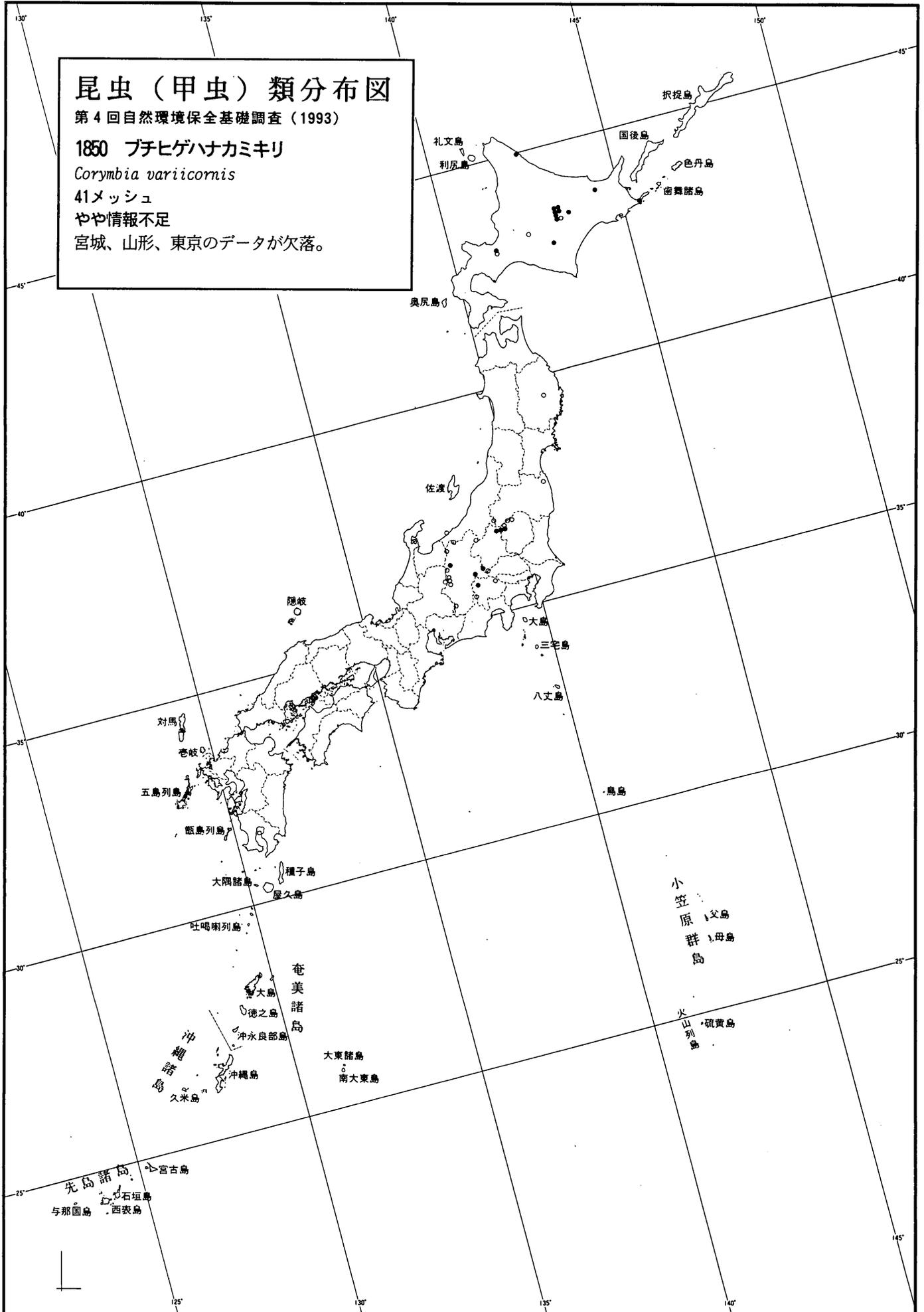
1850 ブチヒゲハナカミキリ

*Corymbia variicornis*

41メッシュ

やや情報不足

宮城、山形、東京のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

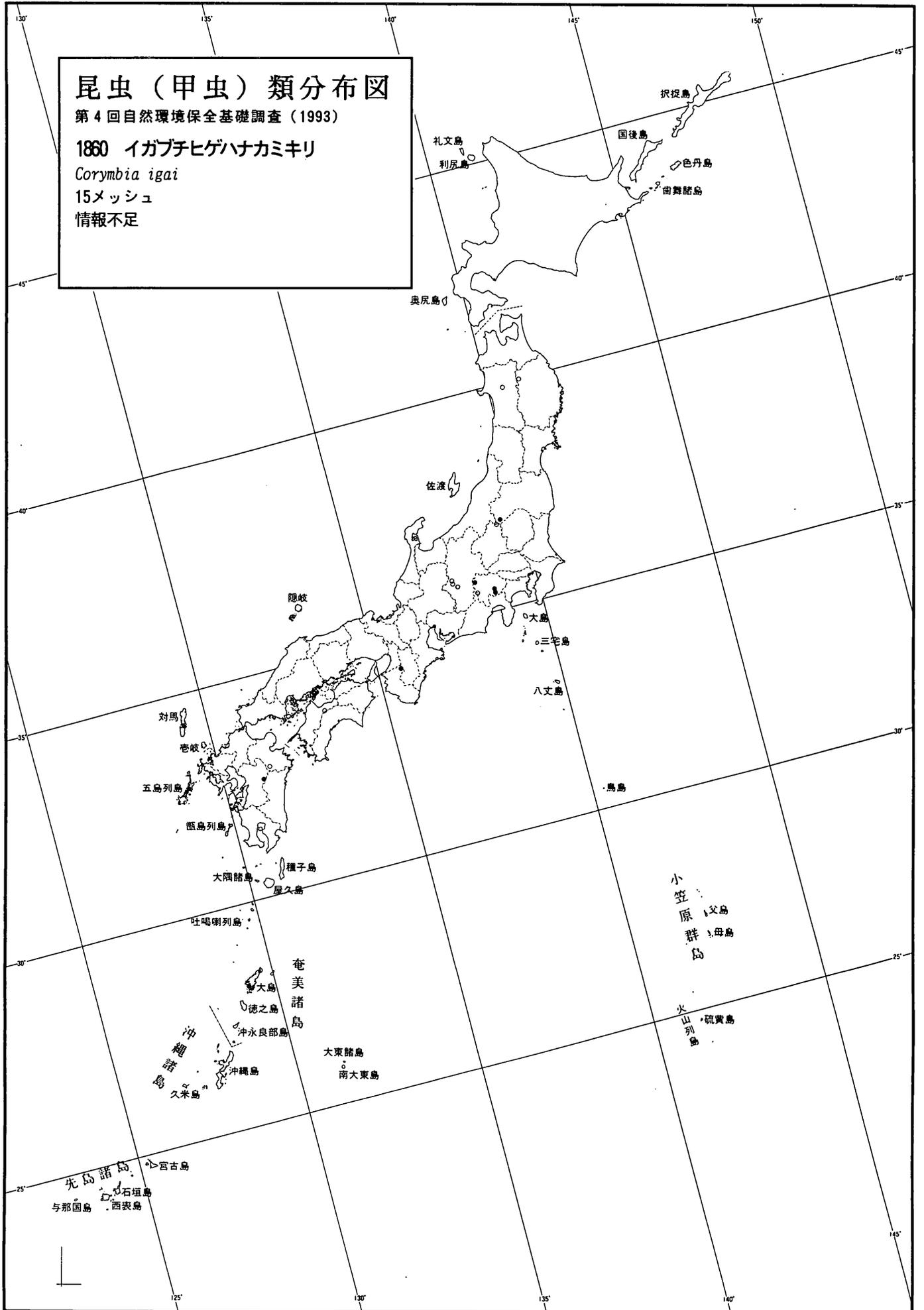
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1860 イガブチヒゲハナカミキリ

*Corymbia igai*

15メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

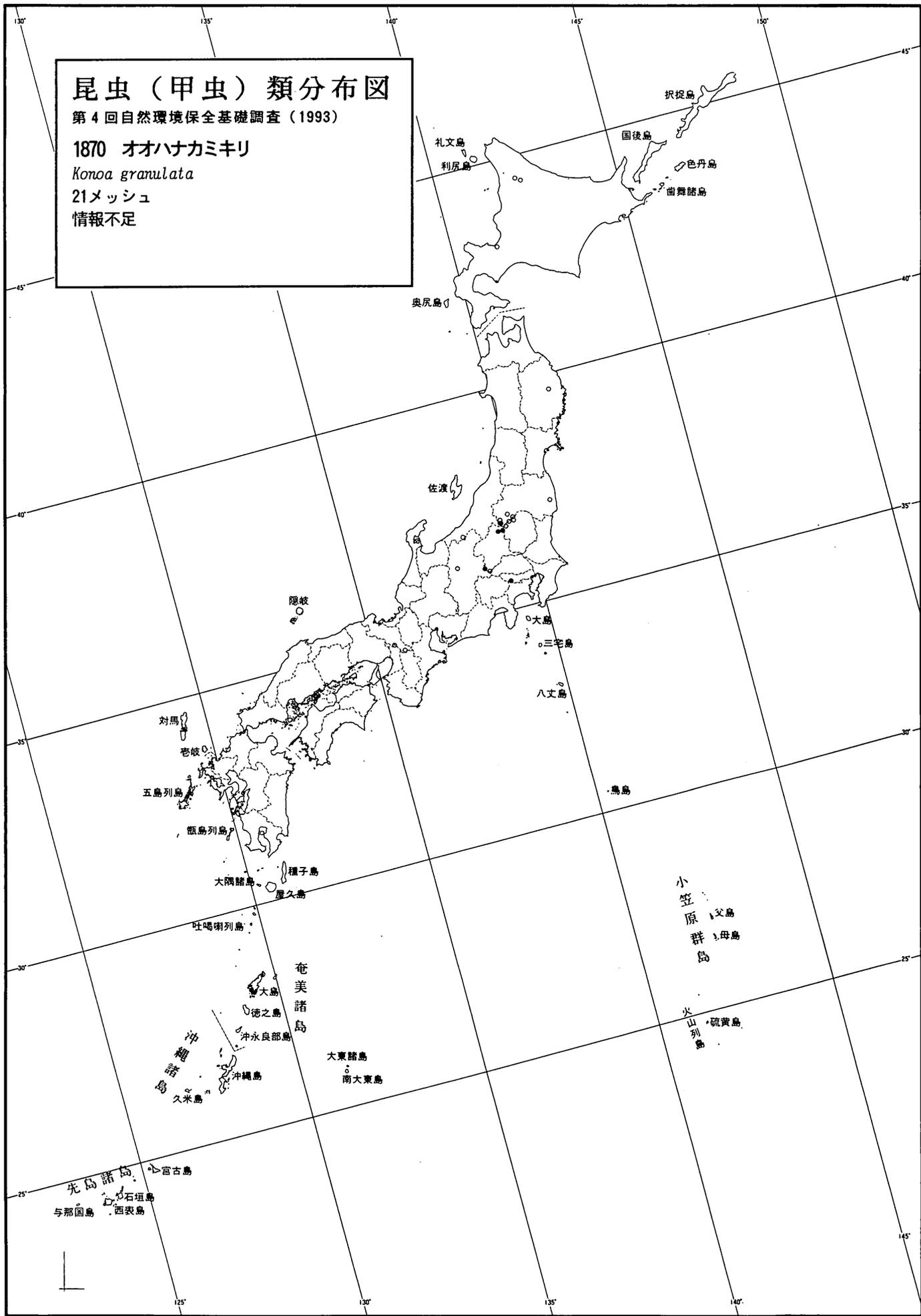
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1870 オオハナカミキリ

*Konoa granulata*

21メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

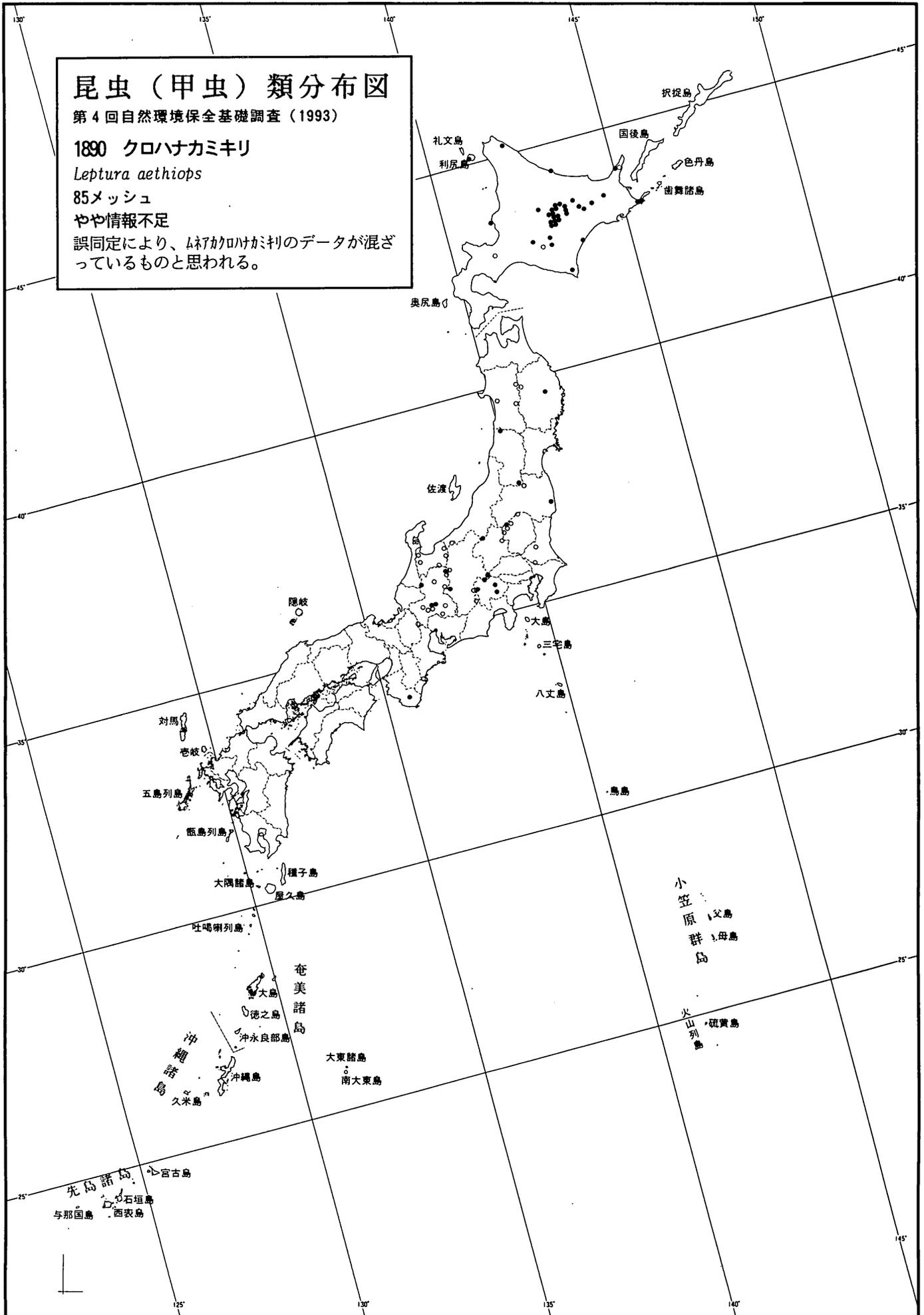
## 1890 クロハナカミキリ

*Leptura aethiops*

85メッシュ

やや情報不足

誤同定により、メネア科のデータが混ざっていると思われる。



# 昆虫（甲虫）類分布図

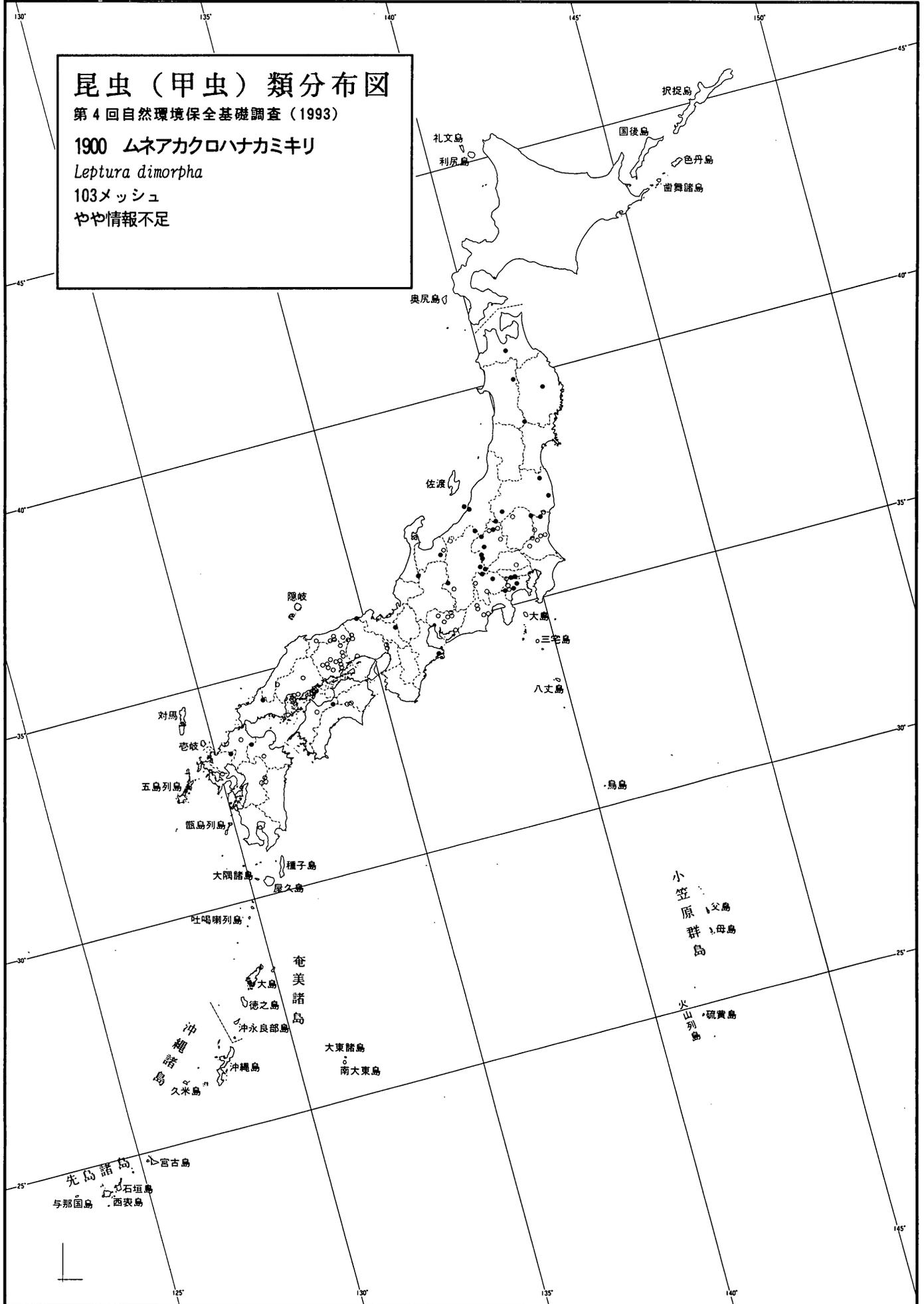
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1900 ムネアカクロハナカミキリ

*Leptura dimorpha*

103メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

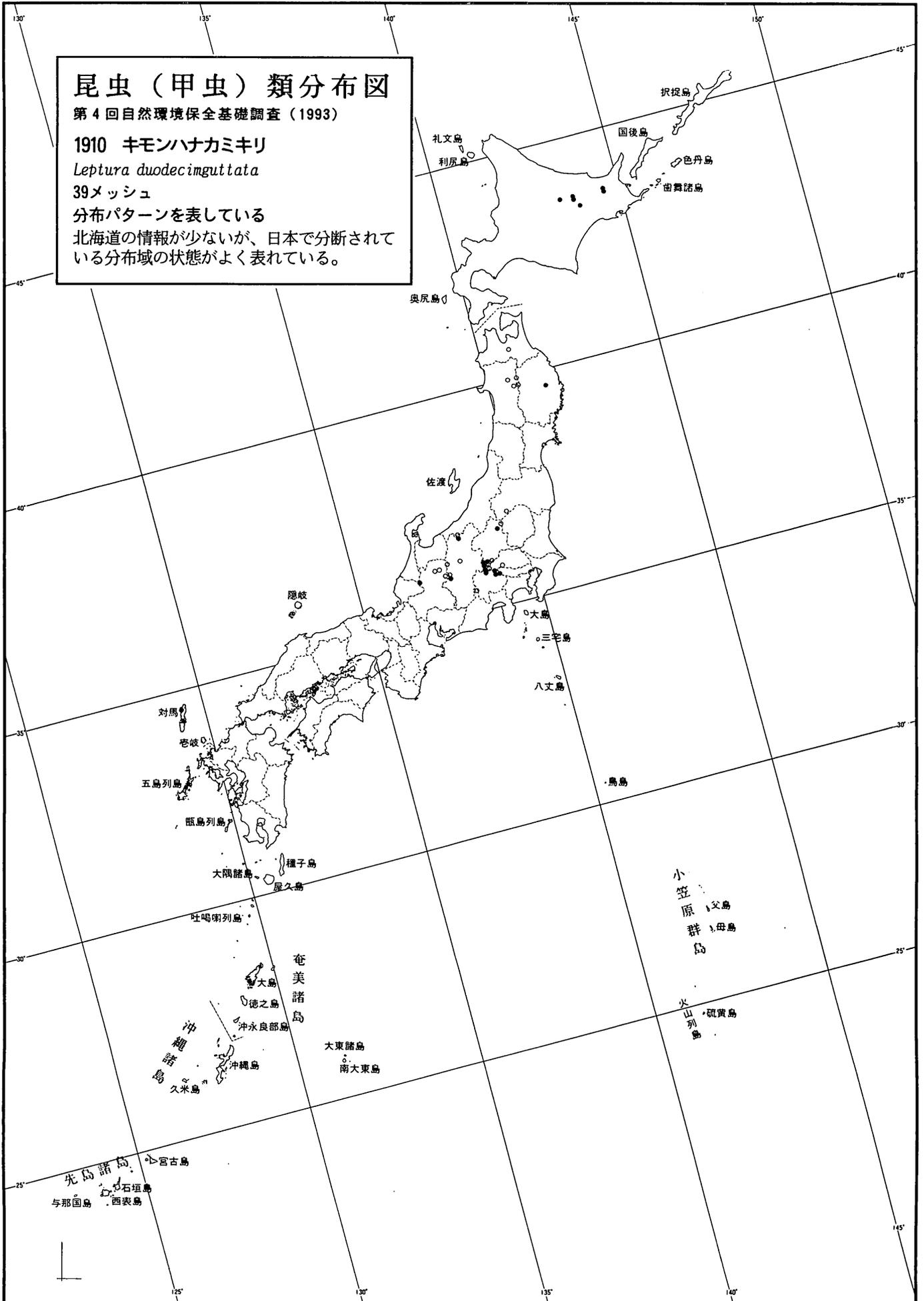
## 1910 キモンハナカミキリ

*Leptura duodecimguttata*

39メッシュ

分布パターンを表している

北海道の情報が少ないが、日本で分断されている分布域の状態がよく表れている。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

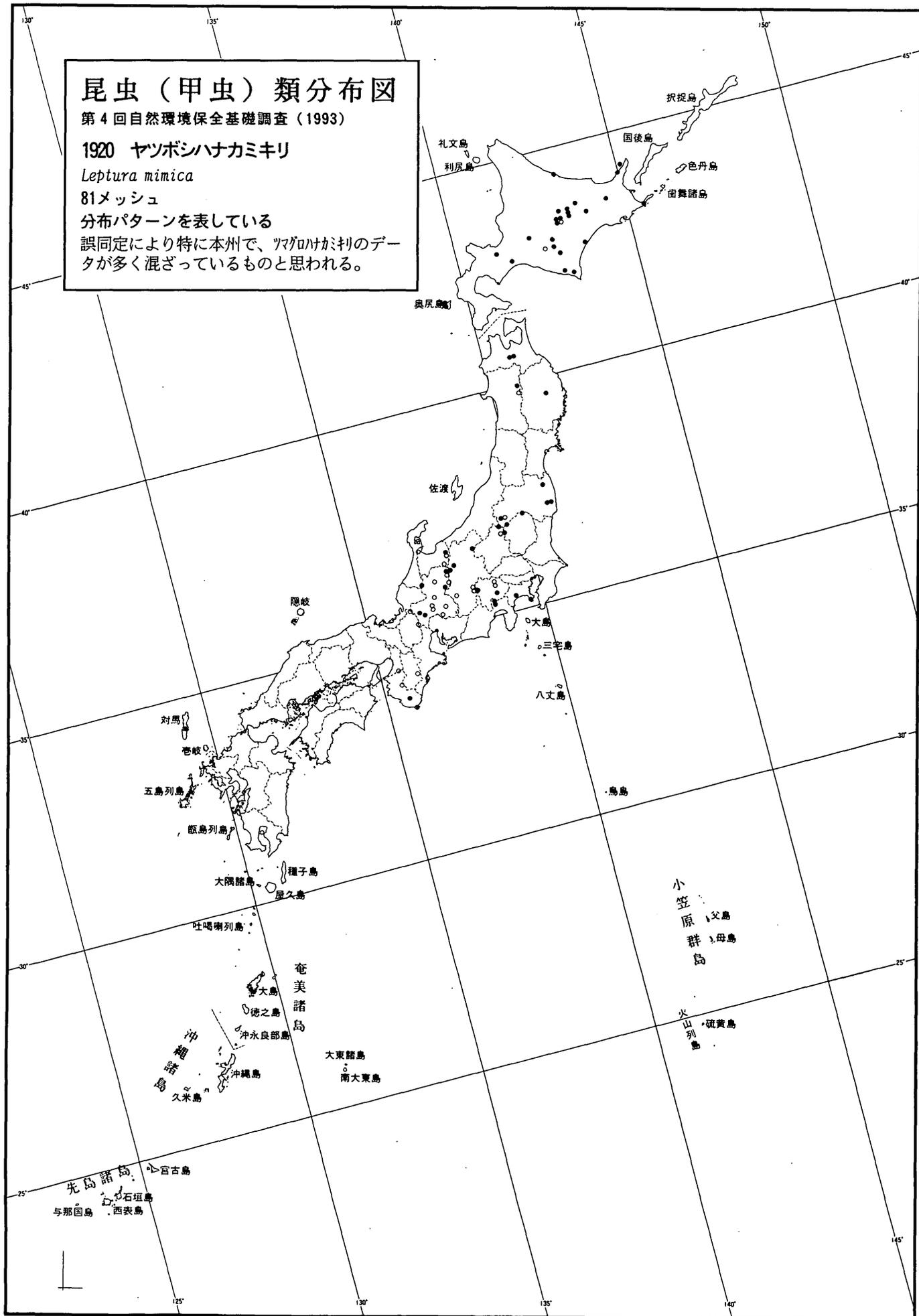
1920 ヤツボシハナカミキリ

*Leptura mimica*

81メッシュ

分布パターンを表している

誤同定により特に本州で、ツマノハが別のデータが多く混ざっているものと思われる。



# 昆虫（甲虫）類分布図

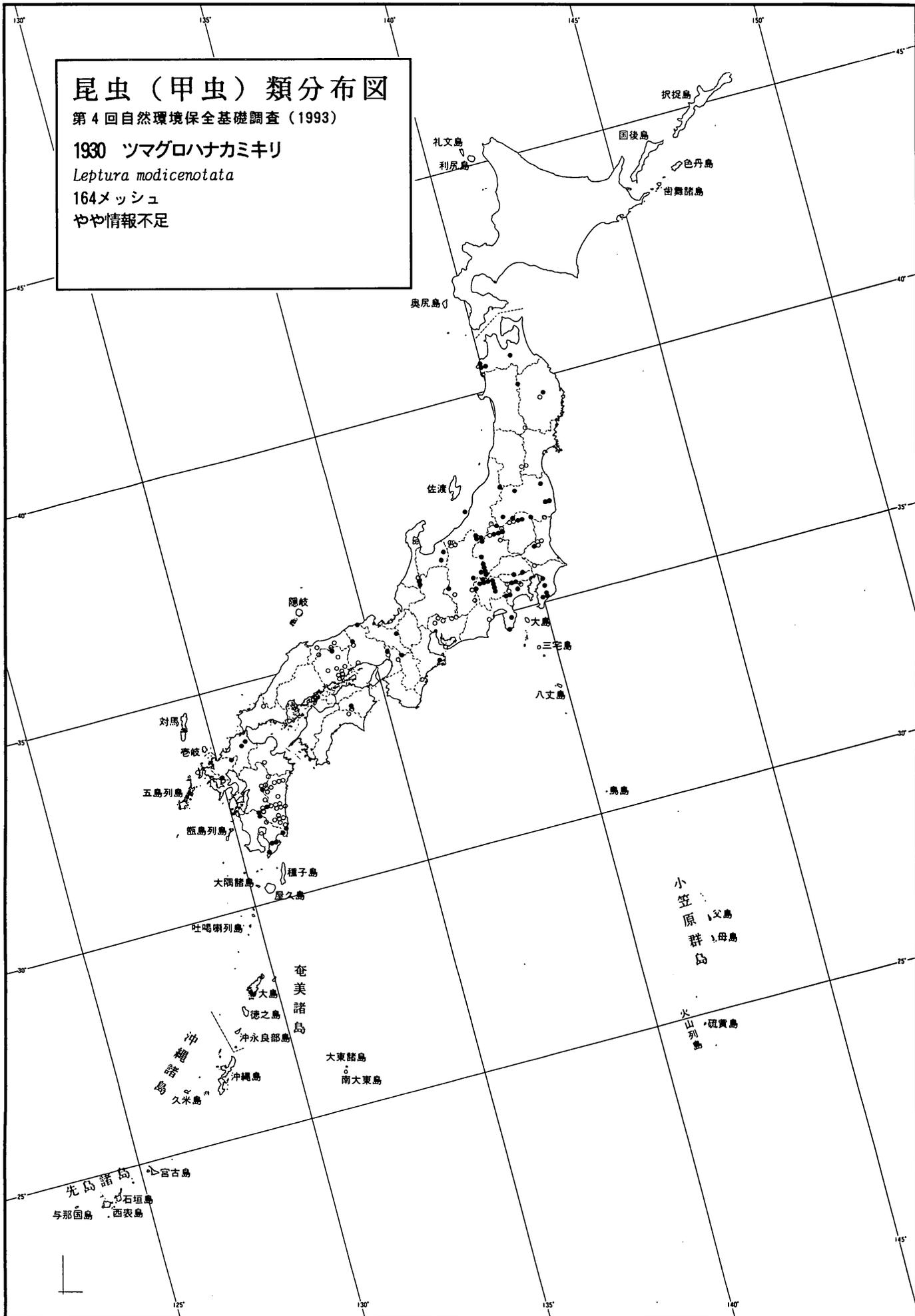
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1930 ツマグロハナカミキリ

*Leptura modicenotata*

164メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

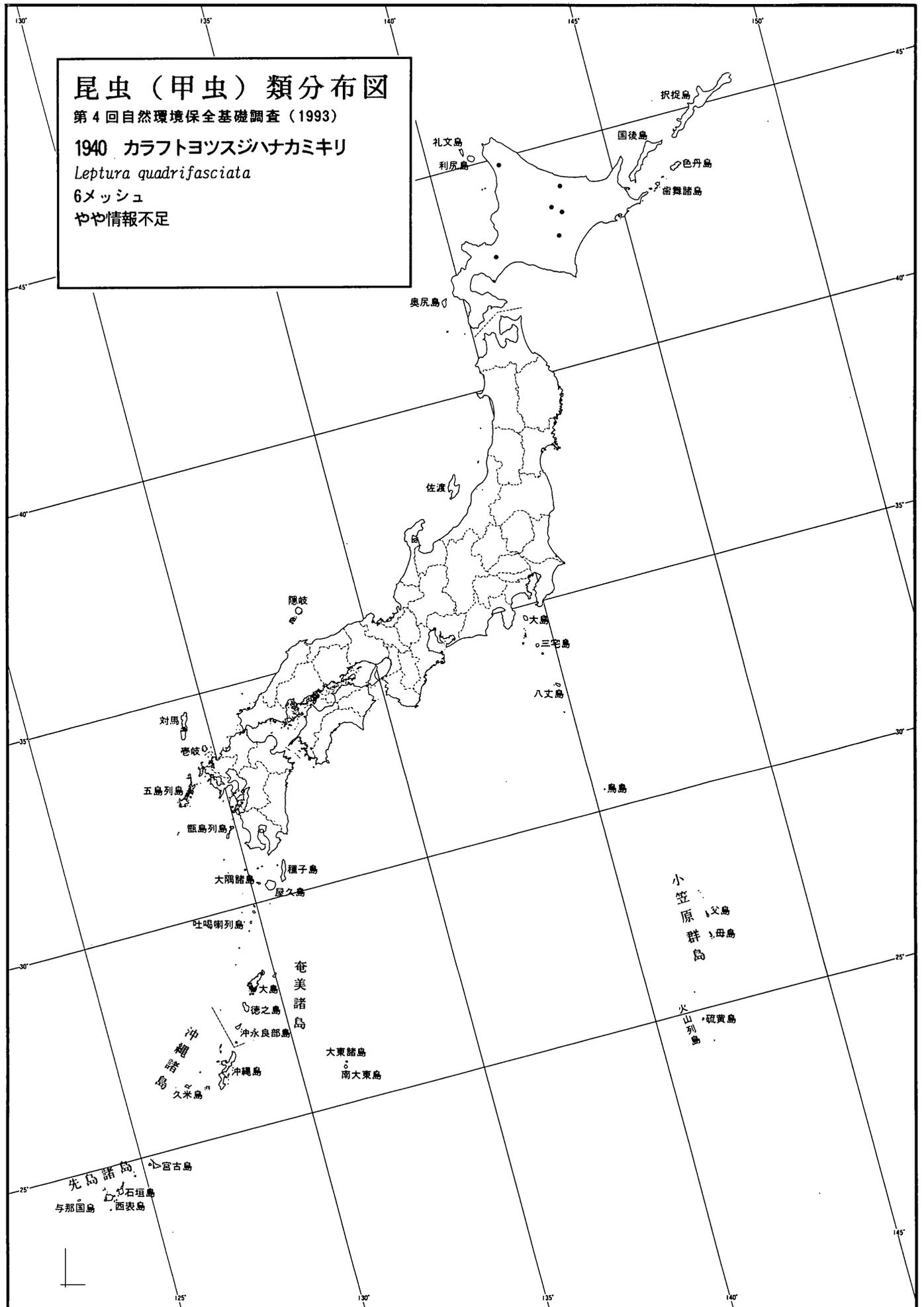
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1940 カラフトヨツスジハナカミキリ

*Leptura quadrifasciata*

6メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

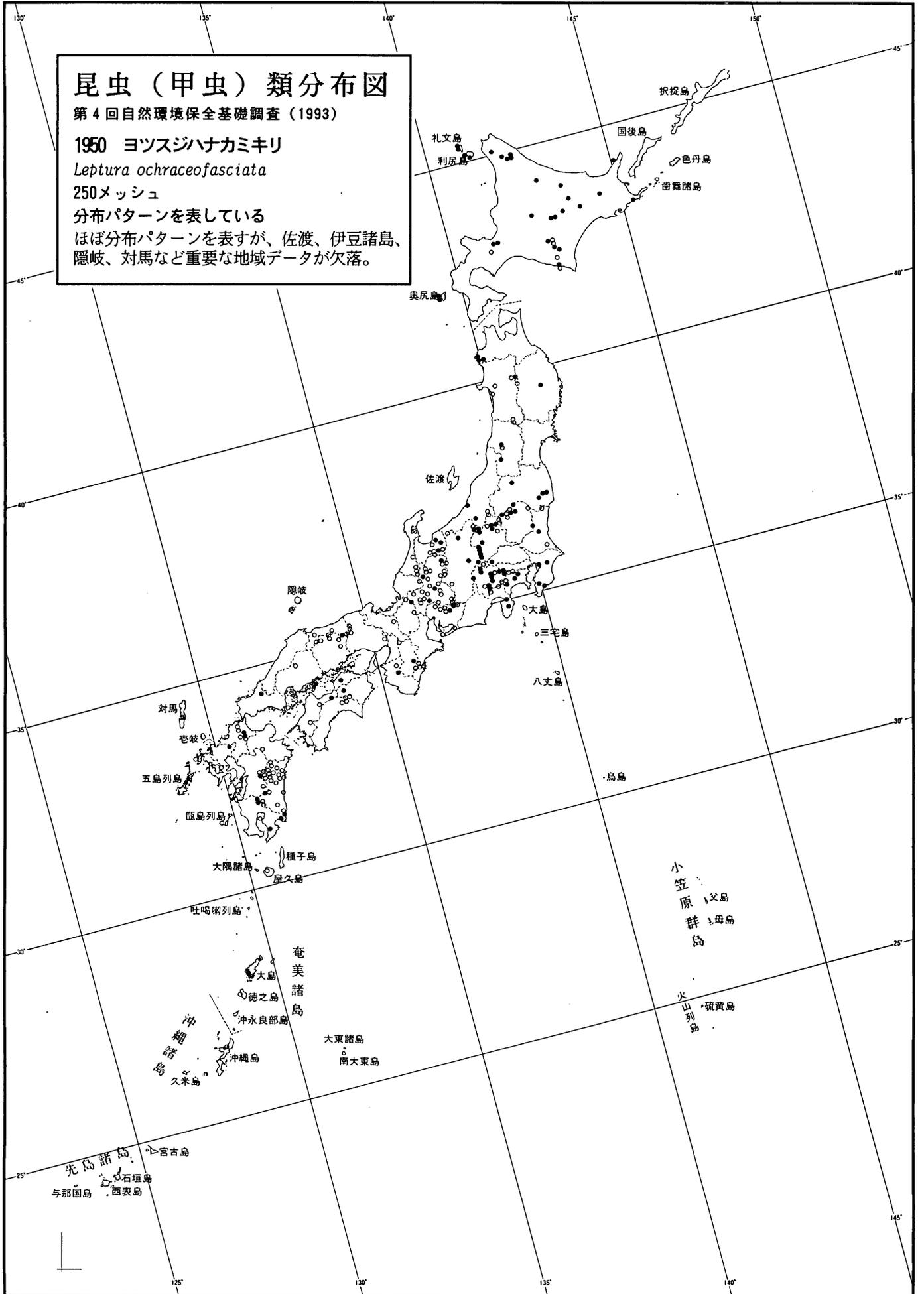
1950 ヨツスジハナカミキリ

*Leptura ochraceofasciata*

250メッシュ

分布パターンを表している

ほぼ分布パターンを表すが、佐渡、伊豆諸島、  
隠岐、対馬など重要な地域データが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

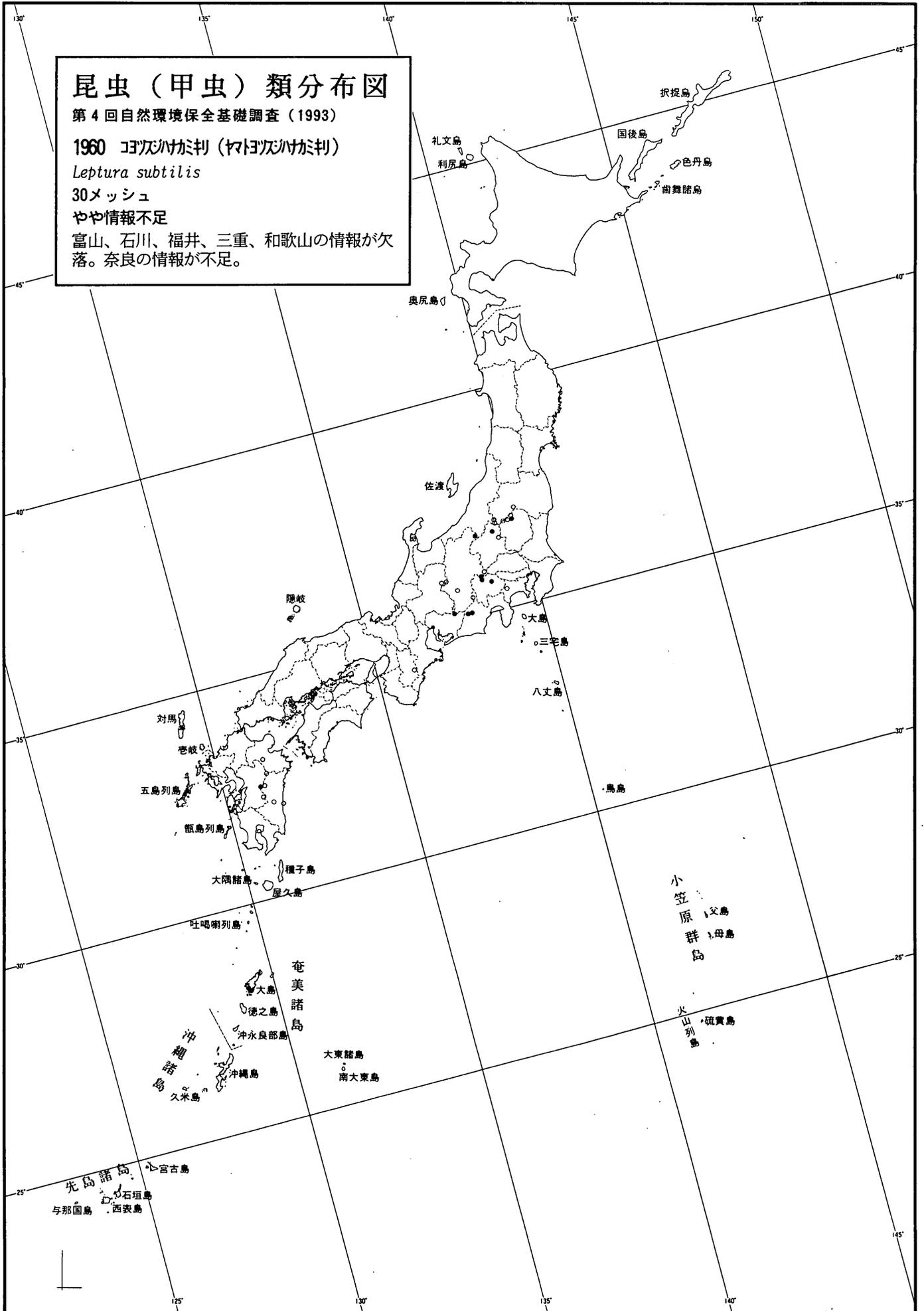
1960 コツバシカガサリ（ヤマトシカガサリ）

*Leptura subtilis*

30メッシュ

やや情報不足

富山、石川、福井、三重、和歌山の情報が欠落。奈良の情報が不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

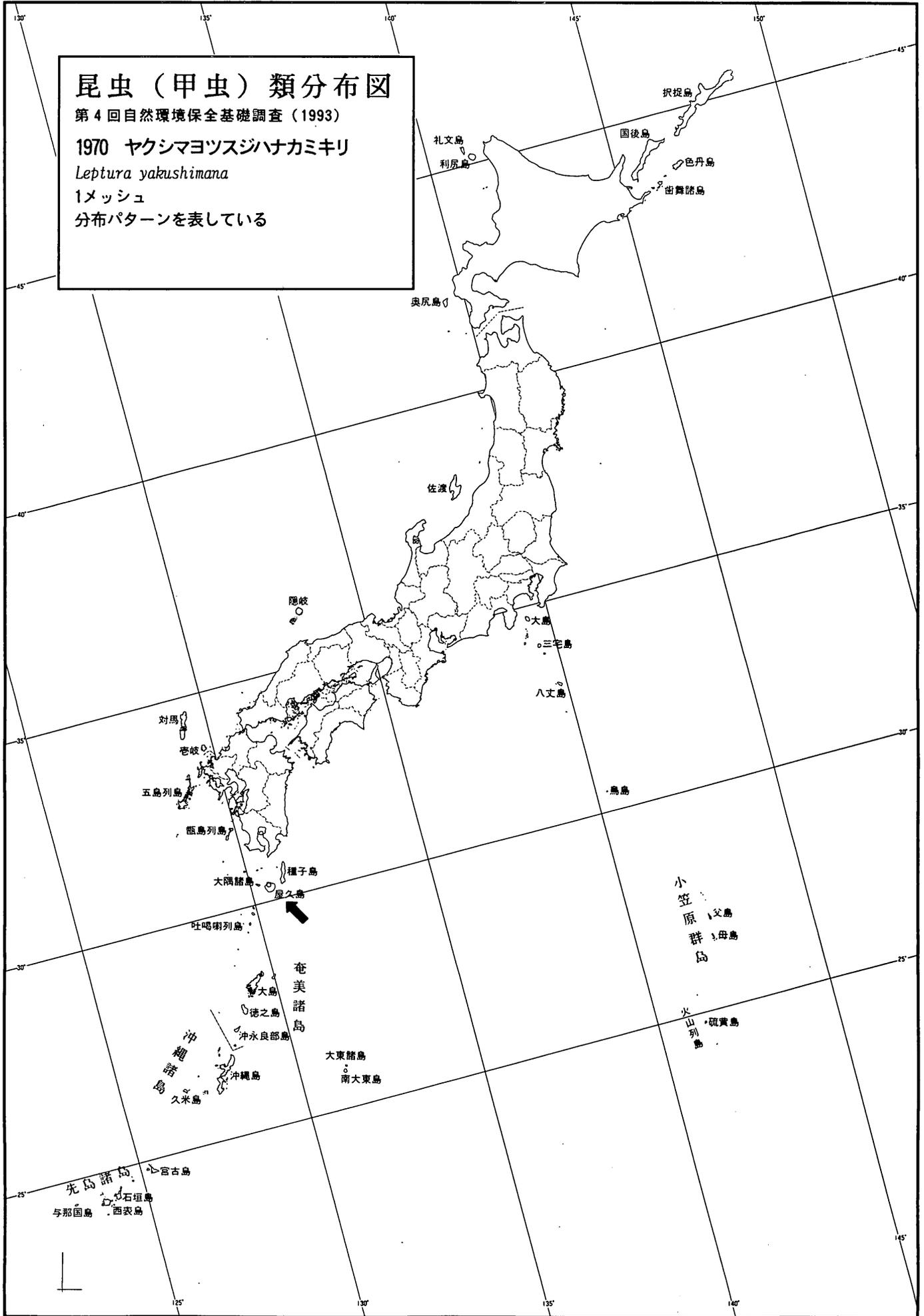
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1970 ヤクシマヨツスジハナカミキリ

*Leptura yakushimana*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

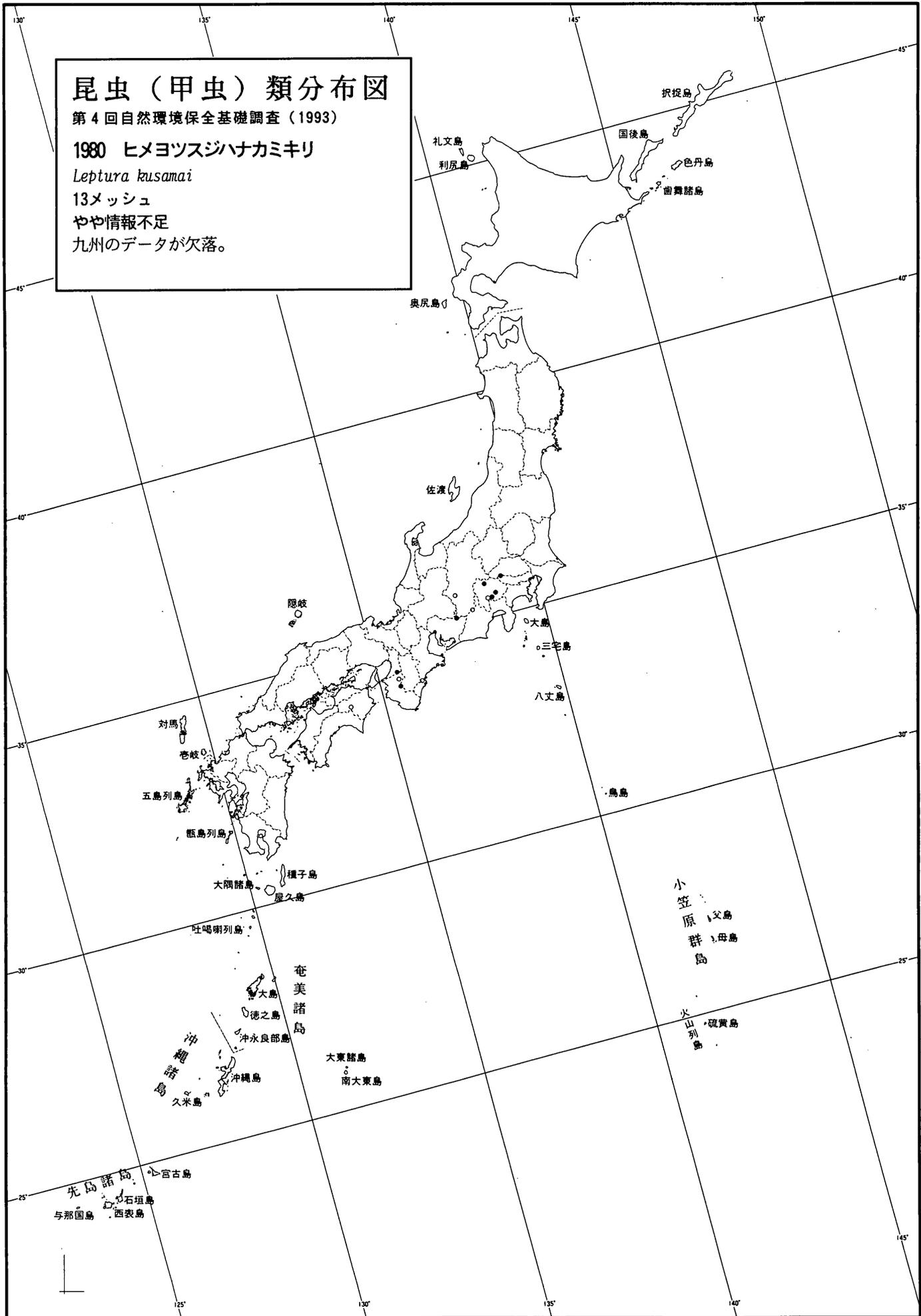
## 1980 ヒメヨツスジハナカミキリ

*Leptura kusamai*

13メッシュ

やや情報不足

九州のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

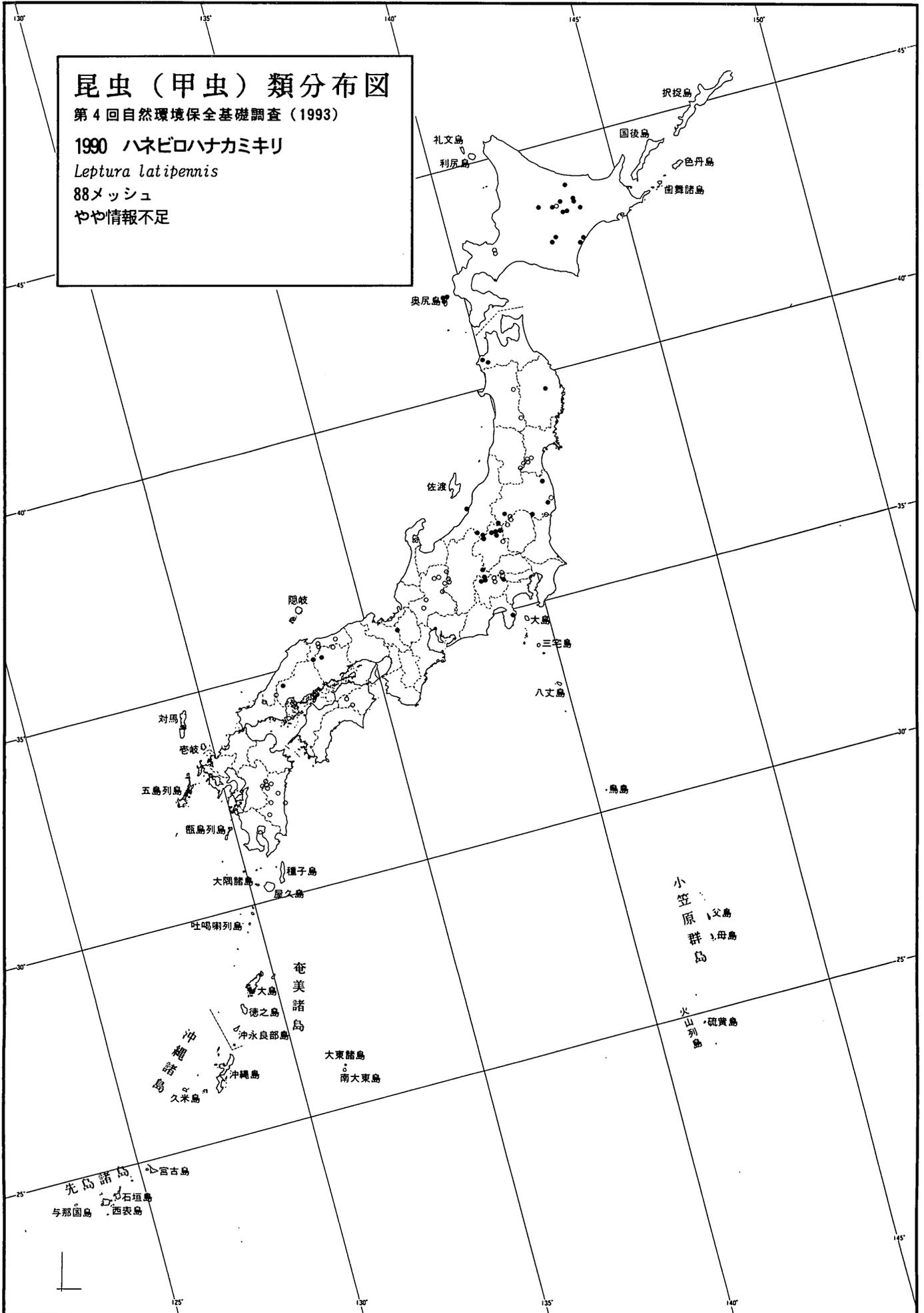
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

1990 ハネビロハナカミキリ

*Leptura latipennis*

88メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

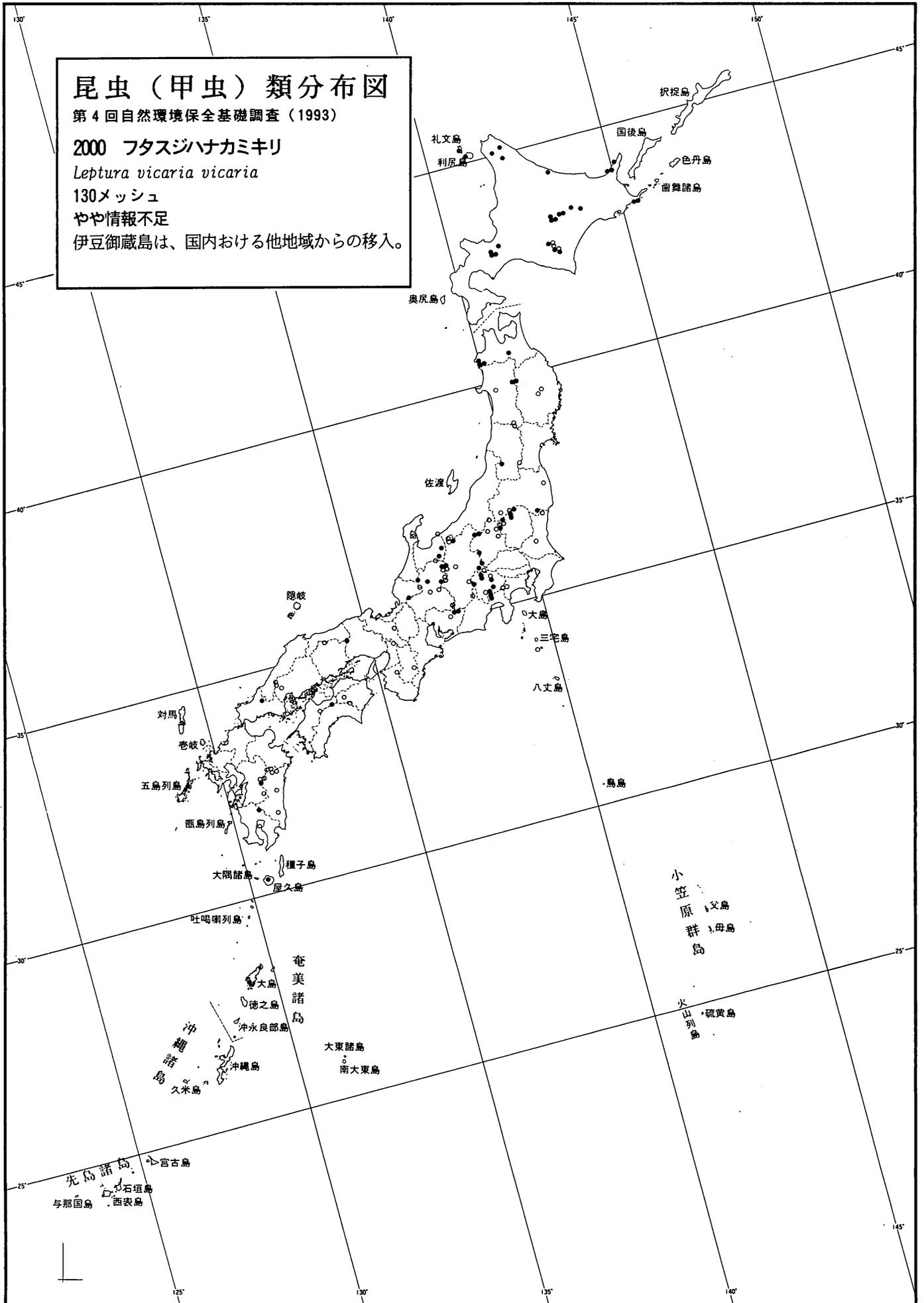
2000 フタスジハナカミキリ

*Leptura vicaria vicaria*

130メッシュ

やや情報不足

伊豆御蔵島は、国内おける他地域からの移入。



# 昆虫（甲虫）類分布図

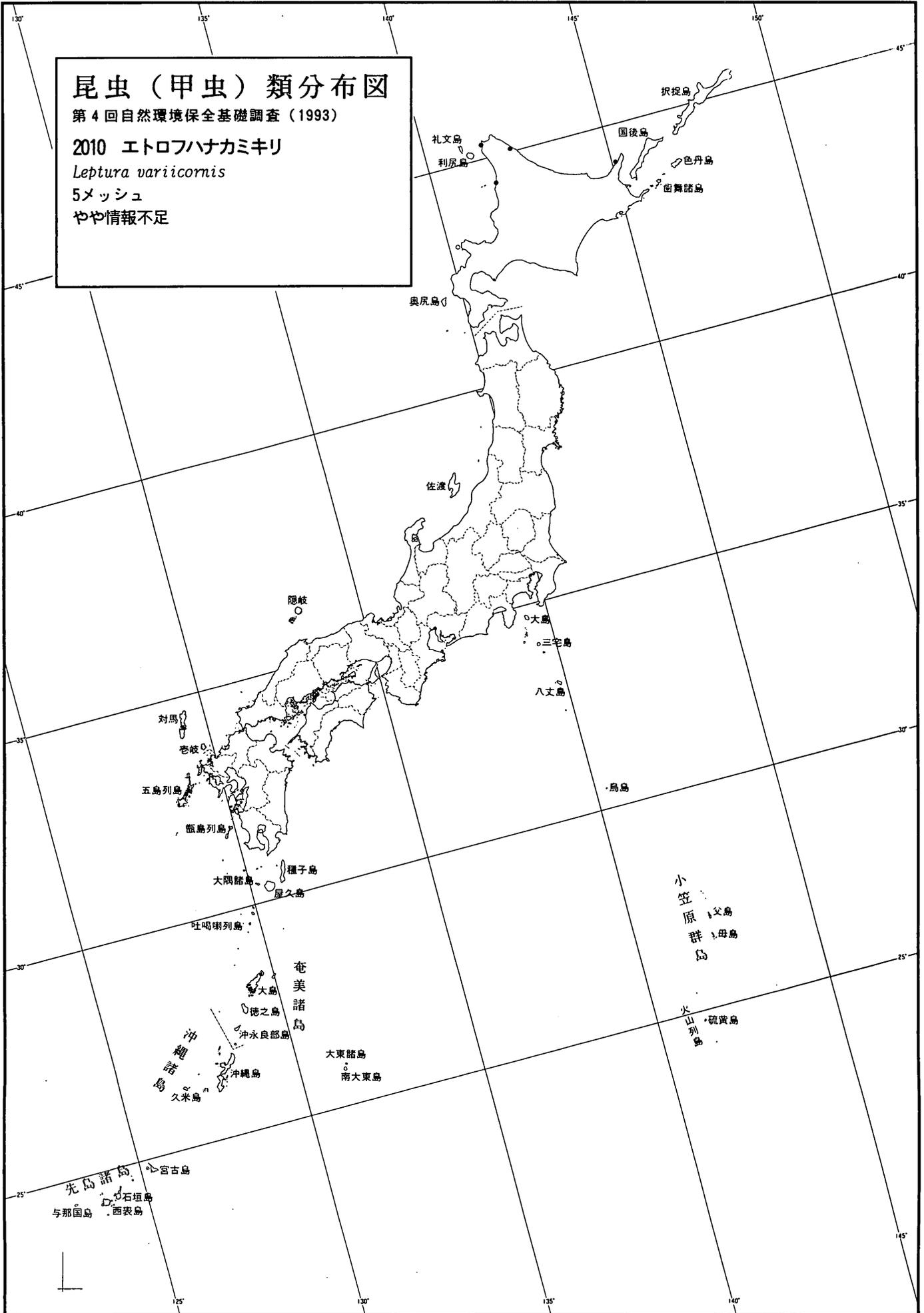
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 2010 エトロフハナカミキリ

*Leptura variicornis*

5メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

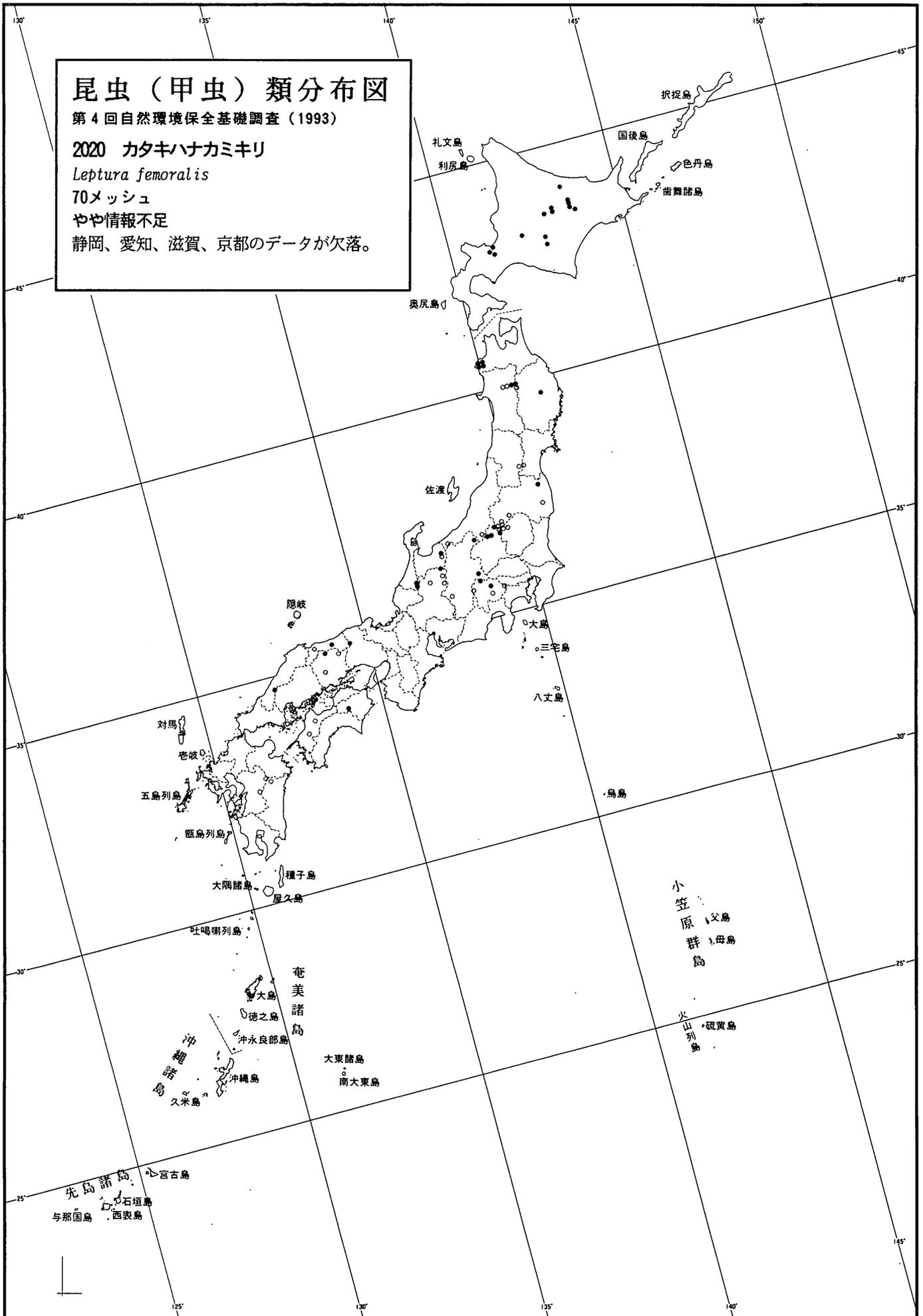
2020 カタキハナカミキリ

*Leptura femoralis*

70メッシュ

やや情報不足

静岡、愛知、滋賀、京都のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

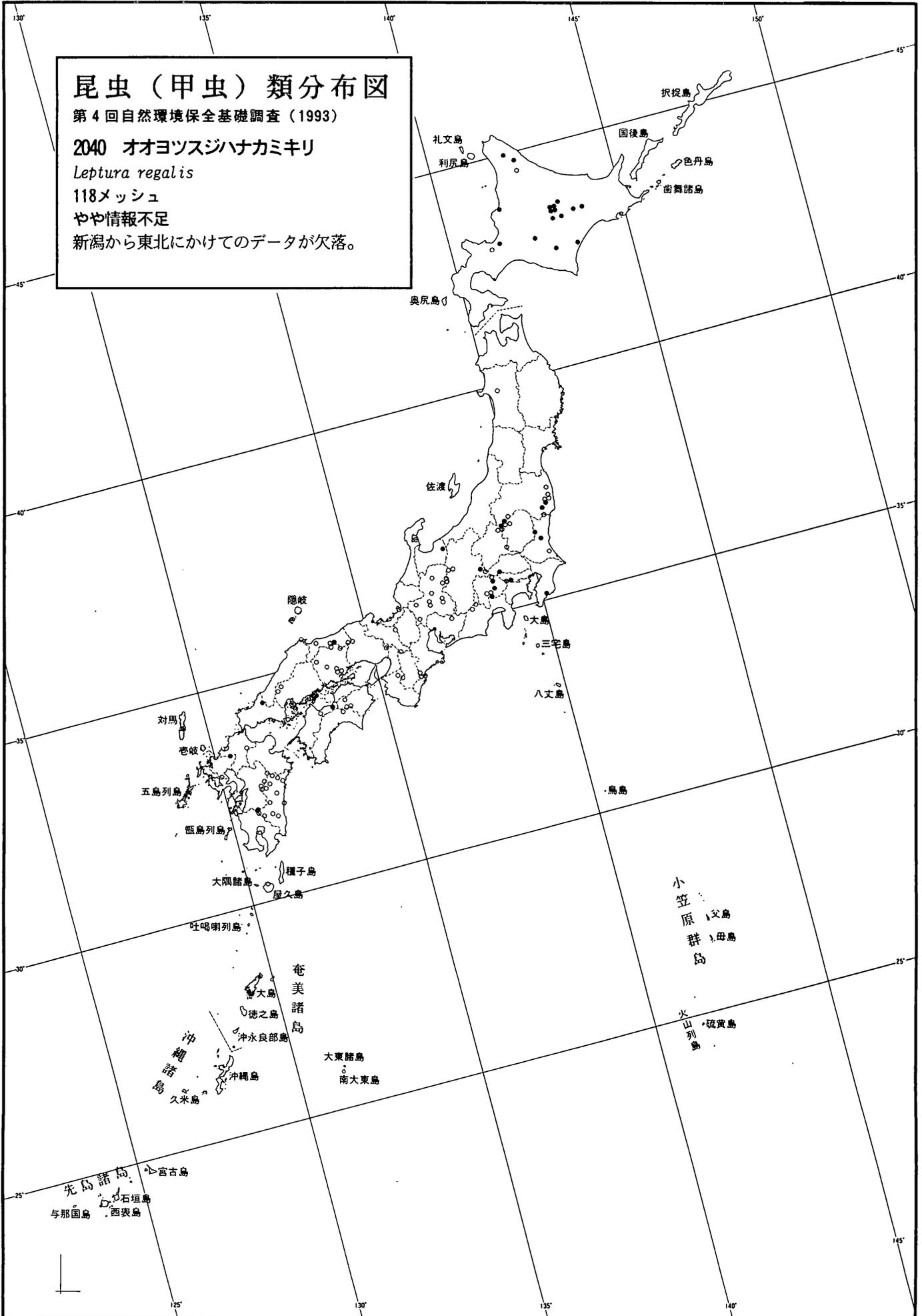
## 2040 オオヨツスジハナカミキリ

*Leptura regalis*

118メッシュ

やや情報不足

新潟から東北にかけてのデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

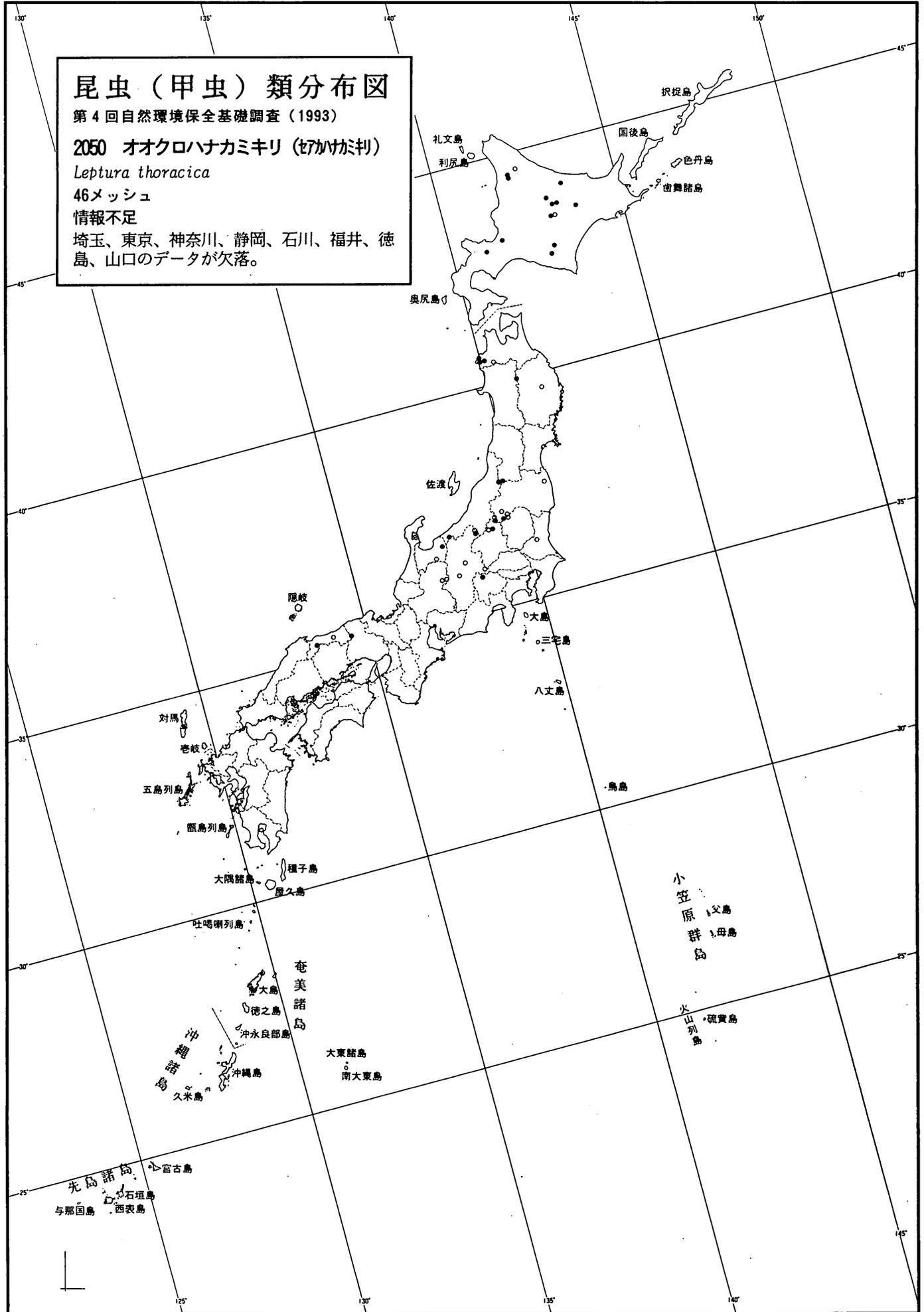
2050 オオクロハナカミキリ（*ツカガハカミキリ*）

*Leptura thoracica*

46メッシュ

情報不足

埼玉、東京、神奈川、静岡、石川、福井、徳島、山口のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

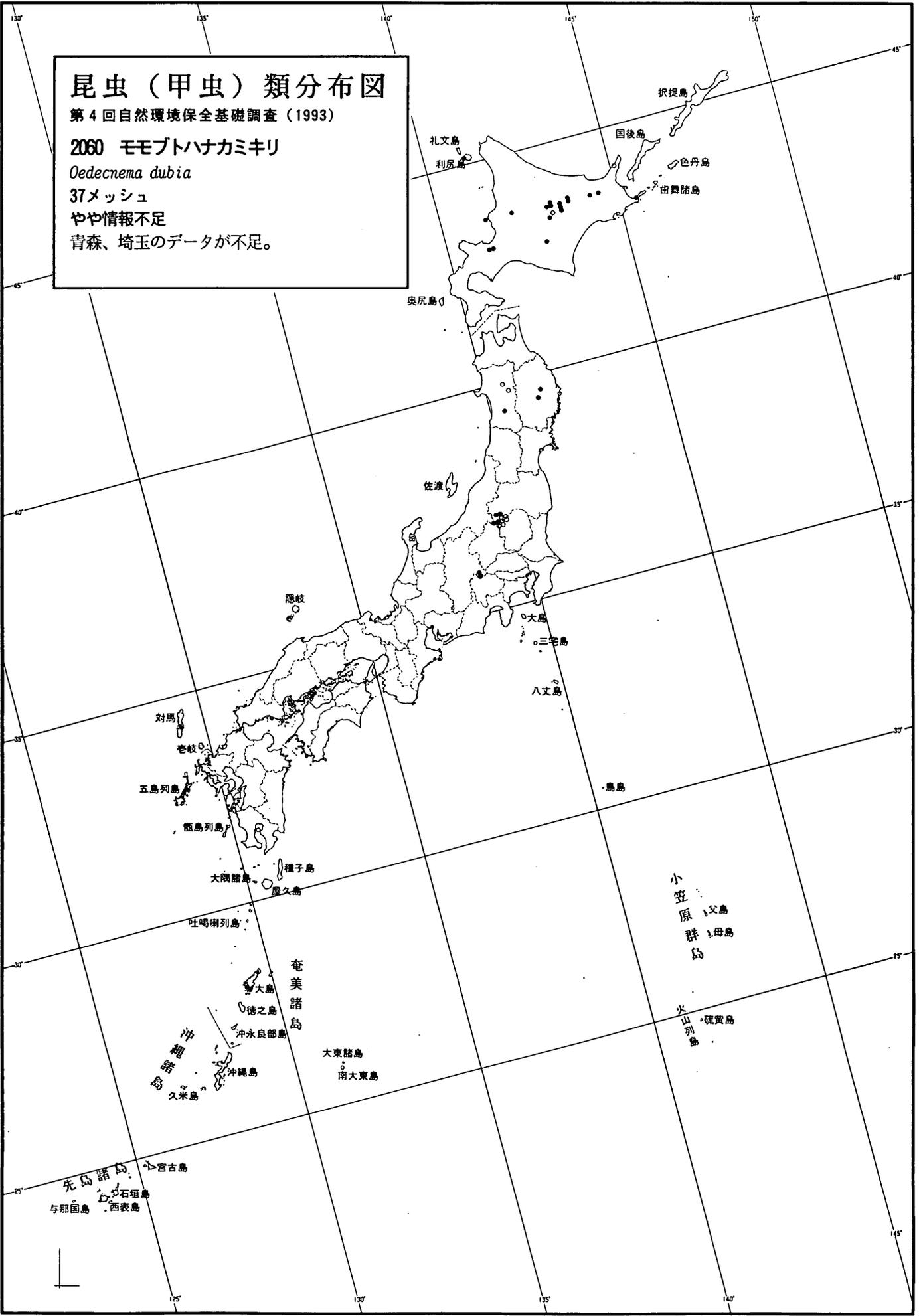
2060 モモブトハナカミキリ

*Oedecnema dubia*

37メッシュ

やや情報不足

青森、埼玉のデータが不足。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

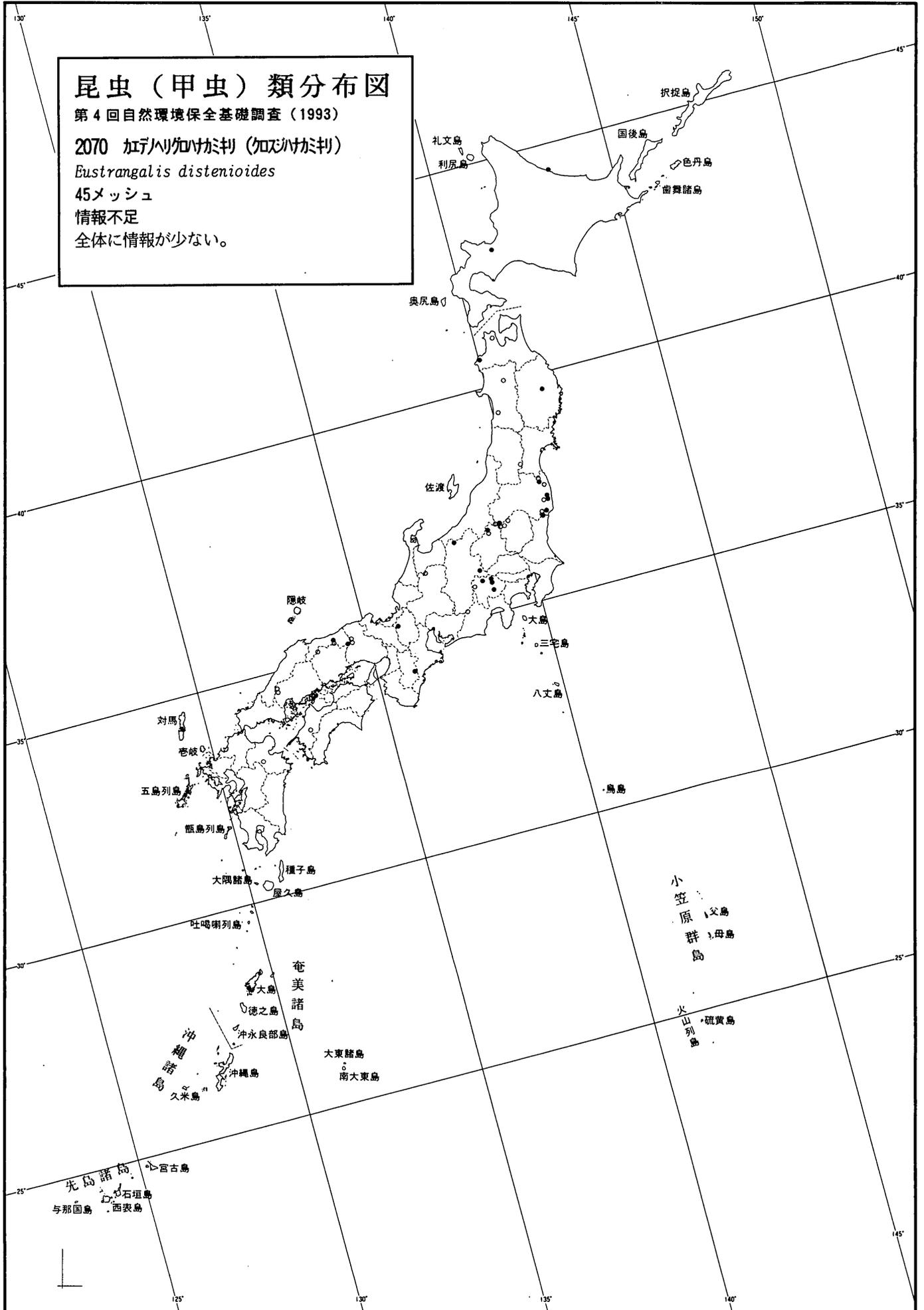
2070 カシハラカケガミササギ（カシハラガミササギ）

*Eustrangalis distenioides*

45メッシュ

情報不足

全体に情報が少ない。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

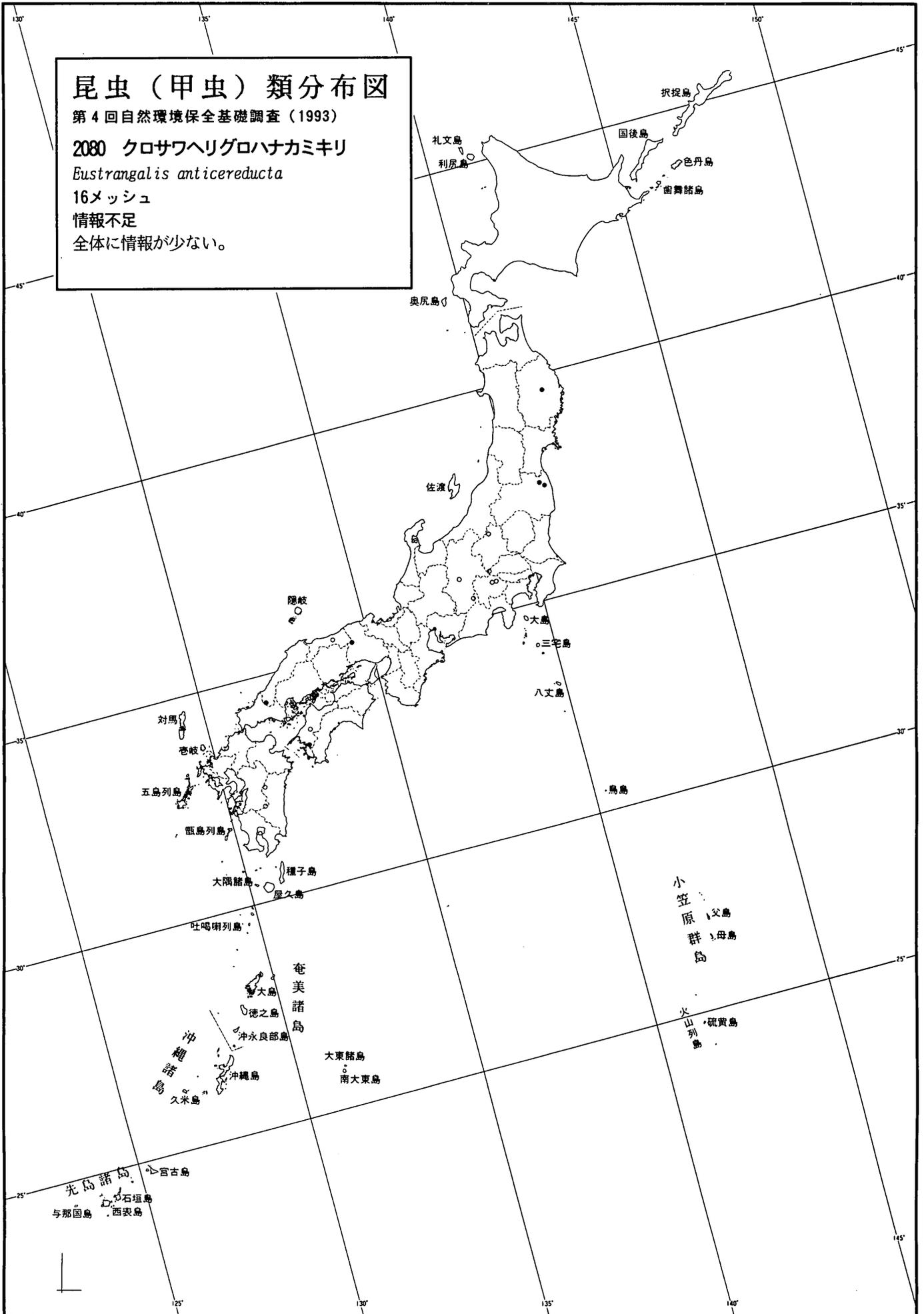
2080 クロサワヘリグロハナカミキリ

*Eustrangalis anticereducta*

16メッシュ

情報不足

全体に情報が少ない。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

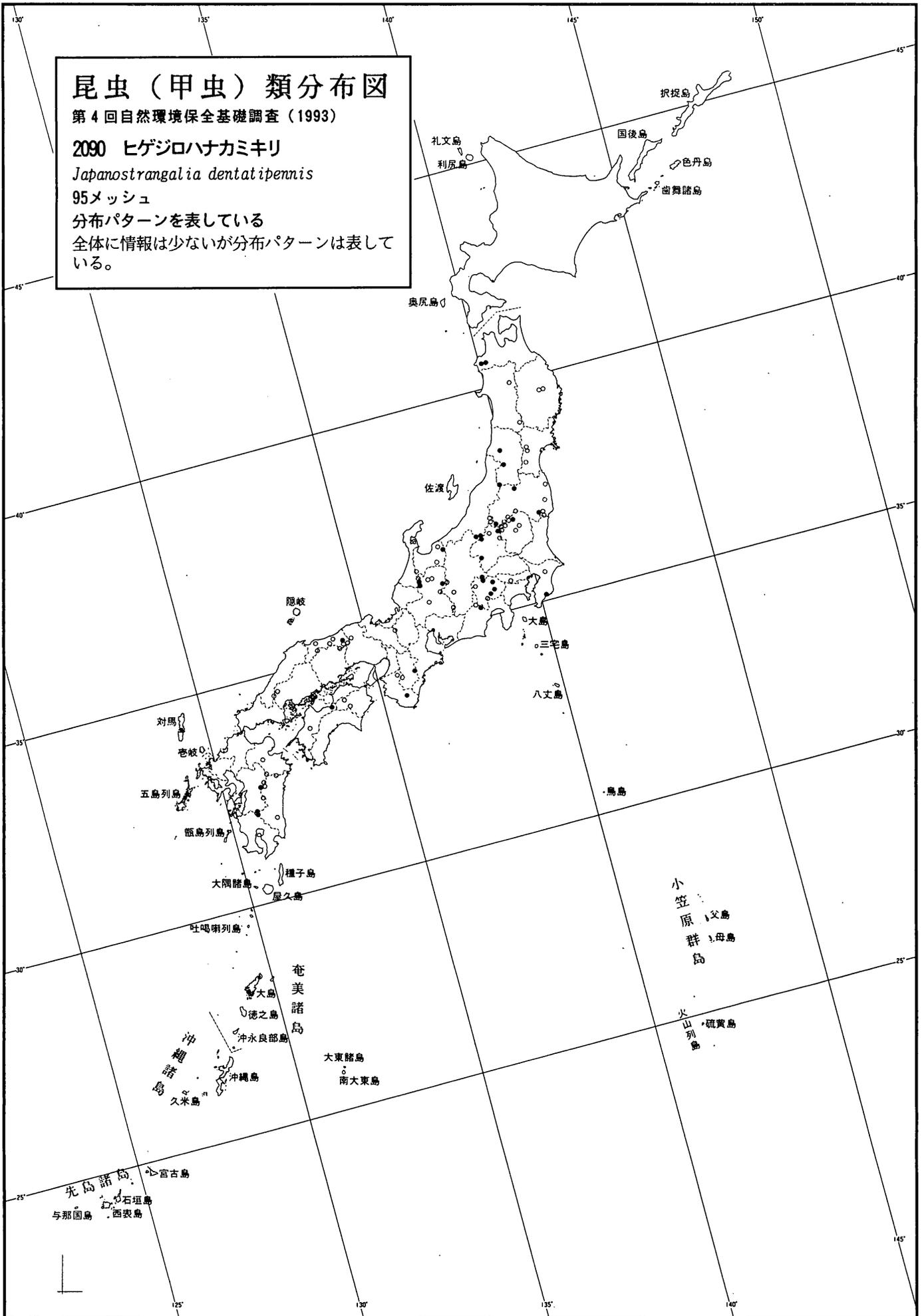
## 2090 ヒゲジロハナカミキリ

*Japanostrangalia dentatipennis*

95メッシュ

分布パターンを表している

全体に情報は少ないが分布パターンは表している。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

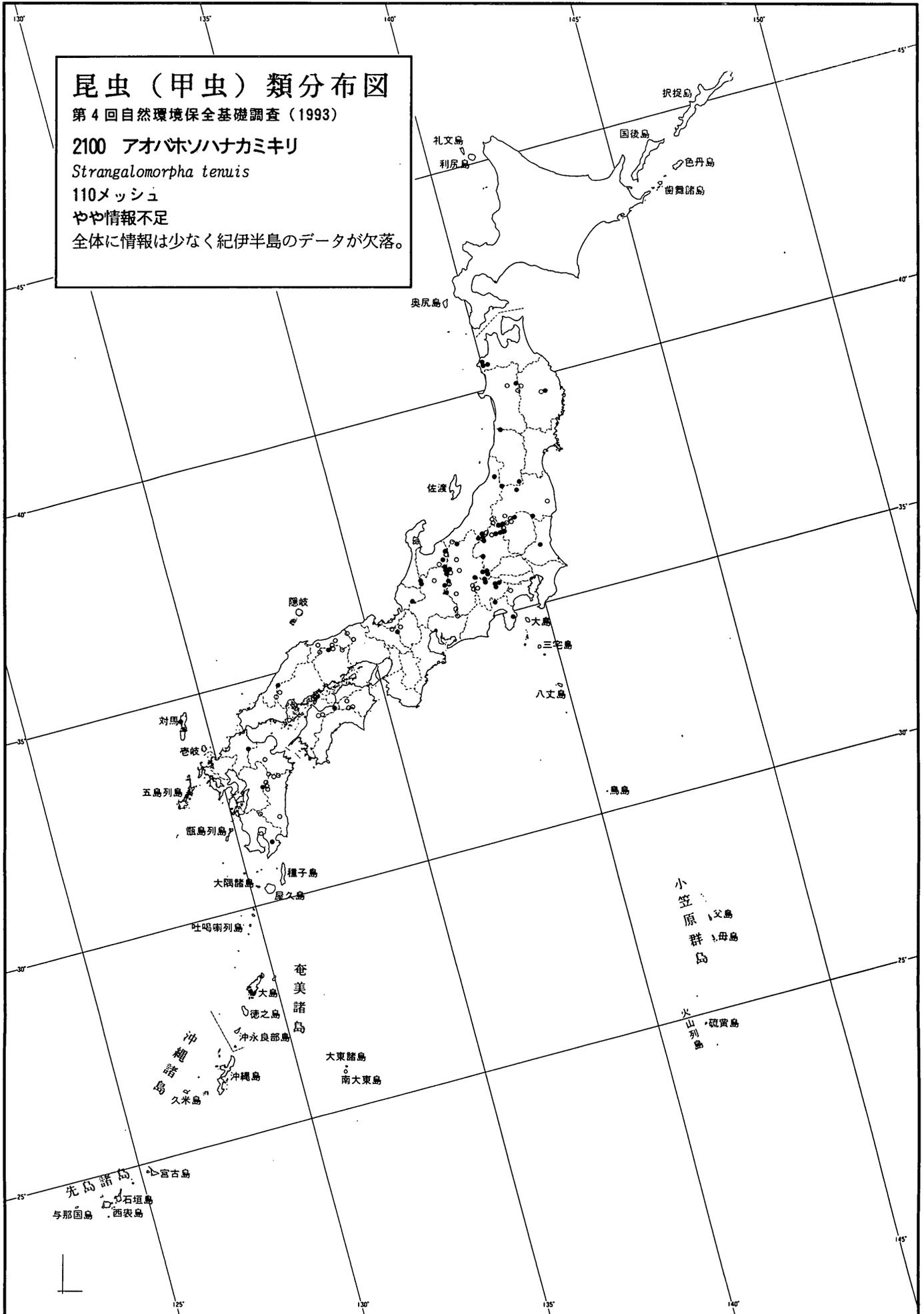
2100 アオバハナカミキリ

*Strangalomorpha tenuis*

110メッシュ

やや情報不足

全体に情報は少なく紀伊半島のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

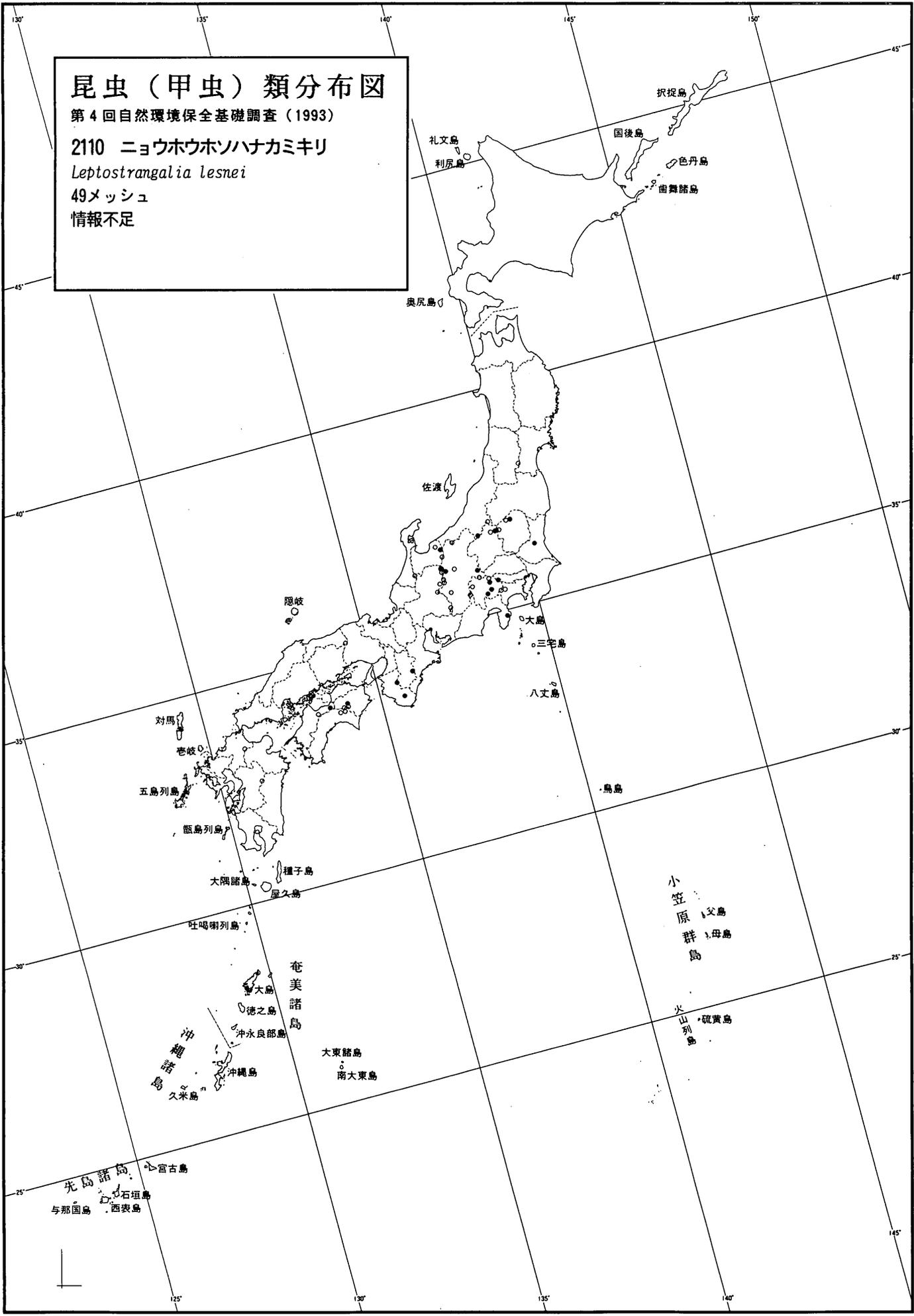
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2110 ニョウホウソノハナカミキリ

*Leptostrangalia lesnei*

49メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

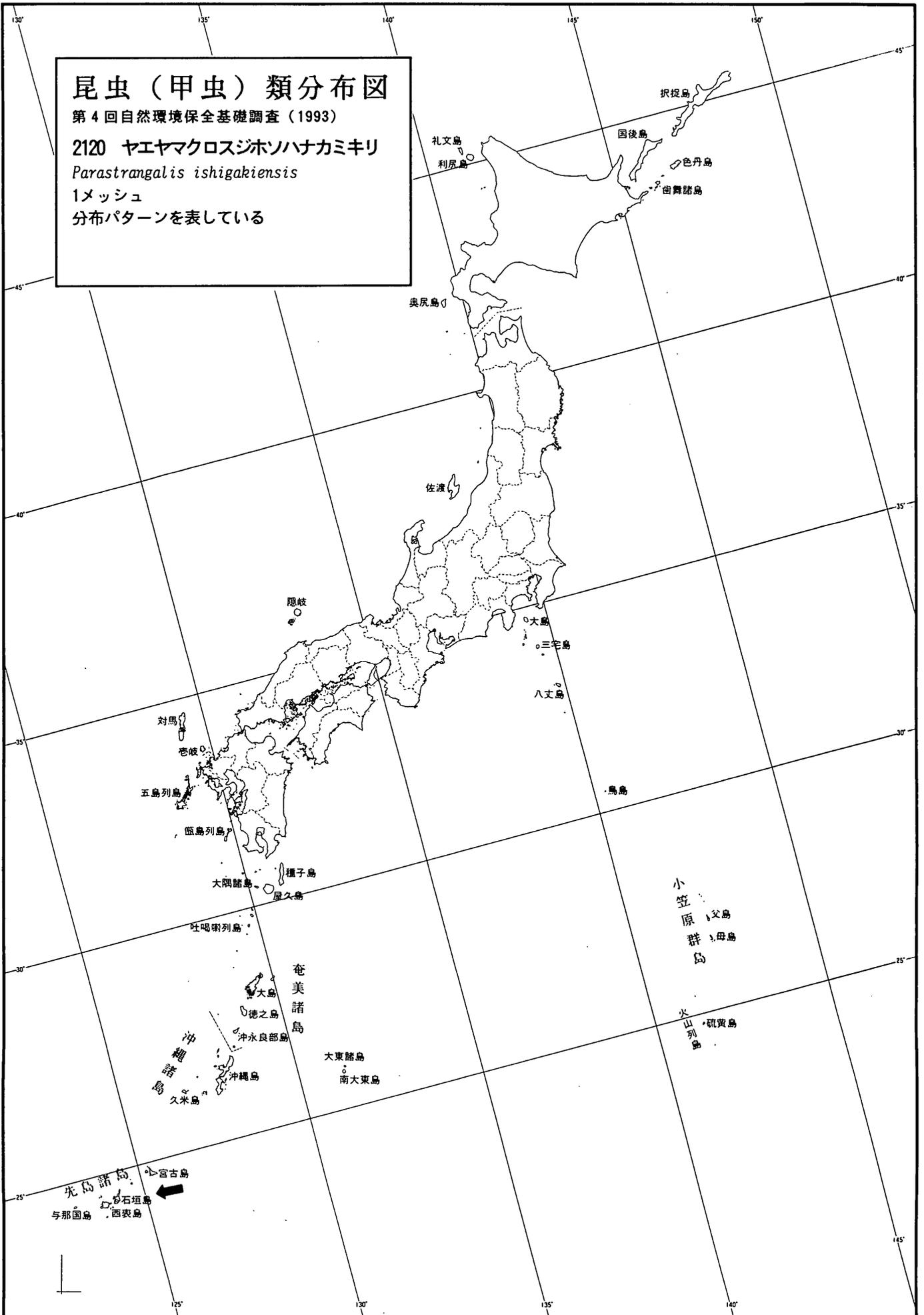
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2120 ヤエヤマクロスジホソハナカミキリ

*Parastrangalis ishigakiensis*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

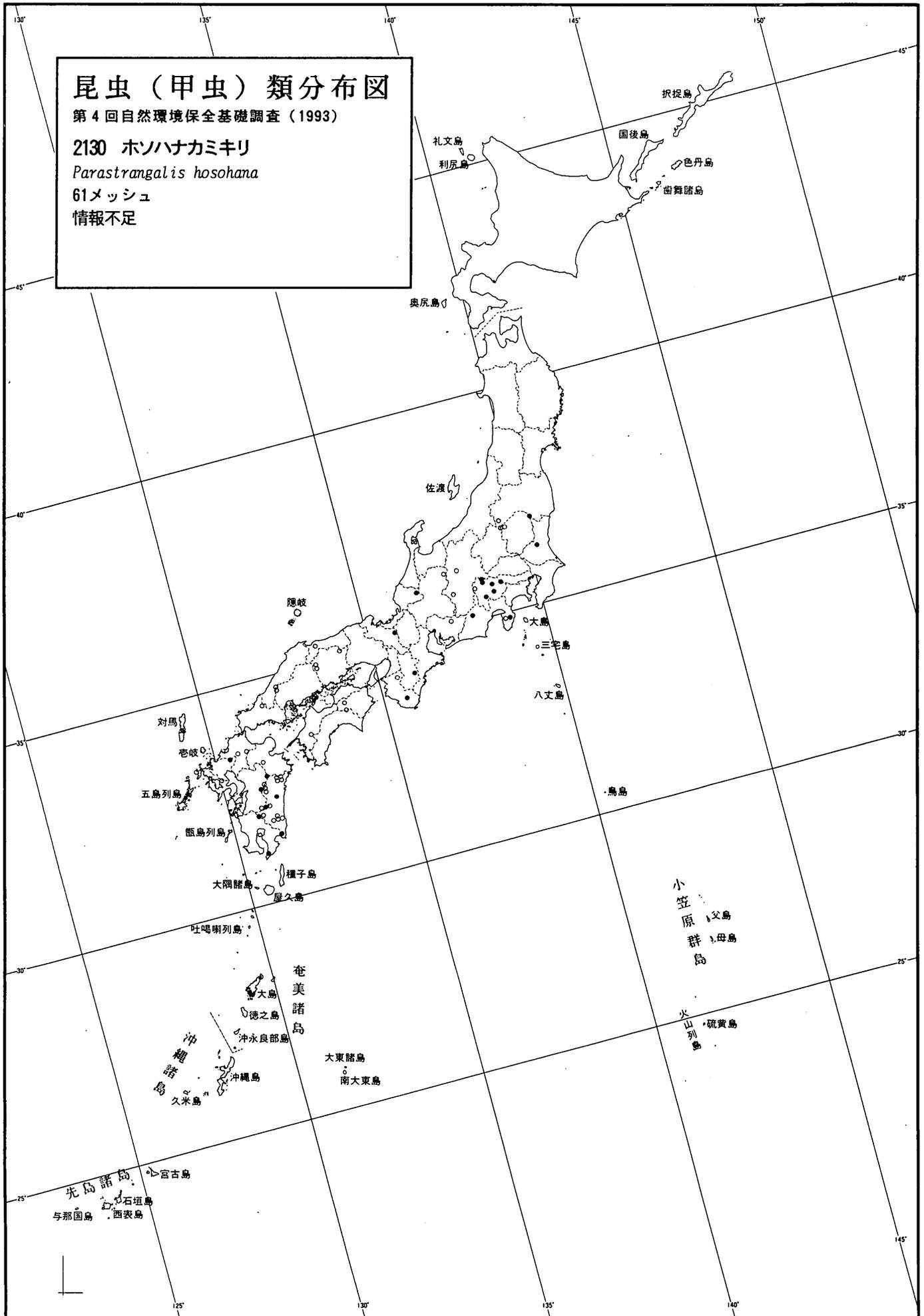
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2130 ホソハナカミキリ

*Parastrangalis hosohana*

61メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

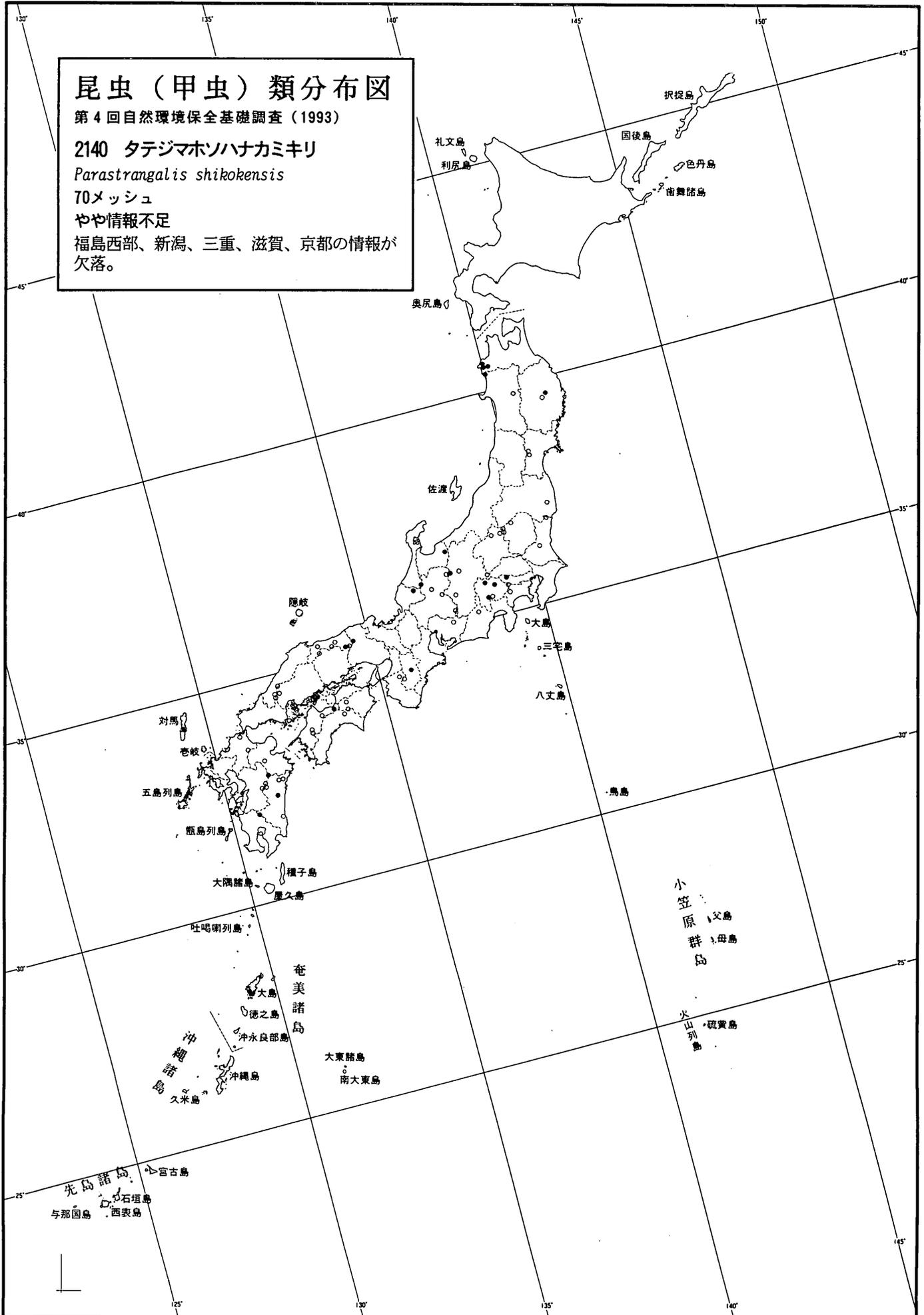
2140 タテジマホソハナカミキリ

*Parastrangalis shikokensis*

70メッシュ

やや情報不足

福島西部、新潟、三重、滋賀、京都の情報が欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

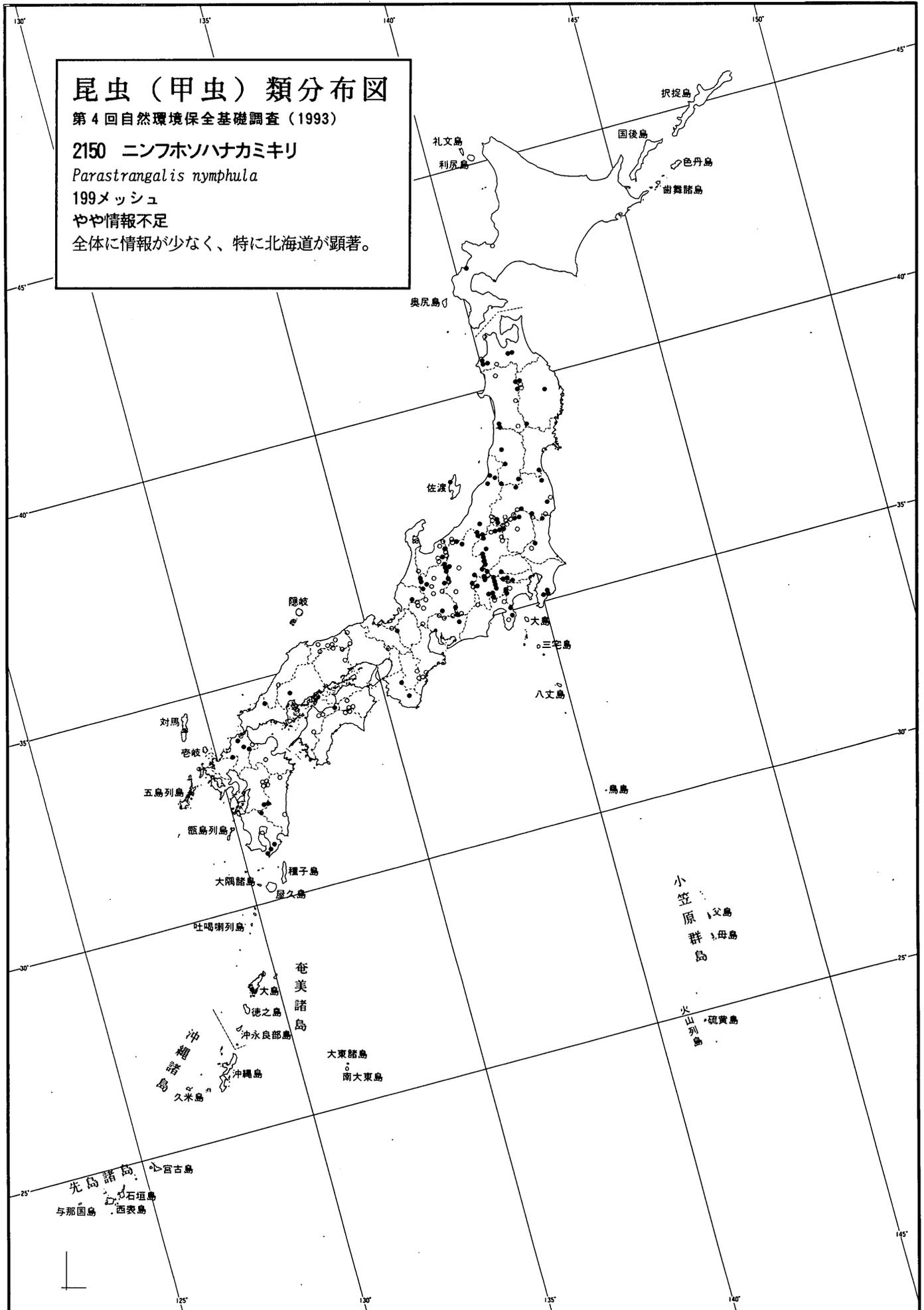
2150 ニンフホソハナカミキリ

*Parastrangalis nymphula*

199メッシュ

やや情報不足

全体に情報が少なく、特に北海道が顕著。



# 昆虫（甲虫）類分布図

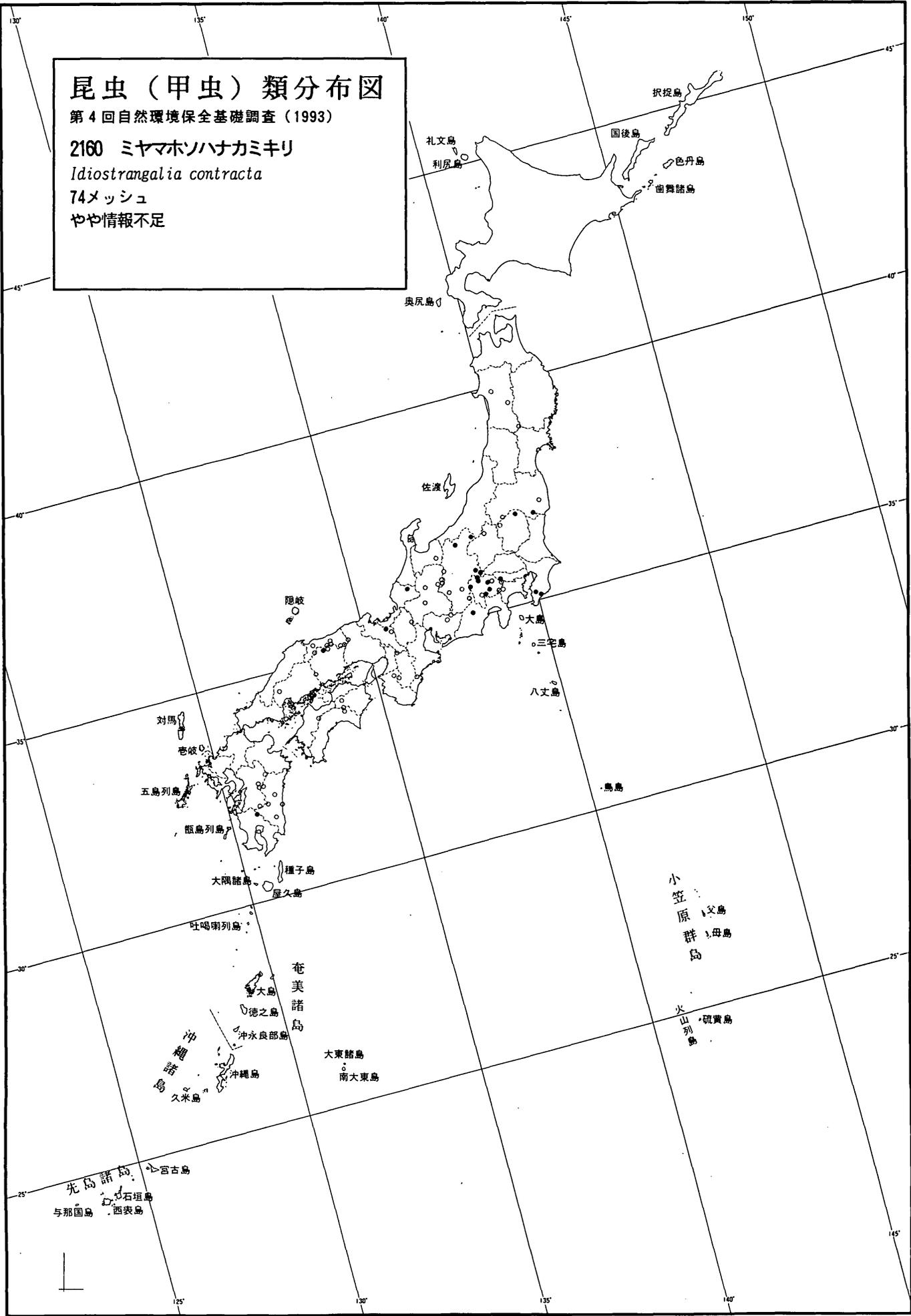
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2160 ミヤマホソハナカミキリ

*Idiostrangalia contracta*

74メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

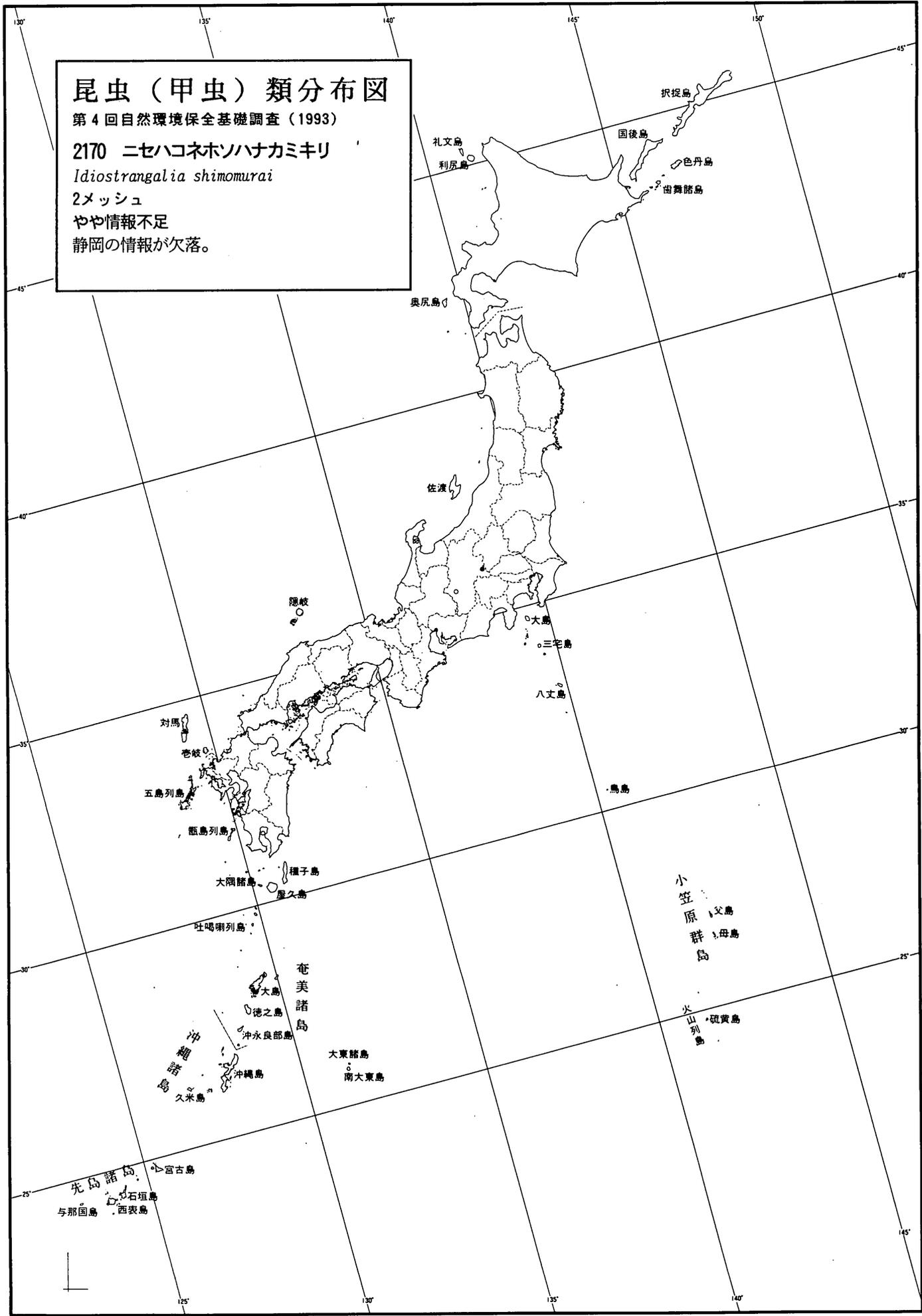
2170 ニセハコネホソハナカミキリ

*Idiostrangalia shimomurai*

2メッシュ

やや情報不足

静岡の情報が欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

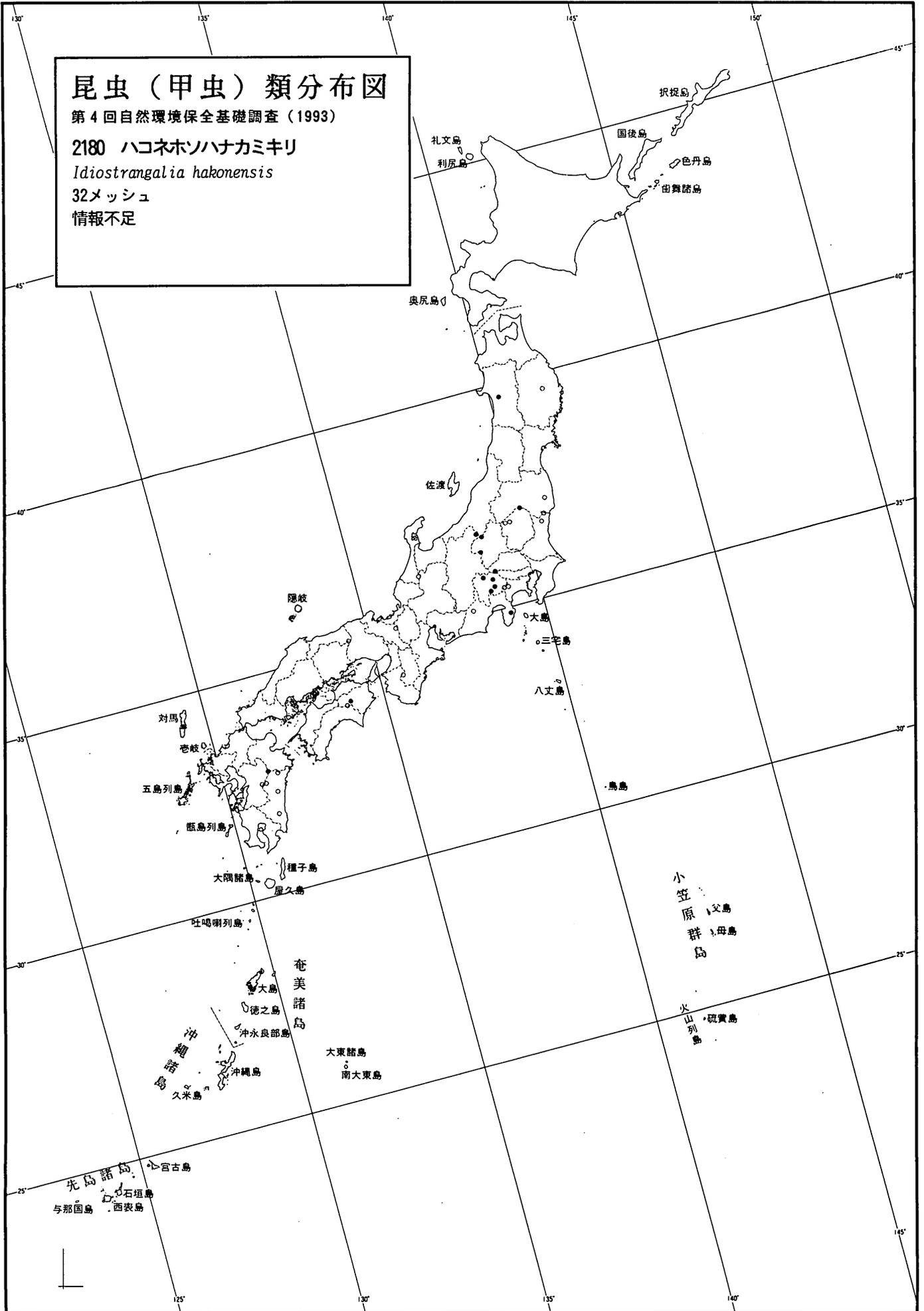
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2180 ハコネホソハナカミキリ

*Idiostrangalia hakonensis*

32メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

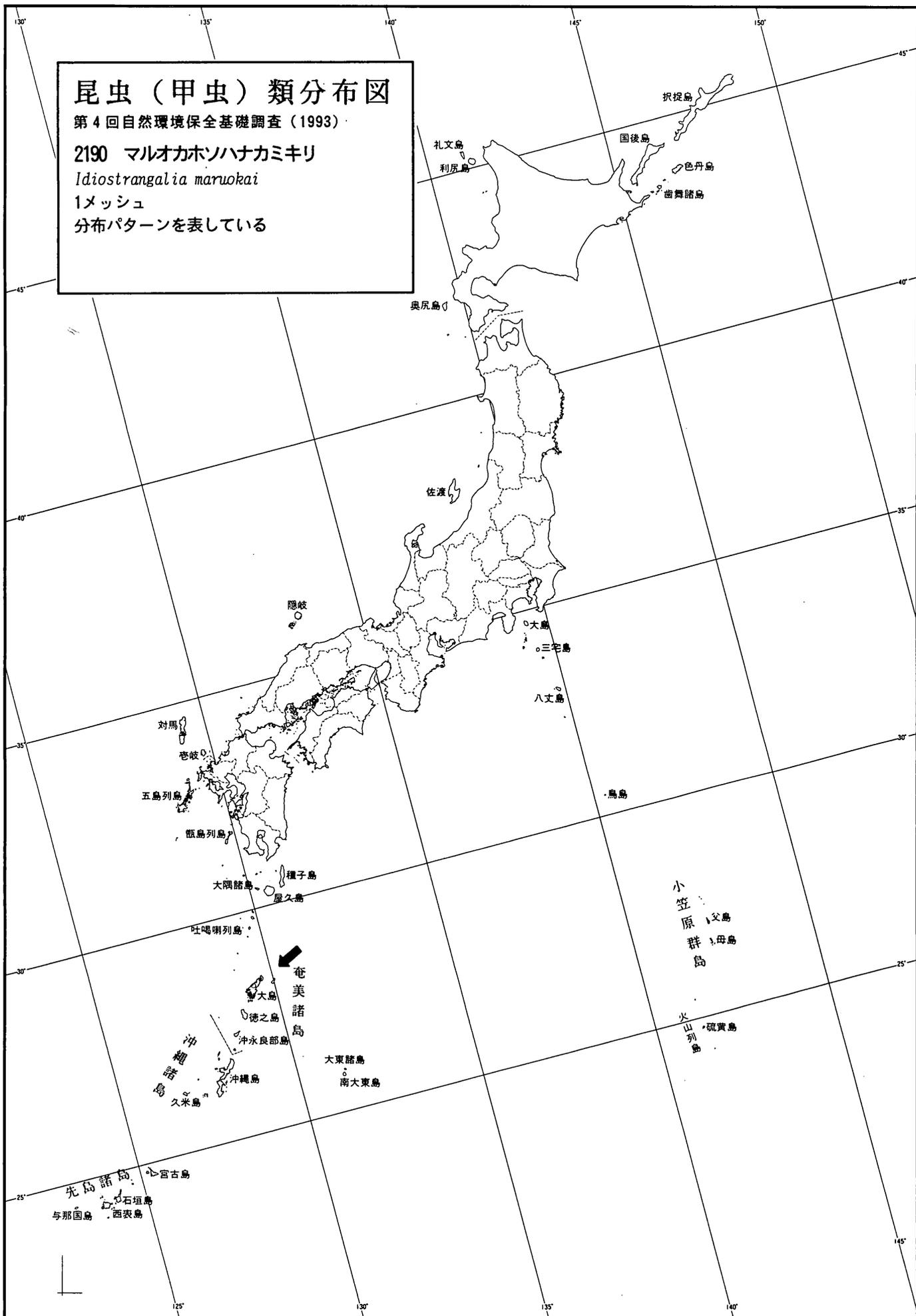
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2190 マルオカホソハナカミキリ

*Idiostrangalia maruokai*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

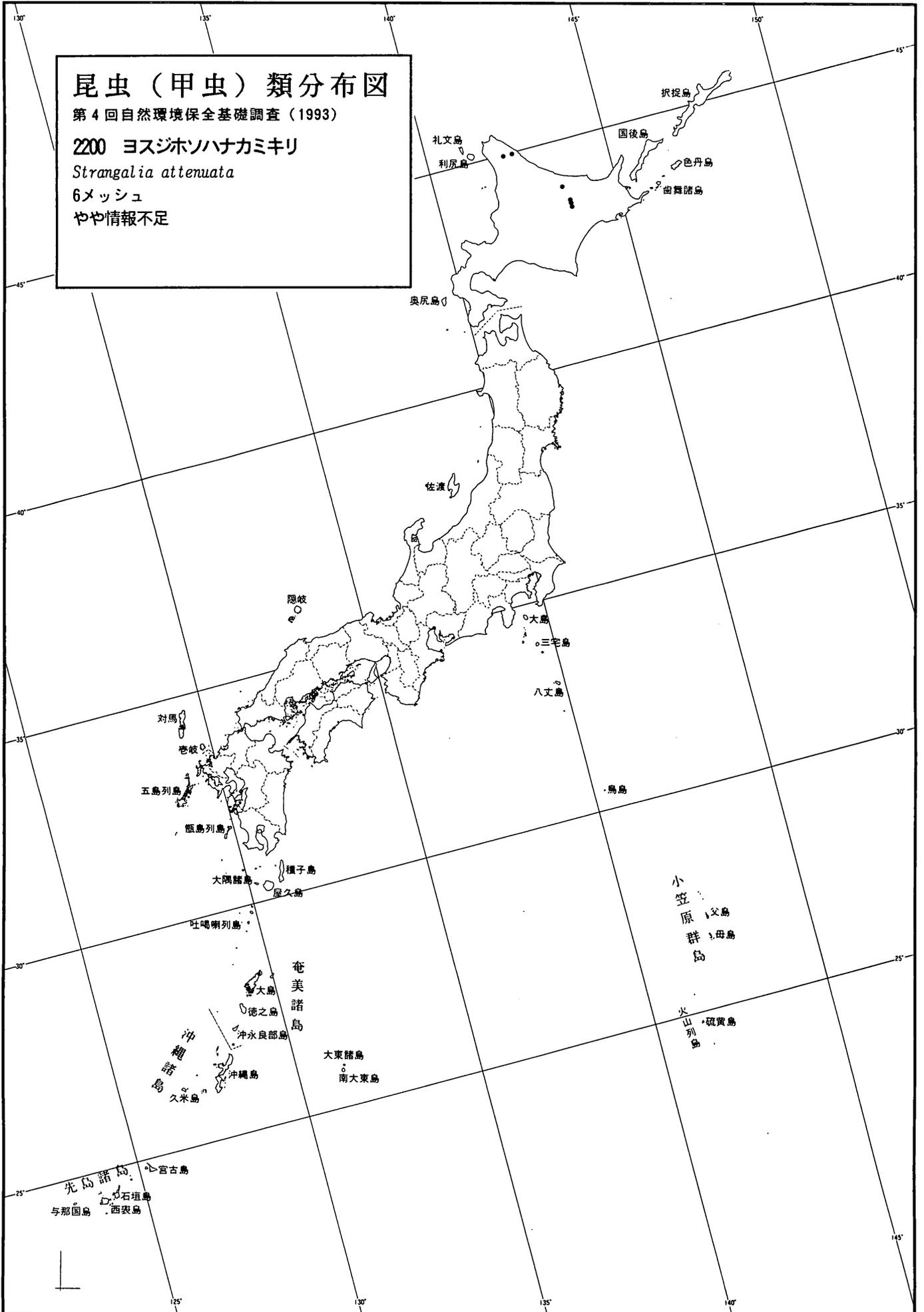
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2200 ヨスジホソハナカミキリ

*Strangalia attenuata*

6メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

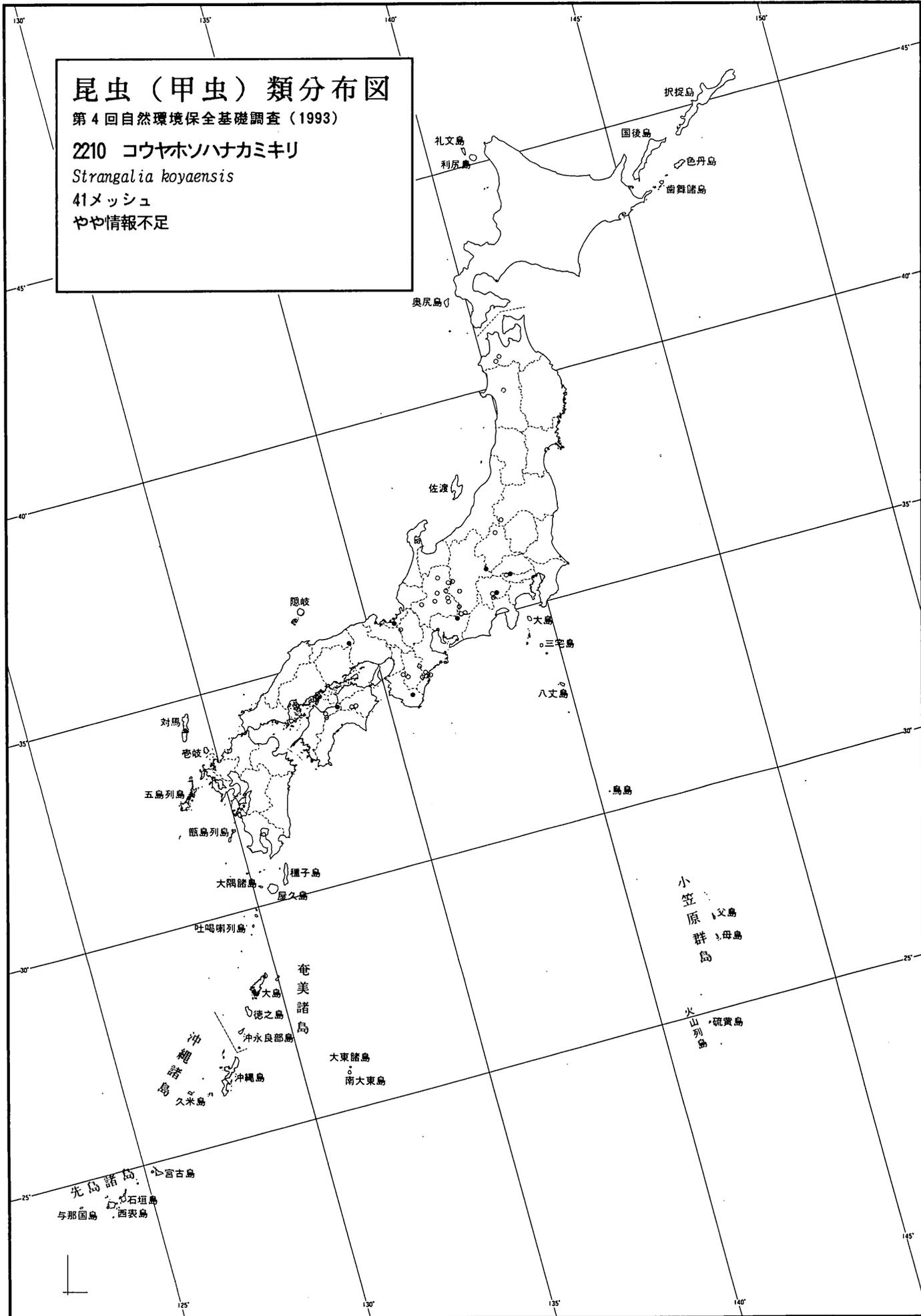
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 2210 コウヤホソハナカミキリ

*Strangalia koyaensis*

41メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

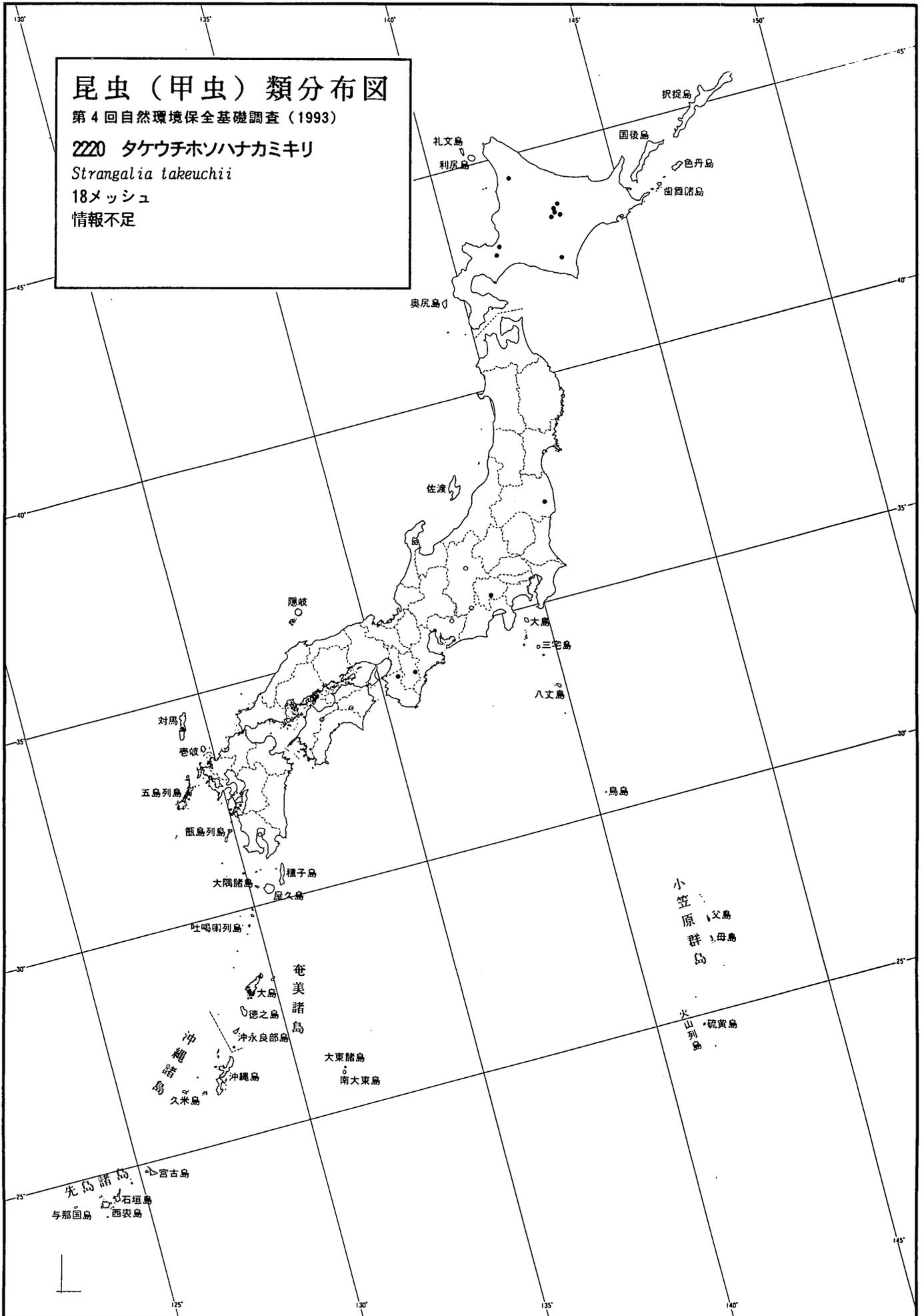
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2220 タケウチホソハナカミキリ

*Strangalia takeuchii*

18メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

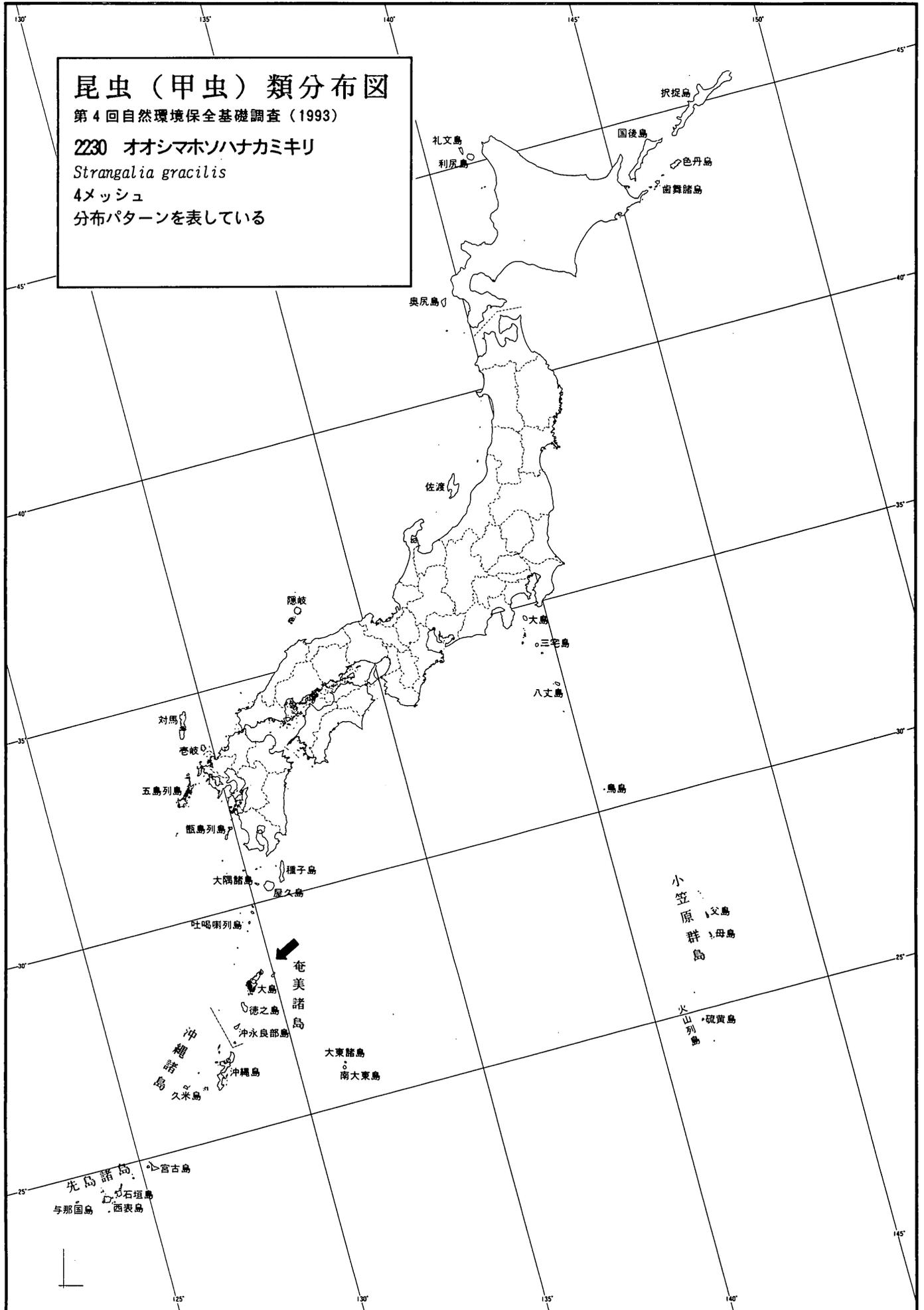
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 2230 オオシマホソハナカミキリ

*Strangalia gracilis*

4メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

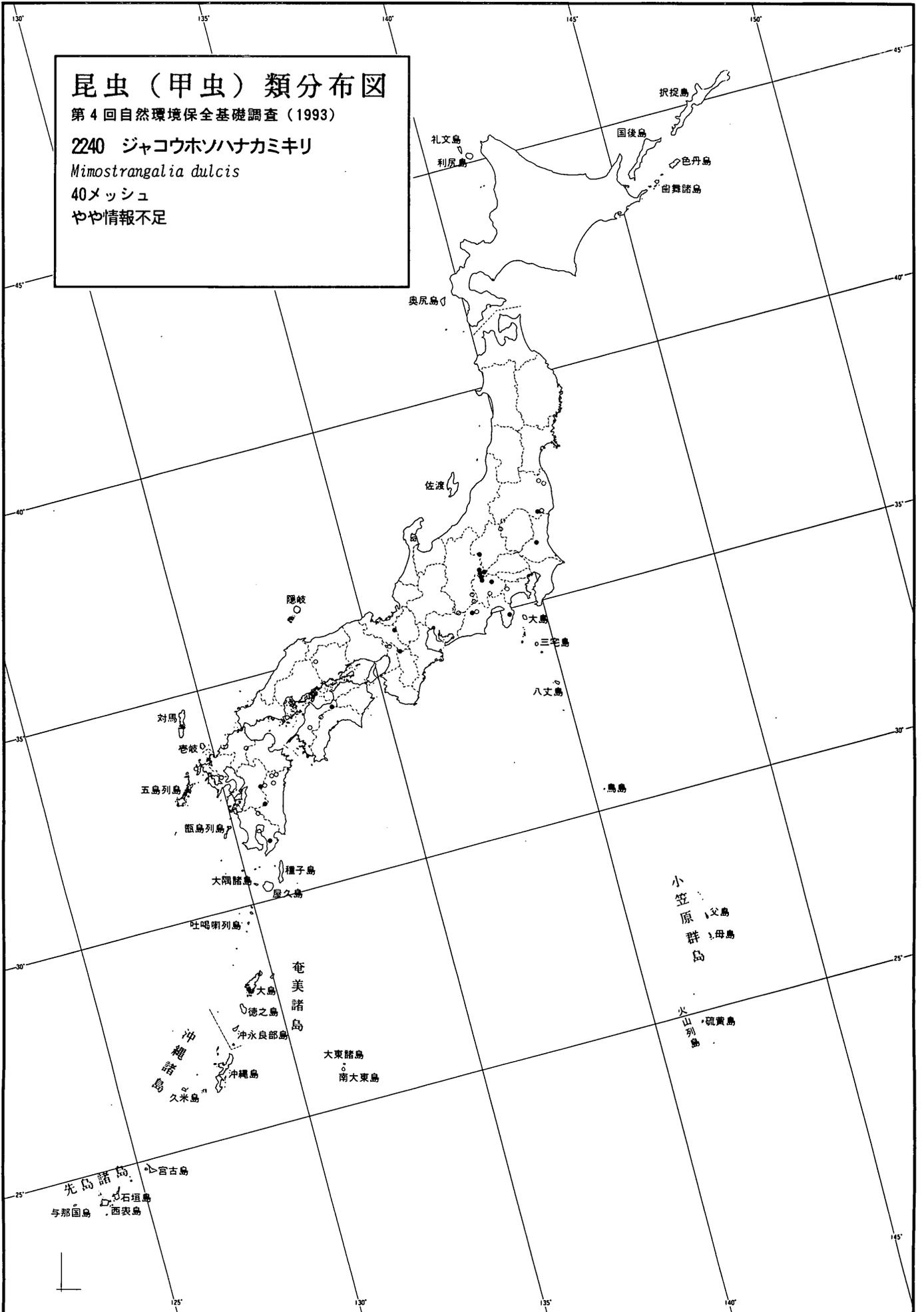
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2240 ジャコウホソハナカミキリ

*Mimostrangalia dulcis*

40メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

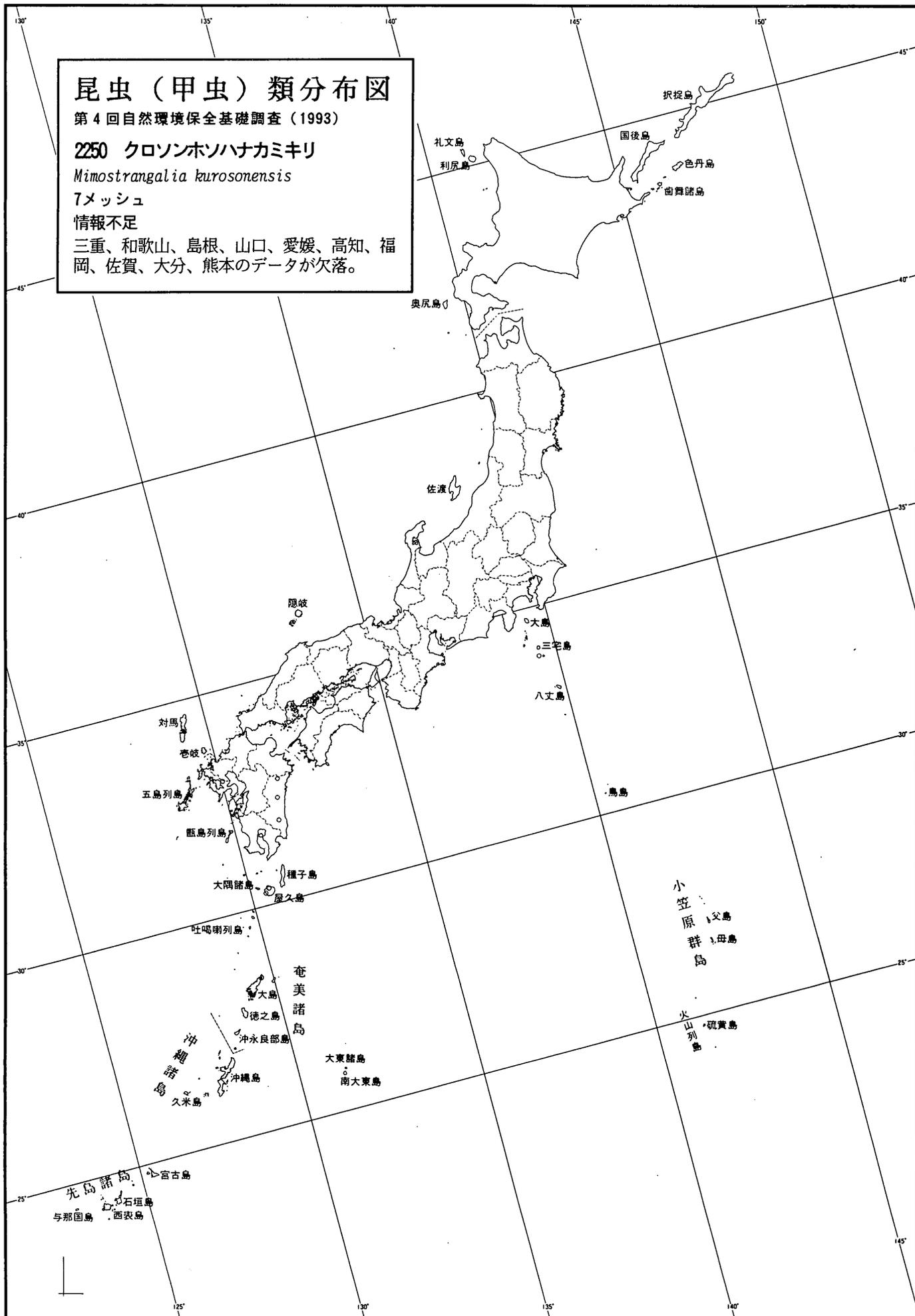
## 2250 クロソンホソハナカミキリ

*Mimostrangalia kurosonensis*

7メッシュ

情報不足

三重、和歌山、島根、山口、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

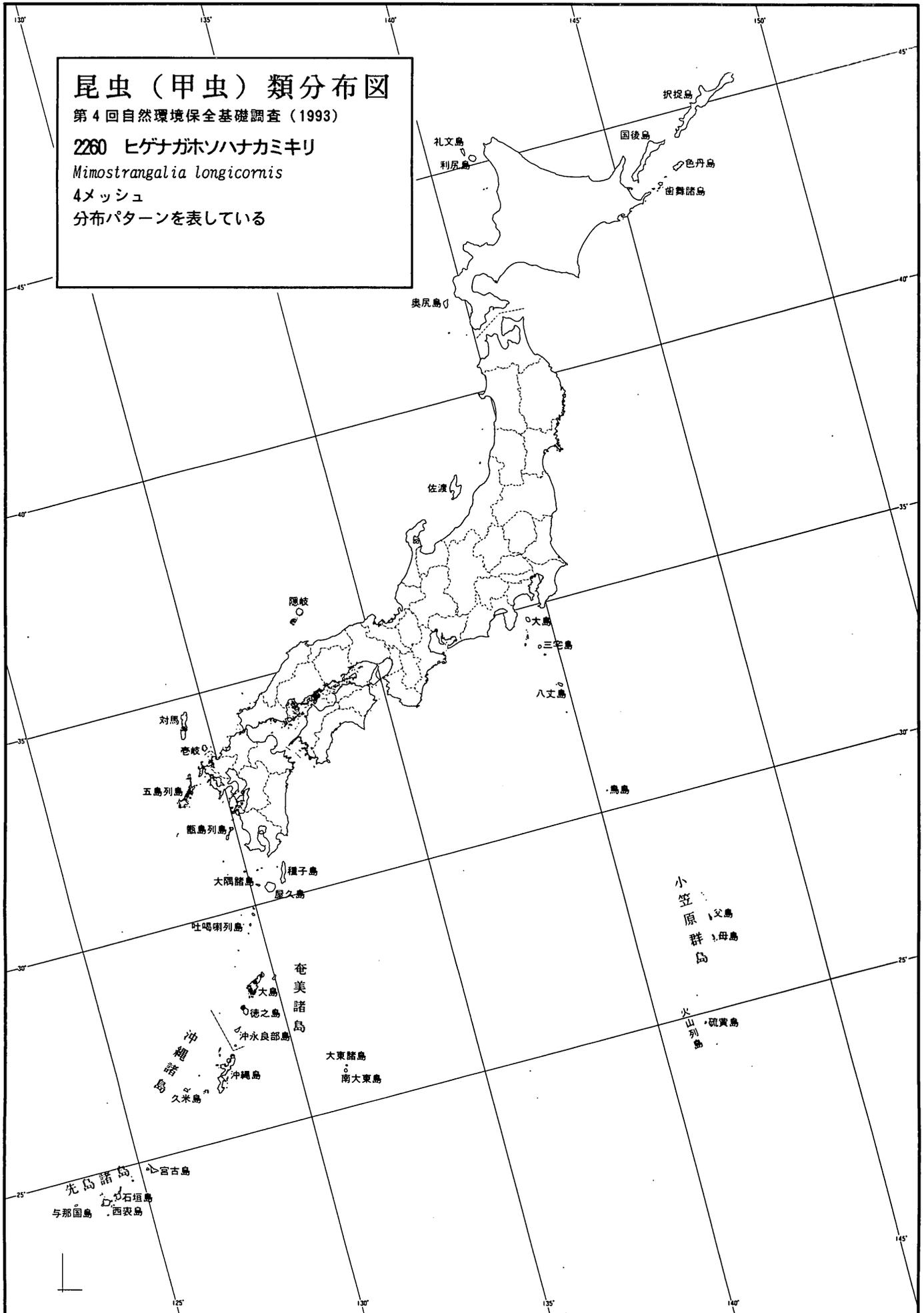
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2260 ヒゲナガホソハナカミキリ

*Mimostrangalia longicornis*

4メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

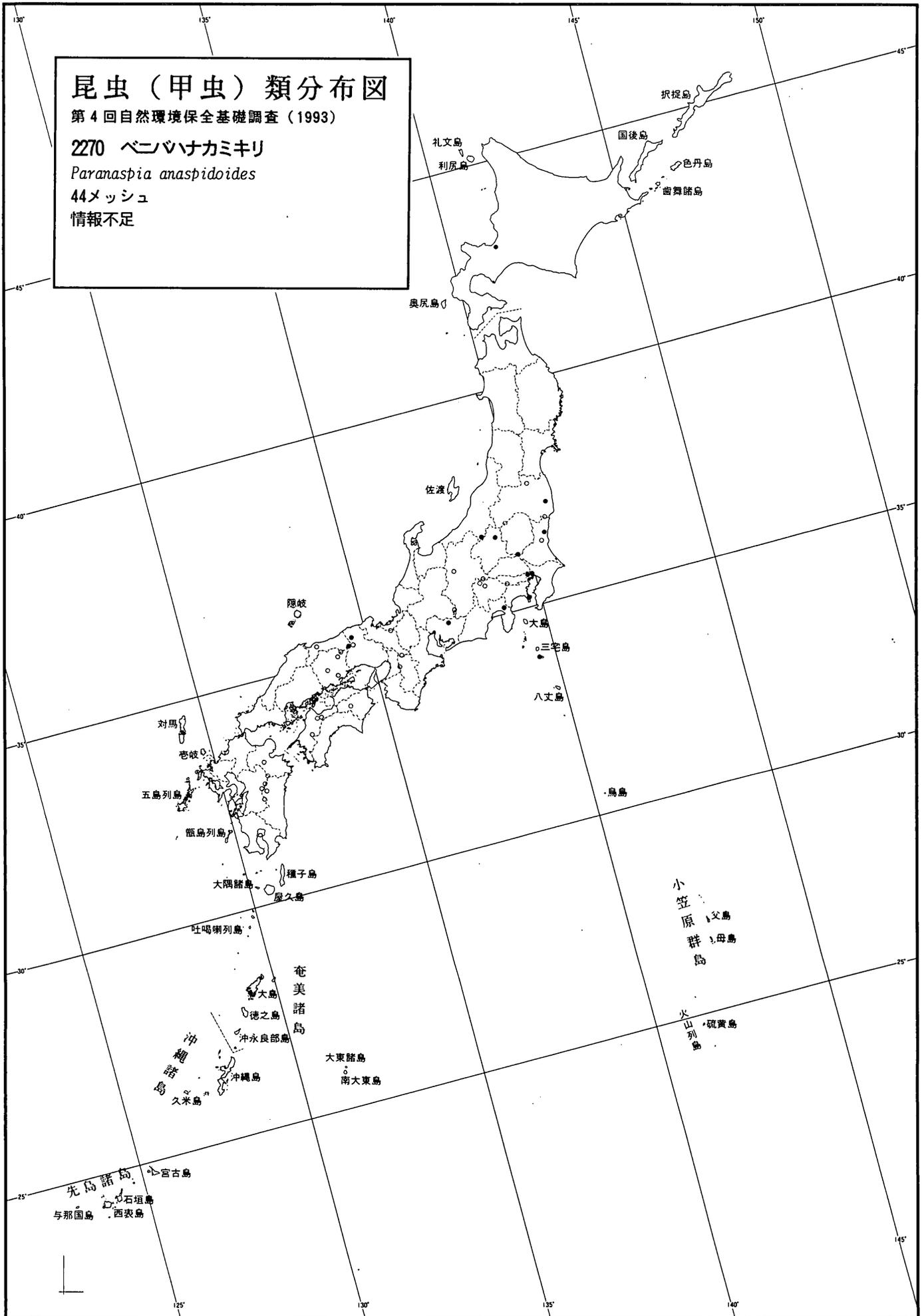
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2270 ベニツナカミキリ

*Paranaspia anaspidoides*

44メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

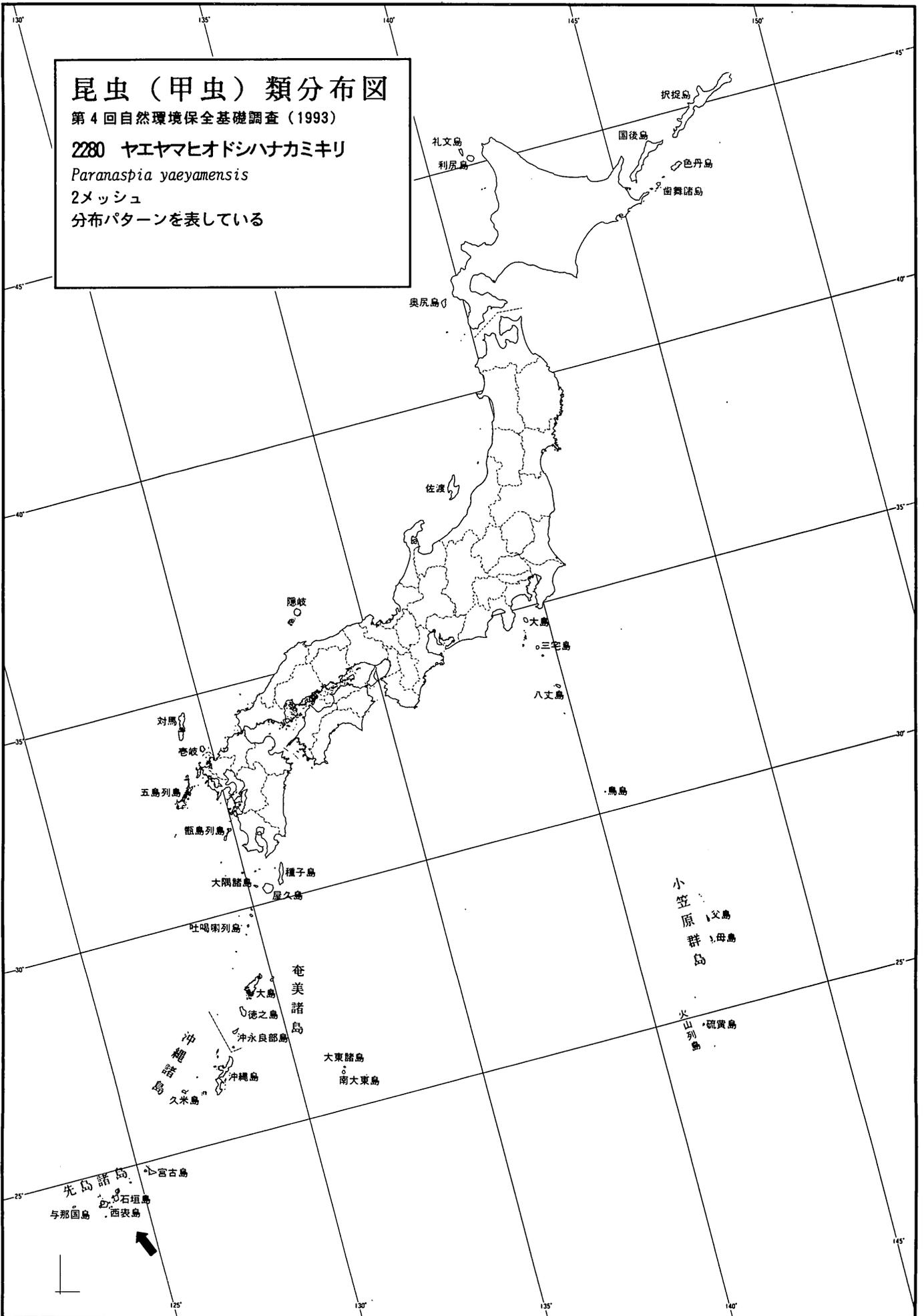
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2280 ヤエヤマヒオドシハナカミキリ

*Paranaspia yaeyamensis*

2メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

第4回自然環境保全基礎調査（1993）

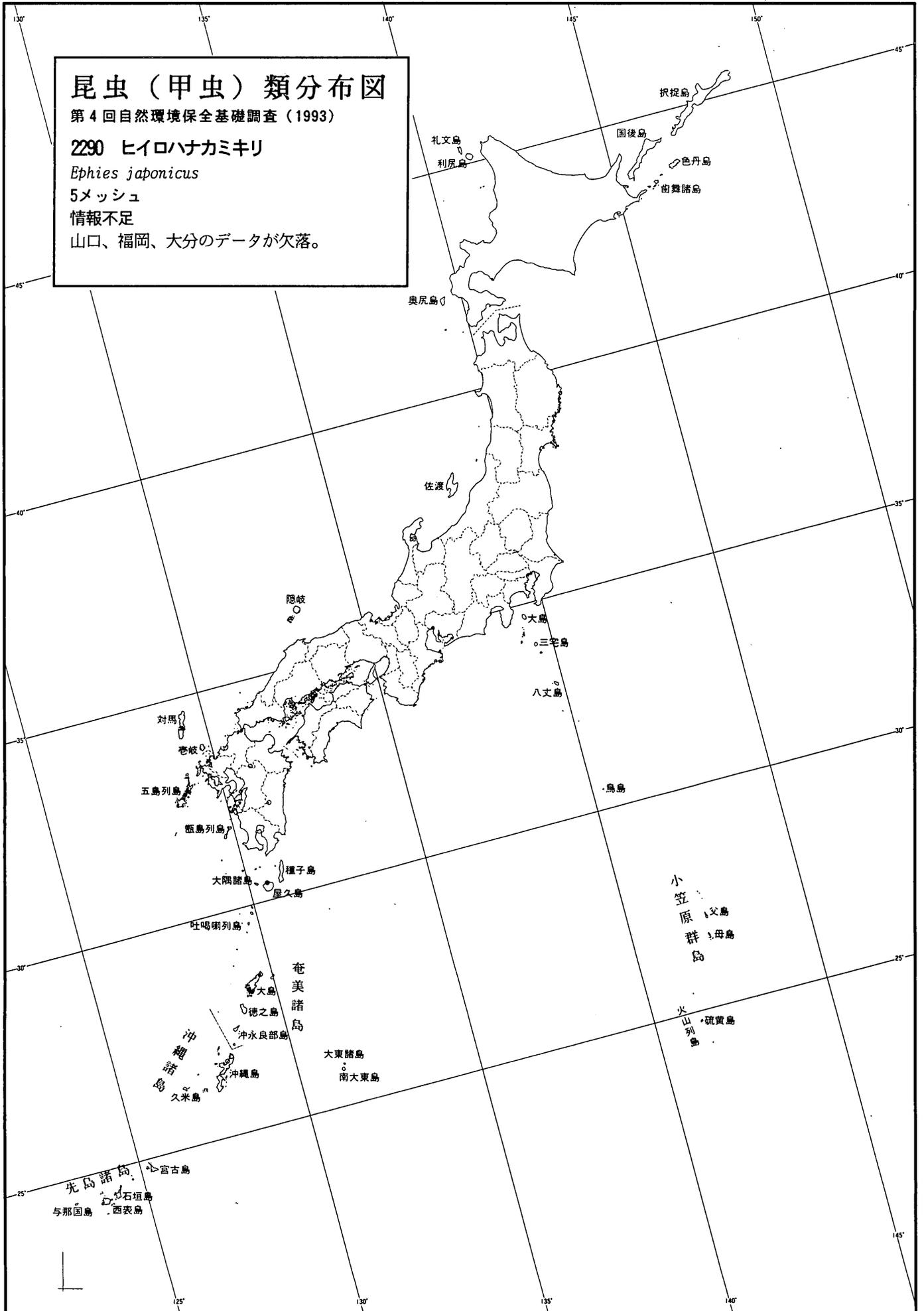
## 2290 ヒロハナカミキリ

*Ephies japonicus*

5メッシュ

情報不足

山口、福岡、大分のデータが欠落。



# 昆虫（甲虫）類分布図

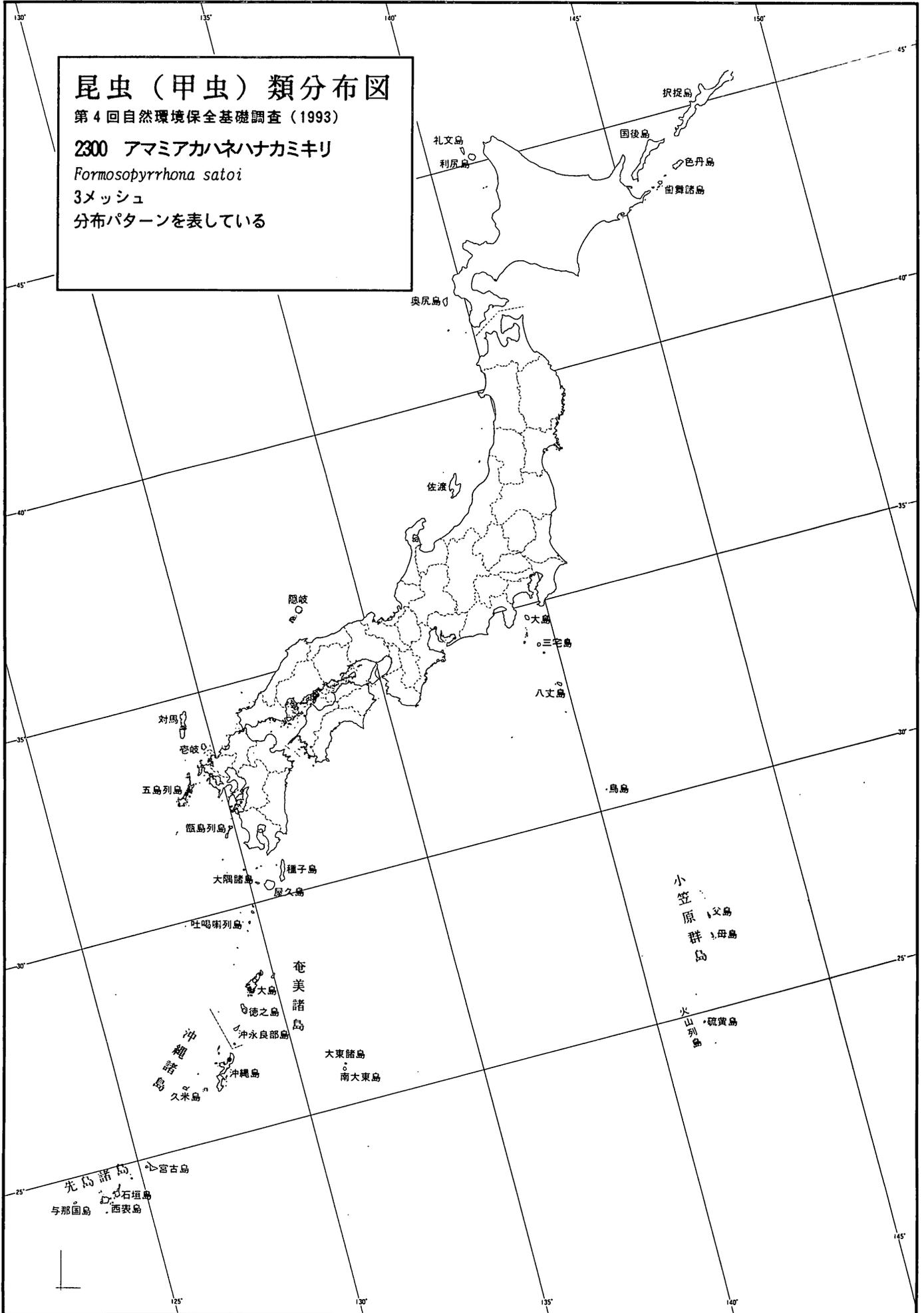
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2300 アマミアカハネハナカミキリ

*Formosopyrrhona satoi*

3メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

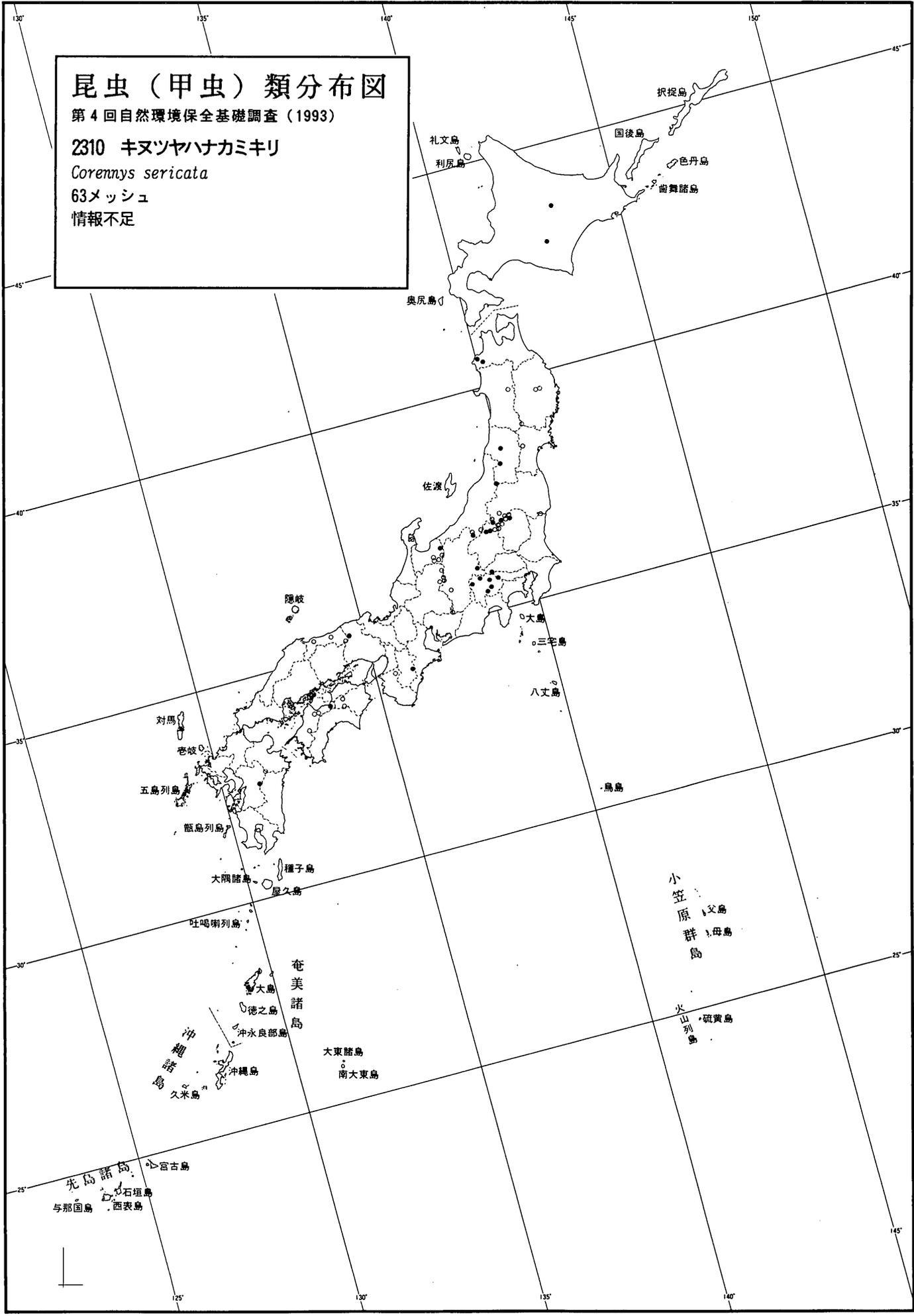
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2310 キヌツヤハナカミキリ

*Coremnys sericata*

63メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

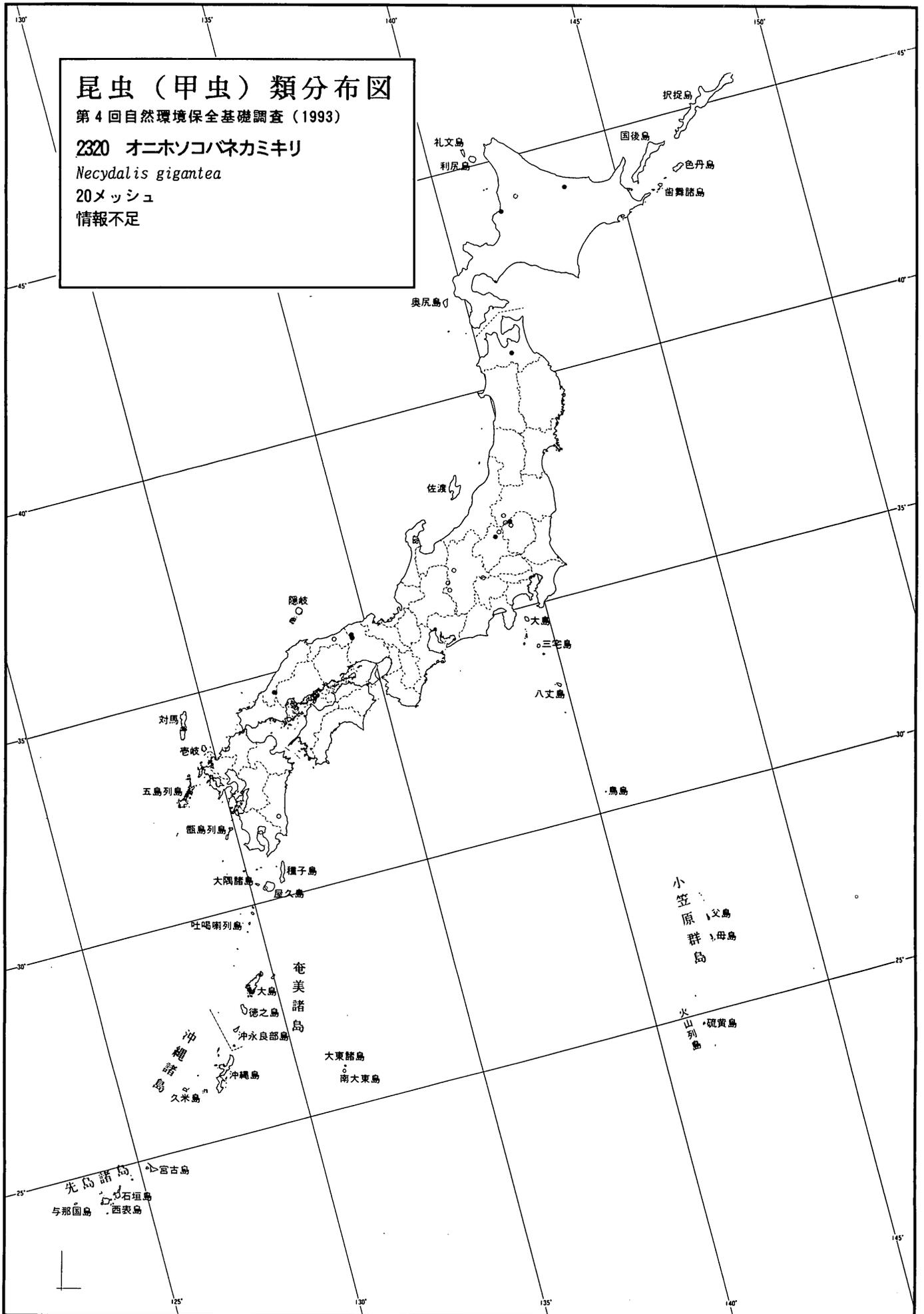
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 2320 オニホソコハネカミキリ

*Necydalis gigantea*

20メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

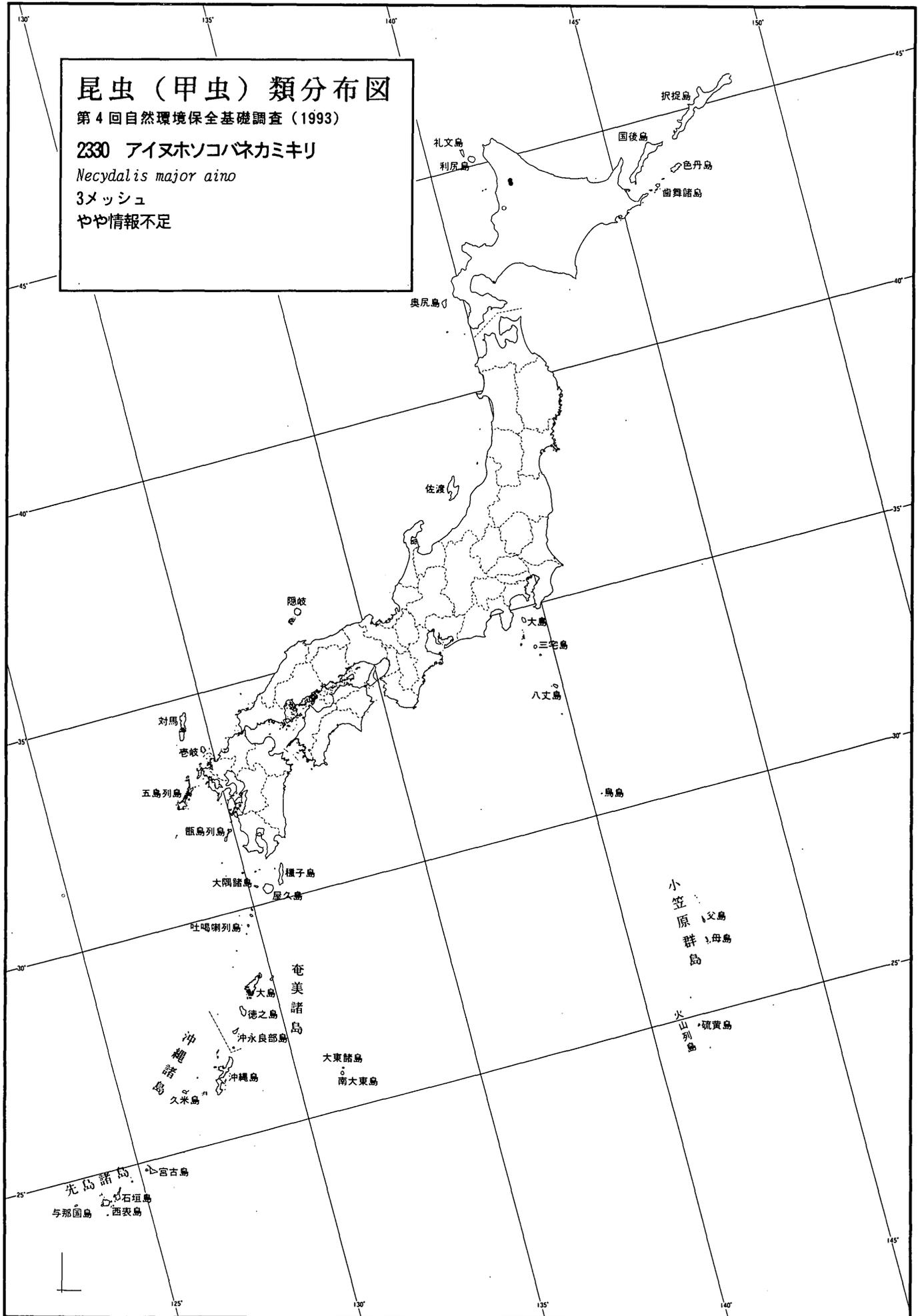
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2330 アイヌホソコバネカミキリ

*Necydalis major aino*

3メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

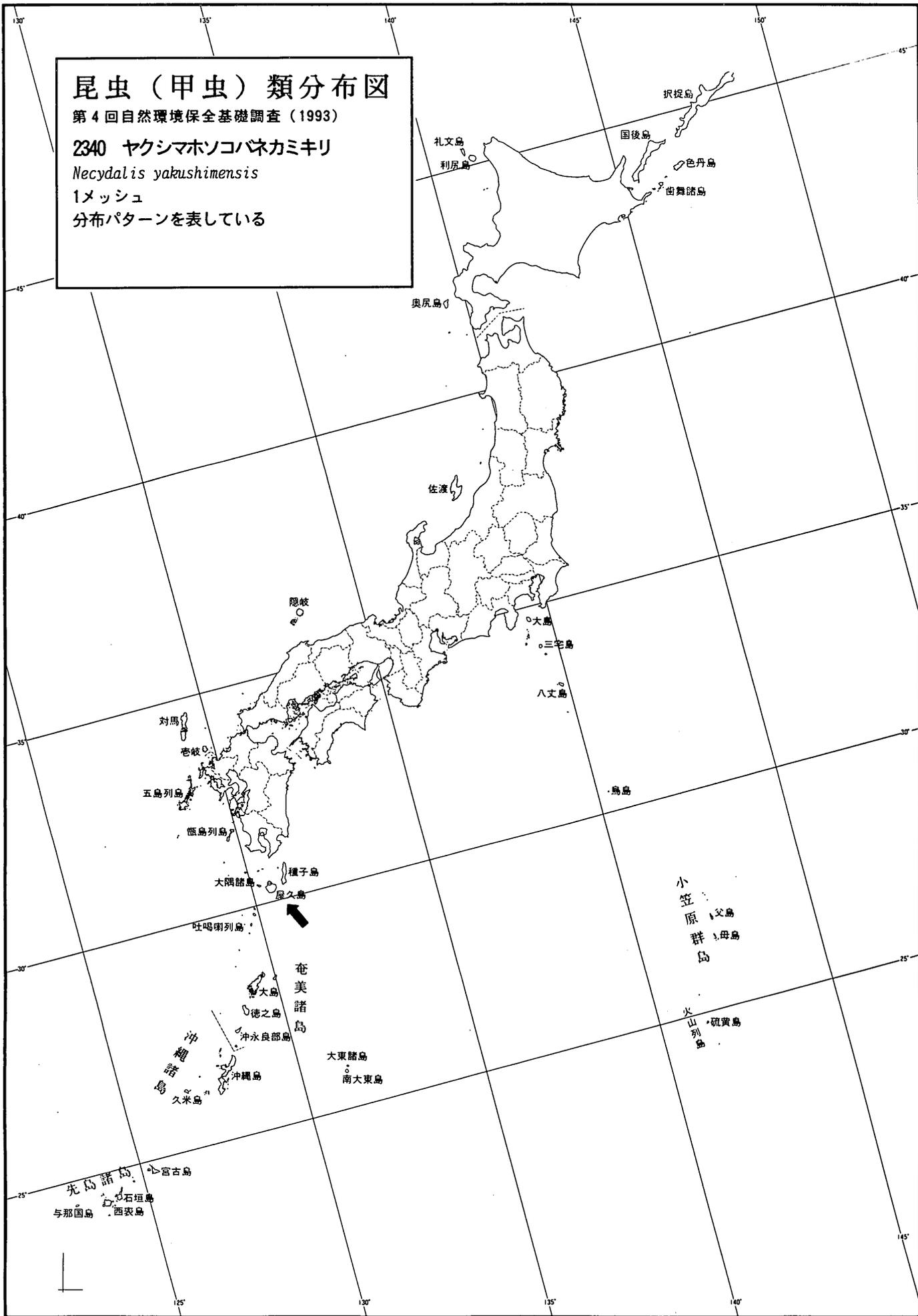
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 2340 ヤクシマホソコハネカミキリ

*Necydalis yakushimensis*

1メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

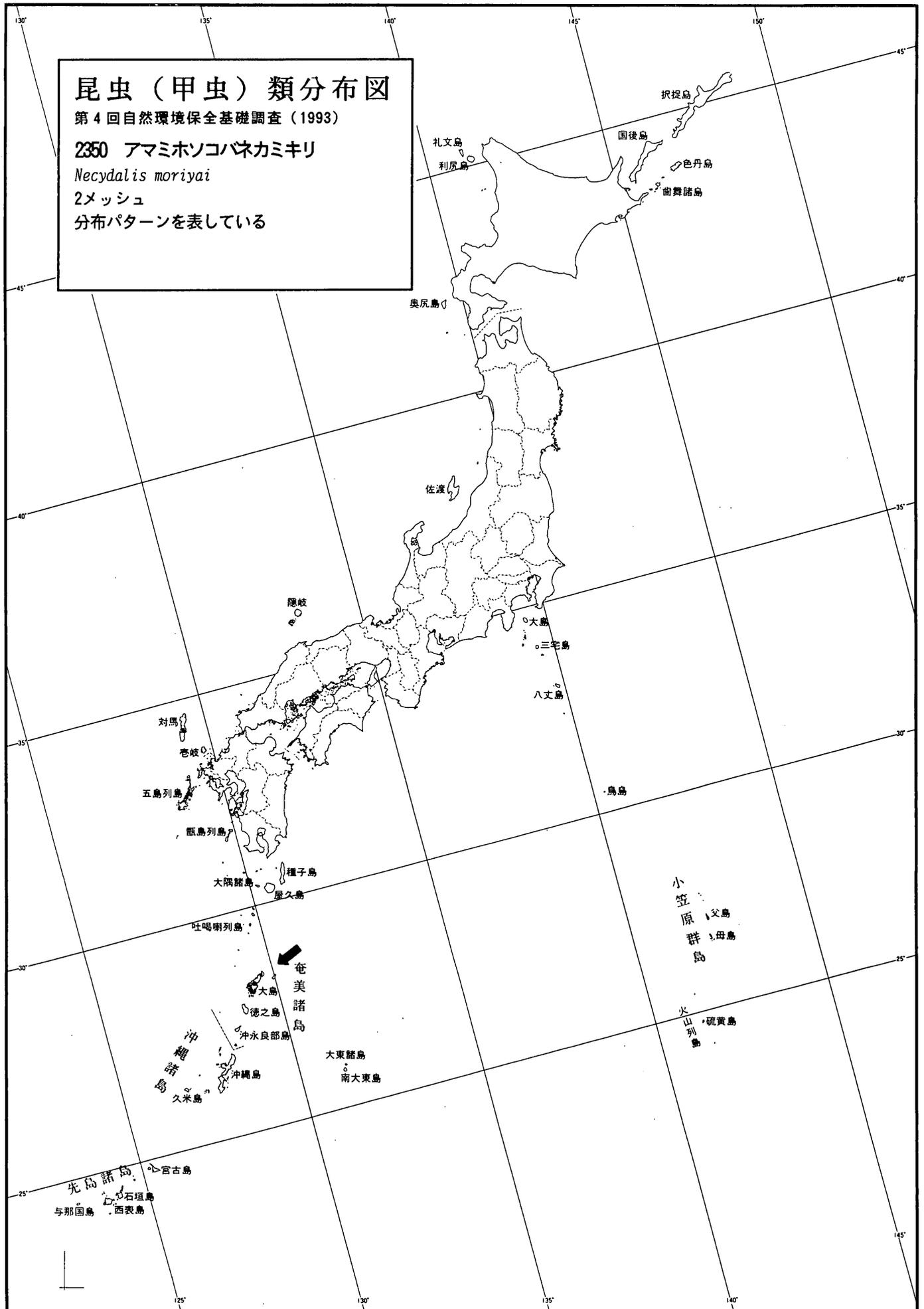
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 2350 アマミホソコバネカミキリ

*Necydalis moriyai*

2メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

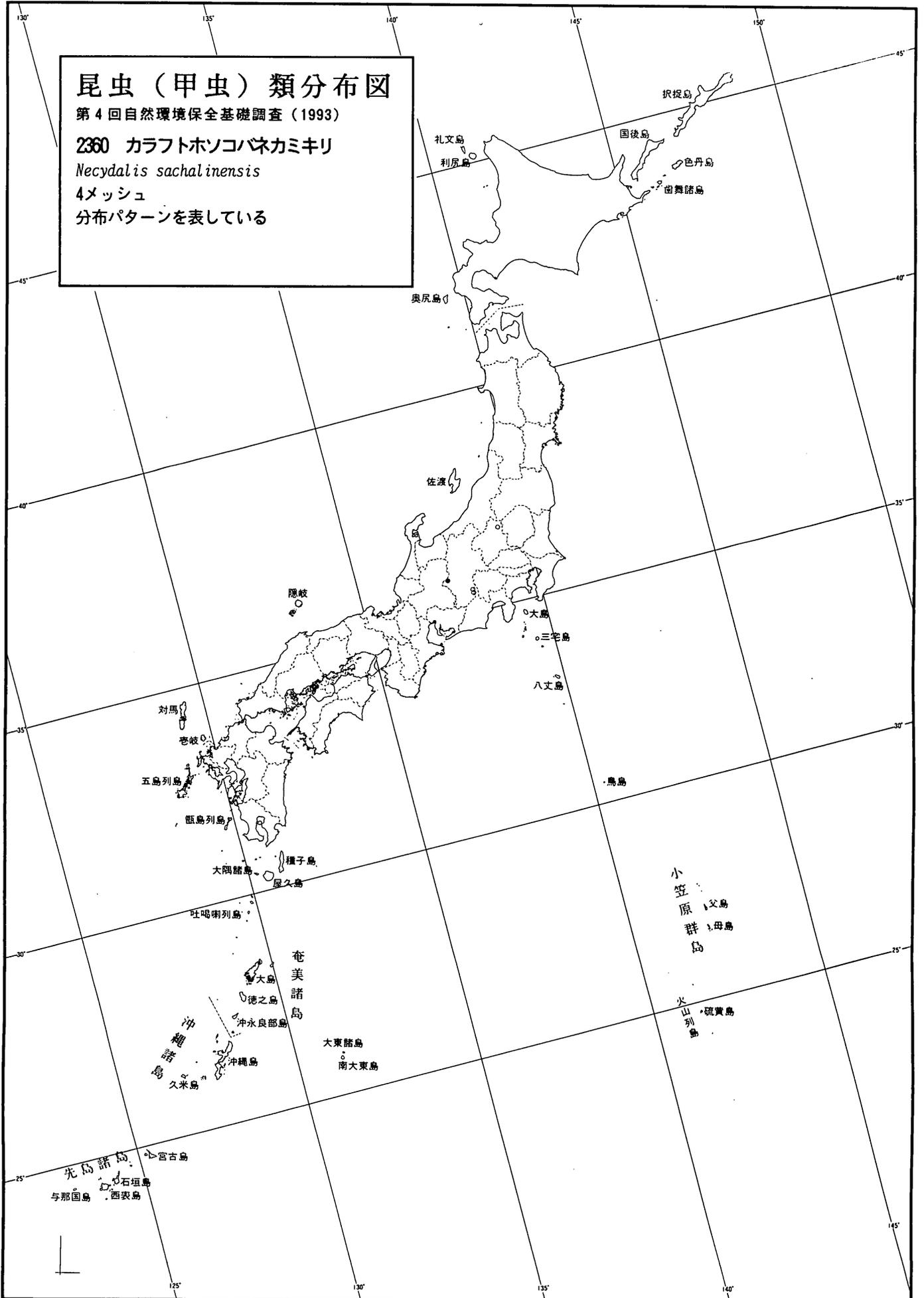
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2360 カラフトホソコバネカミキリ

*Necydalis sachalinensis*

4メッシュ

分布パターンを表している



# 昆虫（甲虫）類分布図

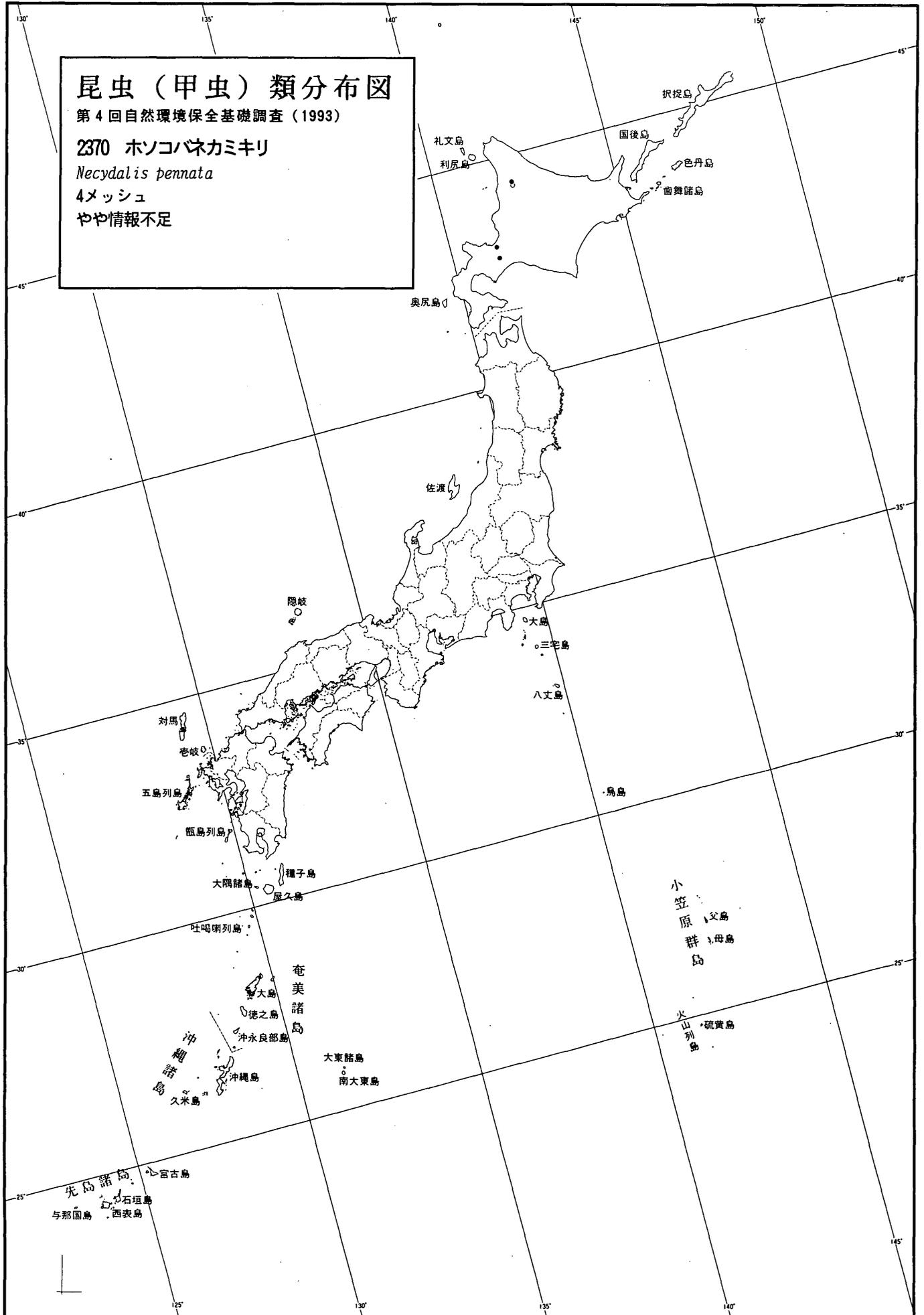
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

## 2370 ホソコバヅカミキリ

*Necydalis pennata*

4メッシュ

やや情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

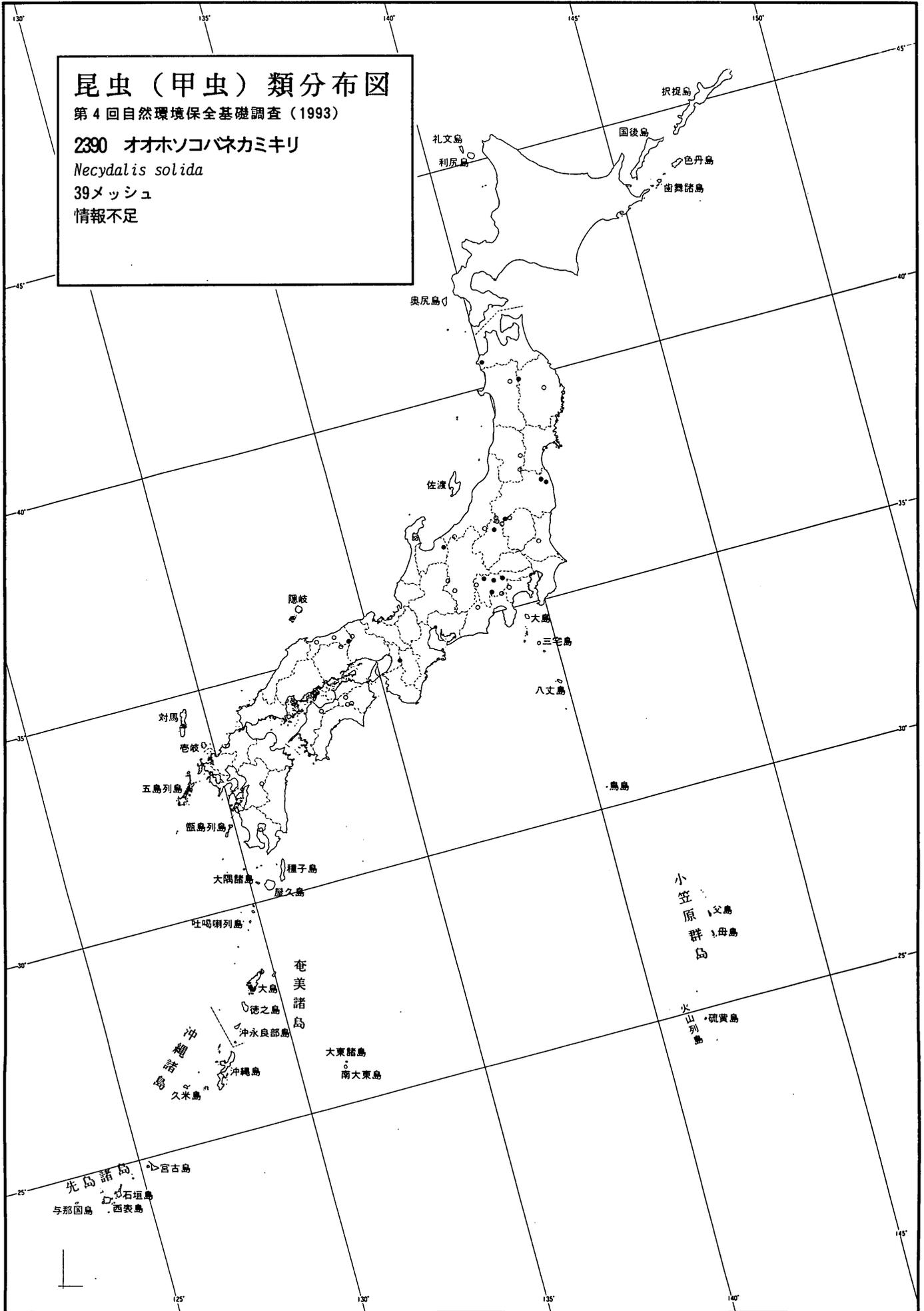
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2390 オオホソコバネカミキリ

*Necydalis solida*

39メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

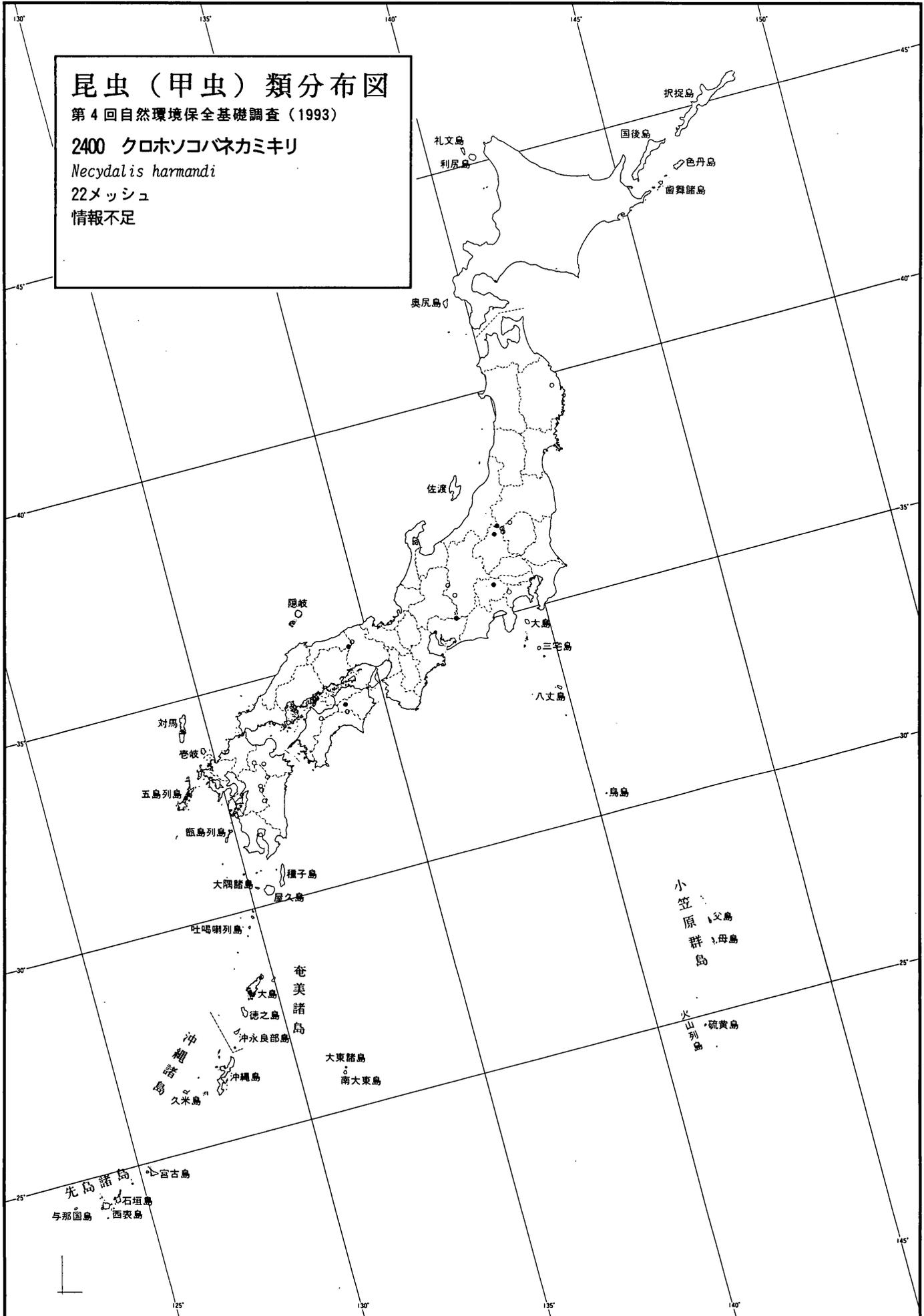
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2400 クロホソコバネカミキリ

*Necydalis harmandi*

22メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

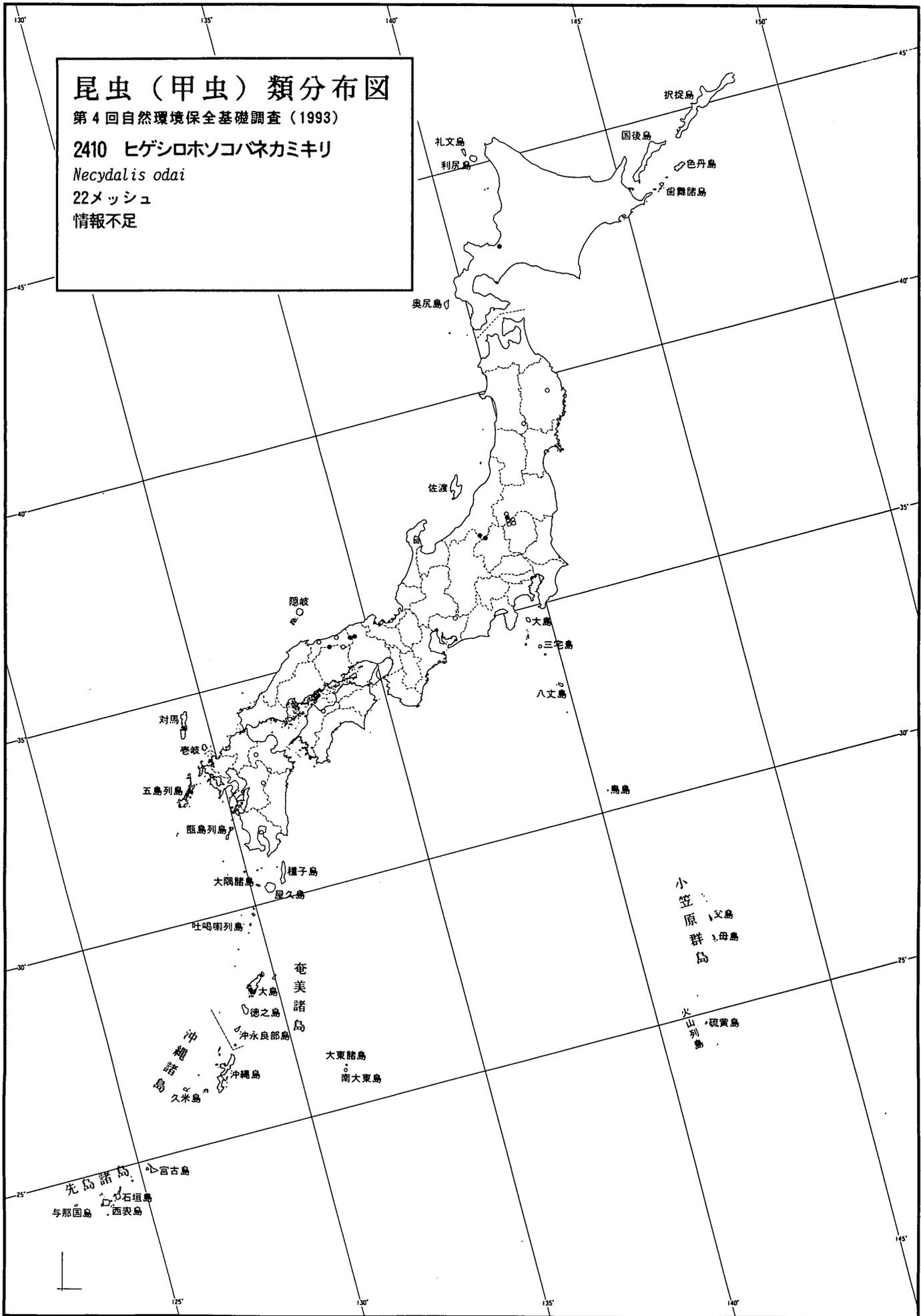
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2410 ヒゲシロホソノヅカミキリ

*Necydalis odai*

22メッシュ

情報不足



# 昆虫（甲虫）類分布図

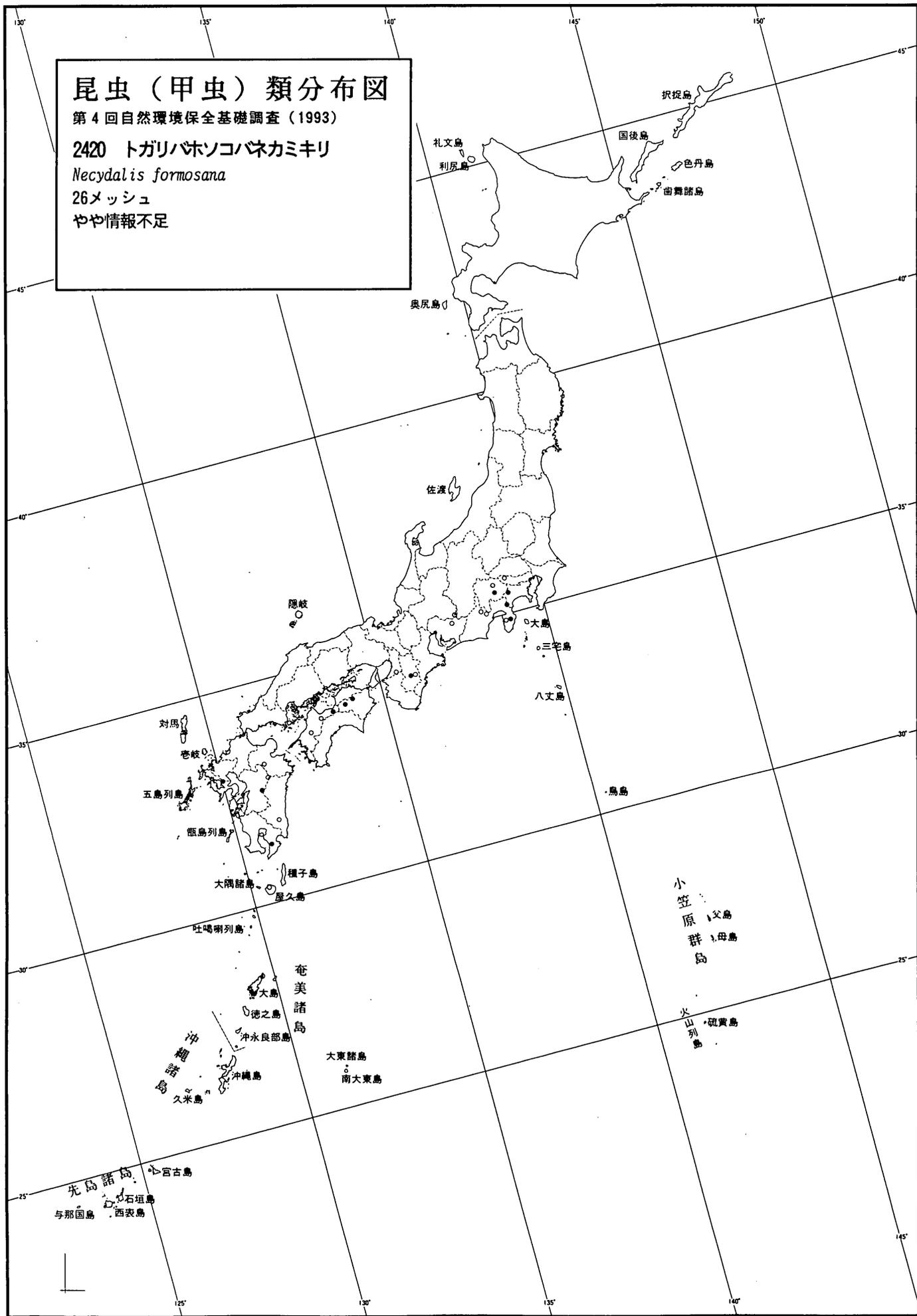
第4回自然環境保全基礎調査（1993）

2420 トガリハネソコハネカミキリ

*Necydalis formosana*

26メッシュ

やや情報不足



## II. 集 計 表

調査対象種について、都道府県別の情報収集状況を把握するため、調査票に記載された3次メッシュ（およそ1km×1km）を単位として集計を行った。

配列は、分布図と同様、分類順（巻末資料「調査対象種一覧」に示された調査対象種・亜種の順）である。

なお、集計表に掲載されていない種は、1030 クレアカドクハナカミキリ 及び報告が全く寄せられなかった6種（「I. 分布図」参照）の他に、2次メッシュ（およそ10km×10km）の報告のみであった以下の6種である。

0220	イカリモンハンミョウ	1140	キュウシュウヒメコブハナカミキリ
0810	ダイトウマメクワガタ	2190	マルオカホソハナカミキリ
0490	リュウキュウコクワガタ	2350	アマミホソコバナカミキリ

本集計表は、報告のあった3次メッシュを種別・都道府県別に集計したものである。従って、分布図上に示された地点（2次メッシュ）数とは必ずしも一致しない。

同一種、同一3次メッシュにおいて、複数の調査員からの、あるいは異なる調査年月日の報告があった場合には重複を排除し、1件として集計した。

3次メッシュと都道府県との対応関係は、第3回自然環境保全基礎調査植生調査で作成された磁気データファイルによった。このデータファイルでは、3次メッシュが複数の県にまたがる場合、3次メッシュの中央に1/5万地形図上で直径5mmの測定円（約5ha）を設定し、その円内で最大面積を占める県をそのメッシュの代表県としている。このため、A県とB県にまたがる3次メッシュから情報が寄せられた場合、調査票にB県名が記入されている場合でも、A県の情報として集計されている可能性がある。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	
	道													川											
0010	ヤエヤクビ <sup>ナカ</sup> ハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0020	シロスジ <sup>メダ</sup> カハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0041	ニワハンミョウ	4	51	11	27	5	1	0	2	2	3	0	14	2	13	0	16	1	10	0	5	8	1	10	21
0070	エウハンミョウ	6	40	0	6	5	3	0	0	1	3	0	9	2	8	0	1	2	4	0	1	0	0	2	3
0060	ミヤマハンミョウ	16	17	1	2	3	7	0	0	1	2	0	0	0	0	2	0	1	0	10	0	0	0	0	
0030	アイヌハンミョウ	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	6
0050	ルイスハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0110	マカ <sup>タマ</sup> ハンミョウ	0	36	2	8	3	9	0	0	0	0	0	0	0	2	11	1	0	0	3	0	0	0	0	0
0100	ハンミョウ	0	9	2	23	2	6	4	2	1	1	0	8	5	30	0	12	2	9	0	2	4	0	7	21
0091	アマミハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0130	エリサ <sup>ン</sup> ハンミョウ	1	77	1	9	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	0	2	3	0	1	0	0	3	10	
0170	コハンミョウ	0	12	0	2	0	2	0	0	2	1	5	2	4	0	1	1	4	0	1	1	0	6	7	
0150	トウキョウヒメハンミョウ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	5	17	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0160	ヒメヤツホ <sup>シ</sup> ハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0140	ホソハンミョウ	0	4	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	3	
0180	ヨト <sup>シロヘリ</sup> ハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0190	シロヘリハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0200	タテスジ <sup>ン</sup> ハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0210	ハラビ <sup>ロ</sup> ハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0230	カワラハンミョウ	0	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	
0240	ツキハタ <sup>クワカ</sup> タ	2	0	5	2	0	3	1	0	1	3	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	
0250	マダ <sup>ラクワカ</sup> タ	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
0290	ルイスツノヒョウタンクワカ <sup>タ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0260	チビ <sup>クワカ</sup> タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
0270	オカ <sup>サワチビ</sup> クワカ <sup>タ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0280	マメクワカ <sup>タ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0350	ミヤマクワカ <sup>タ</sup>	10	0	0	6	0	5	2	3	0	6	1	8	4	7	1	7	2	6	1	1	8	0	0	2
0330	アマミヤマクワカ <sup>タ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0340	ミクラミヤマクワカ <sup>タ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0380	オニクワカ <sup>タ</sup>	9	0	2	1	1	6	1	0	2	4	0	0	1	2	0	4	0	5	1	1	0	1	0	0
0400	ヤクソマオニクワカ <sup>タ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0390	キンオニクワカ <sup>タ</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0360	チャイロマルハ <sup>ネクワカ</sup> タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0370	オキナワマルハ <sup>ネクワカ</sup> タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0310	ルリクワカ <sup>タ</sup>	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	5	0	4	0	1	0	0	1	0

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47		
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	合	
	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄	計	
0010	キエマクヒナカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	
0020	シロスジメダカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
0041	ニワハンミョウ	0	1	3	8	4	8	0	4	0	1	18	4	1	0	5	0	3	0	0	0	2	0	269	
0070	コニワハンミョウ	0	0	0	0	0	4	0	2	0	9	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	118	
0060	ミヤマハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	
0030	アイヌハンミョウ	0	0	0	1	0	5	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	28	
0050	ルイスハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
0110	マカダマハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	
0100	ハンミョウ	0	1	2	9	1	15	0	2	0	9	18	2	0	2	26	0	7	0	0	0	8	2	254	
0091	アマミハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	
0130	エリサハンミョウ	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	122	
0170	コハンミョウ	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	8	5	74	
0150	トウキョウヒメハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	44	
0160	ヒメヤツホシハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	
0140	ホソハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	
0180	ヨトシロヘリハンミョウ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
0190	シロヘリハンミョウ	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	19	
0200	タテスシハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
0210	ハラビロハンミョウ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
0230	カワラハンミョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
0240	ツキハタクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	27	
0250	マダラクワカタ	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	2	0	16	
0290	ルイスツノヒョウタンクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
0260	チビクワカタ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	11	
0270	オカサワラチビクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
0280	マメクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	2	0	0	0	1	3	0	12	
0350	ミヤマクワカタ	0	2	0	24	2	0	1	4	0	12	16	7	1	0	11	0	1	1	0	1	2	0	165	
0330	アマミヤマクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
0340	ミクラミヤマクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
0380	オニクワカタ	0	0	0	1	1	0	1	0	2	0	4	0	0	1	4	0	2	0	0	2	1	0	60	
0400	ヤクシマオニクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
0390	キンオニクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	
0360	チャイロマルハネクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	
0370	オキナワマルハネクワカタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	8	
0310	ルリクワカタ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	0	0	27	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重
	道													川										
0300 コルリクワカ`タ	0	0	0	2	0	5	0	0	0	4	0	0	1	3	10	9	0	4	1	0	1	2	1	0
0820 ニセコリクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0320 ホソツヤルリクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
0410 ノコキ`リクワカ`タ	1	1	2	5	0	4	2	18	1	2	2	10	4	8	0	4	2	5	1	1	4	0	0	2
0412 ハチジ`ョウノコキ`リクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0430 リュウキョウノコキ`リクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0420 ヤエヤマノコキ`リクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0480 アマシカクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0520 ヒメオオクワカ`タ	0	0	0	2	0	4	0	0	0	5	0	0	0	1	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0
0530 アカアシクワカ`タ	3	0	2	1	0	3	0	7	0	7	0	0	0	6	1	11	0	4	0	3	3	0	0	0
0500 コクワカ`タ	1	0	4	6	0	6	0	22	2	2	2	19	5	13	0	9	6	10	1	4	6	0	0	3
0510 スジ`クワカ`タ	3	0	3	4	0	6	0	16	1	3	0	4	2	5	0	8	1	7	1	1	2	0	0	1
0550 スジ`ブ`トヒラタクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0560 ヒラタクワカ`タ	0	0	0	0	0	1	0	18	0	1	2	1	0	2	0	5	0	1	0	0	2	0	1	0
0570 オオクワカ`タ	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	1	0	0	0	0
0830 ヤマトサビ`クワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0450 ネブ`トクワカ`タ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
0460 オキナワネブ`トクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0470 オカ`サワラネブ`トクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	計
	賀	都	阪	庫	良	歌	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄	
0300 コルリクワカ`タ	2	0	0	2	2	0	1	1	0	1	0	2	1	5	0	2	0	0	1	4	1	0	0	68
0820 ニセコルリクワカ`タ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5	3	1	0	0	0	0	1	0	0	13
0320 ホソツキルリクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
0410 ノコキ`リクワカ`タ	0	1	0	16	1	0	1	2	0	10	14	2	0	0	1	10	1	3	0	0	0	4	0	145
0412 ハチジ`ョウノコキ`リクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0430 リュウキェウノコキ`リクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
0420 ヤエヤマノコキ`リクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
0480 アマシカクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
0520 ヒメオオクワカ`タ	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	30
0530 アカアシクワカ`タ	0	1	2	5	0	0	1	3	0	10	2	1	1	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	82
0500 コクワカ`タ	0	1	0	27	0	0	1	3	0	11	17	1	1	0	1	18	1	3	1	0	0	3	0	210
0510 スジ`クワカ`タ	0	0	0	18	1	0	1	5	0	8	7	1	1	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	116
0550 スジ`フトヒラタクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
0560 ヒラタクワカ`タ	0	0	0	6	0	0	0	2	0	4	12	1	0	0	0	8	1	3	0	0	0	6	2	79
0570 オオクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	12
0830 ヤマトサビ`クワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
0450 ネブ`トクワカ`タ	0	0	0	5	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	5	0	25
0460 オキナワネブ`トクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
0470 オカ`サワラネブ`トクワカ`タ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重
	道													川										
0840 ケブトハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
0850 イシカキケブトハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0860 テツイロハナカミキリ	2	0	2	0	2	1	6	0	6	5	0	0	1	1	4	0	0	0	5	1	4	1	1	0
0870 ハイイロハナカミキリ	3	0	0	0	0	0	3	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	5	3	2	1	0	0
0880 エゾハイイロハナカミキリ	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
0890 ニセハイイロハナカミキリ	0	0	0	0	1	0	5	1	3	2	0	1	2	1	0	0	0	0	5	1	3	4	4	0
0900 ムナコブハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
0910 ヒラヤマコブハナカミキリ	0	0	1	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	3	0
0920 フタコブルリハナカミキリ	2	1	2	0	2	0	4	0	6	8	0	0	1	5	2	3	0	1	6	4	5	4	0	0
0930 モモクハナカミキリ	1	0	1	1	2	0	7	0	5	6	0	0	3	3	1	2	0	1	5	2	7	2	2	0
0940 アラムハナカミキリ	8	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	2	1	0	0
0950 カタキカタビハナカミキリ	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0960 キハリカタビハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3	0	0	0	0	5	1	9	1	0	0
0970 フタスジカタビハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	6	0	0	0
0980 カラフトホシハナカミキリ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0990 トホシハナカミキリ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	1	0	0	0
1000 クモハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0	1	0	1	1	0	1	4	1	0	0	0
1010 カラカネハナカミキリ	8	2	6	0	5	1	13	0	10	8	0	0	1	1	6	7	1	2	15	12	23	3	0	0
1020 オトメクビアカハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0
1040 クビアカハナカミキリ	0	0	1	0	1	0	10	1	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	8	1	1	0
1050 ニセハムシハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0
1060 キハネニセハムシハナカミキリ	0	0	2	0	3	0	9	4	11	2	0	4	11	5	5	0	0	0	12	0	28	5	17	4
1070 ヒツクニセハムシハナカミキリ	0	0	2	2	0	0	4	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2	12	2	8	1
1080 アカイロニセハムシハナカミキリ	0	0	2	0	2	0	3	0	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0	4	1	4	2	3	1
1090 ヒナリハナカミキリ	0	0	3	0	5	3	8	9	11	6	1	3	7	13	8	4	1	1	17	2	29	6	13	3
1100 キタクニハナカミキリ	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1120 アカムネハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0
1130 チャイロヒメコブハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	1	0
1150 チャイロヒメハナカミキリ	0	4	5	4	4	2	28	3	13	18	6	5	7	8	17	6	0	2	35	38	39	12	8	1
1160 フタオビチビハナカミキリ	0	2	6	0	4	2	26	1	15	14	4	7	14	12	7	2	0	3	35	19	35	14	12	3
1170 ニセフタオビチビハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	3	0	5	9	1	0	1	0	4	3	0	0	18	25	15	5	0	0
1180 オヤマヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	3	0	6	5	2	0	0	0	5	0	0	0	15	17	6	2	0	0
1190 フジヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
1200 チュウジヨウヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1210 セスジヒメハナカミキリ	4	14	5	1	20	5	25	4	10	15	2	0	8	11	35	1	0	3	37	26	27	3	13	0

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	計
	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄	
0840 ケアトハナカミキリ	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	18
0850 イシカキケアトハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
0860 テツイロハナカミキリ	0	0	0	1	0	0	4	0	5	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
0870 ハイロハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
0880 エゾハイロハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
0890 ニセハイロハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	36
0900 ムナコフハナカミキリ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	6
0910 ヒラヤマコフハナカミキリ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
0920 フタコフルリハナカミキリ	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	65
0930 モモクハナカミキリ	0	0	0	1	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	61
0940 アラメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
0950 カタキカタヒハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
0960 キベリカタヒハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	23
0970 フタスジカタヒハナカミキリ	0	0	0	2	0	0	2	1	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
0980 カラフトトホシハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0990 トホシハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
1000 クモマハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
1010 カラカネハナカミキリ	1	1	0	2	0	0	3	0	9	4	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	2	0	0	150
1020 オトメクヒアカハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
1040 クヒアカハナカミキリ	0	1	1	0	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
1050 ニセハムシハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
1060 キハネセセハムシハナカミキリ	0	1	2	2	1	0	1	0	17	3	0	0	1	3	18	2	1	0	0	14	0	0	0	188
1070 ヒツクニセハムシハナカミキリ	0	0	0	3	0	0	3	0	13	2	0	1	0	3	0	2	0	0	0	4	0	0	0	83
1080 アカイロニセハムシハナカミキリ	1	1	0	4	0	0	7	1	7	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57
1090 ヒナリハナカミキリ	0	2	0	3	0	0	2	0	20	3	0	0	0	2	1	12	0	1	0	1	13	0	0	213
1100 キタクニハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
1120 アカムネハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
1130 チャイロヒメコフハナカミキリ	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	23
1150 チャイロヒメハナカミキリ	0	2	0	2	4	2	4	0	12	1	0	1	0	4	0	5	0	3	0	0	13	1	0	319
1160 フタオヒチヒハナカミキリ	0	4	0	2	4	1	3	0	17	1	0	1	0	2	0	11	0	2	0	2	17	1	0	305
1170 ニセフタオヒチヒハナカミキリ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91
1180 オヤマヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
1190 フジヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
1200 チュウジョウヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
1210 セスジヒメハナカミキリ	0	3	0	4	1	0	5	0	23	4	0	1	0	2	0	7	0	0	0	0	7	0	0	326

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	
	道													川											
1220	コトヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4	0	0	0	0	4	0	0	7	0	0	
1230	トサヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	3	0	0	0	0	0	4	1	0	1	2	0	
1240	ミワヒメハナカミキリ	0	3	2	3	9	2	15	0	0	4	0	0	0	18	7	0	3	0	8	9	0	0	0	
1250	ニセヨコモンヒメハナカミキリ	0	1	3	0	2	1	19	1	9	11	4	0	10	6	2	0	2	23	7	10	14	0	2	
1260	ムネアカヨコモンヒメハナカミキリ	0	1	2	4	4	5	16	0	10	11	1	0	1	2	12	8	0	20	29	20	7	0	0	
1270	イヨヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1280	シラユキヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1290	ヨコモンヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	7	0	12	13	2	0	1	2	5	3	0	0	27	35	19	5	0	0
1300	クロヨコモンヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1310	ミチノクヒメハナカミキリ	0	0	2	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1320	ヤマトヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	
1330	シラネヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	15	0	10	10	0	0	0	13	6	0	0	1	12	0	0	0	0	
1340	トウホクヒメハナカミキリ	0	8	8	5	15	5	6	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1350	ホソカクタヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	2	0	5	8	1	0	1	6	0	0	0	22	25	4	6	0	0	
1360	マツシタヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	7	0	4	9	1	0	2	2	9	8	0	0	13	25	18	6	0	0
1370	ハクハヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
1380	シコクヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
1390	ニッコウヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	4	0	3	4	1	0	0	2	0	0	0	11	14	11	1	0	0	
1400	マホロハヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1410	キュウシュウヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1420	カクムネヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	14	13	22	0	0	0	
1430	アサマヒメハナカミキリ	0	0	2	2	3	5	21	0	7	11	0	0	0	13	3	0	0	0	13	3	0	0	0	
1440	フービエヒメハナカミキリ	0	0	4	7	0	1	5	0	5	7	1	0	0	3	2	0	0	17	24	9	4	0	0	
1450	ムネモンヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	
2430	ツマクロヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	2	0	0	9	5	3	5	1	0	
1460	オオミネヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1470	ミヤマヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	1	1	0	0	0	9	9	8	1	0	0	
1480	ウスイロヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11	0	1	0	0	
1490	ヒメハナカミキリ	0	1	3	1	2	0	19	0	11	12	3	0	1	2	10	0	0	30	28	5	7	1	0	
1500	ナカハヒメハナカミキリ	0	14	3	1	17	0	27	5	13	16	5	5	10	9	19	7	1	33	28	22	11	6	2	
1510	ホクリクヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
1520	ツシマヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1530	ミスジヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1540	オオヒメハナカミキリ	0	0	2	4	0	3	18	0	19	10	3	2	4	7	9	6	0	1	29	34	20	6	0	0
1550	イシズチヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	計
	賀	都	阪	庫	良	歌	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄	
1220	コトヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
1230	トサヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	1	6	0	0	31
1240	ミヲヒメハナカミキリ	0	4	0	2	0	5	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101
1250	ニセヨコモンヒメハナカミキリ	0	1	0	2	4	1	7	0	8	0	1	0	5	0	4	1	0	0	0	8	1	0	170
1260	ムネアヲヨコモンヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153
1270	イヨヒメハナカミキリ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	2	2	0	11
1280	シラユキヒメハナカミキリ	0	1	0	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
1290	ヨコモンヒメハナカミキリ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133
1300	クロヨコモンヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
1310	ミチノクヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
1320	ヤマトヒメハナカミキリ	0	1	0	0	2	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	14
1330	シラネヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67
1340	トウホクヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
1350	ホソカ`タヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
1360	マツシタヒメハナカミキリ	0	0	0	1	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111
1370	ハクハ`ヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
1380	シコクヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	13
1390	ニッコウヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59
1400	マホロハ`ヒメハナカミキリ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
1410	キウシュウヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	3
1420	カクムネヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
1430	アサマヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83
1440	フ`ヒ`エヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89
1450	ムネモンヒメハナカミキリ	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
2430	ツマク`ロヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
1460	オオミネヒメハナカミキリ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1470	ミヤマヒメハナカミキリ	1	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
1480	ウスイロヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
1490	ヒメハナカミキリ	0	1	0	1	1	0	6	1	6	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	159
1500	ナカ`ハ`ヒメハナカミキリ	1	1	0	2	0	1	6	0	11	3	0	1	0	4	0	6	0	1	0	1	15	0	308
1510	ホクリクヒメハナカミキリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
1520	ツツマヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
1530	ミスジ`ヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
1540	オオヒメハナカミキリ	0	1	0	2	4	2	2	0	5	2	0	1	0	2	0	1	0	0	1	5	0	0	205
1550	イシズ`チヒメハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重
	道													川										
1560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1570	0	0	2	1	1	1	14	1	6	11	3	0	5	3	11	2	0	2	21	13	10	9	4	1
1580	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	0	3	0	0
1590	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	10	6	0	0	0
1600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0
1610	7	2	4	0	2	0	8	0	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	5	1	3	1	1	0
1620	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	1	0	0
1630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0
1640	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	3	1	0
1650	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1660	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1670	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0
1680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0
1690	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1700	0	0	1	0	1	0	2	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	4	1	0
1710	10	0	3	2	2	0	4	1	9	6	0	0	0	3	4	5	0	0	14	5	21	1	3	0
1720	0	0	1	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	2	2	1	3	2	0
1730	0	3	4	0	3	0	5	0	8	6	1	2	0	0	2	3	0	1	14	6	18	1	1	1
1740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1750	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1760	0	0	0	0	2	0	2	0	2	2	0	1	1	0	1	0	0	0	8	2	1	4	11	0
1770	0	0	2	3	1	0	5	0	12	8	1	1	2	2	3	1	0	0	10	4	11	1	1	0
1780	1	0	1	0	2	0	5	0	4	3	1	0	0	0	1	0	0	0	4	1	1	0	1	0
1790	6	1	5	0	1	1	3	0	5	5	1	0	0	0	2	3	0	0	4	5	6	1	0	0
1800	0	0	2	0	0	0	4	0	3	3	1	0	0	0	1	3	0	0	6	1	10	2	1	0
1810	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1820	16	0	3	3	2	0	8	0	7	5	0	1	3	8	2	6	1	0	16	10	28	2	5	2
1830	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1840	33	1	0	0	2	0	5	0	9	6	1	0	3	7	2	3	0	0	9	4	20	4	1	0
1850	6	0	1	0	0	0	1	0	1	3	1	0	0	0	1	1	0	0	2	3	7	1	0	0
1860	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0
1870	1	0	2	0	0	0	4	0	2	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1890	11	0	2	0	2	1	2	1	4	1	0	0	0	0	1	3	1	0	4	3	17	0	0	3
1900	0	0	3	2	0	0	5	2	2	6	0	0	2	6	1	2	0	0	7	5	1	3	4	1
1910	1	1	3	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	9	5	5	1	0	0

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	鳥	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	計
	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄	
1560	ヒミコ	ヒメ	ハナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	1	0	2	0	1	2	1	0	0	4	0	0	11
1570	キハ	リ	ク	ロ	ヒ	メ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147
1580	シ	ナ	ノ	ヒ	メ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
1590	フ	イ	リ	ヒ	メ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
1600	タ	カ	ネ	ヒ	メ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
1610	チ	ビ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	55
1620	ホ	ク	チ	チ	ビ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
1630	ヘ	リ	ク	ロ	ホ	ソ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	8
1640	ヘ	リ	ク	ス	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	1	0	0	0	0	3	2	1	0	0	1	1	30
1650	ヒ	ケ	フ	ト	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	14
1660	ク	ビ	ホ	ソ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
1670	ス	ミ	イ	ロ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
1680	ム	ナ	ミ	ゾ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
1690	シ	ラ	カ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
1700	ヤ	マ	ト	キ	モ	ン	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	1	1	0	0	1	2	0	0	2	0	0	29
1710	マ	ル	ガ	タ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	108
1720	ヌ	ハ	タ	マ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
1730	チ	ャ	ホ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	1	1	1	0	0	0	1	1	0	4	0	0	0	0	99
1740	ク	ロ	チ	ャ	ホ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
1750	オ	キ	ナ	ワ	チ	ャ	ホ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
1760	ミ	ヤ	マ	ル	リ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	55
1770	ミ	ヤ	ク	ロ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	1	1	1	4	0	4	2	0	1	0	96
1780	ク	ロ	ル	リ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	27
1790	ル	リ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	4	0	0	0	0	60
1800	ヒ	メ	ア	カ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	1	0	0	2	0	3	1	0	1	0	0	0	47
1810	ヨ	コ	グ	ロ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1820	ツ	ヤ	ケ	シ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	1	0	15	2	0	1	0	2	0	8	2	1	174
1830	ニ	イ	タ	カ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
1840	ア	カ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	1	1	0	0	15	3	0	0	0	1	0	1	0	0	135
1850	フ	チ	ビ	ゲ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
1860	イ	カ	フ	チ	ビ	ゲ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	11
1870	オ	オ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
1890	ク	ロ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57
1900	ム	ネ	ア	カ	ク	ロ	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	1	0	18	4	0	0	2	0	2	0	88
1910	キ	モ	ン	ハ	ナ	カ	ミ	キ	リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	31

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	
	道													川											
1920	ヤツホ <sup>シ</sup> ハナカミキリ	5	0	2	0	0	0	5	0	1	2	0	0	2	0	5	0	1	7	1	20	0	0	1	
1930	ツマグ <sup>ロ</sup> ハナカミキリ	0	3	4	2	1	0	7	3	7	10	1	6	3	6	5	2	1	0	14	10	1	3	5	3
1940	カラフトヨツスジ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1950	ヨツスジ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	18	2	2	0	2	2	3	0	10	8	1	2	3	7	4	8	2	1	15	3	43	3	12	7
1960	コヨツスジ <sup>ハ</sup> ナカミキリ(ヤマトヨツスジ <sup>ハ</sup> ナ	0	0	0	0	0	0	3	0	2	3	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	2	2	1	0
1970	ヤクシマヨツスジ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1980	ヒメヨツスジ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	1	1
1990	ハネビ <sup>ロ</sup> ハナカミキリ	11	1	2	6	2	0	5	0	2	6	0	0	2	0	1	0	0	0	4	2	12	1	0	0
2000	フタスジ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	11	2	4	1	2	1	3	0	12	4	1	0	1	1	3	2	1	1	15	3	16	2	2	0
2010	エトロフ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020	カタキ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	4	1	4	1	2	0	7	0	5	4	0	0	1	0	0	2	0	0	3	2	7	0	0	0
2040	オオヨツスジ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	8	0	0	0	1	0	6	0	6	1	1	1	2	0	1	0	0	4	0	16	1	1	2	2
2050	オオクロ <sup>ハ</sup> ナカミキリ(セア <sup>カ</sup> ハナカミキリ)	1	2	2	0	1	0	4	0	2	2	1	0	0	1	2	0	0	1	2	2	0	0	0	0
2060	モモブ <sup>ト</sup> ハナカミキリ	9	0	4	0	2	0	7	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
2070	カエテ <sup>ノ</sup> ヘリク <sup>ロ</sup> ハナカミキリ(クロスジ <sup>ハ</sup> ナ	1	0	2	1	2	0	10	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	1	0	0
2080	クロサウ <sup>ヘ</sup> リク <sup>ロ</sup> ハナカミキリ	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
2090	ヒケ <sup>ジ</sup> ハナカミキリ	0	3	2	1	2	2	4	0	8	6	0	1	1	0	5	3	0	0	6	1	12	2	0	0
2100	アオハ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	1	3	0	2	1	7	0	6	7	0	0	0	1	7	3	1	1	7	8	14	2	1	0
2110	ニョウホ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	2	2	2	0	0	8	3	12	1	0	0
2120	ヤエヤマ <sup>ク</sup> ロスジ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2130	ホソ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	9	2	1	2	1	0	0
2140	タテジ <sup>マ</sup> ホソ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	0	3	2	1	3	0	1	0	2	2	1	0	2	1	0	1	0	1	3	3	5	1	1	0
2150	ニンフ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	3	5	1	4	3	8	3	11	10	0	3	5	6	7	9	0	1	19	8	30	4	6	7
2160	ミヤマ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	0	0	0	1	0	2	0	3	1	0	2	2	2	0	1	0	1	8	4	7	1	2	2
2170	ニセハコ <sup>ネ</sup> ホソ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2180	ハコ <sup>ネ</sup> ホソ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	0	0	1	0	0	0	1	1	3	2	1	0	0	3	1	0	0	0	4	0	1	2	0	0
2200	ヨスジ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2210	コウヤ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	3	1	15	1	5	5
2220	タケウチ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	9	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
2230	オオシマ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2240	ジ <sup>ャ</sup> コウ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	2	0	3	1	0
2250	クロソ <sup>ン</sup> ホソ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2260	ヒケ <sup>ナ</sup> カ <sup>ホ</sup> ソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2270	ベ <sup>ニ</sup> ハ <sup>ハ</sup> ナカミキリ	1	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	1	3	1	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0
2280	ヤエヤマ <sup>ヒ</sup> オト <sup>シ</sup> ハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合	
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	計	
	賀	都	阪	庫	良	歌	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄	計	
1920	ヤツホ`シハナカミキリ	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	
1930	ツマク`ロハナカミキリ	0	1	2	3	1	0	1	0	9	0	0	1	0	0	1	4	1	1	0	0	16	3	0	141
1940	カラフトヨツスジ`ハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
1950	ヨツスジ`ハナカミキリ	0	0	2	1	1	2	2	0	9	1	0	1	0	2	1	6	0	1	0	0	12	3	1	203
1960	コヨツスジ`ハナカミキリ(ヤマトヨツスジ`ハナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	21	
1970	ヤクシマヨツスジ`ハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
1980	ヒメヨツスジ`ハナカミキリ	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
1990	ハネヒ`ロハナカミキリ	0	1	0	0	0	0	2	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	66	
2000	フタスジ`ハナカミキリ	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	100	
2010	エトロフハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
2020	カタキハナカミキリ	0	0	0	1	0	0	2	0	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
2040	オオヨツスジ`ハナカミキリ	0	0	1	0	1	1	1	1	10	2	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	4	2	78	
2050	オオクロハナカミキリ(セアカハナカミキリ)	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	
2060	モモフ`トハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	
2070	カエデ`ノヘリク`ロハナカミキリ(クロスジ`ハナ	1	0	0	2	1	0	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
2080	クロサワヘリク`ロハナカミキリ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	12	
2090	ヒゲ`ジ`ロハナカミキリ	0	0	0	0	0	2	2	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	75	
2100	アオハ`ホソハナカミキリ	1	2	0	1	0	0	3	0	5	4	0	1	0	3	0	1	0	1	0	0	2	0	96	
2110	ニョウホウホソハナカミキリ	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	44	
2120	ヤエヤマクロスジ`ホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
2130	ホソハナカミキリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3	0	1	0	1	0	4	2	1	0	0	11	1	46	
2140	タテジ`マホソハナカミキリ	0	0	0	2	1	1	2	0	4	2	0	1	0	3	0	1	0	0	0	10	0	0	60	
2150	ニソフホソハナカミキリ	0	2	1	0	0	2	4	0	8	2	0	1	0	5	0	5	0	1	0	1	11	1	197	
2160	ミヤマホソハナカミキリ	0	1	0	1	1	0	4	0	6	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	56	
2170	ニセハコネホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
2180	ハコネホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	24	
2200	ヨスジ`ホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
2210	コウヤホソハナカミキリ	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	
2220	タケウチホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
2230	オオシマホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
2240	ジ`ャコウホソハナカミキリ	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	25	
2250	クロソソホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4	
2260	ヒゲ`ナカ`ホソハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	
2270	ベ`ニハ`ハナカミキリ	0	1	0	2	1	0	0	0	4	0	0	1	0	3	0	0	1	0	0	4	0	0	34	
2280	ヤエヤマヒオト`シハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	
	海	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	
	道													川											
2290	ヒイロハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2300	アマミアカハネハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2310	キヌツヤハナカミキリ	1	1	1	1	1	2	4	0	8	3	0	0	1	0	1	3	0	0	6	2	7	0	1	0
2320	オニホソコハネカミキリ	1	1	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
2330	アイヌホソコハネカミキリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2340	ヤクシマホソコハネカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2360	カラフトホソコハネカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0
2370	ホソコハネカミキリ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2390	オオホソコハネカミキリ	0	1	2	1	1	0	6	0	2	3	0	0	0	3	1	1	0	0	3	1	1	1	0	0
2400	クロホソコハネカミキリ	0	0	1	0	0	0	3	0	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0
2410	ヒゲシロホソコハネカミキリ	1	0	1	0	1	0	3	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
2420	トガリハネホソコハネカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	1	0	0	4	1	0

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合	
	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	計	
	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄		
2290	ヒロハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5	
2300	アマミカハネハナカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
2310	キヌツヤハナカミキリ	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52
2320	オニホソコハネカミキリ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	12
2330	アイヌホソコハネカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2340	ヤクシマホソコハネカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2360	カラフトホソコハネカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
2370	ホソコハネカミキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
2390	オオホソコハネカミキリ	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	34
2400	クロホソコハネカミキリ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	21
2410	ヒゲシロホソコハネカミキリ	0	0	0	2	0	0	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	22
2420	トカリハネホソコハネカミキリ	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	2	2	0	0	22

### III. 考 察

#### 《 総 論 》

甲虫類は種類が多く、全種を対象とする調査は現状では不可能である。したがって今回もまたいくつかの分類群に限定して調査が行われることになった。選定基準は次の各項に従った。

- 1) 国内での分布調査が進んでおり、情報量も比較的多い。
- 2) 同定が比較的容易か、同定の助けとなる高いレベルのすぐれた図鑑類または同定手引が存在する。
- 3) この調査でとりあげられている他の昆虫群と異なる指標性をもち、調査の成果に独自性をうみだすことができる。

前回の調査では、ハンミョウ、クワガタ、オオキノコムシの3科が対象となったが、今回はハンミョウ、クワガタは継続、オオキノコムシだけカミキリムシ科（ハナカミキリ亜科）に更新された。対象分類群の主たる指標環境は次のとおりである。

ハンミョウ科： 裸地または裸地的自然環境  
クワガタムシ科： 森林環境、特に林床  
ハナカミキリ亜科： 森林環境の多様度

調査結果については各分類群の考察に譲るが、今回もまた全体的に情報量が少なく、日本列島における分布を表わすに足る十分な成果は得られなかった。特定の地域や小島嶼などに分布が限られている種類では、たとえ情報量は乏しくても分布パターンはそれなりに把握できたものの、広域に分布する種では情報不足が特に目立った。

情報不足の原因はいろいろある。その一つは、データが調査年次に限定されているためと考えられる。しかし、この点は調査回数がふえ、その結果が累積されれば必然的に欠が埋められ、種単位の分布像はより正確なものになっていくであろう。データの集積度を、より早めるために何らかの改善策は必要であろうが、やはり回数を重ねることしか解決の途はあるまい。

もう一つの原因は日本産の各種について、その分布状況が調査者によく把握されておらず、そのことが情報収集の効率を低下させているためではないかと考えられる。日本の昆虫でもチョウやトンボなど、一部の昆虫群では種単位の分布図がほぼ完成、調査者は担当地域でどのような調査をすればよいか判断しやすい状況になっている。しかし甲虫では、オサムシ族など特定のグループを除いては、チョウ、トンボ的なまとめはなされていない（カミキリムシ科では全種について分布図が作られているが、県単位で産否を示すだけの形式。チョウ、トンボの分布図にくらべると著しくレベルが低い）。したがって、前回の報告書でも述べておいたとおり、こうした分布調査では、各分類群の専門家がそれぞれの種について既知の分布情報を整理し、それに基づいて種単位の分布基図を作成、その基図を拠りどころとして分布調査を展開することが望ましいといえよう。調査対象として選定した分類群だけでも、その作成を急ぎたいものである。

（大野 正男）

## 〈各 論〉

### 1. ハンミョウ科

#### (1) 概説

ハンミョウ類は世界各地に広く分布し、既知の種類数は J. Wiesner(1992)のカタログによると1,923種(亜種を除く)、甲虫の中ではそれほど大きいグループではない。日本から知られる種類は別表(対象種一覧)に示すごとく22種8亜種、世界のおよそ1.3%である。野外では人目につきやすいためか、所産種はほぼ出つくし、分類上の扱いについて多少の変動(Sibling speciesなどの、まぎらわしい種を2種以上に分割する処理を含む)は予想されるが、外来種でも加わらない限り、今後まったく未知の種ないし亜種が見出される可能性は乏しい。

地域別種類数の内訳は北海道7種、本州16種1亜種、四国11種1亜種、九州13種、屋久・種子を含む琉球列島13種3亜種、佐渡6種、対馬7種、伊豆諸島4種、小笠原1種である。北日本ではやや減少する傾向はあるが、比較的バランスのとれた分布型を示す。

生息環境は一般的には裸地である。イカリモンハンミョウ、ハラビロハンミョウなどのように、植被をほとんど欠く開放的な海岸地に生息する種類はその典型といえよう。シロヘリハンミョウのように岩礁に生息するものも同様に考えられる。しかし、マガタマハンミョウなどは森林との結びつきが強く、またホソハンミョウも桑園のような環境を好む。マガタマハンミョウは後翅が退化して飛べず、ホソハンミョウも飛翔力がないと見られているが、かかる性質はこれらハンミョウ類の生息環境と関係がありそうである。つまり、植物のない開放空間では、獲物を捕らえるにも、敵から逃れるにも飛翔力を必要とするが、植物に被われた環境では、その必要度が低いと考えられるからである(ミヤマハンミョウなどにもホソハンミョウ的習性が見られる)。

ハンミョウ、ニワハンミョウ、コハンミョウ、ヒメハンミョウ、ミヤマハンミョウ、カワラハンミョウなどのように、路面・崩壊地・川原・海岸といった裸地に生息する種類の場合も、その多くは開放的な完全な裸地ではない。草地や樹林に隣接しているか、さもなくば、裸地とはいえず、草本類が点在する。おそらく餌場との関係からなのであろう。トウキョウヒメハンミョウのように、危険を感じたとき、すぐさま近くの植物体上に飛び移る種類では、生息地に接して存在する樹木や高莖草本は、餌場としてではなく、避難場所あるいは休息場所としても重要な役割を果たしていると考えられる。

土質が砂質か粘土質かのちがいや、湿潤度のちがいもそこがハンミョウ類の生息地として利用されるか否かと深くかかわる。イカリモンハンミョウ、ハラビロハンミョウのように砂質の環境を好む種類、ニワハンミョウ、ミヤマハンミョウのように粘土質を好む種類がいるからであり、さらにヨドシロヘリハンミョウ、エリザハンミョウ(ヒメハンミョウ)、ルイスハンミョウなどのように湿潤環境を好む種類が見られるからである。

多くのハンミョウ類の生息地は、裸地または裸地的環境である。そしてそこはまた、植生自然度では最も低く評価される環境でもある。しかし、ハンミョウ類はそうした環境での単なる飾りものではない。獲物を捕らえ、生活している生きものなのである。したがって生活するうえでの必要十分な獲物が供給されなければ、生存は難しい。つまりハンミョウの生息環境は、裸地は裸地でも生きている裸地でなければならないのである。したがって開発などで、死んだ裸地になったとき、ハンミョウ類はそこから姿を消す。かつて都内でもよく見られたハンミョ

ウ(ナミハンミョウ)は、今日その姿に接することはできないし、各地で水田が埋め立てられると、その周辺にいたヒメハンミョウはいなくなり、河口の湿原がなくなることでヨドシロヘリハンミョウは絶滅、そして森林が伐採されれば、マガタマハンミョウも消えて行くのである。海浜に四輪駆動車が乗り入れられ、バイクが走りまわることによって絶滅したイカリモンハンミョウのような例もある。

以上、ハンミョウ類の生息環境を中心にその生きもの像の一端を描写してみた。その中でもふれたように、ハンミョウ類は日本各地に分布し、目にふれやすいこと、未知の種はほとんどなく、図鑑類を用いるだけで同定が可能であること、種によって環境の選好性が異なるので、それを組み合わせることで環境指標効果が大きいこと、そしてそれはまた失われる自然をもよく写し出すこと、など、指標生物としてかなりすぐれた条件をそなえている。

指標昆虫群としてとりあげるためには、その昆虫が環境に対して高い指標性をもつこと以外に、その分類群についての分類学的研究が十分に行き届いていること、それぞれの種に関する自然誌的情報が整備されていることが前提条件となる。

ハンミョウ科は前述の如く、この条件をほぼ満たす昆虫群であるが、ここでは最近の動向についてその一端を補足しておこう。

まず、世界的に見て注目されることは K.Werner(1991-92)および J.Wiesner(1992)の2篇の大著が相次いで刊行されたことである。

1. K.Werner(1991-92) The beetles of the world 13 & 15. Cicindelidae.  
2 vols. Sciences Nat, France. (続刊、4巻で完結)
2. J.Wiesner (1992) Checklist of the tiger beetles of the world.  
Verlag Erma Bauer, Keletern, Germany

Werner のそれは原色図版を伴ったモノグラフ、Wiesner のそれは Junk の Coleopterorum Catalogus (世界甲虫目録)の改訂新版に相当するもの。ともに必見の文献となる。

これらの中で日本産ハンミョウのいくつかは学名が変更された。新旧の関係は次のとおりである。

- 0010 *Collyris loochooensis* ヤエヤマクビナガハンミョウ  
→ *Neocollyris loochooensis*
- 0210 *Cicindela sumatrensis niponensis* ハラビロハンミョウ  
→ *Neocollyris sumatrensis niponensis*
- 0110 *Cicindela ovipennis* マガタマハンミョウ  
→ *Cylindera ovipennis*
- 0130 *Cicindela elisae* エリザハンミョウ  
→ *Cylindera elisae*
- 0150 *Cicindela kaleea* トウキョウヒメハンミョウ  
→ *Cylindera kaleea*
- 0160 *Cicindela psilica luchuensis* ヒメヤツボシハンミョウ  
→ *Cylindera psilica luchuensis*
- 0140 *Cicindela gracilis* ホソハンミョウ  
→ *Cylindera gracilis*
- 0180 *Cicindela inspecularis* ヨドシロヘリハンミョウ  
→ *Callytron inspecularis*

- 0190 *Cicindela yuasai* シロヘリハンミョウ  
→ *Callytron yuasai*
- 0200 *Cicindela striolata dorsolineolata* タテスジハンミョウ  
→ *Lophyra striolata*
- 0220 *Cicindela anchoralis* イカリモンハンミョウ  
→ *Abroscelis anchoralis*
- 0230 *Cicindela laetescripta* カワラハンミョウ  
→ *Chaetodera laetescripta*
- 0170 *Cicindela specularis* コハンミョウ  
→ *Cicindela speculifera*

Werner, Wiesner の業績に匹敵する出版物とまではいえないかもしれないが、国内でも1985年、保育社から「原色日本甲虫図鑑(Ⅱ)」が刊行され、その中で、佐藤正孝が日本産ハンミョウ科の全種を解説した。本書の出現で邦産種の同定は一段と容易になった。また、環境庁の分布調査でハンミョウ科をとりあげたことが一つの契機となっただけでなく、ハンミョウ科に関心を寄せる同好者が増え(榎戸良裕、榎田俊明など)、分布や生態を中心に知見が増加しつつある。月刊誌「昆虫と自然」でハンミョウ科だけの特集号(26巻10号、1991)がとりあげられたことなど、こうした状況を物語る一例といえよう。日本産昆虫に関する図鑑も、次第に全種主義・情報完全整理主義の傾向が強くなり、トンボ、チョウなどではすでにそれに相当する類書が完成、甲虫でもカミキリ、クワガタムシ、ゲンゴロウなどでは、こうした図鑑が出現している。ハンミョウ科は種類数ではこれらのグループに及ばないが、現在、ハンミョウ科だけの原色図鑑を刊行する動きがある。完成の暁には、分布調査を実施するうえでその貢献度は極めて大きいであろう。

## (2) ハンミョウ類の報告状況

筆者の手元にある資料に基づき、日本産ハンミョウ科各種について、文献上記録のある県の数と今回報告のあった県の数(「Ⅱ. 集計表」に基づく)とを比較してみると次表のとおりである。ただし、ここにいう「文献上記録のある県の数」は、その種が実際に分布する県の数でなければならぬはずであるが、コニワ、ミヤマ、アイヌ、エリザ、コ、ホソ、カワラなどの各種では、正式に報告されていないか、筆者の資料調査が不十分であるか、そのいずれかのため、カウントから漏れた県がいくつかある。このように算出基準そのものが不正確であるため、ここに示す報告率も実態を正確に表す数値とはいえない。あくまでも「傾向を示す」程度であることをおことわりしておく。

種名	分布域に含まれる県数	今回報告のあった県数	報告率(%)
ヤエヤマクビナガハンミョウ	1	1	100
シロスジメダカハンミョウ	2	1	50
ニワハンミョウ	46	33	72
コニワハンミョウ	41+	22	*54
ミヤマハンミョウ	25+	11	*44
アイヌハンミョウ	28+	13	*46
ルイスハンミョウ	11	2	18
マガタマハンミョウ	16	9	56
ハンミョウ	46	33	72
アマミハンミョウ	1	1	100
エリザハンミョウ	37+	14	**38
オガサワラハンミョウ	1	0	0
コハンミョウ	39+	21	*54
トウキョウヒメハンミョウ	8	7	88
ヒメヤツボシハンミョウ	1	1	100
ホソハンミョウ	27+	7	**26
ヨドシロヘリハンミョウ	7	2	29
シロヘリハンミョウ	15+	8	*53
タテスジハンミョウ	1	1	100
ハラビロハンミョウ	11	2	18
イカリモンハンミョウ	5	0	0
カワラハンミョウ	37+	7	*19

注) 「分布域に含まれる県数」の欄で+を付した数値は、実際にはさらに増加する可能性のあるもの。無印は少なくとも現時点で見える限り、その種が分布する県の実数を表していると考えられるもの。  
また、報告率の数値に\*印があるものは不正確、\*\*印のあるものは不正確の程度がさらに大きいことを示す。

### (3) 種別解説(「II. 集計表」に基づく)

#### 1) ニワハンミョウ

広い分布域をもつ種。生息環境は耕地や粘土質の路上。報告県数は33。県単位の報告率は72%。都市周辺での減少は著しいが、県単位で見ると、まだよく目につくハンミョウの一つであり、調査結果もそれをよく表している。

分布：日本(北・本・四・九)、朝鮮半島(済州島を含む)。

なお本種には H. Beuthin (1905) の記載した *inhumeralis* という亜種(分布：北・本)と、尾池一清(1936)によって記載された亜種 *tosana* とが知られ、中根猛彦(1976)は和名としてそれぞれエゾニワハンミョウ、トサニワハンミョウを与えている。しかし、この調査では、これら亜種の区別はせず、すべてニワハンミョウとして扱っていることをおことわりしておく。

## 2) コニワハンミョウ

砂質の河原などでよく見られる。分布域は広い。報告県数22。県単位の報告率54%。もう少し報告率が伸びてよい種であるが、河川環境の改変などが影響している可能性もある。

分布：日本（北・本・四・九）、朝鮮半島（済州島を含む）、中国、サハリン、シベリア

## 3) ミヤマハンミョウ

やや北にかたよる分布域をもつ種。山地性で、粘土質の林道やガレ場でよく見られるが、寒地では低地にも出現する。北海道では最も普通のハンミョウ。後翅はあるが、めったに飛ばない。報告県数11。県単位の報告率44%。

分布：日本（北・本・四）、サハリン

## 4) アイヌハンミョウ

草が混じり、転石が散在する砂質の河原などでよく見られる。分布は広い。報告県数13、県単位の報告率は46%。

分布：日本（北・本・四・九・対）、朝鮮半島、中国、シベリア

## 5) ルイスハンミョウ

海岸の干潟（狩り場）と周辺の砂浜（幼虫の生活環境）が隣接する環境に生息する。分布は南にかたよる。報告県数2、県単位の報告率18%。自然海岸の減少による生息環境の消失が危惧される種の一つ。

分布：日本（中部以西の本・四・九）、朝鮮半島（済州島を含む）、中国

## 6) マガタマハンミョウ

北日本の日本海側にかたよるを見せる分布域をもつ。山地性で、日光をまともに受けないやや暗い粘土質の林道上などでよく見られる。目につかないだけで林内でも活動している可能性がある。後翅が退化しているため飛ばない。報告県数9、県単位での報告率56%。1991年、大野は本種の全体像をまとめ、既知産地を総括、分布図を作成した。日本において分布像が最も明らかにされているハンミョウの一つである。日本の固有種。

分布：北・本・佐

## 7) ハンミョウ

広い分布域をもつ種。生息環境は、粘土質の路上など。往時は東京の23区内でも見られたが、現在生き残っている場所は存在しない。舗装化が進み、裸地が消失したためであろう。房総半島の丘陵地では小河川の川原のような環境に出現する。生態的に異なるタイプであるかもしれない。沖縄産の個体群は亜種を異にする(okinawana)。報告県数はニワハンミョウと同じく33。県単位での報告率は72%。

分布：日本（本・四・九・対・種・屋）

## 8) エリザハンミョウ（ヒメハンミョウ）

本種は水田の周辺、河川敷、海岸河口部など粘土質、泥質の湿性裸地でよく見かけられる。しかし、海岸部の本種は大型で翅鞘の斑紋が太く、主として内陸部に見られる小型で斑紋の細いタイプと区別できる。日本産のエリザハンミョウは大陸産の個体群と区別し、亜種 *novitia* として扱われることもあるが、上記のように内陸型・海岸型の問題点も残っているのでここでは原亜種 *elisae* として扱っておく。なお、伊豆諸島御蔵島産の本種は中根猛彦（1968）により亜種として分けられ、*mikurana* なる学名が与えられている。三宅島の本種もこの亜種に属する。海岸型のエリザハンミョウは日本列島の海岸部の環境変化の影響をうけてか、

生息地と個体数が著しく減少している。内陸型のエリザハンミョウの方はまだかなり見られるが、水田の消滅などでやはり産地は減少している。今回の調査では内陸型・海岸型を区別しなかったが、次回からはこの両型を区別、それぞれ別個にデータをとり、整理すべきかもしれない。今回の調査で報告のあった県数は14、報告率は38%であった。

分布：日本（北・本・四・九・伊）、台、中国、チベット、モンゴル、朝半、シベリア

#### 9) コハンミョウ

やや南にかたよった分布型を示す。農耕地や路など、粘土質の多少湿った裸地環境に見られ、海岸部にも出現することもある。分布が広く、個体数も少なくない。今回の調査で報告のあった県数は21、県単位の報告率は54%

分布：日本（本・四・九・伊・対・球）、台、中国、東南ア

#### 10) トウキョウヒメハンミョウ

中国大陸または台湾からもたらされたと考えられる帰化昆虫の一つ。庭、河川敷など、粘土質の裸地で、周辺に樹林を伴う環境でよく見られる。飛び立ったとき、樹葉や草上に止まる習性を持つ。東京を中心に分布を広げ関東（茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川）、中国（山口）、九州（福岡）などに定着、別亜種が沖縄から知られる。今回の調査で報告のあった県は7、県単位の報告率は88%であった（なお本種は近年栃木・岐阜・大分の各県でも発見された）。本種については1991年、日本における生態・分布上の知見を大野が総括した。今後の分布拡大を含む種の動態を見守る上で、この総括はそれなりに役立つであろう。

#### 11) ホソハンミョウ

本種の生息環境については不明の点が多く、庭や墓地・校庭などの裸地で見られることもあるが発見例は乏しく、果たしてこうした環境が本来の生息環境であるのか明らかでない。後翅はあるのにほとんど飛ばない点などを考慮に入れると、飛翔にたよらず狩猟行動がとれる環境、つまり草間やブッシュ内などで生活している可能性が強い。裸地で見られる個体はこのような環境から、たまたま外に現われたときなのであろう。だとすれば本種の発見例が少ない理由も理解できるような気がする。今回の調査で報告のあった県は7、県単位で見たときの報告率は26%であった。

分布：日本（本・四・九）、朝半（済を含む）、中国大陸、シベリア

#### 12) ヨドシロヘリハンミョウ

アシ原を伴う砂泥質の河口部などで見られる。大阪の淀川河口部で発見されてこの和名をもつが、現在大阪以外に兵庫・和歌山・岡山（以上本州）、徳島（四国）、大分・長崎（以上九州）の各地から知られる。山口県からも不確実な報告があるので確認する必要がある。シマバラハンミョウの仮称で知られていた学名不詳種も現在ではヨドシロヘリハンミョウと見なされている。本種の生活できるような河口部のアシ原は、各地で改変度が大きいため、本種の生息地は今後急速に減少する可能性がある。今回の調査で報告のあった県は2、県単位の報告率は29%であった。

分布：日本（本・四・九）

#### 13) シロヘリハンミョウ

海岸の岩礁地帯を中心に生息する特異なハンミョウ。付近に湿った砂地を伴うことが生息地としての条件になっているようである。今回の報告県数8、県単位の報告率は53%であった。形態的には前種に似るが、生息環境が異なるため生

息地の消滅危険度ははるかに小さい。千葉県を北限とする黒潮圏が分布域となっている。伊豆諸島三宅島産のシロヘリハンミョウは中根猛彦(1961)により亜種として区別された(miyakejimana Nakane ミヤケシロヘリハンミョウ)。

分布：日本(本・四・九・伊・屋・琉)

#### 14) ハラビロハンミョウ

海岸の河口部など湿潤な砂泥地に生息する。アシ原を伴う所、アシ原を欠く所、いずれでも見られる。ただし、実際の分布地は極めて少ない。熱帯系のハンミョウで、基本亜種はアジア熱帯地方に広く分布するが、日本産は亜種として区別され、新潟県以西の本州(主として日本海側)と佐渡、それに九州と種子島から知られる。秋田県の八郎潟や奈良・京都からの記録もあるが再検討が必要。四国や本州の太平洋岸からの確実な記録はない。大野(1980)が加藤晃からの情報に基づいて記録した千葉県の産地も標本を再調査する必要がある(ヒメハンミョウの海岸型である可能性が大きい)。本種も海岸部の改変で生息地が失われやすいハンミョウの一つである。今回の調査で報告のあった県は福井県と和歌山県。県単位での報告率は18%であった。

分布：日本(本・佐・九・種)

#### 15) イカリモンハンミョウ

海岸砂浜の比較的水際に近い辺りで見られるハンミョウ。元来熱帯系の昆虫で、日本では石川県を北限とし、九州、種子島、琉球などから知られる。全体の分布パターンはハラビロハンミョウ型であるが、実際の産地ははるかに少なく、既知の県は石川・福井・宮崎・鹿児島・沖縄の5県にすぎない。今回の調査では本種についての3次メッシュ単位での情報は得られなかった。海岸での海水浴客増と四輪駆動車などの乗り入れで、本種の生息環境が著しく悪化していることもその原因の一つと考えられる。

分布：日本(本・九・種・琉)、朝半、台、アモイ、安南

#### 16) カワラハンミョウ

河川中・下流域で、やや乾いた砂質の河原が発達し、一部にアシ原が見られるような環境に生息する。また河原だけでなく、海岸の砂浜でも本種を見ることが出来る。基本亜種はアジア北部を中心に分布するハンミョウであり、日本産は亜種 *circumpictula* として扱われる。北海道から沖縄まで分布し、分布範囲が広く、姿を見る機会も決して稀でなかった。しかるにここ20~30年の間に本種の産地は著しく減少し、今日では本種を確実に見ることのできる産地は極めて少ない。特に河川敷の環境改変が生息地の消失にかかわっていると考えられる。今回の調査で報告のあった県数は7、県単位での報告率は19%であった。

分布：日本(北・本・四・九・沖)

#### 17) オガサワラハンミョウ

小笠原諸島固有のハンミョウである。戦前(1937年)、門前弘多が父島で採集した2頭の標本に基づき、中根猛彦・黒沢良彦(1959)が新種として記載した。しかし、返還後、父島での調査が何度かくり返されたにもかかわらず、このオガサワラハンミョウを再発見した者はいない。おそらく、導入されたオオヒキガエルの捕食圧などに遭い、絶滅したのであろう。

このオガサワラハンミョウは、現在父島の北に位置する兄島に見られる。兄島での発見は1977年10月、伊賀幹夫による。しかしこの兄島も、小笠原空港の予定地として大きく揺れている。もしこの地に空港が建設されれば、その用地はオガサワラハンミョウの生息環境を直撃し、本種はこの地においても姿を消すことに

なるう。

本種はエリザハンミョウに近縁の種と考えられている。しかし、生息環境なども、より乾いた土質を選好し、エリザハンミョウとは異なる独立種と見なすことができる。

今回の調査では本種に関する情報は寄せられていない。

#### < 琉球列島のハンミョウ類 >

九州以北に見られず、日本では琉球列島にのみ分布するハンミョウにつき、ここで一括してとりあげる。

#### 18) ヤエヤマクビナガハンミョウ

八重山（石垣、西表、与那国）に固有のハンミョウ。やや山地性。葉上で生活するタイプのグループ。叩き網などで捕獲される。今回の調査では4メッシュしか報告がないが、分布域が限られているため、分布の概略はこれで把握できる。

#### 19) シロスジメダカハンミョウ

本種も葉上性のハンミョウであるが、前種に比し分布は広い。北は屋久島から奄美、沖縄、石垣、西表にわたり、台湾、紅頭嶼にも分布する。屋久島産は *yakuensis* Nakane ヤクメダカハンミョウ、八重山産は *iriomotensis* Chûjô ヤエヤマメダカハンミョウのように亜種として分けられることもあるが、ここではすべてをシロスジメダカハンミョウとして扱う。今回の調査での報告は2メッシュだけで、本種が分布する島嶼数から見ると情報量は十分でない。

#### 20) アマミハンミョウ

奄美大島と徳之島に固有。徳之島の個体群は亜種 *indigonacea* Miwa アオアマミハンミョウとして分けられることもある。山道などで普通に見られる種で、夜は葉上で休止する習性がある。今回の報告は4メッシュ。分布域が限られているので、一応分布パターンは類推できる。

#### 21) ヒメヤツボシハンミョウ

アジア熱帯から台湾を経て八重山まで分布する熱帯系のハンミョウ。山地性。粘土質の山道で集団で活動する情景を見ることもある。八重山産は亜種 *luchuensis* Kano として分けられる。今回の調査での報告は7メッシュ。本種も分布域が限られるので、分布パターンは一応表せるかたちになっている。

#### 22) タテスジハンミョウ

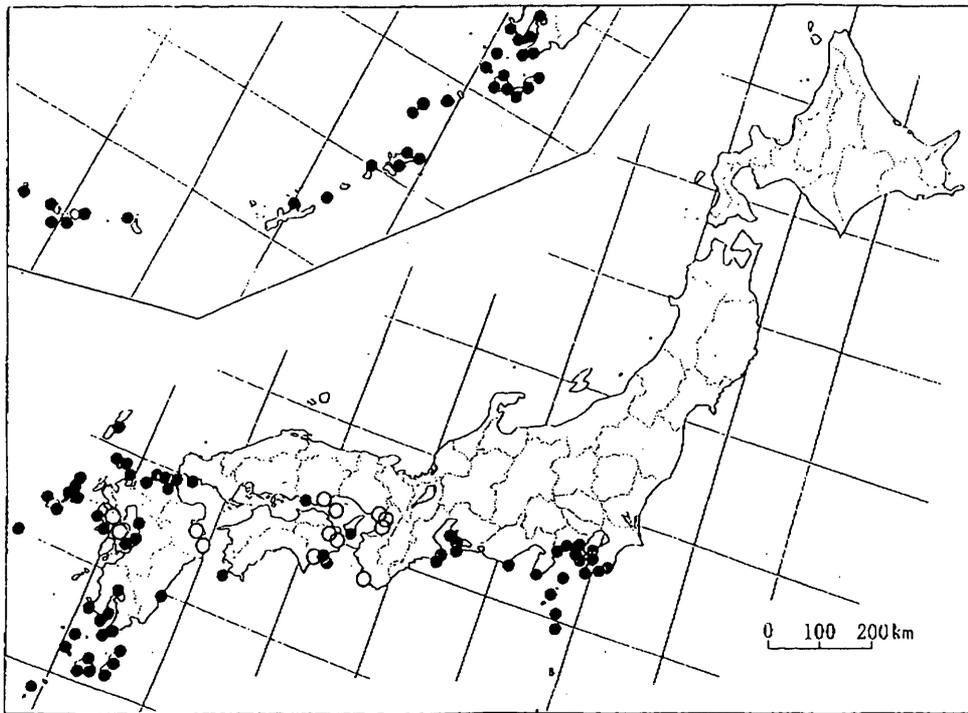
沖縄島から八重山を経て台湾、中国さらに東南アジアにかけて広く分布する熱帯系のハンミョウ。山地には見られず、海岸に近い低地の耕作地周辺などで生活する。今回の報告は2メッシュのみであるが、沖縄、八重山の両地域が含まれているので、一応分布型が示せるかたちになっている。

なお、以上のほかにオキナワハンミョウ（ハンミョウの沖縄亜種）、リュウキュウヒメハンミョウ（トウキョウヒメハンミョウの沖縄亜種）、コハンミョウ、シロヘリハンミョウなどの分布を見るが、ここでは省略する。琉球列島のように、固有種を多く含む島嶼群では、複数の島にまたがって分布する種の場合、島ごとに分化がおり、それぞれ固有の個体群に変化している可能性があるため、個々の島内における分布状況を把握するだけでなく、ハンミョウ類の分布する島と分布しない島を精査し、それぞれの島に生息する全個体群について、分類学的検討を試みるのが重要と考えられる。

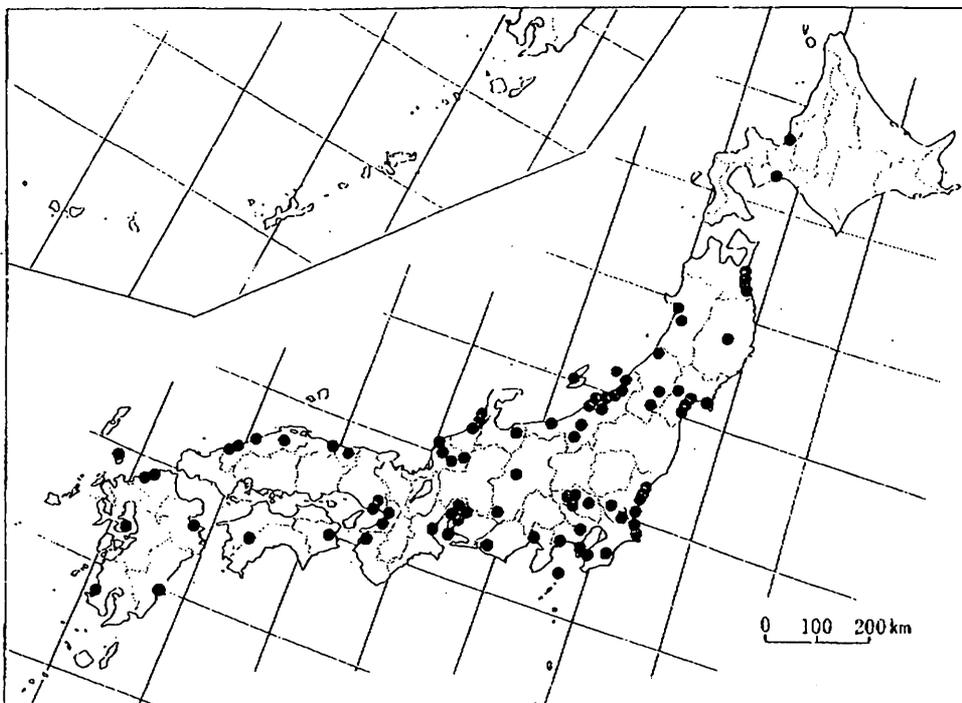
（大野 正男）

## 引用文献

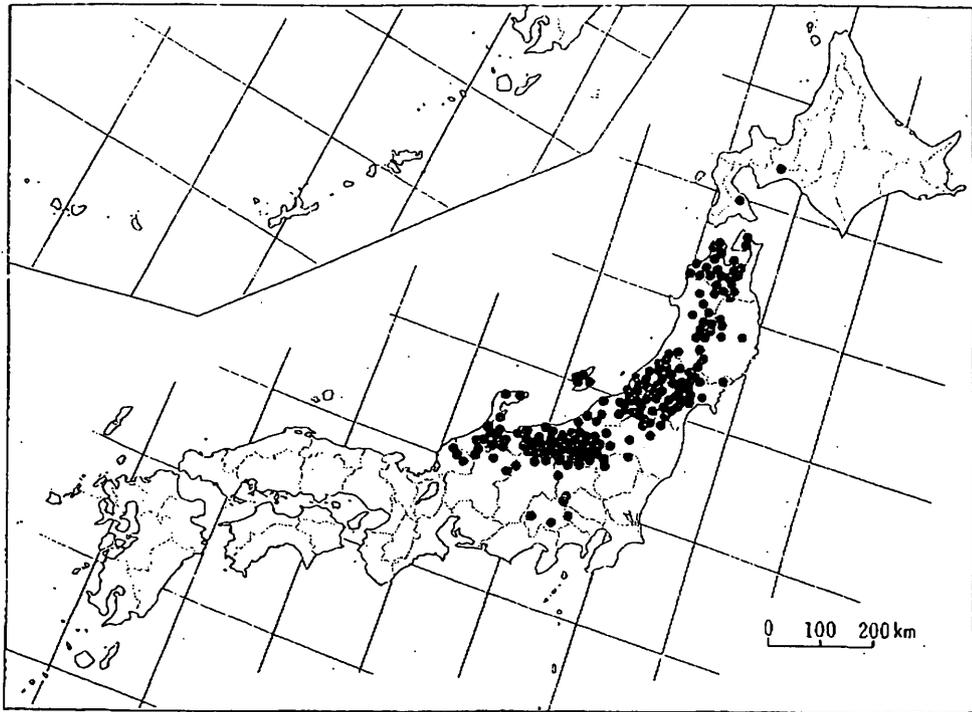
- Beuthin, H. 1905. *Cicindela japonica* varr. *Societas Entomologica*. Zurich, 29:185.
- Nakane, T. 1961. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XV. *Fragmenta Coleopterol.*, (1):1-5.
- Nakane, T. 1968. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XXV. *Fragmenta Coleopterol.*, (19-21):76-85.
- Nakane, T. 1976. Check-list of Coleoptera of Japan(日本産甲虫目録). 3 Family Cicindelidaeハンミョウ科: 1-7.
- Nakane, T. & Y. Kurosawa. 1959. A new species of the genus *Cicindela* from Bonin Islands. *Bull. Nation. Sci. Mus.*, Tokyo. 45:372-373.
- 大野正男. 1980. 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(昆虫類)千葉県. pp.1-78. 環境庁.
- 大野正男. 1991a. 日本産主要動物の種別文献目録(24) トウキョウヒメハンミョウ(1). 戸田市立郷土博物館研究紀要、(6): 1-16.
- 大野正男. 1991b. マガタマハンミョウの知見総説. *昆虫と自然*、26(10): 2-8.
- 尾池一清. 1936. 土佐に於ける甲虫相. *関西昆虫学会々報*、(7): 74-81.



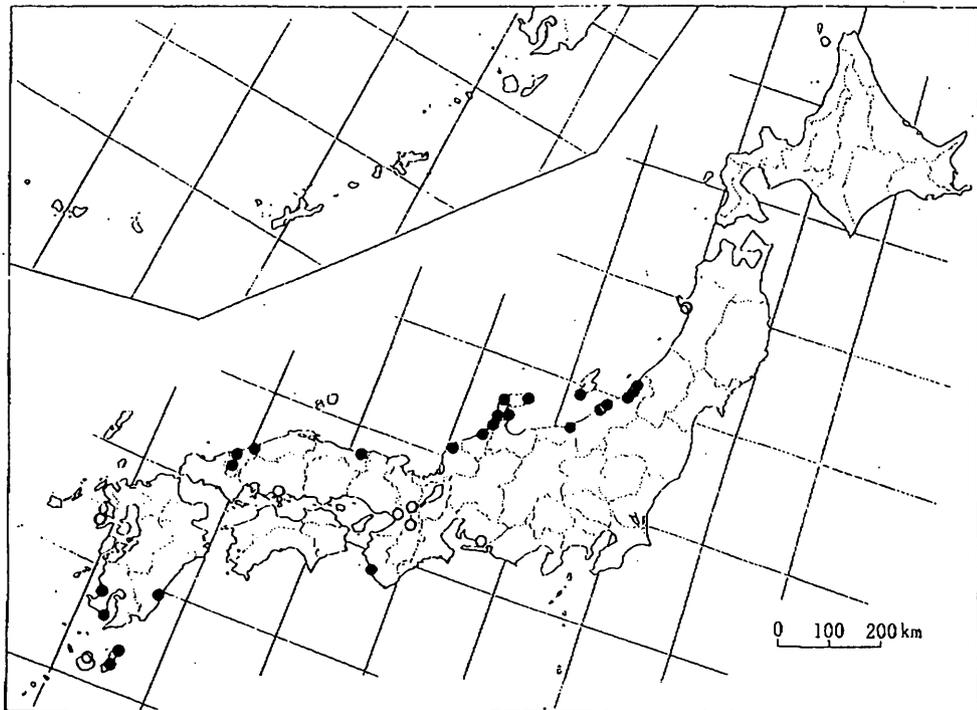
シロヘリハンミョウ(●)とヨドシロヘリハンミョウ(○)の分布図  
 (大野、未発表原図)



カワラハンミョウの分布図 (大野、未発表原図)



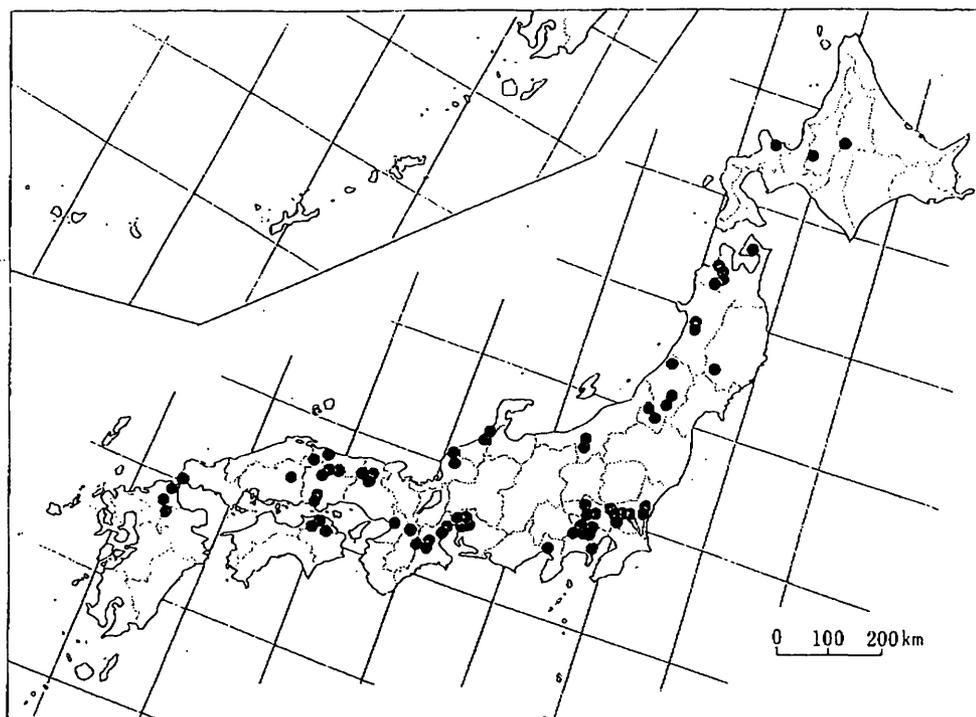
マガタマハンミョウの分布図（大野、1991による）



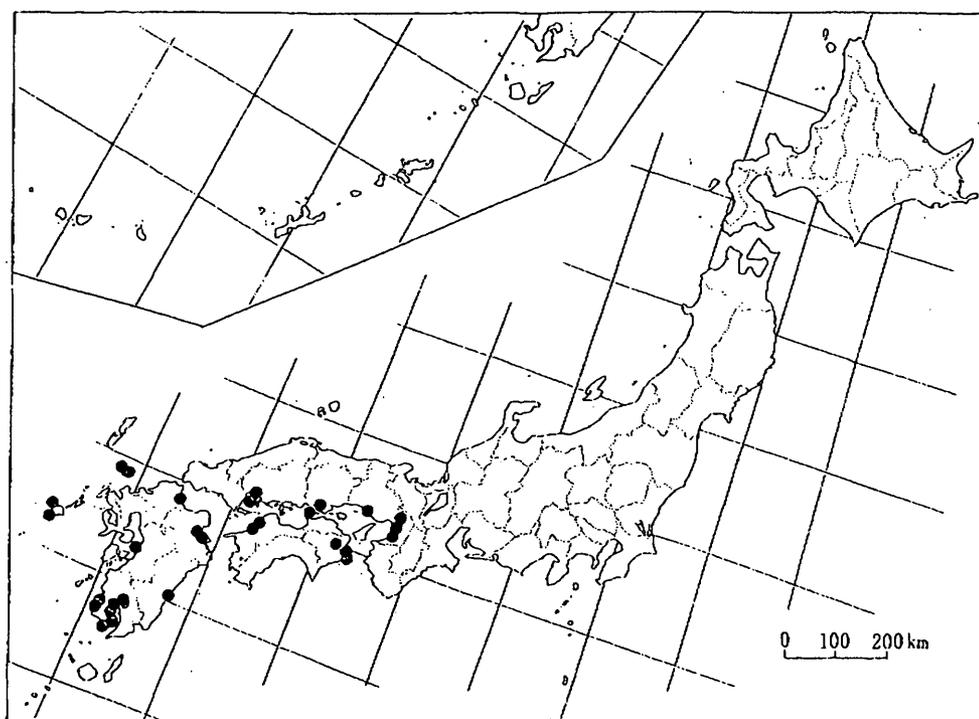
ハラビロハンミョウの分布図

（○印で示した産地のうち、屋久島・長崎は正確な地名不詳。広島・大阪・京都・奈良・愛知・秋田の各産地は同定に疑問あり。共に再検討が必要）

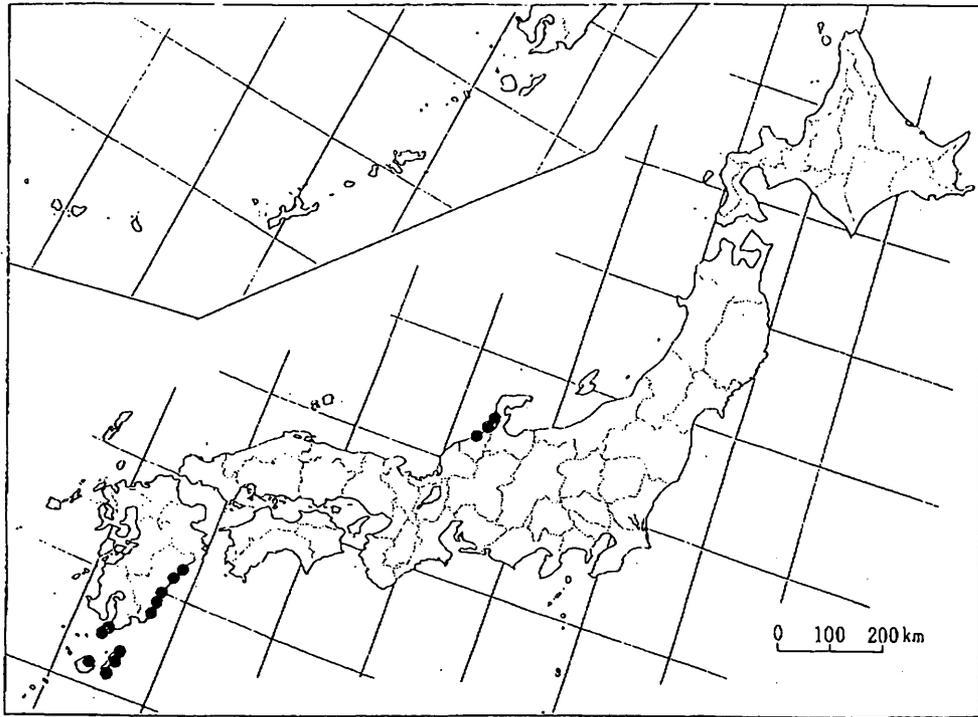
（大野、未発表原図）



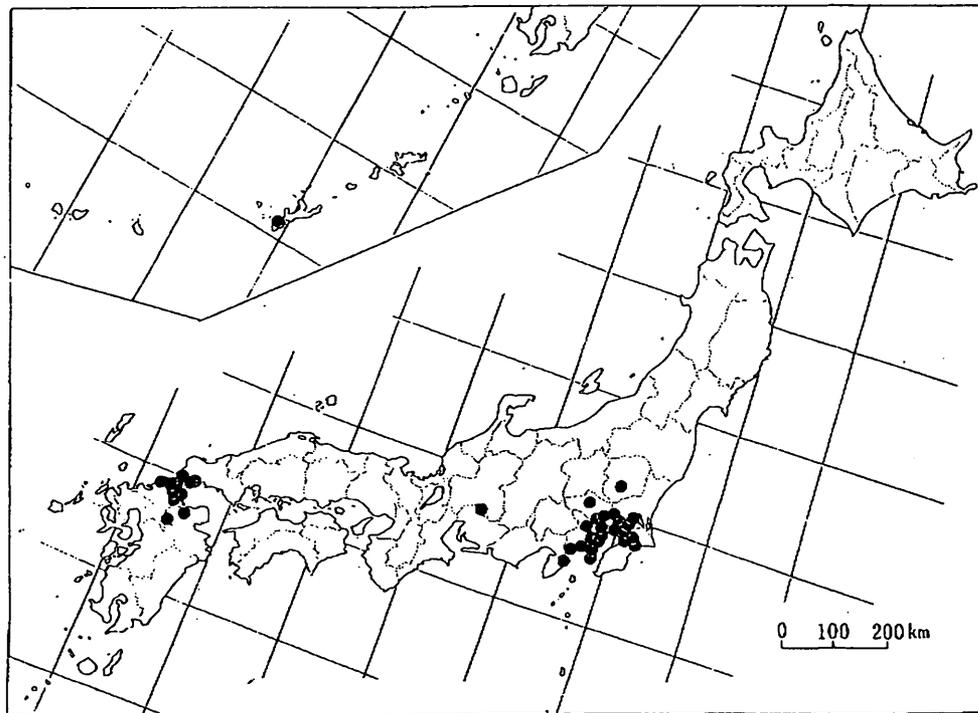
ホソハンミョウの分布図（大野、未発表原図）



ルイスハンミョウの分布図（大野、未発表原図）



イカリモンハンミョウの分布図（大野、未発表原図）



トウキョウヒメハンミョウの分布図（琉球のものはオキナワヒメハンミョウ）  
（大野、未発表原図）

## 2. クワガタムシ科

甲虫目の中でクワガタムシ科は、種ごとの分布がもっともよく調べられているグループである。それは、このグループは研究者を含めて関心を持つ人が多いこと、甲虫目の中では一般に体が大きく種数も余り多くないことによる。今回（第4回）の自然環境保全基礎調査では、調査対象種37種（亜種）のうち36種（亜種）についての情報がまとめられている。したがって前回の「情報不足」の段階から「やや情報不足」の段階へ達したと云える。

しかし前述のように、このグループは関心の高さから同好会誌等に採集の記録も多く、それらの記録をまとめることで情報の欠落による空白をうめることが、ある程度可能である。近年のクワガタムシ科分布に関する記録で注目すべきものとして次の3つをあげたい。

1. ルリクワガタ類の種ごとの分布が地域変異を含めて一段と詳しくなった。
2. オオクワガタの分布地の環境悪化の実態が把握できる。
3. 県の離島に分布する種の記録がふえている。

以上の3つの中、今回のデータ不足を補う目的からオオクワガタについて記しておきたい。

### オオクワガタ

平地から低山帯に広く分布するが、その生息地は局地的である。本種への関心はきわめて高く、これまでに多くの地域からの採集記録があるが、記録地の多くが開発によって大きく変貌している。今回の調査によせられた情報から欠落した部分（県）を、1985年以降に記録されたもので補うと次のようになる。青森県上北郡、秋田県仙北郡、群馬県渋川市付近、埼玉県秩父郡、千葉県東金市、愛知県瀬戸市・春日井市、三重県松阪市、京都府亀岡市および周辺、大阪府豊能郡・箕面市・池田市・高槻市・三島郡、兵庫県川西市などである。以上の採集記録地も開発の影響を受けているが、山梨県、京都府、大阪府、兵庫県の有名な産地は台場クヌギ等の伐採によって生息地が消滅、または著しくせばめられ個体数が激減している。それに加えて朽ち木を片端から壊して幼虫を見つけ出す採集法が行われている。一つの朽ち木で通常数個体から数十個体の幼虫が育つ。幼虫が発見された朽ち木からは、すべての個体が持ち去られることが多い。朽ち木を破壊することは、その地域のオオクワガタの絶滅を招くのみならず食腐性、食菌性、食肉性の多様な昆虫を失うことになる。オオクワガタは分布が広いが、個体数の減少がもっとも著しいクワガタムシとして注目すべきであろう。

（林 長閑）

### 3. ハナカミキリ亜科

#### (1) 日本産ハナカミキリ類の分布

日本列島の昆虫相は歴史的変遷の影響によって、東洋区系の昆虫相を呈するトカラ列島から沖縄にかけての地域を除いた大部分の地域は旧北区に属していると指摘されている。しかしながら、膨大な種を含有する昆虫類のすべてのグループについて分類学的研究が終了した訳ではなく、むしろ大半のグループはいまだ未解明の部分が多い。したがって、分類学的研究成果に基づいて検討を進めなければならない分布パターンの把握やその解析は分類学的研究が進展しているトンボやチョウの仲間とは別として、多数の種を含んでいる甲虫類については今後の大きな課題である。ただし、甲虫類の中でも分類研究が進み、研究者や同好者の多いクワガタムシやカミキリムシなどのグループは他のグループに比べて分布情報の集積が比較的進んでいるグループとすることができる。

日本産ハナカミキリ類は現在まで 159種ほどが知られているが、それらの分布状況を日本列島の地域ごとに概略を示せば次の通りである。

a. 北海道のみに分布している種	12種
b. 本州のみに分布している種	36種
c. 四国のみに分布している種	1種
d. 九州のみに分布している種	2種
e. 対馬のみに分布している種	2種
f. 屋久島のみに分布している種	2種
g. 奄美大島から沖縄にかけて分布している種	8種
h. 八重山諸島のみに分布している種	3種
i. 北海道・本州・四国・九州・沖縄に共通して分布している種	2種
j. 北海道・本州・四国・九州に共通して分布している種	25種
k. 北海道・本州・四国に共通して分布している種	3種
l. 北海道・本州・九州に共通して分布している種	1種
m. 北海道と本州に共通して分布している種	12種
n. 北海道・本州・対馬に共通して分布している種	1種
o. 北海道と対馬に共通して分布している種	1種
p. 本州・四国・九州に共通して分布している種	35種
q. 本州と四国に共通して分布している種	7種
r. 本州と九州に共通して分布している種	3種
s. 本州・九州・沖縄に共通して分布している種	1種
t. 四国と九州に共通して分布している種	2種
u. 九州と沖縄に共通して分布している種	0種

上記のように日本列島のほぼ全域にあまねく分布している種(i, j)は27種、次いで分布域の広い北海道を除いた本州・四国・九州の各地に共通して分布している種(p)は35種で、前者は日本産ハナカミキリ類の17.0%、後者は22.0%である。これらの広域分布種双方を合わせると62種となり全体の40%近い種が日本列島のかなり広い地域に分布していることになる。

一方、生物地理学的観点から見れば、旧北区系要素の強い本州以北の地域にのみ分布している種(a, b, m)は60種を数え、全体の37.7%の割合を示している。これらの中にはキタクニハナカミキリ、クビボソハナカミキリ、カラフトヨツスジ

ハナカミキリ、エトロフハナカミキリ、ヨツスジホソハナカミキリ、アイヌホソコバネカミキリのように北海道以北の地域にのみ分布し、本州とは異なる北海道昆虫相の特徴の一端を示している種が含まれる。また、スミイロハナカミキリとシラカハナカミキリなどは北海道と本州の限られた地域にのみ分布しているが、これらの種は日本列島が寒冷であった時代の遺存種として考えることができ、生物地理学的に興味深い種である。対照的に東洋区系要素を呈する奄美大島およびそれ以南の地域に分布している種(g, h)は11種で、日本産ハナカミキリ類の6.9%に過ぎず、島嶼では生息種数が少ないというハナカミキリ類の分布的特性が認められるが、分布域を広げて四国・九州から沖縄にかけての温暖地域に分布している種(c+d+e+f+g+h+t+u)を合わせても20種で、全体の12.6%を示しているに過ぎない。

次に地域別にそれぞれの地域に分布している種数を見ると本州のみに分布している種(b)は36種で、地域別分布種数で最も多く、日本産ハナカミキリ類の22.6%を示している。このことは日本産ヒメカミキリ類が本州で著しい種分化をとげた結果を反映しているものであろう。

以上の事柄を取りまとめれば、日本産ハナカミキリ類は旧北区系要素の強いことをうかがうことができ、それらに日本列島、特に本州で種分化した日本的要素が加わったもので構成されていると考えることができる。

## (2) 今回の調査結果

今回の調査結果は日本産ハナカミキリ類各種の分布状況を把握するため、47都道府県にわたって、有識者および同好会などの協力によって得られた分布データを取りまとめたものである。しかし今回の調査ではこれまでに分布記録のある各都道府県すべてから分布に関する情報を得ることができたわけではない。そこで、今回分布図が作成された日本産ハナカミキリ類155種について前述したような既存の知見に基づいて次のように3段階に区分した。

### ① 分布パターンを表している

(既知の分布域の7割以上の地域から情報が寄せられた種)

### ② やや情報不足(同5割以上7割未満の種)

### ③ 情報不足(同5割未満の種)

上記の区分の結果、日本産ハナカミキリ類は分布パターンを表している種(①)は54種で、全体の34.8%、やや情報不足(②)は76種で49.0%、情報不足(③)は25種で16.1%をそれぞれ示している。しかしながら、よく調べられたハナカミキリ類は分布範囲が狭く、特定の都道府県に分布が限定されている種が大部分である。したがって、そのような種の多いことの反映として分布パターンを表していると判断される種の割合が高くなっているものと思われる。

一方、やや情報不足(②)と情報不足(③)を合わせた種は101種で、全体の半数を越えている。甲虫類の中で、比較的分布状況の把握が進んでいると考えられるハナカミキリ類ではあるが、今後一層の調査を進める必要がある。特にデータのまったくなかった香川県をはじめ、データの少ない石川、滋賀、島根、山口、大分の各県におけるハナカミキリ類の分布情報の収集が強く望まれる。

なお、収集された情報の中には最近分類学的に種が細分されたり再整理された

もの、すなわち、カクムネヒメハナカミキリ、アサマヒメハナカミキリ、ブービエヒメハナカミキリ、ツマグロヒメハナカミキリ、ムネモンヒメハナカミキリの一群や、クロハナカミキリとムネアカクロハナカミキリの2種、ツマグロハナカミキリとヤツボシハナカミキリの2種については、一部種の同定に混乱があったと推定される分布情報があり、今後の正確な再調査を要するであろう。

( 渡 辺 泰 明 )

## IV. ま と め

第4回自然環境保全基礎調査における動植物分布調査の全種調査は、哺乳類、両生類・爬虫類、淡水魚類、昆虫類（トンボ類、セミ類、チョウ類、ガ類の一部、甲虫類の一部）、貝類（陸産貝類、淡水産貝類）を調査対象に実施した。本調査においては、種の同定能力のある専門研究家に協力を要請し、分布情報の提供をいただいたもので、結果として約2,600名の協力が得られ、延べ報告件数はおよそ53万件にのぼった。これらの分布に関する原情報は、1kmメッシュの情報であるが、分布図に整理する際には10kmメッシュに変換して表示した。分布図は、報告のあった全ての種について作成し、分類群ごとの分冊（哺乳類、両生類・爬虫類、淡水魚類、トンボ類、チョウ類、ガ類、セミ類・甲虫類、貝類の8分冊）として取りまとめた。

### 1. 全種調査全般について

全種調査は、生物地理学、生態学等の自然科学の基礎資料になるとともに、動植物の保護管理のための施策立案に客観的な情報を提供することを目的に、人為的、自然的要因により変化し続ける我が国の生物相を網羅的に記録する事を目指しているものである。

なお、この調査を通じて、特定の目的に利用が限られていた各種の調査結果や、公開の機会が限られていた個人の観察記録などが有効な分布情報として蘇生されるよう期待した。

今回の調査では、ごく限られた期間の内に、約2,300種についての分布情報が得られ、全てが分布図化された。分布情報に空白域があって全ての分布図が全国的な分布状況を表しているわけではないが、半数以上の分布図が「分布パターンを表している」と判定されたこと、分布に関するいくつかの新しい知見が得られたことなどが今回の全種調査の成果である。なお、今回の調査では、第3回調査に引続き、全国の専門家の協力によりデータを収集する、という調査体制が採られたが、前回にも増して多くの専門研究者の理解が得られた。これは、今後の全種調査継続に明るい展望を与えるものである。

しかし、今回の調査を顧みれば、いくつかの問題点も指摘される。まず、調査者になりうる人の絶対数が限られ、かつ調査フィールドの地域的な片寄りもあって、収集された分布情報にも地域的な片寄りが見られ、調査の全国的な均一性はまだ確保できていない。このことから、今回の報告書は前回調査結果より分布情報数及び精度に向上が見られるもののまだ情報の補完の余地が残されているといえる。

また、調査者の負担についての問題として、地域メッシュコードの検索・書き写しに多くの時間を要したこと、調査票の控えが手元に残せなかったことなどが挙げられる。

今後の調査継続の際には、分布情報の空白の解消とともに、調査員の省力化についての改善策の検討が必要である。

## 2. 昆虫（甲虫）類の調査について

全体的に情報量が少なく、日本列島における分布を表わすに足る十分な成果は得られなかった。特定の地域や小島嶼などに分布が限られている種類では、たとえ情報量は乏しくても分布パターンはそれなりに把握できたものの、広域に分布する種では情報不足が特に目立った。

ハンミョウ類では、既存の知見に照らしてその5割以上の地域から情報が得られたものは12種にとどまった。また、クワガタ類は全体として、前回調査の「情報不足」の段階から、今回は「やや情報不足」の段階へ達したと言える。さらに、ハナカミキリ類については、よく調べられたものは分布範囲が狭く、特定の都道府県に分布が限定されている種が大部分であり、全体の半数以上が「やや情報不足」あるいは「情報不足」という結果であった。

甲虫類についての調査の概況は次のとおりである。

### (1) 調査対象種

我が国に生息するハンミョウ類の全種22種（亜種を含む）、クワガタ類の全種37種（亜種を含む）、さらにハナカミキリ類の全種160種（亜種を含む）を調査対象とした。

### (2) 調査員と分布情報

調査は、無脊椎動物分科会検討員より推薦された甲虫類の専門研究者の内、ハンミョウ・クワガタ類については46名の参加協力により実施され57種について4,094件の分布情報が得られた。また、ハナカミキリ類については、37名の参加協力により実施され156種について12,663件の分布情報が得られた。

### (3) 分布図

ハンミョウ・クワガタ類の分布図は、57枚が作成された。分布図には、それぞれの種の分布がどの程度表現されているか、その程度を判定し短いコメントを付したが、「分布パターンを表している」と判定されたものは29枚、「やや情報不足」と判定されたものは14枚、「情報不足」と判定されたものは14枚である。

また、ハナカミキリ類の分布図は、155枚が作成された（情報は156種について寄せられたが、別種と思われていた2種が調査開始後に同種と判明した）。分布がどの程度表現されているかについては、「分布パターンを表している」と判定されたものは54枚、「やや情報不足」と判定されたものは76枚、「情報不足」と判定されたものは25枚である。

なお、特に注意を要するものについては個別に短いコメントを付した。



# 第 3 部 資 料



## 1. 第4回自然環境保全基礎調査検討会及び分科会名簿

### \*\*自然環境保全基礎調査検討会

座長	宝月 欣二	植物生態学	東京都立大学名誉教授
	朝比奈正二郎	動物（昆虫類）	元国立予防衛生研究所客員研究員
	今泉 吉典	動物生態学	国立科学博物館名誉館員
	上野 俊一	動物生態学	国立科学博物館昆虫第二研究室長
	奥富 清	植物生態学	東京農工大学名誉教授
	工藤 盛徳	海洋生物学	東海大学海洋学部教授
	黒田 長久	動物（鳥類）	（財）山階鳥類研究所長
	佐藤 大七郎	林学	（財）自然環境研究センター理事長
	高井 康雄	土壌学	東京農業大学農学部教授
	多紀 保彦	動物（魚類）	東京水産大学水産学部教授
	手塚 泰彦	陸水学	京都大学生態学研究センター教授
	中島 巖	航測学	（社）日本林業技術協会主任研究員
	西岡 秀三	情報工学	国立環境研究所地球環境研究センター総括研究管理官
	沼田 眞	植物生態学	千葉県立中央博物館長
	波部 忠重	動物（無脊椎動物）	日本貝類学会長
	古田 能久	陸水生物学	（株）フィスコ顧問
	宮脇 昭	植物生態学	横浜国立大学環境科学研究センター長
	門司 正三	植物生態学	東京大学名誉教授
	山本 護太郎	海洋学	元東海大学海洋学部教授
	吉川 虎雄	自然地理学	東海大学名誉教授

### \*\*昆虫類分科会

座長	朝比奈正二郎	元国立予防衛生研究所客員研究員
	大野 正男	東洋大学文学部教授
	奥谷 偵一	神戸大学名誉教授
	白水 隆	北九州市自然史博物館顧問
	杉 繁郎	日本蛾類学会事務局長
	谷 幸三	奈良県立登美ヶ丘高等学校教諭
	林 長閑	東洋大学講師
	林 正美	埼玉大学教育学部助教授
	布施 英明	西部赤城自然観察園部長
	宮本 正一	元筑紫女学園短期大学教授
	渡辺 泰明	東京農業大学農学部教授

## 2. 第4回自然環境保全基礎調査動植物分布調査実施要綱

### 1. 目的

本調査の目的は、専門研究者のみならず広く一般の自然愛好者の協力も得て、動植物の分布に関する知見を集大成することである。なお、本調査によって次のような成果を期待するものである。

#### (1) 生物相に関する記録の収集と保存

人為的または自然的要因により変化するわが国の生物相を一定間隔で網羅的に記録することによって、生物地理学・生態学等の自然科学の基礎資料となる。

#### (2) 動植物の保護管理のための科学的情報の提供

生物種ごとの分布のパターンや分布域拡大・縮小の傾向等を把握することにより、動植物の保護管理のための施設への客観的判断が可能となる。

#### (3) 環境診断

人間をも含めた動植物の生活の場としての環境が正常に機能しているのかどうかを、特定の生物種を環境指標種として用いることにより、判定することが可能となる。

#### (4) 各種調査データの蘇生

特定の目的に利用が限られていた各種の調査結果や、公開の機会が限られていた個人の観察記録などが、動植物の分布記録に関する体系的・汎用的な方法の提示により、有効な分布情報として蘇生される。

#### (5) 環境教育への寄与

多くの人が身の回りの自然を注意深く観察し、自然の多様性、自然の仕組みなどに関心を寄せることになり、環境教育の新たな展開が図られる。

### 2. 調査対象

本調査は、特定の分類群に属するすべての種についての分布状況を収集する全種調査および環境指標種として選定された種の分布情報を収集する環境指標種調査からなる。調査対象種は維管束植物、軟体動物、節足動物、脊椎動物の各群の中から、陸域、陸水域で生活史の一部または全部を過ごすものであって

生物学的知見、特に分類学的知見が十分に蓄積されているものを選定する。なお、環境指標種については、多くの人が識別しやすいものから選定する。

### 3. 調査体制及び方法

本調査では、同定能力を有するものの自発的参加を得、調査研究活動や観察活動の際に得られる分布に関する知見の提供を受けるものとする。

(1) 調査の体制およびその役割は次のとおりとする。

#### ア. 環境庁

環境庁は、自然環境保全基礎調査検討会の下に、分類群別に動植物分布調査のための専門家による分科会を設け、次の検討を行う。

(7) 調査の基盤となる分類目録の整備

(イ) 調査対象種の選定

(ウ) 分布情報の点検

(エ) 情報の分析

(オ) 情報の公開・管理基準の策定

(カ) その他、専門的見地からの各種検討、指導、現地調査等

#### イ. 調査員

調査の主旨に賛同し、情報提供を行う者を調査員とする。

ただし、全種調査の調査員は専門的知見を有するものとする。環境指標種調査の調査員は一般公募による。

調査員は動植物の分布に関する必要な情報を調査票に記入し、環境庁に送付するものとする。

(2) 調査は次の方法により実施するものとし、詳細は「調査の手引書」等による。

#### ア. 分布情報の収集

調査員は直接野外観察または過去の観察記録に基づき、調査対象種の分布に関する情報についての必要事項を調査票に記入し、環境庁に送付する。

分布に関する情報は、調査員が直接または自ら採集した記録に基づくことを原則とするが、博物館、大学、個人等が所蔵している標本で必要な要件を備えている場合にはそれによることができる。

#### イ. 情報の集成・管理

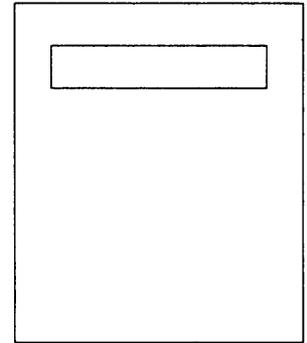
環境庁は調査員から送付された情報を集成し、すみやかに公開するものとする。また、継続的に提供される情報についても整備し、管理に努めるものとする。

### 3. 動植物分布調査票の記入のしかた

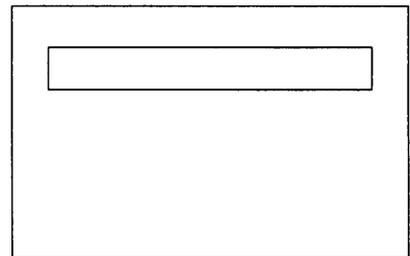
#### I 調査票の種類と使い方

調査票には、大きく分けて2つの種類があります。ひとつはタテ長のカード(1)で、もう一つはヨコ長のカード(2)です。

1. この調査票は、ある区画(地形図をタテ・ヨコに分けたもの)の中に、いつ(年月日)、どういう種類が記録されたかを記入するためのものです。したがって、区画が異なる場合、または期間が2つの月以上にまたがる場合は、原則として新しい調査票を使用してください。



2. この調査票は、ある種類がどの場所とどの場所で記録されたかを記入するためのものです。したがって、動植物の種類が異なるごとに新しい調査票を使用してください。



どちらの調査票を使用するかは各々の調査員の自由で、調査方法(場所を定めてそこにいる種をチェックするのか、あるいはいくつかの種を限りそれらの分布を調べるのか)により、使いやすいものを選んでください。

#### II 記入のしかた

調査者は太枠内の各項目について、記入してください。

1. 調査者名  
調査者名を漢字で記入するとともに、その読み方をカタカナで記入してください。
2. 調査者コード  
調査員証に記載された調査者コードを記入します。調査者コードがない場合は空欄にしておいてください。
3. 調査年月日  
調査を行った時期を記入します。タテ長の調査票の場合、調査をある期間継続して、あるいは断続的に行ったときは、最初と最後の日付を記入します。

1ケタの月、日のときは、数字の前に必ず0を入れてください。

1	9	8	9	0	5	1	0	-	3	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(1989年5月10日から31日)

過去の記録などで月日が不明の場合は該当欄に- (バー)を引いてください。ただし、年が不明の場合はデータとして採用しないものとします。

1	9	8	9	1	0	-	-	-		
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

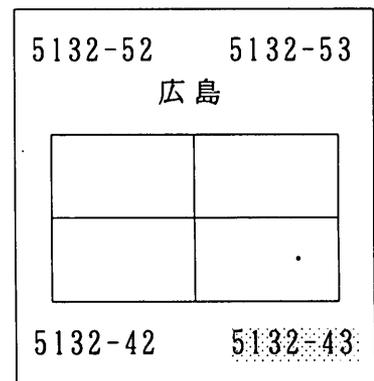
(1989年10月(日不明))

#### 4. メッシュコード (区画番号)

調査地点が含まれるタテ・ヨコの線で囲まれた小さな区画を番号で表すには、次のようにします。

- (1) まず、調査地点が、地図を4等分したどの場所にあるのかを見ます。4等分した大きな区画を表す数字は地図の上と下に表示されている6ケタの数字です。  
 たとえば、調査地点が・印の位置とすると、5132-43 がその数字です。  
 したがって調査票にはまず

5	1	3	2	4	3		
---	---	---	---	---	---	--	--



と記入します。

これで、だいたいの位置が決まります。過去の記録に基づいて記入する場合は、基本的には、ここまでの表示で結構ですが、これから調査を行う場合は、さらに詳しい位置を特定するために、次の手順に進んでください。

- (2) 1/5万メッシュ地形図には、上記の4等分した各大きな区画が、さらにタテ、ヨコ10等分され、小さな区画が100あります。  
 そこで、調査地点の・印を含む小さな区画に示されている2ケタの数字を読みとり、メッシュコードの最後の2ケタを埋めます。  
 たとえば、調査地点の・印を含む小さな区画が57であればメッシュコードは

5	1	3	2	4	3	5	7
---	---	---	---	---	---	---	---

となります。

この最小単位の区画 (ほぼ1km×1kmに相当) を確定できない場合は、最後の2ケタに- (バー)を記入してください。

## 5. 調査地

調査を行った位置の都道府県名、市区町村名を確認して記入します。次に、調査用地形図上で、その地点を含む区画（メッシュ）内に地名を表す文字があれば、市区町村名の後の余白に記入してください。なお、地図上に表示されていなくてもその場所に明瞭な名称がある場合は（ ）書きにして記入してください。

例） （白山神社の森）

調査地が河川（水生昆虫、淡水魚等）の場合は地図上でその地点より川筋を下流または上流に辿り、最初に出あう河川名を（ ）書きにしてください。

## 6. 確認種

### （1）タテ長の調査票

生息または生育を確認した種について、その番号を○で囲んでください。「その他の確認種」欄については、その種名を余白に記入してください。陸産貝類の場合、調査票中に掲げられていないものは、目録中の種名の前の番号を枠内に記入します。陸産貝類以外は「その他の確認種」欄の枠内には何も記入しないでください。

なお、動植物のあるグループでは、種名が印刷されていないものがあります。この場合は、別添の種名目録を参考にして種名コードと種名を記入してください。

### （2）ヨコ長の調査票

タテ長の調査票に記載されている種名と番号、または別添の種名目録を参考にして、種名コードと種名を記入してください。

## 7. 生息環境（ヨコ長の調査票のみ）

調査を行った地点の環境を重要なものについて記入してください。生息環境が確定できない場合は記入しなくても結構です。

## 8. 採集者名、標本所蔵場所（ヨコ長の調査票のみ）

博物館・大学等に所蔵されている標本を調査した場合は、採集者名、標本所蔵場所を該当欄に記入してください。

## Ⅲ 問い合わせ先

調査の内容または調査票の記入のしかた等で、不明の点がありましたら

〒100 千代田区霞が関1-2-2

環境庁自然保護局自然環境調査室

TEL 03(3581)3351(内6439)

までお問い合わせください。

なお、（財）自然環境研究センター03(3812)1881でも問い合わせに応じております。

#### 4. 調査対象種一覧

##### 昆虫(セミ)類

本調査対象種一覧は、第4回調査開始時点(1990年4月)の分類に基づいて作成した。  
学名の前にアルファベット((a)等)が付されている亜種は、その上の種に含まれる。

##### CICADIDAE 科

0001	<i>Platypleura kaempferi</i>	ニイニイセミ
0002	<i>Platypleura yayeyamana</i>	ヤイヤマニイニイ
0003	<i>Platypleura miyakona</i>	ミヤコニイニイ
0004	<i>Platypleura albivannata</i>	イシガキニイニイ
0005	<i>Platypleura kuroiuae</i>	クロイワニイニイ
0006	<i>Suisha coreana</i>	チョウセンクナガニイニイ
0007	<i>Tibicen bihamatus</i>	コエゾセミ
0008	<i>Tibicen japonicus</i>	エゾセミ
0009	<i>Tibicen esakii</i>	ヤクシマエゾセミ
0010	<i>Tibicen flammatus</i>	アカエゾセミ
0011	<i>Tibicen kyushyuensis</i>	キュウシュウエゾセミ
0012	<i>Cryptotympana facialis</i>	クマセミ
0013	<i>Cryptotympana yaeyamana</i>	ヤイヤマクマセミ
0014	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>	アブラセミ
0015	<i>Graptopsaltria bimaculata</i>	リュウキュウアブラセミ
0016	<i>Terpnosia vacua</i>	ハルセミ
0017	<i>Terpnosia nigricosta</i>	エゾハルセミ
0018	<i>Euterpnosia chibensis</i>	ヒメハルセミ
	(a) <i>Euterpnosia chibensis chibensis</i>	ヒメハルセミ
	(b) <i>Euterpnosia chibensis daitoensis</i>	ダイトウヒメハルセミ
	(c) <i>Euterpnosia chibensis okinawana</i>	オキナワヒメハルセミ
0019	<i>Euterpnosia iwasakii</i>	イワサキヒメハルセミ
0020	<i>Tanna japonensis</i>	ヒゲラシ
	(a) <i>Tanna japonensis japonensis</i>	ヒゲラシ
	(b) <i>Tanna japonensis ishigakiana</i>	イシガキヒゲラシ
0021	<i>Pomponia linearis</i>	タイワンヒゲラシ
0022	<i>Oncotympana maculaticollis</i>	ミンミンセミ
0023	<i>Meimuna opalifera</i>	ツクツクホウシ
0024	<i>Meimuna oshimensis</i>	オオシマセミ
0025	<i>Meimuna kuroiuae</i>	クロイワツクツク
0027	<i>Meimuna boninensis</i>	オガサワラセミ
0026	<i>Meimuna iwasakii</i>	イワサキセミ
0028	<i>Nipponosemia terminalis</i>	ツマクロセミ
0029	<i>Mogannia minuta</i>	イワサキクサセミ
0030	<i>Cicadetta radiator</i>	チッチセミ
0031	<i>Cicadetta yezoensis</i>	エゾチッチセミ
0032	<i>Baeturia kuroiuae</i>	クロイワセミ

昆虫（甲虫）類

CICINDELIDAE ハンミョウ科

0010 Collyris loochooensis	ヤエヤマクビナガ ハンミョウ
0020 Therates alboobliquatus	シロスジメダカ ハンミョウ
Therates alboobliquatus yakushimanus	ヤクメダカ ハンミョウ
Therates alboobliquatus iriomotensis	シロスジメダカ ハンミョウ
0041 Cicindela japana	ニワハンミョウ
0070 Cicindela transbaicalica japonensis	コニワハンミョウ
0060 Cicindela sachalinensis	ミヤマハンミョウ
0030 Cicindela gemmata aino	アイヌハンミョウ
0050 Cicindela lewisi	ルイスハンミョウ
0110 Cicindela ovipennis	マカクサマハンミョウ
0100 Cicindela chinensis	ハンミョウ
Cicindela chinensis japonica	ハンミョウ
Cicindela chinensis okinawana	オキナワハンミョウ
0091 Cicindela ferriei	アマミハンミョウ
0130 Cicindela elisae	エリサハンミョウ
Cicindela elisae elisae	エリサハンミョウ
Cicindela elisae mikurana	ミクラヒメハンミョウ
0120 Cicindela bonina	オガサワラハンミョウ
0170 Cicindela specularis	コハンミョウ
0150 Cicindela kaleea	トウキョウヒメハンミョウ
Cicindela kaleea yedoensis	トウキョウヒメハンミョウ
Cicindela kaleea humerula	リュウキュウヒメハンミョウ
0160 Cicindela psilica luchuensis	ヒメヤツホシハンミョウ
0140 Cicindela gracilis	ホソハンミョウ
0180 Cicindela inspecularis	ヨトシロヘリハンミョウ
0190 Cicindela yuasai	シロヘリハンミョウ
Cicindela yuasai yuasai	シロヘリハンミョウ
Cicindela yuasai okinawensis	オキナワシロヘリハンミョウ
0200 Cicindela striolata dorsolineolata	タテスジハンミョウ
0210 Cicindela sumatrensis niponensis	ハラヒロハンミョウ
0220 Cicindela anchoralis	イカリモンハンミョウ
0230 Cicindela laetescripta	カワラハンミョウ

LUCANIDAE クワガタムシ科

0240 Ceruchus lignarius	ツヤハダクワガタ
Ceruchus lignarius lignarius	ツヤハダクワガタ
Ceruchus lignarius monticola	ミヤマツヤハダクワガタ
Ceruchus lignarius nodai	ミナミツヤハダクワガタ
0250 Aesalus asiaticus	マダラクワガタ
Aesalus asiaticus asiaticus	マダラクワガタ
Aesalus asiaticus sawaii	ヤクシママダラクワガタ
0290 Nigidius lewisi	ルイスツノヒョウタンクワガタ
0260 Figulus binodulus	チビクワガタ
0270 Figulus boninensis	オガサワラチビクワガタ

0280	<i>Figulus punctatus</i>	マメクワガタ
0810	<i>Figulus daitoensis</i>	ダイトウマメクワガタ
0350	<i>Lucanus maculifemoratus</i>	ミヤマクワガタ
0330	<i>Lucanus ferriei</i>	アマミミヤマクワガタ
0340	<i>Lucanus gamunus</i>	ミクラミヤマクワガタ
0380	<i>Prismognathus angularis</i>	オニクワガタ
	<i>Prismognathus angularis angularis</i>	オニクワガタ
	<i>Prismognathus angularis morimotoi</i>	キュウシュウオニクワガタ
0400	<i>Prismognathus tokui</i>	ヤクシマオニクワガタ
0390	<i>Prismognathus dauricus</i>	キンオニクワガタ
0360	<i>Neolucanus insularis</i>	チャイロマルハネクワガタ
0370	<i>Neolucanus saundersii</i>	オキナワマルハネクワガタ
	<i>Neolucanus saundersii protogenetivus</i>	アマミマルハネクワガタ
	<i>Neolucanus saundersii donan</i>	ヨナクニマルハネクワガタ
	<i>Neolucanus saundersii insulicola</i>	ヤエヤママルハネクワガタ
	<i>Neolucanus saundersii okinawanus</i>	オキナワマルハネクワガタ
0310	<i>Platycerus delicatulus</i>	ルリクワガタ
	<i>Platycerus delicatulus delicatulus</i>	ルリクワガタ
	<i>Platycerus delicatulus unzendakensis</i>	ウンゼンルリクワガタ
0300	<i>Platycerus acuticollis</i>	コルリクワガタ
	<i>Platycerus acuticollis acuticollis</i>	コルリクワガタ
	<i>Platycerus acuticollis akitai</i>	キンキコルリクワガタ
	<i>Platycerus acuticollis takakuwai</i>	トウカイコルリクワガタ
	<i>Platycerus acuticollis namedai</i>	ミナミコルリクワガタ
0820	<i>Platycerus sugitai</i>	ニセコルリクワガタ
0320	<i>Platycerus kawadai</i>	ホソツヤルリクワガタ
0410	<i>Prosopocoilus inclinatus</i>	ノコギリクワガタ
0412	<i>Prosopocoilus hachijoensis</i>	ハチジョウノコギリクワガタ
0430	<i>Prosopocoilus dissimilis</i>	リュウキュウノコギリクワガタ
	<i>Prosopocoilus dissimilis dissimilis</i>	リュウキュウノコギリクワガタ
	<i>Prosopocoilus dissimilis elegans</i>	トカラノコギリクワガタ
	<i>Prosopocoilus dissimilis kumejimaensis</i>	クメジマノコギリクワガタ
	<i>Prosopocoilus dissimilis makinoi</i>	トクノシマノコギリクワガタ
	<i>Prosopocoilus dissimilis okinawanus</i>	オキナワノコギリクワガタ
	<i>Prosopocoilus dissimilis okinoerabuanus</i>	オキノエラブノコギリクワガタ
0420	<i>Prosopocoilus motschulskyi pseudodissimilis</i>	ヤエヤマノコギリクワガタ
0480	<i>Raetulus recticornis</i>	アマミシカクワガタ
0520	<i>Nipponodorcus montivagus</i>	ヒメオオクワガタ
	<i>Nipponodorcus montivagus montivagus</i>	ヒメオオクワガタ
	<i>Nipponodorcus montivagus adachii</i>	キュウシュウヒメオオクワガタ
0530	<i>Nipponodorcus rubrofemoratus</i>	アカアシクワガタ
0500	<i>Macrodorcas rectus</i>	コクワガタ
	<i>Macrodorcas rectus rectus</i>	コクワガタ
	<i>Macrodorcas rectus kobayashii</i>	トカラコクワガタ
0490	<i>Macrodorcas okinawanus</i>	リュウキュウコクワガタ
	<i>Macrodorcas okinawanus okinawanus</i>	リュウキュウコクワガタ
	<i>Macrodorcas okinawanus amamianus</i>	アマミコクワガタ
	<i>Macrodorcas okinawanus kubotai</i>	トクノシマコクワガタ
0510	<i>Macrodorcas striatipennis</i>	スジクワガタ
0540	<i>Serrogathus consentaneus</i>	チョウセンヒラタクワガタ

0550	<i>Serrognathus costatus</i>	スジフヒラタクワガタ
0560	<i>Serrognathus platymelus</i>	ヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus pilifer</i>	ヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus castanicolor</i>	ツシマヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus daitoensis</i>	ダイトウヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus elegans</i>	アマミヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus okinawanus</i>	オキナワヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus okinoerabuensis</i>	オキノエラブヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus sakishimanus</i>	サキシマヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus takaraensis</i>	タカラヒラタクワガタ
	<i>Serrognathus platymelus tokunoshimaensis</i>	トクノシマヒラタクワガタ
0570	<i>Dorcus hopei</i>	オオクワガタ
0830	<i>Dorcus japonicus</i>	ヤマトサビクワガタ
0450	<i>Aegus laevicollis</i>	ネブトクワガタ
	<i>Aegus laevicollis laevicollis</i>	ネブトクワガタ
	<i>Aegus laevicollis abei</i>	トカラネブトクワガタ
	<i>Aegus laevicollis fujitai</i>	ハチジョウネブトクワガタ
	<i>Aegus laevicollis ishigakiensis</i>	ヤエヤマネブトクワガタ
	<i>Aegus laevicollis mizunumai</i>	ヨナクニネブトクワガタ
	<i>Aegus laevicollis taurulus</i>	アマミネブトクワガタ
0460	<i>Aegus nakanei</i>	オキナワネブトクワガタ
	<i>Aegus nakanei nakanei</i>	オキナワネブトクワガタ
	<i>Aegus nakanei tamanukii</i>	エラブネブトクワガタ
0470	<i>Aegus ogasawarensis</i>	オガサワラネブトクワガタ

## CERAMBYCIDAE カミキリムシ科

### LEPTURINAE ハナカミキリ亜科

0840	<i>Caraphia lepturoides</i>	ケフトハナカミキリ
0850	<i>Caraphia babai</i>	イシガキケフトハナカミキリ
0860	<i>Encyclops olivacea</i>	テツイロハナカミキリ
0870	<i>Rhagium japonicum</i>	ハイイロハナカミキリ
0880	<i>Rhagium heyrovskyi</i>	エゾハイイロハナカミキリ
	<i>Rhagium heyrovskyi heyrovskyi</i>	エゾハイイロハナカミキリ
	<i>Rhagium heyrovskyi hayakawai</i>	シナノエゾハイイロハナカミキリ
0890	<i>Rhagium pseudojaponicum</i>	ニセハイイロハナカミキリ
0900	<i>Xenophyrama purpureum</i>	ムナゴフハナカミキリ
0910	<i>Enoploderes bicolor</i>	ヒラヤマゴフハナカミキリ
0920	<i>Stenocorus coeruleipennis</i>	フタゴフルリハナカミキリ
0930	<i>Toxotinus reini</i>	モモクハナカミキリ
0940	<i>Sachalinobia rugipennis koltzei</i>	アラムハナカミキリ
0950	<i>Pachyta lamed</i>	カタキカタヒハナカミキリ
0960	<i>Pachyta erebia erebia</i>	キハリカタヒハナカミキリ
0970	<i>Brachyta bifasciata japonica</i>	フタスジカタヒハナカミキリ
0980	<i>Brachyta sachalinensis</i>	カラフトトホシハナカミキリ
0990	<i>Brachyta punctata</i>	トホシハナカミキリ
1000	<i>Evodinus borealis</i>	クモハナカミキリ
1010	<i>Gaurotes doris</i>	カラカネハナカミキリ

1020	<i>Gaurotes otome</i>	オトメクビ <sup>°</sup> アカハナカミキリ
1030	<i>Gaurotes atripennis</i>	クビ <sup>°</sup> アカト <sup>°</sup> ウカ <sup>°</sup> ネハナカミキリ <sup>1)</sup>
1040	<i>Gaurotes aureopruruea</i>	クビ <sup>°</sup> アカハナカミキリ <sup>1)</sup>
1050	<i>Lemula japonica</i>	ニセハムシハナカミキリ
1060	<i>Lemula decipiens</i>	キハ <sup>°</sup> ネニセハムシハナカミキリ
1070	<i>Lemula rufithorax</i>	ヒ <sup>°</sup> ックニセハムシハナカミキリ
1080	<i>Lemula nishimurai</i>	アカイロニセハムシハナカミキリ
1090	<i>Dinoptera minuta</i>	ヒナルリハナカミキリ
1100	<i>Acmaeops septentrionis</i>	キタクニハナカミキリ
1110	<i>Acmaeops angusticollis</i>	コアオハナカミキリ
1120	<i>Macropidonia ruficollis</i>	アカムネハナカミキリ
1130	<i>Macropidonia japonica</i>	チャイロヒメコフ <sup>°</sup> ハナカミキリ
	<i>Macropidonia japonica japonica</i>	チャイロヒメコフ <sup>°</sup> ハナカミキリ
	<i>Macropidonia japonica shikokensis</i>	シコクヒメコフ <sup>°</sup> ハナカミキリ <sup>2)</sup>
1140	<i>Macropidonia amanoi</i>	キュウシュウヒメコフ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1150	<i>Pidonia aegrota</i>	チャイロヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia aegrota aegrota</i>	チャイロヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia aegrota kubokii</i>	ツシマチャイロヒメハナカミキリ
1160	<i>Pidonia puziloi</i>	フタオヒ <sup>°</sup> チビ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1170	<i>Pidonia testacea testacea</i>	ニセフタオヒ <sup>°</sup> チビ <sup>°</sup> ハナカミキリ
	<i>Pidonia testacea warsawadakensis</i>	ワルサワタ <sup>°</sup> ケチビ <sup>°</sup> ハナカミキリ <sup>3)</sup>
1180	<i>Pidonia oyamae</i>	オヤマヒメハナカミキリ
1190	<i>Pidonia fujisana</i>	フジ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
1200	<i>Pidonia chujoi</i>	チュウジ <sup>°</sup> ヨウヒメハナカミキリ
1210	<i>Pidonia amentata</i>	セスジ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia amentata amentata</i>	セスジ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia amentata kurosawai</i>	キタセスジ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
1220	<i>Pidonia lyra</i>	コトヒメハナカミキリ
1230	<i>Pidonia approximata</i>	トサヒメハナカミキリ
1240	<i>Pidonia miwai</i>	ミワヒメハナカミキリ
1250	<i>Pidonia simillima</i>	ニセヨコモンヒメハナカミキリ
1260	<i>Pidonia masakii</i>	ムネアカヨコモンヒメハナカミキリ
1270	<i>Pidonia hylophila</i>	イヨヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia hylophila hylophila</i>	イヨヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia hylophila affinis</i>	キイイヨヒメハナカミキリ
1280	<i>Pidonia dealbata</i>	シラユキヒメハナカミキリ
1290	<i>Pidonia insuturata</i>	ヨコモンヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia insuturata insuturata</i>	ヨコモンヒメハナカミキリ
1300	<i>Pidonia hayashii</i>	クロヨコモンヒメハナカミキリ
1310	<i>Pidonia hamadryas</i>	ミチノクヒメハナカミキリ
1320	<i>Pidonia yamato</i>	ヤマトヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia yamato yamato</i>	ヤマトヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia yamato higeshiro</i>	シロヒケ <sup>°</sup> ヤマトヒメハナカミキリ
1330	<i>Pidonia obscurior</i>	シラネヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia obscurior obscurior</i>	シラネヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia obscurior hakusana</i>	ハクサンシラネヒメハナカミキリ
	<i>Pidonia obscurior yokoyamai</i>	ヨコヤマシラネヒメハナカミキリ
1340	<i>Pidonia michinokuensis</i>	トウホクヒメハナカミキリ
1350	<i>Pidonia semiobscura</i>	ホソカ <sup>°</sup> タヒメハナカミキリ
1360	<i>Pidonia matsushitai</i>	マツシタヒメハナカミキリ

1370 <i>Pidonia pallidicolor</i>	ハクハ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
1380 <i>Pidonia mutata</i>	シコクヒメハナカミキリ
1390 <i>Pidonia limbaticollis</i>	ニッコウヒメハナカミキリ
<i>Pidonia limbaticollis limbaticollis</i>	ニッコウヒメハナカミキリ
<i>Pidonia limbaticollis ohbayashii</i>	オオハ <sup>°</sup> ヤシニッコウヒメハナカミキリ
<i>Pidonia limbaticollis stephani</i>	フ <sup>°</sup> ロイニク <sup>°</sup> ニッコウヒメハナカミキリ
1400 <i>Pidonia leucanthophila</i>	マホロハ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
1410 <i>Pidonia kyushuensis</i>	キュウシュウヒメハナカミキリ
1420 <i>Pidonia orientalis</i>	カクムネヒメハナカミキリ
1430 <i>Pidonia takechii</i>	アサマヒメハナカミキリ
1440 <i>Pidonia bouvieri</i>	フ <sup>°</sup> -ヒ <sup>°</sup> エヒメハナカミキリ
2430 <i>Pidonia</i> sp.	ツマク <sup>°</sup> ロヒメハナカミキリ <sup>4)</sup>
1450 <i>Pidonia maculithorax</i>	ムネモンヒメハナカミキリ <sup>5) 6)</sup>
1460 <i>Pidonia ohminesana</i>	オオミネヒメハナカミキリ
1470 <i>Pidonia sylvicola</i>	ミヤマヒメハナカミキリ
1480 <i>Pidonia pallida</i>	ウスイロヒメハナカミキリ
1490 <i>Pidonia</i> sp.	ヒメハナカミキリ <sup>7)</sup>
1500 <i>Pidonia signifera</i>	ナカ <sup>°</sup> ハ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
1510 <i>Pidonia jasha</i>	ホクリクヒメハナカミキリ
1520 <i>Pidonia tsushimana</i>	ツシマヒメハナカミキリ
1530 <i>Pidonia gibbicollis</i>	ミスジ <sup>°</sup> ヒメハナカミキリ
1540 <i>Pidonia grallatrix</i>	オオヒメハナカミキリ
1550 <i>Pidonia shikokensis</i>	イシズ <sup>°</sup> チヒメハナカミキリ
<i>Pidonia shikokensis shikokensis</i>	イシツ <sup>°</sup> チヒメハナカミキリ
<i>Pidonia shikokensis amanoi</i>	アマノイシツ <sup>°</sup> チヒメハナカミキリ
1560 <i>Pidonia neglecta</i>	ヒミコヒメハナカミキリ
1570 <i>Pidonia discoidalis</i>	キハ <sup>°</sup> リクロヒメハナカミキリ
1580 <i>Pidonia suzukii</i>	シナノヒメハナカミキリ
1590 <i>Pidonia signata</i>	フイリヒメハナカミキリ
1600 <i>Pidonia tsukamotoi</i>	タカネヒメハナカミキリ
1610 <i>Grammoptera chalybeella</i>	チビ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1620 <i>Alosterna tabacicolor</i>	ホクチチビ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1630 <i>Ohbayashia nigromarginata</i>	ハリク <sup>°</sup> ロホソハナカミキリ
<i>Ohbayashia nigromarginata nigromarginata</i>	ハリク <sup>°</sup> ロホソハナカミキリ
<i>Ohbayashia nigromarginata rufolava</i>	キュウシユウハリク <sup>°</sup> ロホソハナカミキリ
1640 <i>Pyrrhona laeticolor</i>	ハリウスハナカミキリ
1650 <i>Pachypidonia bodemeyeri</i>	ヒゲ <sup>°</sup> フ <sup>°</sup> トハナカミキリ
1660 <i>Nivellia sanguinosa</i>	クビ <sup>°</sup> ホ <sup>°</sup> ソハナカミキリ
1670 <i>Nivellia extensa</i>	スミイロハナカミキリ
<i>Nivellia extensa umbratilis</i>	エソ <sup>°</sup> スミイロハナカミキリ
<i>Nivellia extensa yuzawai</i>	シナノスミイロハナカミキリ
1680 <i>Munamizoa maculata</i>	ムナミヅ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1690 <i>Judolia sexmaculata</i>	シララカハナカミキリ
1700 <i>Judolia japonica</i>	ヤマトキモンハナカミキリ
1710 <i>Judolia cometes</i>	マルカ <sup>°</sup> タハナカミキリ
1720 <i>Judolidia bangi</i>	ヌハ <sup>°</sup> タマハナカミキリ <sup>8)</sup>
1730 <i>Pseudalosterna misella</i>	チャホ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1740 <i>Pseudalosterna takagii</i>	クロチャホ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1750 <i>Pseudalosterna aritai</i>	オキナワチャホ <sup>°</sup> ハナカミキリ
1760 <i>Kanekoa azumensis</i>	ミヤマルリハナカミキリ

1770	<i>Anoploderomorpha excavata</i>	ミヤマクロハナカミキリ
1780	<i>Anoploderomorpha monticola</i>	クロルリハナカミキリ
1790	<i>Anoploderomorpha cyanea</i>	ルリハナカミキリ
1800	<i>Brachyleptura pyrrha</i>	ヒメアカハナカミキリ
1810	<i>Anastrangalia sequensi</i>	ヨコグ`ロハナカミキリ
1820	<i>Anastrangalia scotodes</i>	ツヤケンハナカミキリ
1830	<i>Anastrangalia dissimilis</i>	ニイタカハナカミキリ
1840	<i>Corymbia succedanea</i>	アカハナカミキリ
1850	<i>Corymbia variicornis</i>	フ`チヒゲ`ハナカミキリ
1860	<i>Corymbia igai</i>	イカ`フ`チヒゲ`ハナカミキリ
1870	<i>Konoa granulata</i>	オオハナカミキリ
1880	<i>Leptura doii</i>	ト`イハナカミキリ
1890	<i>Leptura aethiops</i>	クロハナカミキリ
1900	<i>Leptura dimorpha</i>	ムネアカクロハナカミキリ
1910	<i>Leptura duodecimguttata</i>	キモンハナカミキリ
1920	<i>Leptura mimica</i>	ヤツホ`シハナカミキリ
1930	<i>Leptura modicenotata</i>	ツマク`ロハナカミキリ
1940	<i>Leptura quadrifasciata</i>	カラフトヨツスジ`ハナカミキリ
1950	<i>Leptura ochraceofasciata</i>	ヨツスジ`ハナカミキリ
	<i>Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata</i>	ヨツスジ`ハナカミキリ
	<i>Leptura ochraceofasciata ochrotela</i>	シコクヨツスジ`ハナカミキリ
	<i>Leptura ochraceofasciata chujoi</i>	ツシマヨツスジ`ハナカミキリ
	<i>Leptura ochraceofasciata yokoyamai</i>	ヤクヨツスジ`ハナカミキリ
	<i>Leptura ochraceofasciata amamiana</i>	アマミヨツスジ`ハナカミキリ
	<i>Leptura ochraceofasciata watanabei</i>	オキナワヨツスジ`ハナカミキリ
1960	<i>Leptura subtilis</i>	コヨツスジ`ハナカミキリ(ヤマトヨツスジ`ハナカミキリ)
1970	<i>Leptura yakushimana</i>	ヤクシマヨツスジ`ハナカミキリ
1980	<i>Leptura kusamai</i>	ヒメヨツスジ`ハナカミキリ
1990	<i>Leptura latipennis</i>	ハネヒ`ロハナカミキリ
2000	<i>Leptura vicaria vicaria</i>	フタスジ`ハナカミキリ
2010	<i>Leptura variicornis</i>	エトロフハナカミキリ
2020	<i>Leptura femoralis</i>	カクキハナカミキリ
2030	<i>Leptura melanura</i>	キソコマヘ`ニハナカミキリ
2040	<i>Leptura regalis</i>	オオヨツスジ`ハナカミキリ
2050	<i>Leptura thoracica</i>	オオクロハナカミキリ(セアカハナカミキリ)
2060	<i>Oedecnema dubia</i>	モモフ`トハナカミキリ
2070	<i>Eustrangalis distenioides</i>	カエデ`ノハリク`ロハナカミキリ(クロスジ`ハナカミキリ)
2080	<i>Eustrangalis anticereducta</i>	クロサワハリク`ロハナカミキリ
2090	<i>Japanostrangalia dentatipennis</i>	ヒゲ`ジ`ロハナカミキリ
2100	<i>Strangalomorpha tenuis</i>	アオハ`ホソハナカミキリ
	<i>Strangalomorpha tenuis tenuis</i>	アオハ`ホソハナカミキリ
	<i>Strangalomorpha tenuis aenescens</i>	ホソト`アオハ`ホソハナカミキリ
2110	<i>Leptostrangalia lesnei</i>	ニョウホウホソハナカミキリ
2120	<i>Parastrangalis ishigakiensis</i>	ヤエヤマクロスジ`ホソハナカミキリ
2130	<i>Parastrangalis hosohana</i>	ホソハナカミキリ
2140	<i>Parastrangalis shikokensis</i>	タテジ`マホソハナカミキリ
2150	<i>Parastrangalis nymphula</i>	ニンフホソハナカミキリ
2160	<i>Idiostrangalia contracta</i>	ミヤマホソハナカミキリ
2170	<i>Idiostrangalia shimomurai</i>	ニセハコネホソハナカミキリ
2180	<i>Idiostrangalia hakonensis</i>	ハコネホソハナカミキリ

2190 <i>Idiostrangalia maruokai</i>	マルオカホソハナカミキリ
2200 <i>Strangalia attenuata</i>	ヨスジ <sup>ノ</sup> ホソハナカミキリ
2210 <i>Strangalia koyaensis</i>	コウヤホソハナカミキリ
2220 <i>Strangalia takeuchii</i>	タケウチホソハナカミキリ
2230 <i>Strangalia gracilis</i>	オオシマホソハナカミキリ
2240 <i>Mimostrangalia dulcis</i>	ジ <sup>ノ</sup> ヤコウホソハナカミキリ
2250 <i>Mimostrangalia kurosonensis</i>	クロソソホソハナカミキリ
2260 <i>Mimostrangalia longicornis</i>	ヒゲ <sup>ノ</sup> ナガ <sup>ノ</sup> ホソハナカミキリ
2270 <i>Paranaspia anaspidoidea</i>	ヘ <sup>ノ</sup> ニハ <sup>ノ</sup> ハナカミキリ
2280 <i>Paranaspia yaeyamensis</i>	ヤエヤマヒオト <sup>ノ</sup> シハナカミキリ
2290 <i>Ephies japonicus</i>	ヒイロハナカミキリ
<i>Ephies japonicus japonicus</i>	ヒイロハナカミキリ
<i>Ephies japonicus okinawanus</i>	オキナワヒイロハナカミキリ
2300 <i>Formosopyrrhona satoi</i>	アマミアカハネハナカミキリ
2310 <i>Corennys sericata</i>	キヌツヤハナカミキリ
2320 <i>Necydalis gigantea</i>	オニホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
<i>Necydalis gigantea gigantea</i>	オニホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
<i>Necydalis gigantea akiyamai</i>	ヤクオニホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2330 <i>Necydalis major aino</i>	アイヌホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2340 <i>Necydalis yakushimensis</i>	ヤクシマホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2350 <i>Necydalis moriyai</i>	アマミホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2360 <i>Necydalis sachalinensis</i>	カラフトホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2370 <i>Necydalis pennata</i>	ホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2380 <i>Necydalis morio</i>	ウスリ <sup>ノ</sup> ホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2390 <i>Necydalis solida</i>	オオホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2400 <i>Necydalis harmandi</i>	クロホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2410 <i>Necydalis odai</i>	ヒゲ <sup>ノ</sup> シロホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
2420 <i>Necydalis formosana</i>	トガ <sup>ノ</sup> リハ <sup>ノ</sup> ホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
<i>Necydalis formosana matsudai</i>	トガ <sup>ノ</sup> リハ <sup>ノ</sup> ホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ
<i>Necydalis formosana niimurai</i>	キュウシュウトガ <sup>ノ</sup> リハ <sup>ノ</sup> ホソコハ <sup>ノ</sup> ネカミキリ

#### 第4回調査開始後の変更

- 1) 1030 *Gaurotes atripennis* ク<sup>ノ</sup>アト<sup>ノ</sup>ウカ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ と 1040 *Gaurotes aureopruruea* ク<sup>ノ</sup>アハナカミキリ は同種であり、*Gaurotes atripennis* ク<sup>ノ</sup>アハナカミキリ に種名が変更された。
- 2) 1130 *Macropidonia japonica* チャイロメゾ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ の亜種 *Macropidonia japonica shikokensis* シコクメゾ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ は独立種となり、*Macropidonia shikokensis* シコクメゾ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ に種名が変更された。
- 3) 1170 *Pidonia testacea testacea* ニセタチ<sup>ノ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ の亜種 *Pidonia testacea warsawadakensis* ワルサワダ<sup>ノ</sup>ケチ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ は独立種となり、*Pidonia warsawadakensis* ワルサワダ<sup>ノ</sup>ケチ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ に種名が変更された。
- 4) 2430 *Pidonia* sp. ツマク<sup>ノ</sup>ロヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ は *Pidonia maculithorax* ツマク<sup>ノ</sup>ロヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ に学名が変更された。
- 5) 1450 *Pidonia maculithorax* ムネン<sup>ノ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ は *Pidonia* sp. ムネン<sup>ノ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ に学名が変更された。
- 6) 1450 ムネン<sup>ノ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ と 1460 オミ<sup>ノ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ の間に *Pidonia misenina* ミセン<sup>ノ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ が新種として追加された。
- 7) 1490 *Pidonia* sp. ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ は *Pidonia himehana* フエリマキ<sup>ノ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ に種名が変更された。
- 8) 1720 ス<sup>ノ</sup>タ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ と 1730 チャ<sup>ノ</sup>ホ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ の間に *Judolidia kyusyuensis* キュウシュウス<sup>ノ</sup>タ<sup>ノ</sup>ハナカミキリ が新種として追加された。

## 5. 調査対象種変更点一覧

第4回調査開始（1990年4月）にあたり、調査対象種について第3回調査から変更された点を以下に示した。

変更された内容を、第3回調査対象種名の右あるいは下側に括弧書きで記した。第4回調査対象種名はその括弧内の変更の結果となる。

第4回調査開始にあたり対象から外された種、亜種については、第3回調査対象種名の右あるいは下側に（削除）と記した。また、第4回調査開始にあたり新たに対象に加えられた種、亜種は第4回調査対象種名の右あるいは下側にその旨記した。

セミ科

0012	クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>		リュウキュウクマゼミ	<i>Cryptotympana facialis okinawana</i> (削除)	
				ヨナクニクマゼミ	<i>Cryptotympana facialis yonakunina</i> (削除)	
0013	ヤエヤマクマゼミ	<i>Cryptotympana yaeyamana</i>		0012	クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis facialis</i> (亜種から種へ変更)
0018	ヒメハルゼミ	<i>Euterpnosia chibensis</i>		0013	ヤエヤマクマゼミ	<i>Cryptotympana yayeyamana</i> (種小名変更)
	ヒメハルゼミ	<i>Euterpnosia chibensis chibensis</i>		0018	ヒメハルゼミ	<i>Euterpnosia chibensis chibensis</i>
	ダイトウヒメハルゼミ	<i>Euterpnosia chibensis daitoensis</i>			ダイトウヒメハルゼミ	<i>Euterpnosia chibensis daitoensis</i>
	オキナワヒメハルゼミ	<i>Euterpnosia chibensis okinawana</i>			オキナワヒメハルゼミ	<i>Euterpnosia chibensis okinawana</i> (記載形式変更)
0020	ヒゲラシ	<i>Tanna japonensis</i>		0020	ヒゲラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>
	ヒゲラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>			イソガキヒゲラシ	<i>Tanna japonensis ishigakiana</i> (記載形式変更)
	イソガキヒゲラシ	<i>Tanna japonensis ishigakiana</i>				

昆虫（甲虫）類

第3回調査時には亜種まで種コードがつけられていたが、今回から種にのみ種コードをつけた。

また、オオキノコムシ科が調査対象からはずされ、カミキリ科ハナカミキリ亜科が調査対象となった。

第4回

第3回

ハンミョウ科

- 0020 シロスジメダカハンミョウ *Therates alboobliquatus* \_\_\_\_\_
- シロスジメダカハンミョウ *Therates alboobliquatus iriomotensis* \_\_\_\_\_
- ヤクメダカハンミョウ *Therates alboobliquatus yakushmanus* \_\_\_\_\_
- 0041 ニワハンミョウ *Cicindela japana* \_\_\_\_\_
- 0100 ハンミョウ *Cicindela chinensis* \_\_\_\_\_
- ハンミョウ *Cicindela chinensis japonica* \_\_\_\_\_
- オキナワハンミョウ *Cicindela chinensis okinawana* \_\_\_\_\_
- 0091 アマミハンミョウ *Cicindela ferriei* \_\_\_\_\_
- 0130 エリザハンミョウ *Cicindela elisae* \_\_\_\_\_
- エリザハンミョウ *Cicindela elisae elisae* \_\_\_\_\_
- ミクラビハンミョウ *Cicindela elisae mikurana* \_\_\_\_\_
- 0150 トウキョウヒメハンミョウ *Cicindela kaleea* \_\_\_\_\_
- トウキョウヒメハンミョウ *Cicindela kaleea yedoensis* \_\_\_\_\_
- リュウキョウヒメハンミョウ *Cicindela kaleea humerula* \_\_\_\_\_
- 0180 ヨトシロハリハンミョウ *Cicindela inspecularis* \_\_\_\_\_

- 0022 ヤクメダカハンミョウ *Therates alboobliquatus yakushmanus*
- 0021 ヤエヤマメダカハンミョウ *Therates alboobliquatus iriomotensis*  
(和名変更のため、第4回では シロスジメダカハンミョウ *T. a. iriomotensis*)  
(上記の2亜種を1種に含め、記載形式変更)
- 0041 ニワハンミョウ *Cicindela japana japana* (亜種から種へ変更)
- 0042 エゾニワハンミョウ *Cicindela japana inhumeralis* (削除)
- 0043 トサニワハンミョウ *Cicindela japana tosana* (削除)
- 0100 ハンミョウ *Cicindela japonica*  
(種小名変更のため、第4回では ハンミョウ *C. chinensis japonica*)
- 0080 オキナワハンミョウ *Cicindela chinensis okinawana*  
(上記の2亜種を1種に含め、記載形式変更)
- 0091 アマミハンミョウ *Cicindela ferriei ferriei* (亜種から種に変更)
- 0092 アオアマミハンミョウ *Cicindela ferriei indigonacea* (削除)
- 0132 ミクラビハンミョウ *Cicindela elisae mikurana*  
(上記の亜種を種に含めさらに1亜種を加え、記載形式変更)
- 0131 ハマノヒメハンミョウ *Cicindela elisae novitia* (削除)
- 0153 トウキョウヒメハンミョウ *Cicindela kaleea yedoensis*
- 0151 リュウキョウヒメハンミョウ *Cicindela kaleea humerula*  
(上記の2亜種を1種に含め、記載形式変更)
- 0152 ヲラビハンミョウ *Cicindela kaleea rara* (削除)
- 0180 ヨトシロハリハンミョウ *Cicindela nivicineta yodo*  
(種小名変更および亜種から種へ変更)

- 0190 シロハリハシヨウ Cicindela yuasai  
 シロハリハシヨウ Cicindela yuasai yuasai  
 オキナワシロハリハシヨウ (新称) Cicindela yuasai okinawensis

クワガタムシ科

- 0810 タイトウマメクワガタ Figulus daitoensis (新対象種)
- 0240 ツヤハダクワガタ Ceruchus lignarius  
 ツヤハダクワガタ Ceruchus lignarius lignarius  
 ミヤマツヤハダクワガタ Ceruchus lignarius monticola  
 ミナミツヤハダクワガタ Ceruchus lignarius nodai
- 0250 マダラクワガタ Aesalus asiaticus  
 マダラクワガタ Aesalus asiaticus asiaticus  
 ヤクシママダラクワガタ Aesalus asiaticus sawaii
- 0330 アマミヤマクワガタ Lucanus ferriei
- 0380 オニクワガタ Prismognathus angularis  
 オニクワガタ Prismognathus angularis angularis  
 キュウシュウオニクワガタ Prismognathus angularis morimotoi
- 0370 オキナワマルハネクワガタ Neolucanus saundersii  
 アマミマルハネクワガタ Neolucanus saundersii protogenetivus  
 ヨナグニマルハネクワガタ Neolucanus saundersii donan  
 ヤエヤママルハネクワガタ Neolucanus saundersii insulicola  
 オキナワマルハネクワガタ Neolucanus saundersii okinawanus
- 0310 ルリクワガタ Platycerus delicatulus  
 ルリクワガタ Platycerus delicatulus delicatulus  
 ウンゼンルリクワガタ Platycerus delicatulus unzendakensis

- 0191 シロハリハシヨウ Cicindela yuasai yuasai  
 (上記の亜種を種に含めさらに1亜種を加え、記載形式変更)

- 0240 ツヤハダクワガタ Ceruchus lignarius  
 (記載形式変更、3亜種が1種に含まれることを明記)

- 0250 マダラクワガタ Aesalus asiaticus  
 (記載形式変更、2亜種が1種に含まれることを明記)

- 0330 オオシヤマクワガタ Lucanus ferriei (和名変更)
- 0381 オニクワガタ Prismognathus angularis angularis
- 0382 キュウシュウオニクワガタ Prismognathus angularis morimotoi  
 (上記の2亜種を1種に含め、記載形式変更)
- 0372 アマミマルハネクワガタ Neolucanus saundersii protogenetivus
- 0371 ヤエヤママルハネクワガタ Neolucanus saundersii insulicola  
 (上記の2亜種を1種に含めさらに2亜種を加え、記載形式変更)

- 0310 ルリクワガタ Platycerus delicatulus  
 (記載形式変更、2亜種が1種に含まれることを明記)

第4回

第3回

- 0300 コルリクワガタ *Platycerus acuticollis*  
 コルリクワガタ *Platycerus acuticollis acuticollis*  
 キンキコルリクワガタ *Platycerus acuticollis akitai*  
 トウカイコルリクワガタ *Platycerus acuticollis takakuwai*  
 ミナミコルリクワガタ *Platycerus acuticollis namedai*
- 0820 ニセコルリクワガタ *Platycerus sugitai* (新対象種)
- 0410 ノギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus*
- 0412 ハチジョウノギリクワガタ *Prosopocoilus hachijoensis*
- 0430 リュウキュウノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis*  
 リュウキュウノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis dissimilis*  
 トカラノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis elegans*  
 クメジマノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis kumejimaensis*  
 トクシマノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis makinoi*  
 オキナワノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis okinawanus*  
 オキノエラブノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis okinoerabuanus*
- 0520 ヒメオオクワガタ *Nipponodorcus montivagus*  
 ヒメオオクワガタ *Nipponodorcus montivagus montivagus*  
 キュウシュウヒメオオクワガタ *Nipponodorcus montivagus adachii*
- 0500 コクワガタ *Macrodorcas rectus*  
 コクワガタ *Macrodorcas rectus rectus*  
 トカラコクワガタ *Macrodorcas rectus kobayashii*
- 0490 リュウキュウコクワガタ *Macrodorcas okinawanus*  
 リュウキュウコクワガタ *Macrodorcas okinawanus okinawanus*  
 アマミコクワガタ *Macrodorcas okinawanus amamianus*  
 トクシマコクワガタ *Macrodorcas okinawanus kubotai*

- 0300 コルリクワガタ *Platycerus acuticollis*  
 (記載形式変更、4亜種が1種に含まれることを明記)
- 0411 ノギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus inclinatus*  
 (亜種から種へ変更、種コード変更)
- 0412 ハチジョウノギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus hachijoensis*  
 (亜種から種へ変更)
- 0432 リュウキュウノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis dissimilis*  
 0431 トカラノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis elegans*  
 0433 オキナワノギリクワガタ *Prosopocoilus dissimilis okinawanus*  
 (上記の3亜種を1種に含めさらに3亜種を加え、記載形式変更)
- 0520 ヒメオオクワガタ *Nipponodorcus montivagus*  
 (記載形式変更、2亜種が1種に含まれることを明記)
- 0500 コクワガタ *Macrodorcas rectus*  
 (記載形式変更、2亜種が1種に含まれることを明記)
- 0492 リュウキュウコクワガタ *Macrodorcas okinawanus okinawanus*  
 0491 アマミコクワガタ *Macrodorcas okinawanus amamianus*  
 (上記の2亜種を1種に含めさらに1亜種を加え、記載形式変更)

- 0560 ヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus*  
 ヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus pilifer*  
 ツシマヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus castanicolor*  
 タイトウヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus daitoensis*  
 アマミヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus elegans*  
 オキナワヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus okinawanus*  
 オキノエラブヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus okinoerabuensis*  
 サキシマヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus sakishimanus*  
 タカラヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus takaraensis*  
 トクノシマヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus tokunoshimaensis*
- 0561 ヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus pilifer*  
 0562 ツシマヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus castanicolor*  
 0563 アマミヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus elegans*  
 0564 オキナワヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus okinawanus*  
 0565 サキシマヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus sakishimanus*  
 (上記の5亜種を1種に含めさらに4亜種を加え、記載形式変更)
- 0830 ヤマトサビクワガタ *Dorcus japonicus* (新対象種)
- 0450 ネブトクワガタ *Aegus laevicollis*  
 ネブトクワガタ *Aegus laevicollis laevicollis*  
 トカラネブトクワガタ *Aegus laevicollis abei*  
 ハチジヨウネブトクワガタ *Aegus laevicollis fujitai*  
 ヤイヤマネブトクワガタ *Aegus laevicollis ishigakiensis*  
 ヨナクニネブトクワガタ *Aegus laevicollis mizunumai*  
 アマミネブトクワガタ *Aegus laevicollis taurulus*
- 0451 ネブトクワガタ *Aegus laevicollis subnitidus*  
 (亜種名変更のため第4回ではネブトクワガタ *A. l. laevicollis*)  
 0440 ヤイヤマネブトクワガタ *Aegus formosae ishigakiensis*  
 (種小名変更のため第4回では  
 ヤイヤマネブトクワガタ *A. laevicollis ishigakiensis*)  
 0452 アマミネブトクワガタ *Aegus laevicollis taurulus*  
 (上記の3亜種を1種に含めさらに3亜種を加え、記載形式変更)
- 0460 オキナワネブトクワガタ *Aegus nakanei*  
 オキナワネブトクワガタ *Aegus nakanei nakanei*  
 エラブネブトクワガタ *Aegus nakanei tamanukii*
- 0461 オキナワネブトクワガタ *Aegus nakanei nakanei*  
 0462 エラブネブトクワガタ *Aegus nakanei tamanukii*  
 (上記の2亜種を1種に含め、記載形式変更)

## 6. 調査協力者名簿

### セミ類

調査者 コード	氏 名 (五十音順)	居 住 地 (都道府県名)
0070002	荒井 康臣	岩手
0050001	飯島 一雄	北海道
0070022	石川 一	東京
0070020	石田 正明	東京
0070069	石原 保	愛媛
0090028	市橋 甫	三重
0070067	上木 泰男	福井
0720160	上野 俊一	東京
0060058	榎戸 良裕	神奈川
0080066	大川 親雄	三重
0070042	長田 勝	福井
0050044	門脇 久志	島根
0060129	熊沢 隆義	栃木
0070026	児島 孝宣	岡山
0050028	佐々治 寛之	福井
0090026	佐藤 正孝	愛知
0070046	佐藤 有恒	東京
0060215	下野谷 豊一	福井
0070049	多田 康弘	兵庫
0050040	谷 幸三	大阪
0720022	当山 昌直	沖縄
0060002	長嶺 邦雄	沖縄
0070034	成田 俊明	青森
0070035	西村 文彦	神奈川
0070037	西村 正賢	神奈川
0070036	野沢 雅美	埼玉
0070013	林 正美	千葉
0060026	久川 健	熊本
0070015	堀 紳二	兵庫
0060051	三宅 武	大分
0070068	宮本 正一	福岡
0050072	渡辺 一雄	静岡

32名

### 甲虫類

調査者 コード	氏 名 (五十音順)	居 住 地 (都道府県名)
クワガタ・ハンミョウ、カミキリ		
0090090	池田 清彦	山梨
0720315	上野 俊一	東京

0090070	海老原 裕之	東京
0090087	大桃 定洋	栃木
0090080	櫛田 俊明	青森
0090076	齊藤 明子	千葉
0090064	齊藤 秀生	東京
0090026	佐藤 正孝	愛知
0090089	杉野 広一	兵庫
0090083	西川 喜朗	大阪

クワガタ・ハンミョウ

0090028	市橋 甫	三重
0090048	今坂 正一	長崎
0050044	門脇 久志	島根
0060207	川原 誠	岐阜
0090068	北村 征三郎	富山
0090021	田中 忠次	富山
0060129	熊沢 隆義	栃木
0090043	小島 圭三	高知
0090074	齊藤 昌弘	福井
0090107	境野 広行	神奈川
0060350	笹川 満廣	大阪
0090016	柴田 泰利	東京
0090011	鈴木 幹男	茨城
0090013	須田 亨	群馬
0090052	高井 泰	鹿児島
0090046	高倉 康男	福岡
0090034	高橋 寿郎	兵庫
0090023	高羽 正治	石川
0050040	谷 幸三	大阪
0090006	千葉 武勝	岩手
0090032	塚本 珪一	京都
0090106	豊田 浩二	東京
0090051	中根 猛彦	鹿児島
0080110	中村 慎吾	広島
0090081	生川 展行	三重
0090105	韭沢 幸世彦	東京
0090082	平野 幸彦	神奈川
0050004	福田 彰	青森
0090104	藤田 宏	東京
0090019	降旗 剛寛	長野
0090084	保谷 忠良	宮城
0090091	堀 道雄	和歌山
0090039	三好 和雄	山口
0090001	保田 信紀	北海道
0090015	山崎 秀雄	茨城
0090009	山谷 文仁	宮城

カミキリ

0090085	青木 小四郎	神奈川
0090094	伊藤 勝彦	東京

0090101	小栗	太郎	東京
0090102	北村	民弥	東京
0090092	北山	健司	大阪
0090097	木元	達之助	東京
0090071	久保田	雅久	静岡
0090103	塩崎	容正	東京
0090098	柴多	浩一	東京
0090108	下村	徹	東京
0090095	杉本	肇	東京
0090078	須藤	弘之	三重
0090072	武智	昭一	東京
0090010	田添	京二	福島
0090073	筒井	謙	東京
0090088	露木	繁雄	神奈川
0090079	中林	博之	三重
0090069	永井	彪	鹿児島
0090027	野平	照雄	岐阜
0090099	芳賀	馨	東京
0060463	早見	正一	大分
0090093	雛倉	正人	東京
0090100	堀川	正美	東京
0090029	的場	績	和歌山
0090096	宮下	公範	東京
0090077	山崎	裕志	東京
0090075	山地	治	岡山

73名

7. 分布図索引（和名50音順）

昆虫（セミ）類確認種和名リスト

0010	アカエゾゼミ	-----	36
0014	アブラゼミ	-----	40
0004	イシガキニイニイ	-----	30
0029	イワサキクサゼミ	-----	55
0026	イワサキゼミ	-----	53
0019	イワサキヒメハルゼミ	-----	45
0008	エゾゼミ	-----	34
0031	エゾチッチゼミ	-----	57
0017	エゾハルゼミ	-----	43
0024	オオシマゼミ	-----	50
0027	オガサワラゼミ	-----	52
0011	キュウシュウエゾゼミ	-----	37
0012	クマゼミ	-----	38
0032	クロイワゼミ	-----	58
0025	クロイワツクツク	-----	51
0005	クロイワニイニイ	-----	31
0007	コエゾゼミ	-----	33
0021	タイワンヒグラシ	-----	47
0030	チッチゼミ	-----	56
0006	チョウセンケナガニイニイ	-----	32
0023	ツクツクボウシ	-----	49
0028	ツマグロゼミ	-----	54
0001	ニイニイゼミ	-----	27
0016	ハルゼミ	-----	42
0020	ヒグラシ	-----	46
0018	ヒメハルゼミ	-----	44
0003	ミヤコニイニイ	-----	29
0022	ミンミンゼミ	-----	48
0013	ヤエヤマクマゼミ	-----	39
0002	ヤエヤマニイニイ	-----	28
0009	ヤクシマエゾゼミ	-----	35
0015	リュウキュウアブラゼミ	-----	41

昆虫（甲虫）類確認種和名リスト

0030	アイヌハンミョウ	80
2330	アイヌホソコバネカミキリ	278
2100	アオバホソハナカミキリ	255
0530	アカアシクワガタ	121
1080	アカイロニセハムシハナカミキリ	155
1840	アカハナカミキリ	231
1120	アカムネハナカミキリ	158
1430	アサマヒメハナカミキリ	189
2300	アマミアカハネハナカミキリ	275
0480	アマミシカクワガタ	119
0091	アマミハンミョウ	84
2350	アマミホソコバネカミキリ	280
0330	アマミミヤマクワガタ	104
0940	アラメハナカミキリ	142
1860	イガブチヒゲハナカミキリ	233
0220	イカリモンハンミョウ	94
0850	イシガキケブトハナカミキリ	133
1550	イシズチヒメハナカミキリ	202
1270	イヨヒメハナカミキリ	173
1480	ウスイロヒメハナカミキリ	195
0880	エゾハイイロハナカミキリ	136
2010	エトロフハナカミキリ	247
0130	エリザハンミョウ	85
2050	オオクロハナカミキリ（セアカハナカミキリ）	250
0570	オオクワガタ	127
2230	オオシマホソハナカミキリ	268
1870	オオハナカミキリ	234
1540	オオヒメハナカミキリ	201
2390	オオホソコバネカミキリ	283
1460	オオミネヒメハナカミキリ	193
2040	オオヨツスジハナカミキリ	249
0270	オガサワラチビクワガタ	100
0470	オガサワラネブトクワガタ	131
1750	オキナワチャボハナカミキリ	222
0460	オキナワネブトクワガタ	130
0370	オキナワマルバネクワガタ	110
1020	オトメクビアカハナカミキリ	150
0380	オニクワガタ	106
2320	オニホソコバネカミキリ	277
1180	オヤマヒメハナカミキリ	164
2070	カエデノヘリグロハナカミキリ（クロスジハナカミキリ）	252
1420	カクムネヒメハナカミキリ	188
0950	カタキカタビロハナカミキリ	143
2020	カタキハナカミキリ	248
1010	カラカネハナカミキリ	149
0980	カラフトトホシハナカミキリ	146
2360	カラフトホソコバネカミキリ	281
1940	カラフトヨツスジハナカミキリ	240

0230	カワラハンミョウ	95
1100	キタクニハナカミキリ	157
2310	キヌツヤハナカミキリ	276
1060	キバネニセハムシハナカミキリ	153
0960	キベリカタビロハナカミキリ	144
1570	キベリクロヒメハナカミキリ	204
1910	キモンハナカミキリ	237
1140	キュウシュウヒメコブハナカミキリ	160
1410	キュウシュウヒメハナカミキリ	187
0390	キンオニクワガタ	108
1040	クビアカハナカミキリ	151
1660	クビボソハナカミキリ	213
1000	クモマハナカミキリ	148
2080	クロサワヘリグロハナカミキリ	253
2250	クロソンホソハナカミキリ	270
1740	クロチャボハナカミキリ	221
1890	クロハナカミキリ	235
2400	クロホソコバネカミキリ	284
1300	クロヨコモンヒメハナカミキリ	176
1780	クロルリハナカミキリ	225
0840	ケプトハナカミキリ	132
2210	コウヤホソハナカミキリ	266
0500	コクワガタ	122
1220	コトヒメハナカミキリ	168
0070	コニワハンミョウ	78
0170	コハンミョウ	86
1960	コヨツスジハナカミキリ (ヤマトヨツスジハナカミキリ)	242
0300	コルリクワガタ	112
1380	シコクヒメハナカミキリ	184
1580	シナノヒメハナカミキリ	205
2240	ジャコウホソハナカミキリ	269
1330	シラネヒメハナカミキリ	179
1280	シラユキヒメハナカミキリ	174
1690	シララカハナカミキリ	216
0020	シロスジメダカハンミョウ	76
0190	シロヘリハンミョウ	91
0510	スジクワガタ	124
0550	スジプトヒラタクワガタ	125
1670	スマイロハナカミキリ	214
1210	セスジヒメハナカミキリ	167
0810	ダイトウマメクワガタ	102
1600	タカネヒメハナカミキリ	207
2220	タケウチホソハナカミキリ	267
2140	タテジマホソハナカミキリ	259
0200	タテスジハンミョウ	92
0260	チビクワガタ	99
1610	チビハナカミキリ	208
1130	チャイロヒメコブハナカミキリ	159
1150	チャイロヒメハナカミキリ	161
0360	チャイロマルバネクワガタ	109

1730	チャボハナカミキリ	220
1200	チュウジョウヒメハナカミキリ	166
1520	ツシマヒメハナカミキリ	199
1930	ツマグロハナカミキリ	239
2430	ツマグロヒメハナカミキリ	191
1820	ツヤケシハナカミキリ	229
0240	ツヤハダクワガタ	96
0860	テツイロハナカミキリ	134
0150	トウキョウヒメハンミョウ	87
1340	トウホクヒメハナミカキリ	180
2420	トガリバホソコバネカミキリ	286
1230	トサヒメハナカミキリ	169
0990	トホシハナカミキリ	147
1500	ナガバヒメハナカミキリ	197
1830	ニイタカハナカミキリ	230
0820	ニセコルリクワガタ	113
0890	ニセハイイロハナカミキリ	137
2170	ニセハコネホソハナカミキリ	262
1050	ニセハムシハナカミキリ	152
1170	ニセフタオビチビハナカミキリ	163
1250	ニセヨコモンヒメハナカミキリ	171
1390	ニッコウヒメハナカミキリ	185
2110	ニョウホウホソハナカミキリ	256
0041	ニワハンミョウ	77
2150	ニンフホソハナカミキリ	260
1720	ヌバタマハナカミキリ	219
0450	ネプトクワガタ	129
0410	ノコギリクワガタ	115
0870	ハイイロハナカミキリ	135
1370	ハクバヒメハナカミキリ	183
2180	ハコネホソハナカミキリ	263
0412	ハチジョウノコギリクワガタ	116
1990	ハネビロハナカミキリ	245
0210	ハラビロハンミョウ	93
0100	ハンミョウ	83
2290	ヒイロハナカミキリ	274
2090	ヒゲジロハナカミキリ	254
2410	ヒゲシロホソコバネカミキリ	285
2260	ヒゲナガホソハナカミキリ	271
1650	ヒゲプトハナカミキリ	212
1070	ピックニセハムシハナカミキリ	154
1090	ヒナルリハナカミキリ	156
1560	ヒミコヒメハナカミキリ	203
1800	ヒメアカハナカミキリ	227
0520	ヒメオオクワガタ	120
1490	ヒメハナカミキリ	196
0160	ヒメヤツボシハンミョウ	88
1980	ヒメヨツスジハナカミキリ	244
0560	ヒラタクワガタ	126
0910	ヒラヤマコブハナカミキリ	139

1440	ブービエヒメハナカミキリ	190
1590	ファイリヒメハナカミキリ	206
1190	フジヒメハナカミキリ	165
1160	フタオビチビハナカミキリ	162
0920	フタコブルリハナカミキリ	140
0970	フタスジカタビロハナカミキリ	145
2000	フタスジハナカミキリ	246
1850	ブチヒゲハナカミキリ	232
2270	ベニバハナカミキリ	272
1640	ヘリウスハナカミキリ	211
1630	ヘリグロホソハナカミキリ	210
1620	ホクチチビハナカミキリ	209
1510	ホクリクヒメハナカミキリ	198
1350	ホソガタヒメハナカミキリ	181
2370	ホソコバネカミキリ	282
0320	ホソツヤルリクワガタ	114
2130	ホソハナカミキリ	258
0140	ホソハンミョウ	89
0110	マガタマハンミョウ	82
0250	マダラクワガタ	97
1360	マツシタヒメハナカミキリ	182
1400	マホロバヒメハナカミキリ	186
0280	マメクワガタ	101
2190	マルオカホソハナカミキリ	264
1710	マルガタハナカミキリ	218
0340	ミクラミヤマクワガタ	105
1530	ミスジヒメハナカミキリ	200
1310	ミチノクヒメハナカミキリ	177
1770	ミヤマクロハナカミキリ	224
0350	ミヤマクワガタ	103
0060	ミヤマハンミョウ	79
1470	ミヤマヒメハナカミキリ	194
2160	ミヤマホソハナカミキリ	261
1760	ミヤマルリハナカミキリ	223
1240	ミワヒメハナカミキリ	170
0900	ムナコブハナカミキリ	138
1680	ムナミゾハナカミキリ	215
1900	ムネアカクロハナカミキリ	236
1260	ムネアカヨコモヒメハナカミキリ	172
1450	ムネモンヒメハナカミキリ	192
0930	モモグロハナカミキリ	141
2060	モモブトハナカミキリ	251
0010	ヤエヤマクビナガハンミョウ	75
2120	ヤエヤマクロスジホソハナカミキリ	257
0420	ヤエヤマノコギリクワガタ	118
2280	ヤエヤマヒオドシハナカミキリ	273
0400	ヤクシマオニクワガタ	107
2340	ヤクシマホソコバネカミキリ	279
1970	ヤクシマヨツスジハナカミキリ	243
1920	ヤツボシハナカミキリ	238

1700	ヤマトキモンハナカミキリ	217
0830	ヤマトサビクワガタ	128
1320	ヤマトヒメハナカミキリ	178
1810	ヨコグロハナカミキリ	228
1290	ヨコモンヒメハナカミキリ	175
2200	ヨスジホソハナカミキリ	265
1950	ヨツスジハナカミキリ	241
0180	ヨドシロヘリハンミョウ	90
0490	リュウキュウコクワガタ	123
0430	リュウキュウノコギリクワガタ	117
0290	ルイスツノヒョウタンクワガタ	98
0050	ルイスハンミョウ	81
0310	ルリクワガタ	111
1790	ルリハナカミキリ	226



第4回自然環境保全基礎調査  
動植物分布調査報告書  
(昆虫(セミ・甲虫)類)

平成5(1993)年3月  
環境庁自然保護局